

Flat Panel Display

取扱説明書	JP
Operating Instructions	GB
Mode d'emploi	FR
Bedienungsanleitung	DE
Manual de instrucciones	ES
Istruzioni per l'uso	IT
使用说明书	CS

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

FWD-40LX1/32LX1R

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5(JP)～7(JP)ページの注意事項をよくお読みください。

8(JP)ページの「本機の性能を保持するために」もあわせてお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検を、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・ 煙が出たら
- ・ 異常な音、においがしたら
- ・ 内部に水、異物が入ったら
- ・ 製品を落としたりキャビネットを破損したときは



- ① ディスプレイの電源を切る。
- ② ディスプレイの電源コードや接続コードを抜く。
- ③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口連絡する。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電



破裂



高温

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く



アース線を接続せよ

⚠ 警告	5 (JP)
⚠ 注意	6 (JP)
電池についての安全上のご注意	7 (JP)
万一、異常が起きたら	7 (JP)
本機の性能を保持するために	8 (JP)
各部の名称と働き	9 (JP)
前面／後面／側面	9 (JP)
インジケーター部	10 (JP)
コントロールボタン部（上面）	10 (JP)
入出力端子パネル	11 (JP)
リモコン RM-980	13 (JP)
使用上のご注意	15 (JP)
接続	16 (JP)
スピーカーの接続	16 (JP)
電源コードの接続	16 (JP)
ケーブルを処理する	17 (JP)
メニューで行う調整と設定	18 (JP)
メニューの操作	18 (JP)
メニューの説明	18 (JP)
画像を見る	23 (JP)
入力信号を切り換える	23 (JP)
入力信号と画質モードの情報とディスプレイの設定状態の 表示について	23 (JP)
画質を選ぶ	25 (JP)
画質を調整する	25 (JP)
コントラスト、明るさ、色の濃さ、色あいなどを調整する	25 (JP)
調整した画質を出荷時の設定値に戻す	28 (JP)
映像を拡大する	29 (JP)
オートワイドを設定する	29 (JP)
ワイド切換を設定する	30 (JP)
画像のサイズや位置を調整する	31 (JP)
画像のサイズ、位置、ドット位相などを調整する	31 (JP)
2つの画面を表示させる	33 (JP)
操作する画面を選んだり、画面の位置を入れ替える	33 (JP)
画面の大きさを変える	34 (JP)
副画面の位置を調整する（PinPのみ）	34 (JP)
マルチディスプレイの設定をする	35 (JP)
音質を調整する	36 (JP)
高音、低音、バランスなどを調整する	36 (JP)
調整した音質を出荷時の設定に戻す	36 (JP)

メニュー表示の言語を選ぶ	37 (JP)
カラーマトリクスを調整する	38 (JP)
電源のオン/オフを自動的に制御する (タイマー機能)	38 (JP)
時刻と曜日を設定する	38 (JP)
時計を表示する	39 (JP)
電源タイマー機能	39 (JP)
セキュリティロックをかける	40 (JP)
セキュリティロックをかけるには	40 (JP)
セキュリティ認証	40 (JP)
セキュリティロックを解除するには	40 (JP)
IPアドレスおよび通信速度を設定する	41 (JP)
IPアドレスを自動取得する (DHCP)	41 (JP)
IPアドレスをマニュアルで設定する (Manual)	41 (JP)
通信速度を設定する (Speed Setup)	42 (JP)
自己診断機能	43 (JP)
特定のディスプレイをリモコンで操作する	43 (JP)
仕様	46 (JP)
保証書とアフターサービス	48 (JP)



下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがに
つながることがあります。

規定の電源電圧で使う



指示

この取扱説明書に記されている電源電圧でお使いください。
規定外の電源電圧での使用は、火災や感電の原因となります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない



禁止

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。
この取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。

分解や改造をしない



分解禁止

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

電源コードを傷つけない



禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。次の項目を必ずお守りください。

- ・設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。

- ・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。

内部に水や異物をいれない



禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

設置・取り付けは確実に



指示

不確実な設置を行うと、ディスプレイが転倒してけがや火災・感電の原因となります。設置の際は、以下の注意事項を必ずお守りください。

壁面・天井・台上への設置、または転倒防止のためディスプレイを固定するなど、特殊な設置を行う場合には、必ずお買い上げ店に工事を依頼してください。

安全アースを接続する

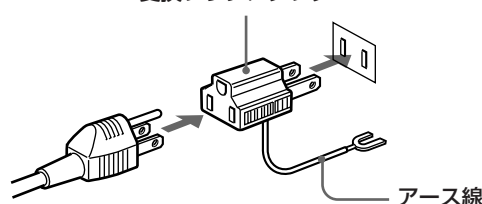


アース線を接続せよ

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。次の方法でアースを接続してください。

- ・電源コンセントが3極の場合
付属の電源コードを使用することで、安全アースが接続されます。
- ・電源コンセントが2極の場合
付属の3極→2極の変換プラグアダプターを使用し、変換プラグアダプターから出ている緑色のアースを、建物に備えられているアース端子に接続する。
- ・アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

変換プラグアダプター



不明な点はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

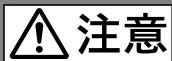
高温部分に触れない



高温

機器を使用中または使用直後には上面や側面が高温になっているため、やけどをすることがあります。

使用中および電源を切るまたはスタンバイした状態から10分間は触れないでください。



注意

下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に**損害**を与える
ことがあります。

重いディスプレイは、2人以上で開梱・運搬する



注意

ディスプレイは見た目より重量があります。開梱・運搬は、けがや事故を防ぐため、必ず2人以上で行ってください。1人で行うと腰を痛めることがあります。

本体を持って運搬する



注意

ディスプレイを運ぶときは、スピーカー部分を持たず、必ず本体を持ってください。スピーカーがディスプレイからはずれて落下し、けがの原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

水のある場所に設置しない



水ぬれ禁止

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となることがあります。雨天や降雪中、海岸や水辺での使用は特にご注意ください。

不安定な場所に設置しない



禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、ディスプレイが落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

接続の際は電源を切る



注意

電源コードや接続ケーブルを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。

指定された電源コード、接続ケーブルを使う



注意

付属の、あるいは取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。他の電源コードや接続ケーブルを使用する場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

通風孔をふさがない



禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・使用上のご注意の項（15（JP）ページ）に従って設置してください。
- ・密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- ・布などで包まない。
- ・あお向けや横倒し、逆さまにしない。

設置時には必ずスタンドを使用する



注意

ディスプレイの転倒によるけがや事故を防ぐため、台・床などに本機を据え置きする際は、別売りの専用スタンド（SU-42FW/32FW）をご使用ください。

設置時には転倒防止処置を行う



注意

本機を据え置きする際には、万一の場合に備え、転倒防止処置を行ってください。

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない



禁止

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む



指示

まっすぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く



電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

移動させるときは電源コード、接続ケーブルを抜く



注意

接続したまま移動させると、電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する



注意

長い間、掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

人が通行するような場所に置かない コード類は正しく配置する



注意

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、十分注意して接続・配置してください。

コード類は正しく配置する



指示

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。十分注意して接続・配置してください。

変換プラグアダプターのアースキャップは幼児の手の届かないところに保管する



指示

万一、誤って飲み込んだときは、窒息する恐れがありますので、ただちに医師にご相談ください。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機での使用が可能なソニー製アルカリ乾電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

電池の液が目に入ったら

➡ すぐにきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受ける。

煙が出たら

➡ ① 電池を抜く。
② お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。

電池の液が皮膚や衣服に付いたら

➡ すぐにきれいな水で洗い流す。

バッテリー収納部内で液が漏れたら

➡ よくふき取ってから、新しい電池を入れる。



警告

下記の注意事項を守らないと、**破裂・発熱・液漏れにより、死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。**



破裂

- 乾電池は充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 指定された種類の電池を使用する。



高温

使用済みの電池は、地域のルールに従って処分してください。



注意

下記の注意事項を守らないと、**破裂・液漏れにより、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。**



破裂

- 投げつけない。
- 使用推奨期限内（乾電池に記載）の乾電池を使用する。
- ⊕ と ⊖ の向きを正しく入れる。
- 電池を入れたまま長期間放置しない。
- 新しい電池と使用した電池は混ぜて使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 水や海水につけたり濡らしたりしない。

本機の性能を保持するために

液晶パネルについて

- 画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（減点）がある場合がありますが、故障ではありません。パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。ご了承ください。
- 液晶画面を太陽に向けたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
- 前面のフィルターを強く押したり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットが温かくなる場合がありますが、故障ではありません。

設置についてのご注意

- 他の機器と組み合わせて設置する場合、各機器の設置位置などにより、リモコンの誤動作や映像の乱れ、雑音などが起こることがあります。この場合は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

ディスプレイのお手入れについて

スクリーン面の汚れは

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてください。また画面の汚れを拭きとるときは、乾いた柔らかい布で拭きとってください。
- アルコールやシンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

外装の汚れは

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でから拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤などは使わないでください。表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあります。

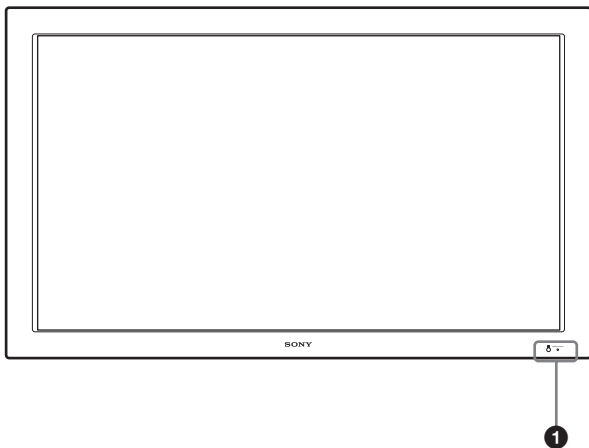
ディスプレイ表面の取扱いについてのご注意

ディスプレイの表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたり、ものをぶつけたりしないでください。

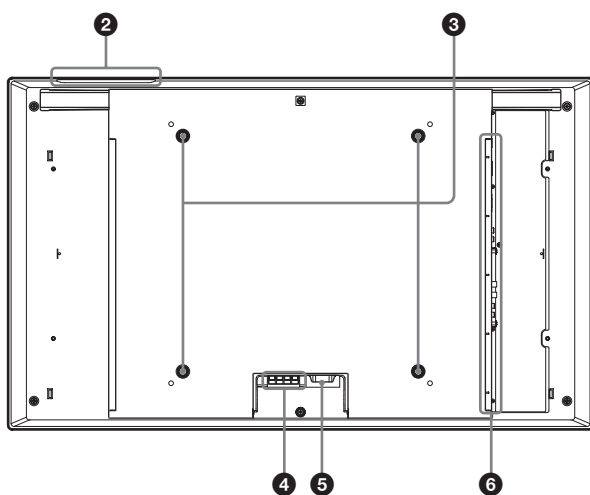
各部の名称と働き

前面／後面／側面

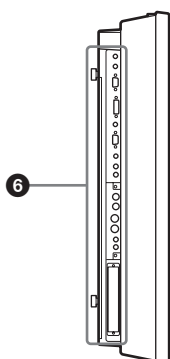
前面



後面



側面



① インジケータ部

◆ インジケータ部について詳しくは、「インジケータ部」(10 (JP) ページ) をご覧ください。

② コントロールボタン部

◆ コントロールボタン部について詳しくは、「コントロールボタン部 (上面)」(10 (JP) ページ) をご覧ください。

③ スタンド取り付け用フック

スタンド (別売り) を取り付けるときに使用します。

④ SPEAKER (スピーカー) 端子

スピーカー (別売り) を接続すると、画面に表示されている信号の音声を出力します。

⑤ ～AC IN (電源入力) 端子

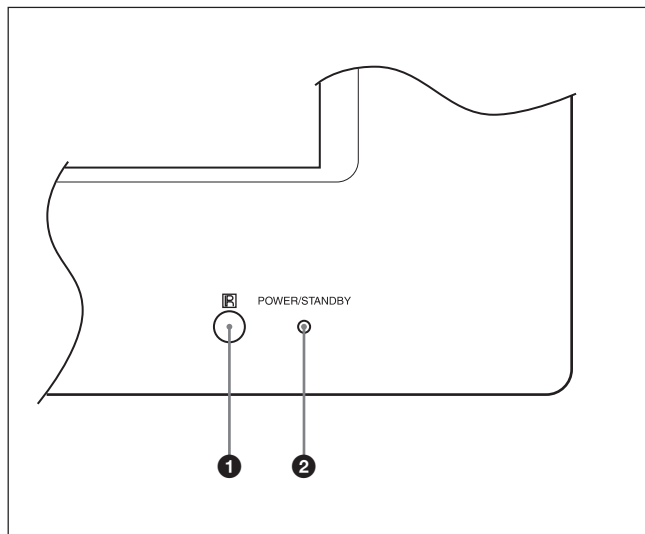
付属の電源コードを使用して、AC 電源に接続します。AC 電源に接続すると、POWER/STANDBY インジケータが赤色に点灯し、本機はスタンバイ状態になります。

◆ 電源コードの接続について詳しくは、「電源コードの接続」(16 (JP) ページ) をご覧ください。

⑥ 入出力端子パネル

◆ 入出力端子パネルについて詳しくは、「入出力端子パネル」(11 (JP) ページ) をご覧ください。

インジケータ部



① リモコン受光部

ここでリモコンの信号を受けます。

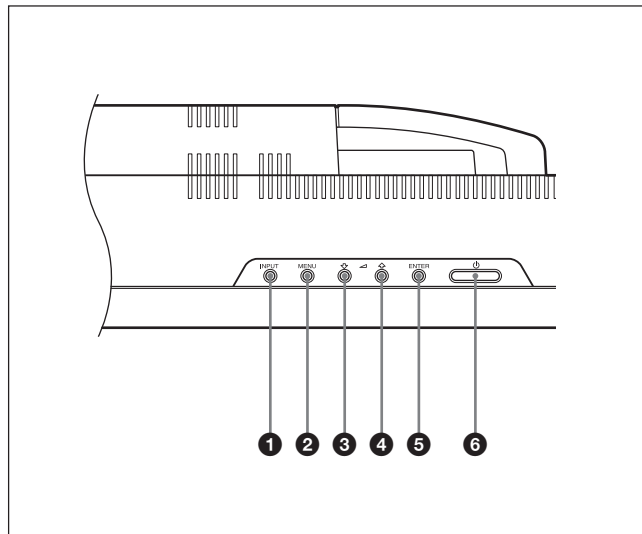
② POWER/STANDBY (電源/スタンバイ) インジケータ

モニターの電源を入れると緑色に点灯します。スタンバイ状態のとき、インジケータが赤色に点灯します。またPC入力するとき、パワーセービング状態になると、インジケータがオレンジ色に点灯します。

入力切替中は、インジケータが緑色に点滅し、信号切替中であることをお知らせします。

◆ POWER/STANDBYインジケータが赤色に点滅したときは、「自己診断機能」(43 (JP) ページ) をご覧ください。

コントロールボタン部 (上面)



① INPUT (インプット) ボタン

INPUTまたはOPTION端子に接続した機器からの入力信号を選びます。



の順に入力信号を切り換えます。

OPTIONスロットにオプションアダプターがないときは、スキップします。

② MENU (メニュー) ボタン

画面にメニューを出すときに使用します。もう一度押すとメニューが消えます。

③ ④ ↓/↑ (カーソル移動/音量調節) ボタン

メニューでカーソル(黄色)を移動するときや数値などを設定するとき、スピーカーから出る音量を調節するときに使用します。

⑤ ENTER (エンター) ボタン

メニューで、設定した内容を確定するときに使用します。

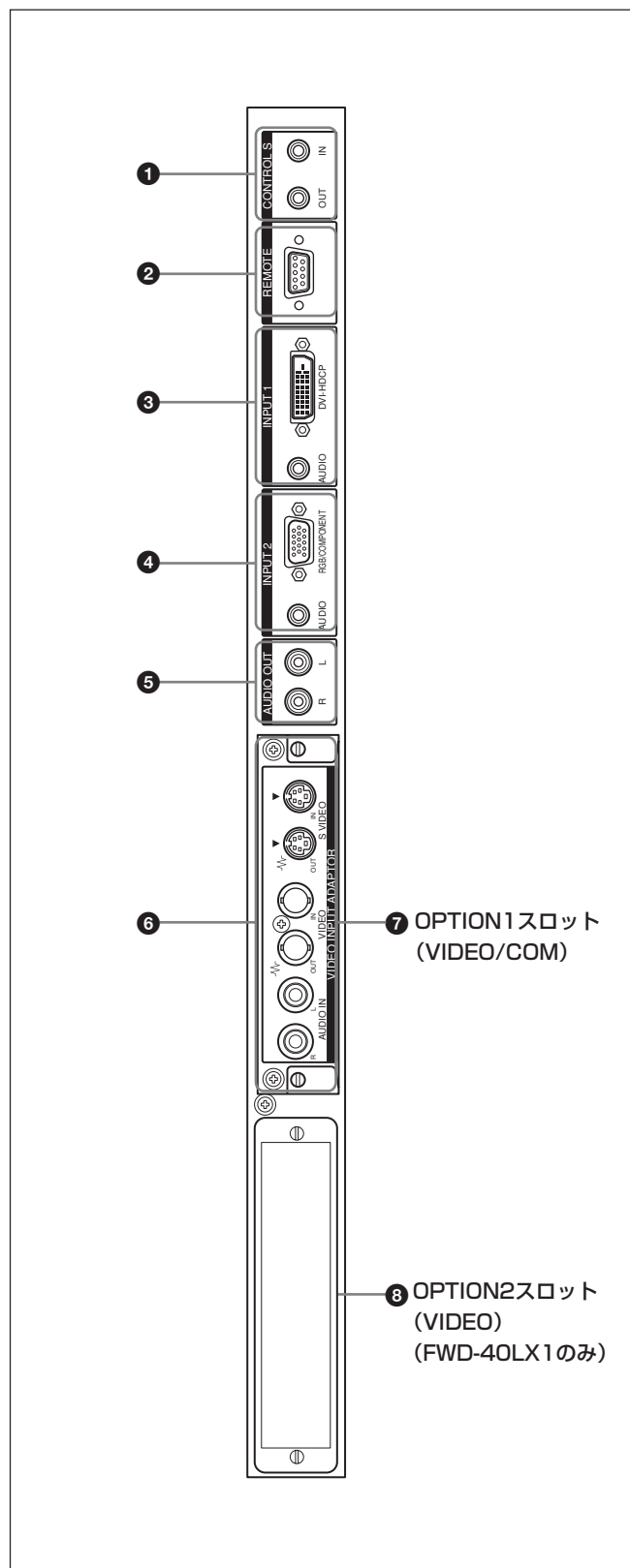
⑥ ⏻ POWER (パワー) スイッチ

スイッチを押すと電源が入り、もう一度押すとスタンバイ状態に戻ります。

ご注意

パネル保護のため電源ON/STANDBYに時間がかかります。約5秒待ってから押してください。

入出力端子パネル



① CONTROL S IN/OUT (コントロールS信号入力／出力) 端子 (ミニジャック)

ビデオ機器や他のディスプレイのCONTROL S端子に接続すると、1台のリモコンで複数の機器を操作できます。本機のCONTROL S OUT端子と他の機器のCONTROL S IN端子、本機のCONTROL S IN端子と他の機器のCONTROL S OUT端子を接続します。

② REMOTE (RS-232C) 用端子 (D-sub 9ピン)

RS-232Cプロトコルを使って、リモートコントロールを行う場合に接続します。詳しくはお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

ご注意

BKM-FW32、BKM-FW50など通信機能を持ったオプションアダプターを装着した場合、本端子は使用できません。

③ INPUT 1 (デジタルRGB信号入力) 端子

DVI (デジタルRGB信号入力) 端子：映像機器などのデジタルRGB信号出力端子と接続します。HDCPのコンテンツ保護に対応しています。

AUDIO (音声入力) 端子 (ステレオミニジャック)：音声信号を入力します。映像機器などの音声出力端子と接続します。

④ INPUT 2 (アナログRGB/COMPONENT信号入力) 端子

RGB/COMPONENT (アナログRGB/コンポーネント信号入力) 端子 (D-sub 15ピン)：映像機器などのアナログRGB信号出力端子、またはコンポーネント (YUV) 信号出力端子と接続します。

コンポーネント信号をこの端子へ入力する場合には、47 (JP) ページのピン配列を参考にしてください。

AUDIO (音声入力) 端子 (ステレオミニジャック)：音声信号を入力します。映像機器などの音声出力端子と接続します。

⑤ AUDIO OUT L/R (音声出力) 端子 (ピンジャック)

AUDIO端子に入力した音声信号のうち画面に表示されている信号の音声を出力します。

2画面 (P&P、PinP) のときは、アクティブ画面の音声信号を出力します。

⑥ VIDEO (ビデオ) 端子 (BKM-FW10プリインストール)

S VIDEO IN (映像入力) 端子 (ミニ DIN4ピン)：映像機器のY/C出力端子と接続します。

S VIDEO OUT (映像出力) 端子 (ミニ DIN4ピン)：映像機器のY/C入力端子と接続します。

VIDEO IN (映像入力) 端子 (BNC型)：映像機器のビデオ信号出力端子と接続します。

VIDEO OUT (映像出力) 端子 (BNC型)：映像機器のビデオ信号入力端子と接続します。

AUDIO IN L/R (音声入力) 端子 (ピンジャック)：音声信号を入力します。映像機器の音声出力端子と接続します。

⑦ OPTION1スロット (VIDEO/COMポート)

映像信号および通信機能に対応したスロットです。通信機能を持つオプションアダプター (BKM-FW32、BKM-FW50など) を装着すると、ネットワーク経由でディスプレイを制御することができます。

⑧ OPTION2スロット (VIDEO) (FWD-40LX1のみ)

映像信号に対応したスロットです。工場出荷状態では、ふた板が装着されています。このスロットには、ビデオ信号入出力系のオプションアダプターを装着することができます。

通信機能のあるオプションアダプターは、⑦のOPTION1スロットに取り付けてください。

オプションアダプター (別売り)

入力端子パネル⑦、⑧の端子部はスロットイン方式になっていて、別売りの以下のオプションアダプターアダプターに付け換えることができます。

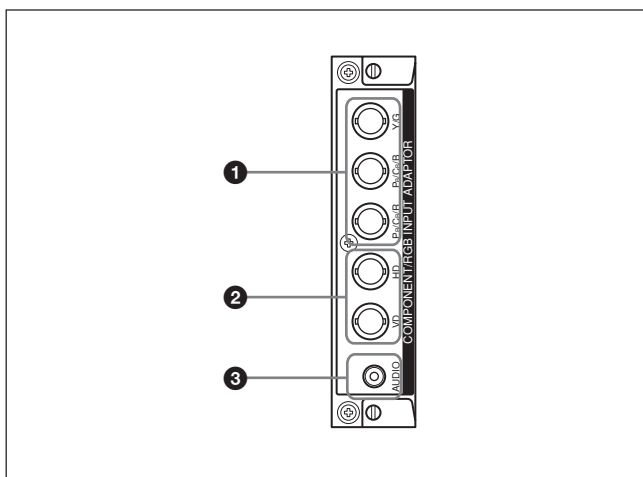
OPTION2スロットは、FWD-40LX1のみ装備されています。

◆ 各アダプターの取り付けかたについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

ビデオ/Sビデオ入出力アダプターBKM-FW10 (別売り)

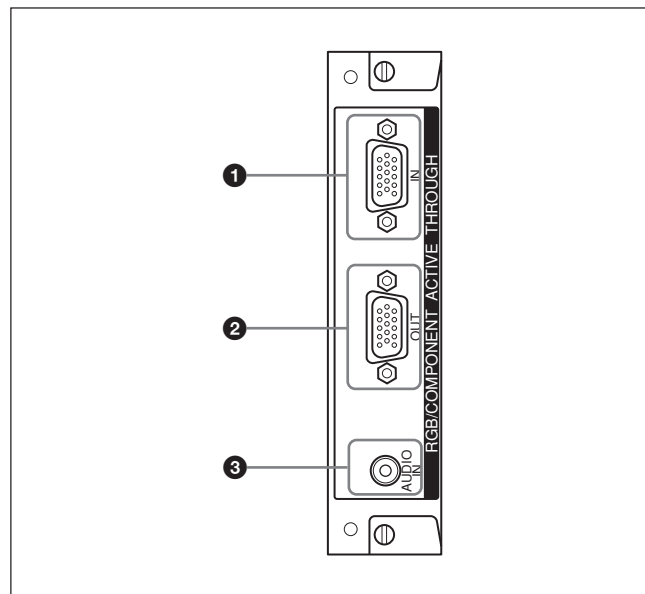
プリインストールされている⑥と同じものです。

コンポーネント/RGB入力アダプターBKM-FW11 (別売り)



- ① Y/G PB/CB/B PR/CR/R 映像入力端子 (BNC型) : 映像機器やコンピューターのコンポーネント信号出力端子またはアナログRGB信号出力端子と接続します。
- ② HD VD 同期信号入力端子 (BNC型) : コンピューターの同期信号出力端子と接続します。
- ③ AUDIO (音声入力) 端子 (ステレオミニジャック) : 音声信号を入力します。映像機器やコンピューターの音声出力端子と接続します。

RGB/コンポーネントアクティブスルーアダプター BKM-FW12 (別売り)



① RGB/COMPONENT IN (RGB/コンポーネント信号入力) 端子 (D-sub 15ピン) :

コンピューターや映像機器のアナログRGB信号出力端子またはコンポーネント信号出力端子と接続します。

コンポーネント信号をこの端子へ入力する場合には、47 (JP) ページのピン配列を参考にしてください。

② RGB/COMPONENT OUT (RGB/コンポーネント信号出力) 端子 (D-sub 15ピン) :

コンピューターや映像機器のアナログRGB信号入力端子またはコンポーネント信号入力端子と接続します。

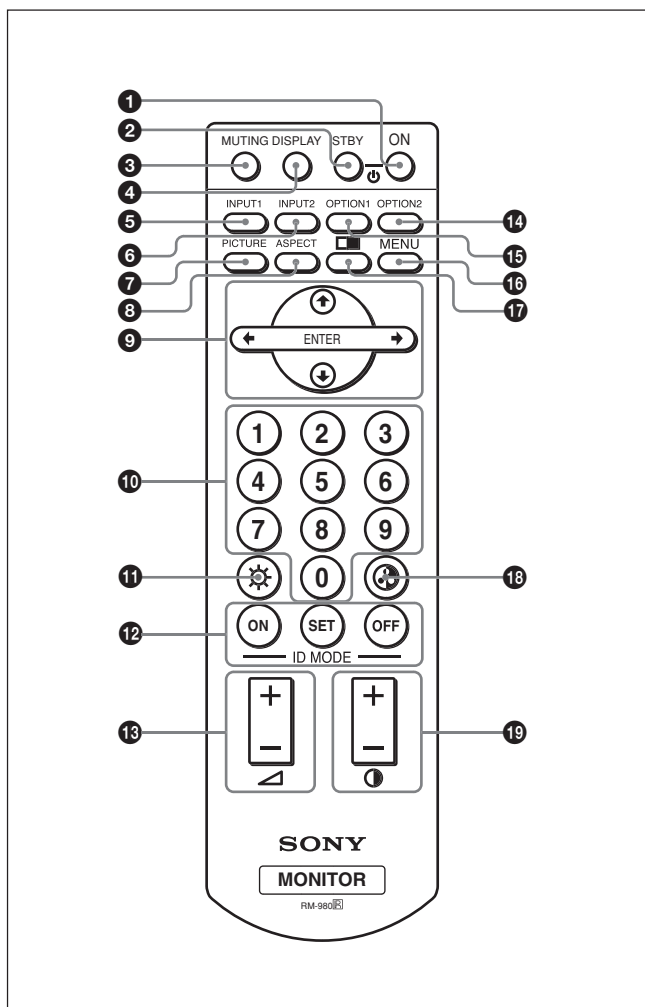
③ AUDIO IN (音声入力) 端子 (ステレオミニジャック) :

音声信号を入力します。コンピューターや映像機器の音声出力端子と接続します。

ご注意

- 本体がスタンバイ状態のときやAC電源が接続されていないときは、RGB/COMPONENT OUTからは出力されません。
- その他、機能拡張用オプションアダプターBKM-FWシリーズについては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

リモコンRM-980



① POWER (電源) ONスイッチ

押すと電源が入ります。

② STANDBYボタン

押すとスタンバイ状態になります。

③ MUTINGボタン

音を消します。もう一度押すと、音が出ます。

④ DISPLAYボタン

入力されている信号の種類および画質モードを画面に表示します。もう一度押すと表示は消えます。表示された状態でしばらくたつと自動的に表示は消えます。

⑤ INPUT1 ボタン

INPUT1 端子に接続した機器からの入力信号を選びます。

⑥ INPUT2 ボタン

INPUT2 端子に接続した機器からの入力信号を選びます。ボタンを押すたびに、RGB、COMPONENTが切り換わりします。

⑦ PICTUREボタン

画質モードを切り換えます。ボタンを押すごとに、ダイナミック、スタンダード、ユーザー1～3の順に切り換わりします。

⑧ ASPECTボタン

画面の横縦比（ズームモード）を選択します。

⑨ ↑/↓/←/→/ENTER (エンター) ボタン

↑/↓/←/→ ボタンでメニューのカーソル（黄色）を移動させたり、数値などを設定します。ENTERボタンを押すと、選んだメニューや設定した内容を確定します。

2画面モードで、メニューを表示していないときは、←/→ ボタンで操作可能画面を切り換えることができます。

⑩ 数字ボタン

インデックス番号を入力するときに使用します。

⑪ BRIGHTNESS (ブライトネス) ボタン

画質モードが「ユーザー1～3」のとき、画像の明るさを調整します。このボタンを押した後に↑/↓または←/→ボタン⑨で調整します。

⑫ ID MODE (ON/SET/OFF) ボタン

ONボタンを押すとインデックスナンバーが画面に表示されます。数字ボタン⑩で、操作したいディスプレイのインデックスナンバーを入力しSETボタンを押します。OFFボタンを押すと、IDモードを抜けて通常の画面に戻ります。

◆ インデックスナンバーについて詳しくは、「特定のディスプレイをリモコンで操作する」(43 (JP) ページ) をご覧ください。

⑬ VOLUME +/- ボタン

音量を調整します。

⑭ OPTION2ボタン

オプションアダプターを装着した際、そこに接続した機器からの入力信号を選びます。

ボタンを押すたびに、OPTION2の入力が切り換わりします。

ご注意

FWD-32LX1Rは、OPTION2スロットがないため、このボタンは操作できません。

⑮ OPTION1ボタン

オプションアダプターを装着した際、そこに接続した機器からの入力信号を選びます。

ボタンを押すたびに、OPTION1の入力が切り換わりします。

⑯ MENU (メニュー) ボタン

画面にメニューを出すときに使用します。もう一度押すとメニューが消えます。

17 ボタン

2画面モードを切り換えます。ボタンを押すごとに、P&P、PinP、2画面オフの順に切り換わります。

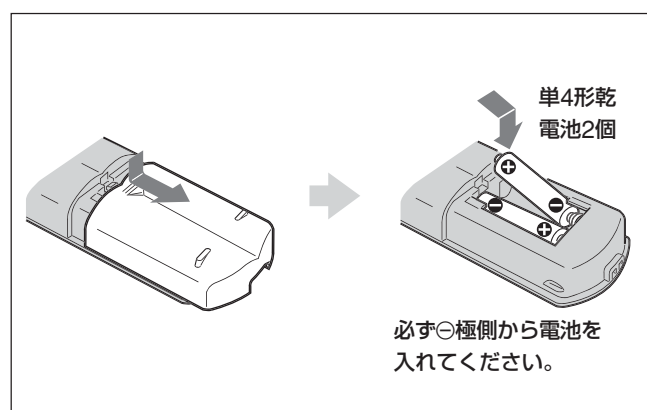
18 CHROMAボタン

画質モードが「ユーザー1～3」のとき、画像の色の濃さを調整します。このボタンを押した後に、↑/↓または←/→ボタン⑨で調整します。

19 CONTRAST (コントラスト) +/-ボタン

画質モードが「ユーザー1～3」のとき、画像のコントラストを調整します。

電池の入れかた



電池の寿命は、通常の使用で約6か月です。リモコン操作が効かなくなり始めたら寿命ですので、新しい電池とお取り換えください。

リモコンで操作できないときは

POWER/STANDBYインジケーターが点灯しているかどうか確認してください。また、リモートコントロール設定メニューのコントロールモードが「本体のみ」になっていないかどうか確認してください。ディスプレイ本体の電源が入っているときか、スタンバイ状態のときで、コントロールモードが「本体+リモコン」または「リモコンのみ」のときリモコンで操作できます。

◆ リモートモードについて詳しくは、「コントロールモード」(21(JP) ページ)をご覧ください。

ご注意

- 落とししたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房器具のそばの温度が高いところ、湿気が多いところには置かないでください。
- ディスプレイ本体のリモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコンで操作ができなくなる場合があります。
- ディスプレイを操作するために必要なボタンがついていますので、紛失しないようにしてください。

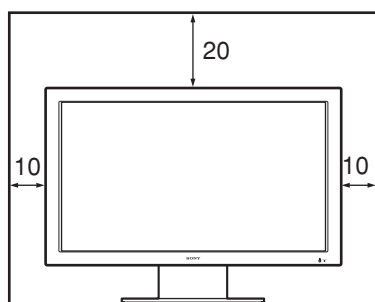
使用上のご注意

周囲に十分なスペースをとる

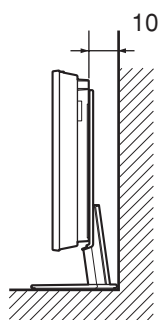
- 内部の温度上昇を防ぐためディスプレイの周囲に以下に示す以上の距離をあけてください（下図参照）。
- 水平方向で使用する場合、スタンドには、専用スタンド SU-42FW/32FW（別売り）をご使用ください。
- 通電中は高温になる部分があり、やけどの原因となります。通電中やスタンバイにした直後は、本機の上面、後面には手を触れないでください。

スタンド（別売り）を使用する場合

前面



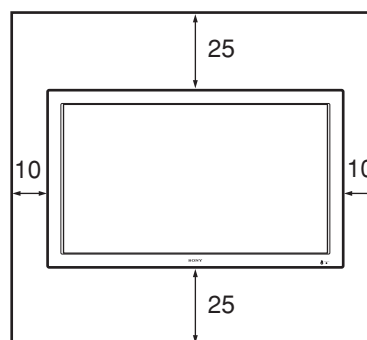
側面



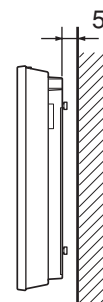
単位: cm

水平方向で使用する場合

前面



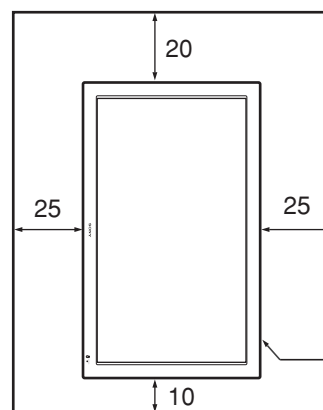
側面



単位: cm

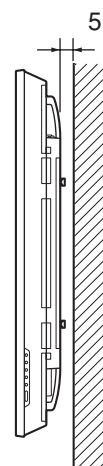
垂直方向で使用する場合

前面



設置の際は、必ず
⏻POWER（パワー）
スイッチを下にしてく
ださい。

側面



単位: cm

ご注意

本体を垂直方向で使用するときは、オプションスピーカー SS-SP40FW/32FW（別売り）は使用できません。

接続

接続上のご注意

- 各機器の電源を切ってから接続を行ってください。
- 接続ケーブルはそれぞれの端子の形状に合った正しいものをお選びください。
- プラグはしっかり差し込んでください。接続が悪いとノイズの原因となります。
- コードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。
- 接続の詳細については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 電源コードのプラグは、AC INソケットに、まっすぐ突き当たるまで差し込んでください。
- 付属のACプラグホルダーは、使用する電源コードのプラグが確実に固定できる方を選んでお使いください。

電源コードをはずすには

ACプラグホルダーのつまめをはさみ、ロックを解除してからプラグをつかみ、電源コードをはずしてください。

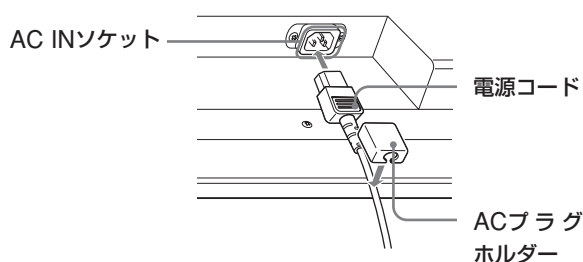
スピーカーの接続

別売りのスピーカー（SS-SP40FW/32FW）を接続して、より臨場感あふれる映像をお楽しみいただけます。スピーカーの接続について詳しくは、スピーカーに付属の取扱説明書をご覧の上、正しく接続してください。

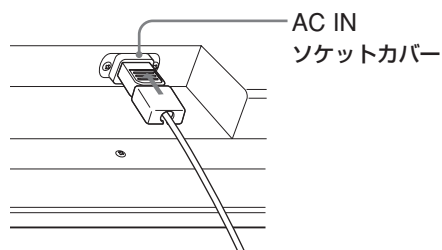
また、スピーカーコードのまとめ方は、この取扱説明書の「ケーブルホルダーを使う」（17（JP）ページ）をご覧ください。

電源コードの接続

- 1 電源コードを下面のAC INソケットに差し込み、ACプラグホルダー（付属）を電源コードに取り付ける。

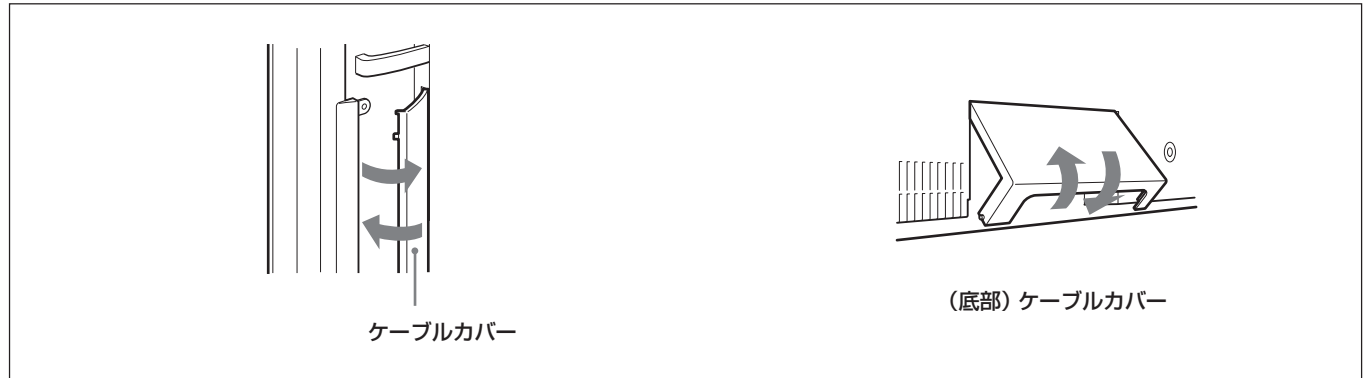


- 2 ACプラグホルダーをスライドさせて、本体側のAC INソケットカバーにはめ込む。



ケーブルを処理する

本機には、背面をすっきり見せるためにケーブルカバーが取り付けられています。ケーブル類を接続する前に、ケーブルカバーを手前に引いて開けてから接続してください。すべてのケーブルを取り付けた後に、ケーブルカバーを閉めてください。

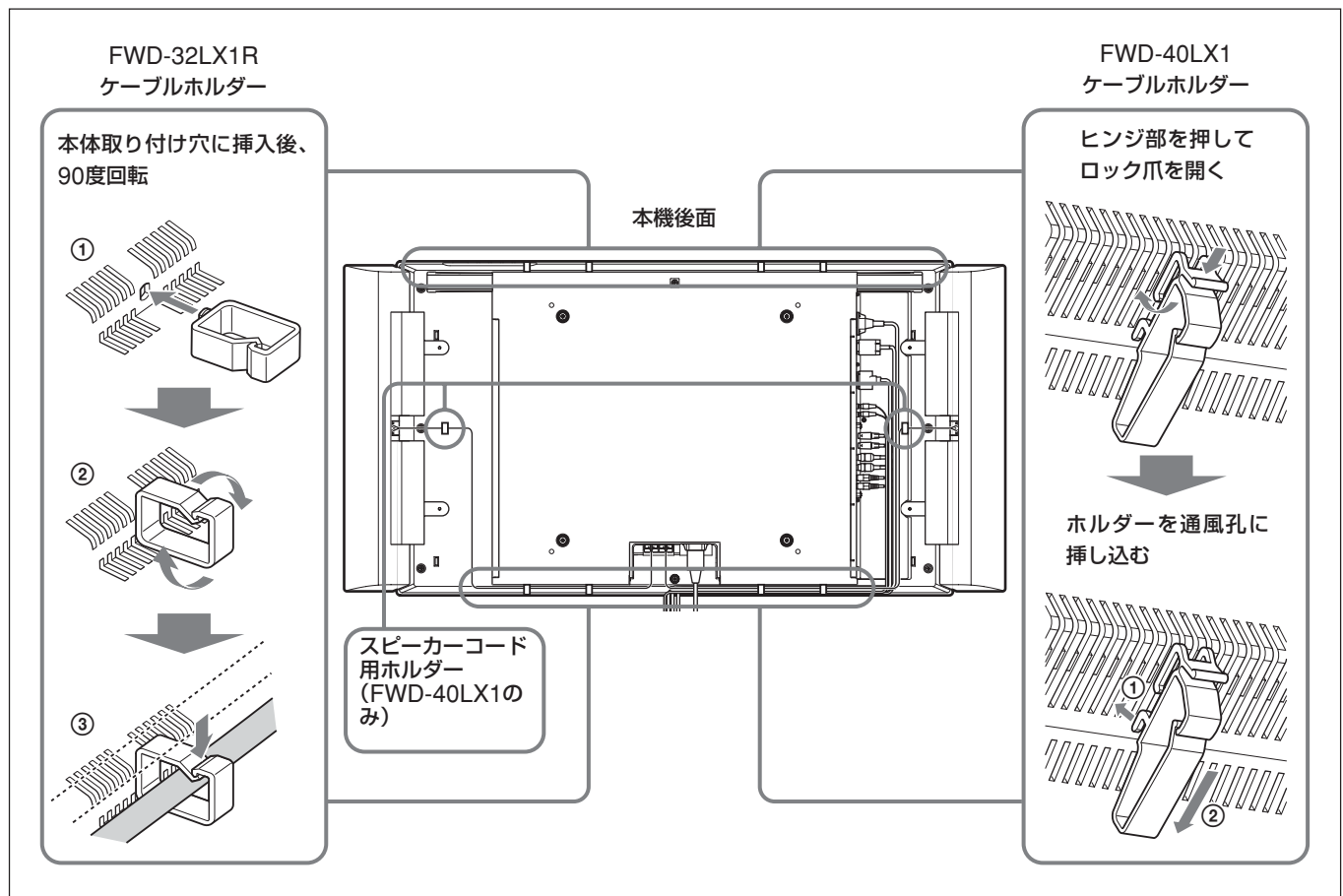


ケーブルホルダーを使う

付属のケーブルホルダー（FWD-40LX1は4個、FWD-32LX1Rは6個）を使って、ケーブル類をすっきりまとめることができます。FWD-40LX1は、ケーブルホルダーを3列連続で空いている通風孔に取り付けます。FWD-32LX1Rは、取り付け用の穴の8ヶ所の

うち、任意の6ヶ所を使います。ケーブルホルダーは、以下のように取り付けます。

別売りのスピーカー（SS-SP40FW）を接続したときは、スピーカーコードをディスプレイ後面のスピーカーコード用ホルダーに通してください。（FWD-40LX1のみ）

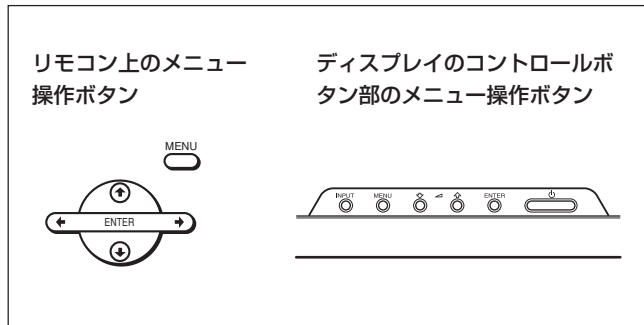


メニューで行う調整と設定

メニューの操作

メニュー操作ボタン

メニューは、リモコンまたはディスプレイ本体のコントロールボタン部のメニュー操作ボタンを使って操作します。



この取扱説明書ではリモコンを使って操作の説明をしています。リモコンの↑/↓ボタンおよびENTERボタンは本体の↑/↓ボタンおよびENTERボタンと、同じ働きをします。

ご注意

本体には←/→ボタンがないため、一部操作が異なる部分があります。

メニューの操作方法

- 1 MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



- 2 ↑/↓ボタンでカーソル（黄色）を動かして、メインメニューを決め、ENTER ボタンを押す。
次のメニューにカーソルが移動します。
- 3 ↑/↓ボタンでカーソル（黄色）を動かして、設定する項目を決め、ENTER ボタンを押す。
それぞれの項目の設定画面が表示されます。
さらに次のメニューが表示された場合は、同様に設定する項目を選びます。

- 4 ↑/↓ボタンで設定や調整値を選び、ENTER ボタンを押す。
設定が決まり、元のメニューに戻ります。

メニューの操作を終了し、通常の画面に戻るには、MENU ボタンを押します。

ひとつ前の階層に戻るには、↑/↓ボタンでカーソルを動かして↶を選びENTER ボタンを押すか、← ボタンを押します。

メニュー表示言語を切り換えるには

メニュー画面やメッセージの表示言語を6か国語の中から好きな言語に切り換えることができます。

工場出荷時は「ENGLISH」（英語）に設定されています。

- ◆ 表示言語の切り換えについて詳しくは、「メニュー表示の言語を選ぶ」（37（JP）ページ）をご覧ください。

メニューの説明

ご注意

入力信号や設定によって選択や調整ができない項目の文字はグレーになります。

画質／音質調整メニュー

ディスプレイに表示される映像の画質と音質を調整するメニューです。



画質モード

周囲の明るさや絵柄に合った画質モードを設定します。

- ◆ 画質モードについて詳しくは、「画質を選ぶ」（25（JP）ページ）をご覧ください。

画質調整

画像を信号処理により調整するメニューです。

画質モードが「ユーザー1～3」のとき、好みの画質に調整することができます。

ご注意

画質モードが「ダイナミック」「スタンダード」のときは調整できません。

- ◆ 画質調整について詳しくは、「画質を調整する」(25 (JP) ページ) をご覧ください。

音質調整

音質を信号処理により調整するメニューです。

画質モードが「ユーザー1～3」のとき、好みの音質に調整することができます。

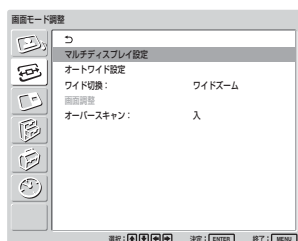
ご注意

画質モードが「ダイナミック」「スタンダード」のときは調整できません。

- ◆ 音質調整について詳しくは、「音質を調整する」(36 (JP) ページ) をご覧ください。

画面モード調整メニュー

画像のサイズや位置を調整するメニューです。



マルチディスプレイ設定

本機を2×2や3×3など、複数台接続してビデオウォールなどを構成するための各種設定を行います。

- ◆ マルチディスプレイ設定について詳しくは、「マルチディスプレイの設定をする」(35 (JP) ページ) をご覧ください。

オートワイド設定

オートワイド機能を設定するメニューです。オートワイド機能とは、通常のテレビ放送やワイドクリアビジョン、ワイドスクリーン画像など、横縦比の異なる映像の種類に対して最適なワイド切換を選び、横縦比16:9のワイド画面いっぱいに自動的に画像を拡大する機能です。

- ◆ オートワイドについて詳しくは、「オートワイドを設定する」(29 (JP) ページ) をご覧ください。

ワイド切換

映像のサイズや種類に合わせてワイド表示を切り換えます。

- ◆ ワイド切換について詳しくは、「ワイド切換を設定する」(30 (JP) ページ) をご覧ください。

画面調整

画像のサイズや位置、ドットを調整するメニューです。

- ◆ 画面調整について詳しくは、「画像のサイズや位置を調整する」(31 (JP) ページ) をご覧ください。

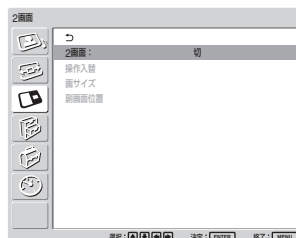
オーバースキャン

RGBモード (20 (JP) ページ) がDTVに設定されているときに切り換えができます。

入にすると、オーバースキャンして画像を表示します。

2画面メニュー

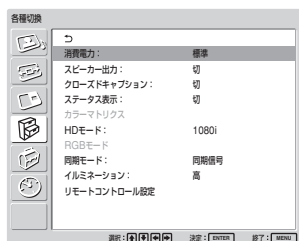
パソコンの映像とビデオの映像など、2種類の映像を同時に表示させることができます。



- ◆ 2画面機能について詳しくは、「2つの画面を表示させる」(33 (JP) ページ) をご覧下さい。

各種切替メニュー

消費電力を減らしたり、各種モードを設定したりするメニューです。



消費電力

節電しながら画面を表示することができます。

標準：節電しない

減：節電する

消費電力：減にすると、画面の明るさを下げて、節電しながら見るができます。

ご注意

- 「消費電力：減」のときに電源を切ると、次に電源を入れたときも「消費電力：減」のままになります。
- 画質モードで「ユーザー1～3」を選んでいるときは、「消費電力：減」でも、画質を調整できます。ただし、コントラストや明るさを上げると節電にならなくなる場合があります。

スピーカー出力

入にすると、スピーカー (SS-SP40FW/32FW、別売り) から音が出ます。

切にすると、音量調整はできません。操作したときは、が表示されます。

クローズドキャプション

字幕を画面に表示したいときに使用します。

2画面表示をしているとき、Component + Component の組み合わせでは、BKM-FW11またはBKMFW12のみ、クローズドキャプションの表示ができます。

切：字幕を表示しない

CC1～4：画像に重ねて字幕を表示する

ステータス表示

入にすると、ディスプレイの電源投入時や入力信号が切り換わったとき、入力されている信号の種類と画質モードを約5秒間画面に表示します。

カラーマトリクス

接続している機器からのコンポーネント信号入力時の映像が自然な色あいになるように設定します。

- ◆ カラーマトリクスについて詳しくは、「カラーマトリクスを調整する」(38 (JP) ページ) をご覧ください。

HDモード

入力されるHDアナログコンポーネント信号によってモードを設定します。

1080i：1080iの信号を受ける場合

1035i：1035iの信号を受ける場合

RGBモード

RGB信号を出力する機器を接続しているときに、モードを設定します。

DTV：RGB信号のデジタルチューナーなどを接続している場合

PC：パソコンを接続している場合

同期モード

INPUT2 RGB/COMPONENT端子の13番ピンに入力される信号によって、モードを設定します。設定できる信号は、575/50I、480/60Iのみです。

同期信号：水平信号が入力される場合

映像信号：映像信号が入力される場合

入力信号と同期モードの設定

PIN	D-sub入力信号	同期モード選択
13	480/60I、575/50Iの Composite Video	映像信号
13/14	H Sync/V Sync	同期信号
2	Sync On Green	

- ◆ RGB/COMPONENT端子のピン配列については、「ピン配列」(47 (JP) ページ) をご覧ください。

ご注意

- 「同期信号」しか選べない入力があります。この場合は13ピンに「映像信号」を入力しても画像は表示されません。水平・垂直同期信号を13、14ピンに入力するか、Sync On Green信号をRGBに入力してください。
- Sync On Greenでは同期信号に設定しないと画像が表示されません。
- 同期モードの映像信号に対応できるのはINPUT2のみです。
- オプションボード入力では、同期モードの設定はできません。
- 本機はコンポジットシンクおよび576/60Pの3値シンクには対応していません。

イルミネーション

ディスプレイ前面の「SONY」マークの明るさを切り換えます。

リモートコントロール設定

リモコンの操作に関する設定を行います。

インデックス番号

ディスプレイ本体のインデックス番号を設定します。

ご注意

この項目を設定する場合は、ディスプレイ本体のボタンを使用してください。リモコンでは設定できません。

- ◆ インデックス番号について詳しくは、「特定のディスプレイをリモコンで操作する」(43 (JP) ページ) をご覧ください。

コントロールモード

リモートコントロールのモードを切り換えます。

本体+リモコン: ディスプレイに付属しているリモコンから操作するとき。

本体のみ: リモコンから操作しないとき。(リモコンからは操作できなくなります。ディスプレイ本体のボタンからのみ設定できます。)

リモコンのみ: 本体から操作しないとき。(本体からは操作できなくなります。リモコンからのみ設定できます。)

ご注意

この項目を設定するときは、使っている操作ボタンによって選べるモードが変わります。

リモコンのENTERボタンを使って設定するときは、「本体+リモコン」と「リモコンのみ」が選べます。

本体のENTERボタンを使って設定するときは「本体+リモコン」と「本体のみ」が選べます。

初期設定/インフォメーションメニュー

メニュー表示の言語や映像ソースを選んだり、セキュリティロックを設定したりするメニューです。



ご注意

「IP Address Setup」と「Speed Setup」はBKM-FW32/BKM-FW50など通信機能をもつオプションアダプターがOPTION 1スロットに装着されているときのみ表示されます。

言語

メニューを表示する言語を日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語から選びます。

- ◆ 言語について詳しくは、「メニュー表示の言語を選ぶ」(37 (JP) ページ) をご覧ください。

カラー方式

ビデオ信号のカラー方式を選びます。

自動: カラー方式を自動で設定します。

NTSC: NTSCの映像を見る場合

NTSC4.43: NTSC4.43の映像を見る場合

PAL: PALの映像を見る場合

SECAM: SECAMの映像を見る場合

PAL-M: PAL-Mの映像を見る場合

PAL-N: PAL-Nの映像を見る場合

PAL60: PAL60の映像を見る場合

オートシャットオフ

「入」にすると、コンポーネント入力、VIDEO入力に信号が入力されない状態が約5分続くと、本機は自動的にスタンバイ状態になります。スタンバイ状態のときはPOWER (パワー) スイッチまたはリモコンのPOWER ONスイッチを押すと、電源が入ります。DVI入力、RGB入力に信号が入力されない状態が約30秒続くと、自動的にパワーセービング状態になります。

パワーセービング状態のときは、信号が入力されると自動的に電源が入ります。

セキュリティロック

本機にセキュリティロックを設定します。

切: ロックはかかりません。

入: 「入」にし、パスワードを設定すると、ロックがかかります。

- ◆ 詳しくは「セキュリティロックをかける」(40 (JP) ページ) をご覧ください。

メニューで行う調整と設定

インフォメーション

ディスプレイ本体の内部状態を表示します。



ご注意

「IP Address」はBKM-FW32/BKM-FW50など通信機能のあるオプションアダプターがOPTION 1スロットに装着されているときのみ表示されます。

機種名

機種名を表示します。

シリアル番号

シリアル番号を表示します。

累積通電時間

電源を入れていた累積通電時間を1時間単位で表示します。

ご注意

スタンバイ状態は累積通電時間に含まれません。

ソフトウェアバージョン

システムソフトウェアのバージョンを表示します。

オールリセット

すべての調整値と設定値を工場出荷状態にリセットします。

ご注意

インデックス番号はリセットされません。

IP Address Setup (IPアドレス設定)

本機と通信機能を持つオプションアダプター (BKM-FW32、BKM-FW50など) の間で通信を行うためのIPアドレスを設定します。

DHCP : IPアドレスを自動取得する。

Manual : IPアドレスをマニュアルで設定する。

◆ 詳しくは「IPアドレスおよび通信速度を設定する」(41 (JP) ページ) をご覧ください。

Speed Setup (通信速度設定)

本機と通信機能を持つオプションアダプター (BKM-FW32、BKM-FW50など) の間の通信速度を設定します。

◆ 詳しくは「IPアドレスおよび通信速度を設定する」(41 (JP) ページ) をご覧ください。

⌚ タイマー／時計設定メニュー

時刻やタイマーの設定、時刻の表示、電源入／切の管理を設定するメニューです。



ご注意

工場出荷状態では、時刻と曜日は設定されていません。

時刻設定

時刻と曜日を設定するときに使用します。

◆ 時刻設定について詳しくは、「時刻と曜日を設定する」(38 (JP) ページ) をご覧ください。

時計表示

入にすると画面に設定した時刻が表示されます。

◆ 時計表示について詳しくは、「時計を表示する」(39 (JP) ページ) をご覧ください。

電源タイマー

時間を自由に設定して、自動的に電源を入／切するようにします。

◆ 電源タイマーについて詳しくは、「電源タイマー機能」(39 (JP) ページ) をご覧ください。

画像を見る

準備

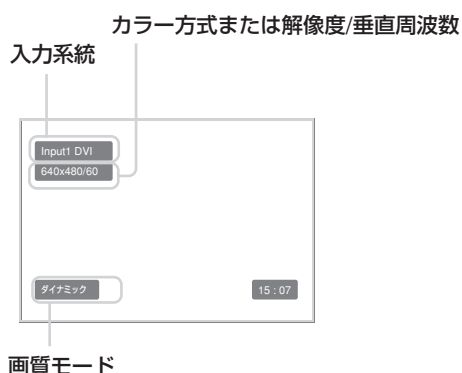
- ディスプレイの電源を入れておきます。
- 接続した機器の電源を入れ、映像ソースを再生します。
- 電源投入時または入力切り換え時に入力信号の種類と画質モードを画面に表示させたいときは、各種切換メニューの「ステータス表示」を入にしておきます。
- メニュー表示は日本語以外の言語にすることもできます。
 - ◆ 詳しくは、「メニュー表示の言語を選ぶ」(37 (JP) ページ) をご覧ください。

入力信号を切り換える

- Input1 DVI : INPUT1端子に接続した機器の入力信号 (デジタル RGB 信号) を選ぶ場合。
- Input2 RGB : INPUT2端子に接続した機器の入力信号 (アナログ RGB 信号) を選ぶ場合。
- Input2 Component : INPUT2端子に接続した機器の入力信号 (コンポーネント信号) を選ぶ場合。
- Option1/2 Video : OPTION1または2スロットに接続した機器の入力信号 (ビデオ信号) を選ぶ場合。
- Option1/2 S Video : OPTION1または2スロットに接続した機器の入力信号 (Sビデオ信号) を選ぶ場合。
- Option1/2 RGB : OPTION1または2スロットに接続した機器の入力信号 (アナログ RGB 信号) を選ぶ場合。
- Option1/2 Component : OPTION1または2スロットに接続した機器の入力信号 (コンポーネント信号) を選ぶ場合。

リモコンのINPUT1、INPUT2、OPTION1、OPTION2ボタンを押して、入力を切り換えます。選んだ入力に複数のフォーマットを接続できるときは、ボタンを押すたびに表示が切り換わります。

例) INPUT2ボタンを押すたびに、「Input2 RGB」、「Input2 Component」に切り換わる。選んだ入力信号は、ディスプレイ画面に表示されます。



本体のINPUTボタンで入力を切り換えることもできます。

ご注意

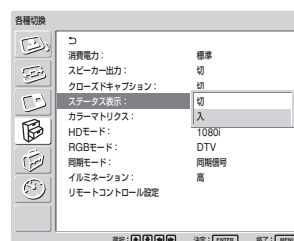
ディスプレイへのビデオ入力信号は、TBC (タイムベースコレクター) 付きの入力ソース機器からの入力をおすすめします。TBC のかかっていない信号を入力すると、同期の乱れにより映像が消えることがあります。

入力信号と画質モードの情報とディスプレイの設定状態の表示について

入力信号と画質モードの情報は、電源投入時に約20秒、入力切り換え時に約5秒表示されます。

情報を画面に表示しないようにするときは、以下の手順に従って設定してください。

- 各種切換メニューから、↑/↓ボタンで「ステータス表示」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- ↑/↓ボタンで「ステータス表示」を切にし、ENTERボタンを押す。

ステータス表示させるには

手順2で「ステータス表示」を入にし、ENTERボタンを押します。(工場出荷時は入に設定されています。)

ご注意

本機に付属しているリモコンのDISPLAYボタンを押して、いつでも必要ときに入力信号の情報および画質モードを表示することもできます。

入力プリセット信号			
	信号名称	カラー方式または水平／ 垂直周波数表示	
コンピューター信号			
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31.5 kHz	70 Hz
2	640×480@60 Hz (VESA ^{b)} STD)	31.5 kHz	60 Hz
3	Mac ^{c)} 13"	35.0 kHz	67 Hz
4	VGA (VGA TEXT)	31.5 kHz	70 Hz
5	800×600@60 Hz (VESA STD)	37.9 kHz	60 Hz
6	Mac 16"	49.7 kHz	75 Hz
7	1024×768@60 Hz (VESA STD)	48.4 kHz	60 Hz
8	1024×768@75 Hz (VESA STD)	60.0 kHz	75 Hz
9	1024×768@85 Hz (VESA STD)	68.7 kHz	85 Hz
10	1152×864@75 Hz (VESA STD)	67.5 kHz	75 Hz
11	Mac 21"	68.7 kHz	75 Hz
12	1280×960@60 Hz (VESA STD)	60.0 kHz	60 Hz
13	1280×1024@60 Hz (VESA STD)	64.0 kHz	60 Hz
14	1600×1200@60 Hz (VESA STD)	75.0 kHz	60 Hz
15	848×480@60 Hz (VESA STD)	29.8 kHz	60 Hz
16	848×480@60 Hz (VESA STD)	29.5 kHz	60 Hz
17	848×480@75 Hz	37.7 kHz	75 Hz
18	1280×768@60 Hz	47.8 kHz	60 Hz
19	1280×768@60 Hz	47.4 kHz	60 Hz
SDTV/HDTV			
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	
16	720/50p	720/50P	

- a) VGAは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
b) VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。
c) Mac (Macintosh) はApple Computer, Inc.の登録商標です。

ご注意

- HDTV信号を入力する場合、同期信号は3値同期信号をINPUT2、BKM-FW12のRGB/COMPONENT端子 (D-sub 15ピンコネクター) の2番ピンに入力してください。
- 本機でDVD信号を入力した場合、画像の色を薄く感じたら、画質調整メニューの「色の濃さ」でお好みの色の濃さに調整してください。
- 位相を再調整すると解像度が低下します。

入力信号／ディスプレイ設定情報の画面表示

画面表示	意味
640×480 / 60 (例)	コンピューター信号が入力されています。
480 / 60i (例)	コンポーネント信号が入力されています。
NTSC (例)	NTSC信号が入力されています。
標準信号ではありません	標準信号でない信号が入力されています。
信号が入力されていません	入力信号がありません。
INPUT1 DVI	INPUT1端子の入力モードはデジタルRGBです。
INPUT2 RGB	INPUT2端子の入力モードはアナログRGBです。
INPUT2 Component	INPUT2端子の入力モードはコンポーネントビデオです。
Option1/2 Video	OPTION1または2スロットの入力端子の入力モードはコンポジットビデオです。
Option1/2 S Video	OPTION1または2スロットの入力端子の入力モードはSビデオです。
Option1/2 RGB	OPTION1または2スロットの入力端子の入力モードはアナログRGBです。
Option1/2 Component	OPTION1または2スロットの入力端子の入力モードはコンポーネントビデオです。

画質を選ぶ

映像の種類や周囲の明るさに合わせて画質を選ぶことができます。

- 1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



- 2 ↑/↓ボタンで「画質/音質」を選び、ENTERボタンを押す。
画質/音質調整メニューが表示されます。



- 3 ↑/↓ボタンで「画質モード」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 4 ↑/↓ボタンで画質を選ぶ。
ダイナミック: 映像の輪郭とコントラストを最大限に上げた、メリハリの強い画質になります。
スタンダード: 適度なコントラストと輪郭強調によりきめ細かい質感のあるリアルな画質になります。
ユーザー1～3: 画質調整メニューからお好みの画質を自由に設定できます。

- 5 ENTERボタンを押すと、画質/音質調整メニューに戻ります。

画質を調整する

画像を見ながら、コントラスト、明るさ、色の濃さ、色あいなどを調整することができます。また、入力信号ごとに調整を行い、調整値をメモリーすることができます。

画質モードを「ユーザー1～3」のいずれかにしてください。

コントラスト、明るさ、色の濃さ、色あいなどを調整する

MENUボタンを押してメインメニューを表示し、画質調整メニューから調整したい項目に応じて、「バックライト輝度」、「コントラスト」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」、「NR（ノイズリダクション）」、「シネマドライブ」、「ダイナミックピクチャー」、「色温度」、「色補正」、「ガンマ補正」を調整します。

バックライト輝度

↑/↓ボタンで「バックライト輝度」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンでバックライト輝度を調整し、ENTERボタンを押す。

最小（0）～最大（100）の範囲で設定できます。

↑/→：バックライト輝度が明るくなる

↓/←：バックライト輝度が暗くなる

2画面表示のときは、両画面ともに調整されます。

コントラスト

↑/↓ボタンで「コントラスト」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンでコントラストを調整し、ENTERボタンを押す。

最小（0）～最大（100）の範囲で設定できます。

↑/→：コントラストが強くなる

↓/←：コントラストが弱くなる

2画面表示のときは、操作可能画面が調整され、調整範囲は制限されています。

明るさ

↑/↓ボタンで「明るさ」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで画像の明るさを調整し、ENTERボタンを押す。

最小（0）～最大（100）の範囲で設定できます。

↑/→：画像が明るくなる

↓/←：画像が暗くなる

2画面表示のときは、操作可能画面が調整され、調整範囲は制限されています。

色の濃さ

↑/↓ボタンで「色の濃さ」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンでクロマを調整し、ENTERボタンを押す。

最小 (0) ～最大 (100) の範囲で設定できます。

↑/→：色が濃くなる

↓/←：色が薄くなる

2画面表示のときは、操作可能画面が調整されます。

色あい

↑/↓ボタンで「色あい」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで色あいを調整し、ENTERボタンを押す。

左 (50) ～右 (50) の範囲で設定できます。

↑/→：画像が緑がかる

↓/←：画像が赤みがかる

2画面表示のときは、操作可能画面が調整されます。

シャープネス

↑/↓ボタンで「シャープネス」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで画像のシャープネスを調整し、ENTERボタンを押す。

最小 (0) ～最大 (10) の範囲で設定できます。

↑/→：画像をくっきりと表示する

↓/←：画像をやわらかく表示する

2画面表示のときは、両画面が調整されます。

NR (ノイズリダクション)

映像のざらつきや色ノイズを軽減することができます。

- 1 ↑/↓ボタンで「NR」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2 ↑/↓ボタンでNRのモードを選ぶ。
切：映像信号をそのまま表示する
低：NR処理を弱く設定するとき
中：NR処理を中程度に設定するとき
高：NR処理を強く設定するとき

- 3 ENTERボタンを押すと、画質調整メニューに戻ります。
2画面表示のときは、両画面が調整されます。

シネマドライブ

フィルム (24コマ) で撮影された映像を自動検出し、フィルム映像特有の滑らかな動きのある映像を再現することができます。

- 1 ↑/↓ボタンで「シネマドライブ」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2 ↑/↓ボタンでシネマドライブのモードを選び、ENTERボタンを押す。
切：映像信号をそのまま表示する
自動：フィルム映像に最適な信号処理を行う
2画面表示のときは、操作可能画面が調整されます。

ダイナミックピクチャー

白をより白く、黒をより黒くしてコントラストを強めます。

- 1 ↑/↓ボタンで「ダイナミックピクチャー」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2 ↑/↓ボタンでダイナミックピクチャーのモードを選ぶ。
切：ダイナミックピクチャー機能を使わない
弱：ダイナミックピクチャー機能を弱で使う
強：ダイナミックピクチャー機能を強で使う
- 3 ENTERボタンを押すと、画質調整メニューに戻ります。
2画面表示のときは、両画面が調整されます。

色温度

色温度を設定します。「高」「中」「低」のほか、各ゲインを好みに合わせて細かく調整することもできます。調整した色温度は、3つまで登録できます。

1 ↑/↓ ボタンで「色温度」を選び、ENTER ボタンを押す。

2 ↑/↓ ボタンで色温度を選び、ENTER ボタンを押す。

高：色温度を高く設定するとき

中：色温度を中程度に設定するとき

低：色温度を低く設定するとき

Color1～3：各ゲインを細かく設定するとき

「高」「中」「低」を選んだ場合には、画質調整メニューに戻ります。

「Color1～3」を選んだ場合

(1) ↑/↓ ボタンで設定したいゲインを選び、ENTER ボタンを押す。

(2) ↑/↓/←/→ ボタンでゲインを調整し (0～100)、ENTER ボタンを押す。

色温度メニュー画面に戻ります。

2画面表示のときは、両画面が調整されます。

ガンマ補正

映像の明暗部分のバランスを自動的に調整することができます。

1 ↑/↓ ボタンで「ガンマ補正」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ↑/↓ ボタンでガンマ補正のモードを選ぶ。

高：ガンマ補正を強くかけるとき

中：ガンマ補正を中程度にかけるとき

低：ガンマ補正を弱くかけるとき

3 ENTER ボタンを押すと、画質調整メニューに戻ります。
2画面表示のときは、両画面が調整されます。

色補正

美しく健康的な色を再現することができます。

1 ↑/↓ ボタンで「色補正」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 ↑/↓ ボタンで色補正のモードを選び、ENTER ボタンを押す。

切：色補正をかけない

入：色補正をかける

2画面表示のときは、操作可能画面が調整されます。

調整した画質を出荷時の設定値に戻す

- 1 画質調整メニューから、↑/↓ボタンで「標準」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2 ↑/↓ボタンで「実行」を選び、ENTERボタンを押す。
画質調整メニューの項目が工場出荷時の設定に戻ります。

ご注意

色温度のColor1～3の設定値はクリアされません。
また、2画面表示のときは「バックライト」「明るさ」と「コントラスト」の設定値もクリアされません。

リセットを中止するには

ENTERボタンを押す前にMENUボタンを押してください。または、↑/↓ボタンで「取消」を選びENTERボタンを押してください。

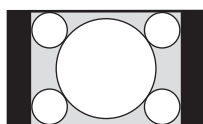
映像を拡大する

映像の種類に合わせて画面いっぱいに拡大表示することができます。

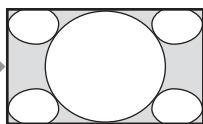
ワイドモードには以下の種類があります。

オリジナルの映像 (映像の種類)

拡大した映像

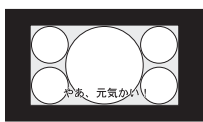


ワイド
ズーム

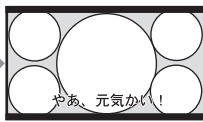


- 通常の4:3映像 (画面横縦比 4:3)

違和感少なく画面いっぱいに拡大します。



ズーム

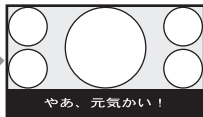


- 横縦比情報の入ったビデオカメラやDVDソフトなどの映像 (ID-1 方式)

画面の左右に合わせていっぱいに拡大します。(映像の種類によって、上下に黒い帯が残ることがあります。)

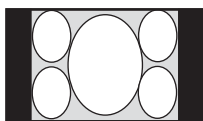


字幕入

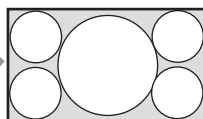


- シネマビジョンなど映像の外に字幕のある横長の映画 (横縦比 2.35:1)

画面の左右に合わせていっぱいに拡大しながら、字幕部分も画面に入れます。

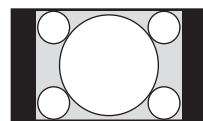


フル

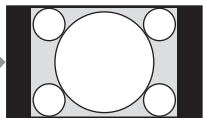


- 横縦比情報の入ったビデオカメラやDVDソフトなどの映像 (ID-1 方式)

天地はそのまま、左右を画面いっぱいに引き伸ばします。



ノーマル



- 通常の4:3映像 (画面横縦比 4:3)

拡大せずに、横縦比 4:3 のままの映像になります。

オートワイドを設定する

映像を判別するための識別制御信号が送られています。オートワイド機能は、識別制御信号に基づいて映像を忠実に再現したり、拡大表示することができます。

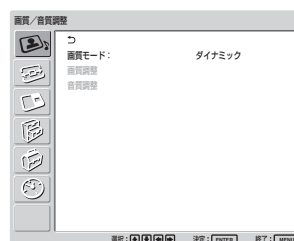
また、横縦比が 4:3 の映像を横縦比 16:9 に拡大して表示することもできます。

識別制御信号とは

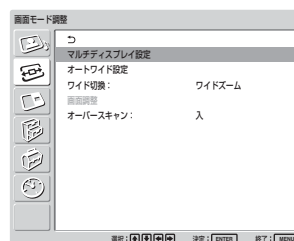
オリジナル映像の横縦比をテレビで忠実に再現するためのコントロール信号です。この信号を含む映像には以下のものがあります。

- 横縦比情報の入ったビデオカメラなどの記録映像 (ID-1 方式)

- 1 MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



- 2 ↑/↓ ボタンで「画面モード調整」を選び、ENTER ボタンを押す。
画面モード調整メニューが表示されます。



- 3 ↑/↓ ボタンで「オートワイド設定」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 4** ↑/↓ボタンで「オートワイド」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 5** ↑/↓ボタンでオートワイドの設定を選ぶ。
切：映像をそのまま表示する
入：最適な横縦比に拡大して映像を表示する

- 6** ENTERボタンを押す。
3の画面に戻ります。

- 7** ↑/↓ボタンで「4:3映像」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 8** ↑/↓ボタンで4:3映像のモードを選ぶ。
ノーマル：4:3の映像をそのまま表示する
ワイドズーム：4:3の映像を16:9に拡大して表示する

- 9** ENTERボタンを押す。
オートワイド設定に戻ります。

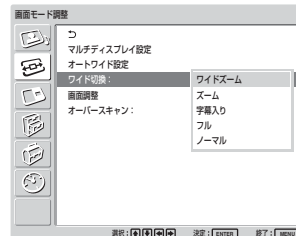
ご注意

- ・DVI入力やRGB入力のときは、オートワイド機能が働かないため、オートワイドの設定もできません。
- ・2画面表示のとき、Component + Componentの組み合わせでは、BKM-FW11またはBKM-FW12のみ、オートワイド機能が働きます。

ワイド切換を設定する

映像の種類に関係なく、好きなワイドモードで画面を拡大表示することができます。

- 1** 画面モード調整メニューから、↑/↓ボタンで「ワイド切換」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2** ↑/↓ボタンでワイドモードを選ぶ。
ワイドズーム：4:3の映像を16:9に画面いっぱいに拡大する
ズーム：画面の左右に合わせていっぱいに拡大する（映像の種類によっては上下に黒い帯が残ることがあります。）
字幕入り：画面の左右に合わせていっぱいに拡大し、字幕部分のみを圧縮して表示する
フル：天地をそのままにして、映像の左右を画面いっぱいに引き伸ばす
ノーマル：拡大せずにそのまま表示する

- 3** ENTERボタンを押す。
画面モード調整メニューに戻ります。

ご注意

- ・2画面、マルチディスプレイ時にはワイド切換を設定できません。
- ・ワイド切換を設定すると、オートワイド機能が働きません。オートワイド機能を使いたい場合は、「入」に再設定してください。
- ・映像の種類やサイズによっては、画面の上下が欠けたり、字幕が入りきらない場合があります。そのような場合は、画像のサイズや位置を調整してください。
- ・本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、ワイド切換機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ・本機は、各種のワイド切換機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、ワイド切換をお選びください。

画像のサイズや位置を調整する

画像の大きさや位置がディスプレイ画面に合っていないときは、位置を調整したり、縦・横方向に画像のサイズを変えたりすることができます。

画像のサイズ、位置、ドット位相などを調整する

MENU ボタンを押してメインメニューを表示し、画面調整から調整したい項目に応じて、「ドット位相」、「水平総ドット数」、「水平サイズ」、「水平位置」、「垂直サイズ」、「垂直位置」を調整します。

画面調整

文字や縦線のエッジにちりちりとしたノイズが多いときや、画面サイズ、位置が不適切なときに画面調整を行います。

- 1 ↑/↓ ボタンで「画面調整」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2 画面調整には、自動調整と手動調整の2通りがあります。

自動調整する場合

- (1) ↑/↓ ボタンで「自動調整」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- (2) ↑/↓ ボタンで「実行」を選び、ENTER ボタンを押す。
自動的に画面調整の項目すべてが調整されます。

ご注意

絵柄によっては自動調整でもノイズが消えないときがあります。この場合は手動調整をしてください。

手動調整する場合

- (1) ↑/↓ ボタンで調整したい項目を選び、ENTER ボタンを押す。

以下の画面が表示されます。('ドット位相'を選んだ場合)



- (2) ↑/↓/←/→ ボタンで調整し、ENTER ボタンを押す。

ドット位相

↑/↓ ボタンで「ドット位相」を選び、ENTER ボタンを押し、↑/↓/←/→ ボタンで文字や縦線が最もきれいに見える状態に調整し、ENTER ボタンを押す。

ご注意

アナログのコンピューター信号に対してのみ有効です。

水平総ドット数

↑/↓ ボタンで「水平総ドット数」を選び、ENTER ボタンを押し、↑/↓/←/→ ボタンで文字や縦線が最もきれいに見える状態に調整し、ENTER ボタンを押す。(手動調整した値を基準に、再自動調整がおこなわれます。)

ご注意

アナログのコンピューター信号に対してのみ有効です。

水平サイズ

↑/↓ ボタンで「水平サイズ」を選び、ENTER ボタンを押し、↑/↓/←/→ ボタンで水平サイズを調整し、ENTER ボタンを押す。

最小 (0) ~ 最大 (100) の範囲で設定できます。

↑/→ : 水平方向にサイズが大きくなる

↓/← : 水平方向にサイズが小さくなる

水平サイズをセンター値に戻したいときは、自動調整をおこなってください。

水平位置

↑/↓ボタンで「水平位置」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで水平位置を調整し、ENTERボタンを押す。

最小（0）～最大（100）の範囲で設定できます。

↑/→：画像が右に動く

↓/←：画像が左に動く

水平位置をセンター値に戻したいときは、自動調整をおこなってください。

垂直サイズ

↑/↓ボタンで「垂直サイズ」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで垂直サイズを調整し、ENTERボタンを押す。

最小（0）～最大（100）の範囲で設定できます。

↑/→：垂直方向にサイズが大きくなる

↓/←：垂直方向にサイズが小さくなる

垂直サイズをセンター値に戻したいときは、自動調整をおこなってください。

垂直位置

↑/↓ボタンで「垂直位置」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで垂直位置を調整し、ENTERボタンを押す。

最小（0）～最大（100）の範囲で設定できます。

↑/→：画像が上に動く

↓/←：画像が下に動く

垂直位置をセンター値に戻したいときは、自動調整をおこなってください。

ご注意

「ワイド切換」で「ワイドズーム」に設定しているときは、画像サイズや位置の調整はできません。

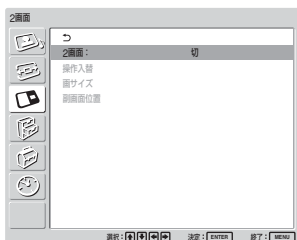
2つの画面を表示させる

パソコンの映像とビデオの映像など、2種類の映像を同時に表示させることができます。

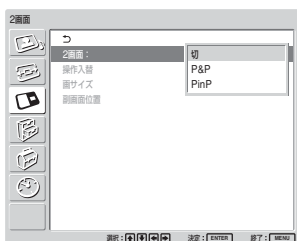
- 1 MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



- 2 ↑/↓ ボタンで「2画面」を選び、ENTER ボタンを押す。
2画面メニューが表示されます。



- 3 ↑/↓ ボタンで「2画面」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 4 ↑/↓ ボタンで2画面のモードを選ぶ。
切: 2画面表示しない
P&P: 2つの画面を左右に表示させる
PinP: 主画面の中に副画面を表示させる

- 5 ENTER ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

操作する画面を選んだり、画面の位置を入れ替える

P&Pのとき

- 1 ↑/↓ ボタンで「操作入替」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2 ↑/↓ ボタンで操作入替のモードを選び、ENTER ボタンを押す。
操作可能画面は、メニューを表示するとフレームが表示されます。

また、操作可能画面の音声が出力されます。

左操作: 左の画面が操作可能になる

右操作: 右の画面が操作可能になる

画面入替: 左右の画面が入れ替わる

メニューを表示していないときにリモコンの◀を押すと、左画面が操作可能に、▶を押すと、右画面が操作可能になります。

PinPのとき

- 1 ↑/↓ ボタンで「操作入替」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2 ↑/↓ ボタンで操作入替のモードを選び、ENTER ボタンを押す。
操作可能画面は、副画面が操作可能のときは、メニューを表示すると副画面にフレームが表示されます。主画面が操作可能なときは、フレームは表示されません。

また、操作可能画面の音声が出力されます。

主操作: 主画面が操作可能になる

副操作: 副画面が操作可能になる

画面入替: 主画面と副画面が入れ替わる

メニューを表示していないときに、リモコンの◀を押すと、主画面が操作可能に、▶を押すと、副画面が操作可能になります。

画面の大きさを変える

P&Pのとき

- 1 ↑/↓ ボタンで「画サイズ」を選び、ENTER ボタンを押す。
- 2 拡大したい方の画面が希望の大きさになるまで ←/→ ボタンを押しながら調整し、ENTER ボタンを押す。

PinPのとき

- 1 ↑/↓ ボタンで「副画面サイズ」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2 ↑/↓ ボタンで大きさを選んで、ENTER ボタンを押す。
大：副画面を大きくする
小：副画面を小さくする

副画面の位置を調整する (PinPのみ)

- 1 ↑/↓ ボタンで「副画面位置」を選び、ENTER ボタンを押す。



- 2 副画面を表示させたい位置を ↑/↓/←/→ ボタンで選び、ENTER ボタンを押す。

ご注意

- 2画面表示できるのは、「マルチディスプレイ」の設定が「切」のときのみです。
- 2画面設定のときは「明るさ」と「コントラスト」は、2画面でのバランス調整として働きます。
- 2画面機能は、以下の入力の組み合わせで選択できます。
- 右画面、副画面の入力系統は画面右上に表示されます。入力系統の下に操作可能な画面に対して、カラー方式または解像度/垂直周波数が表示されます。

PC (Digital)	+	PC (Analog)	PC	+	Video/S Video
Input1	+	Input2	Input1	+	BKM-FW10
Input1	+	BKM-FW12	Input2	+	BKM-FW10
Input1	+	BKM-FW11			
Input1	+	BKM-FW50			

PC	+	Component	PC (Analog)	+	Digital Video
Input1	+	BKM-FW11	Input2	+	Input1
Input1	+	Input2	BKM-FW12	+	Input1
Input2	+	BKM-FW11	BKM-FW11	+	Input1
Input1	+	BKM-FW12			
Input2	+	BKM-FW12			

Video/S video	+	Component	Component	+	Component (480iまで)
BKM-FW10	+	Input2*	Input2	+	BKM-FW11*
			Input2	+	BKM-FW12*

Digital Video	+	Component	Digital Video	+	Video/S video
Input1	+	BKM-FW11	Input1	+	BKM-FW10
Input1	+	Input2			
Input1	+	BKM-FW12			

推奨の組み合わせ

- * この組み合わせのときは、クローズドキャプションとオートワイド機能は、BKM-FW10、BKM-FW11またはBKM-FW12のみに働きます。
- 放送方式の異なる組み合わせの場合、動画表示に不具合の発生することがあります。

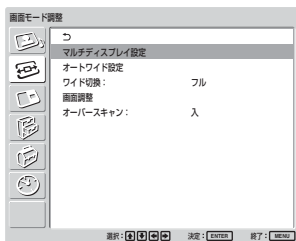
マルチディスプレイの設定をする

本機を複数台接続してビデオウォールなどを構成するための各種設定を行います。

- 1 MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



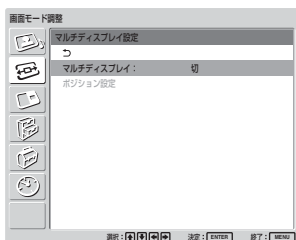
- 2 ↑/↓ ボタンで「画面モード調整」を選び、ENTER ボタンを押す。
画面モード調整メニューが表示されます。



ご注意

マルチディスプレイは、「ワイド切替」が「フル」の画像を拡大表示できます。

- 3 ↑/↓ ボタンで「マルチディスプレイ設定」を選び、ENTER ボタンを押す。
マルチディスプレイ設定メニューが表示されます。



- 4 ↑/↓ ボタンで「マルチディスプレイ」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 5 ↑/↓ ボタンで、ビデオウォールなどの構成に合うマルチディスプレイのモードを選ぶ。
切：1画面で見る。
2×2～4×4：各構成のモードとなる。

- 6 ENTER ボタンで、マルチディスプレイ設定メニューに戻り、↑/↓ ボタンで「ポジション設定」を選ぶ。



- 7 ↑/↓/←/→ ボタンで、本機（設定中のディスプレイ）のポジションを選ぶ。



3×3 構成で右下のポジションを選ぶ場合

- 8 ENTER ボタンを押してポジションを決定する。
マルチディスプレイ設定に戻ります。

ご注意

マルチディスプレイの設定ができるのは、2画面表示が「切」のときのみです。

音質を調整する

別売りスピーカーSS-SP40FW/32FWを接続しているとき、音の高音、低音、バランスを調整することができます。また、サラウンドモードを設定することができます。

高音、低音、バランスなどを調整する

MENUボタンを押してメインメニューを表示し、音質調整メニューから調整したい項目に応じて、「高音」、「低音」、「バランス」、「サラウンド」を調整します。

画質モードを「ユーザー1～3」のいずれかにしてください。

高音

↑/↓ボタンで「高音」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで高音を調整し、ENTERボタンを押し。

最小（－50）～最大（50）の範囲で設定できます。

↑/→：高音が強くなる

↓/←：高音が弱くなる

低音

↑/↓ボタンで「低音」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで低音を調整し、ENTERボタンを押し。

最小（－50）～最大（50）の範囲で設定できます。

↑/→：低音が強くなる

↓/←：低音が弱くなる

バランス

↑/↓ボタンで「バランス」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンでバランスを調整し、ENTERボタンを押し。

左（50）～右（50）の範囲で設定できます。

↑/→：右側の音が強くなる

↓/←：左側の音が強くなる

サラウンド

映像の種類に合わせて、サラウンドモードを選ぶことができます。

1 ↑/↓ボタンで「サラウンド」を選び、ENTERボタンを押し。

2 ↑/↓ボタンでモードを選び、ENTERボタンを押し。

切：サラウンド出力はしない

ホール：映画や音楽などのステレオ音声をより臨場感のある音にする場合

シミュレート：通常の放送やニュース番組のモノラル音声を擬似的にステレオ音声にして臨場感を高める場合

調整した音質を出荷時の設定に戻す

1 音質調整メニューから、↑/↓ボタンで「標準」を選び、ENTERボタンを押し。

以下の画面が表示されます。



2 ↑/↓ボタンで「実行」を選び、ENTERボタンを押し。
音質調整メニューの項目が工場出荷時の設定値に戻ります。

リセットを中止するには

ENTERボタンを押す前にMENUボタンを押してください。または、↑/↓ボタンで「取消」を選びENTERボタンを押してください。

メニュー表示の言語を選ぶ

メニュー表示に使う言語を、日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語の6つの言語の中から選ぶことができます。

- 1 MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



- 2 ↑/↓ ボタンで「初期設定 / インフォメーション」を選び、
ENTER ボタンを押す。
初期設定 / インフォメーションメニューが表示されます。



- 3 ↑/↓ ボタンで「言語」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 4 ↑/↓ ボタンで表示したい言語を選び、ENTER ボタンを押す。
メニュー画面の言語が切り換わります。

日本語: 日本語

English: 英語

Deutsch: ドイツ語

Français: フランス語

Español: スペイン語

Italiano: イタリア語

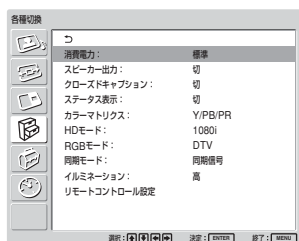
カラーマトリクスを調整する

コンポーネント入力アダプターに接続した地上・BS・CS100度デジタルチューナーおよびDVDプレーヤーなどからの入力、480I(525I)、480P(525P)、1080I(1125I)、720P(750P)の各信号フォーマットのとき、映像が自然な色あいになるように設定できます。

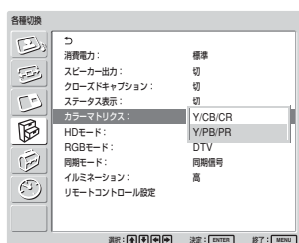
- 1 MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



- 2 ↑/↓ ボタンで「各種切替」を選び、ENTER ボタンを押す。
各種切替メニューが表示されます。



- 3 ↑/↓ ボタンで「カラーマトリクス」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 4 ↑/↓ ボタンでカラーマトリクスを選ぶ。
Y/CB/CR : 信号フォーマットが480Iまたは480Pの場合
Y/PB/PR : 信号フォーマットが1080Iまたは720Pの場合
- ◆ 設定について詳しくは、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

- 5 ENTER ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

電源のオン/オフを自動的に制御する (タイマー機能)

時刻を設定して表示したり、電源を入/切する時間を自由に設定できる電源タイマー機能があります。

時刻と曜日を設定する

- 1 タイマー/時計設定メニューから、↑/↓ボタンで「時刻設定」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示され、時間の背景が黄色に変わります。



- 2 ↑/↓ ボタンで時間を設定し、ENTER ボタンを押す。
時間が確定し、分の背景が黄色に変わります。
- 3 ↑/↓ ボタンで分を設定し、ENTER ボタンを押す。
分が確定し、曜日の背景が黄色に変わります。
- 4 ↑/↓ ボタンで曜日を設定し、ENTER ボタンを押す。
曜日が確定し、前の画面に戻ります。
- 5 MENU ボタンを押す。
通常の画面に戻ります。再度設定が必要な場合は、手順1から繰り返してください。

ご注意

時刻が大幅にずれたりするときは、内蔵電池の消耗が考えられます。お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にて電池の交換をご依頼ください (有料)。

時計を表示する

- 1 タイマー／時計設定メニューから、↑/↓ボタンで「時計表示」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2 ↑/↓ボタンで「入」を選び、ENTERボタンを押す。
メニューを消すと、画面右下に時計が表示されます。

リモコンのDISPLAYボタンを押すと、入力されている信号および画質モードが表示されます。また、時計が表示されている状態で約5秒たつと表示は自動的に消えます。また、時計表示「入」の設定は電源を切っても保存されます。

電源タイマー機能

- 1 タイマー／時計設定メニューから、↑/↓ボタンで「電源タイマー」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2 ↑/↓ボタンで「毎日」または「曜日毎設定」を選び、ENTERボタンを押す。
「曜日毎設定」を選ぶと、曜日毎に時間を設定できます。
「毎日」を選ぶと、以下の画面が表示されます。



- 3 電源入時間を設定するときは、↑/↓ボタンで○を●に切り換え、ENTERボタンを押す。



- 4 ↑/↓ボタンで電源入時間を設定し、ENTERボタンを押す。
時間が確定し、分の背景が黄色で表示されます。

- 5 ↑/↓ボタンで分を設定し、ENTERボタンを押す。

- 6 電源入時間と同様に電源切時間を設定する。

- 7 ENTERボタンを押す。
電源タイマーが設定されます。

ご注意

- 工場出荷状態では、時刻は設定されていないので、「--:--」と表示します。
- 「毎日」に設定した時間は、「曜日毎設定」にも反映されます。「曜日毎設定」を行うと、「毎日」の設定は解除されます。

セキュリティロックをかける

本機は、セキュリティロック機能を搭載しています。電源を入れると、本機に設定してあるパスワードの入力を要求し、正しいパスワードを入力しないと、映像が入力されず、本機は使用できません。

ご注意

この機能をご使用の場合は、あらかじめ以上のことをご承知のうえお使いください。設定したパスワードはメモなどに残すことをお勧めします。万一、パスワードを忘れてしまった場合、添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

セキュリティロックをかけるには

- 1 MENUキーを押して、初期設定/インフォメーションメニューの「セキュリティロック」を「入」にする。
- 2 パスワードを入力する。
MENU, ↑/↓, ENTERの4つのキーを使用して4桁のパスワードを入力してください。
(出荷時には「ENTER, ENTER, ENTER, ENTER」が設定されていますので、初回使用時にはENTERを4回入力してください。)



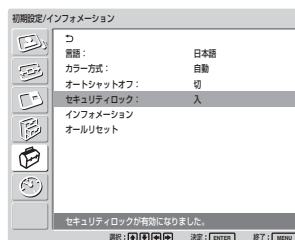
次に新しいパスワードの入力画面が表示されます。
(現在のパスワードと同じで良い場合でも、ここで入力してください。)
パスワードを入力画面に入れる。



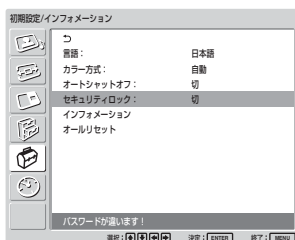
- 3 確認のため、もう一度パスワードを入力する。



以下のメッセージが表示されたら完了です。



「パスワードが違います」というメッセージがメニュー画面に表示された場合は、手順1からやり直してください。



- 4 設定完了後にディスプレイの電源を切り、電源コードを抜き、設定を有効にする。
セキュリティロックが有効となり、次に電源を入れたときにパスワードの入力画面が表示されます。

セキュリティ認証

パスワードの入力画面が表示されたら、設定されているパスワードを入力してください。パスワードの入力に3回続けて失敗すると、これ以降の操作ができません。その場合、⏻POWER(パワー) スイッチを押し、電源を切ってください。

セキュリティロックを解除するには

MENUキーを押して初期設定/インフォメーションメニューの「セキュリティロック」を「切」にする。

IPアドレスおよび通信速度を設定する

本機のOPTION1スロットに通信（COMMUNICATION）機能を持つオプションアダプター（BKM-FW32、BKM-FW50など）を装着した場合に、ネットワーク経由で本機を制御するためのIPアドレスおよび通信速度を設定します。

ご注意

IPアドレスおよび通信速度の設定は、「Execute」を選び、ENTERボタンを押すと設定が完了します。

設定が正常に行われた場合、「Done」と表示されます。

設定値が正しく完了しない場合は、エラーコードが表示されますので、設定値を確認して設定しなおしてください。

IPアドレスを自動取得する（DHCP）

- 1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



- 2 ↑/↓ボタンで「初期設定 / インフォメーション」を選び、ENTERボタンを押す。
初期設定 / インフォメーションメニューが表示されます。



- 3 ↑/↓ボタンで「IP Address Setup」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 4 ↑/↓ボタンで「DHCP」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



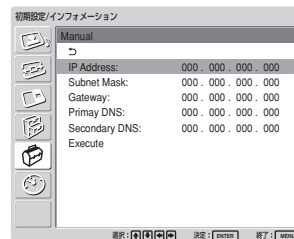
- 5 ↑/↓ボタンで「Execute」を選び、ENTERボタンを押す。
IPアドレスが自動取得されます。

ご注意

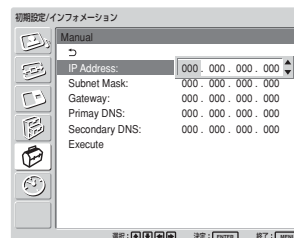
DHCPでIPアドレスを自動取得したときは、電源の入 / 切をすると、IPアドレスが変わることがあります。

IPアドレスをマニュアルで設定する（Manual）

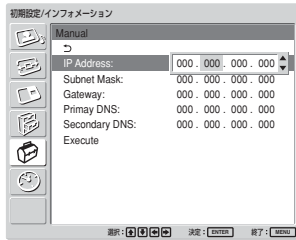
- 1 「IPアドレスを自動取得する」の手順4で「Manual」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



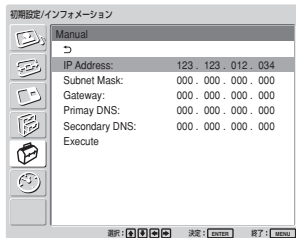
- 2 ↑/↓ボタンで手動入力する項目を選び、ENTERボタンを押す。



- 3** ↑/↓ボタンまたはリモコンの数字ボタンで3桁の数値（0～255）を入力して、ENTERボタンまたは➡ボタンを押す。
右の枠にカーソルが移動します。



- 4** 4つの枠にそれぞれ入力して、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 5** ↑/↓ボタンで次に設定したい項目を選び、各項目に対して同じ操作をくり返し、ENTERボタンを押す。
- 6** 必要項目の入力が終わったら、「Execute」を選び、ENTERボタンを押す。
「OK」を選び、ENTERボタンを押す。
IPアドレスが手動で設定されます。

ご注意

エラーコードは、以下のようにIPアドレスが正しく設定完了しないときに表示されます。

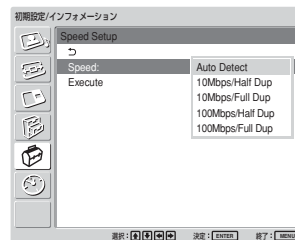
- Error 1 本体とBKM-FW32、BKM-FW50などの間の通信エラー
- Error 2 IP addressが他で使われている
- Error 3 IP addressの設定不備
- Error 4 Gateway addressの設定不備
- Error 5 Primary DNSの設定不備
- Error 6 Secondary DNSの設定不備
- Error 7 Subnet maskの設定不備

通信速度を設定する(Speed Setup)

- 1** 初期設定/インフォメーションメニューから、↑/↓ボタンで「Speed Setup」を選び、ENTERボタンを押す。



- 2** ENTERボタンを押して、通信速度を↑/↓ボタンで選択して、ENTERボタンを押す。
「Auto Detect」を選択すると、ネットワーク環境に対応した通信速度が自動的に設定できます。



- 3** 「Execute」を選んでENTERボタンを押す。
「OK」を選び、ENTERボタンを押す。
通信速度が設定されます。

自己診断機能

本機には自己診断機能が搭載されています。これは本機が正しく動作していないときに、POWER/STANDBY インジケータの点滅によりお知らせする機能です。点滅状態によって本機の状態が分かるようになっています。

POWER/STANDBY インジケータが点滅したら、点滅状態を確認して、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

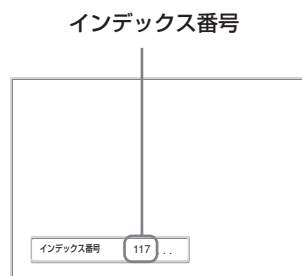
- 1 POWER/STANDBY インジケータの点滅状態を確認する。
画面が消えずにインジケータが点滅している場合と、画面が消えてインジケータが3秒おきに点滅する場合があります。画面が消えてインジケータが3秒おきに点滅している場合には、点滅回数を数えてください。たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅…この場合の点滅回数は2回です。

- 2 本機の電源コードを抜く。
お買い上げ店またはソニーサービス窓口インジケータの点滅回数をお知らせください。

特定のディスプレイをリモコンで操作する

複数のディスプレイを使用しているとき、インデックス番号を指定して、特定のディスプレイのみを操作することができます。

- 1 リモコンのID MODE ON ボタンを押す。
インデックス番号が、画面左下のメニューに黒い文字で表示されます。(インデックス番号は、1から255の範囲で、あらかじめ各ディスプレイに設定されています。)
◆ インデックス番号を変更したいときは、「インデックス番号を変更するには」(43 (JP) ページ) をご覧ください。



自己診断機能/特定のディスプレイをリモコンで操作する

- 2 リモコンの数字ボタンで、操作したいディスプレイのインデックス番号を入力する。
すべてのディスプレイのインデックス番号の右に、入力した数字が表示されます。



- 3 ID MODE SET ボタンを押す。
選択したディスプレイの文字が緑色に変わり、その他のディスプレイの文字は赤色に変わります。



これで特定のディスプレイ(文字が緑色に変わったディスプレイ)のみを操作できます(電源ON/STANDBYは他のディスプレイにも有効です)。

- 4 設定変更等の操作が終了したら、ID MODE OFF ボタンを押す。
ディスプレイは通常の画面に戻ります。



インデックス番号を変更するには

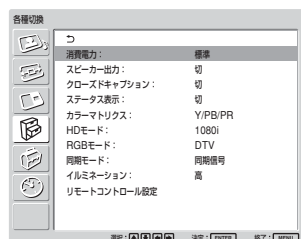
必要に応じてインデックス番号を変更できます。変更する場合は、ディスプレイ本体のコントロールボタン部のボタンをお使いください。また、リモコンでの設定はできません。

- 1 MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。

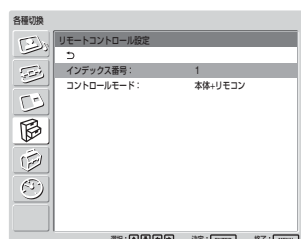


特定のディスプレイをリモコンで操作する

- 2** ↑/↓ボタンで「各種切換」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 3** ↑/↓ボタンで「リモートコントロール設定」を選び、ENTERボタンを押す。
リモートコントロール設定メニューが表示されます。



- 4** ↑/↓ボタンでインデックス番号を選び、ENTERボタンを押す。

- 5** ↑/↓ボタンでインデックス番号を設定し、ENTERボタンを押す。
リモートコントロール設定メニューに戻ります。

電源接続時のご注意

それぞれの地域に合った電源コードをお使いください。

	アメリカ合衆国、カナダ	ヨーロッパ諸国		イギリス、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド	日本
プラグ型名	VM0233	COX-07	636	— ¹⁾	VM1296
コネクタ型名	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
コード型名	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
定格電圧・電流	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
安全規格	UL/CSA	VDE		VDE	電安法

1) プラグに関しては各国・地域規制に適合し、使用に適した定格のものを使用してください。

仕様

映像処理系

プリセット信号	入力プリセット信号 (24 (JP) ページ) 参照
サンプリング周波数	13.5 MHz ~ 140 MHz
パネル方式	a-Si TFT Active Matrix LCD Panel
解像度	1366ドット (水平) × 768ライン (垂直)
FWD-40LX1:	
ピクセルピッチ	0.648 (水平) × 0.648 (垂直) mm
有効表示寸法	885 (水平) × 498 (垂直) mm
画面サイズ	40 (V) 型 (対角 1016 mm)
FWD-32LX1R:	
ピクセルピッチ	0.510 (水平) × 0.510 (垂直) mm
有効表示寸法	698 (水平) × 392 (垂直) mm
画面サイズ	32 (V) 型 (対角 801 mm)

入出力

INPUT1

DVI	DVI (DVI規格 1.0 準拠)
AUDIO	ステレオミニジャック (×1) 500 mVrms、ハイインピーダンス

INPUT2

RGB/COMPONENT	D-sub 15ピン (メス) (×1) (「ピン配列」参照)
AUDIO	ステレオミニジャック (×1) 500 mVrms、ハイインピーダンス

CONTROL S IN/OUT ミニジャック (×2)

AUDIO OUT ピンジャック (×2)
500 mVrms、ハイインピーダンス

REMOTE (RS-232C)

D-sub 9ピン (×1)

SPEAKER 7 W + 7 W (6 Ω)
適合負荷インピーダンス 6 ~ 16 Ω

VIDEO OUT

BNC型 (×1) ループスルー

S VIDEO IN

ミニ DIN4ピン (×1)

Y (輝度): 1 Vp-p ± 2 dB 同期負、
75 Ω 終端

C (クロマ): バースト 0.286 Vp-p
± 2 dB (NTSC)、75 Ω 終端
バースト 0.3 Vp-p ± 2 dB (PAL)、
75 Ω 終端

S VIDEO OUT

ミニ DIN4ピン (×1) ループスルー

AUDIO IN

ピンジャック (×2)

500 mVrms、ハイインピーダンス

ビデオ/Sビデオ入出力アダプター BKM-FW10

VIDEO (NTSC、PAL、SECAM、NTSC4.43、
PAL60、PAL-M、PAL-N)

VIDEO IN	BNC型 (×1) コンポジットビデオ 1 Vp-p ± 2 dB 同期負、 75 Ω 自動終端
----------	--

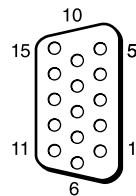
その他

電源	AC 100 V～240 V、50/60 Hz、 FWD-40LX1：2.5 A～1.2 A FWD-32LX1R：1.7 A～0.8 A
消費電力	FWD-40LX1：220 W FWD-32LX1R：150 W
動作条件	温度：0～＋35 ℃ 湿度：20～90%（結露のないこと）
保存・輸送条件	温度：－10～＋40 ℃ 湿度：20～90%（結露のないこと）
外形寸法	アクリルベゼルモデル FWD-40LX1：994×597×125 mm FWD-32LX1R：802×492×107 mm ノンアクリルベゼルモデル FWD-40LX1：988×591×125 mm FWD-32LX1R：796×486×107 mm （幅／高さ／奥行き、最大突起部含まず）
質量	アクリルベゼルモデル FWD-40LX1：27.5 kg FWD-32LX1R：17.5 kg ノンアクリルベゼルモデル FWD-40LX1：26.7 kg FWD-32LX1R：16.7 kg
付属品	電源コード（1） ACプラグホルダー（2） ケーブルホルダー FWD-40LX1：（4） FWD-32LX1R：（6） デジタルRGB（DVI-D）信号ケーブル （シングルリンク）（1） コンポーネントビデオ信号ケーブル （D-sub15ピン-RCA×3）（1） BNC-RCA変換アダプター（1） 変換プラグアダプター（1） リモコン RM-980（1） 単4形乾電池（2） 取扱説明書（1） 保証書（ソニー業務用製品ご相談窓口の ご案内）（1）
別売りアクセサリ	スタンド SU-42FW/32FW スピーカー SS-SP40FW/32FW 機能拡張用オプションアダプター BKM- FWシリーズ

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ピン配列

RGB/COMPONENT端子（D-sub 15ピン）



ピンNo.	信 号
1	赤映像信号またはC _R /P _R 信号
2	緑映像信号またはY信号またはSync On Green信号
3	青映像信号またはC _B /P _B 信号
4	接地 (GND)
5	接地 (GND)
6	赤接地 (GND)
7	緑接地 (GND)
8	青接地 (GND)
9	未使用
10	接地 (GND)
11	接地 (GND)
12	SDA
13	水平同期信号またはComposite Video
14	垂直同期信号
15	SCL

安全規格 電安法、VCCIクラスB

本機は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当りの入力電流が20 A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理をさせていただきます。

WARNING

Owner's Record

The model and serial numbers are located on the rear.
Record the model and serial numbers in the spaces provided below. Refer to these numbers whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.

Model No. _____ Serial No. _____

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

On transportation

When you carry the display unit, hold the unit itself, not the speakers. If you fail to do so, the speakers may come out of the unit and the unit may fall. This can cause injury.

For customers in the U.S.A.

*If you have any questions about this product, you may call; Sony Customer Information Services Center
1-800-222-7669 or <http://www.sony.com/>*

Declaration of Conformity

Trade Name: SONY
Model: FWD-40LX1/32LX1R
Responsible Party: Sony Electronics Inc.
Address: 16530 Via Esprillo, San Diego, CA
92127 U.S.A.
Telephone Number: 858-942-2230

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.
Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

For customers in Canada

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Voor de klanten in Nederland

- Dit apparaat bevat een vast ingebouwde batterij die niet vervangen hoeft te worden tijdens de levensduur van het apparaat.
- Raadpleeg uw leverancier indien de batterij toch vervangen moet worden. De batterij mag alleen vervangen worden door vakbekwaam servicepersoneel.
- Gooi de batterij niet weg maar lever deze in als klein chemisch afval (KCA).
- Lever het apparaat aan het einde van de levensduur in voor recycling, de batterij zal dan op correcte wijze verwerkt worden.



The socket-outlet should be installed near the equipment and be easily accessible.

CAUTION

RISK OF EXPLOSION IF BATTERY IS REPLACED BY AN INCORRECT TYPE. DISPOSE OF USED BATTERIES ACCORDING TO THE LOCAL RULES.

Table of Contents

Precautions	5 (GB)
Location and Function of Parts and Controls	7 (GB)
Front / Rear / Side	7 (GB)
Indicator Section	8 (GB)
Control Button Section (Top)	8 (GB)
Connector Panel	9 (GB)
Remote Commander RM-980	11 (GB)
Caution	13 (GB)
Connections	14 (GB)
Connecting the Speakers	14 (GB)
Connecting the AC Power Cord	14 (GB)
Cable management	15 (GB)
Using On-screen Menus	16 (GB)
Operating Through Menus	16 (GB)
Menu Guide	16 (GB)
Watching the Picture	21 (GB)
Switching the Input Signal	21 (GB)
Input Signal, Picture Mode and Display Status Information	22 (GB)
Selecting Image Quality	24 (GB)
Adjusting the Picture	24 (GB)
Adjusting the Contrast, Brightness, Chroma, and Phase, etc.	24 (GB)
Restoring the Adjust Picture Menu Items to Their Original Settings	27 (GB)
Picture Enlargement	28 (GB)
Setting Auto Wide	28 (GB)
Setting the Aspect	29 (GB)
Resizing and Positioning the Picture	30 (GB)
Adjusting the Size, Position, or the Pixels of the Picture	30 (GB)
Viewing two pictures at the same time	32 (GB)
Activating a picture or swapping the positions of two pictures	32 (GB)
Zooming in on a picture	33 (GB)
Adjusting the position of the inset picture (For PinP only)	33 (GB)

Setting up the Multi Display	34 (GB)
Adjusting the Sound Quality	35 (GB)
Adjusting the Treble, Bass, and Balance, etc.	35 (GB)
Restoring the Adjust Sound Menu Items to Their Original Settings	35 (GB)
Selecting the On-screen Language	36 (GB)
Adjusting Color Matrix	36 (GB)
Controlling Power On/Off Automatically (Timer Function)	37 (GB)
Adjusting the time and the day	37 (GB)
Displaying the time	37 (GB)
On/Off Timer Function	37 (GB)
Setting the Security Lock	38 (GB)
To activate the Security Lock	38 (GB)
Security authentication	39 (GB)
To deactivate the Security Lock	39 (GB)
Setting an IP address and communication speed	39 (GB)
Obtaining an IP address automatically (DHCP)	39 (GB)
Setting an IP address manually (Manual)	40 (GB)
Setting a communication speed	41 (GB)
Self-diagnosis Function	41 (GB)
Operating a Specific Display With the Remote Commander	42 (GB)
Specifications	43 (GB)

Precautions

On safety

- A nameplate indicating operating voltage, power consumption, etc. is located on the rear of the unit.
- Should any solid object or liquid fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified personnel before operating it any further.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days or more.
- To disconnect the AC power cord, pull it out by grasping the plug. Never pull the cord itself.
- When you install the unit on the floor, be sure to use the optional stand.

On installation

- Allow adequate air circulation to prevent internal heat build-up. Do not place the unit on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes.
- Do not install the unit in a location near heat sources such as radiators or air ducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust, mechanical vibration or shock.
- When you install multiple equipment with the unit, the following problems, such as malfunction of the Remote Commander, noisy picture, noisy sound, may occur depending on the position of the unit and other equipment.

On the LCD panel

- You may see some bright spots of red, blue or green, or dark spots appearing on the screen. These do not indicate a malfunction. Although the LCD panel is manufactured with extremely high precision technology, it can generate a few dark or bright pixels.
- Keeping the LCD panel facing toward the sun for a long time will damage the panel. Take this into account when you install the unit outdoor or by a window.
- Do not push, scratch or put a heavy weight on the panel. These can cause irregularities in the screen or a malfunction of the LCD panel.
- You may find the screen looks darker or an afterimage occurs when using the unit in a colder environment. These do not indicate a malfunction. The screen will return to normal operation as the temperature rises.

- If you display a still image for a long time, ghosting may occur. This will disappear as time passes.
- The panel surface or the cabinet may warm up during use. This does not indicate a malfunction.

On cleaning the display

The panel surface

- Be sure to unplug the power cord before cleaning the display.
- The LCD panel surface has been given a special finish. Avoid touching the LCD screen. When cleaning the panel face, wipe off stains using a dry, soft cloth.
- Never use rubbing alcohol, benzine or thinner for cleaning. They may damage the finish of the panel face.
- When using a chemically treated cloth for cleaning, follow the directions.
- Spraying the unit with volatile solvents (such as an insecticide,) or allowing the unit come into prolonged contact with rubber or plastic products may remove the coating or spoil the unit.

The cabinet

- Gently wipe off stains using a dry, soft cloth. Wipe off grimy stains using a cloth slightly moistened with a mild detergent, then wipe the area again using a dry, soft cloth.
- Never use rubbing alcohol, benzine or thinner for cleaning. They may damage the finish of the cabinet or can remove the markings on it.

Notes on handling and cleaning the display panel

The display panel's special surface finish should be treated with care when cleaning or handling the TV. When cleaning it, use a soft cleaning cloth to avoid touching the panel directly.

On repacking

Do not throw away the carton and packing materials. They make an ideal container in which to transport the unit. When shipping the unit, repack it as illustrated on the carton.

If you have any questions on this unit, contact your authorized Sony dealers.

Disposal of Waste Electrical and Electronic Equipment for business use (Applicable in the European Union and other European countries with separate collection systems)



This symbol on the product or on its packaging indicates that this product shall not be treated as household waste. Instead it shall be handed over to the applicable take-back scheme for the recycling of electrical and electronic equipment. By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potential

negative consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling of this product, please contact your local Sony office or visit Sony Europe's web site for business customers:

<http://www.sonybiz.net/environment>

For Customers in the United States

This product contains mercury. Disposal of this product may be regulated if sold in the United States. For disposal or recycling information, please contact your local authorities or the Electronics Industries Alliance (<http://www.eiae.org>).

Warning on power connection

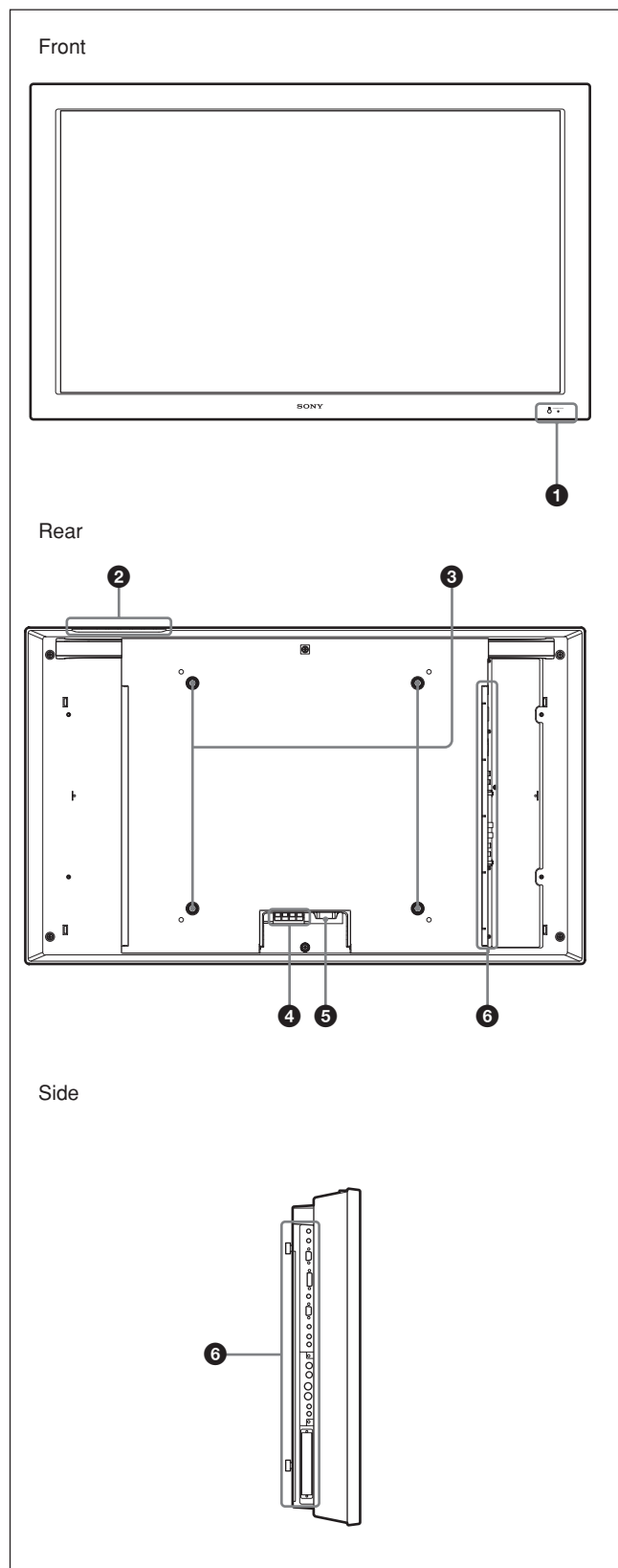
Use the proper power cord for your local power supply.

	United States, Canada	Continental Europe	United Kingdom, Ireland, Australia, New Zealand	Japan
Plug type	VM0233	COX-07 636	— ^{a)}	VM1296
Female end	VM0089	COX-02 VM0310B	VM0303B	VM1313
Cord type	SVT	H05VV-F	CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Minimum cord set rating	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/125V
Safety approval	UL/CSA	VDE	VDE	DENAN-HO

a) Note: Use an appropriate rating plug which complies with local regulations.

Location and Function of Parts and Controls

Front / Rear / Side



❶ Indicator section

For details on the Indicator section, see “Indicator Section” on page 8 (GB).

❷ Control button section

For details on the control button section, see “Control Button Section (Top)” on page 8 (GB).

❸ Stand installation hooks

Use these hooks to install the stand (not supplied).

❹ SPEAKER Socket

Connects the speakers (not supplied) to this socket to output the audio matching the signal displayed on the screen.

❺ ~ AC IN socket

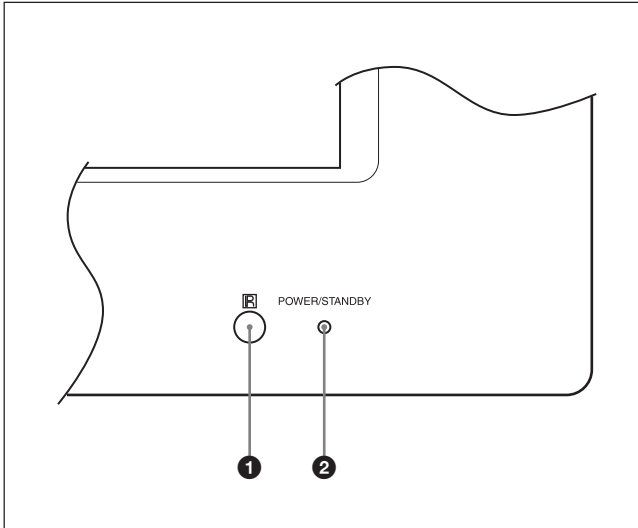
Connect the supplied AC power cord to this socket and to a wall outlet. Once you connect the AC power cord, the POWER/STANDBY indicator lights up in red and the display goes into the standby mode.

For more details on the power cord, see “Connecting the AC Power Cord” on page 14 (GB).

❻ Connector panel

For details on the connector panel, see “Connector Panel” on page 9 (GB).

Indicator Section



❶ Remote control detector

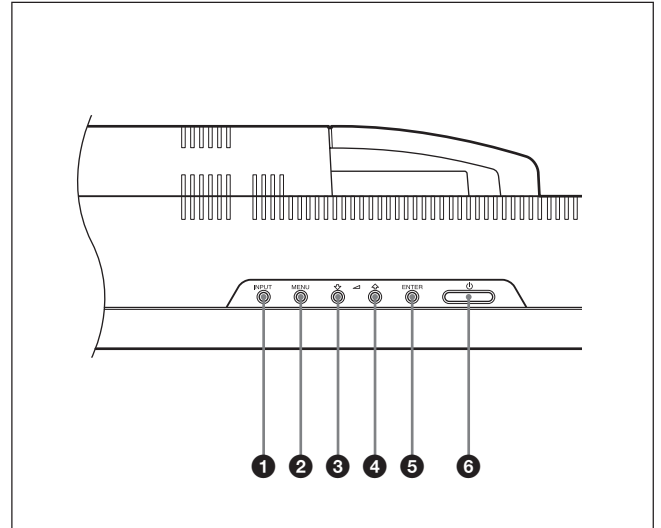
Receives the signals from the Remote Commander.

❷ POWER/STANDBY indicator

Lights up in green when the display unit is powered on. Lights up in red in the standby mode. Lights up in orange when the display enters the power saving mode while a signal is input from a computer. When the input signal is switched, the indicator blinks green.

When the POWER/STANDBY indicator blinks red, see "Self-diagnosis Function" on page 41 (GB).

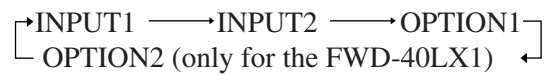
Control Button Section (Top)



❶ INPUT button

Press to select a signal to be input from the INPUT or OPTION connector.

The signal to be input switches as follows each time you press the INPUT button.



When an option adaptor is not installed in the OPTION slot, OPTION1 or OPTION2 will be skipped.

❷ MENU button

Press to show menus. Press again to hide them.

❸ ❹ ↓/↑ (cursor/volume) button

Press to move the cursor (yellow), set a value, or control speaker volume.

❺ ENTER button

Press to set your choice.

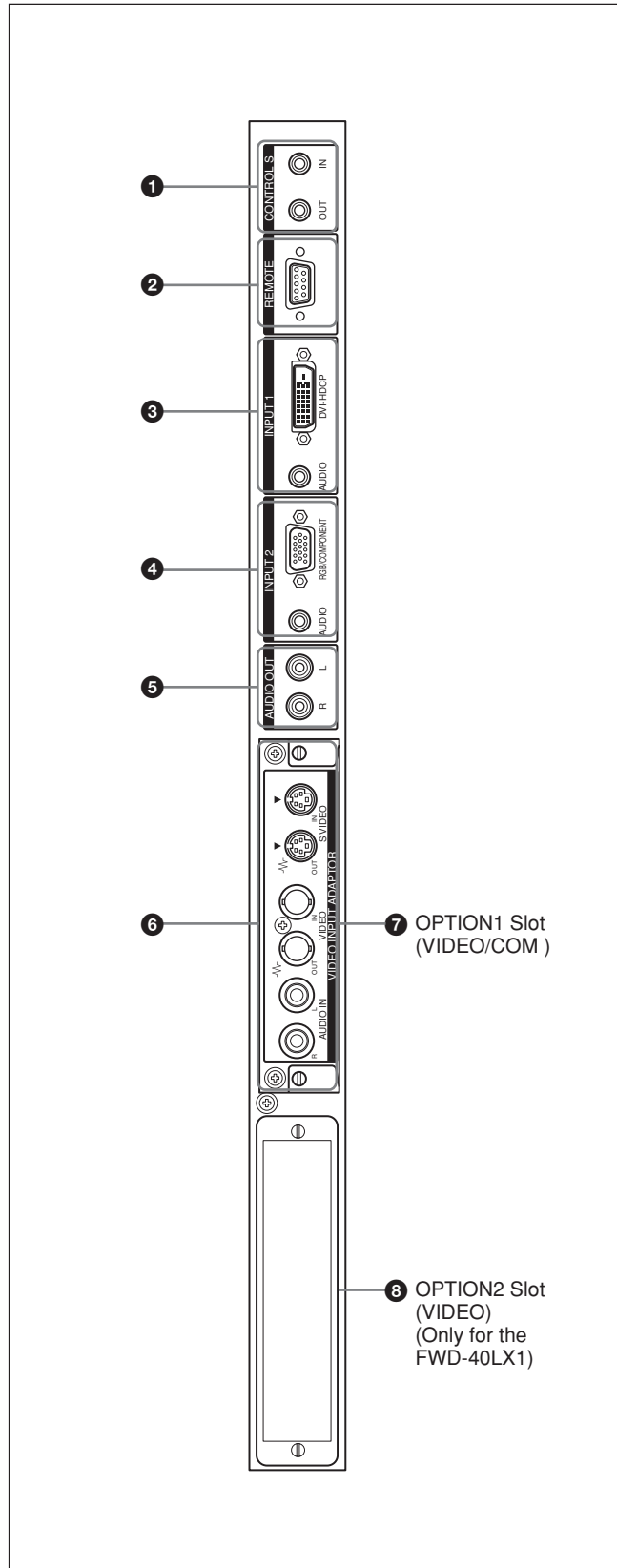
❻ POWER switch

Press to power on the display unit. Press again to return to the standby mode.

Note

To protect the panel, a certain amount of time is required to turn the unit ON/STANDBY. Wait about 5 seconds after one of these operations before pressing this switch again.

Connector Panel



1 CONTROL S IN/OUT (Control S Signal Input/Output) Connector (Minijack)

You can control multiple devices with a single remote commander when connected to the CONTROL S connector of a video device or other display. Connect the CONTROL S OUT connector on this display to the CONTROL S IN connector of the other device, and connect the CONTROL S IN connector on this display to the CONTROL S OUT connector of the other device.

2 REMOTE (RS-232C) connector (D-sub 9-pin)

This connector allows remote control of the display using the RS-232C protocol. For details, contact your authorized Sony dealers.

Note

When an optional adaptor with communication function such as BKM-FW32 or BKM-FW50 is installed, you cannot use this connector.

3 INPUT1 (DIGITAL RGB IN) connectors

DVI : Connects to the digital RGB signal output of video devices. Supports HDCP copy protection.

AUDIO (Stereo minijack) : Inputs an audio signal. Connects to the audio output of video devices.

4 INPUT2 (ANALOG RGB/COMPONENT IN) connectors

RGB/COMPONENT (D-sub 15-pin) : Connects to the analog RGB signal or component (YUV) signal output of a piece of video equipment.

For details on inputting a component signal to the connector, see "Pin assignment" on page 44 (GB).

AUDIO (Stereo minijack) : Inputs an audio signal. Connects to the audio output of a piece of video equipment.

5 AUDIO OUT L/R (Pinjack)

Outputs an audio of the signal currently indicated on the screen.

Outputs an audio signal corresponding to the Active Picture while in the P&P or PinP mode.

6 VIDEO connectors (A BKM-FW10 is preinstalled.)

S VIDEO IN (Mini DIN 4-pin) : Connects to the Y/C signal output of a piece of video equipment.

S VIDEO OUT (Mini DIN 4-pin) : Connects to the Y/C signal input of a piece of video equipment.

VIDEO IN (BNC) : Connects to the video signal output of a piece of video equipment.

VIDEO OUT (BNC) : Connects to the video signal input of a piece of video equipment.

AUDIO IN L/R (Pinjack) : Inputs an audio signal. Connects to the audio output of a piece of video equipment.

7 OPTION1 slot (VIDEO/COM port)

This slot supports video signals and communication function. When you install an optional adaptor with communication function such as BKM-FW32 or BKM-FW50 into this slot, you can control the display unit via the network.

8 OPTION2 slot (VIDEO port)

(Only for the FWD-40LX1)

This slot supports video signals. A blank panel is attached to this slot for the factory setting. You can install an optional adaptor with video signal input/output function into this slot. The optional adaptor with communication function should be installed in 7 OPTION1 slot.

Optional adaptors (Not supplied)

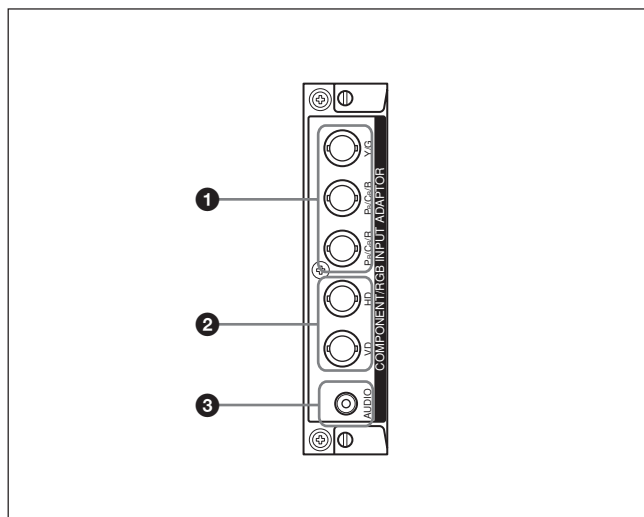
The connectors marked with 7 and 8 on the connector panel are slot-in types and can be fitted with any of the optional adaptors in the display. The OPTION2 slot is equipped only on the FWD-40LX1.

For details on installation, consult your Sony dealers.

VIDEO/S VIDEO input/output adaptor BKM-FW10 (Not supplied)

This is the same as the preinstalled connectors 6.

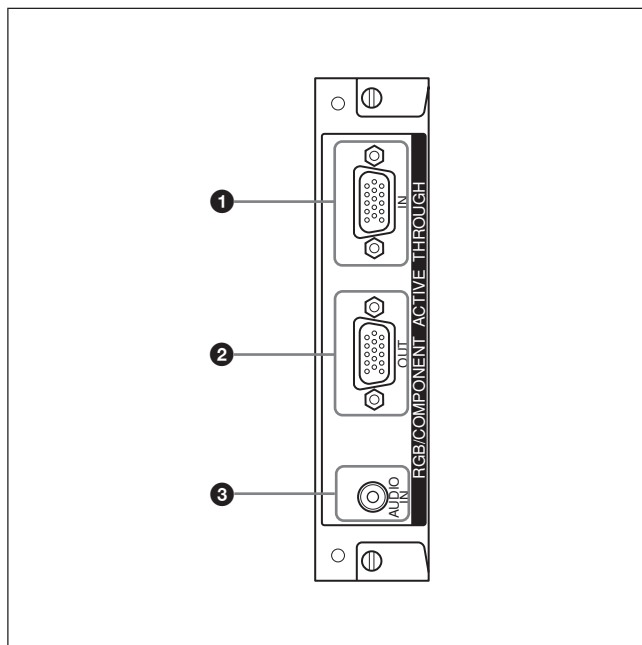
COMPONENT/RGB Input Adaptor BKM-FW11 (Not supplied)



- 1 **Y/G Pb/Cb/B Pr/Cr/R IN (BNC)** : Connects to the analog RGB signal or component (YUV) signal output of a piece of video equipment or a computer.
- 2 **HD VD IN** : Connects to the synchronization signal output of a computer.

- 3 **AUDIO (Stereo minijack)** : Inputs an audio signal. Connects to the audio output of a piece of video equipment or a computer.

RGB/COMPONENT ACTIVE THROUGH ADAPTOR BKM-FW12 (Not supplied)



- 1 **RGB/COMPONENT IN (D-sub 15-pin)** : Connects to the component signal output or analog RGB signal output of a piece of video equipment or a computer.

For details on inputting a component signal to the connector, see "Pin assignment" on page 44 (GB).

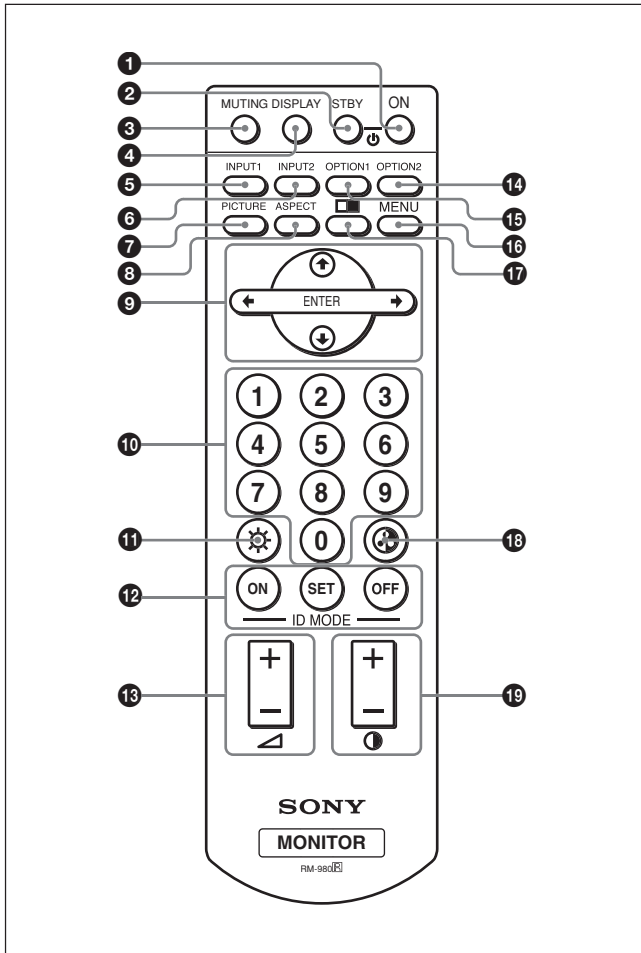
- 2 **RGB/COMPONENT OUT (D-sub 15-pin)** : Connects to the component signal input or analog RGB signal input of a piece of video equipment or a computer.

- 3 **AUDIO IN (Stereo minijack)** : Inputs audio signal. Connects to the audio signal output of a piece of video equipment or a computer.

Note

- When the unit is not connected to an AC power or is in the standby mode, no signal is output from the RGB/COMPONENT OUT.
- For details on the Option Adaptors for system expansion, BKM-FW series, refer to each instruction manual.

Remote Commander RM-980



1 POWER ON switch

Press to power on the display.

2 STANDBY button

Press to change the display to the standby mode.

3 MUTING button

Press to mute the sound. Press again to restore sound.

4 DISPLAY button

Press to display the input signal information and the picture mode on the screen. Press again to hide them. If this displayed information is left undisturbed for a short time, it will disappear automatically.

5 INPUT1 button

Press to select the signal input to the INPUT1 connectors.

6 INPUT2 button

Press to select the signal input to the INPUT2 connectors. Each press toggles between RGB and COMPONENT.

7 PICTURE button

Selects Picture mode. Each press toggles between Vivid, Standard, and User 1 to 3.

8 ASPECT button

Press to change the aspect ratio (Wide Mode).

9 ↑/↓/←/→/ENTER buttons

The ↑/↓/←/→ buttons move the menu cursor (yellow) and set values, etc. Pressing the ENTER button sets the selected menu or setting items. While showing two pictures, you can switch the active picture with ←/→.

10 Number buttons

Press to enter index numbers.

11 BRIGHTNESS button

Adjusts the brightness when Picture Mode is set to any of "User1" to "User3." Press this button, then adjust the brightness with ↑/↓ or ←/→ buttons 9.

12 ID MODE (ON/SET/OFF) buttons

Press ON to show an index number on the screen. Enter the index number of the display you want to operate with Number buttons 10, then press SET. Press OFF to return to the normal mode.

For details on the index numbers, see "Operating a Specific Display With the Remote Commander" on page 42 (GB).

13 VOLUME +/- button

Press to adjust the volume.

14 OPTION2 button

Selects the signal input to an optional adaptor (except BKM-FW10) when you install one in the unit. Each time you press this button, the signal input to the OPTION2 switches.

Note

You cannot operate this button for the FWD-32LX1R that does not have the OPTION2 slot.

15 OPTION1 button

When an option board is installed, selects a signal to be input from the device connected to the option board. Each time you press this button, the signal input to the OPTION1 switches.

16 MENU button

Press to show menus. Press again to hide them.

17 button

Selects the PICTURE AND PICTURE (PAP) mode. Each press toggles between P&P, PinP, and PAP off.

18 CHROMA button

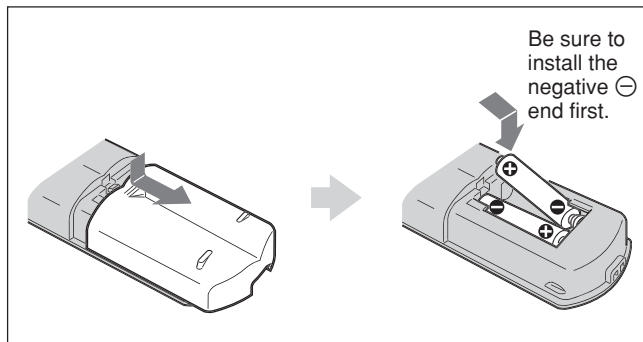
Adjusts the chroma when the picture mode is set to any of “User1” to “User3.” Press this button and adjust the chroma with the $\uparrow/\downarrow$ or $\leftarrow/\rightarrow$ buttons 9.

19 CONTRAST +/- button

Adjusts the contrast when Picture Mode is set to any of “User1” to “User3.”

Installing batteries

Insert two size AAA (R03) batteries in correct polarity.



- In normal operation, batteries will last up to half a year. If the Remote Commander does not operate properly, the batteries might be exhausted sooner. Replace them with new ones.
- To avoid damage from possible battery leakage, remove the batteries if you do not plan to use the Remote Commander for a fairly long time.

When the Remote Commander does not work

Check that the POWER/STANDBY indicator lights up and the Control Mode in the Remote menu is not set to “Display Unit Only.” The Remote Commander operates the display only when both of the two conditions below are met.

- The display is turned on, or it is in the standby mode.
- The Control Mode in the Remote menu is set to “Display + Remote” or “Remote Only.”

For details on the Control Mode, see “Control Mode” on page 19 (GB).

For Customers in Taiwan only

廢電池請回收



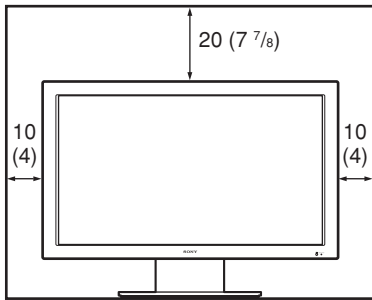
Caution

Provide an ample amount of space around the display

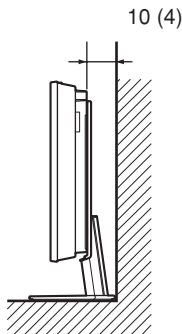
- When you use the display, make sure there is more space around the display than that shown in the figure below. This will allow for proper ventilation.
- The ambient temperature must be 0 °C to +35 °C (32 °F to 95 °F).
- When installing the display horizontally, use the display stand SU-42FW/32FW (not supplied) as a stand.
- Regarding the installation of hardware such as brackets, screws, or bolts, we cannot specify the products. Actual installation is up to the authorized local dealers. Consult with qualified Sony personnel for installation.
- While the unit is on, a certain amount of heat builds up inside. This can cause burns. Avoid touching the top or rear of the unit when it is powered on or just after it has entered standby mode.

When using the stand (not supplied)

Front



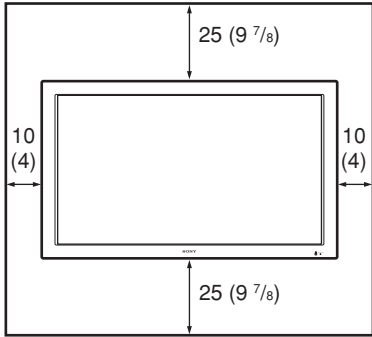
Side



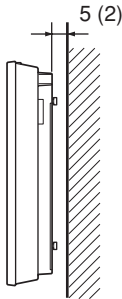
Units: cm (inches)

When mounting the display horizontally

Front



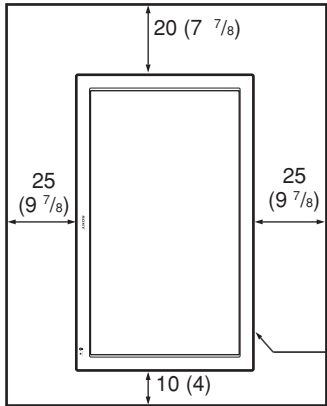
Side



Units: cm (inches)

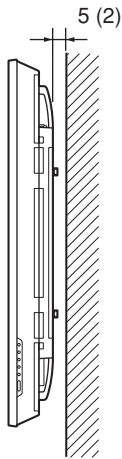
When mounting the display vertically

Front



Make sure that the POWER switch is at the lower right.

Side



Units: cm (inches)

Note

When mounting the display vertically, you cannot use the speakers SS-SP40FW/32FW (not supplied).

Connections

Before you start

- First make sure that the power to each piece of equipment is turned off.
- Use connecting cables suitable for the equipment to be connected.
- The cable connectors should be fully inserted into the jacks. A loose connection may cause hum and other noise.
- To disconnect the cable, pull it out by grasping the plug. Never pull the cable itself.
- Refer to the instruction manual of the equipment to be connected.
- Insert the plug securely into the AC IN socket.
- Use one of the two AC plug holders (supplied) that will securely hold the AC plug.

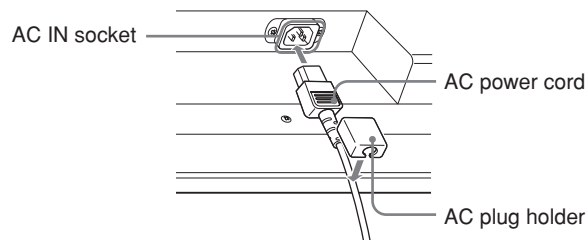
Connecting the Speakers

You can enjoy viewing with a greater sense of presence by connecting speakers SS-SP40FW/32FW (not supplied). Please be sure to connect the speakers correctly. For more details on connecting the speakers, see the operating manual that came with the speakers.

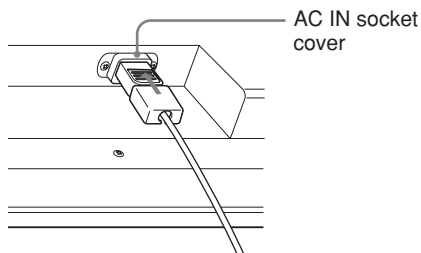
For details on how to route the speaker cords, refer to "Using the cable holders" on page 15 (GB).

Connecting the AC Power Cord

- 1 Plug the AC power cord into the AC IN socket. Then, attach the AC plug holder (supplied) to the AC power cord.



- 2 Slide the AC plug holder over the cord until it connects to the AC IN socket cover.

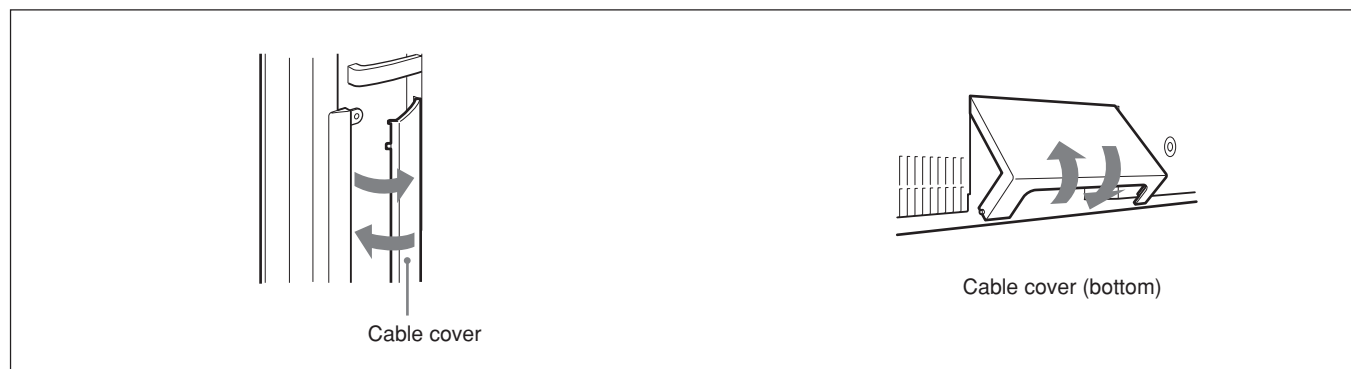


To remove the AC power cord

After squeezing the AC plug holder and freeing it, grasp the plug and pull out the AC power cord.

Cable management

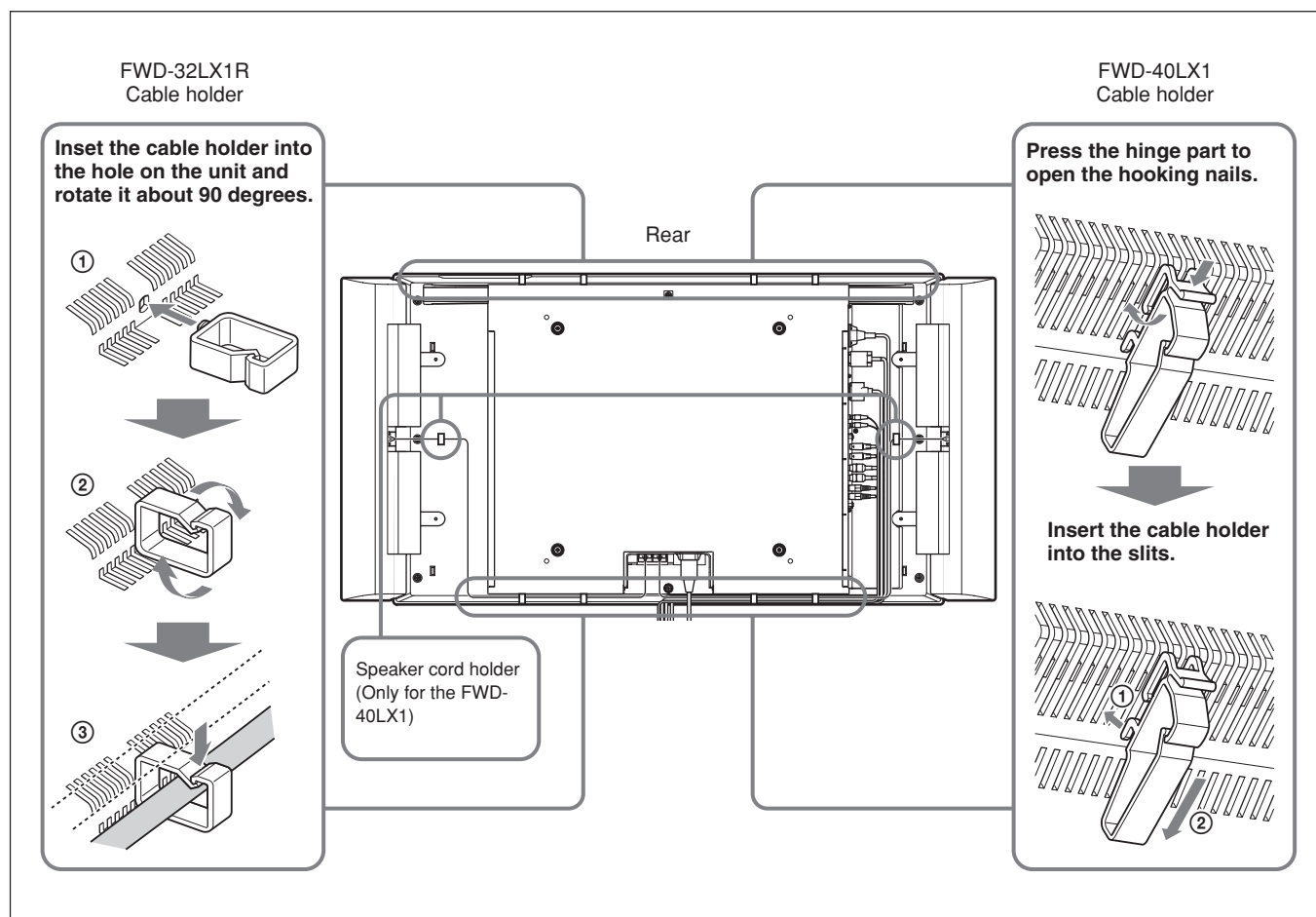
The display has the cable covers on its back. Before connecting the cables to the display, pull the cable covers to open. After connecting the cables to the display, close the cable covers.



Using the cable holders

You can bundle the cables with the supplied cable holders (×6 for the FWD-40LX1 and ×4 for the FWD-32LX1R). Choose three successive blank parts of the air vents for the cable holder on the FWD-40LX1.

Choose six out of eight holes on the FWD-32LX1R. Attach the cable holders in the illustration below. When you connect the speakers SS-SP40FW (not supplied), route the speaker cords through the speaker cord holders on the rear of the display unit. (Only for the FWD-40LX1)

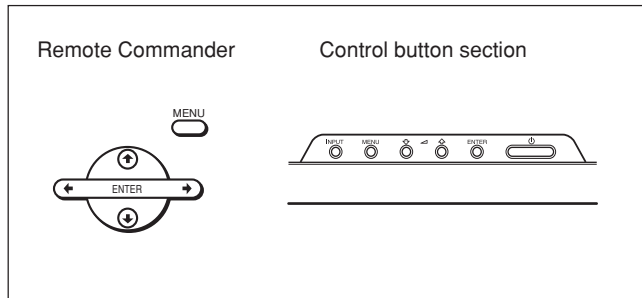


Using On-screen Menus

Operating Through Menus

Menu operating buttons

Use the buttons on the display unit or the Remote Commander for menu operations.



Operation of the unit is explained in these operating instructions for the case of operation using the Remote Commander. The **↑/↓** and **ENTER** buttons on the Remote Commander have the same functions as the **↑/↓** and **ENTER** buttons on the display.

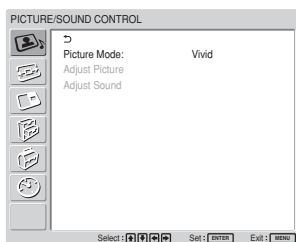
Note

Operation may differ in some cases since there is no **←/→** button on the display.

Configuration of the menu

To select the language of the menus, see “Selecting the On-screen Language” on page 36 (GB).

- 1 Press **MENU**.
The main menu appears on the screen.



- 2 Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to the main menu items you want to select and press **ENTER**.
The cursor moves to the next menu.

- 3 Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to the item you want to select and press **ENTER**.
The menu for the selected item appears.
Select an different item by repeating this procedure.
- 4 Press **↑/↓** to adjust or select the setting and press **ENTER** to set it.
The setting is registered and the menu returns to the previous menu.

To complete the configuration and return to the normal screen, press **MENU**.

To return to the previous menu level, press **↑/↓** to move the cursor to **↶** and press **ENTER** or **←**.

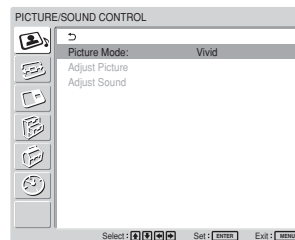
Menu Guide

Note

Items that cannot be set or adjusted (depending on the setting or the type of signal input) show in gray.

PICTURE/SOUND CONTROL menu

Adjusts the quality of sound and picture.



Picture Mode

Sets the image quality suitable for the type of picture or the brightness of the location where the unit is installed.

For details, see “Selecting Image Quality” on page 24 (GB).

Adjust Picture

You can make fine adjustment of the picture.
Set Picture Mode to any of “User1” to “User3” first.

Note

You cannot adjust the following items when Picture Mode is set to “Vivid” or “Standard.”

For details, see “Adjusting the Picture” on page 24 (GB).

Adjust Sound

You can make fine adjustment of the sound.
Set Picture Mode to any of “User1” to “User3” first.

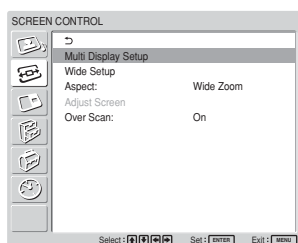
Note

You cannot adjust the following items when Picture Mode is set to “Vivid” or “Standard.”

For details, see “Adjusting the Sound Quality” on page 35 (GB).

SCREEN CONTROL menu

You can resize or adjust the position of a picture.



Multi Display Setup

You can make settings for connecting multiple display units and forming a video wall in a 2×2 , 3×3 or 4×4 arrangement.

For details, see “Setting up the Multi Display” on page 34 (GB).

Wide Setup

Sets the Auto Wide function. The Auto Wide function is a function which chooses from among ordinary television broadcasts, or wide screen images, all having different proportions for horizontal and vertical display, and automatically expands the picture to a wide screen image with a 16:9 aspect ratio, enabling the most appropriate display of different types of images.

For details, see “Setting Auto Wide” on page 28 (GB).

Aspect

Switches the wide screen display to match the size and type of the picture.

For details, see “Setting the Aspect” on page 29 (GB).

Adjust Screen

This menu is used for resizing or repositioning the picture. You can also adjust the number of picture pixels using this menu.

For details, see “Resizing and Positioning the Picture” on page 30 (GB).

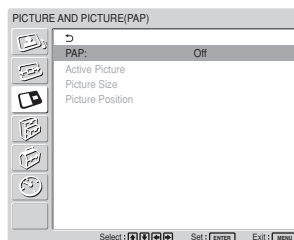
Over Scan

You can activate/deactivate “Over Scan” when RGB mode is set to DTV.

When set to “On,” the display unit shows the pictures performing Over Scan.

PICTURE AND PICTURE (PAP) menu

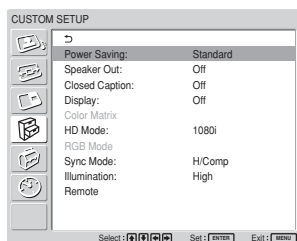
You can show two pictures from different signal sources, such as a computer and a video, side by side.



For details, see “Viewing two pictures at the same time” on page 32 (GB).

CUSTOM SETUP menu

You can reduce power consumption or set various kinds of modes.



Power Saving

Reduces power consumption while showing pictures.

Standard: No energy saving

Reduce: Save energy

When you select “Reduce,” the brightness of the picture is reduced so that you can enjoy viewing pictures while reducing power consumption.

Notes

- “Power Saving: Reduce” will be resumed when you power on the unit again.
- Even when Power Saving is set to “Reduce”, you can still adjust the quality of the picture. However, note that you may lose the energy saving effects if you increase Contrast or Brightness.

Speaker Out

Set it to ON to cause sound to be emitted from the speakers SS-SP40FW/32FW (not supplied.) When it is set to Off, you cannot adjust a sound level. If you try to adjust it,  will be displayed.

Closed Caption

Displays closed captions.

While showing two pictures using the combination of Component + Component, you can display closed captions only while inputting signals from the BKM-FW11 or BKM-FW12.

Off: The caption is not displayed.

CC1-4: Displays the caption superimposed on the picture.

Display

Select On to display the input signal information and Picture Mode for about five seconds on the screen when you turn on the unit or switch the input signal.

Color Matrix

Sets the Color Matrix to show pictures in natural color tones when a component signal is input.

For details, see “Adjusting Color Matrix” on page 36 (GB).

HD Mode

Selects a mode according to an HD analog component signal input to the display unit.

1080i: When a 1080i signal is input

1035i: When a 1035i signal is input

RGB Mode

Sets the mode when a device that outputs RGB signals is connected to the display unit.

DTV: When connected to an RGB signal digital tuner, etc.

PC: When connected to a PC.

Sync Mode

Sets the mode according to the signal input at pin 13 of the INPUT2 RGB/COMPONENT connector.

Signals can be set only to 575/50I or 480/60I.

H/Comp: When a horizontal signal is input

Video: When a video signal is input

Input signal and Synchronous mode settings

PIN	Signal input over the D-sub	Synchronous mode setting
13	480/60I, 575/50I Composite Video	Video signal
13/14	H Sync/V Sync	Synchronizing signal
2	Sync On Green	

See “Pin assignment” on page 44 (GB) for more information on the pin assignments of RGB/COMPONENT connector.

Notes

- There are some inputs for which only synchronizing signals can be selected. In this case, an image will not be displayed even if a video signal is input to the 13 pin connector. Input horizontal/vertical synchronization signals through the 13 or 14 pin connectors, or input Sync On Green signals through the RGB connector.
- With Sync On Green, if the unit is not set to accept synchronizing signals, the image will not be displayed.
- Signals of the synchronous mode can be supported only with INPUT2.
- Sync Mode settings cannot be carried out for the input through the option boards.
- This unit does not support the three value sync format of composite sync and 576/60P.

Illumination

Switches the brightness of the “SONY” logo on the front of the display unit.

Remote

This menu is used for remote control settings.

Index Number

Sets the index number of the display.

Note

When you set the index number, use the buttons on the display unit. The index number cannot be set with the Remote Commander.

For details on the Index Number, see “Operating a Specific Display With the Remote Commander” on page 42 (GB).

Control Mode

Selects the function of the Remote Commander.

Display + Remote: Activates a remote commander supplied with the display.

Display Unit Only: Disables the remote control function. You can only make settings for the display using the control buttons on the display unit.

Remote Only: Disables the controls on the display unit when you want to control it using the Remote Commander only. You can only make settings for the display using the Remote Commander.

Note

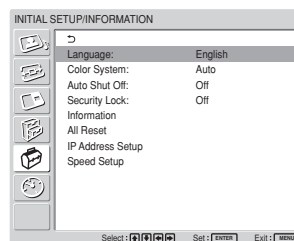
When operating this item, the modes you can select differ depending on the key you are using.

When using ENTER on the Remote Commander for setting, you can select only “Display + Remote” or “Remote Only.”

When using ENTER on the display unit for setting, you can select only “Display + Remote” or “Display Unit Only.”

INITIAL SETUP/INFORMATION menu

You can select the on-screen language or the input signal, or set the Security Lock option.



Note

“IP Address Setup” and “Speed Setup” appear on the menu only when an option adaptor with a communication function such as BKM-FW32 or BKM-FW50 is installed into the OPTION1 slot.

Language

Selects the on-screen language (Japanese, English, German, French, Spanish, or Italian).

For details, see “Selecting the On-screen Language” on page 36 (GB).

Color System

Selects the Color System of video signals.

Auto: to set the Color System automatically.

NTSC: to display NTSC signals

NTSC4.43: to display NTSC4.43 signals

PAL: to display PAL signals

SECAM: to display SECAM signals

PAL-M: to display PAL-M signals

PAL-N: to display PAL-N signals

PAL60: to display PAL60 signals

Auto Shut Off

When you set this item to “On,” the display unit automatically enters the standby mode when a signal is not input to the COMPONENT or DVI input connectors for more than about five minutes. While in the standby mode, press the  POWER switch on the display unit or the POWER ON button on the Remote Commander to switch the display unit on. The display unit automatically enters the power saving mode when a signal is not input to the DVI or RGB input connectors for more than about thirty seconds. While in the power saving mode, the display unit is automatically turned on when a signal is input.

Security Lock

Sets the security lock on the display unit.

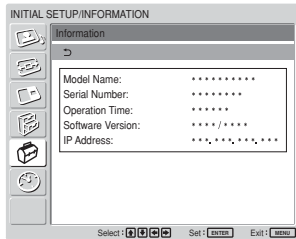
Off: Disables the security lock.

On: With this item set to On, requires a password to set the security lock.

For details, see “Setting the Security Lock” on page 38 (GB).

Information

This menu is used for displaying various information, including information on the internal status of the display unit.



Note

“IP Address” appears on the menu only when an option adaptor with a communication function such as BKM-FW32 or BKM-FW50 is installed into the OPTION1 slot.

Model Name

Indicates the model name.

Serial Number

Indicates the serial number.

Operation Time

Indicates the total number of hours of operation.

Note

Time spent in standby mode is not counted as part of the Operation Time.

Software Version

Indicates the system software version.

All Reset

Resets all the adjustments and setting values to the factory preset.

Note

The Index Number will not be reset.

IP Address Setup

Sets an IP address to communicate between the display unit and an optional adaptor with communication function such as BKM-FW32 or BKM-FW50.

DHCP: Automatic configuration to set an IP address.

Manual: Manual configuration to set an IP address.

For details, see “Setting an IP Address and communication speed” on page 39 (GB).

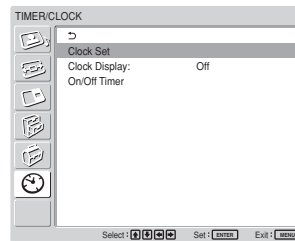
Speed Setup

Sets a communication speed between the display unit and an optional adaptor with communication function such as BKM-FW32 or BKM-FW50.

For details, see “Setting an IP Address and communication speed” on page 39 (GB).

TIMER/CLOCK menu

You can set the timer, adjust time, display the built-in clock, or make the unit power on/off at a predetermined time.



Note

The time and the day are not preset in the factory setting.

Clock Set

Sets the time and the day.

For details, see “Adjusting the time and the day” on page 37 (GB).

Clock Display

Displays the currently set time on the screen when set to On.

For details, see “Displaying the time” on page 37 (GB).

On/Off Timer

Sets the time at which the power is automatically turned on or off.

For details, see “On/Off Timer Function” on page 38 (GB).

Watching the Picture

Before you start

- Power on the display.
- Power on the connected equipment and play a video source.
- To display the input signal information and Picture Mode on the screen when turning on the power or switching the input signal, set “Display” in the Custom Setup menu to On.
- To select the language of the menus, see “Selecting the On-screen Language” on page 36 (GB).

Switching the Input Signal

Input1 DVI: Selects the signal (digital RGB) input to the INPUT1 connectors.

Input2 RGB: Selects the signal (analog RGB) input to the INPUT2 connectors.

Input2 Component: Selects the signal (component) input to the INPUT2 connectors.

Option1/2 Video: Selects the signal (video signal) input from the equipment connected to the connectors of the option 1 or 2 slot.

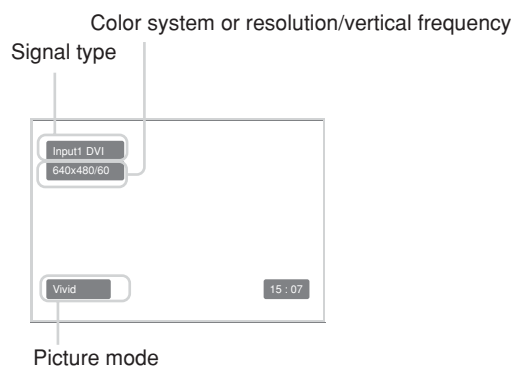
Option1/2 S Video: Selects the signal (S video signal) input from the equipment connected to the connectors of the option 1 or 2 slot.

Option1/2 RGB: Selects the signal (analog RGB signal) input from the equipment connected to the connectors of the option 1 or 2 slot.

Option1/2 Component: Selects the signal (component signal) input from the equipment connected to the connectors of the option 1 or 2 slot.

Press INPUT1, INPUT2, OPTION1 or OPTION2 button on the Remote Commander to switch the input signal. When multiple formats of signals can be input to the selected input connector, the indication changes every time you press the corresponding button.

For example, every time you press the INPUT2 button, the indication switches to “Input2 RGB” or “Input2 Component” alternately. The selected input signal appears on the screen.



You can switch the input signal using the OPTION button on the display unit.

Note

We recommend input source video equipment equipped with a TBC (time base corrector). If the display receives a signal without TBC, the picture may disappear due to disturbance of the sync signal.

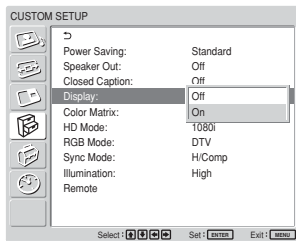
Input Signal, Picture Mode and Display Status Information

Input signal and “Picture Mode” information appear on the screen for about twenty seconds when the power is turned on and for about five seconds when the input signal is switched.

To disable this function, follow the steps below.

- 1 In the CUSTOM SETUP menu, press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Display” and press ENTER.

The following menu appears on the screen.



- 2 Press **↑/↓** to set “Display” to “Off,” then press ENTER.

To display the information

Set “Display” to “On” in step 2 above, then press ENTER. The factory default setting is “On.”

Note

You can display the input signal information and the time anytime by pressing the DISPLAY button on the Remote Commander, regardless of the above setting.

Preset input signals			
	Signal name	Color system or horizontal/ vertical frequency	
Computer signals			
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31.5 kHz	70 Hz
2	640×480@60 Hz (VESA ^{b)} STD)	31.5 kHz	60 Hz
3	Mac ^{c)} 13"	35.0 kHz	67 Hz
4	VGA (VGA TEXT)	31.5 kHz	70 Hz
5	800×600@60 Hz (VESA STD)	37.9 kHz	60 Hz
6	Mac 16"	49.7 kHz	75 Hz
7	1024×768@60 Hz (VESA STD)	48.4 kHz	60 Hz
8	1024×768@75 Hz (VESA STD)	60.0 kHz	75 Hz
9	1024×768@85 Hz (VESA STD)	68.7 kHz	85 Hz
10	1152×864@75 Hz (VESA STD)	67.5 kHz	75 Hz
11	Mac 21"	68.7 kHz	75 Hz
12	1280×960@60 Hz (VESA STD)	60.0 kHz	60 Hz
13	1280×1024@60 Hz (VESA STD)	64.0 kHz	60 Hz
14	1600×1200@60 Hz (VESA STD)	75.0 kHz	60 Hz
15	848×480@60 Hz (VESA STD)	29.8 kHz	60 Hz
16	848×480@60 Hz (VESA STD)	29.5 kHz	60 Hz
17	848×480@75 Hz	37.7 kHz	75 Hz
18	1280×768@60 Hz	47.8 kHz	60 Hz
19	1280×768@60 Hz	47.4 kHz	60 Hz
SDTV/HDTV			
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	
16	720/50p	720/50P	

- a) VGA is a registered trademark of International Business Machines Corporation, U.S.A.
b) VESA is a registered trademark of the Video Electronics Standards Association.
c) Mac (Macintosh) is a registered trademark of Apple Computer, Inc.

Notes

- When inputting an HDTV signal, input the tri-level sync signal to the 2nd pin of RGB/COMPONENT (D-sub 15 pin) on the INPUT2 connector or the BKM-FW12.
- If colors appear too light after inputting a DVD signal to the display unit, adjust the “Chroma” setting in the Adjust Picture menu.
- When the phase is readjusted, the resolution will be reduced.

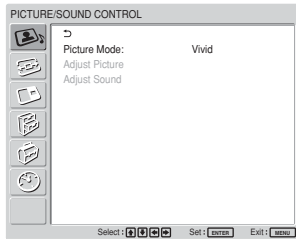
Actual on-screen display of the unit's status

On-screen display	Significance
640×480 / 60 (e.g.)	The selected input signal is computer RGB.
480 / 60I (e.g.)	The selected input signal is component video.
NTSC (e.g.)	The selected input signal is NTSC.
Not Supported Signal	The selected input signal is non-supported signal.
No Sync	There is no input signal.
INPUT1 DVI	The signal mode of INPUT1 is set to digital RGB.
INPUT2 RGB	The signal mode of INPUT2 is set to analog RGB.
INPUT2 Component	The signal mode of INPUT2 is set to component video.
Option 1/2 Video	The signal mode of Option 1 or 2 slot is set to composite video.
Option 1/2 S Video	The signal mode of Option 1 or 2 slot is set to S VIDEO.
Option 1/2 RGB	The signal mode of Option 1 or 2 slot is set to analog RGB.
Option 1/2 Component	The signal mode of Option 1 or 2 slot is set to component video.

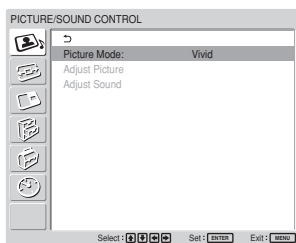
Selecting Image Quality

You can set an image quality suitable for the type of picture or the brightness of the location where the unit is installed.

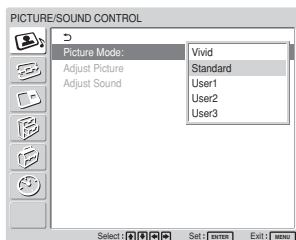
- 1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



- 2 Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to "PICTURE/SOUND CONTROL" and press ENTER.
The PICTURE/SOUND CONTROL menu appears on the screen.



- 3 Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to "Picture Mode" and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



- 4 Select the Picture Mode with **↑/↓**.
Vivid: Pictures get intense sharpness with image contour and contrast maximized.
Standard: Pictures look real with moderate contrast and image contour.
User1-3: You can set the image quality to suit your taste using the Adjust Picture menu.
- 5 Press ENTER to return to the PICTURE/SOUND CONTROL menu.

Adjusting the Picture

While watching the picture, you can adjust contrast, brightness, chroma, phase, and so on, to suit your taste. The adjustments can be carried out for each input signal separately. You can also store the adjusted levels in memory.

Set the Picture Mode to any of "User1" to "User3."

Adjusting the Contrast, Brightness, Chroma, and Phase, etc.

Press MENU to show the main menu and adjust "Backlight," "Contrast," "Brightness," "Chroma," "Phase," "Sharpness," "Noise Reduct.," "Cinema Drive," "Dynamic Picture," "Color Temp.," "Color Correct.," or "Gamma Correct." on the Adjust Picture menu.

Backlight

Select "Backlight" with **↑/↓** and press ENTER.
Adjust the brightness of the background with **↑/↓/←/→** within the range of MIN (0) to MAX (100), then press ENTER.

↑/→: to increase the brightness of the background
↓/←: to decrease the brightness of the background

While showing two pictures, both pictures will be adjusted.

Contrast

Select "Contrast" with **↑/↓** and press ENTER.
Adjust the contrast with **↑/↓/←/→** within the range of MIN (0) to MAX (100), then press ENTER.

↑/→: to increase picture contrast

↓/←: to decrease picture contrast

While showing two pictures, only the active picture will be adjusted. And the range of adjustment is limited.

Brightness

Select "Brightness" with **↑/↓** and press ENTER.
Adjust the brightness with **↑/↓/←/→** within the range of MIN (0) to MAX (100), then press ENTER.

↑/→: to make the picture brighter

↓/←: to make the picture darker

While showing two pictures, only the active picture will be adjusted. And the range of adjustment is limited.

Chroma

Select “Chroma” with **↑/↓** and press ENTER.
Adjust the chroma with **↑/↓/←/→** within the range of MIN (0) to MAX (100), then press ENTER.

↑/→: Increases color intensity.

↓/←: Decreases color intensity.

While showing two pictures, only the active picture will be adjusted.

Phase

Select “Phase” with **↑/↓** and press ENTER.
Adjust the phase with **↑/↓/←/→** within the range of Left (50) to Right (50), then press ENTER.

↑/→: Makes the overall picture greenish.

↓/←: Makes the overall picture reddish.

While showing two pictures, only the active picture will be adjusted.

Sharpness

Select “Sharpness” with **↑/↓** and press ENTER.
Adjust the sharpness with **↑/↓/←/→** within the range of MIN (0) to MAX (10), then press ENTER.

↑/→: Increases the sharpness of the image.

↓/←: Decreases the sharpness of the image.

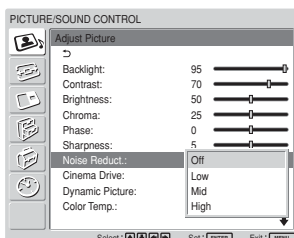
While showing two pictures, both pictures will be adjusted.

Noise Reduct.

Reduces image graininess and color noise.

- 1 Select “Noise Reduct.” with **↑/↓** and press ENTER.

The following menu appears on the screen.



- 2 Select the Noise Reduct. mode with **↑/↓**.
Off: The image signal is displayed directly.
Low: Sets the Noise Reduct. processing to low.
Mid: Sets the Noise Reduct. processing to medium.
High: Sets the Noise Reduct. processing to high.

- 3 Press ENTER to return to the Adjust Picture menu.

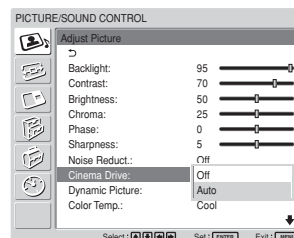
While showing two pictures, both pictures will be adjusted.

Cinema Drive

Automatically detects a picture shot on a 24 frame motion-picture film and plays it back maximizing the characteristics of a motion-picture film.

- 1 Select “Cinema Drive” with **↑/↓** and press ENTER.

The following menu appears on the screen.



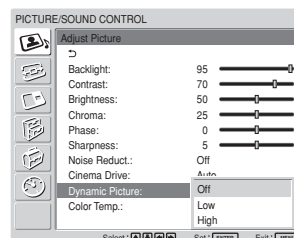
- 2 Select the Cinema Drive mode with **↑/↓**.
Off: Plays back the picture according to its signal.
Auto: Plays back the picture shot on a movie film maximizing the motion-picture-like characteristics of the original.
While showing two pictures, only the active picture will be adjusted.

Dynamic Picture

Enhances contrast by making white brighter and black darker.

- 1 Select “Dynamic Picture” with **↑/↓** and press ENTER.

The following menu appears on the screen.



- 2 Select the Dynamic Picture mode with **↑/↓**.
Off: Disables the Dynamic Picture function.
Low: Set the Dynamic Picture function to low.
High: Set the Dynamic Picture function to high.

- 3** Press ENTER to return to the Adjust Picture menu.
While showing two pictures, both pictures will be adjusted.

Color Temp.

You can set color temperature. Either select one from “Cool,” “Neutral,” or “Warm,” or set values for each gain separately.

- 1** Select “Color Temp.” with ↑/↓ and press ENTER.
- 2** Select the color temperature with ↑/↓ and press ENTER.
Cool: Sets the color temperature to high.
Neutral: Sets the color temperature to neutral.
Warm: Sets the color temperature to low.
Color1 – 3: Sets values for each gain separately.

When you select “Warm,” “Neutral,” or “Cool,” the menu returns to the Adjust Picture menu.

When you select “Color1” to “Color3”

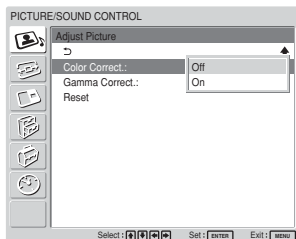
- (1) Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to the gain that you want to adjust and press ENTER.
- (2) Adjust the gain (0 to 100) with ↑/↓/←/→ and press ENTER.

The menu returns to the Color Temp. menu.
While showing two pictures, both pictures will be adjusted.

Color Correct.

Faithfully reproduces a healthy complexion.

- 1** Select “Color Correct.” with ↑/↓ and press ENTER.
The following menu appears on the screen.

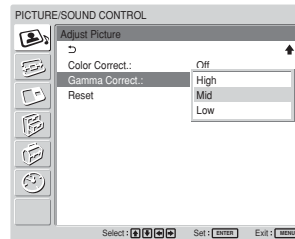


- 2** Select the Color Correct. mode with ↑/↓.
Off: Disables the Color Correct. function.
On: Activates the Color Correct. function.
While showing two pictures, only the active picture will be adjusted.

Gamma Correct.

Balances the light and dark portions of pictures automatically.

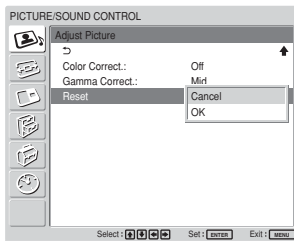
- 1** Select “Gamma Correct.” with ↑/↓ and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



- 2** Select the Gamma Correct. mode with ↑/↓.
High: Sets the Gamma Correct. to high.
Mid: Sets the Gamma Correct. to medium.
Low: Sets the Gamma Correct. to low.
- 3** Press ENTER to return to the Adjust Picture menu.
While showing two pictures, both pictures will be adjusted.

Restoring the Adjust Picture Menu Items to Their Original Settings

- 1 In the Adjust Picture menu, press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Reset” and press ENTER. The following menu appears on the screen.



- 2 Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “OK” and press ENTER. The Adjust Picture menu items are restored to their factory presets.

Note

The values set for Color1 – 3 of Color Temp. will not be cleared.

While showing two pictures, the values set for “Backlight,” “Contrast” and “Brightness” will not be cleared, either.

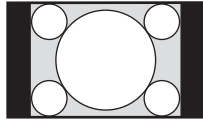
To cancel the reset function

Press MENU before pressing ENTER. Alternatively, select “Cancel” with **↑/↓** and press ENTER.

Picture Enlargement

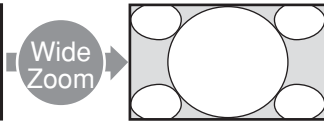
You can enlarge pictures to suite your taste.
For Wide Mode, the following choices are available.

Original Picture (Picture Type)

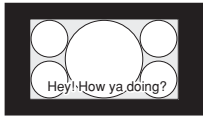


Ordinary pictures with a 4:3 aspect ratio (screen aspect ratio: 4:3).

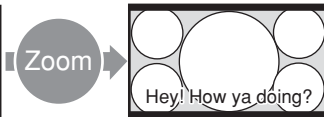
Enlarged Picture



Images are enlarged naturally to full screen size.



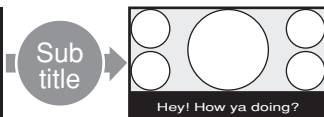
- Images from a video camera or DVD software with aspect ratio information (ID-1 type)



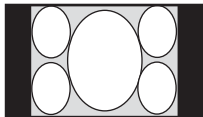
Images are enlarged to full screen size aligned with the right and left sides of the screen. (Black bars may remain at the top and bottom of the screen, depending on the type of picture.)



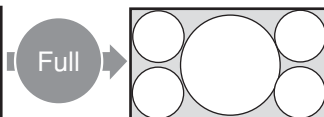
Movies filmed in CinemaVision and so forth that appear long in the horizontal direction of the screen and contain captions outside the picture (aspect ratio: 2.35:1)



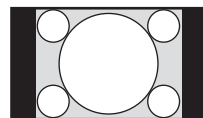
The picture is displayed on the screen with the area where captions are displayed while enlarging to full screen size and aligning with the left and right sides of the screen.



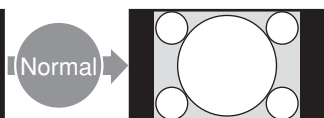
Images from a video camera or DVD software containing aspect ratio information (ID-1 type)



The left and right edges of the picture are enlarged to full screen size without changing the top and bottom.



Ordinary pictures with a 4:3 aspect ratio (screen aspect ratio: 4:3).



Pictures are displayed in the original 4:3 aspect ratio without being enlarged.

Setting Auto Wide

The Auto Wide function faithfully reproduces images based on the identification control signal to identify the video signal format or enlarges various types of pictures to the optimum.

You can also enlarge picture with a 4:3 aspect ratio to 16:9.

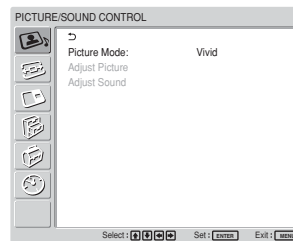
Identification Control Signal

This is a control signal for faithfully reproducing the aspect ratio of the original image on a television screen. Images that contain this signal consist of the following:

- Images recorded with a television camera with aspect ratio information (ID-1 format).
- Television broadcasts containing a signal for setting the aspect ratio to 4:3.

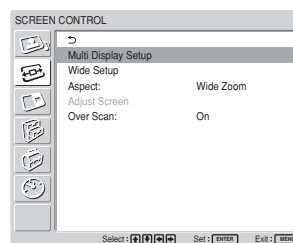
1 Press MENU.

The main menu appears on the screen.



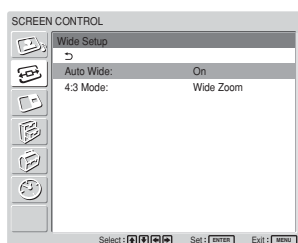
2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "SCREEN CONTROL" and press ENTER.

The SCREEN CONTROL menu appears on the screen.



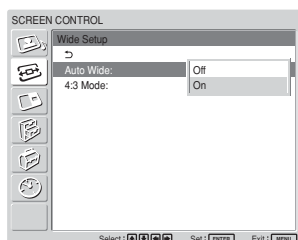
- 3** Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Wide Setup” and press ENTER.

The following menu appears on the screen.

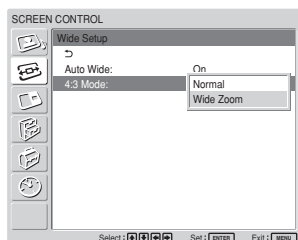


- 4** Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Auto Wide” and press ENTER.

The following menu appears on the screen.



- 5** Select the Auto Wide setting with **↑/↓**.
Off: Images are reproduced as-is.
On: The image is enlarged and displayed in the most appropriate aspect ratio.
- 6** Press ENTER.
 The screen returns to the screen shown in step 3.
- 7** Select “4:3 Mode” with **↑/↓** and press ENTER.
 The following menu appears on the screen.



- 8** Select the 4:3 Mode with **↑/↓**.
Normal: Pictures with a 4:3 aspect ratio are displayed as-is.
Wide Zoom: Pictures with a 4:3 aspect ratio are displayed after being enlarged to an aspect ratio of 16:9.
- 9** Press ENTER.
 The menu returns to the Wide Setup menu.

Note

- While inputting DVI or RGB signals, you cannot set the Auto Wide because the Auto Wide function does not work.

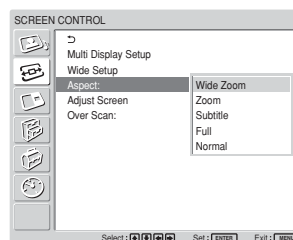
- While showing two pictures using the combination of Component + Component, the Auto Wide function works only while inputting signals from the BKM-FW11 or BKM-FW12.

Setting the Aspect

Pictures can also be enlarged to the desired wide mode regardless of the type of picture.

- 1** In the SCREEN CONTROL menu, press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Aspect” and press ENTER.

The following menu appears on the screen.



- 2** Select the Aspect with **↑/↓**.
Wide Zoom: Enlarges 4:3 pictures full-screen to 16:9 pictures.
Zoom: Enlarges the picture all the way to the left and right edges of the screen. (Black bars may remain on the top and bottom of the screen, depending on the type of picture.)
Subtitle: Enlarges the picture all the way to the left and right edges of the screen and compresses only the area where captions are displayed.
Full: Extends the left and right sides of the picture to cover the entire screen without changing the top and bottom.
Normal: Displays the picture without enlarging it.

- 3** Press ENTER.
 The menu returns to the SCREEN CONTROL menu.

Notes

- You cannot set the Aspect while using the PICTURE AND PICTURE function or the Multi Display.
- If you set Aspect, the Auto Wide function is disabled. If you want to use the Auto Wide function, reset it to “On.”
- The top or bottom of the picture may be cut off or the captions may not completely be displayed on the screen depending on the type and size of picture.
- Please note that showing enlarged/compressed pictures for commercial purposes or public viewing at hotels or coffee shops can be copyright infringement as defined under the copyright laws.

Resizing and Positioning the Picture

You can shift the position of the picture to fit the screen, or adjust the vertical and horizontal size of the picture separately.

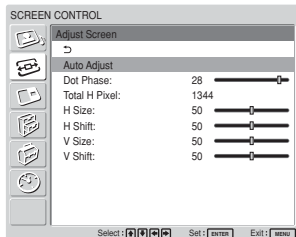
Adjusting the Size, Position, or the Pixels of the Picture

Press MENU to show the main menu and adjust “Dot Phase,” “Total H Pixel,” “H Size,” “H Shift,” “V Size,” or “V Shift” on the Adjust Screen menu.

Adjust screen

If there is too much noise on the edges of characters or vertical lines or if the size or position of the picture is improper, adjust the screen.

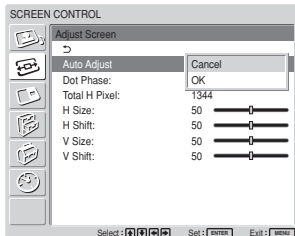
- 1 Select “Adjust screen” with $\uparrow/\downarrow$ and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



- 2 You can adjust the screen either automatically or manually.

Adjusting automatically

- (1) Select “Auto Adjust” with $\uparrow/\downarrow$ and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



- (2) Select “OK” with $\uparrow/\downarrow$ and press ENTER.
All the items of “Adjust screen” menu are adjusted automatically.

Note

Due to patterns in the image, there may be times when noise continues to occur even after you have used Auto Adjust. In such cases, adjust the dot phase manually.

Adjusting manually

- (1) Select the item you want to adjust and press ENTER.
The following appears on the screen. (When you select “Dot Phase”)



- (2) Adjust the screen with $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$, then press ENTER.

Dot Phase

Select “Dot Phase” with $\uparrow/\downarrow$ and press ENTER.
Adjust the dot phase with $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ until the characters and vertical lines appear best, then press ENTER.

Note

This item is valid only for an analog computer signal.

Total H Pixel

Select “Total H Pixel” with $\uparrow/\downarrow$ and press ENTER.
Adjust the total number of horizontal pixels with $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ until the characters and vertical lines appear best, then press ENTER. (All the items of “Adjust Screen” menu will be readjusted automatically, based on the Total H Pixel that has been adjusted manually.)

Note

This item is valid only for an analog computer signal.

H Size

Select “H Size” with **↑/↓** and press ENTER. Adjust the horizontal size of the picture with **↑/↓/←/→** within the range of MIN (0) to MAX (100), then press ENTER.

↑/→: Enlarges the image horizontally.

↓/←: Compresses the image horizontally.

When you want to reset H Size to the center value, select “Auto Adjust.”

H Shift

Select “H Shift” with **↑/↓** and press ENTER. Adjust the position of the picture horizontally with **↑/↓/←/→** within the range of MIN (0) to MAX (100), then press ENTER.

↑/→: Moves the picture to the right.

↓/←: Moves the picture to the left.

When you want to reset H Shift to the center value, select “Auto Adjust.”

V Size

Select “V Size” with **↑/↓** and press ENTER. Adjust the vertical size of the picture with **↑/↓/←/→** within the range of MIN (0) to MAX (100), then press ENTER.

↑/→: Enlarges the image vertically.

↓/←: Compresses the image vertically.

When you want to reset V Size to the center value, select “Auto Adjust.”

V Shift

Select “V Shift” with **↑/↓** and press ENTER. Adjust the position of the picture vertically with **↑/↓/←/→** within the range of MIN (0) to MAX (100), then press ENTER.

↑/→: Moves the picture up.

↓/←: Moves the picture down.

When you want to reset V Shift to the center value, select “Auto Adjust.”

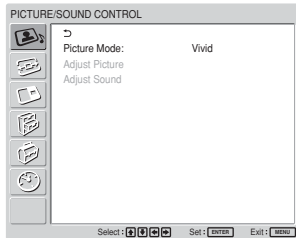
Note

When the “Aspect” is set to “Wide Zoom,” you cannot adjust the size or position of the picture.

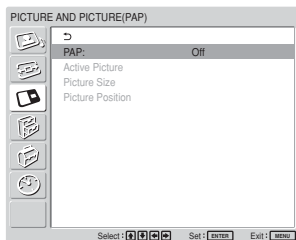
Viewing two pictures at the same time

You can show two pictures from different signal sources, such as a computer and a video, side by side.

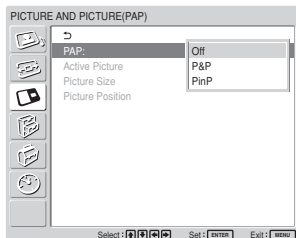
- 1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



- 2 Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “PICTURE AND PICTURE (PAP)” and press ENTER.
The PICTURE AND PICTURE (PAP) menu appears on the screen.



- 3 Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “PAP” and press ENTER.
The following menu appears on the screen.

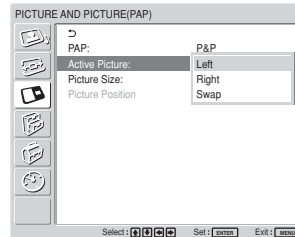


- 4 Select the PAP mode with **↑/↓**.
Off: Disables PAP function.
P&P: Shows two pictures side by side at the same time.
PinP: Shows an inset picture on the main picture.
- 5 Press ENTER to return to the previous screen.

Activating a picture or swapping the positions of two pictures

When P&P is selected

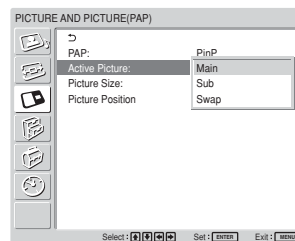
- 1 Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Active Picture” and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



- 2 Select the Active Picture mode with **↑/↓** and press ENTER.
When you make the menu appear, the frame appears around the picture for which you can currently adjust the setting.
The audio corresponding to the currently active picture is output.
Left: Activates the picture on the left.
Right: Activates the picture on the right.
Swap: Swaps the position of the two pictures.
While not showing the menu screen, the picture on the left will be activated when you press **←** on the Remote Commander, and the picture on the right will be activated when you press **→** on the Remote Commander.

When PinP is selected

- 1 Select “Active Picture” with **↑/↓** and press ENTER.
The following appears on the screen.



- 2 Select the Active Picture mode with **↑/↓** and press ENTER.
When you make the menu appear while the Sub picture is activated, the frame appears around the sub picture. While the Main picture is activated, the frame does not appear. The audio corresponding to the currently active picture is output.
Main: Activates the main picture.

Sub: Activates the inset picture.

Swap: Swaps the main and the inset pictures. While not showing the menu screen, the main picture will be activated when you press **←** on the Remote Commander, and the inset picture will be activated when you press **→** on the Remote Commander.

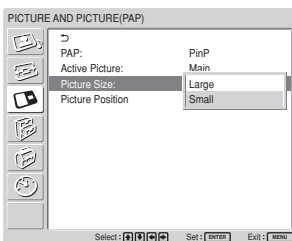
Zooming in on a picture

When P&P is selected

- 1 Select "Picture Size" with **↑/↓** and press ENTER.
- 2 Keep pressing **←/→** to change the size of the picture, then press ENTER.

When PinP is selected

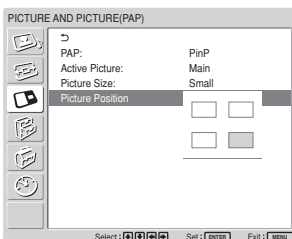
- 1 Select "Picture Size" with **↑/↓** and press ENTER. The following appears on the screen.



- 2 Press **↑/↓** to select the size, then press ENTER.
Large: Increases the size of the inset picture.
Small: Decreases the size of the inset picture.

Adjusting the position of the inset picture (For PinP only)

- 1 Select "Picture Position" with **↑/↓** and press ENTER.



- 2 Adjust the position of the inset picture with **↑/↓** **←/→**, then press ENTER.

Notes

- You can show two pictures only when "Multi Display" is set to "Off."
- While showing two pictures, the settings of "Brightness" and "Contrast" adjust the balance between the two pictures.
- You can select any of the following combinations of input signals for the PICTURE AND PICTURE function.
- The input system for the picture on the right or the inset picture is displayed in the upper right on the screen. And under this, color system or resolution/vertical frequency is displayed for the Active Picture.

PC (Digital)	+	PC (Analog)	PC	+	Video/S Video
Input1	+	Input2	Input1	+	BKM-FW10
Input1	+	BKM-FW12	Input2	+	BKM-FW10
Input1	+	BKM-FW11			
Input1	+	BKM-FW50			

PC	+	Component	PC (Analog)	+	Digital Video
Input1	+	BKM-FW11	Input2	+	Input1
Input1	+	Input2	BKM-FW12	+	Input1
Input2	+	BKM-FW11	BKM-FW11	+	Input1
Input1	+	BKM-FW12			
Input2	+	BKM-FW12			

Video/S video	+	Component	Component	+	Component (up to 480i)
BKM-FW10	+	Input2*	Input2	+	BKM-FW11*
			Input2	+	BKM-FW12*

Digital Video	+	Component	Digital Video	+	Video/S video
Input1	+	BKM-FW11	Input1	+	BKM-FW10
Input1	+	Input2			
Input1	+	BKM-FW12			

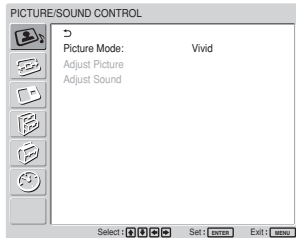
Recommended combinations

- While using the combination marked with *, the Closed Caption and Auto Wide functions work only while inputting signals from the BKM-FW10, BKM-FW11 or BKM-FW12.
- 2 motion pictures of different TV systems may not be displayed properly due to difference in the signal format.

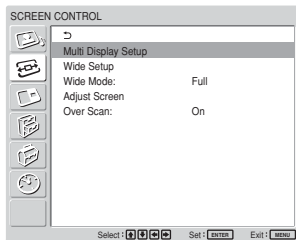
Setting up the Multi Display

You can make settings for connecting multiple display units to form a video wall.

- 1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



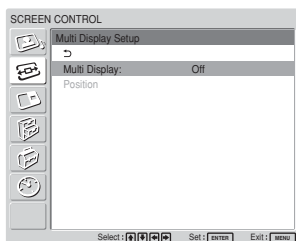
- 2 Select "SCREEN CONTROL" with $\uparrow/\downarrow$ and press ENTER.
The SCREEN CONTROL menu appears on the screen.



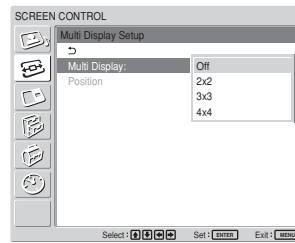
Note

Multi Display can display an enlarged picture that has been set to "Full" for the "Aspect."

- 3 Select "Multi Display Setup" with $\uparrow/\downarrow$ and press ENTER.
The Multi Display Setup menu appears on the screen.

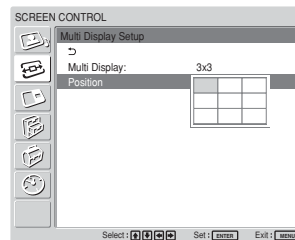


- 4 Select "Multi Display" with $\uparrow/\downarrow$ and press ENTER.
The following menu appears on the screen.

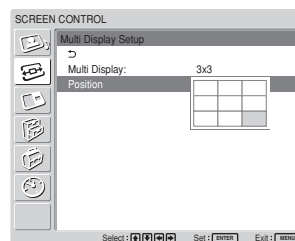


- 5 Select the mode corresponding to the arrangement of the video wall you want to setup with $\uparrow/\downarrow$.
Off: Uses a single screen.
2 × 2 – 4 × 4: Selects the arrangement to be used to construct the video wall.

- 6 Press ENTER to return to the Multi Display Setup menu and select "Position" with $\uparrow/\downarrow$.



- 7 Select the position of this particular display unit in the arrangement of the video wall with $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.



For example, to select the position at the right bottom in a 3×3 arrangement

- 8 Press ENTER to set the position.
The menu returns to the Multi Display Setup menu.

Note

You can set the Multi Display only when the "PICTURE AND PICTURE" function is disabled.

Adjusting the Sound Quality

When a speaker SS-SP40FW/32FW (not supplied) installed, you can adjust sound treble level, bass level, or balance of the speaker (left and right) volume. The surround mode can also be set.

Adjusting the Treble, Bass, and Balance, etc.

Press MENU to show the main menu and adjust “Treble,” “Bass,” “Balance,” or “Surround” from the Adjust Sound menu.

Set the “Picture Mode” to any of “User1” – “User3.”

Treble

Select “Treble” with **↑/↓** and press ENTER. Adjust the treble with **↑/↓/←/→** within the range of MIN (–50) to MAX (50), then press ENTER.

↑/→: Increases sound treble.

↓/←: Decreases sound treble.

Bass

Select “Bass” with **↑/↓** and press ENTER. Adjust the bass with **↑/↓/←/→** within the range of MIN (–50) to MAX (50), then press ENTER.

↑/→: Increases sound bass.

↓/←: Decreases sound bass.

Balance

Select “Balance” with **↑/↓** and press ENTER. Adjust the balance with **↑/↓/←/→** within the range of LEFT (50) to RIGHT (50), then press ENTER.

↑/→: Increases the volume on the right side.

↓/←: Increases the volume on the left side.

Surround

Select the Surround mode according to the type of picture.

1 Select “Surround” with **↑/↓** and press ENTER.

2 Select the Surround mode with **↑/↓** and press ENTER.

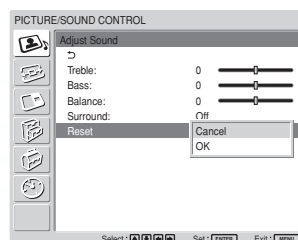
Off: No surround output

Hall: When desiring to give the stereo sound of movies or music programs a greater sense of presence.

Simul.: When desiring to give ordinary monaural programs or news telecasts an enhanced sense of presence using simulated stereo sound.

Restoring the Adjust Sound Menu Items to Their Original Settings

1 In the Adjust Sound menu, press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Reset” and press ENTER. The following menu appears on the screen.



2 Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “OK” and press ENTER. The Adjust Sound menu items restore their factory presets.

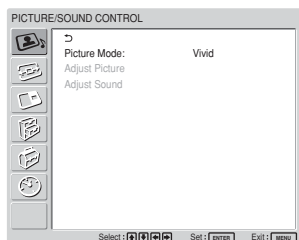
To cancel the reset function

Press MENU before pressing ENTER. Alternatively, select “Cancel” with **↑/↓** and press ENTER.

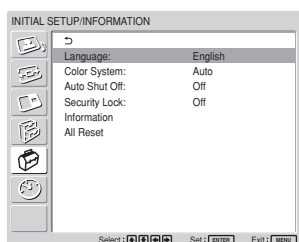
Selecting the On-screen Language

You can select the on-screen language from Japanese, English, German, French, Spanish or Italian.

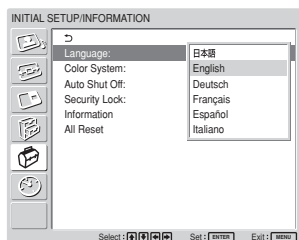
- 1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



- 2 Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to "INITIAL SETUP/INFORMATION" and press ENTER.
The INITIAL SETUP/INFORMATION menu appears on the screen.



- 3 Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to "Language" and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



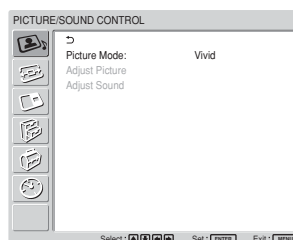
- 4 Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to the language of your choice and press ENTER.
The on-screen language is switched to the one you have selected.

日本語: Japanese
English: English
Deutsch: German
Français: French
Español: Spanish
Italiano: Italian

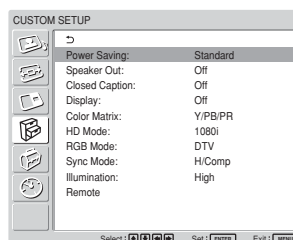
Adjusting Color Matrix

You can set Color Matrix to show pictures in natural colors when a signal with a signal format (480I(525I), 480P(525P), 1080I(1125I), or 720P(750P)) is input to the component input adapter.

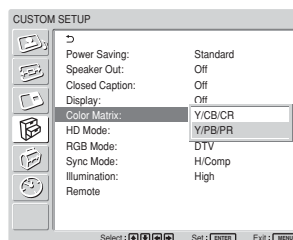
- 1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.



- 2 Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to "CUSTOM SETUP" and press ENTER.
The CUSTOM SETUP menu appears on the screen.



- 3 Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to "Color Matrix" and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



- 4 Select the color matrix with **↑/↓**.
Y/CB/CR: When the signal format is 480I or 480P.
Y/PB/PR: When signal format is 1080I or 720P.
Refer to the operating instructions of each device for details on the settings.

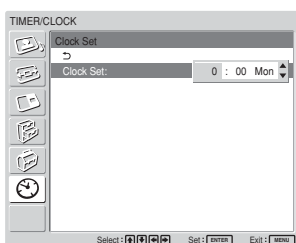
- 5 Press ENTER to return to the previous screen.

Controlling Power On/Off Automatically (Timer Function)

You can set the time to display the current time and set the time when the power automatically turns on/off (On/Off Timer function).

Adjusting the time and the day

- 1 In the TIMER/CLOCK menu, press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Clock Set” and press ENTER.
The following menu appears, and the background color of the time turns to yellow.



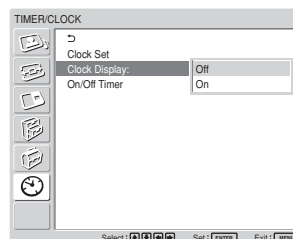
- 2 Adjust the hour with **↑/↓** and press ENTER.
The setting for the hour is entered and the background of the minute is displayed in yellow.
- 3 Adjust the minute with **↑/↓** and press ENTER.
The setting for the minute is entered and the background of the day display turns to yellow.
- 4 Set the day with **↑/↓** and press ENTER.
The day is set and the screen returns to the previous screen.
- 5 Press MENU.
The display returns to the normal screen. If you must make further adjustments, or the setting must be made again, repeat the process from step 1.

Note

If the built-in clock tends to lose time, the internal battery may be exhausted. Please contact your authorized Sony dealer to have the battery replaced.

Displaying the time

- 1 In the TIMER/CLOCK menu, press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Clock Display” and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



- 2 Select “On” with **↑/↓**, then press ENTER.
When you hide the menu, the clock appears on the lower right corner of the screen.

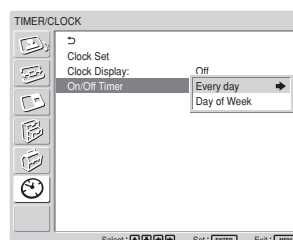
When you press the DISPLAY button on the Remote Commander, the signal currently input and the Picture Mode appear.

If the information is displayed undisturbed for about 5 seconds while the clock appears, it will disappear automatically.

“Clock Display : ON” will be saved even after the unit is powered off.

On/Off Timer Function

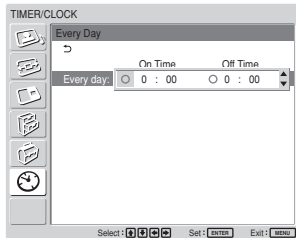
- 1 In the TIMER/CLOCK menu, press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “On/Off Timer” and press ENTER.
The following menu appears on the screen.



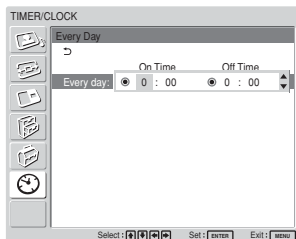
- 2** Select either “Every day” or “Day of Week” with **↑/↓** and press **ENTER**.

When “Day of Week” is selected, you can set a specific time for each day of a week.

When “Every day” is selected, the following screen appears on the screen.



- 3** To set the On Time, change **○** to **●** with **↑/↓** and press **ENTER**.



- 4** Press **↑/↓** to set the On Time and press **ENTER**.
The hour is set and the background of the minute display turns to yellow.
- 5** Press **↑/↓** to set the minute and press **ENTER**.
- 6** Set the Off Time as you set the On Time.
- 7** Press **ENTER**.
“On/Off Timer” is set.

Notes

- The time is not preset in the factory setting, so “-- : --” is displayed for the clock.
- The time set for “Every day” is also applied for “Day of Week.”

If you set the time for “Day of Week,” the setting of “Every day” is cancelled.

Setting the Security Lock

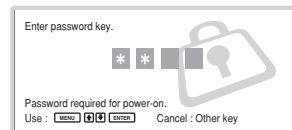
A Security Lock function is provided with the display unit. Once the Security Lock is set, the user is prompted to enter a password when the display unit is turned on, and a picture will not be displayed unless the right password is entered and you cannot use the display unit.

Note

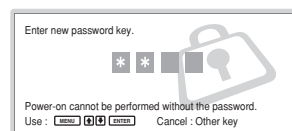
Please keep this in mind when you use this function. We recommend writing down the password set for the display unit and keeping it in a safe place for reference. If you forget the password, consult with qualified Sony personnel.

To activate the Security Lock

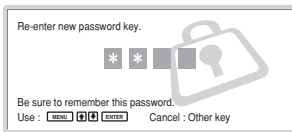
- 1** Press **MENU** and set “Security Lock” to “On” in the INITIAL SETUP/INFORMATION menu.
- 2** Enter a password.
Enter a four digit password with **MENU**, **↑/↓**, **ENTER**.
 (“ENTER, ENTER, ENTER, ENTER” is set as the factory preset password. Press “ENTER” four times when you use this function for the first time.)



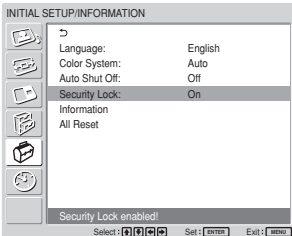
A dialog box prompting you to enter a new password appears on the screen.
(Enter a password here even when you intend to continue using the current password.)
Enter the password in the dialog box.



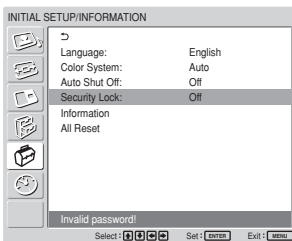
3 Enter the password again for re-confirmation.



The setting is finished when the following message appears.



If “Invalid password!” appears on the menu screen, start the procedure again from Step 1.



- 4** After completing the process described above, turn off the display unit and unplug the power cord to make the setting valid. The Security Lock becomes activated and the dialog box prompting you to enter the password appears when you turn on the display unit next time.

Security authentication

Enter the password that is set for the display unit when the dialog box prompting you to enter the password appears.

If you enter the wrong password three times, you cannot operate the display unit any further. In this situation, press the  POWER switch to turn off the display unit.

To deactivate the Security Lock

Press MENU and set “Security Lock” to “Off” in the INITIAL SETUP/INFORMATION menu.

Setting an IP address and communication speed

When an optional adaptor with communication function such as BKM-FW32 or BKM-FW50 is installed into the OPTION1 slot in the display unit, set an IP address and communication speed to control the display unit via the network.

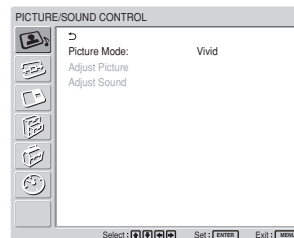
Note

Setting of an IP address and a communication speed is completed by selecting “Execute” and pressing ENTER. When the setting is completed properly, “Done” will be displayed.

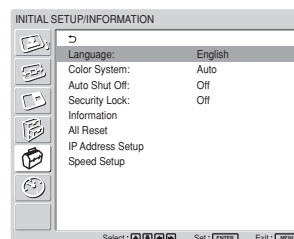
When the setting is not completed properly, an error code will be displayed. In such a situation, confirm the setting values and set up again.

Obtaining an IP address automatically (DHCP)

- 1 Press MENU.
The main menu appears on the screen.

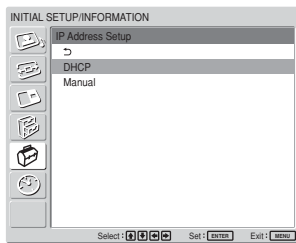


- 2 Select “INITIAL SETUP/INFORMATION” with /↓ and press ENTER.
The INITIAL SETUP/INFORMATION menu appears on the screen.

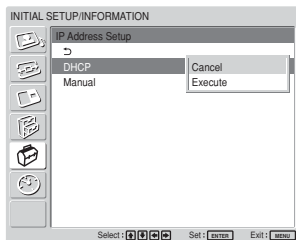


- 3 Select "IP Address Setup" with **↑/↓** and press **ENTER**.

The following menu appears on the screen.



- 4 Select "DHCP" with **↑/↓** and press **ENTER**.
The following menu appears on the screen.



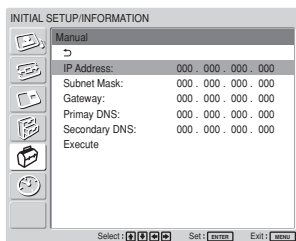
- 5 Select "Execute" with **↑/↓** and press **ENTER**.
An IP address is automatically obtained.

Note

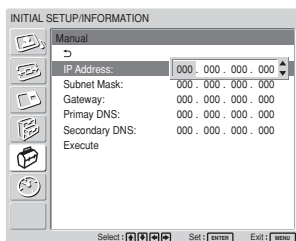
When you obtain an IP address automatically using DHCP, an IP address may differ every time you turn the power of the display unit off and on.

Setting an IP address manually (Manual)

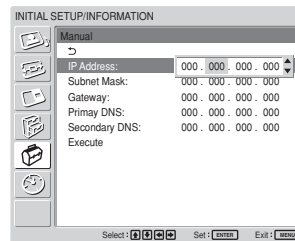
- 1 Select "Manual" in step 4 of "Obtaining an IP address automatically (DHCP)" and press **ENTER**.
The following menu appears on the screen.



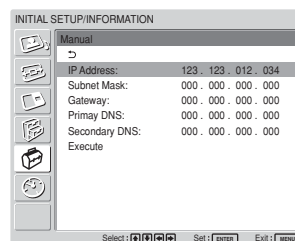
- 2 Select an item to be set manually with **↑/↓** and press **ENTER**.



- 3 Set the three digit value (0 to 255) for the first box with **↑/↓** on the display unit or numeric keys on the remote commander and press **ENTER** or **→**.
The cursor moves to the next box.



- 4 Set the three digit value (0 to 255) for each of the four boxes and press **ENTER**.
The following menu appears on the screen.



- 5 Select the next item to be set manually with **↑/↓** and repeat the same procedure and press **ENTER**.
- 6 After values are set for all the desired items, select "Execute" with **↑/↓**, then press **ENTER**.
Select "OK" and press **ENTER**.
An IP address is set manually.

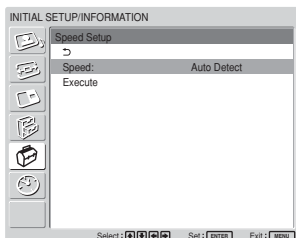
Note

When an IP address is not set properly, the following error codes will be displayed in accordance with the error cause.

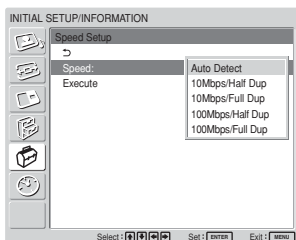
- Error 1** Communication error between the display unit and an optional adaptor such as BKM-FW32 or BKM-FW50
- Error 2** A specified IP address is already used for other device.
- Error 3** IP address error
- Error 4** Gateway address error
- Error 5** Primary DNS address error
- Error 6** Secondary DNS address error
- Error 7** Subnet mask error

Setting a communication speed

- 1 In the INITIAL SETUP/INFORMATION menu, select “Speed Setup” with **↑/↓** and press ENTER.



- 2 Press ENTER and select a communication speed with **↑/↓**, then press ENTER. Select “Auto Detect” when you want to set an appropriate communication speed for your network configuration automatically.



- 3 Select “Execute” and press ENTER. Select “OK” and press ENTER. A communication speed has been set.

Self-diagnosis Function

The unit has a self-diagnosis function.

This function shows the display’s condition based on the pattern shown by the flashing of the POWER/STANDBY indicator. The flashing pattern informs you of the display’s current condition.

If the POWER/STANDBY indicator flashes, check the number of flashes and contact your authorized Sony dealer.

- 1 Check the flashing pattern of the POWER/STANDBY indicator.

The indicator flashes (with an image showing on the display) or flashes at intervals of three seconds (with no image showing on the display).

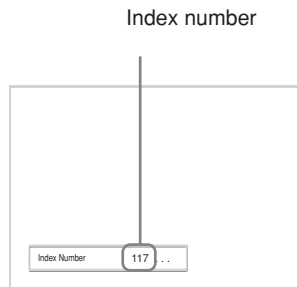
Count the number of flashes if the indicator flashes at intervals of three seconds. For example, the indicator flashes twice, followed by a three second pause, two more flashes and this pattern repeats. In this case, the count for the number of flashes is two.

- 2 Unplug the unit. Inform your authorized Sony dealer of the number of flashes.

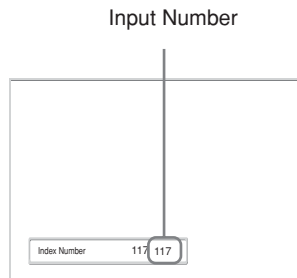
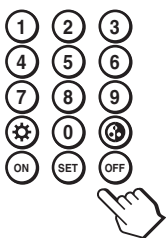
Operating a Specific Display With the Remote Commander

Using the supplied Remote Commander, you can operate a specific display without affecting other displays installed at the same time.

- 1 Press ID MODE ON on the Remote Commander. Monitor index numbers appear in black characters on the lower left menu on the screen. (Every display is allocated an individual preset index number from 1 to 255.)
For details, see “To change the index number” on page 42 (GB).



- 2 Input the index number of the display you want to operate using the 0 – 9 buttons on the Remote Commander. The input number appears right next to the index number of each display.



- 3 Press ID MODE SET. The characters on the selected display change to green while the others change to red.



You can operate the specified display indicated with green characters only.
(Power ON/STANDBY apply to the other displays, as well.)

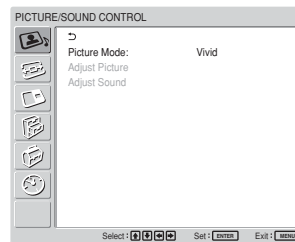
- 4 When all of the setting changes have been completed, press the ID MODE OFF button. The display returns to the normal screen.



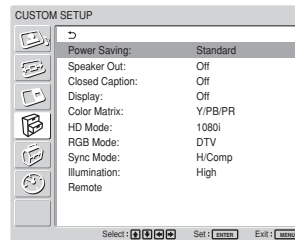
To change the index number

You can change the index number if necessary. When you change the number, use the buttons on the control button section of the display unit. You cannot change the index number using the Remote Commander.

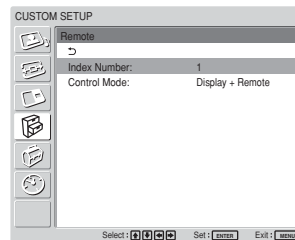
- 1 Press MENU. The main menu appears on the screen.



- 2 Select “CUSTOM SETUP” and press ENTER. The following appears on the screen.



- 3 Select “Remote” with ↑/↓ and press ENTER. The Remote menu appears on the screen.



- 4 Select the index number with ↑/↓ and press ENTER.

- 5 Set the number for the index number with ↑/↓ and press ENTER. The menu returns to the Remote menu.

Specifications

Video processing

Preset signal	<i>See page 23 (GB).</i>
Sampling rate	13.5 MHz to 140 MHz
Panel system	a-Si TFT Active Matrix LCD Panel
Display resolution	1366 dots (horizontal) × 768 lines (vertical)
FWD-40LX1:	
Pixel pitch	0.648 (horizontal) × 0.648 (vertical) mm ($\frac{1}{32} \times \frac{1}{32}$ inches)
Picture size	885 (horizontal) × 498 (vertical) mm ($34 \frac{7}{8} \times 19 \frac{5}{8}$ inches)
Panel size	40-inch (diagonal 1016 mm)
FWD-32LX1R:	
Pixel pitch	0.510 (horizontal) × 0.510 (vertical) mm ($\frac{1}{32} \times \frac{1}{32}$ inches)
Picture size	698 (horizontal) × 392 (vertical) mm ($27 \frac{1}{2} \times 15 \frac{1}{2}$ inches)
Panel size	32-inch (diagonal 801 mm)

Inputs and Outputs

INPUT1

DVI	DVI (DVI Specification Rev. 1.0 compliant)
AUDIO	Stereo minijack (×1) 500 mVrms, high impedance

INPUT2

RGB/COMPONENT	D-sub 15-pin (female) (×1) (<i>See "Pin assignment" on page 44 (GB).</i>)
AUDIO	Stereo minijack (×1) 500 mVrms, high impedance

CONTROL S IN/OUT Minijack (×2)

AUDIO OUT Pinjack (×2)
500 mVrms, high impedance

REMOTE (RS-232C)
D-sub 9-pin (×1)

SPEAKER 7 W + 7 W (6 ohms), direct
unbalanced impedance:
6-16 ohms

VIDEO/S VIDEO input/output adaptor BKM-FW10

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N)¹⁾

VIDEO IN	BNC (×1) Composite video, 1 Vp-p ±2 dB sync negative, 75 ohms (automatic termination)
VIDEO OUT	BNC (×1) Loop-through
S VIDEO IN	Mini DIN 4-pin (×1) Y (luminance): 1 Vp-p ±2 dB sync negative, 75 ohms terminated C (chrominance): Burst 0.286 Vp-p ±2 dB (NTSC), 75 ohms terminated Burst 0.3 Vp-p ±2 dB (PAL), 75 ohms terminated
S VIDEO OUT	Mini DIN 4-pin (×1) Loop-through
AUDIO IN	Pinjack (×2) 500 mVrms, high impedance

General

Power requirements
100 V to 240 V AC, 50/60 Hz,
FWD-40LX1:
2.5 A to 1.2 A
FWD-32LX1R:
1.7 A to 0.8 A

Power consumption
FWD-40LX1: 220 W
FWD-32LX1R: 150 W

Operating conditions
Temperature: 0 °C to +35 °C
(32 °F to 95 °F)
Humidity: 20% to 90%
(no condensation)

Storing/transporting conditions
Temperature: -10 °C to +40 °C
(14 °F to 104 °F)
Humidity: 20% to 90%
(no condensation)

Dimensions
Acrylic bezel model
FWD-40LX1:
994 × 597 × 125 mm
($39 \frac{1}{4} \times 23 \frac{5}{8} \times 5$ inches)
FWD-32LX1R:
802 × 492 × 107 mm
($31 \frac{5}{8} \times 19 \frac{3}{8} \times 4 \frac{1}{4}$ inches)

Non-acrylic bezel model
 FWD-40LX1:
 988 × 591 × 125 mm
 (39 × 23 ³/₈ × 5 inches)
 FWD-32LX1R:
 796 × 486 × 107 mm
 (31 ³/₈ × 19 ¹/₄ × 4 ¹/₄ inches)
 (w/h/d, excluding projections)

Mass

Acrylic bezel model
 FWD-40LX1:
 27.5 kg (60 lb 10 oz)
 FWD-32LX1R:
 17.5 kg (38 lb 9 oz)
 Non-acrylic bezel model
 FWD-40LX1:
 26.7 kg (58 lb 14 oz)
 FWD-32LX1R:
 16.7 kg (36 lb 13 oz)

Supplied accessories

AC power cord (1)
 AC plug holder (2)
 Cable holder FWD-40LX1: (4)
 FWD-32LX1R: (6)
 Digital RGB (DVI-D) Signal
 Cable (Single Link) (1)
 Component video signal cable
 (D-sub 15-pin - RCA×3) (1)
 BNC-RCA adaptor (1)
 Remote Commander RM-980 (1)
 Size AAA (R03) batteries (2)
 Operating instructions (1)

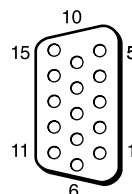
Optional accessories

Display stand SU-42FW/32FW
 Speaker SS-SP40FW/32FW
 Option Adaptors for system
 expansion, BKM-FW series

Safety regulations

UL1950, CSA No. 950 (c-UL),
 FCC Class B, IC Class B,
 EN60 950 (NEMKO), CE,
 C-Tick

Design and specifications are subject to change
 without notice.

Pin assignment**RGB/COMPONENT connector (D-sub 15-pin)**

Pin No.	Signal
1	Red video or C _R /P _R
2	Green video or Y or Sync On Green
3	Blue video or C _B /P _B
4	Ground
5	Ground
6	Red ground
7	Green ground
8	Blue ground
9	Not used
10	Ground
11	Ground
12	SDA
13	H sync or Composite Video
14	V sync
15	SCL

AVERTISSEMENT

Pour réduire le risque d'incendie ou d'électrocution, placez cet appareil à l'abri de la pluie et de l'humidité.

De dangereuses hautes tensions circulent à l'intérieur de cet appareil. N'ouvrez pas le châssis.

Confiez-en l'entretien exclusivement à un personnel qualifié.

Transport

Lorsque que vous transportez l'écran, tenez le par l'appareil lui même et non par les haut parleurs. Dans le cas contraire, ces derniers peuvent se détacher et l'appareil risque de tomber. Ceci pourrait entraîner des blessures.

Pour les utilisateurs au Canada

Cet appareil est numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

La prise doit être près de l'appareil et facile d'accès.

ATTENTION

RISQUE D'EXPLOSION SI LA PILE EST REMPLACÉE
PAR UNE PILE DE TYPE INCORRECT.
DEBARRASSEZ-VOUS DES PILES USAGEES EN
RESPECTANT LES REGLEMENTATIONS.

Table des matières

Précautions	5 (FR)
Emplacement et fonction des pièces et commandes	7 (FR)
Avant / Arrière / Côté	7 (FR)
Section indicateur	8 (FR)
Section des touches de commande (Haut)	8 (FR)
Panneau des connecteurs	9 (FR)
Télécommande RM-980	11 (FR)
Attention	13 (FR)
Raccordements	14 (FR)
Raccordement des haut-parleurs	14 (FR)
Raccordement de la prise d'alimentation secteur ...	14 (FR)
Gestion des câbles	15 (FR)
Utilisation des menus d'affichage	16 (FR)
Exploitation des menus	16 (FR)
Guide de menu	16 (FR)
Visualisation de l'image	21 (FR)
Commutation du signal d'entrée	21 (FR)
Données relatives au signal d'entrée, au mode image et au statut de l'affichage	22 (FR)
Sélection du mode de qualité de l'image	24 (FR)
Réglage de l'image	25 (FR)
Réglage du contraste, de la luminosité, de Chrominance, de la phase, etc.	25 (FR)
Restauration des réglages par défaut des options du menu Réglage de l'image	28 (FR)
Agrandissement de l'image	28 (FR)
Réglage du format automatique	29 (FR)
Réglage du Format	30 (FR)
Redimensionnement et positionnement de l'image	31 (FR)
Ajustement de la taille, de la position ou des pixels de l'image	31 (FR)
Affichage de deux images en même temps	32 (FR)
Activation d'une image ou échange de la position de deux images	33 (FR)

Zoom avant sur une image	33 (FR)
Ajustement de la position de l'image insérée (Pour PinP uniquement)	34 (FR)
Réglage de l'affichage multiple	35 (FR)
Réglage de la qualité du son	36 (FR)
Réglage des aigus, des graves et de la Équilibrage	36 (FR)
Restauration des paramètres du menu Réglage du son à leurs valeurs initiales	37 (FR)
Sélection de la langue d'affichage à l'écran	37 (FR)
Réglage de la matrice de couleurs	38 (FR)
Contrôle automatique de la fonction de mise sous/hors tension	38 (FR)
Réglage de l'heure et du jour	38 (FR)
Affichage de l'heure	39 (FR)
Activation/désactivation de la fonction de minuterie	39 (FR)
Réglage du verrouillage antivol	40 (FR)
Pour activer le verrouillage antivol	40 (FR)
Authentification de sécurité	40 (FR)
Pour désactiver le Verrouillage antivol.	41 (FR)
Définition d'une adresse IP et d'une vitesse de communication	41 (FR)
Génération automatique d'une adresse IP (DHCP).	41 (FR)
Définition d'une adresse IP manuellement (Manual)	41 (FR)
Définition d'une vitesse de communication	42 (FR)
Fonction d'auto-diagnostic	43 (FR)
Utilisation d'un écran spécifique avec la télécommande	43 (FR)
Spécifications	45 (FR)

Précautions

Sécurité

- Une plaque signalétique indiquant la tension de service, la consommation électrique, etc. est située à l'arrière de l'appareil.
- Si des solides ou des liquides pénètrent à l'intérieur du châssis, débranchez le moniteur et faites-le vérifier par un technicien qualifié avant de le remettre en service.
- Débranchez le cordon de la prise si vous prévoyez de ne plus utiliser le moniteur pendant quelques jours.
- Pour débrancher le cordon, tirez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le cordon lui-même.
- Lorsque l'appareil est installé sur le sol, utilisez le support en option.

Installation

- Veillez à assurer une circulation d'air adéquate pour éviter une surchauffe interne de l'appareil. Ne placez pas l'appareil sur des surfaces textiles (tapis, couvertures, etc.) ni à proximité de rideaux ou de draperies susceptibles d'obstruer les orifices de ventilation.
- N'installez pas l'appareil à proximité de sources de chaleur comme un radiateur ou une bouche d'air chaud, ni dans un endroit exposé au rayonnement solaire direct, à des poussières excessives, à des vibrations ou à des chocs mécaniques.
- Lorsque vous installez plusieurs équipements avec cet appareil, des problèmes tels qu'un dysfonctionnement de la télécommande, une image parasitée ou un son parasité peuvent se produire en fonction de la position de l'appareil et des autres équipements.

Panneau d'affichage à cristaux liquides (LCD)

- Des points lumineux (rouges, bleus ou verts) ou des points sombres peuvent apparaître à l'écran. Ce phénomène n'est pas le signe d'un problème de fonctionnement. Bien que le panneau LCD soit le produit d'une technologie de haute précision, il est possible qu'il génère quelques pixels sombres ou lumineux.
- Maintenir le panneau LCD face au soleil pendant une période prolongée peut l'endommager. Ne l'oubliez pas lorsque vous installez l'appareil à l'extérieur ou à proximité d'une fenêtre.

- N'appuyez pas ou n'exercez pas de forte pression sur le panneau et ne le rayez pas. Ceci pourrait provoquer des irrégularités au niveau de l'écran ou un dysfonctionnement du panneau LCD.
- L'écran peut s'assombrir ou une image rémanente peut apparaître lorsque vous utilisez cet appareil dans un environnement plus froid. Ce phénomène n'est pas le signe d'un problème de fonctionnement. Il disparaît dès que la température augmente.
- Si vous affichez une image fixe pendant une période prolongée, une image fantôme peut apparaître. Elle disparaîtra progressivement.
- La surface du panneau ou du boîtier peut chauffer pendant l'utilisation. Ce phénomène n'est pas le signe d'un problème de fonctionnement.

Nettoyage de l'écran

Surface du panneau

- Veillez à débrancher le cordon d'alimentation avant de nettoyer l'écran.
- La surface du panneau LCD est recouverte d'un fini spécial. Évitez de toucher l'écran LCD. Lorsque vous nettoyez la face du panneau, éliminez les taches à l'aide d'un chiffon doux et sec.
- N'utilisez jamais d'alcool, d'essence ou de dissolvant. Cela risquerait d'endommager le fini de la face du panneau.
- Lorsque vous utilisez une lingette nettoyante, suivez les instructions.
- La pulvérisation sur l'appareil de solvants volatiles (comme des insecticides) ou le contact prolongé de l'appareil avec des produits en caoutchouc ou en plastique risque d'enlever le revêtement ou d'abîmer l'appareil.

Boîtier

- Éliminez doucement les taches à l'aide d'un chiffon doux et sec. Éliminez les taches tenaces avec un chiffon légèrement imprégné d'un détergent doux, puis essuyez de nouveau la zone avec un chiffon doux et sec.
- N'utilisez jamais d'alcool, d'essence ou de dissolvant. Cela risquerait d'endommager le fini du boîtier ou d'effacer les inscriptions y figurant.

Remarques sur la manipulation et l'entretien de l'écran

La surface spéciale de cet écran exige des précautions spéciales lors de la manipulation et de l'entretien du téléviseur. Pour le nettoyer, utilisez un chiffon de nettoyage doux et évitez de toucher directement la surface de l'écran.

Remballage

Conservez les cartons ainsi que les matériaux d'emballage. Vous pourrez en avoir de nouveau besoin en cas de déplacement et de transport de l'appareil. Lors du transport de l'appareil, remballer-le comme illustré sur le carton.

Pour toute question au sujet de cet appareil, consultez un distributeur Sony agréé.

Élimination des appareils électriques et électroniques professionnels en fin de vie (Applicable dans les pays de l'Union Européenne et aux autres pays européens disposant de systèmes de collecte sélective)



Ce symbole, apposé sur le produit ou sur son emballage, indique que ce produit ne doit pas être traité avec les déchets ménagers. Il doit être déposé dans un point de collecte spécialisé dans le recyclage des équipements électriques et électroniques. En s'assurant que ce produit est bien mis au rebut de manière appropriée, vous aiderez à prévenir les conséquences négatives potentielles pour l'environnement et la santé humaine. Le recyclage des matériaux aidera à conserver les ressources naturelles. Pour toute information supplémentaire concernant le recyclage de ce produit, contactez votre centre Sony local ou consultez le site web de Sony pour l'Europe destiné aux professionnels:
<http://www.sonybiz.net/environment>

Avertissement sur le raccordement électrique

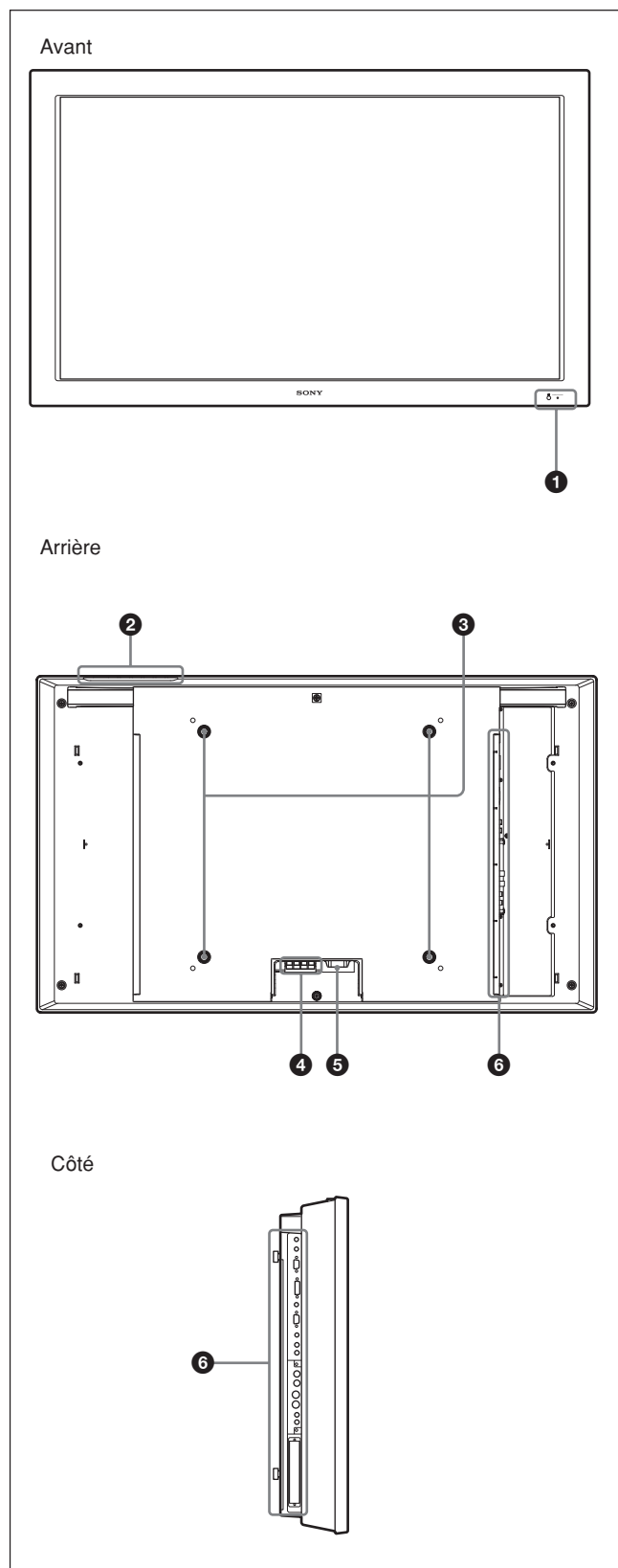
Utilisez un cordon d'alimentation approprié à votre tension secteur locale.

	Etats-Unis, Canada	Europe continentale	Royaume-Uni, Irlande, Australie, Nouvelle-Zélande	Japon
Type de fiche	VM0233	COX-07 636	— ^{a)}	VM1296
Extrémité femelle	VM0089	COX-02 VM0310B	VM0303B	VM1313
Type de cordon	SVT	H05VV-F	CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Tension et courant minimum	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/125V
Homologation de sécurité	UL/CSA	VDE	VDE	DENAN-HO

a) Remarque : Utilisez une fiche appropriée conforme à la réglementation locale.

Emplacement et fonction des pièces et commandes

Avant / Arrière / Côté



1 Section indicateur

Pour plus de détails sur la section indicateur, reportez-vous à la « Section indicateur » page 8 (FR).

2 Section des touches de commande

Pour plus de détails sur la section des touches de commande, reportez-vous à la section « Section des touches de commande (Haut) », page 8 (FR).

3 Crochets d'installation du support

Utilisez ces crochets pour installer le support (non fourni).

4 Prise SPEAKER (sortie audio)

Permet la sortie du signal audio correspondant au signal vidéo à l'écran lorsque des enceintes vendues séparément sont raccordées à cette prise.

5 Prise ~ AC IN

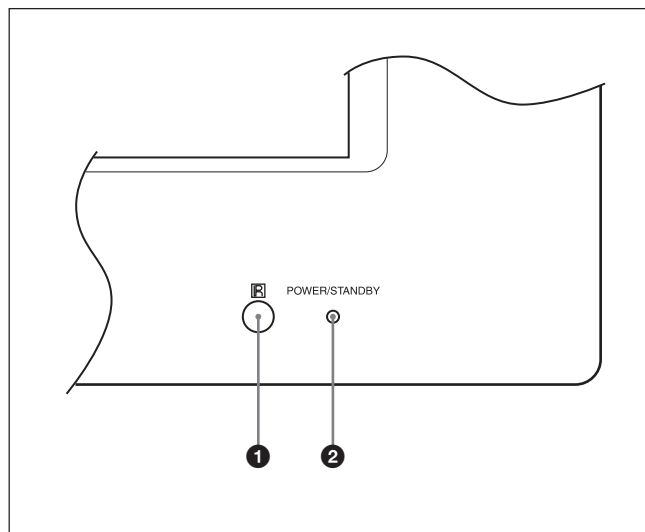
Raccordez le cordon d'alimentation secteur fourni à cette prise et à une prise murale. Dès que vous branchez le cordon d'alimentation secteur, l'indicateur POWER/STANDBY s'allume en rouge et le moniteur passe en mode de veille.

Pour plus d'informations sur le cordon d'alimentation, reportez-vous à la section « Raccordement de la prise d'alimentation secteur » page 14 (FR).

6 Panneau des connecteurs

Pour plus de détails sur le panneau des connecteurs, reportez-vous à la section « Panneau des connecteurs », page 9 (FR).

Section indicateur



❶ Capteur de télécommande

Capte le signal de la télécommande.

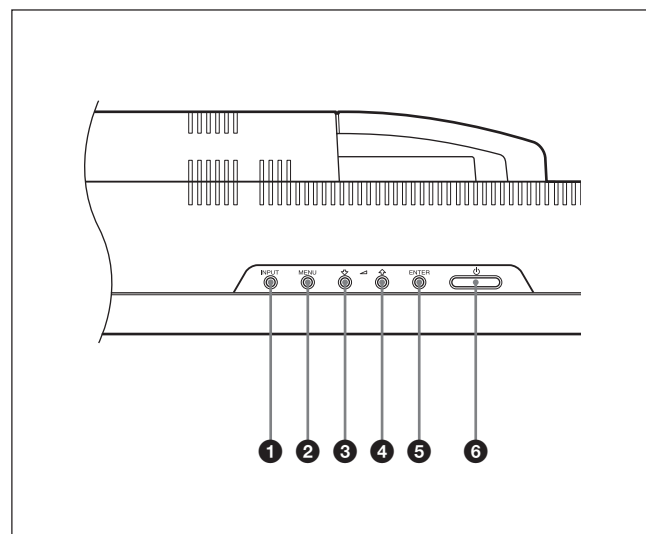
❷ Indicateur POWER/STANDBY

S'allume en vert lorsque l'écran est sous tension. S'allume en rouge en mode de veille. S'allume en orange lorsque l'écran passe en mode d'économie d'énergie lorsqu'un signal est transmis à partir d'un ordinateur.

Lorsque le signal d'entrée est commuté, l'indicateur clignote en vert.

Lorsque l'indicateur POWER/STANDBY clignote en rouge, reportez-vous à la section « Fonction d'auto-diagnostic », page 43 (FR).

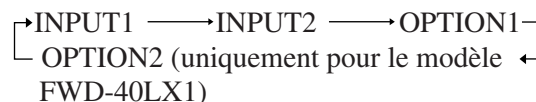
Section des touches de commande (Haut)



❶ Touche INPUT

Appuyez sur cette touche pour sélectionner un signal à transmettre à partir du connecteur INPUT ou OPTION.

Ce signal bascule comme suit chaque fois que vous appuyez sur la touche INPUT.



Si aucun adaptateur en option n'est inséré dans l'emplacement OPTION, OPTION1 et OPTION2 ne sont pas disponibles.

❷ Touche MENU

Appuyez sur cette touche pour faire apparaître les menus. Appuyez de nouveau pour les faire disparaître.

❸ ❹ Touche ↑/↓ (curseur/volume)

Appuyez sur cette touche pour déplacer le curseur (jaune), régler une valeur ou contrôler le volume des haut-parleurs.

❺ Touche ENTER

Appuyez sur cette touche pour valider votre choix.

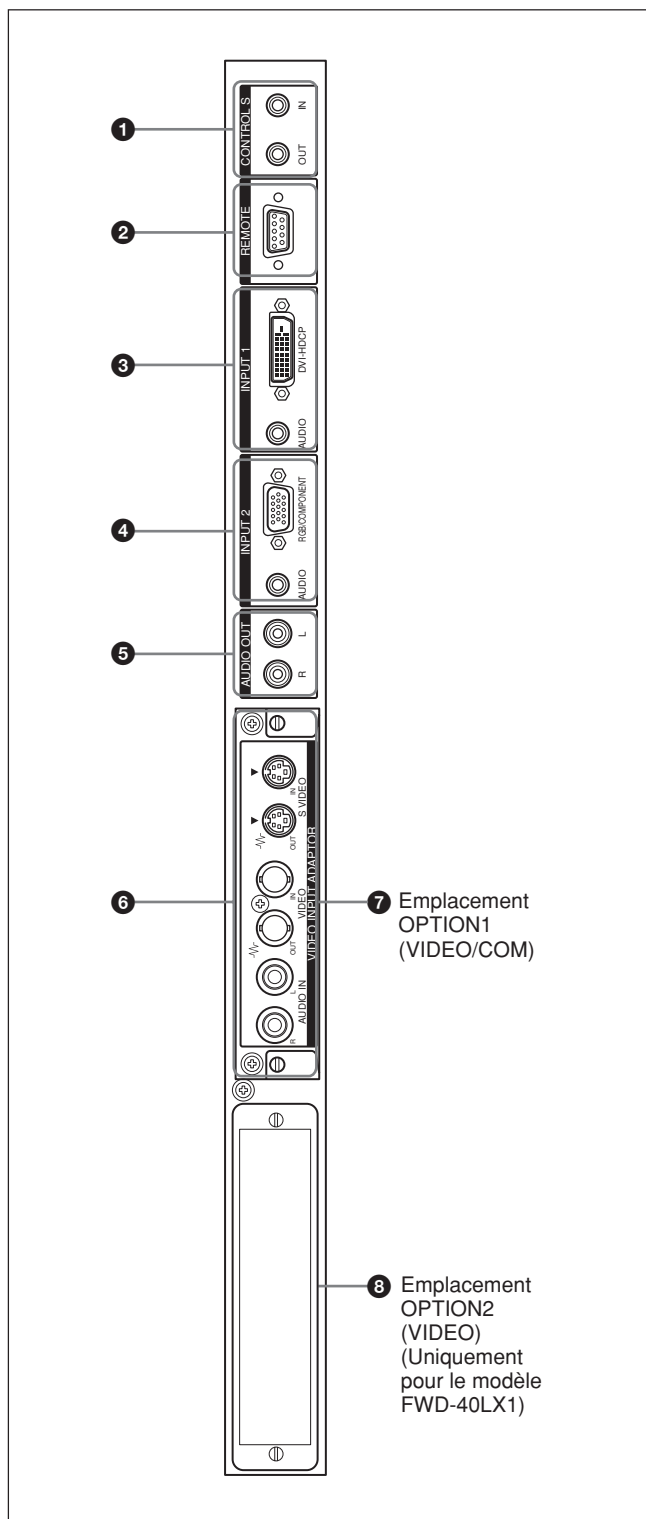
❻ Commutateur ⏻ POWER

Appuyez sur ce commutateur pour mettre l'écran sous tension. Appuyez de nouveau pour revenir en mode de veille.

Remarque

Pour protéger le panneau, un certain temps est nécessaire pour mettre l'appareil en position ON/STANDBY. Attendez environ 5 secondes avant d'appuyer une nouvelle fois sur ce commutateur.

Panneau des connecteurs



❶ CONTROL S IN/OUT (entrée/sortie de signal de commande S) (mini-prise)

En raccordant ce connecteur au connecteur CONTROL S d'un appareil vidéo ou d'un autre écran, vous pouvez commander plusieurs appareils à partir d'une seule télécommande. Raccordez le connecteur CONTROL S OUT de cet écran au connecteur CONTROL S IN de l'autre appareil, puis raccordez le

connecteur CONTROL S IN de cet écran au connecteur CONTROL S OUT de l'autre appareil.

❷ Connecteurs REMOTE (RS-232C) (D-sub à 9 broches)

Ce connecteur vous permet de commander l'écran à distance à l'aide du protocole RS-232C. Pour plus de détails, contactez votre revendeur Sony agréé.

Remarque

Si un adaptateur en option avec fonction de communication tel que le BKM-FW32 ou le BKM-FW50 est installé, vous ne pouvez pas utiliser ce connecteur.

❸ Connecteurs INPUT1 (DIGITAL RGB IN)

DVI: Permet le raccordement à la sortie du signal RVB numérique des appareils vidéo. Prend en charge la protection contre la copie HDCP.

AUDIO (miniprise stéréo): Transmet un signal audio. Permet le raccordement à la sortie audio des appareils vidéo.

❹ Connecteurs INPUT2 (ANALOG RGB/COMPONENT IN)

RGB/COMPONENT (D-sub à 15 broches): Se raccorde à la sortie analogique du signal RVB ou du signal composant (YUV) d'un équipement vidéo.

Pour plus de détails sur la transmission d'un signal composant au connecteur, reportez-vous à la section « Attribution des broches », page 46 (FR).

AUDIO (miniprise stéréo): Transmet un signal audio. Se raccorde à la sortie audio d'un équipement vidéo.

❺ AUDIO OUT L/R (prise à broches)

Emet un signal audio du signal indiqué à l'écran. Emet un signal audio correspondant à l'Image Active en mode P&P ou PinP.

❻ Connecteur VIDEO (Avec un modèle BKM-FW10 pré-installé.)

S VIDEO IN (mini DIN à 4 broches): se raccorde à la sortie du signal Y/C d'un équipement vidéo.

S VIDEO OUT (Mini DIN à 4 broches) : se raccorde à l'entrée du signal Y/C d'un module d'équipement vidéo.

VIDEO IN (type BNC): se raccorde à la sortie du signal vidéo d'un module d'équipement vidéo.

VIDEO OUT (type BNC): se raccorde à l'entrée du signal vidéo d'un module d'équipement vidéo.

AUDIO IN L/R (prise à broches): Entre un signal audio. Se raccorde à la sortie audio d'un équipement vidéo.

7 Emplacement OPTION1 (port VIDEO/COM)

Cet emplacement prend en charge les signaux vidéo et la fonction communication. Lorsque vous insérez un adaptateur en option pour la fonction de communication tel qu'un BKM-FW32 ou BKM-FW50 dans cet emplacement, vous pouvez commander l'écran par l'intermédiaire du réseau.

8 Emplacement OPTION2 (port VIDEO) (Uniquement pour le modèle FWD-40LX1)

Cet emplacement prend en charge les signaux vidéo. Un panneau vierge est installé sur cet emplacement pour les réglages par défaut. Vous pouvez installer un adaptateur en option pour la fonction d'entrée/sortie des signaux vidéo dans cet emplacement. L'adaptateur en option pour la fonction de communication doit être installé dans l'emplacement OPTION1 7.

Adaptateurs en option (non fournis)

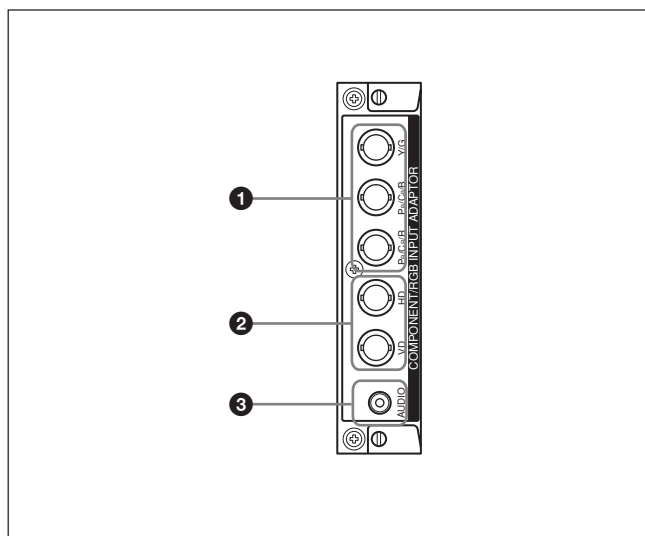
Les connecteurs repérés par 7 et 8 sur le panneau des connecteurs sont enfichables et sont compatibles avec n'importe quel adaptateur en option de l'écran. L'emplacement OPTION2 est fourni uniquement sur le modèle FWD-40LX1.

Pour plus de détails sur l'installation, veuillez contacter votre revendeur Sony.

Adaptateur d'entrée/de sortie VIDEO/S VIDEO BKM-FW10 (non fourni)

Il est identique aux connecteurs pré-installés 6.

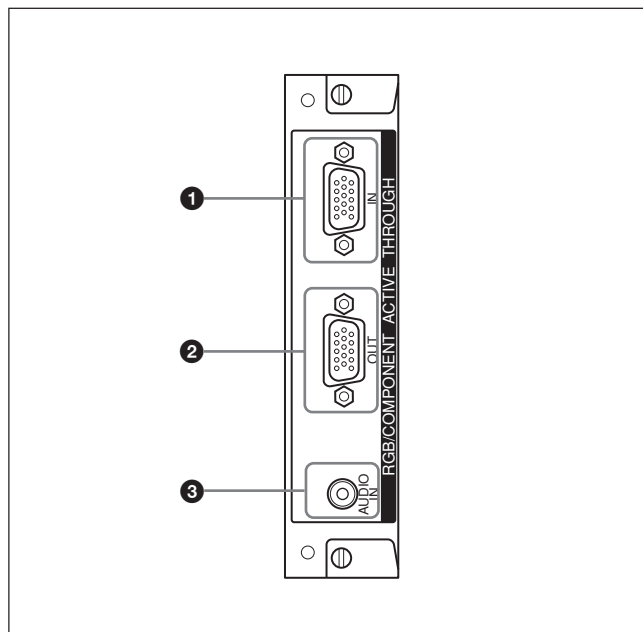
Adaptateur d'entrée COMPONENT/RGB BKM-FW11 (non fourni)



- 1 Y/G P_B/C_B/B P_R/C_R/R IN (type BNC) : se raccorde à la sortie du signal composant (YUV) ou du signal RVB analogique d'un module d'équipement vidéo ou d'un ordinateur.

- 2 HD VD IN : se raccorde à la sortie du signal de synchronisation d'un ordinateur.
- 3 AUDIO (miniprise stéréo) : reçoit un signal audio. Se raccorde à la sortie audio d'un module d'équipement vidéo ou d'un ordinateur.

ADAPTATEUR ACTIF RGB/COMPONENT BKM-FW12 (non fourni)



1 RGB/COMPONENT IN (D-sub à 15 broches) :

se raccorde à la sortie du signal composant ou à la sortie du signal RVB analogique d'un module d'équipement vidéo ou d'un ordinateur.

Pour plus de détails sur la transmission d'un signal composant au connecteur, reportez-vous à la section « Attribution des broches », page 46 (FR).

2 RGB/COMPONENT OUT (D-sub à 15 broches) :

se raccorde à l'entrée du signal composant ou à l'entrée du signal RVB analogique d'un module d'équipement vidéo ou d'un ordinateur.

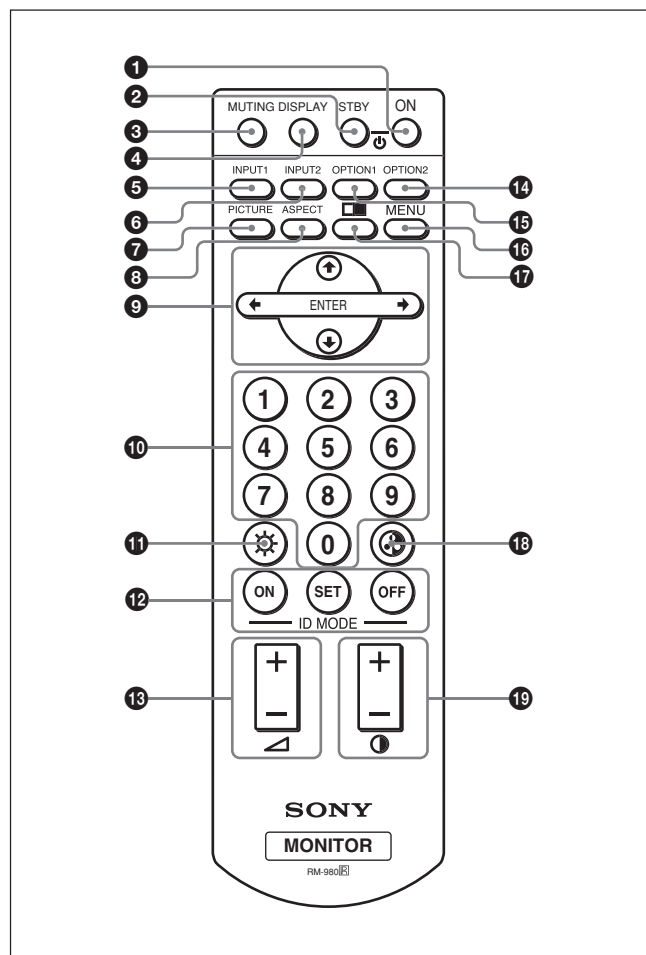
3 AUDIO IN (miniprise stéréo) :

reçoit un signal audio. Se raccorde à la sortie du signal audio d'un module d'équipement vidéo ou d'un ordinateur.

Remarque

- Si l'appareil n'est pas raccordé à l'alimentation secteur ou s'il est en mode de veille, aucun signal n'est émis via RGB/COMPONENT OUT.
- Pour plus de détails sur les adaptateurs en option pour l'extension du système, de la série BKM-FW, reportez-vous au mode d'emploi correspondant.

Télécommande RM-980



❶ Commutateur POWER ON

Appuyez sur ce commutateur pour mettre l'écran sous tension.

❷ Touche STANDBY

Appuyez sur cette touche pour mettre l'écran en mode de veille.

❸ Touche MUTING

Permet de couper le son. Appuyez à nouveau pour restaurer le son.

❹ Touche DISPLAY

Affiche les informations du signal d'entrée et le mode image dans la partie supérieure du panneau d'affichage. Appuyez de nouveau pour les faire disparaître.

Si ces informations affichées ne sont pas modifiées pendant quelques instants, elles disparaissent automatiquement.

❺ Touche INPUT1

Sélectionne l'entrée du signal depuis les connecteurs INPUT1.

❻ Touche INPUT2

Sélectionne l'entrée du signal depuis les connecteurs INPUT2. Chaque pression sur cette touche permet de basculer entre RGB et COMPONENT.

❼ Touche PICTURE

Sélectionne le Mode image. Chaque activation de cette touche permet de basculer entre Éclatant, Standard et Util.1 à 3.

❽ Touche ASPECT

Permet de définir le format de l'image (Format).

❾ Touches ↑/↓/←/→/ENTER

Les touches ↑/↓/←/→ permettent, entre autres, de déplacer le curseur (jaune) du menu et de régler des paramètres. Appuyez sur la touche ENTER pour valider le menu ou le réglage sélectionné.

Lorsque vous affichez deux images, vous pouvez commuter l'image active à l'aide de ←/→.

❿ Touches numériques

Appuyez sur ces touches pour entrer le numéro d'index.

⓫ Touche BRIGHTNESS

Permet de régler la luminosité lorsque le Mode image est réglé sur l'un des « Util. 1 » à « Util. 3 ».

Appuyez sur cette touche, puis réglez la luminosité avec la touche ↑/↓ ou ←/→ ❾.

⓬ Touches ID MODE (ON/SET/OFF)

Appuyez sur la touche ON pour faire apparaître un numéro d'index à l'écran. Saisissez ensuite le numéro d'index de l'écran que vous souhaitez utiliser à l'aide du pavé numérique ❿, puis appuyez sur la touche SET. Une fois l'opération terminée, appuyez sur la touche OFF pour passer du mode ID au mode normal. *Pour plus d'informations sur le numéro d'index, reportez-vous au paragraphe « Utilisation d'un écran spécifique avec la télécommande » page 43 (FR).*

⓭ Touche VOLUME +/-

Permet de régler le volume.

14 Touche OPTION2

Sélectionne l'entrée du signal à partir de l'adaptateur en option (sauf pour le BKM-FW10) lorsque vous l'installez sur l'appareil. L'entrée du signal de l'emplacement OPTION2 bascule chaque fois que vous appuyez sur cette touche.

Remarque

Cette touche est inopérante sur les modèles FWD-32LX1R qui ne sont pas dotés d'un emplacement OPTION2.

15 Touche OPTION1

Lorsqu'une carte en option est installée, cette touche permet de sélectionner un signal à transmettre à partir du périphérique raccordé à cette carte. L'entrée du signal de l'emplacement OPTION1 bascule chaque fois que vous appuyez sur cette touche.

16 Touche MENU

Appuyez pour faire apparaître les menus. Appuyez de nouveau sur cette touche pour faire disparaître le menu.

17 Touche

Sélectionne le mode PICTURE AND PICTURE (PAP). Chaque pression sur cette touche permet de basculer entre P&P, PinP et PAP off.

18 Touche CHROMA

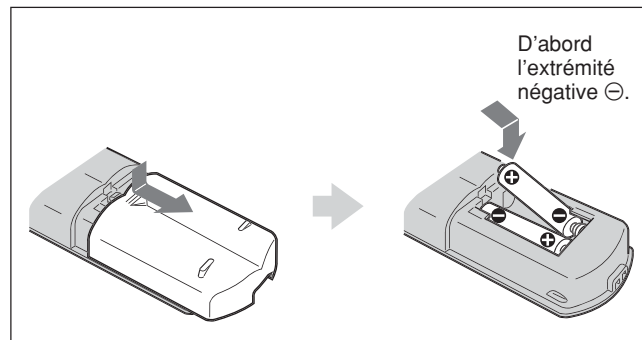
Ajuste le chrominance lorsque le Mode image est réglé sur l'un des « Util. 1 » à « Util. 3 ». Appuyez sur cette touche et ajustez le centrage horizontal à l'aide des touches / ou /, touche .

19 Touche CONTRAST +/-

Régler le contraste. Ajuste le contraste lorsque le Mode image est réglé sur l'un des « Util. 1 » à « Util. 3 ».

Installation des piles

Introduisez deux piles AAA (R03) en respectant la polarité.



- En mode d'utilisation normale, les piles devraient durer environ six mois. Si la télécommande ne fonctionne pas correctement, il est possible que les piles soient vides. Remplacez-les par des piles neuves.
- Pour éviter des dommages découlant de la fuite des piles, retirez-les de la télécommande si vous prévoyez de ne pas l'utiliser pendant une période prolongée.

Lorsque la télécommande ne fonctionne pas

Vérifiez que l'indicateur POWER/STANDBY s'allume et que le Mode de contrôle de la télécommande n'est pas réglé sur « Ecran uniquement ». La télécommande actionne l'écran uniquement lorsque les deux conditions énoncées ci-après sont remplies.

- L'écran est sous tension ou en mode de veille.
 - Le Mode de contrôle du menu Télécommande est réglé sur « Ecran+Télec. » ou « Téléc.uniquement ».
- Pour plus d'informations sur le Mode de contrôle, reportez-vous au paragraphe « Mode de contrôle » page 19 (FR).*

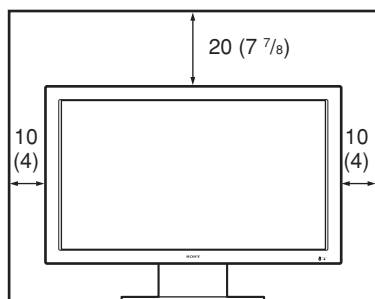
Attention

Laissez suffisamment d'espace autour de l'écran d'affichage

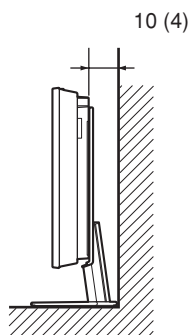
- Lorsque vous utilisez l'écran, assurez-vous que l'espace présent autour de l'affichage est plus important que celui indiqué dans l'illustration ci-dessous. Ceci permettra d'assurer une ventilation correcte.
- La température ambiante doit être comprise entre 0 °C et +35 °C (32 °F à 95 °F).
- Lors du montage de l'écran à l'horizontale, utilisez le support d'écran SU-42FW/32FW (non fourni).
- Concernant l'installation du matériel, tel que les supports, les vis ou les boulons, il n'est pas possible de spécifier les produits. L'installation actuelle dépend des revendeurs locaux autorisés. Contactez un personnel Sony qualifié lors de l'installation.
- Lorsque l'appareil est sous tension, certaines pièces peuvent chauffer et provoquer des brûlures. Lorsque l'écran est sous tension ou juste au moment où il passe en mode de veille, ne touchez pas la partie supérieure ou l'arrière de l'appareil.

Lorsque vous utilisez le support (non fourni)

Avant



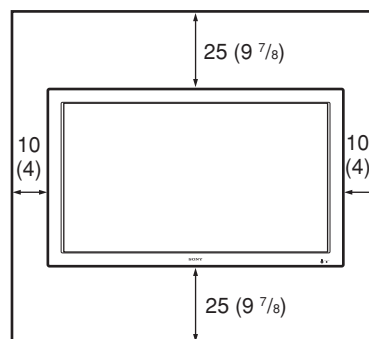
Côté



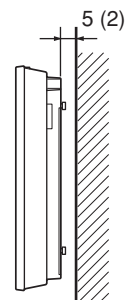
Unités : cm (pouces)

Utilisation de l'écran à l'horizontale

Avant



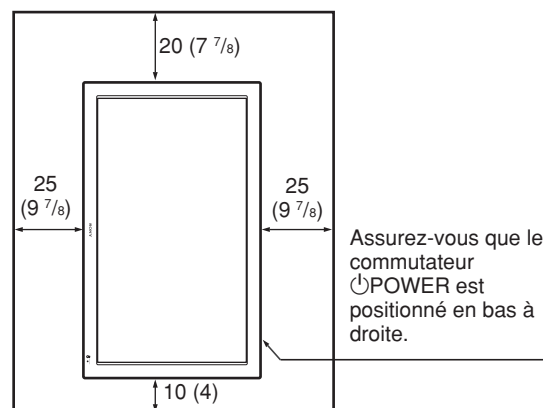
Côté



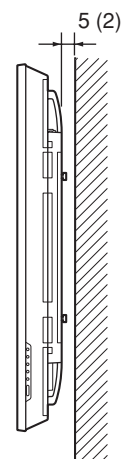
Unités : cm (pouces)

Utilisation de l'écran à la verticale

Avant



Côté



Unités : cm (pouces)

Remarque

Lorsque vous montez l'écran à la verticale, vous ne pouvez pas utiliser les haut-parleurs SS-SP40FW/32FW (non fournis).

Raccordements

Avant de commencer

- Assurez-vous dans un premier temps que tous les appareils sont hors tension.
- Utilisez des câbles de connexion adaptés aux appareils à raccorder.
- Les connecteurs de câbles doivent être complètement insérés dans les prises. Une connexion lâche risque de provoquer du souffle ou d'autres parasites.
- Pour débrancher le câble, saisissez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le câble lui-même.
- Référez-vous au mode d'emploi de l'appareil à raccorder.
- Insérez bien le connecteur dans la prise AC IN.
- Utilisez l'un des deux supports de la prise secteur (fournis) qui maintiennent en place la prise secteur.

Pour ôter le cordon d'alimentation secteur

Après avoir pincé le support de la prise de courant alternatif pour la libérer, saisissez la prise et retirez le cordon d'alimentation secteur.

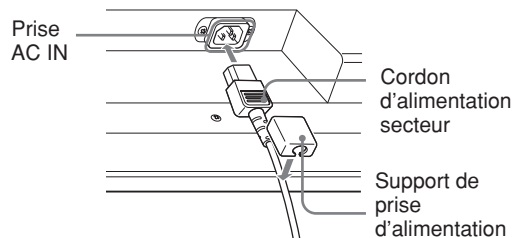
Raccordement des haut-parleurs

Vous pouvez bénéficier d'une ambiance plus réelle en raccordant les enceintes SS-SP40FW/32FW (non fournies). Assurez-vous de raccorder les enceintes correctement. Pour plus d'informations sur le raccordement des enceintes, reportez-vous à leur mode d'emploi.

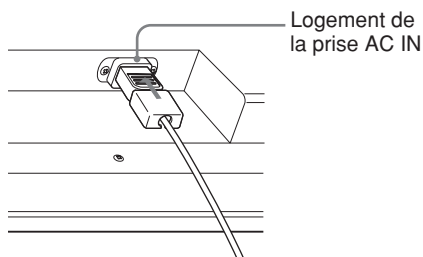
Pour plus de détails sur le cheminement des cordons d'enceinte, reportez-vous à la section « Utilisation des attaches de câbles », page 15 (FR).

Raccordement de la prise d'alimentation secteur

- 1 Branchez le cordon d'alimentation secteur dans la prise AC IN. Fixez ensuite le support de prise AC (fourni) au cordon d'alimentation secteur.

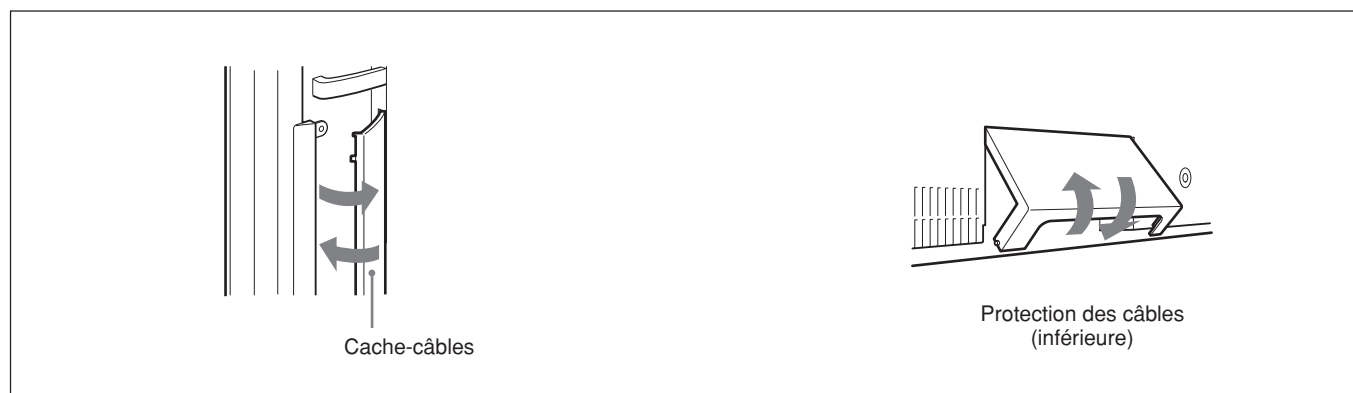


- 2 Faites glisser le support de prise d'alimentation secteur par-dessus le cordon jusqu'à ce qu'il s'enclenche dans le logement de la prise d'alimentation secteur.



Gestion des câbles

La protection des câbles est située à l'arrière de l'écran. Avant de raccorder les câbles à l'écran, tirez sur la cache-câbles pour l'ouvrir. Une fois les câbles raccordés à l'écran, refermez la protection des câbles.

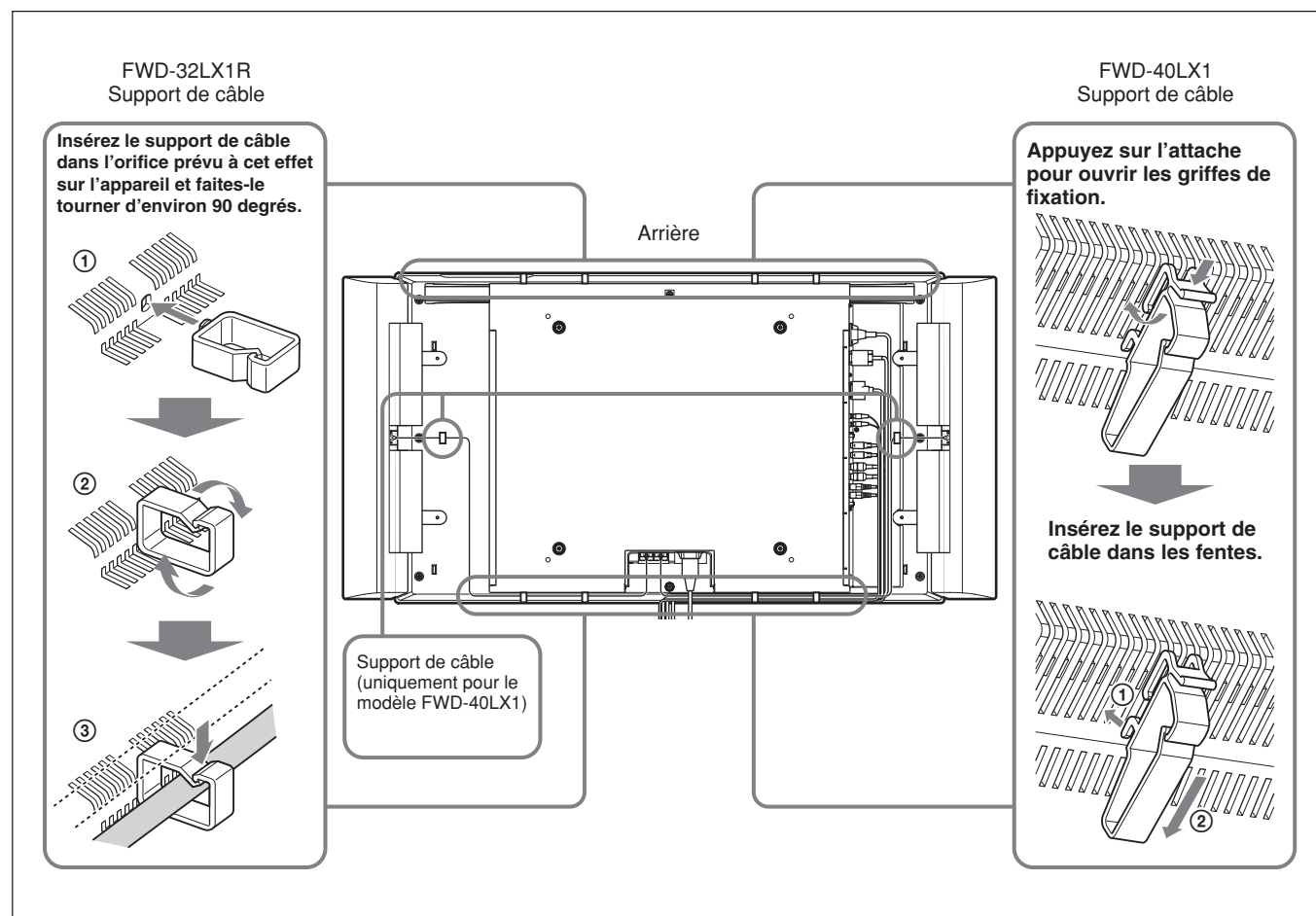


Utilisation des attaches de câbles

Vous pouvez regrouper les câbles avec les supports de câble fournis (×6 pour le FWD-40LX1 et ×4 pour le FWD-32LX1R). Choisissez trois orifices de ventilation successifs pour le support de câble sur le FWD-40LX1. Choisissez six orifices sur huit pour le

FWD-32LX1R. Fixez les supports de câble comme indiqué dans l'illustration ci-dessous.

Lorsque vous raccordez les enceintes SS-SP40FW (non fournies), faites passer les cordons d'enceinte dans les supports de câble à l'arrière de l'écran. (Uniquement pour le modèle FWD-40LX1)

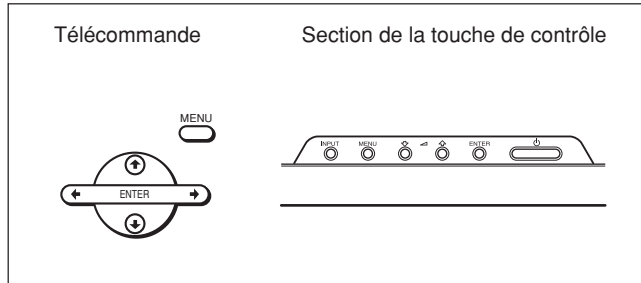


Utilisation des menus d'affichage

Exploitation des menus

Touches d'exploitation des menus

Utilisez les touches de l'écran ou de la télécommande pour les opérations de menu.



L'utilisation à l'aide de la télécommande est expliquée dans ce mode d'emploi. Les touches **↑/↓** et **ENTER** de la télécommande possèdent les mêmes fonctions que les touches **↑/↓** et **ENTER** de l'écran.

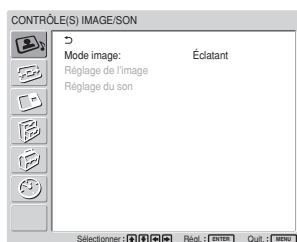
Remarque

Le fonctionnement peut être différent dans certains cas, puisqu'il n'y a pas de touche **←/→** sur l'écran.

Configuration des menus

Pour sélectionner la langue d'affichage des menus, reportez-vous à la section « Sélection de la langue d'affichage à l'écran » à la page 37 (FR).

- 1 Appuyez sur **MENU**.
Le menu principal apparaît à l'écran.



- 2 Appuyez sur **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) vers le menu principal que vous souhaitez sélectionner, puis appuyez sur **ENTER**. Le curseur passe au menu suivant.

- 3 Appuyez sur **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) vers le paramètre que vous souhaitez sélectionner, puis appuyez sur **ENTER**.
Le menu correspondant au paramètre sélectionné apparaît.
Sélectionnez les paramètres en répétant cette procédure.

- 4 Appuyez sur **↑/↓** pour régler ou sélectionner le réglage et appuyez sur **ENTER** pour confirmer. Ce réglage est alors enregistré et l'affichage revient au menu précédent.

Pour terminer la configuration et revenir à l'écran normal, appuyez sur **MENU**.

Pour revenir au niveau du menu précédent, appuyez sur **↑/↓** pour déplacer le curseur sur **↶**, puis appuyez sur **ENTER** ou sur la touche **←**.

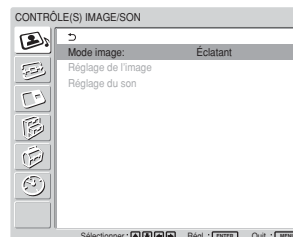
Guide de menu

Remarque

Les paramètres ne pouvant être ni réglés, ni ajustés (en fonction du réglage ou du type d'entrée du signal) s'affichent en gris.

Menu CONTRÔLE(S) IMAGE/SON

Permet de régler la qualité visuelle et sonore des signaux dont les images sont affichées à l'écran.



Mode image

Définit la qualité d'image correspondant au type d'image ou à la luminosité de l'endroit où est installé l'appareil.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Sélection du mode de qualité de l'image » à la page 24 (FR).

Réglage de l'image

Ce menu permet le fin réglage de l'image.

Régalez le Mode image sur l'un des « Util.1 » à « Util.3 ».

Remarque

Il est impossible d'ajuster les paramètres suivants lorsque le Mode image est réglé sur « Éclatant » ou « Standard ».

Pour plus de détails, reportez-vous à la section « Réglage de l'image » à la page 25 (FR).

Réglage du son

Ce menu permet le fin réglage du son.

Réglez le Mode image sur l'un des « Util.1 » à « Util.3 ».

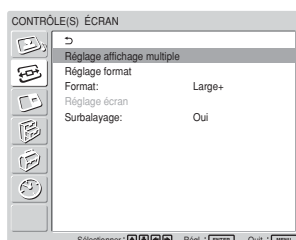
Remarque

Il est impossible d'ajuster les paramètres suivants lorsque le Mode image est réglé sur « Éclatant » ou « Standard ».

Pour plus de détails, reportez-vous à la section « Réglage de la qualité du son » à la page 36 (FR).

Menu CONTRÔLE(S) ÉCRAN

Ce menu permet d'ajuster la taille de l'image et de la repositionner à l'écran.

**Réglage affichage multiple**

Vous pouvez effectuer des réglages afin de raccorder plusieurs moniteurs pour former une mosaïque vidéo avec une disposition 2 x 2, 3 x 3 ou 4 x 4.

Pour plus de détails, reportez-vous à la section « Réglage de l'affichage multiple » à la page 35 (FR).

Réglage format

Permet de régler la fonction de format automatique. La fonction de format automatique permet de sélectionner des émissions de télévision classiques ou des images plein écran, ayant toutes un affichage horizontal et vertical différent et agrandi automatiquement l'image avec un rapport d'aspect de 16:9, permettant d'afficher de manière appropriée différents types d'images.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Réglage du format automatique » à la page 29 (FR).

Format

Permet de changer le mode d'affichage de l'écran large pour le faire correspondre au type de l'image et à ses proportions.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Réglage du Format » à la page 30 (FR).

Réglage écran

Ce menu permet de redimensionner ou de repositionner l'image. Vous pouvez également ajuster le nombre de pixels de l'image à l'aide de ce menu.

Pour plus de détails, reportez-vous à la section « Redimensionnement et positionnement de l'image » à la page 31 (FR).

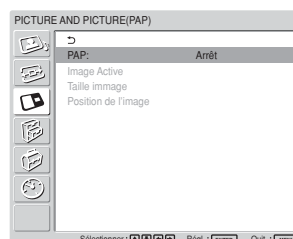
Surbalayage

Vous pouvez activer/désactiver « Surbalayage » lorsque le mode RVB est réglé sur DTV.

Lorsqu'il est réglé sur « Oui », l'écran affiche les images avec un surbalayage.

Menu PICTURE AND PICTURE (PAP)

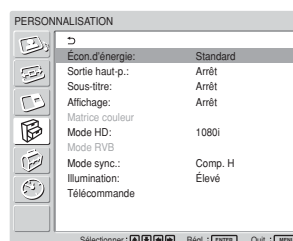
Vous pouvez afficher l'une à côté de l'autre deux images en provenance de deux sources de signal différentes, comme un ordinateur et un appareil vidéo.



Pour plus de détails, reportez vous à la section « Affichage de deux images en même temps » à la page 32 (FR).

Menu PERSONNALISATION

Vous pouvez réduire la consommation d'énergie ou régler différents modes.



Econ. d'énergie

Permet d'économiser l'électricité tout en continuant d'utiliser l'écran.

Standard : Pas d'économie d'énergie

Réduire : Economie d'énergie

Si vous sélectionnez « Réduire », la luminosité de l'image est réduite et vous pouvez regarder des images tout en économisant de l'énergie.

Remarques

- Lorsque vous remettez l'appareil sous tension, celui-ci revient automatiquement à « Econ. d'énergie : Réduire ».
- Même si vous avez réglé Econ. d'énergie sur « Réduire », vous pouvez tout de même régler la qualité de l'image. Toutefois, vous risquez de perdre les effets d'économie d'énergie si vous augmentez le contraste ou la luminosité.

Sortie haut-p.

Permet la sortie du son sur les haut-parleurs SS-SP40FW/32FW (non fournis) lorsqu'il est réglé sur Marche.

Lorsqu'il est réglé sur Arrêt, vous ne pouvez pas régler le niveau du son. Si vous essayez de procéder au réglage,  s'affiche.

Sous-titre codé

Permet l'affichage des sous-titres.

Lorsque vous affichez deux images en utilisant la combinaison Composante + Composante, vous pouvez afficher des sous-titres uniquement pour les signaux d'entrée provenant du BKM-FW11 ou du BKM-FW12.

Arrêt : les sous-titres ne s'affichent pas.

CC1-4 : permet d'afficher la légende superposée sur l'image.

Affichage

Sélectionnez Marche pour afficher les informations du signal d'entrée et le Mode image pendant environ cinq secondes à l'écran lorsque vous mettez l'appareil sous tension ou lorsque vous commutez le signal d'entrée.

Matrice couleur

Permet de régler la matrice couleur de façon à obtenir des couleurs naturelles lors de la réception d'un signal composant.

Pour plus de détails, voir « Réglage de la matrice de couleurs » à la page 38 (FR).

Mode HD

Sélectionne un mode en fonction d'un signal composant analogique HD transmis au moniteur.

1080i : Lors de l'entrée d'un signal 1080i

1035i : Lors de l'entrée d'un signal 1035i

Mode RVB

Active ce mode lorsqu'un appareil émettant des signaux RVB est raccordé au moniteur.

DTV : lors du raccordement à un récepteur numérique RVB ou à un autre appareil de ce type.

PC : lors du raccordement à un ordinateur ou autre.

Mode sync.

Règle le mode en fonction de l'entrée du signal à la broche 13 du connecteur INPUT2 RGB/COMPONENT. Les signaux peuvent uniquement être réglés sur 575/50I ou 480/60I.

Comp.H : Lors de la réception d'un signal horizontal

Vidéo : lors de l'entrée d'un signal vidéo

Réglages du mode de synchronisation et du signal d'entrée

Broches	Entrée du signal sur le connecteur D	Réglage du mode de synchronisation
13	Vidéo composite 480/60I, 575/50I	Vidéo
13/14	H Sync/V Sync	Comp. H
2	Sync On Green	

Pour de plus amples informations sur le brochage du connecteur RGB/COMPONENT, reportez-vous à la section « Attribution des broches », page 46 (FR).

Remarques

- Certaines entrées acceptent des signaux de synchronisation uniquement. Dans ce cas, l'image ne s'affiche pas même si un signal vidéo est transmis via le connecteur 13 broches. Entrez des signaux de synchronisation horizontaux/verticaux via les connecteurs 13 ou 14 ou entrez des signaux Sync On Green via le connecteur RGB.
- Avec Sync On Green, si l'appareil n'est pas réglé pour accepter les signaux de synchronisation, l'image ne s'affiche pas.
- Les signaux du mode synchronisé peuvent uniquement être acceptés avec INPUT2.
- Les réglages Mode sync. ne peuvent pas être effectués pour l'entrée via les cartes en option.
- Cet appareil ne prend pas en charge de synchronisation à trois valeurs du signal de synchronisation composite et du réglage 576/60P.

Illumination

Modifie la luminosité du logo « SONY » à l'avant du moniteur.

Télécommande

Ce menu sert au réglage de la télécommande.

Numéro d'index

Définit le numéro d'index de l'écran.

Remarque

Lorsque vous définissez le numéro, utilisez les touches de l'écran. Le numéro d'index ne peut pas être réglé avec la télécommande.

Pour plus d'informations sur le numéro d'index, reportez-vous au paragraphe « Utilisation d'un écran spécifique avec la télécommande » page 43 (FR).

Mode de contrôle

Sélectionne la fonction de la télécommande.

Ecran+Télec. : active la télécommande fournie avec l'écran.

Ecran uniquement : désactive la fonction de télécommande. Vous pouvez alors effectuer les réglages de l'écran à l'aide des touches de commande situées sur le moniteur uniquement.

Télec.uniquement : désactive les commandes du moniteur lorsque vous souhaitez le piloter uniquement à partir de la télécommande. Vous pouvez alors effectuer les réglages de l'écran à l'aide de la télécommande uniquement.

Remarque

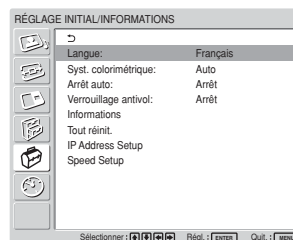
Avec cette option, les modes disponibles varient en fonction de la touche utilisée.

Lorsque vous utilisez la touches ENTER de la télécommande pour le réglage, vous pouvez uniquement sélectionner « Ecran+Télec. » ou « Téléc.uniquement ».

Lorsque vous utilisez la touche ENTER de l'écran pour le réglage, vous pouvez uniquement sélectionner « Ecran+Télec. » ou « Ecran uniquement ».

Menu RÉGLAGE INITIAL/INFORMATIONS

Vous permet de sélectionner la langue à l'écran ou le signal d'entrée ou d'activer l'option Verrouillage antiviol.



Remarque

« IP Address Setup » et « Speed Setup » apparaissent uniquement sur le menu lorsqu'un adaptateur en option pour la fonction de communication tel qu'un BKM-FW32 ou BKM-FW50 est inséré dans l'emplacement OPTION1.

Langue

Sélection de la langue d'affichage des menus (japonais, anglais, allemand, français, espagnol ou italien).

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Sélection de la langue d'affichage à l'écran » à la page 37 (FR).

Syst. colorimétrique

Permet de sélectionner le standard couleur pour les signaux vidéo.

Auto : pour régler automatiquement le système couleur.

NTSC : affichage des signaux NTSC.

NTSC4.43 : affichage des signaux NTSC4.43.

PAL : affichage des signaux PAL.

SECAM : affichage des signaux SECAM.

PAL-M : affichage des signaux PAL-M.

PAL-N : affichage des signaux PAL-N.

PAL60 : affichage des signaux PAL60.

Arrêt auto

Lorsque vous réglez cette option sur « Marche », l'écran passe automatiquement en mode de veille si aucun signal n'est transmis aux connecteurs d'entrée COMPONENT ou DVI pendant plus de cinq minutes environ. Lorsque l'écran est en mode de veille, appuyez sur le commutateur  POWER de l'écran ou sur la touche POWER ON de la télécommande pour le mettre sous tension. L'écran passe automatiquement en mode d'économie d'énergie si aucun signal n'est transmis aux connecteurs d'entrée DVI ou RVB pendant plus de trente secondes environ. En mode d'économie d'énergie, l'écran s'allume automatiquement lorsqu'un signal entré.

Verrouillage antivol

Active le verrouillage antivol du moniteur.

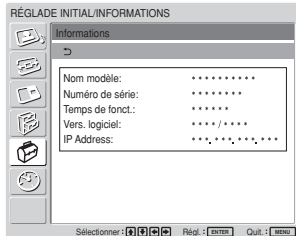
Arrêt : désactive le verrouillage antivol.

Marche : si cette option est réglée sur Marche, un mot de passe est requis pour activer le verrouillage antivol.

Pour plus de détails, reportez-vous à la section « Réglage du verrouillage antivol » à la page 40 (FR).

Informations

Ce menu sert à afficher l'état interne de l'écran.



Remarque

« IP Address » apparaît uniquement sur le menu lorsqu'un adaptateur en option pour la fonction de communication tel qu'un BKM-FW32 ou BKM-FW50 est inséré dans l'emplacement OPTION1.

Nom modèle

Indique le nom du modèle.

Numéro de série

Indique le numéro de série.

Temps de fonct.

Indique le nombre total d'heures d'utilisation.

Remarque

Le mode de veille n'est pas comptabilisé dans les heures d'utilisation.

Vers. logiciel

Indique la version logiciel du système.

Tout réinit.

Réinitialise tous les ajustements et valeurs de réglage à leurs valeurs par défaut.

Remarque

Le numéro d'index ne sera pas réinitialisé.

IP Address Setup

Définit une adresse IP afin de permettre la communication entre l'écran et un adaptateur en option pour la fonction de communication, tel que le BKM-FW32 ou le BKM-FW50.

DHCP : configuration automatique pour définir une adresse IP.

Manual : configuration manuelle pour définir une adresse IP.

Pour plus de détails, reportez-vous à la section « Définition d'une adresse IP et d'une vitesse de communication », page 41 (FR).

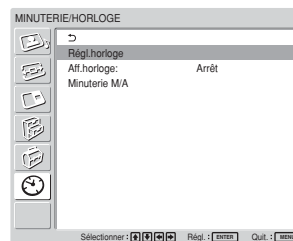
Speed Setup

Définit une vitesse de communication entre l'écran et un adaptateur en option pour la fonction de communication, tel que le BKM-FW32 ou le BKM-FW50.

Pour plus de détails, reportez-vous à la section « Définition d'une adresse IP et d'une vitesse de communication », page 41 (FR).

Menu MINUTERIE/HORLOGE

Permet de régler la minuterie et l'heure, d'afficher l'horloge intégrée ou de mettre l'appareil sous et hors tension à heure fixe.



Remarque

L'heure et le jour ne sont pas pré-réglés par défaut.

Régl. horloge

Permet de régler l'heure.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Réglage de l'heure et du jour » à la page 38 (FR).

Aff. horloge

Lorsque cette fonction est active, l'heure réglée s'affiche à l'écran.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Affichage de l'heure » à la page 39 (FR).

Minuterie M/A

Permet de régler l'heure à laquelle l'appareil est automatiquement mis sous tension ou hors tension.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section « Activation/désactivation de la fonction de minuterie » à la page 39 (FR).

Visualisation de l'image

Avant de commencer

- Mettez l'écran sous tension.
- Mettez l'appareil raccordé sous tension et activez la lecture d'une source vidéo.
- Pour afficher sur l'écran les informations du signal d'entrée au moment de la mise sous tension ou de la commutation du signal d'entrée, définissez « Affichage » sur Marche dans le menu Personnalisation.
- Pour sélectionner la langue d'affichage des menus, reportez-vous à la section « Sélection de la langue d'affichage à l'écran » à la page 37 (FR).

Commutation du signal d'entrée

Input1 DVI : sélectionne le signal (RVB numérique) transmis aux cmlNecteurs INPUT1.

Input2 RGB : sélectionne le signal (RVB analogique) transmis aux connecteurs INPUT2.

Input2 Component : sélectionne le signal (composant) transmis aux connecteurs INPUT2.

Option1/2 Video : sélectionne le signal (vidéo) capté en provenance d'un appareil raccordé aux connecteurs de l'emplacement en option 1 ou 2.

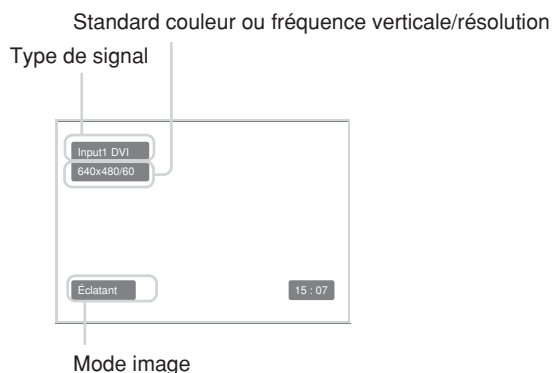
Option1/2 S Video : sélectionne le signal (S-vidéo) capté en provenance d'un appareil raccordé aux connecteurs de l'emplacement en option 1 ou 2.

Option1/2 RGB : sélectionne le signal (RVB analogique) capté en provenance d'un appareil raccordé aux connecteurs de l'emplacement en option 1 ou 2.

Option1/2 Component : sélectionne le signal (composante) capté en provenance d'un appareil raccordé aux connecteurs de l'emplacement en option 1 ou 2.

Appuyez sur la touche INPUT1, INPUT2, OPTION1 ou OPTION2 de la télécommande pour commuter le signal d'entrée. Si des formats multiples peuvent être transmis vers le connecteur d'entrée sélectionné, l'indication change chaque fois que vous appuyez sur la touche correspondante.

Par exemple, chaque fois que vous appuyez sur la touche INPUT2, l'indication bascule vers « Input2 RGB » ou « Input2 Component » alternativement. Le signal d'entrée sélectionné apparaît à l'écran.



Vous pouvez commuter le signal d'entrée à l'aide de la touche OPTION sur l'écran.

Remarque

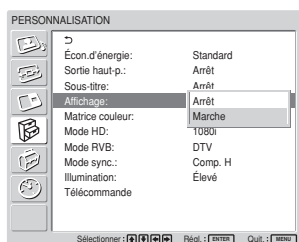
Nous vous recommandons d'utiliser comme source d'entrée un appareil vidéo doté d'un correcteur de base de temps (TBC). Si l'écran reçoit un signal sans TBC, il se peut que l'image disparaisse en raison de perturbations du signal de synchronisation.

Données relatives au signal d'entrée, au mode image et au statut de l'affichage

Les informations sur le signal d'entrée et sur « Mode image » apparaissent sur l'écran pendant environ vingt secondes lorsque l'appareil est mis sous tension et pendant environ cinq secondes lorsque le signal d'entrée est commuté.

Pour désactiver cette fonction, suivez cette procédure:

- 1 Dans le menu PERSONNALISATION, appuyez sur les touches **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur « Affichage » et appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 2 Appuyez sur les touches **↑/↓** pour définir « Affichage » sur « Arrêt », puis appuyez sur ENTER.

Pour afficher les informations

Réglez « Affichage » sur « Marche » à l'étape 2 ci-dessus, puis appuyez sur ENTER. La valeur par défaut est « Marche ».

Remarque

Vous pouvez à tout moment afficher les données du signal d'entrée et le mode Picture en appuyant sur la touche DISPLAY de la télécommande, indépendamment des réglages cités plus haut.

Signaux d'entrée présélectionnés			
	Nom du signal	Système couleur ou fréquence horizontale/verticale	
Signaux de l'ordinateur			
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31,5 kHz	70 Hz
2	640×480@60 Hz (VESA ^{b)} STD)	31,5 kHz	60 Hz
3	Mac ^{c)} 13"	35,0 kHz	67 Hz
4	VGA (VGA TEXT)	31,5 kHz	70 Hz
5	800×600@60 Hz (VESA STD)	37,9 kHz	60 Hz
6	Mac 16"	49,7 kHz	75 Hz
7	1024×768@60 Hz (VESA STD)	48,4 kHz	60 Hz
8	1024×768@75 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	75 Hz
9	1024×768@85 Hz (VESA STD)	68,7 kHz	85 Hz
10	1152×864@75 Hz (VESA STD)	67,5 kHz	75 Hz
11	Mac 21"	68,7 kHz	75 Hz
12	1280×960@60 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	60 Hz
13	1280×1024@60 Hz (VESA STD)	64,0 kHz	60 Hz
14	1600×1200@60 Hz (VESA STD)	75,0 kHz	60 Hz
15	848×480@60 Hz (VESA STD)	29,8 kHz	60 Hz
16	848×480@60 Hz (VESA STD)	29,5 kHz	60 Hz
17	848×480@75 Hz	37,7 kHz	75 Hz
18	1280×768@60 Hz	47,8 kHz	60 Hz
19	1280×768@60 Hz	47,4 kHz	60 Hz
SDTV/HDTV			
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	
16	720/50p	720/50P	

- a) VGA est une marque déposée de International Business Machines Corporation, USA.
 b) VESA est une marque déposée de Video Electronics Standards Association.
 c) Mac (Macintosh) est une marque déposée de Apple Computer, Inc.

Remarques

- Lors de la transmission d'un signal HDTV, transmettez le signal de synchronisation à trois niveaux vers la deuxième broche du connecteur RGB/COMPONENT (D-sub à 15 broches) sur INPUT2 ou le BKM-FW12.
- Si des couleurs apparaissent trop claires après transmission d'un signal DVD sur l'écran, ajustez le réglage « Chrominance » dans le menu Réglage de l'image.
- Lorsque la phase est réajustée, la résolution diminue.

Affichage à l'écran du statut de l'appareil

Affichage à l'écran	Signification
640×480 / 60 (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est le signal RVB d'un ordinateur.
480 / 60I (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est le signal vidéo composante.
NTSC (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est un signal NTSC.
Hors plage	Le signal d'entrée sélectionné n'est pas un signal pris en charge.
Pas de sync.	Il n'y a pas de signal d'entrée.
INPUT1 DVI	Le mode du signal de INPUT1 est réglé sur RVB numérique.
INPUT2 RGB	Le mode du signal de INPUT2 est réglé sur RVB analogique.
INPUT2 Component	Le mode du signal de INPUT2 est réglé sur vidéo composant.
Option1/2 Video	Le mode du signal de l'emplacement Option1 ou 2 est réglé sur vidéo composite.
Option1/2 S Video	Le mode du signal de l'emplacement Option1 ou 2 est réglé sur S VIDEO.
Option1/2 RGB	Le mode du signal de l'emplacement Option1 ou 2 est réglé sur RVB analogique.
Option1/2 Component	Le mode du signal de l'emplacement Option1 ou 2 est réglé sur vidéo composant.

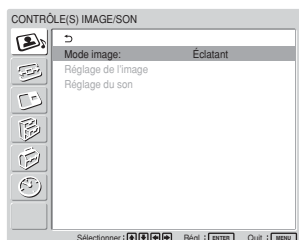
Sélection du mode de qualité de l'image

Vous pouvez régler la qualité de l'image correspondant au type d'image ou à la luminosité de l'endroit où est installé l'appareil.

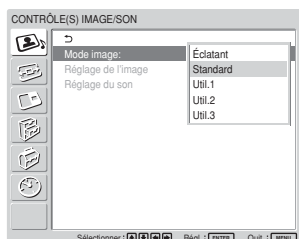
- 1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal s'affiche à l'écran.



- 2 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « CONTRÔLE(S) IMAGE/SON », puis appuyez sur ENTER.
Le menu CONTRÔLE(S) IMAGE/SON s'affiche à l'écran.



- 3 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Mode image », puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.



- 4 Sélectionnez le mode image souhaité avec la touche ↑/↓.
Éclatant : Les images sont d'une grande netteté avec un réglage maximal des contrastes et des contours.
Standard : Les images sont réalistes avec un réglage moyen des contrastes et du contour.
Util. 1 à 3 : Vous pouvez régler la qualité de l'image à votre convenance à l'aide du menu Réglage de l'image.
- 5 Appuyez sur ENTER pour revenir au menu CONTRÔLE(S) IMAGE/SON.

Réglage de l'image

Pendant que vous visionnez l'image, vous pouvez régler à votre gré le contraste, la luminosité, l'intensité des couleurs, la phase, etc. Ces réglages peuvent être exécutés séparément pour chacun des signaux d'entrée. Vous pouvez également mémoriser les réglages effectués.

Réglez le Mode image sur l'un des « Util.1 » à « Util.3 ».

Réglage du contraste, de la luminosité, Chrominance, de la phase, etc.

Appuyez sur MENU pour afficher le menu principal et réglez « Rétroéclairage », « Contraste », « Luminosité », « Chrominance », « Phase », « Netteté », « Réduct. Bruit », « Lecteur cinéma », « Image dynamique », « Temp.couleur », « Correct. Coul. » ou « Correct.gamma » dans le menu Réglage de l'image.

Rétroéclairage

Sélectionnez « Rétroéclairage » à l'aide de **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER. Ajustez la luminosité de l'arrière-plan avec **↑/↓/←/→** dans la plage comprise entre MIN (0) et MAX (100), puis appuyez sur ENTER.

↑/→ : pour augmenter la luminosité de l'arrière-plan

↓/← : pour réduire la luminosité de l'arrière-plan

Lorsque vous affichez deux images, elles sont ajustées toutes les deux.

Contraste

Sélectionnez « Contraste » à l'aide des touches **↑/↓** et appuyez sur ENTER.

Ajustez le contraste à l'aide des touches **↑/↓/←/→** dans la plage allant de MIN (0) à MAX (100), puis appuyez sur ENTER.

↑/→ : pour augmenter le contraste de l'image

↓/← : pour diminuer le contraste de l'image

Lorsque vous affichez deux images, seule l'image active est ajustée. Et la plage de réglage est restreinte.

Luminosité

Sélectionnez « Luminosité » à l'aide des touches **↑/↓** et appuyez sur ENTER.

Ajustez la luminosité à l'aide des touches **↑/↓/←/→** dans la plage allant de MIN (0) à MAX (100), puis appuyez sur ENTER.

↑/→ : pour rendre l'image plus brillante

↓/← : pour rendre l'image plus sombre

Lorsque vous affichez deux images, seule l'image active est ajustée. Et la plage de réglage est restreinte.

Chrominance

Sélectionnez « Chrominance » à l'aide des touches **↑/↓** et appuyez sur ENTER.

Ajustez l'intensité des couleurs à l'aide des touches **↑/↓/←/→** dans la plage allant de MIN (0) à MAX (100), puis appuyez sur ENTER.

↑/→ : pour augmenter l'intensité des couleurs

↓/← : pour diminuer l'intensité des couleurs

Lorsque vous affichez deux images, seule l'image active est ajustée.

Phase

Sélectionnez « Phase » à l'aide des touches **↑/↓** et appuyez sur ENTER.

Ajustez la phase à l'aide des touches **↑/↓/←/→** dans la plage allant de GAUCHE (50) à DROITE (50), puis appuyez sur ENTER.

↑/→ : pour donner à l'image une teinte verdâtre

↓/← : pour donner à l'image une teinte rougeâtre

Lorsque vous affichez deux images, seule l'image active est ajustée.

Netteté

Sélectionnez « Netteté » avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.

Réglez la netteté avec la touche **↑/↓/←/→**. La plage de réglage va de MIN (0) à MAX (10), puis appuyez sur ENTER.

↑/→ : pour augmenter la netteté de l'image.

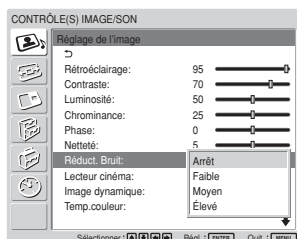
↓/← : pour diminuer la netteté de l'image.

Lorsque vous affichez deux images, elles sont ajustées toutes les deux.

Réduct. Bruit

Réduction du bruit électrostatique causant de la granularité et des interférences de couleur dans l'image.

- 1 Sélectionnez « Réduct. Bruit » avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.



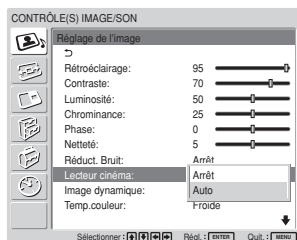
- 2 Sélectionnez le mode de Réduct. Bruit souhaité avec la touche **↑/↓**.
Arrêt : Le signal vidéo est affiché directement, sans modification.
Faible : faible réduction des bruits parasites.
Moyen : réduction moyenne des bruits parasites.
Élevé : réduction importante des bruits parasites.

- 3 Appuyez sur ENTER pour revenir au menu Réglage de l'image.
Lorsque vous affichez deux images, elles sont ajustées toutes les deux.

Lecteur cinéma

Détecte automatiquement une image filmée sur une pellicule cinématographique 24 images et la reproduit en optimisant ses caractéristiques cinématographiques.

- 1 Sélectionnez « Lecteur cinéma » à l'aide de **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît sur l'écran.



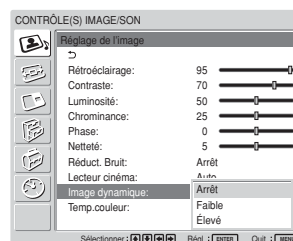
- 2 Sélectionnez le mode Lecteur cinéma avec **↑/↓**.
Arrêt : reproduit l'image en fonction de son signal.
Auto : reproduit l'image filmée sur une pellicule cinématographique en optimisant les caractéristiques cinématographiques de l'original.

Lorsque vous affichez deux images, seule l'image active est ajustée.

Image dynamique

Permet d'améliorer le contraste en rendant les blancs plus vifs et les noirs plus foncés.

- 1 Sélectionnez « Image dynamique » avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.



- 2 Sélectionnez le mode d'image dynamique souhaité avec la touche **↑/↓**.
Arrêt : désactive la fonction Image dynamique.
Faible : règle la fonction Image dynamique sur une valeur faible.
Élevé : règle la fonction Image dynamique sur une valeur élevée.

- 3 Appuyez sur ENTER pour revenir au menu Réglage de l'image.
Lorsque vous affichez deux images, elles sont ajustées toutes les deux.

Temp. couleur

Vous pouvez également régler la température des couleurs. Vous pouvez sélectionner « Froide », « Neutre » ou « Chaude » ou effectuer des réglages plus précis.

- 1 Sélectionnez « Temp. couleur » à l'aide des touches **↑/↓** et appuyez sur ENTER.

2 Sélectionnez la température de couleur à l'aide des touches **↑/↓** et appuyez sur ENTER.

Froide : pour définir la température de couleur sur HAUT.

Neutre : pour régler la température de couleur au neutre.

Chaud : pour définir la température de couleur sur BAS.

Couleur1 – 3 : pour régler les valeurs de chaque gain séparément.

Lorsque vous sélectionnez « Chaud », « Neutre » ou « Froide », le menu Réglage de l'image réapparaît.

Lorsque vous sélectionnez « Couleur1 » à « Couleur3 »

(1) Appuyez sur **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) vers l'option de gain souhaitée, puis appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît à l'écran.

(2) Réglez le gain (0 à 100) à l'aide de **↑/↓/←/→** puis appuyez sur ENTER.

Le menu revient au menu Temp. couleur.

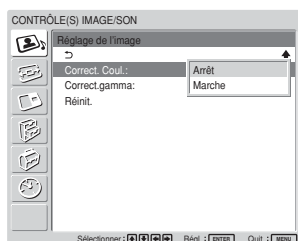
Lorsque vous affichez deux images, elles sont ajustées toutes les deux.

Correct. Coul.

Reproduit fidèlement un teint sain.

1 Sélectionnez « Correct. Coul. » à l'aide de **↑/↓** et appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît sur l'écran.



2 Sélectionnez le mode Correct. Coul. avec **↑/↓**.

Arrêt : désactive la fonction Correct. Coul..

Marche : active la fonction Correct. Coul..

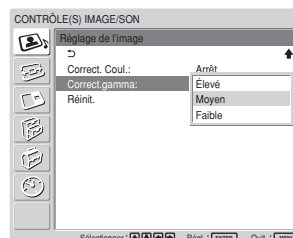
Lorsque vous affichez deux images, seule l'image active est ajustée.

Correct. gamma

Réglage automatique de l'équilibre entre les portions lumineuses et sombres de l'image.

1 Sélectionnez « Correct. gamma » avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.

Le menu suivant s'affiche à l'écran.



2 Sélectionnez le mode de correction gamma souhaité avec la touche **↑/↓**.

Élevé : pour un niveau élevé de correction gamma.

Moyen : pour un niveau moyen de correction gamma.

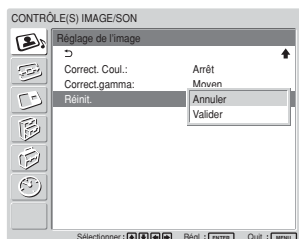
Faible : pour un faible niveau de correction gamma.

3 Appuyez sur ENTER pour revenir au menu Réglage de l'image.

Lorsque vous affichez deux images, elles sont ajustées toutes les deux.

Restauration des réglages par défaut des options du menu Réglage de l'image

- 1 Dans le menu Réglage de l'image, appuyez sur les touches **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur « Réinit. » et appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 2 Appuyez sur les touches **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur « Valider », puis appuyez sur ENTER. Les options du menu Réglage de l'image restaurent leurs valeurs par défaut.

Remarque

Les valeurs réglées pour l'option Couleur1 - 3 de Temp.couleur ne sont pas supprimées. Lorsque vous affichez deux images, les valeurs réglées pour « Rétroéclairage », « Contraste » et « Luminosité » ne sont pas non plus supprimées.

Pour annuler la fonction de réinitialisation

Appuyez sur MENU puis ENTER.

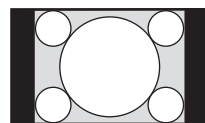
Tour à tour, sélectionnez « Annuler » avec **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.

Agrandissement de l'image

Vous pouvez agrandir des images selon vos préférences.

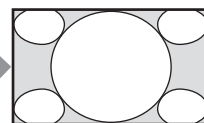
En Format, les choix suivants sont disponibles.

Images d'origine (type d'image)

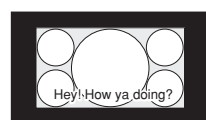


Images ordinaires au format 4:3
(format d'écran : 4:3).

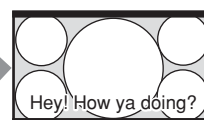
Images agrandies



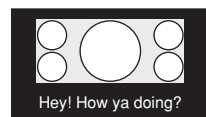
Agrandit les images en plein écran
de la taille 4:3 à 16:9.



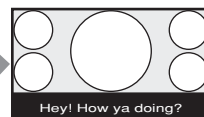
- Images provenant d'un caméscope ou d'un logiciel de DVD contenant des informations sur le format d'écran (type ID-1)



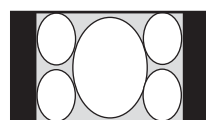
Les images sont agrandies au format plein écran pendant l'alignement avec les côtés droit et gauche de l'écran. (Il se peut que des bandes noires subsistent en haut et en bas de l'écran, selon le type d'image).



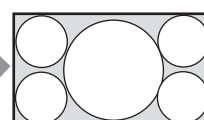
Films tournés au format CinemaVision ou autres, dont l'image semble longue horizontalement et dont les sous-titres apparaissent à l'extérieur de l'image (format d'écran : 2.35:1)



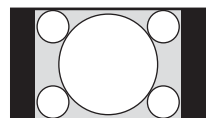
L'image apparaît à l'écran avec la zone d'affichage des sous-titres. Le reste de l'image est agrandi au format plein écran et s'aligne aux bords gauche et droit de l'écran.



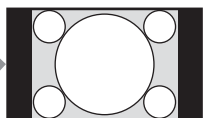
Images provenant d'un caméscope ou d'un logiciel de DVD contenant des informations sur le format d'écran (type ID-1)



Les bords gauche et droit de l'image sont agrandis au format plein écran sans modification des bords inférieur et supérieur.



Images ordinaires au format 4:3
(format d'écran : 4:3).



Les images sont affichées au format d'écran d'origine de 4:3 sans être agrandies.

Réglage du format automatique

La fonction Format auto reproduit fidèlement des images basées sur le signal de contrôle d'identification afin d'identifier le format du signal vidéo ou d'agrandir différents types d'images à un format optimal.

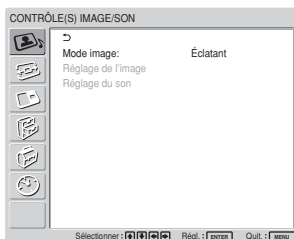
Vous pouvez également agrandir une image du format 4:3 au format 16:9.

Signal d'identification et de contrôle

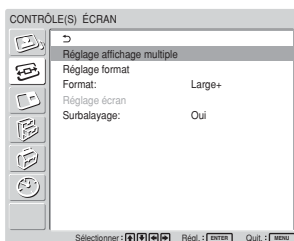
Ce signal de contrôle permet la reproduction fidèle du format d'écran original de l'image sur l'écran de télévision. Les types d'images comportant ce signal sont les suivantes :

- Images enregistrées par une caméra de télévision et comportant des informations sur le format d'écran (format ID-1)
- Emissions de télévision comportant un signal indiquant le réglage au format 4:3.

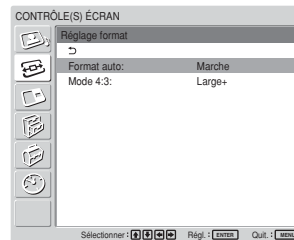
- 1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal s'affiche à l'écran.



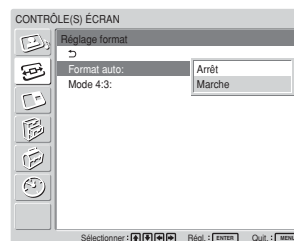
- 2 Appuyez sur $\uparrow/\downarrow$ pour déplacer le curseur (jaune) sur « CONTRÔLE(S) ÉCRAN », puis appuyez sur ENTER.
Le menu CONTRÔLE(S) ÉCRAN s'affiche à l'écran.



- 3 Appuyez sur $\uparrow/\downarrow$ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Réglage format », puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.



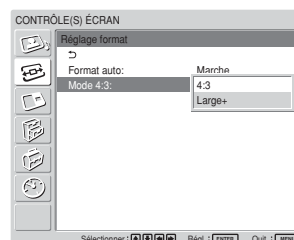
- 4 Appuyez sur $\uparrow/\downarrow$ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Format auto », puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.



- 5 Sélectionnez le réglage Format auto à l'aide de la touche $\uparrow/\downarrow$.
Arrêt : Les images sont reproduites telles quelles.
Marche : L'image est agrandie et affichée selon le rapport d'aspect approprié.

- 6 Appuyez sur ENTER.
L'écran affiché à l'étape 3 réapparaît.

- 7 Sélectionnez « Mode 4:3 » avec la touche $\uparrow/\downarrow$, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.



- 8** Sélectionnez le mode d'image 4:3 avec la touche **↑/↓**.
4:3 : Les images ayant un rapport d'aspect de 4:3 sont affichées telles quelles.
Large + : Les images ayant un rapport d'aspect de 4:3 sont affichées après avoir été agrandies à un rapport d'aspect de 16:9.

- 9** Appuyez sur ENTER.
 Le menu Réglage format s'affiche de nouveau.

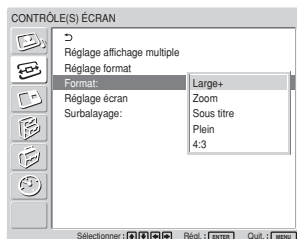
Remarque

- Lorsque des signaux DVI ou RVB sont transmis, vous ne pouvez pas utiliser la fonction Format auto car elle est inactive.
- Lorsque vous affichez deux images en utilisant la combinaison Composante + Composante, la fonction Format auto fonctionne uniquement pour les signaux d'entrée provenant du BKM-FW11 ou du BKM-FW12.

Réglage du Format

Avec cette fonction, toutes les images peuvent être agrandies au format souhaité, quel que soit leur type.

- 1** Dans le menu CONTRÔLE(S) ÉCRAN, appuyez sur **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur « Format », puis appuyez sur ENTER.
 Le menu suivant s'affiche à l'écran.



- 2** Sélectionnez le mode zoom avec la touche **↑/↓**.
Large + : Agrandit les images en plein écran de la taille 4:3 à 16:9.
Zoom : Elargit l'image vers la droite et la gauche, jusqu'aux bords de l'écran. (Il se peut que des bandes noires subsistent en haut et en bas de l'écran, selon le type d'image).
Sous titre : Elargit l'image vers la droite et la gauche, jusqu'aux bords de l'écran, et comprime la zone d'affichage des sous-titres.
Plein : Elargit l'image vers la droite et la gauche jusqu'aux bords de l'écran, mais sans modifier le haut ni le bas de l'image.

4:3 : Le signal vidéo est affiché sans agrandissement.

- 3** Appuyez sur ENTER.
 Le menu CONTRÔLE(S) ÉCRAN s'affiche de nouveau.

Remarques

- Vous ne pouvez pas régler l'option Aspect lors de l'utilisation de la fonction PICTURE AND PICTURE ou de l'affichage multiple.
- Si vous définissez le Format, la fonction Format auto est désactivée. Pour utiliser la fonction Format auto, réglez-la à nouveau sur « Marche ».
- Selon le type et le format de l'image, le haut ou le bas de l'image peuvent être coupés, ou les sous-titres peuvent ne pas être affichés au complet.
- Le fait de présenter des images agrandies ou comprimées à des fins commerciales ou lors de diffusions dans des lieux publics (hôtels ou cafés) peut constituer une violation des droits d'auteur tels que définis dans la loi sur la protection des droits d'auteur.

Redimensionnement et positionnement de l'image

Vous pouvez décaler la position de l'image de manière qu'elle s'adapte à l'écran ou régler séparément la taille verticale et horizontale de l'image.

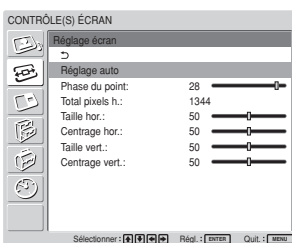
Ajustement de la taille, de la position ou des pixels de l'image

Appuyez sur MENU pour afficher le menu principal et ajustez « Phase du point », « Total pixels h. », « Taille hor. », « Centrage hor. », « Taille vert. » ou « Centrage vert. » dans le menu Réglage de l'image.

Réglage écran

S'il y a trop de parasites sur les contours des caractères ou des lignes verticales, ou si la taille et la position de l'image sont incorrectes, réglez l'écran.

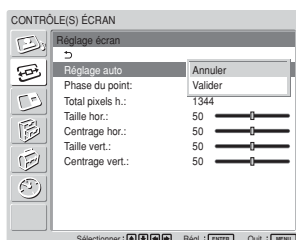
- 1 Sélectionnez « Réglage écran » à l'aide de **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît sur l'écran.



- 2 Vous pouvez régler l'écran automatiquement ou manuellement.

Ajustement automatique

- (1) Sélectionnez « Auto réglage » à l'aide des touches **↑/↓** et appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît à l'écran.



- (2) Sélectionnez « Valider » à l'aide des touches **↑/↓** et appuyez sur ENTER. Toutes les options du menu « Réglage écran » sont ajustées automatiquement.

Remarque

En raison des motifs de l'image, il est possible que celle-ci soit toujours parasitée même après avoir utilisé la fonction Auto réglage. Dans ce cas, réglez la phase du point manuellement.

Ajustement manuel

- (1) Sélectionnez l'option à ajuster, puis appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît à l'écran. (Lorsque vous sélectionnez « Phase du point »).



- (2) Ajustez la phase du point ou le nombre total de pixels horizontaux avec **↑/↓/←/→** jusqu'à ce que l'apparence des caractères et des lignes verticales soit la meilleure possible, puis appuyez sur ENTER.

Phase du point

Sélectionnez « Phase du point » à l'aide de **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER. Ajustez la phase du point avec **↑/↓/←/→** jusqu'à ce que l'apparence des caractères et des lignes verticales soit la meilleure possible, puis appuyez sur ENTER.

Remarque

Cette option est valide uniquement pour un signal d'ordinateur numérique.

Total pixels h.

Sélectionnez « Total pixels h. » à l'aide de **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER. Ajustez le nombre total de pixels horizontaux avec **↑/↓/←/→** jusqu'à ce que l'apparence des caractères et des lignes verticales soit la meilleure possible, puis appuyez sur ENTER. (Toutes les options du menu « Réglage écran » sont réajustées automatiquement, en fonction du nombre « Total pixels h. » ajusté manuellement.)

Remarque

Cette option est valide uniquement pour un signal d'ordinateur numérique.

Taille hor.

Sélectionnez « Taille hor. » à l'aide de **↑/↓** et appuyez sur ENTER. Ajustez la taille horizontale de l'image avec **↑/↓/←/→** dans la plage comprise entre MIN (0) et MAX (100), puis appuyez sur ENTER.

↑/→ : agrandit l'image horizontalement.

↓/← : compresse l'image horizontalement.

Si vous souhaitez réinitialiser Taille hor. à la valeur centrale, sélectionnez « Auto réglage ».

Centrage hor.

Sélectionnez « Centrage hor. » à l'aide de **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER. Ajustez la position de l'image horizontalement avec **↑/↓/←/→** dans la plage comprise entre MIN (0) et MAX (100), puis appuyez sur ENTER.

↑/→ : déplace l'image vers la droite.

↓/← : déplace l'image vers la gauche.

Si vous souhaitez réinitialiser Centrage hor. à la valeur centrale, sélectionnez « Auto réglage ».

Taille vert.

Sélectionnez « Taille vert. » à l'aide de **↑/↓** et appuyez sur ENTER. Ajustez la taille verticale de l'image avec **↑/↓/←/→** dans la plage comprise entre MIN (0) et MAX (100), puis appuyez sur ENTER.

↑/→ : agrandit l'image verticalement.

↓/← : compresse l'image verticalement.

Si vous souhaitez réinitialiser Taille vert. à la valeur centrale, sélectionnez « Auto réglage ».

Centrage vert.

Sélectionnez « Centrage vert. » à l'aide de **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER. Ajustez la position de l'image verticalement avec **↑/↓/←/→** dans la plage comprise entre MIN (0) et MAX (100), puis appuyez sur ENTER.

↑/→ : déplace l'image vers le haut.

↓/← : déplace l'image vers le bas.

Si vous souhaitez réinitialiser Centrage vert. à la valeur centrale, sélectionnez « Auto réglage ».

Remarque

Lorsque « Format » est réglé sur « Large + », vous ne pouvez ajuster ni taille, ni la position de l'image.

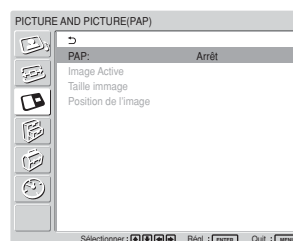
Affichage de deux images en même temps

Vous pouvez afficher l'une à côté de l'autre deux images en provenance de deux sources de signal différentes, comme un ordinateur et un appareil vidéo.

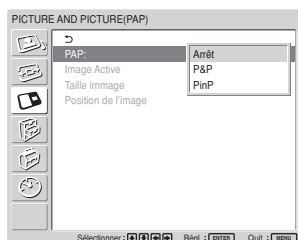
- 1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



- 2 Appuyez sur **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur « PICTURE AND PICTURE (PAP) » (Image et image), puis appuyez sur ENTER.
Le menu PICTURE AND PICTURE (PAP) apparaît à l'écran.



- 3** Appuyez sur **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur « PAP », puis appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît à l'écran.

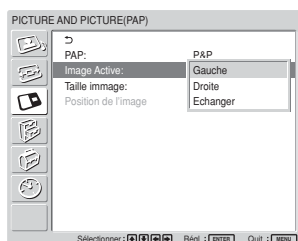


- 4** Sélectionnez le mode PAP avec **↑/↓**.
Arrêt : désactive la fonction PAP.
P&P : affiche simultanément deux images l'une à côté de l'autre.
PinP : affiche une image insérée sur l'image principale.
- 5** Appuyez sur ENTER pour revenir à l'écran précédent.

Activation d'une image ou échange de la position de deux images

Lorsque P&P est sélectionné

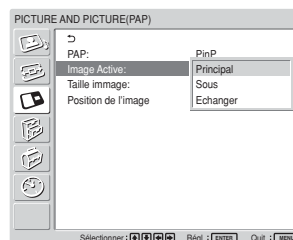
- 1** Appuyez sur **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur « Image active », puis appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 2** Sélectionnez le mode Image Active à l'aide de **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER. Lorsque vous affichez le menu, le cadre apparaît autour de l'image concernée par le réglage. Le son correspondant à l'image active sélectionnée est émis.
Gauche : active l'image gauche.
Droite : active l'image droite.
Echanger : échange la position de deux images. Lorsque l'écran de menu n'est pas affiché, l'image de gauche est activée lorsque vous appuyez sur la touche **←** de la télécommande et l'image de droite est activée lorsque vous appuyez sur la touche **→** de la télécommande.

Lorsque PinP est sélectionné

- 1** Sélectionnez « Image Active » à l'aide de **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît sur l'écran.



- 2** Sélectionnez le mode Image Active à l'aide de **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.

Lorsque vous affichez le menu, alors que l'image secondaire est activée, le cadre apparaît autour de celle-ci. Lorsque l'image principale est activée, le cadre n'apparaît pas. Le son correspondant à l'image active sélectionnée est émis.

Principal : active l'image principale.

Sous : active l'image insérée.

Echanger : bascule entre l'image principale et l'image insérée.

Lorsque l'écran de menu n'est pas affiché, l'image principale est activée lorsque vous appuyez sur la touche **←** de la télécommande et l'image insérée est activée lorsque vous appuyez sur la touche **→** de la télécommande.

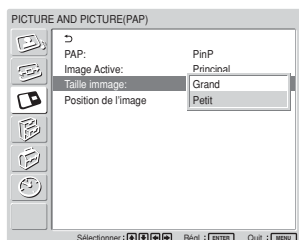
Zoom avant sur une image

Lorsque P&P est sélectionné

- 1** Sélectionnez « Taille image » à l'aide de **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.
- 2** Continuez à appuyer sur **←/→** pour modifier la taille des images, puis appuyez sur ENTER.

Lorsque PinP est sélectionné

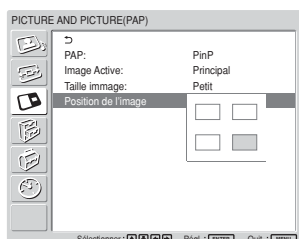
- 1 Sélectionnez « Taille image » à l'aide de $\uparrow/\downarrow$, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît sur l'écran.



- 2 Appuyez sur $\uparrow/\downarrow$ pour sélectionner la taille, puis appuyez sur ENTER.
Grand : augmente la taille de l'image insérée.
Petit : réduit la taille de l'image insérée.

Ajustement de la position de l'image insérée (Pour PinP uniquement)

- 1 Sélectionnez « Position de l'image » à l'aide de $\uparrow/\downarrow$, puis appuyez sur ENTER.



- 2 Ajustez la position de l'image insérée avec $\uparrow/\downarrow$ / $\leftarrow/\rightarrow$, puis appuyez sur ENTER.

Remarques

- Vous pouvez uniquement afficher deux images lorsque « Affichage multiple » est réglé sur « Arrêt ».
- Lorsque vous affichez deux images, le réglage des options « Luminosité » et « Contraste » équilibre les deux images.
- Vous pouvez sélectionner l'une des combinaisons de signaux d'entrée suivantes de la fonction PICTURE AND PICTURE.
- Le système d'entrée de l'image de droite ou de l'image insérée est affiché en haut à droite de l'écran. Le système couleur ou la résolution/fréquence verticale de l'Image Active s'affiche dessous.

PC (numérique) + PC (analogique)	PC + Vidéo/S-vidéo
Input1 + Input2	Input1 + BKM-FW10
Input1 + BKM-FW12	Input2 + BKM-FW10
Input1 + BKM-FW11	
Input1 + BKM-FW50	

PC + Composante	PC (analogique) + Vidéo numérique
Input1 + BKM-FW11	Input2 + Input1
Input1 + Input2	BKM-FW12 + Input1
Input2 + BKM-FW11	BKM-FW11 + Input1
Input1 + BKM-FW12	
Input2 + BKM-FW12	

Vidéo/S-vidéo + Composante	Composante + Composante (jusqu'à 480i)
BKM-FW10 + Input2*	Input2 + BKM-FW11*
	Input2 + BKM-FW12*

Vidéo numérique + Composante	Vidéo numérique + Vidéo/S-vidéo
Input1 + BKM-FW11	Input1 + BKM-FW10
Input1 + Input2	
Input1 + BKM-FW12	

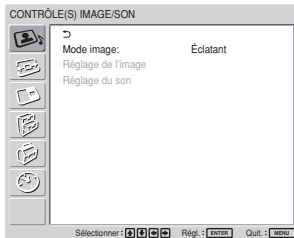
Combinaisons recommandées

- Lors de l'utilisation de la combinaison repérée par *, les fonctions Sous-titre codé et Gr. format auto fonctionnent uniquement pour les signaux d'entrée provenant du BKM-FW10, du BKM-FW11 ou du BKM-FW12.
- Il est possible que deux images animées de deux standards de télévision différents ne s'affichent pas correctement en raison de la différence de format du signal.

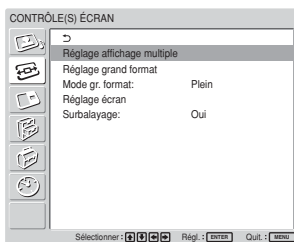
Réglage de l'affichage multiple

Vous pouvez effectuer des réglages pour raccorder plusieurs moniteurs afin de former une mosaïque vidéo.

- 1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



- 2 Sélectionnez « CONTRÔLE(S) ÉCRAN » à l'aide de $\uparrow/\downarrow$, puis appuyez sur ENTER.
Le menu CONTRÔLE(S) ÉCRAN apparaît à l'écran.



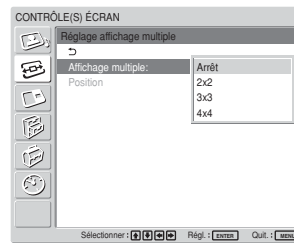
Remarque

L'affichage multiple permet d'afficher une image agrandie réglée sur l'option « Plein » de « Format ».

- 3 Sélectionnez « Réglage affichage multiple » avec $\uparrow/\downarrow$, puis appuyez sur ENTER.
Le menu Réglage affichage multiple apparaît à l'écran.

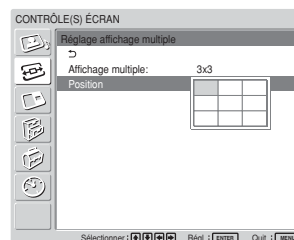


- 4 Sélectionnez « Réglage affichage multiple » avec $\uparrow/\downarrow$, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.

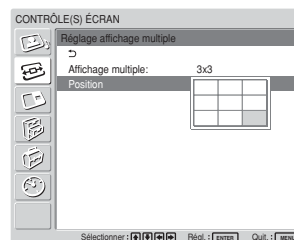


- 5 Sélectionnez le mode correspondant à la disposition de la mosaïque vidéo que vous souhaitez installer avec $\uparrow/\downarrow$.
Arrêt : utilise un seul écran.
2 x 2 – 4 x 4 : sélectionne la disposition à utiliser pour la mosaïque vidéo.

- 6 Appuyez sur ENTER pour revenir au menu Réglage affichage multiple, puis sélectionnez « Position » avec $\uparrow/\downarrow$.



- 7 Sélectionnez la position du présent moniteur dans la mosaïque vidéo avec $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.



Par exemple, pour sélectionner la position en bas à droite dans une disposition 3 x 3.

- 8 Appuyez sur ENTER pour régler la position.
Le menu Réglage affichage multiple réapparaît.

Remarque

Vous pouvez uniquement utiliser l'affichage multiple lorsque la fonction « PICTURE AND PICTURE » est désactivée.

Réglage de la qualité du son

Si une enceinte SS-SP40FW/32FW (non fournie) est installée, vous pouvez régler la balance (gauche et droite) et les niveaux des aigus et des graves. Il permet également de régler le mode ambiophonique.

Réglage des aigus, des graves et de la Équilibre

Appuyez sur MENU pour afficher le menu principal à l'écran, puis, sélectionnez « Aigus », « Graves », « Équilibre » ou « Surround » dans le menu Réglage du son.

Régalez « Mode image » sur l'un des réglages « Util. 1 » à « Util. 3 ».

Aigus

Sélectionnez « Aigus » avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.

Régalez le niveau des aigus avec la touche **↑/↓/←/→**. La plage de réglage va de MIN (–50) à MAX (50), puis appuyez sur ENTER.

↑/→ : pour augmenter le niveau des aigus.

↓/← : pour réduire le niveau des aigus.

Graves

Sélectionnez « Graves » avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.

Régalez le niveau des graves avec la touche **↑/↓/←/→**. La plage de réglage va de MIN (–50) à MAX (50), puis appuyez sur ENTER.

↑/→ : pour augmenter le niveau des graves.

↓/← : pour réduire le niveau des graves.

Équilibre

Sélectionnez « Équilibre » avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.

Régalez la balance avec la touche **↑/↓/←/→**. La plage de réglage va de GAUCHE (50) à DROITE (50), puis appuyez sur ENTER.

↑/→ : pour augmenter le volume du côté droit.

↓/← : pour augmenter le volume du côté gauche.

Surround

Permet de régler le mode de sortie ambiophonique selon le type des signaux.

1 Sélectionnez « Surround » avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.

2 Sélectionnez le mode ambiophonique souhaité avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.

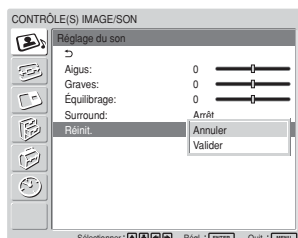
Arrêt : aucun effet ambiophonique ajouté au signal de sortie.

Hall : Lorsque vous souhaitez augmenter la sensation d'enveloppement du son stéréo de vos films et programmes musicaux.

Simul. : Lorsque vous souhaitez augmenter la présence audio de vos programmes mono ordinaires ou d'actualités télévisées à l'aide d'un son stéréo simulé.

Restauration des paramètres du menu Réglage du son à leurs valeurs initiales

- 1 Dans le menu Réglage du son, appuyez sur **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur « Réinit. », puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.



- 2 Appuyez sur **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur « Valider », puis appuyez sur ENTER.
Les options du menu Réglage du son restaurent leur valeurs par défaut.

Pour annuler la fonction de réinitialisation

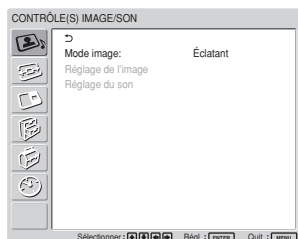
Appuyez sur MENU puis ENTER.

Tour à tour, sélectionnez « Annuler » avec **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.

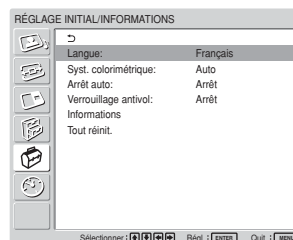
Sélection de la langue d'affichage à l'écran

Les langues d'affichage possibles sont le japonais, l'anglais, l'allemand, le français, l'espagnol ou l'italien.

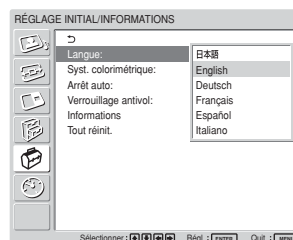
- 1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



- 2 Appuyez sur les touches **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur « RÉGLAGE INITIAL/INFORMATIONS » puis appuyez sur ENTER.
Le menu RÉGLAGE INITIAL/INFORMATIONS apparaît à l'écran.



- 3 Déplacez le curseur (jaune) à l'aide des touches **↑/↓** vers « Langue » puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 4 Appuyez sur **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) vers la langue de votre choix et appuyez sur ENTER.

La langue d'affichage que vous avez sélectionnée est activée.

日本語 : japonais

English : anglais

Deutsch : allemand

Français : français

Español : espagnol

Italiano : italien

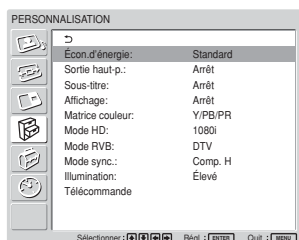
Réglage de la matrice de couleurs

Vous pouvez régler la matrice de couleurs de façon que les images s'affichent avec des teintes naturelles si un signal au format (480I (525I), 480P (525P), 1080I (1125I) ou 720P (750P)) est transmis à l'adaptateur d'entrée composant.

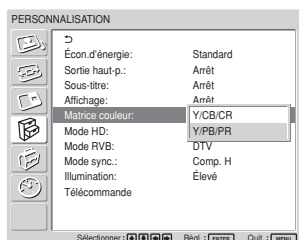
- 1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



- 2 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « PERSONNALISATION », puis appuyez sur ENTER.
Le menu PERSONNALISATION apparaît à l'écran.



- 3 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Matrice couleur », puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 4 Sélectionnez la matrice des couleurs à l'aide de ↑/↓.
Y/CB/CR : Lorsque le format du signal est 480I ou 480P.
Y/PB/PR : lorsque le format du signal est 1080I ou 720P.

Pour plus d'informations sur le réglage, reportez-vous au mode d'emploi fourni avec chaque appareil.

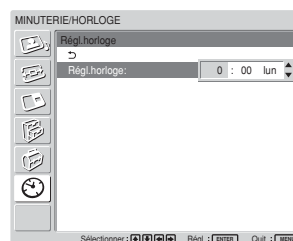
- 5 Appuyez sur ENTER pour revenir à l'écran précédent.

Contrôle automatique de la fonction de mise sous/hors tension

Vous pouvez régler l'heure pour qu'elle s'affiche, ainsi que l'heure de mise sous ou hors tension automatiquement (arrêt/marche de la fonction minuterie).

Réglage de l'heure et du jour

- 1 Dans le menu MINUTERIE/HORLOGE, appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur « Régl. horloge », puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant est affiché et l'arrière-plan devient jaune.



- 2 Réglez l'heure avec ↑/↓ puis appuyez sur ENTER.
Le réglage de l'heure est entré et la minute est affichée en arrière-plan en jaune.

- 3** Réglez les minutes avec **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.
Le réglage des minutes est mémorisé et l'arrière-plan du jour devient jaune.
- 4** Réglez le jour avec **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.
Le jour est réglé et l'écran revient à l'écran précédent.
- 5** Appuyez sur MENU.
L'affichage revient à l'écran normal. Si vous devez procéder à d'autres réglages ou si vous devez recommencer le paramétrage, répétez la procédure à partir de l'étape 1.

Remarque

Si l'affichage de l'heure est très lent, il est possible que la pile interne soit en train de se décharger. Contactez votre revendeur agréé Sony pour faire remplacer la pile.

Affichage de l'heure

- 1** Dans le menu MINUTERIE/HORLOGE, appuyez sur **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur « Aff. horloge », puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.



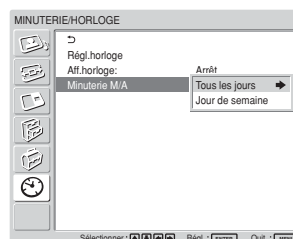
- 2** Sélectionnez « Marche » avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.
Lorsque vous masquez le menu, l'horloge apparaît dans le coin inférieur droit de l'écran.

Lorsque vous appuyez sur la touche DISPLAY de la télécommande, le signal en entrée et le Mode image apparaissent.

Si les informations restent affichées sans modification pendant environ 5 secondes alors que l'horloge apparaît, elles disparaîtront automatiquement. « Aff. horloge : Marche » sera sauvegardé même après la mise hors tension de l'appareil.

Activation/désactivation de la fonction de minuterie

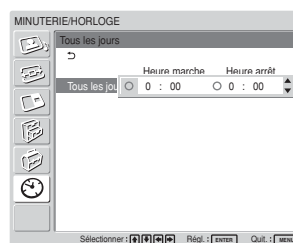
- 1** Dans le menu MINUTERIE/HORLOGE, appuyez sur les touches **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur « Minuterie M/A » et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît sur l'écran du moniteur.



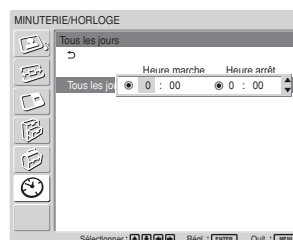
- 2** Sélectionnez « Tous les jours » ou « Jour de semaine » à l'aide de **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.

Lorsque « Jour de semaine » est sélectionné, vous pouvez régler une heure spécifique pour chaque jour de la semaine.

Lorsque « Tous les jours » est sélectionné, l'écran suivant apparaît.



- 3** Pour régler Heure marche, basculez ☒ sur ☐ à l'aide des touches **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.



- 4** Appuyez sur **↑/↓** pour activer Heure marche, puis appuyez sur ENTER.
L'heure est réglée et l'arrière-plan de l'affichage des minutes devient jaune.
- 5** Appuyez sur **↑/↓** pour régler les minutes, puis appuyez sur ENTER.

- 6** Réglez Heure arrêt de la même manière qu'Heure marche.
- 7** Appuyez sur ENTER.
« Minuterie M/A » est activé.

Remarques

- L'heure n'est pas pré-réglée par défaut et « -- : -- » s'affiche pour l'horloge.
- L'heure définie pour « Tous les jours » s'applique également à « Jour de semaine ».
Si vous définissez l'heure pour « Jour de semaine », le réglage de « Tous les jours » est annulé.

Réglage du verrouillage antivol

Ce moniteur dispose d'une fonction de verrouillage antivol. Lorsque le Verrouillage antivol est activé, l'utilisateur est invité à saisir un mot de passe lorsque l'écran est allumé. Aucune image ne sera affichée sans saisie préalable du mot de passe correct et vous ne pourrez pas non plus utiliser l'écran.

Remarque

N'oubliez pas ceci lorsque vous utilisez cette fonction. Nous vous recommandons de noter le mot de passe défini pour le moniteur et de le conserver dans un endroit sûr afin de pouvoir vous y référer. Si vous avez oublié votre mot de passe, contactez un représentant Sony qualifié.

Pour activer le verrouillage antivol

- 1** Appuyez sur MENU et réglez « Verrouillage antivol » sur « Marche » dans le menu RÉGLAGE INITIAL/INFORMATIONS.
- 2** Saisissez un mot de passe.
Saisissez un mot de passe à quatre chiffres avec MENU, ↑/↓, ENTER.
(« ENTER, ENTER, ENTER, ENTER » est défini en usine comme mot de passe par défaut. Appuyez sur « ENTER » quatre fois lorsque vous utilisez cette fonction pour la première fois.)



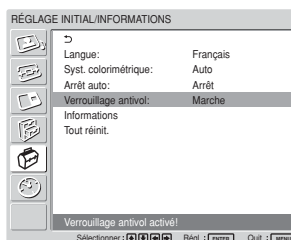
Une boîte de dialogue vous invitant à saisir un nouveau mot de passe apparaît à l'écran. (Saisissez un mot de passe, même si vous souhaitez continuer à utiliser le mot de passe actuel.) Saisissez le mot de passe dans la boîte de dialogue.



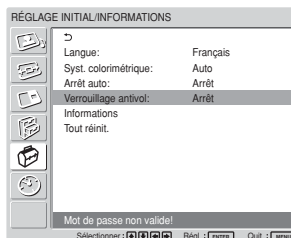
- 3** Saisissez une nouvelle fois le mot de passe pour le confirmer.



Le réglage est terminé lorsque le message suivant apparaît.



Si « Mot de passe non valide ! » apparaît à l'écran de menu, recommencez la procédure à partir de l'étape 1.



- 4** Après avoir terminé la procédure décrite ci-dessus, éteignez le moniteur et débranchez le cordon d'alimentation afin de valider le réglage. Le verrouillage antivol s'active et la boîte de dialogue vous invitant à saisir le mot de passe apparaît lorsque vous allumez le moniteur la fois suivante.

Authentification de sécurité

Saisissez le mot de passe défini pour le moniteur lorsque la boîte de dialogue vous y invitant apparaît. Si vous saisissez un mot de passe incorrect trois fois de suite, vous ne pouvez plus utiliser le moniteur. En pareil cas, appuyez sur le commutateur POWER pour mettre le moniteur hors tension.

Pour désactiver le Verrouillage antivol.

Appuyez sur MENU et réglez « Verrouillage antivol » sur « Arrêt » dans le menu RÉGLAGE INITIAL/ INFORMATIONS.

Définition d'une adresse IP et d'une vitesse de communication

Lorsqu'un adaptateur en option avec fonction de communication tel que le BKM-FW32 ou le BKM-FW50 est inséré dans l'emplacement OPTION1 de l'écran, définissez une adresse IP et une vitesse de communication afin de commander l'écran par l'intermédiaire du réseau.

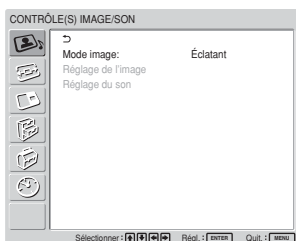
Remarque

La définition d'une adresse IP et d'une vitesse de communication est effectuée en sélectionnant « Execute », puis en appuyant sur ENTER. Lorsque la définition est effectuée correctement, « Done » s'affiche.

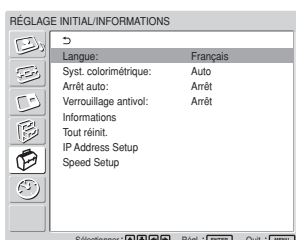
Lorsque la définition n'est pas effectuée correctement, un code d'erreur s'affiche. Dans ce cas, vérifiez les valeurs de réglage et recommencez la configuration.

Génération automatique d'une adresse IP (DHCP).

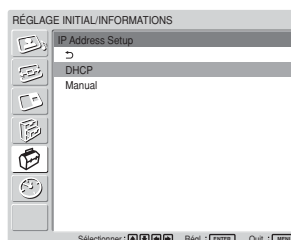
- 1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



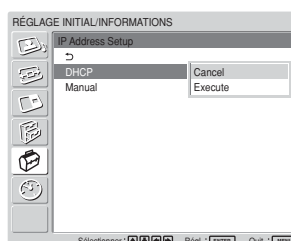
- 2 Sélectionnez « RÉGLAGE INITIAL/ INFORMATIONS » avec ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le menu PERSONNALISATION/ INFORMATIONS apparaît à l'écran.



- 3 Sélectionnez « IP Address Setup » avec ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 4 Sélectionnez « DHCP » à l'aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



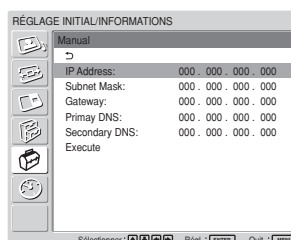
- 5 Sélectionnez « Execute » à l'aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Une adresse IP est automatiquement générée.

Remarque

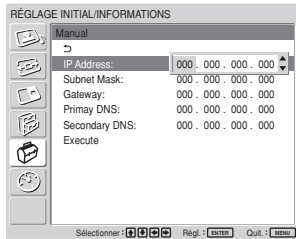
Lorsque vous obtenez une adresse IP automatiquement avec DHCP, il est possible que l'adresse IP change à chaque fois que vous mettez l'écran sous ou hors tension.

Définition d'une adresse IP manuellement (Manual)

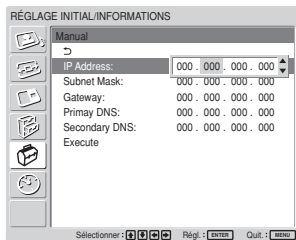
- 1 Sélectionnez « Manual » à l'étape 4 de la section « Génération automatique d'une adresse IP (DHCP) », puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



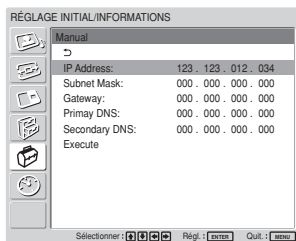
- 2 Sélectionnez une option à régler manuellement à l'aide de **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.



- 3 Définissez une valeur à trois chiffres (comprise entre 0 et 255) pour la première zone à l'aide des touches **↑/↓** de l'écran ou des touches numériques de la télécommande, puis appuyez sur ENTER ou **→**.
Le curseur se déplace vers la zone suivante.



- 4 Définissez une valeur à trois chiffres (comprise entre 0 et 255) pour chacune des quatre zones, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 5 Sélectionnez l'élément suivant à définir manuellement avec **↑/↓** et répétez la même procédure, puis appuyez sur ENTER.
- 6 Une fois que les valeurs sont définies pour tous les éléments, sélectionnez « Execute » avec **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.
Sélectionnez « Valider », puis appuyez sur ENTER.
Une adresse IP est définie manuellement.

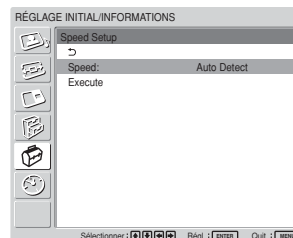
Remarque

Lorsqu'une adresse IP n'est pas définie correctement, les codes d'erreur suivants s'affichent, selon la cause de l'erreur.

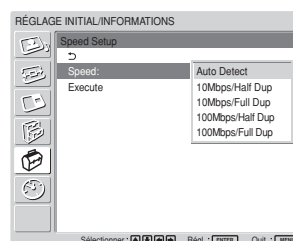
- Error 1** Erreur de communication entre l'écran et un adaptateur en option tel qu'un BKM-FW32 ou un BKM-FW50
- Error 2** Une adresse IP spécifiée est déjà utilisée pour un autre appareil.
- Error 3** Erreur d'adresse IP
- Error 4** Erreur d'adresse de passerelle
- Error 5** Erreur d'adresse du serveur de noms de domaine primaire
- Error 6** Erreur d'adresse du serveur de noms de domaine secondaire
- Error 7** Erreur du masque de sous-réseau

Définition d'une vitesse de communication

- 1 Dans le menu RÉGLAGE INITIAL/INFORMATIONS, sélectionnez « Speed Setup » à l'aide de **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.



- 2 Appuyez sur ENTER et sélectionnez une vitesse de communication à l'aide de **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.
Sélectionnez « Auto Detect » si vous souhaitez définir automatiquement une vitesse de communication appropriée pour votre configuration réseau.



- 3 Sélectionnez « Execute » et appuyez sur ENTER.
Sélectionnez « Valider », puis appuyez sur ENTER.
Une vitesse de communication a été définie.

Fonction d'auto-diagnostic

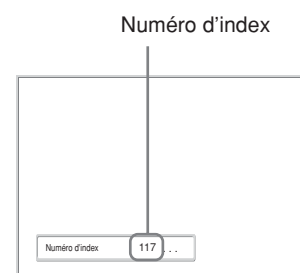
L'appareil est équipé d'une fonction d'auto-diagnostic. Cette fonction permet d'afficher l'état de l'écran sur la base de la séquence de clignotement de l'indicateur POWER/STANDBY. Cette séquence de clignotements vous informe de l'état actuel de l'écran. Si l'indicateur POWER/STANDBY clignote, vérifiez le nombre de clignotements et contactez votre distributeur Sony agréé.

- 1** Vérifiez la séquence de clignotement de l'indicateur POWER/STANDBY.
L'indicateur clignote (avec une image affichée sur l'écran) ou clignote toutes les trois secondes (sans qu'aucune image n'apparaisse sur l'écran). Comptez le nombre de clignotements si l'indicateur clignote à des intervalles de trois secondes. Par exemple, l'indicateur clignote deux fois, suivi par une pause de trois secondes, puis clignote deux autres fois et cette séquence est répétée. Dans ce cas, le nombre de clignotements est égal à deux.
- 2** Débranchez l'appareil.
Communiquez ce nombre de clignotements à votre distributeur Sony agréé.

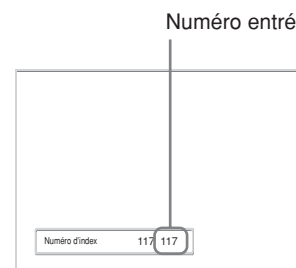
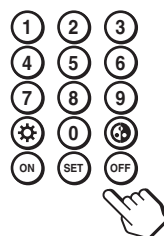
Utilisation d'un écran spécifique avec la télécommande

A l'aide de la télécommande fournie, vous pouvez utiliser un écran spécifique sans agir sur d'autres écrans également installés.

- 1** Appuyez sur ID MODE ON de la télécommande. Les numéros d'index du moniteur s'affichent en caractères noirs dans le menu inférieur gauche de l'écran. (Chaque écran reçoit un numéro d'index prédéfini individuel compris entre 1 et 255).
Pour de plus amples détails, reportez-vous à la section « Pour modifier le numéro d'index » à la page 44 (FR).



- 2** Entrez le numéro d'index de l'écran que vous souhaitez utiliser à l'aide des touches 0 – 9 de la télécommande. Le numéro entré apparaît à droite du numéro d'index de chaque écran.



- 3** Appuyez sur ID MODE SET.
Les caractères de l'affichage sélectionné deviennent vert tandis que les autres deviennent rouge.



Vous pouvez uniquement commander l'écran spécifié, indiqué en caractères verts.
(L'alimentation ON/STANDBY s'applique également aux autres affichages.)

- 4** Lorsque toutes les modifications de paramétrage sont terminées, appuyez sur la touche ID MODE OFF.
L'écran revient au mode normal.



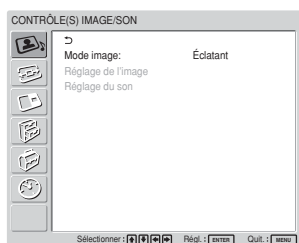
Pour modifier le numéro d'index

Vous pouvez modifier le numéro d'index si nécessaire.

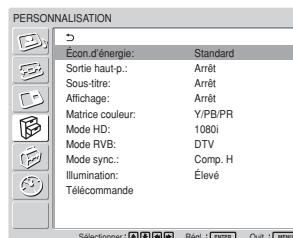
Lorsque vous modifiez le numéro, utilisez les touches de la partie de l'écran contenant les touches de commande.

Vous ne pouvez pas modifier le numéro d'index à l'aide de la télécommande.

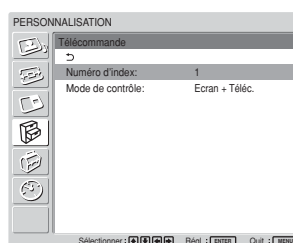
- 1** Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



- 2** Sélectionnez « PERSONNALISATION » à l'aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît sur l'écran.



- 3** Sélectionnez « Télécommande » à l'aide de ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le menu Télécommande apparaît sur l'écran.



- 4** Sélectionnez le numéro d'index à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
- 5** Réglez le numéro d'index avec ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.
Le menu Télécommande réapparaît.

Spécifications

Traitement du signal vidéo

Signal présélectionné

voir page 23 (FR)

Phase de décalage

13,5 MHz à 140 MHz

Ecran

Ecran LCD à matrice active a-Si TFT

Résolution d'affichage

1366 points (horizontal) ×
768 lignes (vertical)

FWD-40LX1:

Profondeur de pixel

0,648 (horizontal) × 0,648
(vertical) mm ($\frac{1}{32} \times \frac{1}{32}$ pouces)

Taille d'image

885 (horizontal) × 498 (vertical)
mm ($34 \frac{7}{8} \times 19 \frac{5}{8}$ pouces)

Taille de l'écran

40 pouces (diagonale 1 016 mm)

FWD-32LX1R:

Profondeur de pixel

0,510 (horizontal) × 0,510
(vertical) mm ($\frac{1}{32} \times \frac{1}{32}$ pouces)

Taille d'image

698 (horizontal) × 392 (vertical)
mm ($27 \frac{1}{2} \times 15 \frac{1}{2}$ pouces)

Taille de l'écran

32 pouces (diagonale 801 mm)

Entrées et sorties

INPUT1

DVI

DVI (Compatible avec la
spécification DVI rév. 1.0)

AUDIO

Miniprise stéréo (× 1)
500 mVrms, haute impédance

INPUT2

RGB/COMPONENT

D-sub à 15 broches (femelle) (× 1)
(voir « Attribution des broches »,
page 46 (FR))

AUDIO

Miniprise stéréo (× 1)
500 mVrms, haute impédance

CONTROL S IN/OUT

Miniprise (×2)

AUDIO OUT

Prise à broches (×2)
500 mVrms, haute impédance

REMOTE (RS-232C)

D-sub à 9 broches (×1)

H.P.

7 W + 7 W (6 ohms), impédance
directe asymétrique : 6 à 16 ohms

Adaptateur d'entrée/sortie VIDEO/S VIDEO BKM-FW10

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N)

VIDEO IN

Type BNC (×1)
Vidéo composite, 1 Vcc ±2 dB
sync négatif, 75 ohms
(termination automatique)

VIDEO OUT

Type BNC (×1) boucle directe

S VIDEO IN

Miniconnecteur DIN à 4 broches
(×1)

Y (luminosité) : 1 Vcc ±2 dB
négatif, 75 ohms (termination)

C (chrominance) : Salve 0,286 Vcc
±2 dB (NTSC), 75 ohms
(termination)

Slave 0,3 Vcc ± 2 dB (PAL),
75 ohms (termination)

S VIDEO OUT

Mini DIN à 4 broches (×1) boucle
directe

AUDIO IN

Prise à broches (× 2)
500 mVrms, haute impédance

Caractéristiques générales

Alimentation nécessaire

de 100 à 240 V AC, 50/60 Hz,

FWD-40LX1:

2,5 A à 1,2 A

FWD-32LX1R:

1,7 A à 0,8 A

Consommation électrique

FWD-40LX1: 220 W

FWD-32LX1R: 150 W

Conditions d'utilisation

Température : 0 à +35 °C

(32 °F à 95 °F)

Humidité : de 20 à 90%

(sans condensation)

Conditions de stockage/transport

Température : de -10 °C à +40 °C

(14 °F à 104 °F)

Humidité : de 20 à 90%

(sans condensation)

ACHTUNG

Um Feuergefahr und die Gefahr eines elektrischen Schlags zu vermeiden, setzen Sie das Gerät weder Regen noch sonstiger Feuchtigkeit aus.

Im Inneren des Geräts liegen gefährlich hohe Spannungen an. Öffnen Sie daher das Gehäuse nicht. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

Transport

Wenn Sie den Bildschirm transportieren, halten Sie ihn nicht an den Lautsprechern, sondern halten Sie das Gerät selbst. Andernfalls könnten sich die Lautsprecher vom Gerät lösen und das Gerät könnte herunterfallen. Dadurch kann es zu Verletzungen kommen.

VORSICHT

WIRD DIE BATTERIE DURCH EINEN FALSCHEN TYP ERSETZT, BESTEHT EXPLOSIONSGEFAHR.
ENTSORGEN SIE VERBRAUCHTE BATTERIEN GEMÄSS DEN ÖRTLICHEN VORSCHRIFTEN.

Sicherheitsmaßnahmen	5 (DE)
Lage und Funktion der Teile und	
Bedienelemente	7 (DE)
Vorderseite / Rückseite / Seite	7 (DE)
Anzeigebereich	8 (DE)
Steuertastenbereich (Oberseite)	8 (DE)
Anschlussfeld	9 (DE)
Fernbedienung RM-980	11 (DE)
Vorsicht	13 (DE)
Anschließen des Monitors	14 (DE)
Anschließen der Lautsprecher	14 (DE)
Anschließen des Netzkabels	14 (DE)
Umgang mit den Kabeln	15 (DE)
Die Bildschirmmenüs	16 (DE)
Arbeiten mit den Menüs	16 (DE)
Übersicht über die Menüs	16 (DE)
Die Anzeigefunktionen	21 (DE)
Wechseln des Eingangssignals	21 (DE)
Anzeige von Eingangssignal, Bildmodus und	
Monitorstatus	22 (DE)
Auswählen der Bildqualität	24 (DE)
Einstellen der Bildqualität	25 (DE)
Einstellen von Kontrast, Helligkeit, Chrominanz,	
Phase usw.	25 (DE)
Zurücksetzen der Optionen im Menü Bild einstellen auf	
ihre ursprünglichen Werte	27 (DE)
Bildvergrößerung	28 (DE)
Einstellen der automatischen	
Breitbildfunktion	28 (DE)
Einstellen des Seitenverhältnis	29 (DE)
Einstellen von Bildgröße und Bildposition	30 (DE)
Einstellen von Größe, Position oder Pixeln des	
Bildes	30 (DE)
Anzeigen von zwei Bildern gleichzeitig	31
Aktivieren eines Bildes oder Tauschen der Position der	
beiden Bilder	32 (DE)
Vergrößern eines Bildes	32 (DE)

Einstellen der Position des Zusatzbildes (nur bei „PinP“)	33 (DE)
Konfigurieren der Multi-Display	34 (DE)
Einstellen der Tonqualität	35 (DE)
Einstellen der Höhen, Bässe, Balance usw.	35 (DE)
Zurücksetzen der Optionen im Menü Ton einstellen auf die ursprünglichen Werte	35 (DE)
Auswählen der Menüsprache	36 (DE)
Einstellen der Farbmatrix	37 (DE)
Automatisches Steuern des Ein-/Ausschaltens (Ein-/Ausschaltautomatik)	37 (DE)
Einstellen von Uhrzeit und Wochentag	37 (DE)
Anzeigen der Uhrzeit	38 (DE)
Timer-Funktion zum Ein-/Ausschalten	38 (DE)
Einstellen der Sicherheitssperre	39 (DE)
So aktivieren Sie die Sicherheitssperre	39 (DE)
Sicherheitsauthentifizierung	39 (DE)
So deaktivieren Sie die Sicherheitssperre	39 (DE)
Einstellen von IP-Adresse und Kommunikations- geschwindigkeit	40 (DE)
Automatisches Beziehen einer IP-Adresse (DHCP)	40 (DE)
Manuelles Einstellen einer IP-Adresse (Manual) ...	40 (DE)
Einstellen der Kommunikationsgeschwindigkeit ...	41 (DE)
Selbstdiagnosefunktion	42 (DE)
Steuern eines bestimmten Monitors über die Fernbedienung	42 (DE)
Technische Daten	44 (DE)

Sicherheitsmaßnahmen

Sicherheit

- Ein Typenschild mit Betriebsspannung, Leistungsaufnahme usw. befindet sich an der Geräterückseite.
- Sollten Fremdkörper oder Flüssigkeiten in das Gehäuse gelangen, trennen Sie das Gerät von der Netzsteckdose. Lassen Sie das Gerät von qualifiziertem Fachpersonal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Wollen Sie das Gerät einige Tage oder länger nicht benutzen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose.
- Um das Gerät vom Netzstrom zu trennen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Netzsteckdose. Ziehen Sie nicht am Kabel.
- Wenn der Monitor aufgestellt wird, verwenden Sie bitte unbedingt den gesondert erhältlichen Ständer.

Aufstellung

- Achten Sie auf ausreichende Luftzufuhr, damit sich im Gerät kein Wärmestau bildet. Stellen Sie das Gerät nicht auf Oberflächen wie Teppichen oder Decken oder in der Nähe von Materialien wie Gardinen und Wandbehängen auf, die die Lüftungsöffnungen blockieren könnten.
- Stellen Sie das Gerät nicht in der Nähe von Wärmequellen wie Heizkörpern oder Warmluftauslässen oder an Orten auf, an denen es direktem Sonnenlicht, außergewöhnlich viel Staub, mechanischen Vibrationen oder Stößen ausgesetzt ist.
- Wenn Sie mehrere andere Geräte an dieses Gerät anschließen, kann es je nach Standort dieses Geräts und der anderen Geräte zu folgenden Problemen kommen: Fehlfunktionen der Fernbedienung, Bildstörungen und Tonstörungen.

LCD-Bildschirm

- Möglicherweise sind einige helle Lichtpunkte (rot, blau oder grün) oder schwarze Punkte auf dem Bildschirm zu sehen. Dabei handelt es sich nicht um eine Fehlfunktion. Der LCD-Bildschirm wird mit einer Hochpräzisionstechnologie hergestellt. Dennoch können einige wenige dunkle oder helle Pixel auftreten.
- Wenn der LCD-Bildschirm längere Zeit auf die Sonne gerichtet ist, wird der Bildschirm beschädigt. Berücksichtigen Sie dies bitte, wenn Sie das Gerät im Freien oder in der Nähe eines Fensters installieren.

- Stoßen Sie nicht gegen den Bildschirm, zerkratzen Sie ihn nicht und stellen Sie keine schweren Gegenstände darauf. Andernfalls kann es zu Unregelmäßigkeiten in der Bildanzeige oder zu einer Fehlfunktion des LCD-Bildschirms kommen.
- Wenn Sie das Gerät in kalter Umgebung verwenden, erscheint die Anzeige möglicherweise dunkler oder ein Nachbild ist zu sehen. Dabei handelt es sich nicht um eine Fehlfunktion. Die Anzeige auf dem Bildschirm erscheint wieder normal, sobald die Umgebungstemperatur steigt.
- Wenn Sie längere Zeit ein Standbild anzeigen lassen, können Nachbilder auftreten. Diese verschwinden im Laufe der Zeit wieder.
- Die Anzeigefläche oder das Gehäuse kann sich während des Betriebs erwärmen. Dabei handelt es sich nicht um eine Fehlfunktion.

Reinigen des Bildschirms

Anzeigefläche

- Ziehen Sie vor dem Reinigen des Bildschirms unbedingt das Netzkabel aus der Netzsteckdose.
- Die Oberfläche des LCD-Bildschirms ist mit einer Spezialbeschichtung überzogen. Berühren Sie den LCD-Bildschirm möglichst nicht. Wenn Sie die Anzeigefläche reinigen, wischen Sie Verunreinigungen mit einem trockenen, weichen Tuch ab.
- Verwenden Sie zum Reinigen auf keinen Fall Reinigungsalkohol, Benzin oder Verdünner. Andernfalls kann die Beschichtung der Anzeigefläche beschädigt werden.
- Wenn Sie ein chemisch behandeltes Reinigungstuch verwenden, beachten Sie bitte die entsprechenden Anweisungen.
- Sprühen Sie keine flüchtigen Lösungsmittel (wie z. B. Insektizide) auf das Gerät und legen Sie nicht längere Zeit Gummi- oder Kunststoffprodukte darauf. Andernfalls kann sich die Beschichtung lösen oder die Anzeigefläche angegriffen werden.

Gehäuse

- Wischen Sie Flecken behutsam mit einem trockenen, weichen Tuch ab. Bei stärkerer Verschmutzung verwenden Sie ein leicht mit einem milden Reinigungsmittel angefeuchtetes Tuch und wischen den Bereich anschließend mit einem trockenen, weichen Tuch trocken.
- Verwenden Sie zum Reinigen auf keinen Fall Reinigungsalkohol, Benzin oder Verdünner. Andernfalls kann die Oberfläche des Gehäuses angegriffen werden oder die Markierungen darauf werden entfernt.

Hinweise zur Handhabung und Reinigung des Bildschirms

Die spezielle Bildschirmoberfläche sollte mit entsprechender Sorgfalt beim Tragen und Reinigen behandelt werden. Verwenden Sie zum Reinigen ein weiches Reinigungstuch, um ein direktes Berühren des Bildschirms zu vermeiden.

Verpacken

Werfen Sie den Karton und die Verpackungsmaterialien nicht weg. Sie sind ideal für den Transport des Geräts geeignet. Wenn Sie das Gerät transportieren müssen, verpacken Sie es wie auf dem Karton abgebildet.

Wenn Sie Fragen zu dem Gerät haben, wenden Sie sich bitte an einen autorisierten Sony-Händler.

Entsorgung von als Industriemüll anfallenden elektrischen und elektronischen Geräten (anzuwenden in den Ländern der Europäischen Union und anderen europäischen Ländern mit einem separaten Sammelsystem für diese Geräte)



Das Symbol auf dem Produkt oder seiner Verpackung weist darauf hin, dass dieses Produkt nicht als normaler Haushaltsabfall zu behandeln ist, sondern im Rahmen des entsprechenden Rücknahmeprogramms für das Recycling von elektrischen und elektronischen Geräten abgegeben

werden muss. Durch Ihren Beitrag zum korrekten Entsorgen dieses Produkts schützen Sie die Umwelt und die Gesundheit Ihrer Mitmenschen. Umwelt und Gesundheit werden durch falsches Entsorgen gefährdet. Materialrecycling hilft, den Verbrauch von Rohstoffen zu verringern. Weitere Informationen über das Recycling dieses Produkts erhalten Sie von der örtlichen Sony-Niederlassung oder auf der für Firmenkunden eingerichteten Website von Sony Europe:

<http://www.sonybiz.net/environment>

Warnhinweis zum Netzanschluss

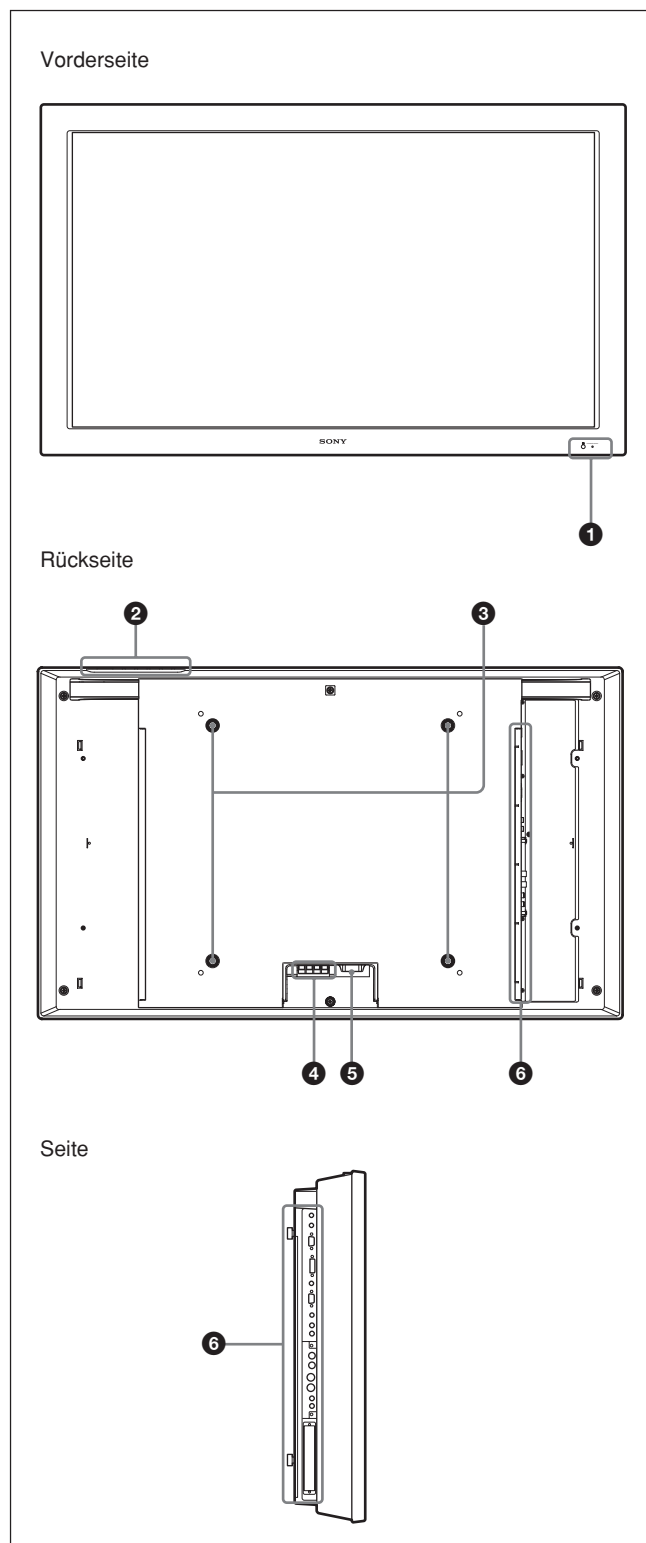
Verwenden Sie das für die Stromversorgung in Ihrem Land geeignete Netzkabel.

	USA, Kanada	Kontinental- europa	Großbritannien, Irland, Australien, Neuseeland	Japan
Steckertyp	VM0233	COX-07 636	— ^{a)}	VM1296
Weibliches Ende	VM0089	COX-02 VM0310B	VM0303B	VM1313
Kabeltyp	SVT	H05VV-F	CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Mindestwerte (Kabel)	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/125V
Sicherheitszertifizierung	UL/CSA	VDE	VDE	DENAN-HO

a) Hinweis: Verwenden Sie einen geeigneten Netzstecker, der die örtlichen Bestimmungen erfüllt.

Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente

Vorderseite / Rückseite / Seite



1 Anzeigebereich

Näheres zum Anzeigebereich finden Sie unter „Anzeigebereich“ auf Seite 8 (DE).

2 Steuertastenbereich

Näheres zum Steuertastenbereich finden Sie unter „Steuertastenbereich (Oberseite)“ auf Seite 8 (DE).

3 Haken für Ständerbefestigung

Befestigen Sie mit diesen Haken den Ständer (nicht mitgeliefert).

4 Buchse SPEAKER

Die Audiosignale der auf dem Bildschirm angezeigten Bilder werden ausgegeben, wenn an dieser Buchse gesondert erhältliche Lautsprecher angeschlossen sind.

5 Netzbuchse ~ AC IN

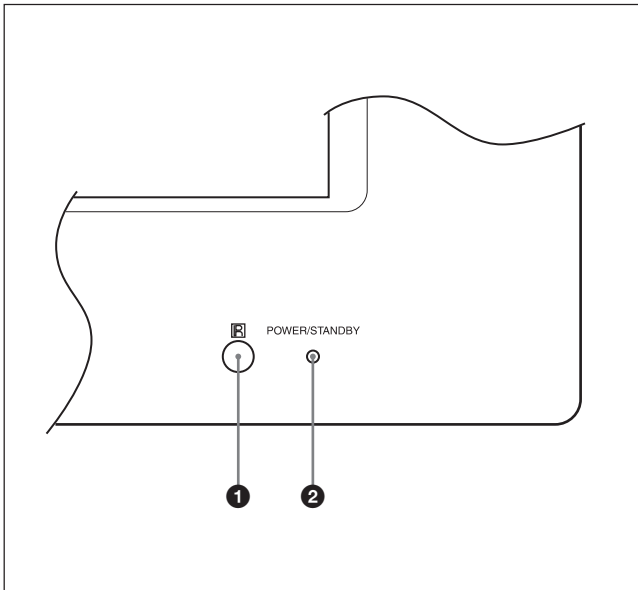
Schließen Sie das mitgelieferte Netzkabel an diese Buchse und an eine Netzsteckdose an. Sobald Sie das Netzkabel angeschlossen haben, leuchtet die Anzeige POWER/STANDBY rot, und der Monitor wechselt in den Bereitschaftsmodus.

Nähere Informationen zum Netzkabel finden Sie unter „Anschließen des Netzkabels“ auf Seite 14 (DE).

6 Anschlussfeld

Einzelheiten zum Anschlussfeld finden Sie unter „Anschlussfeld“ auf Seite 9 (DE).

Anzegebereich



1 Fernbedienungsdetektor

Hier geht das Signal von der Fernbedienung ein.

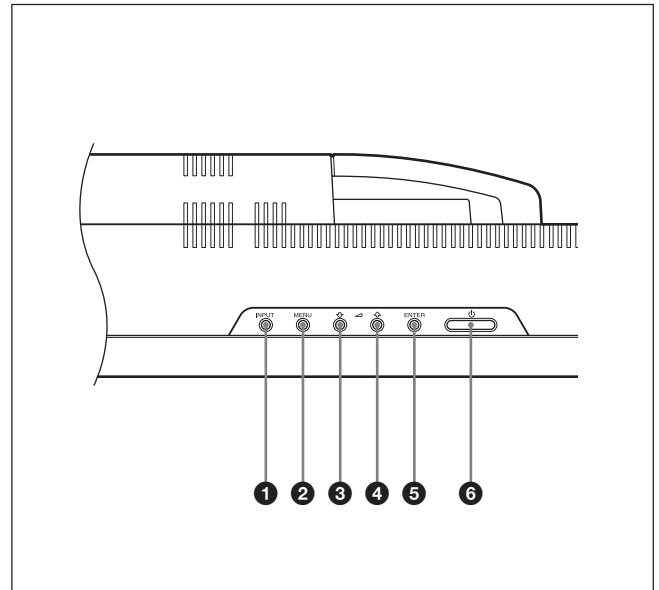
2 Anzeige POWER/STANDBY

Leuchtet grün, wenn der Monitor eingeschaltet ist. Leuchtet im Bereitschaftsmodus rot auf. Leuchtet orange, wenn der Bildschirm in den Energiesparmodus wechselt und ein Signal vom Computer eingespeist wird.

Wenn das Eingangssignal gewechselt wird, blinkt die Anzeige grün.

Wenn die Anzeige POWER/STANDBY rot blinkt, schlagen Sie unter „Selbstdiagnosefunktion“ auf Seite 42 (DE) nach.

Steuertastenbereich (Oberseite)



1 Taste INPUT

Zum Auswählen eines Signals, das am INPUT- oder OPTION-Anschluss eingespeist werden soll.

Das einzuspeisende Signal wechselt mit jedem Tastendruck auf die Taste INPUT folgendermaßen.



Wenn am OPTION-Anschlussbereich kein optionaler Adapter installiert ist, werden OPTION1 bzw. OPTION2 übersprungen.

2 Taste MENU

Zum Aufrufen von Menüs. Wenn Sie die Taste erneut drücken, werden die Menüs wieder ausgeblendet.

3 4 Tasten ↓ / ↑ (Cursor/Lautstärke)

Mit dieser Taste können Sie den Cursor (gelb) verschieben, einen Wert einstellen oder die Lautsprecherlautstärke regulieren.

5 Taste ENTER

Zum Bestätigen der Auswahl.

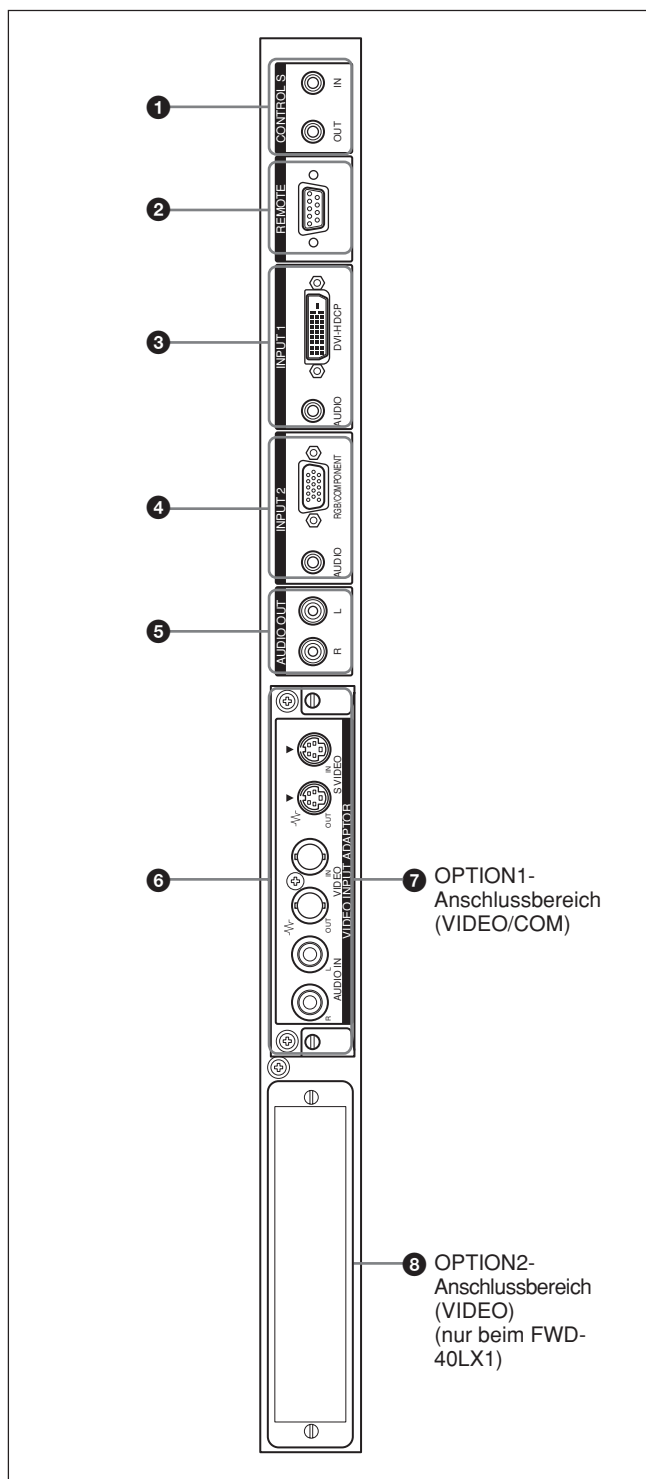
6 Schalter POWER

Zum Einschalten des Monitors. Durch erneutes Drücken schalten Sie wieder in den Bereitschaftsmodus.

Hinweis

Zum Schutz des Bildschirms dauert es einige Sekunden, bis das Gerät eingeschaltet wird bzw. in den Bereitschaftsmodus wechselt. Nachdem Sie den Schalter einmal betätigt haben, warten Sie etwa 5 Sekunden, bevor Sie den Schalter erneut drücken.

Anschlussfeld



1 Anschluss CONTROL S IN/OUT (Ein-/Ausgang für Control-S-Signal) (Minibuchse)
 Sie können mehrere Geräte mit nur einer Fernbedienung steuern, wenn das Gerät an den Anschluss CONTROL S eines Videogeräts oder eines anderen Bildschirms angeschlossen wird. Verbinden Sie den Anschluss CONTROL S OUT an diesem Bildschirm mit dem Anschluss CONTROL S IN am anderen Gerät und verbinden Sie den Anschluss

CONTROL S IN an diesem Bildschirm mit dem Anschluss CONTROL S OUT am anderen Gerät.

2 RS-232C-Anschluss REMOTE (D-Sub, 9-polig)

Mit diesem Anschluss können Sie den Monitor über das RS-232C-Protokoll fernsteuern. Näheres dazu erfahren Sie bei Ihrem autorisierten Sony-Händler.

Hinweis

Wenn ein gesondert erhältlicher Adapter mit Kommunikationsfunktion, wie z. B. ein BKM-FW32 oder BKM-FW50, installiert ist, können Sie diesen Anschluss nicht verwenden.

3 INPUT1 (DIGITAL RGB IN)-Anschlüsse

DVI: Zum Anschließen an den digitalen RGB-Signalausgang von Videogeräten. Der HDCP-Kopierschutz wird unterstützt.

AUDIO (Stereominibuchse): Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audioausgang von Videogeräten.

4 INPUT2 (ANALOG RGB/COMPONENT IN)-Anschlüsse

RGB/COMPONENT (D-Sub, 15-polig): Zum Anschließen an den analogen RGB- oder Farbdifferenzsignalausgang (YUV) eines Videogeräts.

Näheres zum Einspeisen eines Farbdifferenzsignals an diesem Anschluss finden Sie unter „Stiftbelegung“ auf Seite 45 (DE).

AUDIO (Stereominibuchse): Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audioausgang eines Videogeräts.

5 AUDIO OUT L/R (Stiftbuchse)

Zum Ausgeben des Tons zu dem Signal, das gerade auf dem Bildschirm angezeigt wird.

Das ausgegebene Audiosignal entspricht im Modus „P&P“ oder „PinP“ dem mit „Aktives Bild“ aktivierten Bild.

6 VIDEO-Anschlüsse (Ein BKM-FW10 ist vorinstalliert.)

S VIDEO IN (Mini-DIN, 4-polig): Zum Anschließen an den Y/C-Signalausgang eines Videogeräts.

S VIDEO OUT (Mini-DIN, 4-polig): Zum Anschließen an den Y/C-Signaleingang eines Videogeräts.

VIDEO IN (BNC-Anschluss): Zum Anschließen an den Videosignalausgang eines Videogeräts.

VIDEO OUT (BNC-Anschluss): Zum Anschließen an den Videosignaleingang eines Videogeräts.

AUDIO IN L/R (Stiftbuchse): Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audioausgang eines Videogeräts.

7 OPTION1-Anschlussbereich (Anschluss VIDEO/COM)

Dieser Anschlussbereich unterstützt Videosignale und Kommunikationsfunktionen. Wenn Sie einen gesondert erhältlichen Adapter mit Kommunikationsfunktion wie den BKM-FW32 oder BKM-FW50 in diesem Anschlussbereich installieren, können Sie den Bildschirm über das Netzwerk steuern.

8 OPTION2-Anschlussbereich (Anschluss VIDEO) (Nur beim FWD-40LX1)

Dieser Anschlussbereich unterstützt Videosignale. Werkseitig ist an diesem Anschlussbereich ein Leeradapter installiert. In diesem Anschlussbereich können Sie einen gesondert erhältlichen Adapter mit Videosignalein-/ausgangsfunktion installieren. Den gesondert erhältlichen Adapter mit Kommunikationsfunktion installieren Sie bitte im 7 OPTION1-Anschlussbereich.

Optionale Adapter (nicht mitgeliefert)

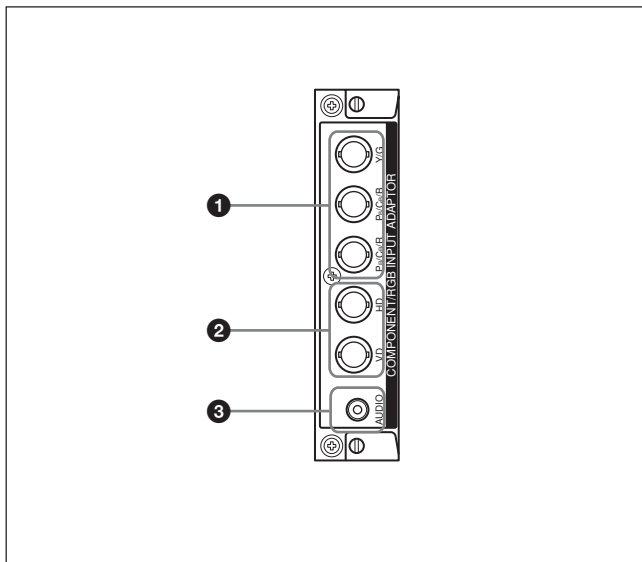
Die mit 7 und 8 auf dem Anschlussfeld markierten Anschlüsse sind Einsteckanschlüsse und passen für alle optionalen Adapter des Bildschirms. Der OPTION2-Anschlussbereich ist nur beim FWD-40LX1 vorhanden.

Näheres zur Installation erfahren Sie bei Ihrem Sony-Händler.

VIDEO-/S VIDEO-Ein-/Ausgangsadapter BKM-FW10 (nicht mitgeliefert)

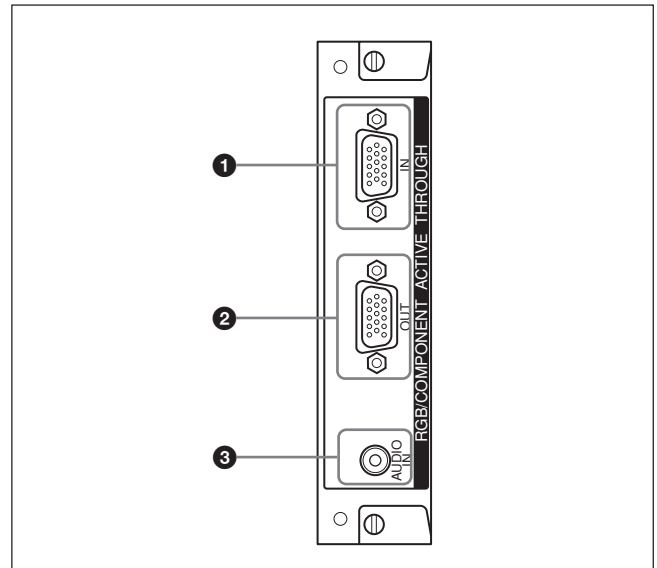
Dieser entspricht den vorinstallierten Anschlüssen 6.

COMPONENT/RGB-Eingangsadapter BKM-FW11 (nicht mitgeliefert)



- 1 **Y/G Pb/Cb/B Pr/Cr/R IN (BNC):** Zum Anschließen an den analogen RGB-Signal- oder Farbdifferenzsignalausgang (YUV) eines Videogeräts oder Computers.
- 2 **HD VD IN:** Zum Anschließen an den Synchronisationssignalausgang eines Computers.
- 3 **AUDIO (Stereo-minibuchse):** Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audioausgang eines Videogeräts oder Computers.

RGB/COMPONENT ACTIVE THROUGH ADAPTOR BKM-FW12 (nicht mitgeliefert)



- 1 **RGB/COMPONENT IN (D-Sub, 15-polig):** Zum Anschließen an den Farbdifferenzsignalausgang oder analogen RGB-Signalausgang eines Videogeräts oder Computers.
Näheres zum Einspeisen eines Farbdifferenzsignals an diesem Anschluss finden Sie unter „Stiftbelegung“ auf Seite 45 (DE).

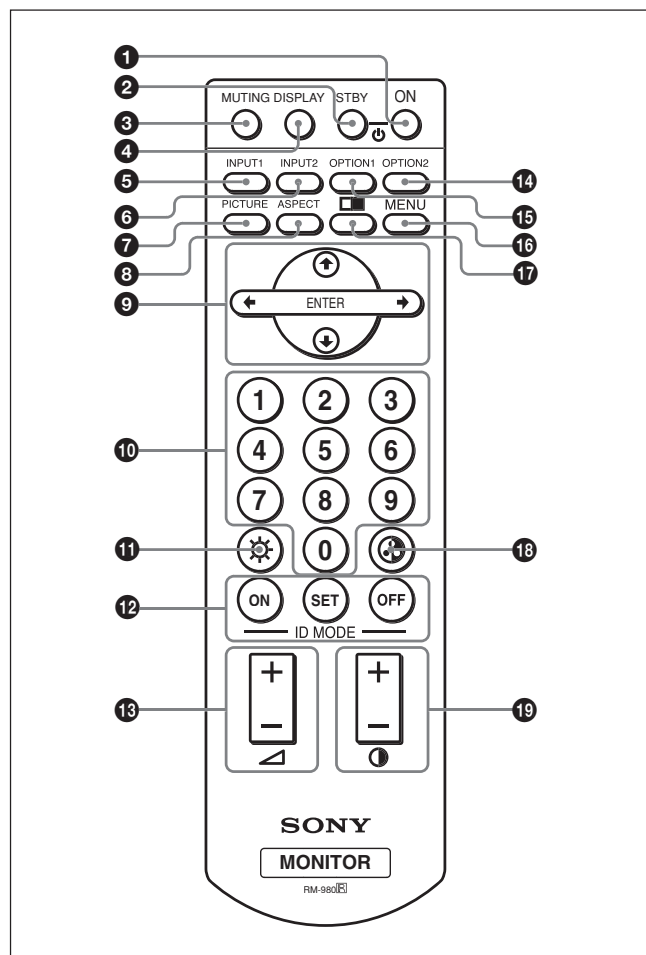
- 2 **RGB/COMPONENT OUT (D-Sub, 15-polig):** Zum Anschließen an den Farbdifferenzsignaleingang oder analogen RGB-Signaleingang eines Videogeräts oder Computers.

- 3 **AUDIO IN (Stereo-minibuchse):** Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audiosignalausgang eines Videogeräts oder Computers.

Hinweis

- Wenn das Gerät nicht an den Netzstrom angeschlossen ist oder sich im Bereitschaftsmodus befindet, wird über RGB/COMPONENT OUT kein Signal ausgegeben.
- Detaillierte Erläuterungen zu den optionalen Adaptern der BKM-FW-Serie zur Systemerweiterung finden Sie in der jeweiligen Bedienungsanleitung.

Fernbedienung RM-980



1 Schalter POWER ON

Zum Einschalten des Monitors.

2 Taste STANDBY

Mit diesem Schalter wird der Monitor in den Bereitschaftsmodus geschaltet.

3 Taste MUTING

Zum Stummschalten des Tons. Erneut drücken, um den Ton wieder einzuschalten.

4 Taste DISPLAY

Zum Anzeigen von Informationen zum Eingangssignal und zum Bildmodus am Bildschirm. Drücken Sie die Taste nochmals, wenn Sie die Informationen wieder ausblenden wollen. Drücken Sie die Taste nochmals, wenn Sie die Informationen wieder ausblenden wollen. Wenn die angezeigte Information eine kurze Zeit lang unberührt belassen wird, verschwindet sie automatisch.

5 Taste INPUT1

Zum Auswählen des Signals, das über die INPUT1-Anschlüsse eingespeist wird.

6 Taste INPUT2

Zum Auswählen des Signals, das über die INPUT2-Anschlüsse eingespeist wird. Mit jedem Tastendruck wird zwischen RGB und COMPONENT gewechselt.

7 Taste PICTURE

Zum Auswählen des Bildmodus. Mit jedem Tastendruck wird zwischen Lebhaft, Standard und Benutz.1 bis 3 gewechselt.

8 Taste ASPECT

Zum Auswählen des Bildformats (Seitenverhältnis).

9 Tasten ↑/↓/←/→/ENTER

Mit den Tasten ↑/↓/←/→ können Sie den Cursor (gelb) im Menü bewegen und Werte einstellen usw. Wenn Sie die Taste ENTER drücken, wird das ausgewählte Menü geöffnet oder die Einstellung bestätigt.

Wenn zwei Bilder angezeigt werden, können Sie das aktive Bild mit ←/→ wechseln.

10 Zahlentasten

Dienen zum Eingeben der Indexnummer.

11 Taste BRIGHTNESS

Zum Einstellen der Helligkeit, wenn der Bildmodus auf „Benutz. 1-3“ eingestellt ist. Drücken Sie diese Taste und stellen Sie dann die Helligkeit mit der Taste ↑/↓ oder ←/→ 9 ein.

12 ID MODE-Tasten (ON/SET/OFF)

Wenn Sie die Taste ON drücken, erscheint eine Indexnummer auf dem Bildschirm. Geben Sie dann mit den Zahlentasten 10 die Indexnummer des Monitors ein, den Sie bedienen wollen, und drücken Sie die Taste SET. Danach schalten Sie mit der Taste OFF aus dem ID-Modus wieder in den normalen Modus.

Näheres zum Einstellen der Indexnummer finden Sie unter „Steuern eines bestimmten Monitors über die Fernbedienung“ auf Seite 42 (DE).

13 Taste VOLUME +/-

Zum Einstellen der Lautstärke.

14 Taste OPTION2

Zum Auswählen des Signals, das über den gesondert erhältlichen Adapter (außer BKM-FW10) eingespeist wird, falls ein solcher im Gerät installiert wird. Mit jedem Tastendruck wechselt das am OPTION2-Anschlussbereich eingespeiste Signal.

Hinweis

Sie können diese Taste beim FWD-32LX1R nicht verwenden, denn dieser ist nicht mit einem OPTION2-Anschlussbereich ausgestattet.

15 Taste OPTION1

Wenn eine Zusatzkarte installiert ist, wählen Sie hiermit das Signal aus, das von dem an die Zusatzkarte angeschlossenen Gerät eingespeist werden soll. Mit jedem Tastendruck wechselt das am OPTION1-Anschlussbereich eingespeiste Signal.

16 Taste MENU

Wenn das Menü auf dem Monitorbildschirm angezeigt wird, wechseln Sie mit dieser Taste zur vorherigen Menüebene zurück. Das Menü wird ausgeblendet, wenn Sie diese Taste erneut drücken.

17 Taste

Zum Auswählen des Modus PICTURE AND PICTURE (PAP). Mit jedem Tastendruck wird zwischen P&P, PinP und PAP aus umgeschaltet.

18 Taste CHROMA

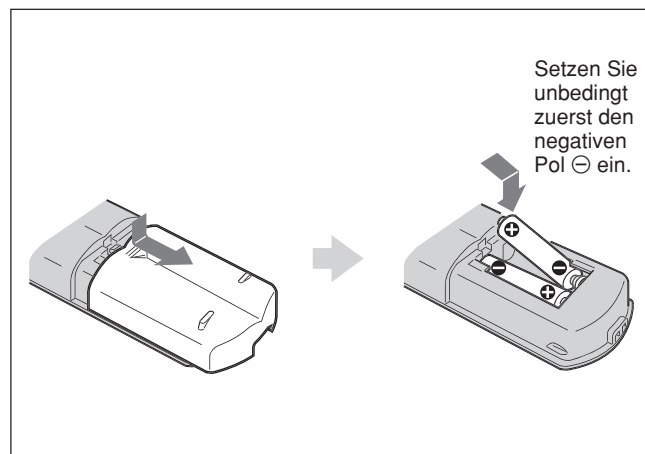
Zum Einstellen der Chrominanz, wenn der Bildmodus auf „Benutz.1-3“ eingestellt ist. Drücken Sie diese Taste und stellen Sie dann die horizontale Zentrierung mit der Taste  oder   ein.

19 Taste CONTRAST +/-

Zum Einstellen des Kontrasts, wenn der Bildmodus auf „Benutz.1-3“ eingestellt ist.

Einlegen der Batterien

Legen Sie zwei R03-Batterien der Größe AAA polaritätsrichtig ein.



- Unter normalen Bedingungen halten die Batterien bis zu einem halben Jahr lang. Wenn die Fernbedienung nicht ordnungsgemäß funktioniert, sind die Batterien möglicherweise früher erschöpft. Tauschen Sie sie gegen neue aus.
- Wenn Sie die Fernbedienung längere Zeit nicht benutzen wollen, nehmen Sie die Batterien heraus, um Schäden durch auslaufende Batterien zu vermeiden.

Wenn die Fernbedienung nicht funktioniert

Vergewissern Sie sich, dass die Anzeige POWER/STANDBY leuchtet und der „Steuerung“ im Menü „Fernbedienung“ nicht auf „Nur Display“ gesetzt ist. Mit der Fernbedienung kann der Monitor nur gesteuert werden, wenn beide Bedingungen unten erfüllt sind.

- Der Monitor ist eingeschaltet oder befindet sich im Bereitschaftsmodus.
- Der „Steuerung“ im Menü „Fernbedienung“ ist auf „Display+Fernbed.“ oder „Nur Fernbed.“ gesetzt. Näheres zur Option „Steuerung“ finden Sie unter „Steuerung“ auf Seite 19 (DE).

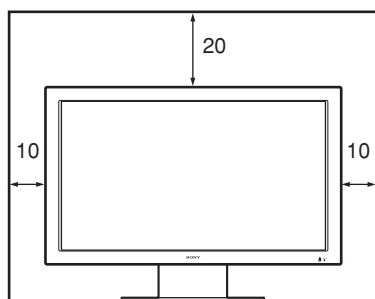
Vorsicht

Lassen Sie um den Bildschirm herum viel Platz.

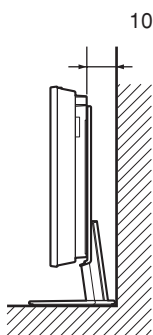
- Achten Sie beim Aufstellen bzw. Aufhängen des Monitors darauf, dass der Platz um den Bildschirm herum größer ist als in der Abbildung unten dargestellt, damit eine ausreichende Belüftung möglich ist.
- Die Umgebungstemperatur muss bei 0 °C bis +35 °C liegen.
- Wenn Sie den Bildschirm in horizontaler Position verwenden wollen, benötigen Sie den Bildschirmständer SU-42FW/32FW (nicht mitgeliefert).
- Zu Metallteilen für die Montage wie Halterungen, Schrauben oder Bolzen können wir keine genauen Produktangaben machen. Die Montage ist Aufgabe der autorisierten Händler vor Ort. Wenden Sie sich für die Montage bitte an qualifiziertes Personal von Sony.
- Wenn das Gerät eingeschaltet ist, können sich einige Teile stark erhitzen und es besteht Verbrennungsgefahr. Berühren Sie nicht die Ober- und Rückseite des Monitors, wenn dieser eingeschaltet ist oder gerade in den Bereitschaftsmodus geschaltet wurde.

Bei Verwendung des Ständers (nicht mitgeliefert)

Vorderseite

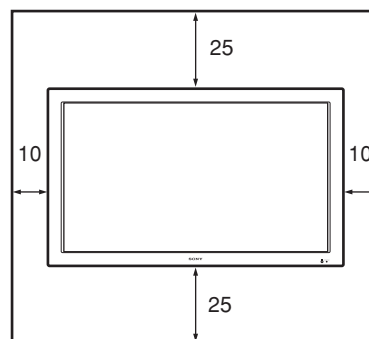


Seite

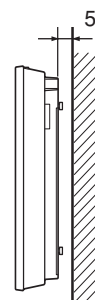


Einheit: cm

Wenn Sie den Monitor horizontal verwenden
Vorderseite

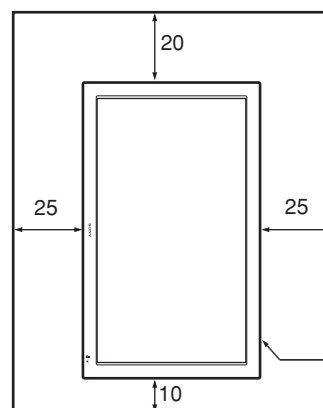


Seite



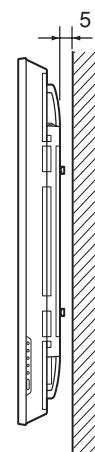
Einheit: cm

Wenn Sie den Monitor vertikal verwenden
Vorderseite



Der Schalter
⏻ POWER muss
sich unten rechts
befinden.

Seite



Einheit: cm

Hinweis

Wenn Sie den Monitor vertikal aufstellen, können Sie die Lautsprecher SS-SP40FW (nicht mitgeliefert) nicht verwenden.

Anschließen des Monitors

Vorbereitungen

- Achten Sie darauf, dass alle Geräte ausgeschaltet sind.
- Verwenden Sie nur Kabel, die für die anzuschließenden Geräte geeignet sind.
- Achten Sie darauf, die Kabelstecker fest in die Buchsen zu stecken. Eine lose Verbindung kann Störungen verursachen.
- Um ein Kabel zu lösen, ziehen Sie immer am Stecker. Ziehen Sie auf keinen Fall am Kabel selbst.
- Schlagen Sie in den Bedienungsanleitungen zu den anzuschließenden Geräten nach.
- Stecken Sie den Stecker fest in die Buchse AC IN.
- Verwenden Sie einen der beiden Netzsteckerhalter (mitgeliefert), die den Netzstecker sicher halten.

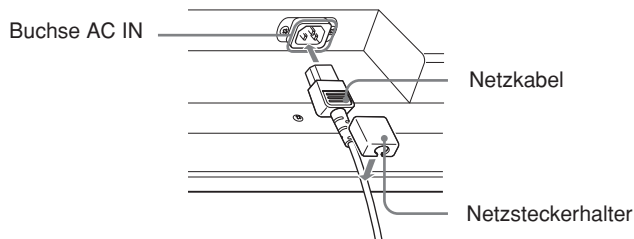
Anschließen der Lautsprecher

Die Wirkung der Wiedergabe wird verstärkt, wenn Sie Lautsprecher anschließen (SS-SP40FW/32FW, nicht mitgeliefert). Achten Sie darauf, die Lautsprecher korrekt anzuschließen. Nähere Informationen zum Anschließen der Lautsprecher finden Sie in der Bedienungsanleitung zu den Lautsprechern.

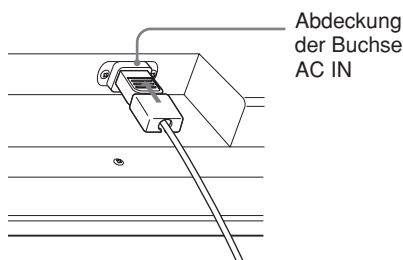
Wie Sie die Lautsprecherkabel verlegen, ist unter „Anbringen der Kabelhalter“ auf Seite 15 (DE) beschrieben.

Anschließen des Netzkabels

- 1 Schließen Sie das Netzkabel an die Buchse AC IN an. Bringen Sie dann den Netzsteckerhalter (mitgeliefert) am Netzkabel an.



- 2 Schieben Sie den Netzsteckerhalter über das Kabel, bis er mit der Abdeckung der Buchse AC IN verbunden ist.



So nehmen Sie das Netzkabel ab

Nachdem Sie auf beide Seiten des Netzsteckerhalters gedrückt und ihn gelöst haben, ziehen Sie das Netzkabel am Stecker heraus.

Umgang mit den Kabeln

Die Kabelabdeckungen befinden sich bei diesem Monitor auf der Rückseite. Ziehen Sie vor dem Anschließen von Kabeln an den Monitor die

Kabelabdeckungen auf. Schließen Sie die Kabelabdeckungen nach dem Anschließen von Kabeln an den Monitor wieder.

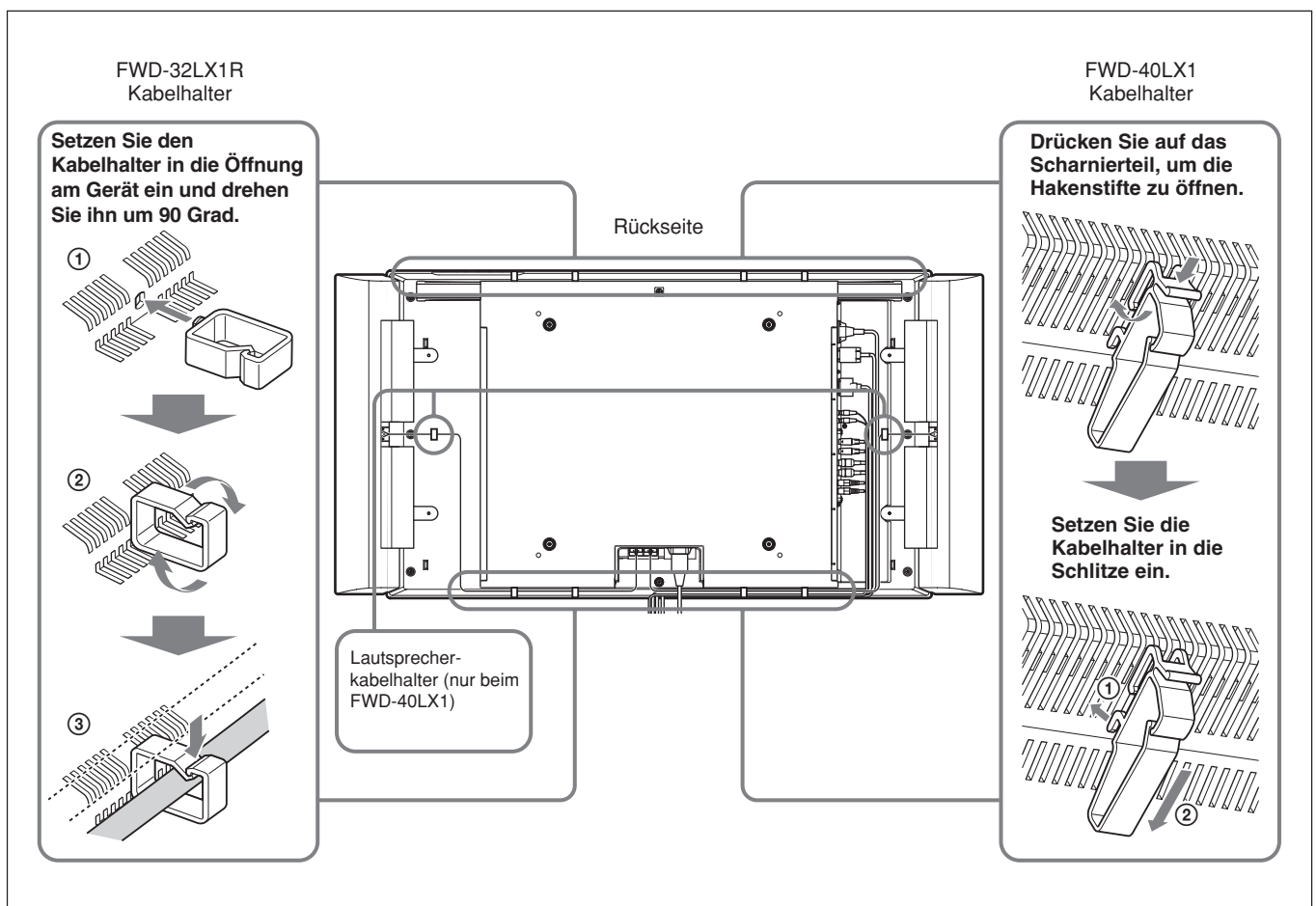


Anbringen der Kabelhalter

Sie können die Kabel mit den mitgelieferten Kabelhaltern (6 beim FWD-40LX1 und 4 beim FWD-32LX1R) bündeln. Wählen Sie beim FWD-40LX1 für die Kabelhalter drei aufeinander folgende Aussparungen an den Lüftungsöffnungen aus. Wählen Sie beim FWD-32LX1R sechs von acht Aussparungen

aus. Bringen Sie die Kabelhalter wie in der Abbildung unten gezeigt an.

Wenn Sie die Lautsprecher SS-SP40FW (nicht mitgeliefert) anschließen, führen Sie die Lautsprecherkabel durch die Lautsprecherkabelhalter an der Rückseite des Monitors (nur beim FWD-40LX1).

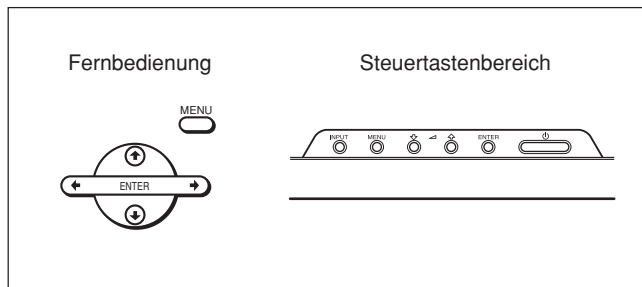


Die Bildschirmmenüs

Arbeiten mit den Menüs

Menütasten

Zur Arbeit mit den Menüs können Sie die Tasten am Monitor oder auf der Fernbedienung verwenden.



Bei den Anweisungen in dieser Bedienungsanleitung wird der Betrieb mit der Fernbedienung zugrunde gelegt. Die Tasten $\uparrow/\downarrow$ und ENTER auf der Fernbedienung haben dieselben Funktionen wie die Tasten $\uparrow/\downarrow$ und ENTER am Bildschirm.

Hinweis

Das Vorgehen kann sich in einigen Fällen unterscheiden, da der Bildschirm nicht über eine Taste $\leftarrow/\rightarrow$ verfügt.

Menükonfiguration

Erläuterungen zum „Auswählen der Menüsprache“ finden Sie auf Seite 36 (DE).

- 1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit $\uparrow/\downarrow$ auf das gewünschte Hauptmenü und drücken Sie ENTER. Der Cursor wechselt zum nächsten Menü.
- 3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit $\uparrow/\downarrow$ auf die gewünschte Option und drücken Sie ENTER.

Das Menü zur ausgewählten Option erscheint. Wählen Sie Optionen aus, indem Sie dieses Vorgehen wiederholen.

- 4 Mit $\uparrow/\downarrow$ können Sie eine Einstellung ändern oder auswählen, mit ENTER können Sie diese Einstellung bestätigen.
Die entsprechende Einstellung wird gespeichert und es erscheint wieder das vorhergehende Menü.

Um die Konfiguration abzuschließen und zum normalen Bildschirm zurückzuschalten, drücken Sie MENU.

Wenn Sie zur vorherigen Menüebene zurückschalten wollen, stellen Sie den Cursor mit $\uparrow/\downarrow$ auf $\rightarrow$ und drücken Sie ENTER oder $\leftarrow$.

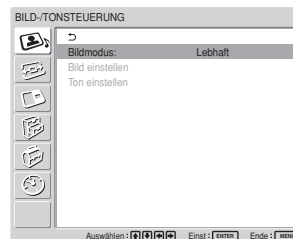
Übersicht über die Menüs

Hinweis

Optionen, die nicht eingestellt werden können (je nach Einstellung oder Eingangssignaltyp) werden grau angezeigt.

Menü BILD-/TONSTEUERUNG

Dient zum Einstellen der Bild- und Tonqualität der auf dem Bildschirm angezeigten Bilder.



Bildmodus

Stellt die Bildqualität ein, die für den Bildtyp bzw. für das Umgebungslicht an dem Ort, an dem das Gerät installiert ist, am besten geeignet ist.

Einzelheiten dazu finden Sie unter „Auswählen der Bildqualität“ auf Seite 24 (DE).

Bild einstellen

Sie können das Bild feineinstellen.

Setzen Sie „Bildmodus“ zunächst auf eine der Einstellungen „Benutz.1“ bis „Benutz.3“.

Hinweis

Die folgenden Optionen können nicht eingestellt werden, wenn „Bildmodus“ auf „Lebhaft“ oder „Standard“ gesetzt wird.

Einzelheiten dazu finden Sie unter „Einstellen der Bildqualität“ auf Seite 25 (DE).

Ton einstellen

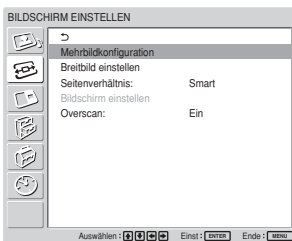
Sie können den Ton feineinstellen.
Setzen Sie „Bildmodus“ zunächst auf eine der Einstellungen „Benutz.1“ bis „Benutz.3“.

Hinweis

Die folgenden Optionen können nicht eingestellt werden, wenn „Bildmodus“ auf „Lebhaft“ oder „Standard“ gesetzt wird.
Einzelheiten dazu finden Sie unter „Einstellen der Tonqualität“ auf Seite 35 (DE).

Menü BILDSCHIRM EINSTELLEN

Mit diesem Menü können Sie die Größe und Position des Bildes ändern.



Mehrbildkonfiguration

Sie können Einstellungen zum Anschließen mehrerer Monitore vornehmen, um eine Videowand aus 2 × 2, 3 × 3 oder 4 × 4 Monitoren zu bilden.

Einzelheiten dazu finden Sie unter „Konfigurieren der Multi-Display“ auf Seite 34 (DE).

Breitbild einstellen

Zum Einstellen der automatischen Breitbildfunktion.
Bei der automatischen Breitbildfunktion wird zwischen dem Format normaler Fernsehsendungen und dem Breitbildformat gewählt. Diese Formate weisen unterschiedliche Bildseitenverhältnisse auf. Das Bild wird automatisch auf ein Breitbildformat mit einem Bildseitenverhältnis von 16:9 vergrößert, so dass bei verschiedenen Bildformaten immer eine optimale Darstellung erzielt wird.

Einzelheiten dazu finden Sie unter „Einstellen der automatischen Breitbildfunktion“ auf Seite 28 (DE).

Seitenverhältnis

Zum Wechseln der Breitbildanzeige, um sie auf Größe und Typ des Bildes einzustellen.

Einzelheiten dazu finden Sie unter „Einstellen des Seitenverhältnis“ auf Seite 29 (DE).

Bildschirm einstellen

Mit diesem Menü können Sie die Größe und Position des Bildes ändern. Sie können damit auch die Anzahl der Pixel in einem Bild einstellen.

Einzelheiten dazu finden Sie unter „Einstellen von Bildgröße und Bildposition“ auf Seite 30 (DE).

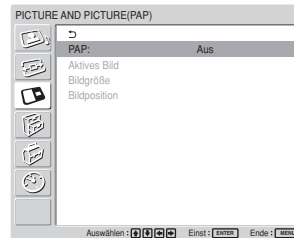
Overscan

Sie können „Overscan“ aktivieren bzw. deaktivieren, wenn der RGB-Modus auf DTV eingestellt ist.

Wenn die Option auf „Ein“ gesetzt ist, werden die Bilder mit Overscan angezeigt.

Menü PICTURE AND PICTURE (PAP)

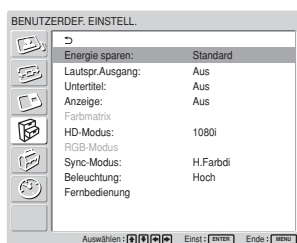
Sie können zwei Bilder von unterschiedlichen Signalquellen, z. B. von einem Computer und einem Video, nebeneinander anzeigen.



Einzelheiten dazu finden Sie unter „Anzeigen von zwei Bildern gleichzeitig“ auf Seite 31 (DE).

Menü BENUTZERDEF. EINSTELL.

In diesem Menü können Sie die Leistungsaufnahme verringern und verschiedene Modi und Funktionen einstellen.



Energie sparen

Zum Energiesparen, während Sie mit dem Bildschirm arbeiten.

Standard: Der Monitor wechselt nicht in den Energiesparmodus.

Verring.: Der Monitor wechselt in den Energiesparmodus.

Wenn Sie „Verring.“ auswählen, wird die Bildschirmhelligkeit verringert. Die Anzeige ist noch zu erkennen und Sie sparen gleichzeitig Energie.

Hinweise

- „Energie sparen: Verring.“ gilt weiter, wenn Sie das Gerät aus- und wieder einschalten.
- Auch wenn Energie sparen auf „Verring.“ gesetzt ist, können Sie die Bildqualität einstellen. Beachten Sie jedoch, dass der Energiespareffekt möglicherweise verloren geht, wenn Sie die Werte für Kontrast oder Helligkeit erhöhen.

Lautspr.Ausgang

Wenn Sie diese Option auf Ein setzen, wird der Ton über die Lautsprecher SS-SP40FW/32FW (nicht mitgeliefert) ausgegeben.

Wenn Sie diese Option auf „Aus“ setzen, können Sie den Tonpegel nicht einstellen. Wenn Sie es versuchen, wird  angezeigt.

Untertitel

Zum Anzeigen von Untertiteln.

Wenn Sie die Signalkombination Farbdifferenz + Farbdifferenz verwenden, um zwei Bilder anzuzeigen, können Sie Untertitel nur bei Eingangssignalen vom BKM-FW11 bzw. BKM-FW12 anzeigen.

Aus: Die Untertitel werden nicht angezeigt.

CC1-4: Die Untertitel werden in das Bild eingeblendet.

Anzeige

Wenn Sie „Ein“ wählen, werden beim Einschalten des Geräts oder Wechseln des Eingangssignals etwa fünf Sekunden lang Informationen zum Eingangssignal und der Bildmodus auf dem Bildschirm angezeigt.

Farbmatrix

Zum Einstellen von „Farbmatrix“, so dass Bilder mit natürlichen Farbtönen angezeigt werden, wenn Farbdifferenzsignale eingespeist werden.

Näheres dazu finden Sie unter „Einstellen der Farbmatrix“ auf Seite 37 (DE).

HD-Modus

Zum Einstellen des Modus je nach dem analogen HD-Farbdifferenzsignal, das am Monitor eingespeist wird.

1080i: Wenn ein 1080i-Signal eingespeist wird

1035i: Wenn ein 1035i-Signal eingespeist wird

RGB-Modus

Zum Einstellen des Modus, wenn an den Monitor ein Gerät angeschlossen ist, das RGB-Signale ausgibt.

DTV: Wenn ein digitaler Tuner mit RGB-Signalen usw. angeschlossen ist.

PC: Wenn ein PC usw. angeschlossen ist.

Sync-Modus

Zum Einstellen des Modus je nach dem Signal, das an Stift 13 des Anschlusses INPUT2 RGB/COMPONENT eingespeist wird. Die Signale können nur auf 575/50I oder 480/60I eingestellt werden.

H.Farbd: Wenn ein horizontales Signal eingespeist wird

Video: Wenn ein Videosignal eingespeist wird.

Eingangssignal und Einstellungen des Synchronisationsmodus

STIFT	Signaleingang über D-Sub	Einstellung des Synchronisationsmodus
13	FBAS-Videosignal 480/60I, 575/50I	Videosignal
13/14	H. Sync./V. Sync.	Synchronisationssignal
2	Grünsignal mit Synchronisation	

Unter „Stiftbelegung“ auf Seite 45 (DE) finden Sie weitere Informationen zur Stiftbelegung an RGB/COMPONENT.

Hinweise

- Es gibt einige Eingänge, für die nur Synchronisationssignale ausgewählt werden können. In diesem Fall wird kein Bild angezeigt, auch wenn ein Videosignal über den 13-poligen Anschluss eingespeist wird. Speisen Sie horizontale/vertikale Synchronisationssignale über die 13- oder 14-poligen Anschlüsse oder Grünsignale mit Synchronisation über den RGB-Anschluss ein.
- Wenn das Gerät nicht so eingestellt ist, dass Synchronisationssignale akzeptiert werden, und ein Grünsignal mit Synchronisation eingespeist wird, wird kein Bild angezeigt.
- Signale im Synchronmodus werden nur von INPUT2 unterstützt.
- Synchronmoduseinstellungen können für über die Zusatzkarten eingespeiste Signale nicht vorgenommen werden.
- Dieses Gerät unterstützt keine zusammengesetzten Synchronisationssignale und 576/60P-Signale mit dreiwertiger Synchronisation.

Beleuchtung

Zum Wechseln der Helligkeit des „SONY“-Logos an der Vorderseite des Monitors.

Fernbedienung

Dieses Menü dient zum Einstellen des Fernbedienungsmodus.

Indexnummer

Zum Einstellen der Indexnummer für den Monitor.

Hinweis

Verwenden Sie zum Einstellen der Nummer die Tasten am Monitor.

Die Indexnummer kann nicht mit der Fernbedienung eingestellt werden.

Näheres zum Einstellen der Indexnummer finden Sie unter „Steuern eines bestimmten Monitors über die Fernbedienung“ auf Seite 42 (DE).

Steuerung

Zum Auswählen des Fernbedienungsmodus.

Display+Fernbed.: Die mit dem Monitor gelieferte Fernbedienung wird aktiviert.

Nur Display: Die Fernbedienungsfunktion wird deaktiviert. Sie können die Anzeige nur mit den Steuertasten am Monitor einstellen.

Nur Fernbed.: Die Bedienelemente am Monitor werden deaktiviert, wenn Sie den Monitor nur über die Fernbedienung steuern wollen. Sie können Einstellungen am Monitor nur mit der Fernbedienung vornehmen.

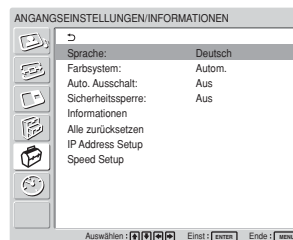
Hinweis

Beim Einstellen dieser Option hängen die auswählbaren Modi von der verwendeten Taste ab. Wenn Sie die Option mit der Taste ENTER auf der Fernbedienung einstellen, können Sie nur „Display+Fernbed.“ bzw. „Nur Fernbed.“ auswählen. Wenn Sie die Option mit der Taste ENTER am Monitor einstellen, können Sie nur „Display+Fernbed.“ bzw. „Nur Display“ auswählen.

Menü

ANFANGSEINSTELLUNGEN/ INFORMATIONEN

In diesem Menü können Sie die Sprache für die Bildschirmanzeige oder das Eingangssignal auswählen oder die Option „Sicherheitssperre“ einstellen.

**Hinweis**

„IP Address Setup“ und „Speed Setup“ erscheinen nur dann im Menü, wenn ein optionaler Adapter mit Kommunikationsfunktion wie ein BKM-FW32 oder BKM-FW50 im OPTION1-Anschlussbereich installiert ist.

Sprache

Zum Auswählen der Sprache für die Bildschirmanzeigen (Japanisch, Englisch, Deutsch, Französisch, Spanisch oder Italienisch).

Einzelheiten dazu finden Sie unter „Auswählen der Menüsprache“ auf Seite 36 (DE).

Farbsystem

Hier wird das Farbsystem der Videosignale ausgewählt.

Autom.: Zum automatischen Einstellen des Farbsystems.

NTSC: Zum Anzeigen von NTSC-Signalen

NTSC4.43: Zum Anzeigen von NTSC4.43-Signalen

PAL: Zum Anzeigen von PAL-Signalen

SECAM: Zum Anzeigen von SECAM-Signalen

PAL-M: Zum Anzeigen von PAL-M-Signalen

PAL-N: Zum Anzeigen von PAL-N-Signalen

PAL60: Zum Anzeigen von PAL60-Signalen

Auto. Ausschalt

Wenn Sie diese Option auf „Ein“ setzen, wechselt der Monitor automatisch in den Bereitschaftsmodus, wenn am Eingang COMPONENT bzw. DVI länger als etwa fünf Minuten kein Signal eingeht. Im Bereitschaftsmodus können Sie den Monitor mit dem Schalter  POWER am Monitor oder mit der Taste POWER ON auf der Fernbedienung einschalten. Der Monitor wechselt automatisch in den Energiesparmodus, wenn am Eingang DVI bzw. RGB länger als etwa dreißig Sekunden kein Signal eingeht. Im Energiesparmodus schaltet sich der Monitor automatisch wieder ein, sobald ein Signal eingespeist wird.

Sicherheitssperre

Zum Einstellen der Sicherheitssperre am Monitor.

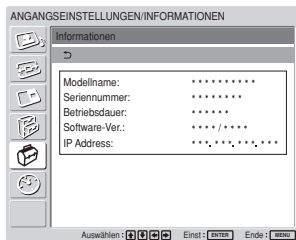
Aus: Die Sicherheitssperre wird deaktiviert.

Ein: Wenn diese Option auf „Ein“ gesetzt ist, ist zum Einstellen der Sicherheitssperre ein Passwort erforderlich.

Einzelheiten dazu finden Sie unter „Einstellen der Sicherheitssperre“ auf Seite 39 (DE).

Informationen

Dieses Menü dient zum Anzeigen von Informationen zum Status des Monitors.



Hinweis

„IP Address“ erscheint nur dann im Menü, wenn ein optionaler Adapter mit Kommunikationsfunktion wie ein BKM-FW32 oder BKM-FW50 im OPTION1-Anschlussbereich installiert ist.

Modellname

Hier wird der Modellname angegeben.

Seriennummer

Hier wird die Seriennummer angegeben.

Betriebsdauer

Gibt die Gesamtzahl der Betriebsstunden an.

Hinweis

Der Bereitschaftsmodus zählt nicht zur Betriebsdauer.

Software-Ver.

Gibt die Version der Systemsoftware an.

Alle zurücksetzen

Setzt alle Einstellungen und Einstellwerte auf die werkseitigen Voreinstellungen zurück.

Hinweis

Die Indexnummer wird nicht zurückgesetzt.

IP Address Setup

Legt eine IP-Adresse für die Kommunikation zwischen dem Bildschirm und einem optionalen Adapter mit Kommunikationsfunktion wie dem BKM-FW32 oder BKM-FW50 fest.

DHCP: Konfiguration zum automatischen Einstellen einer IP-Adresse.

Manual: Konfiguration zum manuellen Einstellen einer IP-Adresse.

Einzelheiten dazu finden Sie unter „Einstellen von IP-Adresse und Kommunikationsgeschwindigkeit“ auf Seite 40 (DE).

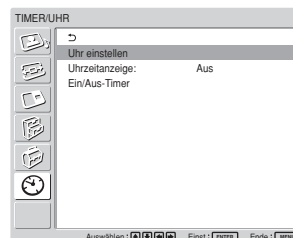
Speed Setup

Legt eine Kommunikationsgeschwindigkeit für die Kommunikation zwischen dem Bildschirm und einem optionalen Adapter mit Kommunikationsfunktion wie dem BKM-FW32 oder BKM-FW50 fest.

Einzelheiten dazu finden Sie unter „Einstellen von IP-Adresse und Kommunikationsgeschwindigkeit“ auf Seite 40 (DE).

Menü TIMER/UHR

Mit diesem Menü können Sie den Timer und die Uhrzeit einstellen, die Uhrzeit anzeigen lassen oder das Gerät so einstellen, dass es sich zur voreingestellten Zeit ein- bzw. ausschaltet.



Hinweis

Uhrzeit und Datum sind werkseitig nicht eingestellt.

Uhr einstellen

Zum Einstellen der Uhrzeit.

Einzelheiten dazu finden Sie unter „Einstellen von Uhrzeit und Wochentag“ auf Seite 37 (DE).

Uhrzeitanzeige

Wenn diese Option aktiviert ist, wird die eingestellte Uhrzeit auf dem Bildschirm angezeigt.

Einzelheiten dazu finden Sie unter „Anzeigen der Uhrzeit“ auf Seite 38 (DE).

Ein/Aus-Timer

Zum Einstellen der Uhrzeit für das automatische Ein- oder Ausschalten des Geräts.

Einzelheiten dazu finden Sie unter „Timer-Funktion zum Ein-/Ausschalten“ auf Seite 38 (DE).

Die Anzeigefunktionen

Vorbereitungen

- Schalten Sie den Monitor ein.
- Schalten Sie die angeschlossenen Geräte ein und starten Sie die Wiedergabe einer Videoquelle.
- Wenn beim Einschalten des Monitors oder bei einem Wechsel des Eingangssignals Informationen zum Eingangssignal und Bildmodus angezeigt werden sollen, setzen Sie „Anzeige“ im Menü „Benutzerdef. Einstell.“ auf Ein.
- Erläuterungen zum Auswählen der Menüsprache finden Sie unter „Auswählen der Menüsprache“ auf Seite 36 (DE).

Wechseln des Eingangssignals

Input1 DVI: Zum Auswählen des Signals (digitales RGB), das an den INPUT1-Anschlüssen eingespeist wird

Input2 RGB: Zum Auswählen des Signals (analoges RGB), das an den INPUT2-Anschlüssen eingespeist wird

Input2 Component: Zum Auswählen des Signals (Farbdifferenzsignal), das an den INPUT2-Anschlüssen eingespeist wird

Option1/2 Video: Zum Auswählen des Signals (Videosignals) von dem Gerät, das an die Anschlüsse am OPTION-Anschlussbereich 1 oder 2 angeschlossen ist.

Option1/2 S Video: Zum Auswählen des Signals (S-Videosignals) von dem Gerät, das an die Anschlüsse am OPTION-Anschlussbereich 1 oder 2 angeschlossen ist.

Option1/2 RGB: Zum Auswählen des Signals (analogen RGB-Signals) von dem Gerät, das an die Anschlüsse am OPTION-Anschlussbereich 1 oder 2 angeschlossen ist.

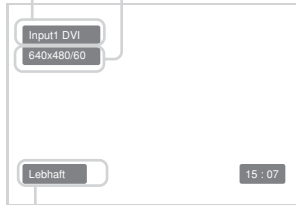
Option1/2 Component: Zum Auswählen des Signals (Farbdifferenzsignals) von dem Gerät, das an die Anschlüsse am OPTION-Anschlussbereich 1 oder 2 angeschlossen ist.

Drücken Sie zum Wechseln des Eingangssignals die Taste INPUT1, INPUT2, OPTION1 oder OPTION2 auf der Fernbedienung. Wenn mehrere Signalfomate am ausgewählten Eingang eingespeist werden können, wechselt die Anzeige mit jedem Drücken der entsprechenden Taste.

Beispielweise erscheint mit jedem Drücken der Taste INPUT2 abwechselnd die Anzeige „Input2 RGB“ und „Input2 Component“.

Das ausgewählte Eingangssignal erscheint auf dem Bildschirm.

Farbsystem oder Auflösung/Vertikalfrequenz
Signaltyp



Bildmodus

Sie können das Eingangssignal mit der Taste OPTION am Bildschirm wechseln.

Hinweis

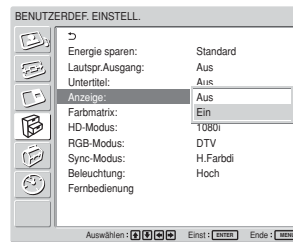
Es empfiehlt sich, als Eingangssignalquelle ein Videogerät mit TBC-Funktion (Time Base Corrector) zu verwenden. Wenn am Monitor ein Signal ohne TBC eingespeist wird, wird aufgrund einer Störung des Synchronisationssignals unter Umständen kein Bild angezeigt.

Anzeige von Eingangssignal, Bildmodus und Monitorstatus

Informationen zum Eingangssignal und zu „Bildmodus“ erscheinen beim Einschalten des Geräts etwa zwanzig und beim Wechseln des Eingangssignals etwa fünf Sekunden lang auf dem Bildschirm.

Wollen Sie diese Funktion ausschalten, gehen Sie bitte wie im Folgenden beschrieben vor.

- 1 Stellen Sie im Menü „BENUTZERDEF. EINSTELL.“ den Cursor (gelb) mit den Tasten **↑/↓** auf „Anzeige“ und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Setzen Sie „Anzeige“ mit der Taste **↑/↓** auf „Aus“, und drücken Sie dann ENTER.

So lassen Sie die Informationen anzeigen
Setzen Sie „Anzeige“ in Schritt 2 oben auf „Ein“, und drücken Sie dann ENTER. Als werkseitiger Standard ist „Ein“ eingestellt.

Hinweis

Unabhängig von der Einstellung oben können Sie die Informationen zum Eingangssignal und zum Bildmodus jederzeit abrufen, indem Sie die Taste DISPLAY auf der Fernbedienung drücken.

Voreingestellte Eingangssignale			
	Signalname	Farbsystem oder Horizontal-/Vertikalfrequenz	
Computersignale			
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31,5 kHz	70 Hz
2	640×480@60 Hz (VESA ^{b)} STD)	31,5 kHz	60 Hz
3	Mac ^{c)} 13 Zoll	35,0 kHz	67 Hz
4	VGA (VGA TEXT)	31,5 kHz	70 Hz
5	800×600@60 Hz (VESA STD)	37,9 kHz	60 Hz
6	Mac 16 Zoll	49,7 kHz	75 Hz
7	1024×768@60 Hz (VESA STD)	48,4 kHz	60 Hz
8	1024×768@75 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	75 Hz
9	1024×768@85 Hz (VESA STD)	68,7 kHz	85 Hz
10	1152×864@75 Hz (VESA STD)	67,5 kHz	75 Hz
11	Mac 21 Zoll	68,7 kHz	75 Hz
12	1280×960@60 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	60 Hz
13	1280×1024@60 Hz (VESA STD)	64,0 kHz	60 Hz
14	1600×1200@60 Hz (VESA STD)	75,0 kHz	60 Hz
15	848×480@60 Hz (VESA STD)	29,8 kHz	60 Hz
16	848×480@60 Hz (VESA STD)	29,5 kHz	60 Hz
17	848×480@75 Hz	37,7 kHz	75 Hz
18	1280×768@60 Hz	47,8 kHz	60 Hz
19	1280×768@60 Hz	47,4 kHz	60 Hz
SDTV/HDTV			
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	
16	720/50p	720/50P	

- a) VGA ist ein eingetragenes Warenzeichen der International Business Machines Corporation, USA.
 b) VESA ist ein eingetragenes Warenzeichen der Video Electronics Standards Association.
 c) Mac (Macintosh) ist ein eingetragenes Warenzeichen der Apple Computer, Inc.

Hinweise

- Bei einem HDTV-Eingangssignal speisen Sie das dreistufige Synchronisationssignal über den 2. Stift des Anschlusses RGB/COMPONENT (D-Sub, 15-polig) der INPUT2-Anschlüsse oder des BKM-FW12 ein.
- Wenn die Farben beim Einspeisen von DVD-Signalen in den Monitor zu hell sind, korrigieren Sie die Einstellung von „Chrominanz“ im Menü „Bild einstellen“.
- Wenn die Phase neu eingestellt wird, wird die Auflösung reduziert.

Anzeigen zum Monitorstatus auf dem Bildschirm

Bildschirmanzeige	Bedeutung
640×480 / 60 (Beispiel)	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein Computersignal im RGB-Format.
480 / 60I (Beispiel)	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein Farbdifferenzvideosignal.
NTSC (Beispiel)	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein NTSC-Signal.
Signal nicht unterstützt	Das ausgewählte Eingangssignal wird nicht unterstützt.
Keine Sync	Es ist kein Eingangssignal vorhanden.
INPUT1 DVI	Für INPUT1 gilt als Signalmodus digitales RGB.
INPUT2 RGB	Für INPUT2 gilt als Signalmodus analoges RGB.
INPUT2 Component	Für INPUT2 gilt als Signalmodus das Farbdifferenzvideosignal.
Option1/2 Video	Für den Option1- oder Option2-Anschlussbereich gilt als Signalmodus das FBAS-Videosignal.
Option1/2 S Video	Für den Option1- oder Option2-Anschlussbereich gilt als Signalmodus das S-VIDEO-Signal.
Option1/2 RGB	Für den Option1- oder Option2-Anschlussbereich gilt als Signalmodus analoges RGB.
Option1/2 Component	Für den Option1- oder Option2-Anschlussbereich gilt als Signalmodus das Farbdifferenzvideosignal.

Auswählen der Bildqualität

Sie können die Bildqualität einstellen, die für den Bildtyp bzw. für das Umgebungslicht an dem Ort, an dem das Gerät installiert ist, am besten geeignet ist.

- 1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „BILD-/TONSTEUERUNG“ und drücken Sie ENTER.
Das Menü BILD-/TONSTEUERUNG erscheint auf dem Bildschirm.



- 3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Bildmodus“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 4 Wählen Sie mit ↑/↓ den Bildmodus aus.
Lebhaft: Bilder mit außergewöhnlicher Schärfe werden erzielt, wobei Bildkonturen und Kontrast auf maximale Werte eingestellt sind.
Standard: Mit mittlerem Kontrast und mittlerer Bildschärfe wird ein echt wirkendes Bild erzielt.
Benutz.1-3: Sie können die Bildqualität mit dem Menü „Bild einstellen“ nach Belieben einstellen.

- 5 Schalten Sie mit ENTER zum Menü BILD-/TONSTEUERUNG.

Einstellen der Bildqualität

Sie können das Bild anzeigen lassen und dabei Kontrast, Helligkeit, Chrominanz (Farbintensität), Phase usw. einstellen. Diese Werte können Sie für die einzelnen Eingangssignale unabhängig voneinander einstellen. Darüber hinaus können Sie die eingestellten Werte im Gerät speichern. Stellen Sie als Bildmodus eine der Einstellungen „Benutz.1-3“ ein.

Einstellen von Kontrast, Helligkeit, Chrominanz, Phase usw.

Rufen Sie mit MENU das Hauptmenü auf und stellen Sie im Menü „Bild einstellen“ die Option „Hintergrundbel“, „Kontrast“, „Helligkeit“, „Chrominanz“, „Phase“, „Bildschärfe“, „Rauschvermind.“, „Kino“, „Dynamisch. Bild“, „Farbtemperatur“, „Farbkorrektur“ oder „Gamma-Korrektur“ ein.

Hintergrundbel

Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ die Option „Hintergrundbel“ aus und drücken Sie ENTER. Stellen Sie mit $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ die Helligkeit der Hintergrundbeleuchtung auf einen Wert zwischen MIN (0) und MAX (100) ein, und drücken Sie dann ENTER.

$\uparrow/\rightarrow$: Die Hintergrundbeleuchtung wird heller.

$\downarrow/\leftarrow$: Die Hintergrundbeleuchtung wird dunkler.

Wenn zwei Bilder angezeigt werden, werden beide Bilder eingestellt.

Kontrast

Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ die Option „Kontrast“ aus und drücken Sie ENTER.

Stellen Sie mit $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ für den Kontrast einen Wert zwischen MIN (0) und MAX (100) ein, und drücken Sie dann ENTER.

$\uparrow/\rightarrow$: Der Kontrast wird verstärkt.

$\downarrow/\leftarrow$: Der Kontrast wird abgeschwächt.

Wenn zwei Bilder angezeigt werden, wird nur das aktive Bild eingestellt. Außerdem ist der Einstellbereich begrenzt.

Helligkeit

Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ die Option „Helligkeit“ aus und drücken Sie ENTER.

Stellen Sie mit $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ für die Helligkeit einen Wert zwischen MIN (0) und MAX (+100) ein, und drücken Sie dann ENTER.

$\uparrow/\rightarrow$: Das Bild wird heller.

$\downarrow/\leftarrow$: Das Bild wird dunkler.

Wenn zwei Bilder angezeigt werden, wird nur das aktive Bild eingestellt. Außerdem ist der Einstellbereich begrenzt.

Chrominanz

Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ die Option „Chrominanz“ aus und drücken Sie ENTER.

Stellen Sie mit $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ für die Chrominanz einen Wert zwischen MIN (0) und MAX (100) ein, und drücken Sie dann ENTER.

$\uparrow/\rightarrow$: Die Farbintensität wird verstärkt.

$\downarrow/\leftarrow$: Die Farbintensität wird abgeschwächt.

Wenn zwei Bilder angezeigt werden, wird nur das aktive Bild eingestellt.

Phase

Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ die Option „Phase“ aus, und drücken Sie ENTER.

Stellen Sie mit $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ für die Phase einen Wert zwischen links (50) und rechts (50) ein, und drücken Sie dann ENTER.

$\uparrow/\rightarrow$: Der Grünanteil im Bild wird verstärkt.

$\downarrow/\leftarrow$: Der Rotanteil im Bild wird verstärkt.

Wenn zwei Bilder angezeigt werden, wird nur das aktive Bild eingestellt.

Bildschärfe

Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ die Option „Bildschärfe“ aus und drücken Sie ENTER.

Stellen Sie mit $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ für die Schärfe einen Wert zwischen MIN (0) und MAX (10) ein, und drücken Sie dann ENTER.

$\uparrow/\rightarrow$: Die Bildschärfe wird erhöht.

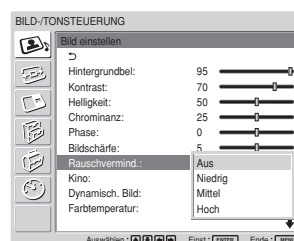
$\downarrow/\leftarrow$: Die Bildschärfe wird verringert.

Wenn zwei Bilder angezeigt werden, werden beide Bilder eingestellt.

Rauschvermind.

Zum Reduzieren der Körnigkeit des Bildes und des Farbrauschens.

- 1 Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ die Option „Rauschvermind.“ und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

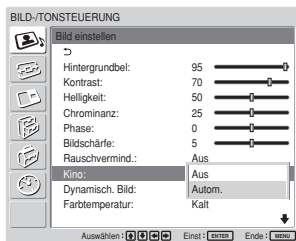


- 2 Wählen Sie mit **↑/↓** den gewünschten Modus aus.
Aus: Das Bildsignal wird direkt angezeigt.
Niedrig: Die Rauschverminderung wird auf einen niedrigen Wert gesetzt.
Mittel: Die Rauschverminderung wird auf einen mittleren Wert gesetzt.
Hoch: Die Rauschverminderung wird auf einen hohen Wert gesetzt.
- 3 Schalten Sie mit **ENTER** zum Menü Bild einstellen zurück.
 Wenn zwei Bilder angezeigt werden, werden beide Bilder eingestellt.

Kino

Als Film (24 Vollbilder) aufgenommene Bilder werden automatisch erkannt und wiedergegeben, wobei die Kinofilmeigenschaften betont werden.

- 1 Wählen Sie mit **↑/↓** die Option „Kino“ aus und drücken Sie **ENTER**.
 Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

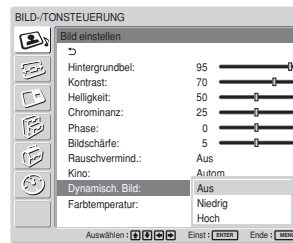


- 2 Wählen Sie mit **↑/↓** die Einstellung für den Kinomodus aus.
Aus: Das Bild wird gemäß den Bildsignalen wiedergegeben.
Autom.: Die als Kinofilm aufgezeichneten Bilder werden wiedergegeben und die Kinofilmeigenschaften des Originals werden betont.
 Wenn zwei Bilder angezeigt werden, wird nur das aktive Bild eingestellt.

Dynamisch. Bild

Verbessert den Kontrast, indem Weiß heller und Schwarz dunkler erscheint.

- 1 Wählen Sie mit **↑/↓** die Option „Dynamisch. Bild“ aus und drücken Sie **ENTER**.
 Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Wählen Sie mit **↑/↓** den dynamischen Bildmodus aus.
Aus: Die Funktion für dynamisches Bild wird deaktiviert.
Niedrig: Die Funktion für dynamisches Bild wird auf niedriger Stufe aktiviert.
Hoch: Die Funktion für dynamisches Bild wird auf hoher Stufe aktiviert.
- 3 Schalten Sie mit **ENTER** zum Menü Bild einstellen zurück.
 Wenn zwei Bilder angezeigt werden, werden beide Bilder eingestellt.

Farbtemperatur

Sie können auch die Farbtemperatur einstellen. Sie können „Warm“ oder „Kalt“ auswählen oder die einzelnen Gain-Werte separat einstellen.

- 1 Wählen Sie mit **↑/↓** die Option „Farbtemperatur“ aus und drücken Sie **ENTER**.
- 2 Wählen Sie mit **↑/↓** die Farbtemperatur aus und drücken Sie **ENTER**.
Kalt: Die Farbtemperatur wird auf einen hohen Wert eingestellt.
Neutral: Die Farbtemperatur wird auf einen neutralen Wert eingestellt.
Warm: Die Farbtemperatur wird auf einen niedrigen Wert eingestellt.
Farbe1 – 3: Die Werte für die einzelnen Gain-Einstellungen lassen sich getrennt einstellen.

Wenn Sie „Warm“, „Neutral“ oder „Kalt“ auswählen, wird wieder das Menü Bild einstellen angezeigt.

Wenn Sie „Farbe1“ bis „Farbe3“ auswählen

- (1) Stellen Sie den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf den einzustellenden Gain-Wert und drücken Sie **ENTER**.

- (2) Stellen Sie den Gain-Wert (0 bis 100) mit **↑/↓/←/→** ein und drücken Sie ENTER.
Nun erscheint wieder das Menü Farbtemperatur.
Wenn zwei Bilder angezeigt werden, werden beide Bilder eingestellt.

Farbkorrektur

Die Hautfarbe wird naturgetreu wiedergegeben.

- 1** Wählen Sie mit **↑/↓** die Option „Farkorrektur“ aus und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2** Wählen Sie mit **↑/↓** die Einstellung für die Farbkorrektur aus.
Aus: Die Farbkorrekturfunktion wird deaktiviert.
Ein: Die Farbkorrekturfunktion wird aktiviert.
Wenn zwei Bilder angezeigt werden, wird nur das aktive Bild eingestellt.

Gamma-Korrektur

Zum automatischen Einstellen der Balance der hellen und dunklen Bildbereiche.

- 1** Wählen Sie mit **↑/↓** die Option „Gamma-Korrektur“ aus und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2** Wählen Sie mit **↑/↓** den Gammakorrekturmodus aus.
Hoch: Die Gammakorrektur wird auf einen hohen Wert eingestellt.
Mittel: Die Gammakorrektur wird auf einen mittleren Wert eingestellt.
Niedrig: Die Gammakorrektur wird auf einen niedrigen Wert eingestellt.

- 3** Schalten Sie mit ENTER zum Menü Bild einstellen zurück.
Wenn zwei Bilder angezeigt werden, werden beide Bilder eingestellt.

Zurücksetzen der Optionen im Menü Bild einstellen auf ihre ursprünglichen Werte

- 1** Stellen Sie im Menü Bild einstellen den Cursor (gelb) mit den Tasten **↑/↓** auf „Zurücksetzen“, und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2** Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten **↑/↓** auf „OK“ und drücken Sie ENTER.
Die Optionen im Menü Bild einstellen werden auf die werkseitigen Werte zurückgesetzt.

Hinweis

Die für „Farbe1 - 3“ unter „Farbtemperatur“ eingestellten Werte werden nicht gelöscht.
Wenn zwei Bilder angezeigt werden, werden die für „Hintergrundbel.“, „Kontrast“ und „Helligkeit“ eingestellten Werte ebenfalls nicht gelöscht.

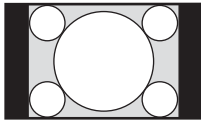
So brechen Sie das Zurücksetzen ab

Drücken Sie MENU, bevor Sie ENTER drücken.
Sie können mit **↑/↓** auch „Abbruch“ auswählen und dann ENTER drücken.

Bildvergrößerung

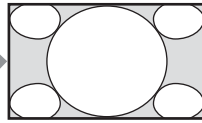
Sie können das Bild nach Bedarf vergrößern.
Im Seitenverhältnis stehen die folgenden Optionen zur Auswahl.

Originalbilder (Bildtyp)



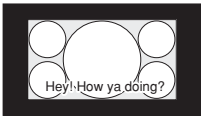
Normale Bilder mit einem Bildformat von 4:3 (Bildformat: 4:3).

Vergrößerte Bilder



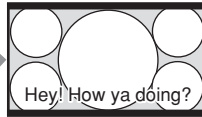
Vergrößerte Bilder im Format 4:3 in voller Bildschirmgröße.

Smart

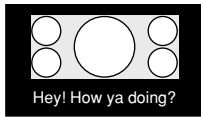


- Bilder von einer Videokamera oder DVD-Software mit Bildformatinformationen (Typ ID-1)

Zoom

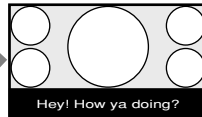


Die Bilder werden so vergrößert, dass sie den Bildschirm bis zum linken und rechten Rand ausfüllen. Je nach Bildtyp sind am oberen und unteren Bildrand schwarze Streifen zu sehen.

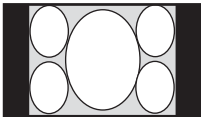


Filme in CinemaVision und ähnlichen, sehr breiten Formaten mit Untertiteln außerhalb des Bildes (Bildformat: 2,35:1)

U. Titel

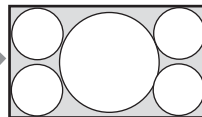


Das Bild wird im Vollbildmodus zusammen mit dem Bereich mit den Untertiteln auf dem Bildschirm angezeigt. Das Bild füllt den Bildschirm bis zum linken und rechten Rand.

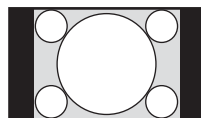


Bilder von einer Videokamera oder DVD-Software mit Bildformatinformationen (Typ ID-1)

Wide

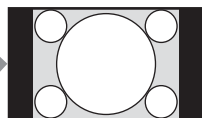


Das Bild wird horizontal auf die volle Bildschirmgröße verbreitert, ohne dass die Höhe verändert wird.



Normale Bilder mit einem Bildformat von 4:3 (Bildformat: 4:3).

4:3



Das Bild wird ohne Vergrößerung angezeigt.

Einstellen der automatischen Breitbildfunktion

Dank der automatischen Breitbildfunktion werden Bilder anhand des Identifikationssteuersignals zur Erkennung des Videosignalformats originalgetreu reproduziert. Verschiedene andere Bildtypen werden optimal vergrößert.
Außerdem können Sie Bilder mit einem Bildformat von 4:3 auf das Format 16:9 vergrößern.

Identifikationssteuersignal

Dieses Steuersignal dient dazu, das Bildseitenverhältnis des Originalbildes originalgetreu auf einem Fernsehschirm zu reproduzieren. Folgende Bilder enthalten dieses Signal:

- Bilder, die mit einer Fernsehkamera mit Informationen zum Bildseitenverhältnis aufgenommen wurden (ID-1-Format).
- Fernsehsendungen mit einem Signal, mit dem das Bildseitenverhältnis auf 4:3 eingestellt wird.

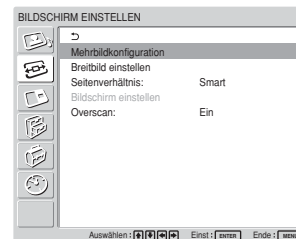
1 Drücken Sie MENU.

Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



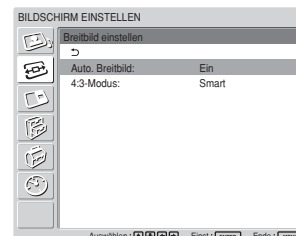
2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „BILDSCHIRM EINSTELLEN“ und drücken Sie ENTER.

Das Menü BILDSCHIRM EINSTELLEN erscheint auf dem Bildschirm.

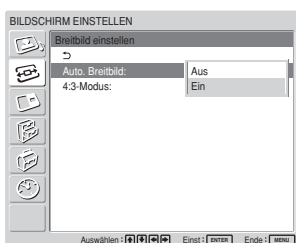


3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Breitbild einstellen“ und drücken Sie ENTER.

Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



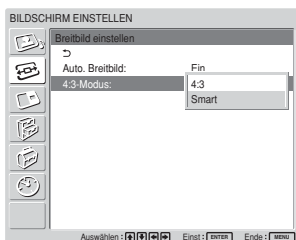
- 4 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf „Auto. Breitbild“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 5 Wählen Sie mit **↑/↓** die Einstellung für die automatische Breitbildfunktion.
Aus: Die Bilder werden unverändert reproduziert.
Ein: Das Bild wird vergrößert und mit dem optimalen Bildseitenverhältnis angezeigt.

- 6 Drücken Sie ENTER.
Der in Schritt 3 angezeigte Bildschirm erscheint wieder.

- 7 Wählen Sie mit **↑/↓** die Option „4:3-Modus“ aus und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 8 Wählen Sie mit **↑/↓** den 4:3-Bildmodus aus.
4:3: Bilder mit einem Seitenverhältnis von 4:3 werden unverändert angezeigt.
Smart: Bilder mit einem Bildseitenverhältnis von 4:3 werden auf ein Bildseitenverhältnis von 16:9 vergrößert und dann angezeigt.

- 9 Drücken Sie ENTER.
Nun erscheint wieder das Menü „Breitbild einstellen“.

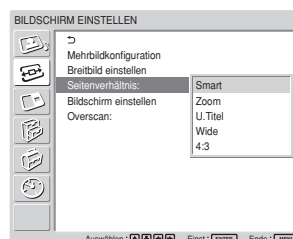
Hinweis

- Während DVI- oder RGB-Signale eingespeist werden, können Sie „Auto. Breitbild“ nicht einstellen, da in diesem Fall die automatische Breitbildfunktion nicht funktioniert.
- Wenn Sie die Signalkombination Farbdifferenz + Farbdifferenz verwenden, um zwei Bilder anzuzeigen, steht die automatische Breitbildfunktion nur bei Eingangssignalen vom BKM-FW11 bzw. BKM-FW12 zur Verfügung.

Einstellen des Seitenverhältnis

Die Bilder können auch unabhängig vom Bildtyp im gewünschten „Seitenverhältnis“ vergrößert werden.

- 1 Stellen Sie im Menü BILDSCHIRM EINSTELLEN den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf „Seitenverhältnis“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Wählen Sie mit **↑/↓** den „Seitenverhältnis“ aus.
Smart: Vergrößert Bilder im Format 4:3 in voller Bildschirmgröße auf das Format 16:9.

Zoom: Das Bild wird ganz bis zum linken und rechten Rand des Bildschirms vergrößert. Je nach Bildtyp können schwarze Streifen oben und unten am Bildrand erscheinen.

U.Titel: Das Bild wird ganz bis zum linken und rechten Rand des Bildschirms vergrößert und der Bereich, in dem Untertitel angezeigt werden, wird komprimiert.

Wide: Das Bild erstreckt sich links und rechts über den gesamten Bildschirm, ohne die Höhe zu ändern.

4:3: Das Bild wird ohne Vergrößerung angezeigt.

- 3 Drücken Sie ENTER.
Nun erscheint wieder das Menü BILDSCHIRM EINSTELLEN.

Hinweise

- Das Bildformat kann nicht eingestellt werden, wenn die Funktion PICTURE AND PICTURE oder die Multi-Display verwendet wird.
- Wenn Sie den Seitenverhältnis wählen, wird die automatische Breitbildfunktion deaktiviert. Wenn Sie die automatische Breitbildfunktion nutzen wollen, stellen Sie wieder „Ein“ ein.
- Je nach Bildtyp und -größe wird das Bild oben oder unten abgeschnitten oder die Untertitel werden nicht vollständig auf dem Bildschirm angezeigt.
- Wenn Sie vergrößerte/komprimierte Bilder zu kommerziellen Zwecken oder in der Öffentlichkeit zeigen, stellt dies gemäß den Bestimmungen des Urheberrechts möglicherweise eine Verletzung von Urheberrechten dar.

Einstellen von Bildgröße und Bildposition

Sie können das Bild verschieben, so dass es auf den Bildschirm passt, bzw. Bildhöhe und Bildbreite unabhängig voneinander einstellen.

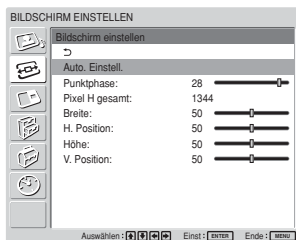
Einstellen von Größe, Position oder Pixeln des Bildes

Rufen Sie mit MENU das Hauptmenü auf und stellen Sie im Menü „Bildschirm einstellen“ die Option „Punktphase“, „Pixel H gesamt“, „Breite“, „H. Position“, „Höhe“ oder „V. Position“ ein.

Bildschirm einstellen

Wenn am Rand von Zeichen und vertikalen Linien zu starke Bildstörungen zu sehen sind oder wenn Bildgröße oder -position nicht geeignet sind, können Sie den Bildschirm einstellen.

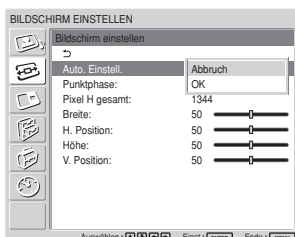
- 1 Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ die Option „Bildschirm einstellen“ aus und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Sie können den Bildschirm automatisch oder manuell einstellen.

Automatisches Einstellen

- (1) Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ die Option „Auto. Einstell.“ aus und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- (2) Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ die Option „OK“ und drücken Sie ENTER.
Alle Optionen des Menüs „Bildschirm einstellen“ werden automatisch eingestellt.

Hinweis

Aufgrund von bestimmten Bildmustern können weiterhin Störungen auftreten, auch wenn Sie Auto. Einstell. verwendet haben. Stellen Sie in diesem Fall die Punktphase manuell ein.

Manuelles Einstellen

- (1) Wählen Sie die einzustellende Option aus und drücken Sie ENTER.
Folgendes erscheint auf dem Bildschirm, wenn Sie „Punktphase“ auswählen.



- (2) Stellen Sie mit $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ die Punktphase oder die Gesamtzahl der horizontalen Pixel so ein, dass die Zeichen und vertikalen Linien optimal dargestellt werden, und drücken Sie dann ENTER.

Punktphase

Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ die Option „Punktphase“ aus und drücken Sie ENTER. Stellen Sie mit $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ die Punktphase ein, so dass die Zeichen und vertikalen Linien optimal angezeigt werden, und drücken Sie dann ENTER.

Hinweis

Diese Option steht nur bei einem analogen Computersignal zur Verfügung.

Pixel H gesamt

Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ die Option „Pixel H gesamt“ aus und drücken Sie ENTER. Stellen Sie mit $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ die Gesamtzahl der horizontalen Pixel ein, so dass die Zeichen und vertikalen Linien optimal angezeigt werden, und drücken Sie dann ENTER. (Alle Optionen im Menü „Bildschirm einstellen“ werden basierend auf der manuell eingestellten Pixel H gesamt automatisch neu eingestellt.)

Hinweis

Diese Option steht nur bei einem analogen Computersignal zur Verfügung.

Breite

Wählen Sie mit **↑/↓** die Option „Breite“ aus und drücken Sie ENTER. Stellen Sie mit **↑/↓/←/→** die Breite des Bildes auf einen Wert zwischen MIN (0) und MAX (100) ein, und drücken Sie dann ENTER.

↑/→: Das Bild wird verbreitert.

↓/←: Das Bild wird horizontal komprimiert.

Wenn Sie die Breite auf den mittleren Wert zurücksetzen wollen, wählen Sie „Auto. Einstell.“.

H. Position

Wählen Sie mit **↑/↓** die Option „H. Position“ aus und drücken Sie ENTER. Stellen Sie mit **↑/↓/←/→** die horizontale Position des Bildes auf einen Wert zwischen MIN (0) und MAX (100) ein, und drücken Sie dann ENTER.

↑/→: Das Bild wird nach rechts verschoben.

↓/←: Das Bild wird nach links verschoben.

Wenn Sie die horizontale Position auf den mittleren Wert zurücksetzen wollen, wählen Sie „Auto. Einstell.“.

Höhe

Wählen Sie mit **↑/↓** die Option „Höhe“ aus und drücken Sie ENTER. Stellen Sie mit **↑/↓/←/→** die Höhe des Bildes auf einen Wert zwischen MIN (0) und MAX (100) ein, und drücken Sie dann ENTER.

↑/→: Das Bild wird vertikal gedehnt.

↓/←: Das Bild wird vertikal komprimiert.

Wenn Sie die Höhe auf den mittleren Wert zurücksetzen wollen, wählen Sie „Auto. Einstell.“.

V. Position

Wählen Sie mit **↑/↓** die Option „V. Position“ aus und drücken Sie ENTER. Stellen Sie mit **↑/↓/←/→** die vertikale Position des Bildes auf einen Wert zwischen MIN (0) und MAX (100) ein, und drücken Sie dann ENTER.

↑/→: Das Bild wird nach oben verschoben.

↓/←: Das Bild wird nach unten verschoben.

Wenn Sie die vertikale Position auf den mittleren Wert zurücksetzen wollen, wählen Sie „Auto. Einstell.“.

Hinweis

Wenn „Seitenverhältnis“ auf „Smart“ gesetzt ist, können Sie Größe bzw. Position des Bildes nicht einstellen.

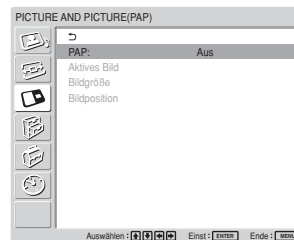
Anzeigen von zwei Bildern gleichzeitig

Sie können zwei Bilder von unterschiedlichen Signalquellen, z. B. von einem Computer und einem Video, nebeneinander anzeigen.

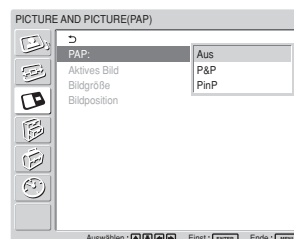
- 1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf „PICTURE AND PICTURE (PAP)“ (Bild und Bild) und drücken Sie ENTER.
Das Menü PICTURE AND PICTURE (PAP) wird auf dem Bildschirm angezeigt.



- 3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf „PAP“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü wird auf dem Bildschirm angezeigt.



- 4** Wählen Sie mit **↑/↓** die Einstellung für den PAP-Modus aus.

Aus: Die PAP-Funktion wird deaktiviert.

P&P: Zwei Bilder werden gleichzeitig nebeneinander angezeigt.

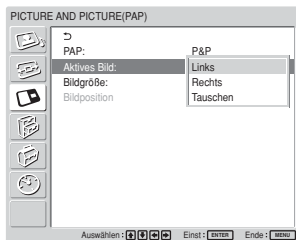
PinP: In das Hauptbild wird ein Zusatzbild eingeblendet.

- 5** Schalten Sie mit **ENTER** zum vorherigen Menü zurück.

Aktivieren eines Bildes oder Tauschen der Position der beiden Bilder

Wenn „P&P“ ausgewählt ist

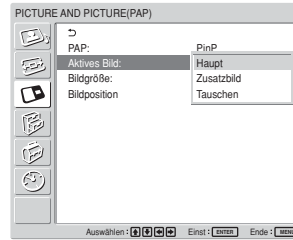
- 1** Stellen Sie den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf „Aktives Bild“ und drücken Sie **ENTER**. Das folgende Menü wird auf dem Bildschirm angezeigt.



- 2** Wählen Sie mit **↑/↓** den Modus „Aktives Bild“ aus und drücken Sie **ENTER**.
Wenn Sie das Menü aufrufen, erscheint der Rahmen um das Bild, für das Sie Einstellungen vornehmen können.
Der Ton zu dem gerade aktiven Bild wird ausgegeben.
Links: Das linke Bild wird aktiviert.
Rechts: Das rechte Bild wird aktiviert.
Tauschen: Die Position der beiden Bilder wird getauscht.
Wenn das Menü nicht angezeigt wird, wird das Bild links durch Drücken von **←** auf der Fernbedienung und das Bild rechts durch Drücken von **→** auf der Fernbedienung aktiviert.

Wenn „PinP“ ausgewählt ist

- 1** Wählen Sie mit **↑/↓** die Option „Aktives Bild“ aus und drücken Sie **ENTER**.
Auf dem Bildschirm erscheint Folgendes.



- 2** Wählen Sie mit **↑/↓** den Modus „Aktives Bild“ aus und drücken Sie **ENTER**.
Wenn Sie das Menü aufrufen, während das Zweitbild aktiviert ist, erscheint der Rahmen um das Zweitbild. Solange das Hauptbild aktiviert ist, erscheint der Rahmen nicht. Der Ton zu dem gerade aktiven Bild wird ausgegeben.
Haupt: Das Hauptbild wird aktiviert.
Zusatzbild: Das Zusatzbild wird aktiviert.
Tauschen: Das Haupt- und das Zusatzbild werden getauscht.
Wenn das Menü nicht angezeigt wird, wird das Hauptbild durch Drücken von **←** auf der Fernbedienung und das Zusatzbild durch Drücken von **→** auf der Fernbedienung aktiviert.

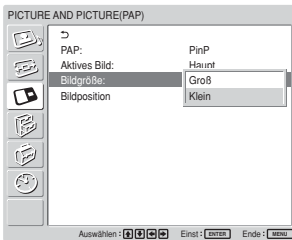
Vergrößern eines Bildes

Wenn „P&P“ ausgewählt ist

- 1** Wählen Sie mit **↑/↓** die Option „Bildgröße“ aus und drücken Sie **ENTER**.
2 Drücken Sie mehrmals **←/→**, um die Bildgröße zu ändern, und drücken Sie dann **ENTER**.

Wenn „PinP“ ausgewählt ist

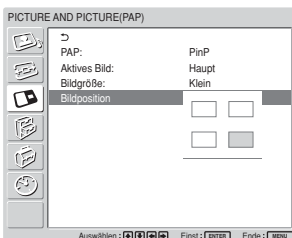
- 1 Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ die Option „Bildgröße“ aus und drücken Sie ENTER.
Auf dem Bildschirm erscheint Folgendes.



- 2 Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ die Größe aus, und drücken Sie dann ENTER.
Groß: Das Zusatzbild wird vergrößert.
Klein: Das Zusatzbild wird verkleinert.

Einstellen der Position des Zusatzbildes (nur bei „PinP“)

- 1 Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ die Option „Bildposition“ aus und drücken Sie ENTER.



- 2 Stellen Sie mit $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ die Position des Zusatzbildes ein, und drücken Sie dann ENTER.

Hinweise

- Sie können nur zwei Bilder anzeigen lassen, wenn „Multi-Display“ auf „Aus“ gesetzt ist.
- Wenn zwei Bilder angezeigt werden, wird mit der Einstellung von „Helligkeit“ und „Kontrast“ die Balance zwischen den beiden Bildern eingestellt.
- Für die Funktion PICTURE AND PICTURE können Sie eine der folgenden Eingangssignalkombinationen auswählen.
- Das Eingangssystem für das Bild rechts oder das Zusatzbild wird oben rechts auf dem Bildschirm angezeigt. Darunter wird das Farbsystem oder die Auflösung/Vertikalfrequenz für das aktive Bild angezeigt.

PC (digital)	+	PC (analog)	PC	+	Video/S-Video
Input1	+	Input2	Input1	+	BKM-FW10
Input1	+	BKM-FW12	Input2	+	BKM-FW10
Input1	+	BKM-FW11			
Input1	+	BKM-FW50			

PC	+	Farbdifferenz	PC (analog)	+	digitales Video
Input1	+	BKM-FW11	Input2	+	Input1
Input1	+	Input2	BKM-FW12	+	Input1
Input2	+	BKM-FW11	BKM-FW11	+	Input1
Input1	+	BKM-FW12			
Input2	+	BKM-FW12			

Video/S-video	+	Farbdifferenz	Farbdifferenz	+	Farbdifferenz (bis zu 480i)
BKM-FW10	+	Input2*	Input2	+	BKM-FW11*
			Input2	+	BKM-FW12*

Digitales Video	+	Farbdifferenz	Digitales Video	+	Video/S-video
Input1	+	BKM-FW11	Input1	+	BKM-FW10
Input1	+	Input2			
Input1	+	BKM-FW12			

Empfohlene Kombinationen

- Bei der mit * markierten Kombination stehen die Funktionen „Untertitel“ und „Auto. Breitbild“ nur bei Eingangssignalen vom BKM-FW10, BKM-FW11 bzw. BKM-FW12 zur Verfügung.
- 2 Filme unterschiedlicher Fernsehsysteme werden möglicherweise aufgrund der Unterschiede im SignalfORMAT nicht korrekt angezeigt.

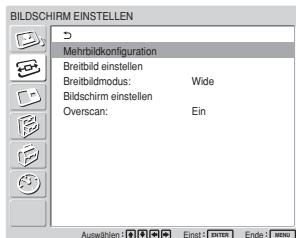
Konfigurieren der Multi-Display

Sie können Einstellungen zum Anschließen mehrerer Monitore vornehmen, um eine Videowand zu bilden.

- 1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



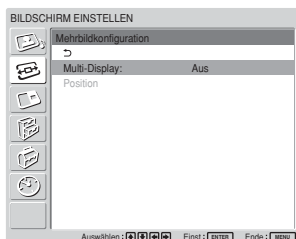
- 2 Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ die Option „BILDSCHIRM EINSTELLEN“ aus und drücken Sie ENTER.
Das Menü BILDSCHIRM EINSTELLEN erscheint auf dem Bildschirm.



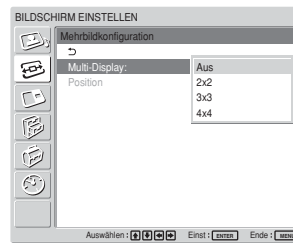
Hinweis

Über „Multi-Display“ können Sie ein vergrößertes Bild anzeigen, für das „Seitenverhältnis“ auf „Wide“ gesetzt wurde.

- 3 Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ die Option „Mehrbildkonfiguration“ aus und drücken Sie ENTER.
Das Menü „Mehrbildkonfiguration“ erscheint auf dem Bildschirm.

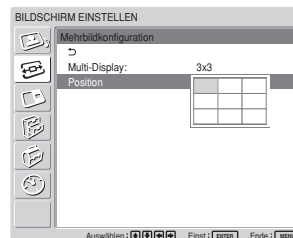


- 4 Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ die Option „Multi-Display“ aus und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

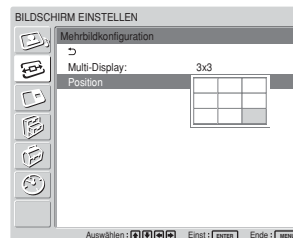


- 5 Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ den Modus aus, der der Anordnung der zu konfigurierenden Videowand entspricht.
Aus: Ein einzelner Bildschirm wird verwendet.
2 x 2 – 4 x 4: Zum Auswählen der für die Videowand zu verwendenden Anordnung.

- 6 Rufen Sie mit ENTER das Menü „Mehrbildkonfiguration“ auf und wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ die Option „Position“ aus.



- 7 Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ die Position dieses Monitors in der Anordnung der Videowand aus.



Wenn Sie beispielsweise die Position rechts unten in einer Anordnung von 3 x 3 auswählen wollen

- 8 Bestätigen Sie mit ENTER die Position.
Das Menü „Mehrbildkonfiguration“ wird wieder angezeigt.

Hinweis

Sie können die Multi-Display nur einstellen, wenn die Funktion „PICTURE AND PICTURE“ deaktiviert ist.

Einstellen der Tonqualität

Wenn die Lautsprecher SS-SP40FW/32FW (nicht mitgeliefert) installiert sind, können Sie die Höhen, die Bässe und die Lautstärkebalance der Lautsprecher (links und rechts) einstellen. Darüber hinaus können Sie den Raumklangmodus einstellen.

Einstellen der Höhen, Bässe, Balance usw.

Rufen Sie mit MENU das Hauptmenü auf dem Bildschirm auf und wählen Sie die Option „Höhen“, „Bässe“, „Balance“ oder „Raumklang“ aus dem Menü „Ton einstellen“.

Setzen Sie „Bildmodus“ auf einen der Werte „Benutz.1“ – „Benutz.3“.

Höhen

Wählen Sie mit **↑/↓** die Option „Höhen“ und drücken Sie ENTER.

Stellen Sie mit **↑/↓/←/→** für die Höhen einen Wert zwischen –50 (Minimum) und 50 (Maximum) ein, und drücken Sie dann ENTER.

↑/→: Die Höhen werden verstärkt.

↓/←: Die Höhen werden abgeschwächt.

Bässe

Wählen Sie mit **↑/↓** die Option „Bässe“ und drücken Sie ENTER.

Stellen Sie mit **↑/↓/←/→** für die Bässe einen Wert zwischen –50 (Minimum) und 50 (Maximum) ein, und drücken Sie dann ENTER.

↑/→: Die Bässe werden verstärkt.

↓/←: Die Bässe werden abgeschwächt.

Balance

Wählen Sie mit **↑/↓** die Option „Balance“ und drücken Sie ENTER.

Stellen Sie mit **↑/↓/←/→** für die Balance einen Wert zwischen 50 (links) und 50 (rechts) ein, und drücken Sie dann ENTER.

↑/→: Die Lautstärke auf der rechten Seite wird erhöht.

↓/←: Die Lautstärke auf der linken Seite wird erhöht.

Raumklang

Wählen Sie je nach Bildtyp den Raumklangmodus aus.

1 Wählen Sie mit **↑/↓** die Option „Raumklang“ und drücken Sie ENTER.

2 Wählen Sie mit **↑/↓** den Raumklangmodus aus und drücken Sie ENTER.

Aus: Kein Raumklang wird ausgegeben.

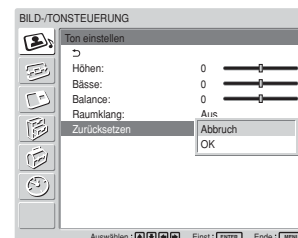
Saal: Die Stereowirkung des Tons wird bei Filmen oder Musiksendungen intensiviert.

Simul.: Bei normalen Mono-Sendungen oder Nachrichtensendungen erzielen Sie mit simuliertem Stereoklang eine bessere Wirkung.

Zurücksetzen der Optionen im Menü Ton einstellen auf die ursprünglichen Werte

1 Stellen Sie im Menü Ton einstellen den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf „Zurücksetzen“ und drücken Sie ENTER.

Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf „OK“ und drücken Sie ENTER.

Die Optionen im Menü Ton einstellen werden auf die werkseitigen Werte zurückgesetzt.

So brechen Sie das Zurücksetzen ab

Drücken Sie MENU, bevor Sie ENTER drücken.

Sie können mit **↑/↓** auch „Abbruch“ auswählen und dann ENTER drücken.

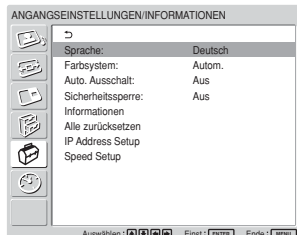
Auswählen der Menüsprache

Sie können als Sprache für die Bildschirmanzeigen Japanisch, Englisch, Deutsch, Französisch, Spanisch oder Italienisch auswählen.

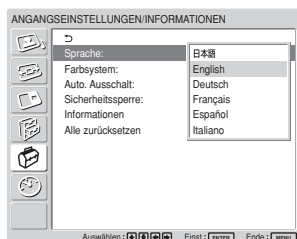
- 1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf „ANGANGSEINSTELLUNGEN/ INFORMATIONEN“ und drücken Sie ENTER.
Das Menü ANGANGSEINSTELLUNGEN/ INFORMATIONEN erscheint auf dem Bildschirm.



- 3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf „Sprache“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 4 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf die gewünschte Sprache und drücken Sie ENTER.
Nun erscheinen die Bildschirmmenüs in der ausgewählten Sprache.

日本語: Japanisch

English: Englisch

Deutsch: Deutsch

Français: Französisch

Español: Spanisch

Italiano: Italienisch

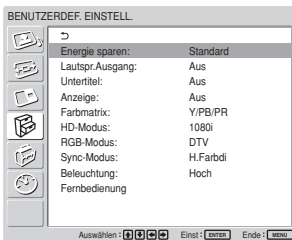
Einstellen der Farbmatrix

Sie können die Farbmatrix so einstellen, dass die Bilder in natürlichen Farben angezeigt werden, wenn ein Signal im Signalformat 480I (525I), 480P (525P), 1080I (1125I) oder 720P (750P) am Farbdifferenzierungssignaladapter eingespeist wird.

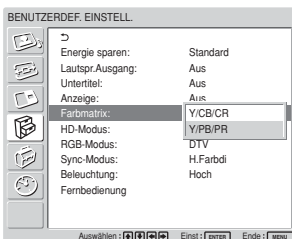
- 1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit $\uparrow/\downarrow$ auf „BENUTZERDEF. EINSTELL.“ und drücken Sie ENTER.
Das Menü BENUTZERDEF. EINSTELL. erscheint auf dem Bildschirm.



- 3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit $\uparrow/\downarrow$ auf „Farbmatrix“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 4 Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ die Farbmatrix aus.
Y/CB/CR: Beim Signalformat 480I oder 480P.
Y/PB/PR: Beim Signalformat 1080I oder 720P.

Einzelheiten zur richtigen Einstellung schlagen Sie bitte in der Bedienungsanleitung zum jeweiligen Gerät nach.

- 5 Schalten Sie mit ENTER zum vorherigen Menü zurück.

Automatisches Steuern des Ein-/Ausschaltens (Ein-/Ausschaltautomatik)

Sie können die Uhrzeit einstellen, so dass die aktuelle Uhrzeit angezeigt wird, und Sie können eine Zeit einstellen, zu der sich das Gerät automatisch ein- bzw. ausschalten soll (Funktion Ein/Aus-Timer).

Einstellen von Uhrzeit und Wochentag

- 1 Stellen Sie im Menü TIMER/UHR den Cursor (gelb) mit $\uparrow/\downarrow$ auf „Uhr einstellen“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü wird angezeigt und die Hintergrundfarbe der Uhrzeit wechselt zu gelb.



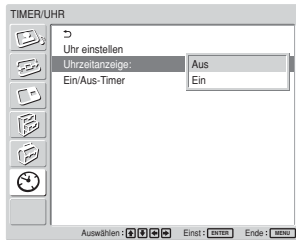
- 2 Stellen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ die Stunde ein und drücken Sie ENTER.
Damit ist die Einstellung für die Stunde eingegeben und die Minuten werden mit gelbem Hintergrund angezeigt.
- 3 Stellen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ die Minuten ein und drücken Sie ENTER.
Die Minuten sind damit eingestellt und der Hintergrund des Wochentags wird gelb angezeigt.
- 4 Stellen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ den Wochentag ein und drücken Sie ENTER.
Der Wochentag ist damit eingestellt und der vorherige Bildschirm wird wieder angezeigt.
- 5 Drücken Sie MENU.
Der Monitor schaltet wieder zur normalen Anzeige. Wenn Sie weitere Einstellungen vornehmen oder Einstellungen erneut vornehmen müssen, gehen Sie wieder wie ab Schritt 1 erläutert vor.

Hinweis

Wenn die eingebaute Uhr nachgeht, ist der interne Akku möglicherweise erschöpft. Wenden Sie sich bitte an einen autorisierten Sony-Händler, um den Akku austauschen zu lassen.

Anzeigen der Uhrzeit

- 1 Stellen Sie im Menü **TIMER/UHR** den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf „Uhrzeitanzeige“ und drücken Sie **ENTER**.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Wählen Sie mit **↑/↓** die Option „Ein“ aus, und drücken Sie dann **ENTER**.
Wenn das Menü nicht mehr angezeigt wird, erscheint die Uhr in der rechten unteren Ecke des Bildschirms.

Wenn Sie die Taste **DISPLAY** auf der Fernbedienung drücken, werden das gerade eingespeiste Signal und der Bildmodus angezeigt.

Wenn diese Informationen etwa 5 Sekunden lang ungestört mit der Uhrzeit angezeigt werden, werden sie automatisch ausgeblendet.

„Uhrzeitanzeige: Ein“ bleibt gespeichert, auch wenn das Gerät ausgeschaltet wird.

Timer-Funktion zum Ein-/Ausschalten

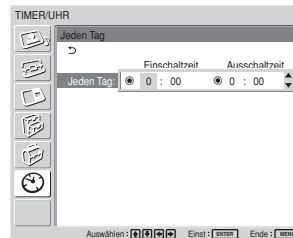
- 1 Stellen Sie im Menü **TIMER/UHR** den Cursor (gelb) mit den Tasten **↑/↓** auf „Ein/Aus-Timer“ und drücken Sie **ENTER**.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Wählen Sie mit **↑/↓** die Option „Jeden Tag“ oder „Wochentag“ aus und drücken Sie **ENTER**.
Wenn „Wochentag“ ausgewählt ist, können Sie eine bestimmte Zeit für die einzelnen Wochentage einstellen.
Wenn Sie „Jeden Tag“ auswählen, wird folgender Bildschirm angezeigt.



- 3 Zum Einstellen der Einschaltzeit wechseln Sie mit **↑/↓** von ☐ zu ☒ und drücken **ENTER**.



- 4 Stellen Sie mit **↑/↓** die „Einschaltzeit“ ein und drücken Sie **ENTER**.

Die Stunden werden eingestellt und der Hintergrund der Minutenangabe wird gelb angezeigt.

- 5 Stellen Sie mit **↑/↓** die Minuten ein und drücken Sie **ENTER**.

- 6 Gehen Sie zum Einstellen der Ausschaltzeit wie für die Einschaltzeit erläutert vor.

- 7 Drücken Sie **ENTER**.
„Ein/Aus-Timer“ ist eingestellt.

Hinweise

- Die Uhrzeit ist werkseitig nicht eingestellt, daher wird „-- : --“ statt der Uhrzeit angezeigt.
- Die für „Jeden Tag“ eingestellte Uhrzeit gilt auch bei „Wochentag“.
Wenn Sie die Uhrzeit für „Wochentag“ einstellen, wird die Einstellung von „Jeden Tag“ deaktiviert.

Einstellen der Sicherheitssperre

Der Monitor ist mit einer Funktion zur Sicherheitssperre ausgestattet. Wenn die Sicherheitssperre aktiviert ist, wird der Benutzer beim Einschalten des Monitors dazu aufgefordert, ein Passwort einzugeben. Das Bild wird erst angezeigt, wenn das richtige Passwort eingegeben wird. Davor können Sie den Monitor nicht verwenden.

Hinweis

Denken Sie bitte daran, wenn Sie diese Funktion verwenden. Es empfiehlt sich, das Passwort für den Monitor zu notieren und an einem sicheren Ort zu hinterlegen. Wenn Sie das Passwort vergessen haben, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Fachpersonal von Sony.

So aktivieren Sie die Sicherheitssperre

- 1 Drücken Sie MENU und setzen Sie „Sicherheitssperre“ im Menü ANFANGSEINSTELLUNGEN/INFORMATIONEN auf „Ein“.
- 2 Geben Sie ein Passwort ein. Geben Sie mit MENU, ↑/↓, ENTER ein vierstelliges Passwort ein. „ENTER, ENTER, ENTER, ENTER“ ist werkseitig als Passwort eingestellt. Drücken Sie also viermal ENTER, wenn Sie diese Funktion zum ersten Mal verwenden.



Auf dem Bildschirm erscheint ein Dialogfeld, in dem Sie zum Eingeben eines neuen Passworts aufgefordert werden.

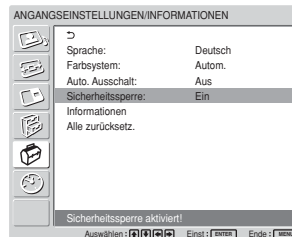
Geben Sie hier ein Passwort ein, auch wenn Sie das aktuelle Passwort weiter verwenden wollen. Geben Sie das Passwort in das Dialogfeld ein.



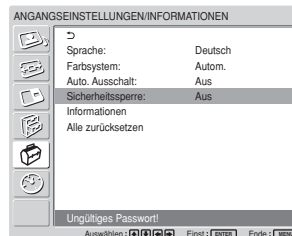
- 3 Geben Sie das Passwort zum Bestätigen erneut ein.



Die Einstellung ist abgeschlossen, wenn die folgende Meldung erscheint.



Wenn „Ungültiges Passwort!“ auf dem Menübildschirm erscheint, beginnen Sie nochmals mit Schritt 1.



- 4 Wenn Sie die Schritte oben ausgeführt haben, schalten Sie den Monitor aus und ziehen das Netzkabel heraus, um die Einstellung in Kraft zu setzen. Wenn Sie den Monitor das nächste Mal einschalten, wird die Sicherheitssperre aktiviert und das Dialogfeld mit der Aufforderung zum Eingeben des Passworts erscheint.

Sicherheitsauthentifizierung

Geben Sie das für den Monitor definierte Passwort ein, wenn das Dialogfeld mit der Aufforderung zum Eingeben des Passworts erscheint.

Wenn Sie dreimal das falsche Passwort eingeben, können Sie den Monitor nicht mehr bedienen. Schalten Sie den Monitor in diesem Fall mit dem Schalter ⏻POWER aus.

So deaktivieren Sie die Sicherheitssperre

Drücken Sie MENU und setzen Sie „Sicherheitssperre“ im Menü ANFANGSEINSTELLUNGEN/INFORMATIONEN auf „Aus“.

Einstellen von IP-Adresse und Kommunikationsgeschwindigkeit

Wenn ein gesondert erhältlicher Adapter mit Kommunikationsfunktion, wie z. B. ein BKM-FW32 oder BKM-FW50, im OPTION1-Anschlussbereich installiert ist, stellen Sie eine IP-Adresse und die Kommunikationsgeschwindigkeit ein, um den Monitor über das Netzwerk zu steuern.

Hinweis

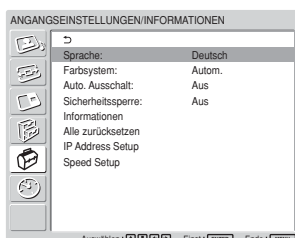
Zum Einstellen der IP-Adresse und der Kommunikationsgeschwindigkeit wählen Sie „Execute“ und drücken ENTER.
Wenn die Einstellung erfolgreich abgeschlossen wurde, wird „Done“ angezeigt.
Wird die Einstellung nicht korrekt vorgenommen, so wird ein Fehlercode angezeigt. Überprüfen Sie in diesem Fall die Einstellungen und versuchen Sie es erneut.

Automatisches Beziehen einer IP-Adresse (DHCP)

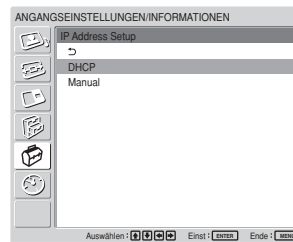
- 1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



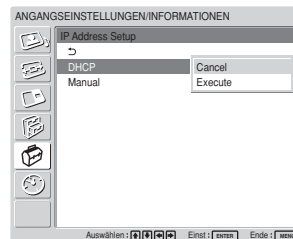
- 2 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „ANFANGSEINSTELLUNGEN/ INFORMATIONEN“ aus und drücken Sie ENTER.
Das Menü „ANFANGSEINSTELLUNGEN/ INFORMATIONEN“ erscheint auf dem Bildschirm.



- 3 Wählen Sie mit ↑/↓ die Option „IP Address Setup“ aus und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 4 Wählen Sie mit ↑/↓ „DHCP“ aus und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



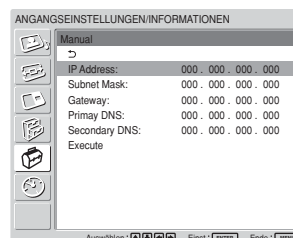
- 5 Wählen Sie mit ↑/↓ „Execute“ aus und drücken Sie ENTER.
Eine IP-Adresse wird automatisch zugewiesen.

Hinweis

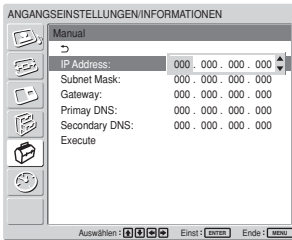
Wenn Sie mit DHCP automatisch eine IP-Adresse beziehen, kann sich die IP-Adresse bei jedem Aus- und Einschalten des Monitors unterscheiden.

Manuelles Einstellen einer IP-Adresse (Manual)

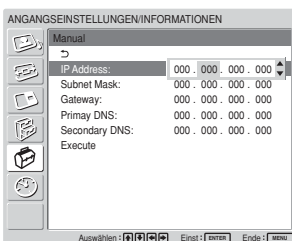
- 1 Wählen Sie in Schritt 4 unter „Automatisches Beziehen einer IP-Adresse (DHCP)“ die Option „Manual“ und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü wird auf dem Bildschirm angezeigt.



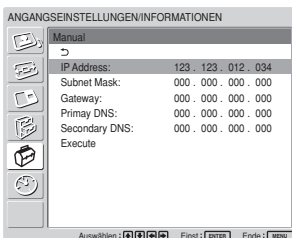
- 2** Wählen Sie mit **↑/↓** die manuell einzustellende Option aus und drücken Sie **ENTER**.



- 3** Geben Sie mit **↑/↓** am Monitor oder mit den Zahlentasten auf der Fernbedienung drei Ziffern (0 bis 255) in das erste Feld ein und drücken Sie **ENTER** oder **→**.
Der Cursor bewegt sich zum nächsten Feld.



- 4** Geben Sie in jedes der vier Felder drei Ziffern (0 bis 255) ein und drücken Sie **ENTER**.
Das folgende Menü wird auf dem Bildschirm angezeigt.



- 5** Wählen Sie die nächste manuell einzustellende Option mit **↑/↓** aus, gehen Sie wie in den Schritten oben erläutert vor und drücken Sie **ENTER**.
- 6** Nachdem Sie die Werte für alle gewünschten Optionen eingestellt haben, wählen Sie mit **↑/↓** „Execute“ aus und drücken dann **ENTER**.
Wählen Sie „OK“ und drücken Sie **ENTER**.
Die manuelle Einstellung der IP-Adresse ist damit abgeschlossen.

Hinweis

Wenn die IP-Adresse nicht korrekt eingestellt wird, werden je nach Ursache des Fehlers die folgenden Fehlercodes angezeigt.

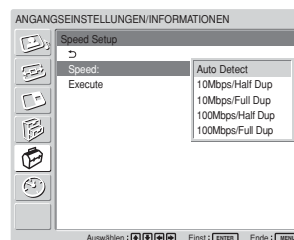
- Fehler 1** Kommunikationsfehler zwischen dem Monitor und einem gesondert erhältlichen Adapter, wie z. B. BKM-FW32 oder BKM-FW50
- Fehler 2** Die angegebene IP-Adresse wird bereits für ein anderes Gerät verwendet.
- Fehler 3** Fehler in der IP-Adresse
- Fehler 4** Fehler in der Gateway-Adresse
- Fehler 5** Fehler in der primären DNS-Adresse
- Fehler 6** Fehler in der sekundären DNS-Adresse
- Fehler 7** Fehler in der Subnetzmaske

Einstellen der Kommunikationsgeschwindigkeit

- 1** Wählen Sie im Menü **ANFANGSEINSTELLUNGEN/INFORMATIONEN** mit **↑/↓** die Option „Speed Setup“ und drücken Sie **ENTER**.



- 2** Drücken Sie **ENTER**, wählen Sie mit **↑/↓** die Kommunikationsgeschwindigkeit aus und drücken Sie erneut **ENTER**.
Wählen Sie „Auto Detect“, wenn die geeignete Kommunikationsgeschwindigkeit für Ihre Netzwerkkonfiguration automatisch erkannt werden soll.



- 3** Wählen Sie „Execute“ und drücken Sie **ENTER**.
Wählen Sie „OK“ und drücken Sie **ENTER**.
Das Einstellen der Kommunikationsgeschwindigkeit ist damit abgeschlossen.

Selbstdiagnosefunktion

Das Gerät verfügt über eine Selbstdiagnosefunktion. Damit wird der Zustand des Monitors anhand der Art des Blinkens der Anzeige POWER/STANDBY angegeben. Die Art des Blinkens gibt Auskunft über den aktuellen Zustand des Monitors.

Wenn die Anzeige POWER/STANDBY blinkt, sehen Sie nach, wie oft sie blinkt, und wenden Sie sich an Ihren autorisierten Sony-Händler.

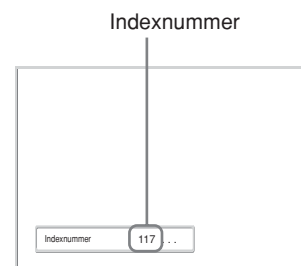
- 1** Sehen Sie nach, wie die Anzeige POWER/STANDBY blinkt.
Die Anzeige blinkt (und ein Bild wird auf dem Monitor angezeigt) oder die Anzeige blinkt in Intervallen von drei Sekunden (und kein Bild wird auf dem Monitor angezeigt).
Zählen Sie, wie oft die Anzeige in Intervallen von drei Sekunden blinkt. Die Anzeige kann zum Beispiel zweimal blinken, es folgt eine Pause von drei Sekunden und dann wieder zweimal blinken usw. In diesem Fall blinkt die Anzeige zweimal.

- 2** Ziehen Sie den Netzstecker des Geräts aus der Netzsteckdose.
Wenden Sie sich mit der Anzahl des Blinkens an einen autorisierten Sony-Händler.

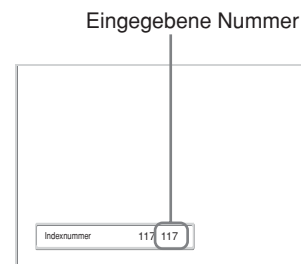
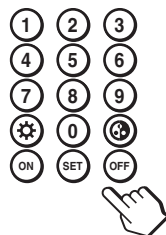
Steuern eines bestimmten Monitors über die Fernbedienung

Mit der mitgelieferten Fernbedienung können Sie einen bestimmten Monitor steuern, ohne die anderen, ebenfalls angeschlossenen Monitore zu beeinflussen.

- 1** Drücken Sie die Taste ID MODE ON auf der Fernbedienung.
Monitorindexnummern werden als schwarze Zeichen links unten auf dem Bildschirm angezeigt. Jedem Monitor ist werkseitig eine eigene Indexnummer zwischen 1 und 255 zugeordnet.
Näheres dazu finden Sie unter „So ändern Sie die Indexnummer“ auf Seite 43 (DE).



- 2** Geben Sie mit den Tasten 0 – 9 auf der Fernbedienung die Indexnummer des Monitors ein, den Sie steuern wollen.
Die eingegebene Nummer erscheint rechts neben der Indexnummer der einzelnen Monitore.



- 3** Drücken Sie ID MODE SET.
Die Zeichen auf dem ausgewählten Monitor werden nun grün angezeigt, die auf den anderen Monitoren rot.



Sie können nur den mit grünen Zeichen angegebenen Monitor bedienen.
(Das Einschalten bzw. das Schalten in den Bereitschaftsmodus wirkt sich allerdings auch auf die anderen Monitore aus.)

- 4** Nachdem Sie alle Einstellungen geändert haben, drücken Sie die Taste ID MODE OFF.
Der Monitor schaltet wieder in den normalen Modus.



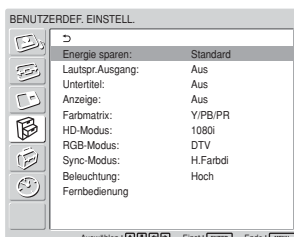
So ändern Sie die Indexnummer

Sie können die Indexnummer gegebenenfalls ändern.
Verwenden Sie zum Ändern der Nummer die Tasten am Steuertastenbereich des Monitors.
Sie können die Indexnummer nicht mit der Fernbedienung ändern.

- 1** Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2** Wählen Sie „BENUTZERDEF. EINSTELL.“ und drücken Sie ENTER.
Auf dem Bildschirm erscheint Folgendes.



- 3** Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow$ die Option „Fernbedienung“ aus und drücken Sie ENTER.
Das Menü „Fernbedienung“ erscheint auf dem Bildschirm.



- 4** Wählen Sie die Indexnummer mit $\uparrow/\downarrow$ aus und drücken Sie ENTER.
- 5** Stellen Sie die Indexnummer mit $\uparrow/\downarrow$ ein und drücken Sie ENTER.
Nun erscheint wieder das Menü „Fernbedienung“.

Technische Daten

Bildverarbeitung

Voreingestelltes Signal

siehe Seite 23 (DE)

Abtastrate 13,5 MHz bis 140 MHz

Bildschirmsystem LCD-Bildschirm mit a-Si-TFT-Aktivmatrix

Anzeigaauflösung 1366 Punkte (horizontal) × 768 Zeilen (vertikal)

FWD-40LX1:

Pixelgröße 0,648 (horizontal) × 0,648 (vertikal) mm

Bildgröße 885 (horizontal) × 498 (vertikal) mm

Bildschirmgröße 40 Zoll, Diagonale 1.016 mm

FWD-32LX1R:

Pixelgröße 0,510 (horizontal) × 0,510 (vertikal) mm

Bildgröße 698 (horizontal) × 392 (vertikal) mm

Bildschirmgröße 32 Zoll, Diagonale 801 mm

Eingänge und Ausgänge

INPUT1

DVI DVI (Konform mit der DVI-Spezifikation Rev. 1.0)

AUDIO Stereominibuchse (×1)
500 mV effektiver Mittelwert,
hohe Impedanz

INPUT2

RGB/COMPONENT
D-Sub, 15-polig (weiblich) (×1)
(siehe „Stiftbelegung“ auf Seite 45 (DE))

AUDIO Stereominibuchse (×1)
500 mV effektiver Mittelwert,
hohe Impedanz

CONTROL S IN/OUT

Minibuchse (×2)

AUDIO OUT

Stiftbuchse (×2)
500 mV effektiver Mittelwert,
hohe Impedanz

REMOTE (RS-232C)

9-poliger D-Sub-Anschluss (×1)

SPEAKER

7 W + 7 W (6 Ohm), direkte
unsymmetrische Impedanz:
6 – 16 Ohm

VIDEO-/S VIDEO-Ein-/Ausgangsadapter BKM-FW10

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N)

VIDEO IN BNC-Anschluss (×1)
FBAS-Videosignal, 1 Vp-p ±2 dB,
sync-negativ, 75 Ohm
(automatischer Anschluss)

VIDEO OUT BNC-Durchschleifanschluss (×1)

S VIDEO IN Mini-DIN, 4-polig (×1)
Y-Signal (Luminanz): 1 Vp-p
±2 dB, sync-negativ, 75-Ohm-
Abschlusswiderstand
C-Signal (Chrominanz): Burst
0,286 Vp-p ±2 dB (NTSC),
75-Ohm-Abschlusswiderstand
Burst 0,3 Vp-p ±2 dB (PAL),
75-Ohm-Abschlusswiderstand

S VIDEO OUT Mini-DIN-Durchschleifanschluss,
4-polig (×1)

AUDIO IN Stiftbuchse (×2)
500 mV effektiver Mittelwert,
hohe Impedanz

Allgemeines

Betriebsspannung
100 bis 240 V Wechselstrom,
50/60 Hz
FWD-40LX1:
2,5 A bis 1,2 A
FWD-32LX1R:
1,7 A bis 0,8 A

Leistungsaufnahme
FWD-40LX1: 220 W
FWD-32LX1R: 150 W

Betriebsbedingungen
Temperatur: 0 bis +35 °C
Luftfeuchtigkeit: 20 bis 90%
(nicht kondensierend)

Lager-/Transportbedingungen
Temperatur: –10 °C bis +40 °C
Luftfeuchtigkeit: 20 bis 90%
(nicht kondensierend)

Abmessungen	Modell mit Acryl-Blende
	FWD-40LX1: 994 × 597 × 125 mm FWD-32LX1R: 802 × 492 × 107 mm
	Modell mit Nicht-Acryl-Blende
	FWD-40LX1: 988 × 591 × 125 mm FWD-32LX1R: 796 × 486 × 107 mm (B/H/T, ohne vorstehende Teile)
Gewicht	Modell mit Acryl-Blende
	FWD-40LX1: 27,5 kg FWD-32LX1R: 17,5 kg
	Modell mit Nicht-Acryl-Blende
	FWD-40LX1: 26,7 kg FWD-32LX1R: 16,7 kg

Mitgeliefertes Zubehör

Netzkabel (1)
 Netzsteckerhalter (2)
 Kabelhalter FWD-40LX1: (4)
 FWD-32LX1R: (6)
 Digitales RGB-Signalkabel
 (DVI-D) (einfache Verbindung)
 (1)
 Komponentenvideokabel
 (D-Sub, 15-polig - Cinch×3) (1)
 BNC-Cinch-Adapter (1)
 Fernbedienung RM-980 (1)
 R03-Batterien der Größe AAA (2)
 Bedienungsanleitung (1)

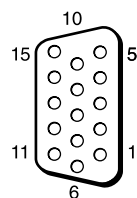
Gesondert erhältliches Zubehör

Monitorständer SU-42FW/32FW
 Lautsprecher SS-SP40FW/32FW
 Optionale Adapter zur
 Systemerweiterung, BKM-FW-
 Serie

Sicherheitsbestimmungen

UL1950, CSA Nr. 950 (c-UL),
 FCC Klasse B, IC Klasse B,
 EN60 950 (NEMKO), CE, C-
 Tick

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen,
bleiben vorbehalten.

Stiftbelegung**Anschluss RGB/COMPONENT (D-Sub, 15-polig)**

Stift Nr.	Signal
1	Videosignal Rot oder C _R /P _R
2	Videosignal Grün oder Y oder Grünsignal mit Synchronisation
3	Videosignal Blau oder C _B /P _B
4	Masse
5	Masse
6	Masse Rot
7	Masse Grün
8	Masse Blau
9	Nicht belegt
10	Masse
11	Masse
12	SDA
13	Horizontales Synchronisationssignal oder FBAS-Videosignal
14	Vertikales Synchronisationssignal
15	SCL

ADVERTENCIA

Nombre del producto : Pantalla de panel plano

Modelo : FWD-40LX1/32LX1R

Para reducir el riesgo de incendios o electrocución, no exponga este aparato a la lluvia ni a la humedad.

Presencia de alta tensión peligrosa en el interior de la unidad. No abra el aparato. Solicite asistencia técnica sólo a personal especializado.

Durante el transporte

Cuando transporte el monitor, sostenga la unidad, no los altavoces. Si no lo hace, los altavoces podrían separarse de la unidad y ésta podría caerse. Esto podría causar daños.

La toma mural debe estar instalada cerca del equipo y debe accederse a ésta con facilidad.

PRECAUCIÓN

EXISTE RIESGO DE EXPLOSIÓN SI SE SUSTITUYE LA BATERÍA POR OTRA DE UN TIPO INCORRECTO. DESECHE LAS BATERÍAS USADAS SIGUIENDO LA NORMATIVA LOCAL.

Precauciones	5 (ES)
Ubicación y función de componentes y controles ..	7 (ES)
Parte frontal / Parte posterior / Parte lateral	7 (ES)
Sección de indicadores	8 (ES)
Sección de botones de control (parte superior)	8 (ES)
Panel de conectores	9 (ES)
Control remoto RM-980	11 (ES)
Precaución	13 (ES)
Conexiones	14 (ES)
Conexión de los altavoces	14 (ES)
Conexión del cable de alimentación de ca	14 (ES)
Administración de cables	15 (ES)
Uso de los menús en pantalla	16 (ES)
Empleo mediante menús	16 (ES)
Guía de los menús	16 (ES)
Visualización de la imagen	21 (ES)
Conmutación de la señal de entrada	21 (ES)
Información sobre la señal de entrada, el modo de imagen y el estado de la visualización	22 (ES)
Selección de la calidad de imagen	24 (ES)
Ajuste de la imagen	24 (ES)
Ajuste del contraste, brillo, crominancia, fase, etc. ..	24 (ES)
Restauración de los valores originales de los elementos del menú Ajuste imagen	27 (ES)
Ampliación de imágenes	27 (ES)
Ajuste Panorámico auto	28 (ES)
Ajuste del Modo panorámico	29 (ES)
Cambio del tamaño y posición de la imagen	30 (ES)
Ajuste del tamaño, posición o los píxeles de la imagen	30 (ES)
Visualización de dos imágenes a la vez	32 (ES)
Activación de una imagen o intercambio de posición de dos imágenes	32 (ES)
Ampliación de una imagen	33 (ES)
Ajuste de la posición de la imagen del recuadro (sólo para PinP)	33 (ES)

Configuración de Pantalla Múltiple	34 (ES)
Ajuste de la calidad del sonido	35 (ES)
Ajuste de agudos, graves y equilibrio, etc.	35 (ES)
Restauración de los elementos del menú de Ajuste sonido a su ajuste original	35 (ES)
Selección del idioma en pantalla	36 (ES)
Ajuste de la matriz de colores	37 (ES)
Control automático de la alimentación (función de temporizador)	37 (ES)
Ajuste de la hora y el día	37 (ES)
Visualización de la hora	38 (ES)
Función temporizador act/des	38 (ES)
Configuración del bloqueo de seguridad	39 (ES)
Para activar el bloqueo de seguridad	39 (ES)
Autenticación de seguridad	39 (ES)
Para desactivar el bloqueo de seguridad	39 (ES)
Ajuste de una dirección IP y de la velocidad de comunicación	40 (ES)
Obtención de una dirección IP automáticamente (DHCP)	40 (ES)
Ajuste manual de una dirección IP (manual)	40 (ES)
Ajuste de una velocidad de comunicación	41 (ES)
Función de autodiagnóstico	42 (ES)
Empleo de una pantalla específica con el Control remoto	42 (ES)
Especificaciones	44 (ES)

Precauciones

Seguridad

- Una placa de identificación que indica la tensión de funcionamiento, consumo de energía, etc. se encuentra en la parte posterior de la unidad.
- Si se introduce algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y haga que sea examinada por personal especializado antes de volver a utilizarla.
- Desenchufe la unidad de la toma mural si no va a utilizarla durante varios días o más.
- Para desconectar el cable de alimentación de ca, tire del enchufe. No tire nunca del propio cable.
- Para instalar la unidad en el suelo, asegúrese de utilizar el soporte opcional.

Instalación

- Con el fin de evitar el recalentamiento interno de la unidad, permita que reciba una ventilación adecuada. No la coloque sobre superficies (alfombras, mantas, etc.) ni cerca de materiales (cortinas, tapices) que puedan bloquear los orificios de ventilación.
- No instale la unidad en un lugar cerca de fuentes de calor como radiadores o salidas de aire caliente, ni en lugares expuestos a la luz solar directa, polvo excesivo o vibraciones o golpes mecánicos.
- Al instalar múltiples equipos con la unidad, pueden producirse problemas como un funcionamiento defectuoso del Control remoto, ruido de imagen o sonido, etc., según la posición de la unidad y de los demás equipos.

Panel de cristal líquido

- Es posible que aparezcan en la pantalla algunos puntos brillantes rojos, azules o verdes o puntos oscuros. Esto no indica un fallo de funcionamiento. A pesar de que el panel de cristal líquido está fabricado con tecnología de alta precisión, puede crear algunos píxeles oscuros o brillantes.
- El panel de cristal líquido puede dañarse si se deja orientado al sol durante un período de tiempo prolongado. Téngalo en cuenta cuando instale la unidad en el exterior o cerca de una ventana.
- No presione ni raye el panel, ni coloque objetos pesados encima de él, ya que podría provocar irregularidades en la pantalla o producir un fallo en el funcionamiento del panel de cristal líquido.
- Es posible que la pantalla se vea más oscura o se produzca una imagen residual al utilizar la unidad en un ambiente más frío. Esto no indica un fallo de funcionamiento. La pantalla volverá a funcionar con normalidad cuando la temperatura aumente.

- Si visualiza la misma imagen durante un período largo de tiempo, es posible que se produzcan imágenes espectrales, aunque éstas desaparecerán a medida que transcurra el tiempo.
- La superficie del panel o la unidad pueden calentarse durante su uso. No se trata de un fallo de funcionamiento.

Limpieza del monitor

Superficie del panel

- Asegúrese de desenchufar el cable de alimentación antes de limpiar el monitor.
- La superficie del panel de cristal líquido tiene un acabado especial. Procure no tocar la pantalla de cristal líquido. Cuando limpie la superficie del panel, elimine las manchas con un paño suave y seco.
- No utilice nunca alcohol, bencina o disolventes para limpiarlo, ya que pueden dañar el acabado de la superficie del panel.
- Cuando utilice para la limpieza un paño tratado químicamente, siga las instrucciones.
- Si pulveriza la unidad con disolventes volátiles (como insecticidas) o deja que esté en contacto durante un período de tiempo prolongado con productos de caucho o plástico, puede eliminar el revestimiento o estropear la unidad.

Unidad

- Limpie las manchas con cuidado con un paño suave y seco. Las manchas difíciles se pueden eliminar con un paño ligeramente humedecido con una solución de detergente neutro; a continuación, limpie el área con un paño seco y suave.
- No utilice nunca alcohol, bencina o disolventes para limpiarlo, ya que pueden dañar el acabado de la unidad o eliminar las marcas que presenta.

Acerca de la manipulación y la limpieza de la pantalla

La pantalla de este aparato requiere una serie de cuidados especiales de manipulación y limpieza. Para limpiar, utilice un paño de limpieza a fin de evitar tocar directamente el panel.

Embalaje

Conserve la caja y los materiales de embalaje, ya que son ideales para transportar la unidad. Al trasladar la unidad, embálela tal como se indica en la caja.

Si desea realizar alguna consulta referente a la unidad, póngase en contacto con un proveedor Sony autorizado.

Tratamiento de equipos eléctricos y electrónicos de uso comercial al final de su vida útil (aplicable en la Unión Europea y en países europeos con sistemas de recogida selectiva de residuos)



Este símbolo en su equipo o su embalaje indica que el presente producto no puede ser tratado como residuos domésticos normales. En su lugar, deben entregarse conforme al correspondiente plan de recogida para el reciclaje de equipos eléctricos y electrónicos. Asegurándose de que este producto es desechado

correctamente, Ud. ayuda a prevenir las consecuencias negativas para el medio ambiente y la salud humana que podrían derivarse de la incorrecta manipulación de este producto. El reciclaje de materiales ayuda a conservar las reservas naturales. Para obtener información detallada sobre el reciclaje de este producto, contacte con su oficina local de Sony o visite la página Web europea de Sony para empresas: <http://www.sonybiz.net/environment>

Advertencia sobre la conexión de la alimentación

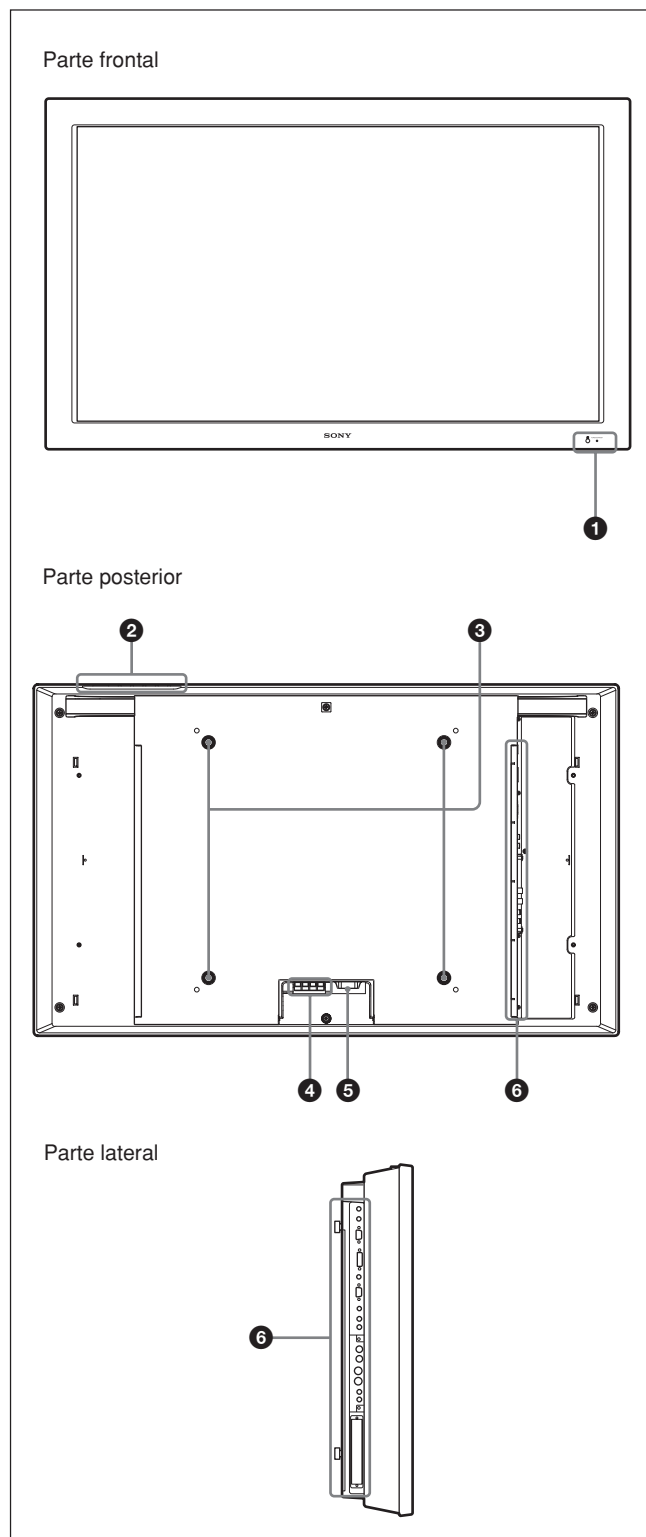
Utilice un cable de alimentación adecuado al suministro eléctrico local.

	Estados Unidos, Canadá	Europa continental	Reino Unido, Irlanda, Australia, Nueva Zelanda	Japón
Tipo de enchufe	VM0233	COX-07 636	— ^{a)}	VM1296
Extremo hembra	VM0089	COX-02 VM0310B	VM0303B	VM1313
Tipo de cable	SVT	H05VV-F	CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Valor nominal mínimo del juego de cables	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/125V
Aprobación de seguridad	UL/CSA	VDE	VDE	DENAN-HO

a) Nota: Utilice un enchufe de valor nominal adecuado que cumpla con las regulaciones locales.

Ubicación y función de componentes y controles

Parte frontal / Parte posterior / Parte lateral



1 Sección de indicadores

Para obtener más información sobre la sección de indicadores, consulte "Sección de indicadores" en la página 8 (ES).

2 Sección de botones de control

Para obtener más información sobre la sección de botones de control, consulte "Sección de botones de control (parte superior)" en la página 8 (ES).

3 Ganchos de instalación del soporte

Utilice estos ganchos para instalar el soporte (no suministrado).

4 Toma SPEAKER (Salida de audio)

El componente audio de la señal que se muestra en pantalla se emite cuando se conectan a esta toma altavoces vendidos por separado.

5 Toma ~ ca IN

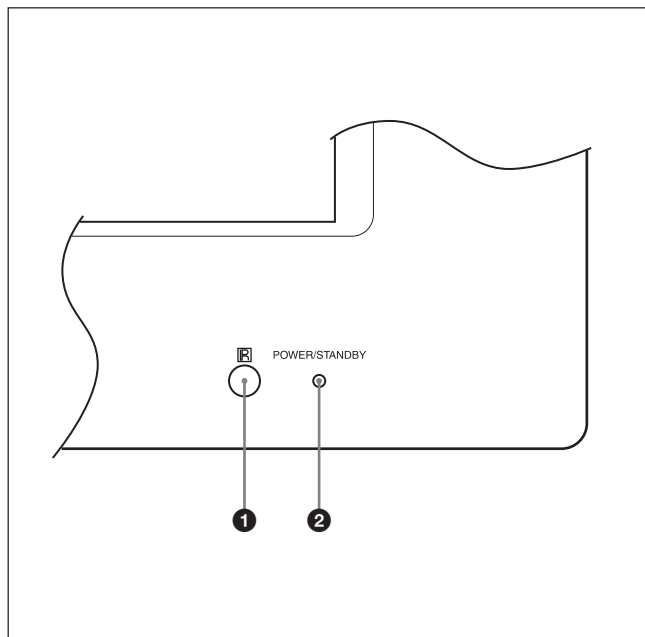
Conecte el cable de alimentación de ca suministrado a esta toma y a una toma mural. Una vez conectado el cable de alimentación de ca, el indicador POWER/STANDBY se ilumina en color rojo y el monitor cambia al modo de espera.

Si desea obtener más información acerca del cable de alimentación, consulte "Conexión del cable de alimentación de ca" en la página 14 (ES).

6 Panel de conectores

Para obtener más información sobre el panel de conectores, consulte "Panel de conectores" en la página 9 (ES).

Sección de indicadores



❶ Detector de control remoto

Recibe la señal del Control remoto.

❷ Indicador POWER/STANDBY

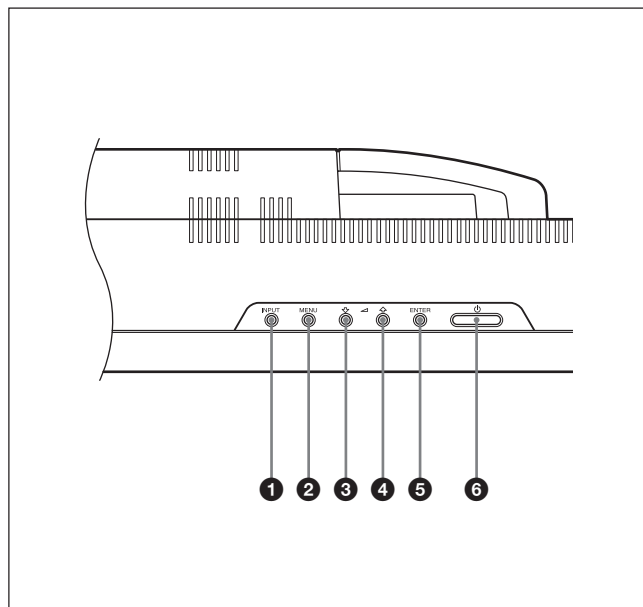
Se ilumina en verde cuando la unidad de visualización está activada.

Se ilumina en rojo en el modo de espera. Se ilumina en naranja cuando la pantalla entra en modo de ahorro de energía si la señal procede de un ordenador.

Cuando se cambia la señal entrante, el indicador parpadea en verde.

Si parpadea el indicador STANDBY en rojo, consulte “Función de autodiagnóstico” en la página 42 (ES).

Sección de botones de control (parte superior)



❶ Botón INPUT

Púlselo para seleccionar una señal procedente del conector INPUT u OPTION.

La señal entrante cambia de la siguiente manera cada vez que pulsa el botón INPUT.



Si no hay ningún adaptador de opción en la ranura OPTION, OPTION1 u OPTION2 se omitirán.

❷ Botón MENU

Púlselo para que aparezcan los menús. Púlselo de nuevo para ocultarlos.

❸ ❹ Botones ↓/↑ (cursor/volumen)

Púlselos para desplazar el cursor (amarillo), ajustar un valor o ajustar el volumen de los altavoces.

❺ Botón ENTER

Púlselo para establecer la selección.

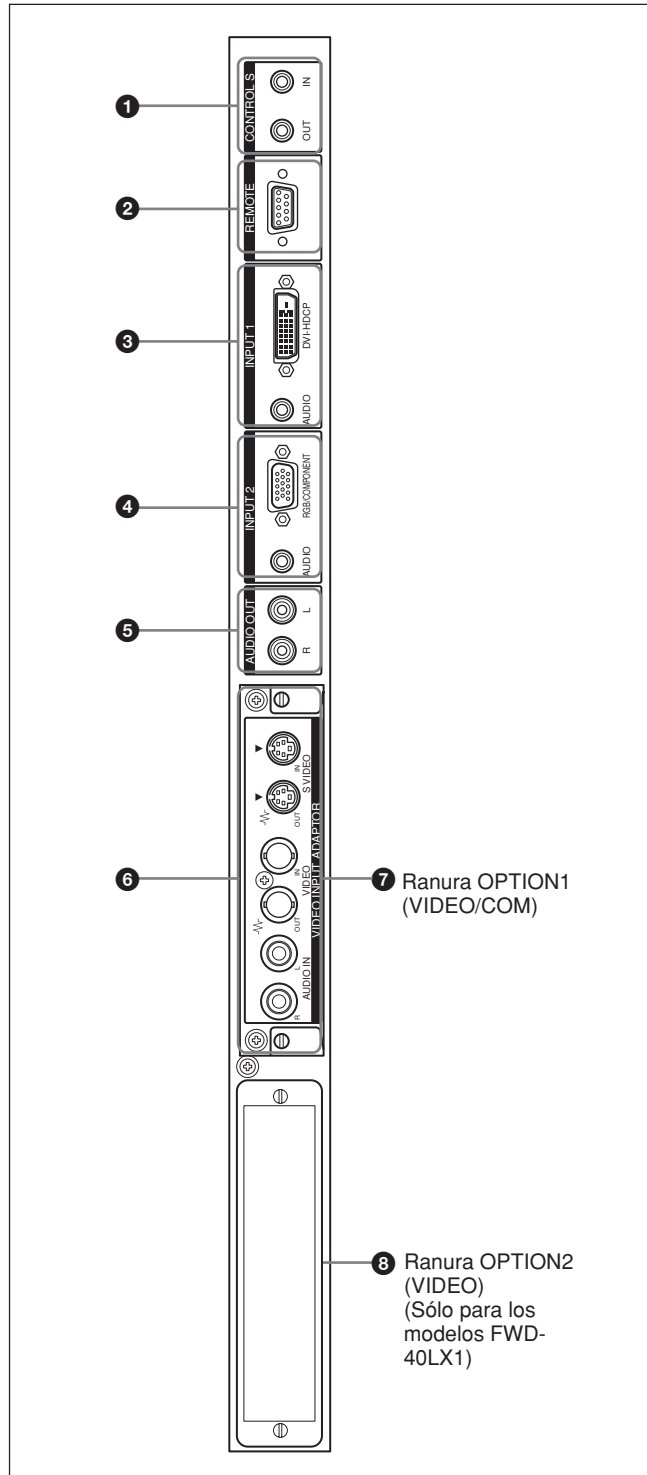
❻ Interruptor ⏻ POWER

Púlselo para encender la pantalla. Vuelva a pulsarlo para volver al modo de espera.

Nota

Para proteger el panel, es necesario cierto tiempo para activar la unidad o ponerla en modo de espera. Espere unos 5 segundos después de realizar cualquiera de estas operaciones antes de volver a pulsar este interruptor.

Panel de conectores



1 Conector CONTROL S IN/OUT (Entrada/salida de señal del control S) (minitoma)

Con un único mando a distancia es posible controlar múltiples aparatos si está conectado al conector CONTROL S de un aparato de vídeo u otra pantalla. Conecte el conector CONTROL S OUT de esta pantalla al conector CONTROL S IN del otro dispositivo y, a continuación, el conector CONTROL S IN de la pantalla al conector CONTROL S OUT del otro dispositivo.

2 Conector REMOTE (RS-232C) (D-sub de 9 pines)

Este conector permite realizar el control remoto de la pantalla mediante el protocolo RS-232C. Para obtener información detallada, póngase en contacto con un proveedor Sony autorizado.

Nota

Cuando se instala un adaptador opcional con función de comunicación como el BKM-FW32 o el BKM-FW50, no se puede utilizar este conector.

3 Conectores INPUT1 (DIGITAL RGB IN)

DVI: Se conecta a la salida de señal RGB digital de los dispositivos de vídeo. Es compatible con la protección contra copia HDCP.

AUDIO (minitoma estéreo): Recibe la señal de audio. Se conecta a la salida de audio de los dispositivos de vídeo.

4 Conectores INPUT2 (ANALOG RGB/COMPONENT IN)

RGB/COMPONENT (D-sub de 15 pines): Se conectan a la salida de señal RGB analógica o de componente (YUV) de un equipo de vídeo. Para obtener información detallada sobre cómo introducir una señal de componente en el conector, consulte "Asignación de pines" en la página 45 (ES).

AUDIO (minitoma estéreo): Recibe la señal de audio. Se conecta a la salida de audio de un equipo de vídeo.

5 AUDIO OUT L/R (toma para pines)

Da salida al sonido de la señal actualmente indicada en la pantalla.

Emite una señal de audio correspondiente a la imagen activa mientras se encuentra en el modo P&P o PinP.

6 Conectores VIDEO (cuenta con un adaptador BKM-FW10 preinstalado.)

S VIDEO IN (mini DIN de 4 pines): se conecta a la salida de señal Y/C de un componente de un equipo de vídeo.

S VIDEO OUT (mini DIN de 4 pines): se conecta a la entrada de señal Y/C de un componente de un equipo de vídeo.

VIDEO IN (tipo BNC): se conecta a la salida de señal de vídeo de un componente de un equipo de vídeo.

VIDEO OUT (tipo BNC): se conecta a la entrada de señal de vídeo de un componente de un equipo de vídeo.

AUDIO IN L/R (toma para pines): Introduce una señal de audio. Se conecta a la salida de audio de un componente de un equipo de vídeo.

7 Ranura OPTION1 (puerto VIDEO/COM)

Esta ranura admite señales de vídeo y función de comunicación. Si instala un adaptador opcional con función de comunicación como el modelo BKM-FW32 o el BKM-FW50 en esta ranura, podrá controlar el monitor a través de la red.

8 Ranura OPTION2 (puerto VIDEO)

(Sólo para el modelo FWD-40LX1)

Esta ranura admite señales de vídeo. Lleva conectado de fábrica un panel de protección. En esta ranura se puede instalar un adaptador opcional con función de entrada y salida de señal de vídeo. El adaptador opcional con función de comunicación debe instalarse en la ranura OPTION1 7.

Adaptadores opcionales (no suministrados)

Los conectores 7 y 8 del panel de conectores son de tipo ranura y pueden enchufarse en cualquiera de los adaptadores opcionales del monitor.

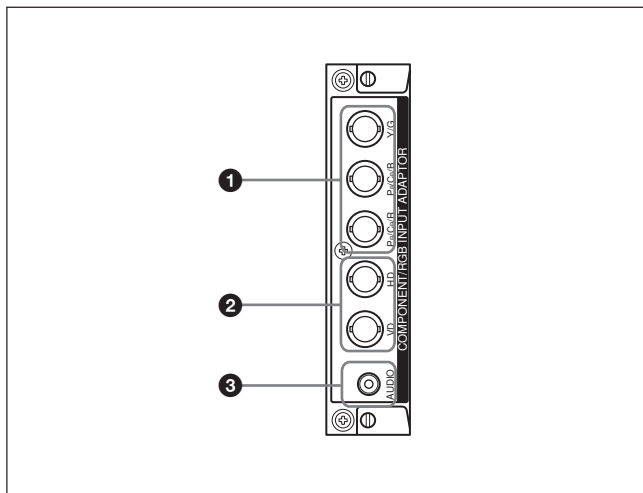
La ranura OPTION2 sólo está disponible en el modelo FWD-40LX1.

Para obtener información detallada sobre la instalación, consulte a su proveedor Sony.

Adaptador de entrada/salida de VIDEO/S VIDEO modelo BKM-FW10 (no suministrado)

Se trata del mismo que el de los conectores preinstalados 6.

Adaptador de entrada COMPONENT/RGB BKM-FW11 (no suministrado)

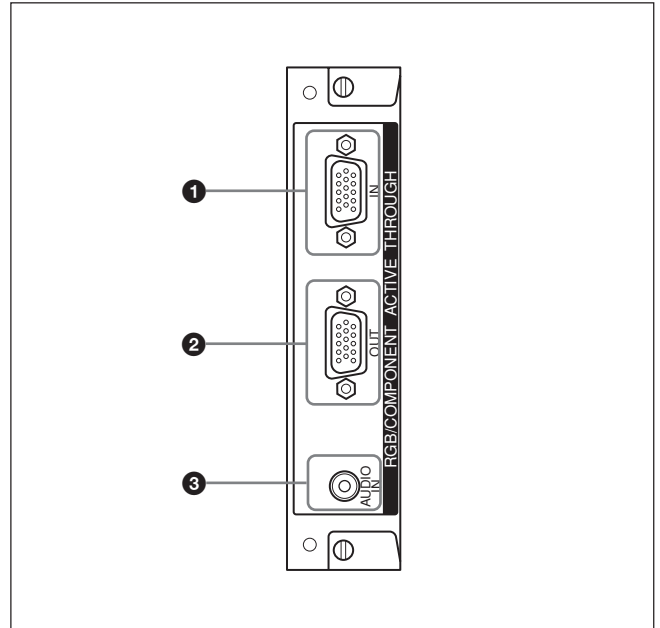


1 Y/G P/B/C/B/B P/R/C/R/R IN (BNC): se conecta a la salida de señal RGB analógica o de componente (YUV) de un equipo de vídeo o de un ordenador.

2 HD VD IN: se conecta a la salida de señal de sincronización de un ordenador.

3 AUDIO (minitoma estéreo): introduce una señal de audio. Se conecta a la salida de audio de un equipo de vídeo o de un ordenador.

RGB/COMPONENT ACTIVE THROUGH ADAPTOR BKM-FW12 (no suministrado)



1 RGB/COMPONENT IN (D-sub de 15 pines):

se conecta a la salida de señal de componente o a la salida de señal RGB analógica de un componente de un equipo de vídeo o de un ordenador.

Para obtener información detallada sobre cómo introducir una señal de componente en el conector, consulte "Asignación de pines" en la página 45 (ES).

2 RGB/COMPONENT OUT (D-sub de 15 pines):

se conecta a la entrada de señal de componente o a la entrada de señal RGB analógica de un componente de un equipo de vídeo o de un ordenador.

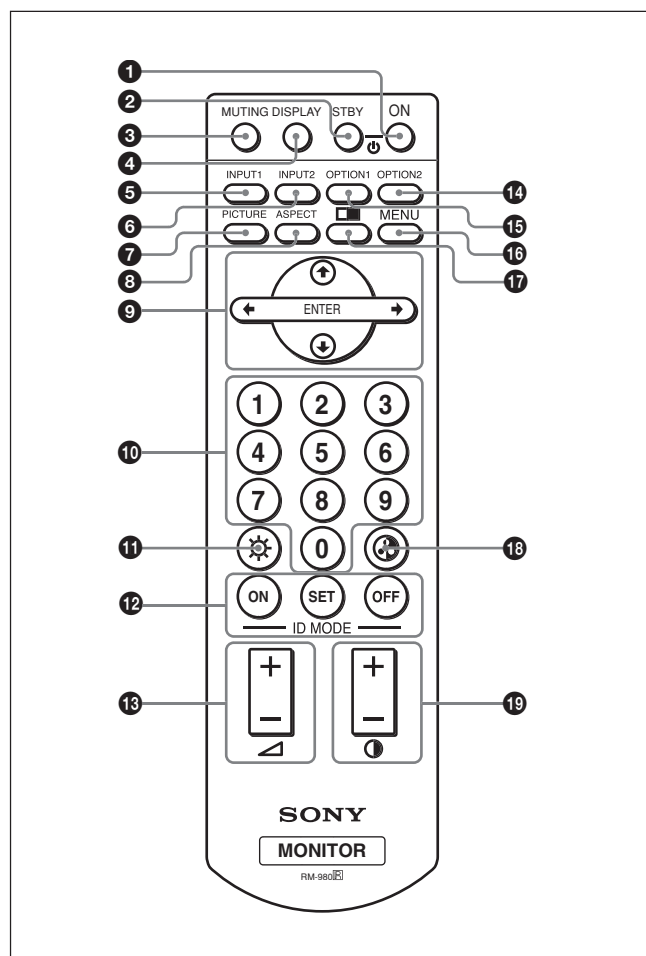
3 AUDIO IN (minitoma estéreo):

introduce la señal de audio. Se conecta a la salida de señal de audio de un componente de un equipo de vídeo o de un ordenador.

Nota

- Cuando la unidad no está conectada a una fuente de alimentación de ca o si se encuentra en el modo de espera, no se emite señal alguna a través de RGB/COMPONENT OUT.
- Para obtener más información acerca de los adaptadores opcionales para la ampliación del sistema de la serie BKM-FW, consulte los manuales de instrucciones correspondientes.

Control remoto RM-980



1 Interruptor POWER ON

Púlselo para encender la pantalla.

2 Botón STANDBY

Púlselo para que la pantalla cambie al modo de espera.

3 Botón MUTING

Silencia el sonido. Pulse este botón de nuevo para restablecer el sonido.

4 Botón DISPLAY

Muestra la información sobre la señal de entrada y el modo de imagen en el panel de visualización. Púlselo de nuevo para borrarlos.

Si deja que la información permanezca en pantalla, ésta desaparecerá automáticamente transcurrido un breve período de tiempo.

5 Botón INPUT1

Selecciona la señal introducida desde los conectores INPUT1.

6 Botón INPUT2

Selecciona la señal introducida desde los conectores INPUT2. Al pulsar, se alterna entre RGB y COMPONENT.

7 Botón PICTURE

Selecciona el Modo Imagen. Cada vez que se pulsa el botón, se alterna entre Intenso, Estándar y Usuario 1 a 3.

8 Botón ASPECT

Selecciona la relación de aspecto de la imagen (Modo panorámico).

9 Botones ↑/↓/←/→/ENTER

Los botones ↑/↓/←/→ desplazan el cursor del menú (amarillo) y ajustan los valores, etc. Al pulsar el botón ENTER se entra en el menú seleccionado o se fija el contenido.

Cuando se muestren dos imágenes, es posible cambiar la imagen activa mediante ←/→.

10 Botones numéricos

Púlselos para introducir el número de índice.

11 Botón BRIGHTNESS

Ajusta el brillo si el menú Modo Imagen se ajusta en uno de los valores “Usuario1” a “Usuario3”.

Pulse este botón y, a continuación, ajuste el brillo mediante el botón ↑/↓ o ←/→ 9.

12 Botones ID MODE (ON/SET/OFF)

Pulse el botón ON para que aparezca un número de índice en pantalla. A continuación, introduzca el número de índice de la pantalla que desee utilizar mediante los botones numéricos 10 y pulse el botón SET. Después de realizar esta operación, pulse el botón OFF para volver a cambiar del modo ID al modo normal.

Para obtener información detallada sobre el número de índice, consulte “Empleo de una pantalla específica con el Control remoto” en la página 42 (ES).

13 Botón VOLUME +/-

Ajusta el volumen.

14 Botón OPTION2

Selecciona la entrada de señal del adaptador opcional (excepto BKM-FW10) cuando lo instala en la unidad. Cada vez que pulsa este botón, la señal de entrada de OPTION2 cambia.

Nota

Este botón no se puede utilizar en modelos FWD-32LX1R que no tengan la ranura OPTION2.

15 Botón OPTION1

Si hay instalada una tarjeta de opciones, se selecciona una señal de entrada del dispositivo conectado a dicha tarjeta de opciones. Cada vez que pulsa este botón, la señal de entrada de OPTION1 cambia.

16 Botón MENU

Púlselo para que aparezca el menú. El menú ya no se muestra cuando pulsa de nuevo este botón.

17 Botón

Selecciona el modo PICTURE AND PICTURE (PAP). Con cada pulsación se alterna entre P&P, PinP y PAP desactivado.

18 Botón CHROMA

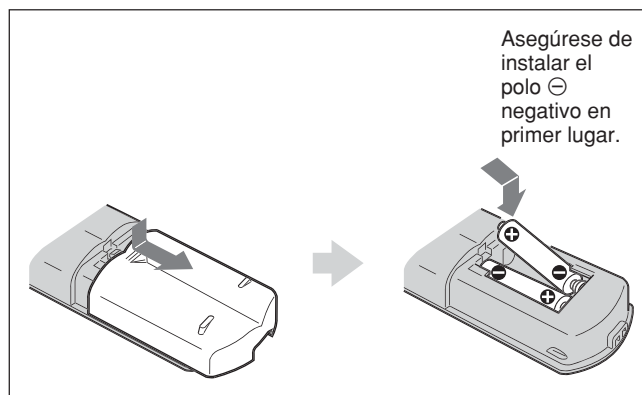
Ajusta la crominancia si el modo de imagen está fijado en uno de los valores “Usuario1” a “Usuario3”. Pulse este botón y, a continuación, ajuste el centrado horizontal con / o el botón / .

19 Botón CONTRAST +/-

Ajusta el contraste si el menú Modo Imagen está establecido en uno de los valores “Usuario1” a “Usuario3”.

Instalación de pilas

Inserte dos pilas de tamaño AAA (R03) con la polaridad correcta.



- Con un uso normal, las pilas pueden durar hasta medio año. Si el Control remoto no funciona correctamente, es posible que se hayan agotado antes las pilas. Sustitúyalas por otras nuevas.
- Para evitar daños producidos por posibles fugas, retire las pilas si no tiene previsto utilizar el Control remoto durante un periodo prolongado.

Si el mando a distancia no funciona

Compruebe que el indicador POWER/STANDBY se ilumine y que el Modo Control del menú Control remoto no esté ajustado en “Sólo monitor”. El control remoto sólo permite controlar el monitor cuando se cumplen las dos condiciones siguientes.

- El monitor está encendido o se encuentra en el modo de espera.
- El Modo Control del menú Control remoto está ajustado en “Monitor + Remoto” o “Sólo Remoto”.

Para obtener información detallada sobre Modo Control, consulte “Modo Control” en la página 19 (ES).

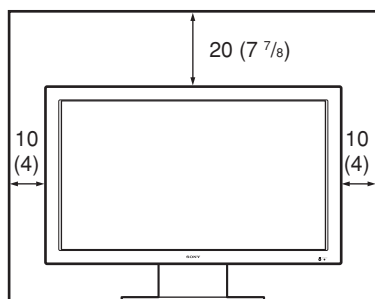
Precaución

Proporcionar una gran cantidad de espacio alrededor de la pantalla.

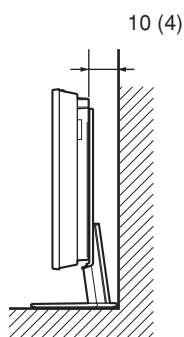
- Cuando utilice la pantalla, asegúrese de que el espacio existente a su alrededor es más grande que el que se muestra en la figura que aparece a continuación. Ello garantizará una adecuada ventilación.
- La temperatura ambiente debe ser de 0 °C a +35 °C (32 °F a 95 °F).
- Para montar la pantalla horizontalmente, utilice el soporte de pantalla SU-42FW/32FW (no suministrado) como soporte.
- Con respecto a la instalación de accesorios de montaje, tales como ménsulas tornillos, o pernos, no podemos especificar los productos. La instalación real deberá encargarse a proveedores locales autorizados. Con respecto a la instalación, consulte a personal cualificado autorizado por Sony.
- Es posible que algunos componentes se calienten mientras la unidad está encendida, lo cual podría causar quemaduras. Con la pantalla encendida, o justo después de que ésta pase al modo de espera, no toque la parte superior ni posterior de la unidad.

Al utilizar el soporte (no suministrado)

Frontal



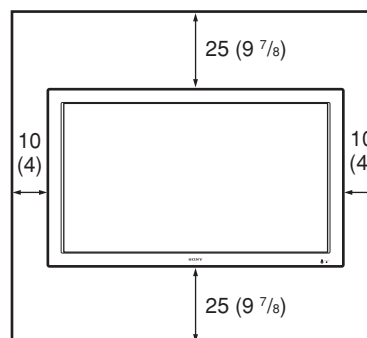
Lateral



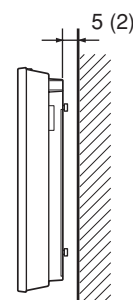
Unidades: cm (pulgadas)

Al montar la pantalla en horizontal

Frontal



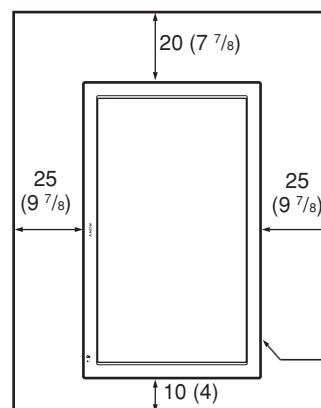
Lateral



Unidades: cm (pulgadas)

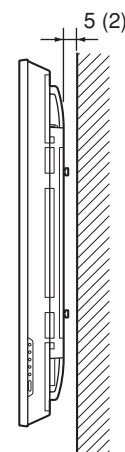
Al montar la pantalla en vertical

Frontal



Compruebe que el interruptor  POWER queda en la parte inferior derecha.

Lateral



Unidades: cm (pulgadas)

Nota

Cuando el monitor se monta en posición vertical, no es posible utilizar los altavoces SS-SP40FW/32FW (no suministrados).

Conexiones

Antes de comenzar

- En primer lugar, compruebe que ha desactivado la alimentación de todos los equipos.
- Emplee cables de conexión adecuados al equipo que va a conectar.
- Los conectores de cable deben insertarse por completo en las tomas. Una conexión floja puede producir zumbidos y otros ruidos.
- Para desconectar el cable, tire del enchufe, nunca del propio cable.
- Consulte el manual de instrucciones del equipo que vaya a conectar.
- Inserte el enchufe firmemente en la toma ca IN.
- Utilice uno de los dos portaenchufes de ca (suministrados) que mejor fije el enchufe de ca.

Para retirar el cable de alimentación de ca
Tras apretar el portaenchufe de ca y liberarlo, agarre el enchufe y tire del cable de alimentación de ca.

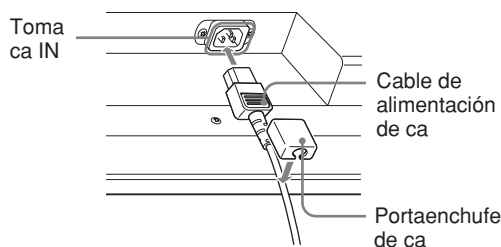
Conexión de los altavoces

Podrá disfrutar de un visionado de mayor calidad conectando los altavoces (SS-SP40FW/32FW, no suministrados). Asegúrese de que ha conectado los altavoces correctamente. Si desea obtener más información acerca de cómo conectar los altavoces, consulte el manual de instrucciones que se suministra con éstos.

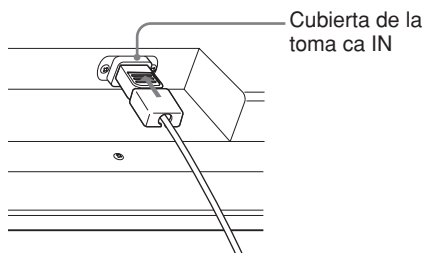
Para obtener información sobre cómo pasar los cables de los altavoces, consulte “Uso de los portacables”, en la página 15 (ES).

Conexión del cable de alimentación de ca

- 1 Enchufe el cable de alimentación de ca en la toma ca IN. A continuación, conecte el portaenchufe de ca (suministrado) al cable de alimentación de ca.



- 2 Deslice el portaenchufe de ca sobre el cable hasta que se conecte a la cubierta de la toma ca IN.



Administración de cables

El monitor tiene las cubiertas de los cables situadas en la parte posterior. Antes de conectar los cables, tire de las cubiertas de los cables para abrirlas. Tras conectar

los cables al monitor, cierre las cubiertas de los cables.

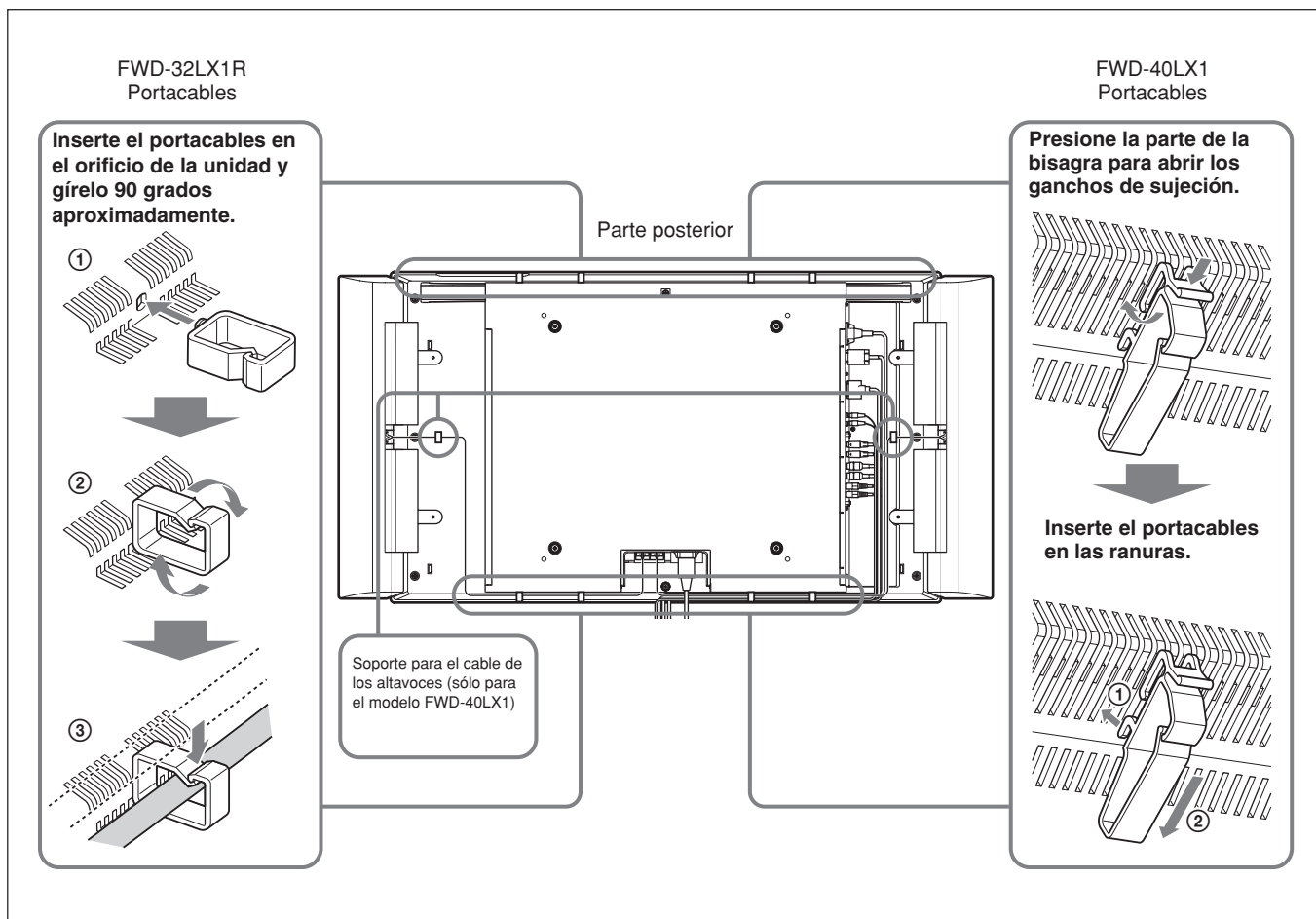


Uso de los portacables

Para agrupar los cables, utilice los portacables suministrados (×6 para el modelo FWD-40LX1 y ×4 para el modelo FWD-32LX1R). Elija tres piezas vacías seguidas de los conductos de ventilación para el portacables en el modelo FWD-40LX1. Para el

modelo FWD-32LX1R, elija seis de los ocho orificios. Coloque los portacables tal y como se muestra en la siguiente ilustración.

Para conectar los altavoces SS-SP40FW (no suministrados), pase los cables de los altavoces a través del soporte para cables de la parte trasera del monitor. (Sólo para el modelo FWD-40LX1)

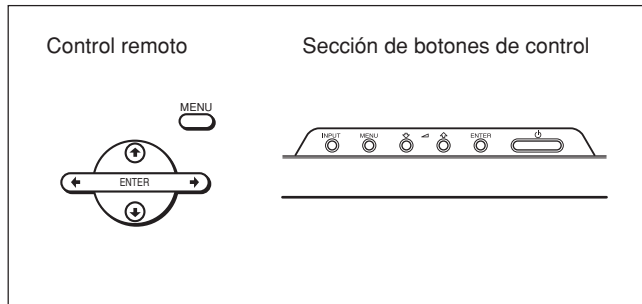


Uso de los menús en pantalla

Empleo mediante menús

Botones de empleo de menú

Utilice los botones de la unidad de visualización o del Control remoto para realizar operaciones con los menús.



Este manual de instrucciones explica el funcionamiento con Control remoto. Los botones **↑/↓** y **ENTER** del Control remoto tienen las mismas funciones que los botones **↑/↓** y **ENTER** de la pantalla.

Nota

El funcionamiento puede ser distinto en algunos casos, puesto que el botón **←/→** no aparece en la pantalla.

Configuración del menú

Para seleccionar el idioma utilizado en el menú, consulte “Selección del idioma en pantalla” en la página 36 (ES).

- 1 Pulse **MENU**.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



- 2 Pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) al menú principal que desea seleccionar y, a continuación, pulse **ENTER**. El cursor se desplaza al siguiente menú.

- 3 Pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) al elemento que desea seleccionar y, a continuación, pulse **ENTER**.
Aparecerá el menú correspondiente al elemento seleccionado.
Para seleccionar otros elementos, repita este procedimiento.
- 4 Pulse **↑/↓** para ajustar o seleccionar el valor y **ENTER** para confirmar.
El ajuste se registra y vuelve a aparecer el menú anterior.

Para completar la configuración y regresar a la pantalla normal, pulse **MENU**.

Para regresar al nivel de menú anterior, pulse **↑/↓** para desplazar el cursor a **↶** y, a continuación, pulse **ENTER** o **←**.

Guía de los menús

Nota

Los elementos que no pueden ajustarse ni configurarse (en función del ajuste o del tipo de entrada de señal) se muestran en gris.

Menú CONTROL IMAGEN/ SONIDO

Ajusta la calidad de imagen y de sonido de las imágenes que se muestran en la pantalla.



Modo Imagen

Ajusta la calidad de imagen apropiada para el tipo de imagen o la iluminación del lugar en el que se encuentra instalada la unidad.

Para obtener más detalles, consulte “Selección de la calidad de imagen” en la página 24 (ES).

Ajuste imagen

Puede ajustar la imagen con precisión.

Ajuste en primer lugar Modo Imagen en uno de los valores “Usuario1” a “Usuario3”.

Nota

No podrá ajustar los siguientes elementos cuando Modo Imagen esté ajustado en “Intenso” o “Estándar”.

Para obtener información detallada, consulte “Ajuste de la imagen” en la página 24 (ES).

Ajuste sonido

Puede ajustar el sonido con precisión.

Ajuste en primer lugar Modo Imagen en uno de los valores “Usuario1” a “Usuario3”.

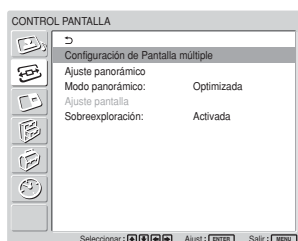
Nota

No podrá ajustar los siguientes elementos cuando Modo Imagen esté ajustado en “Intenso” o “Estándar”.

Para obtener información detallada, consulte “Ajuste de la calidad del sonido” en la página 35 (ES).

** Menú CONTROL PANTALLA**

Este menú se utiliza para dar a la imagen un nuevo tamaño y posición.

**Configuración de Pantalla Múltiple**

Puede realizar ajustes para conectar varios monitores y formar una solución integrada de paneles de imágenes (video wall) en una disposición de 2 x 2, 3 x 3 ó 4 x 4.

Para obtener información detallada, consulte “Configuración de Pantalla Múltiple” en la página 34 (ES).

Ajuste panorámico

Ajusta la función de panorámico automático. La función de panorámico automático permite elegir entre emisiones de televisión normales o imágenes panorámicas, cada una con sus diferentes proporciones de visualización horizontal y vertical, para ampliar automáticamente la imagen a un formato de pantalla panorámica con una relación de aspecto de 16:9, de modo que ofrece la visualización óptima de los diferentes tipos de imagen.

Para obtener más detalles, consulte “Ajuste Panorámico auto” en la página 28 (ES).

Modo panorámico

Cambia la pantalla de visualización panorámica para coincidir con el tamaño y tipo de imagen.

Para obtener más detalles, consulte “Ajuste del Modo panorámico” en la página 29 (ES).

Ajuste pantalla

Este menú permite ajustar el tamaño o cambiar la posición de la imagen. También permite ajustar el número de píxeles de la imagen.

Para obtener información detallada, consulte “Cambio del tamaño y posición de la imagen” en la página 30 (ES).

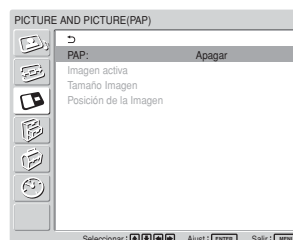
Sobreexploración

Es posible activar y desactivar la función “Sobreexploración” cuando el modo RGB está ajustado en DTV.

Si dicha función está ajustada en “Activada”, el monitor ejecutará la función Sobreexploración al mostrar las imágenes.

** Menú PICTURE AND PICTURE (PAP)**

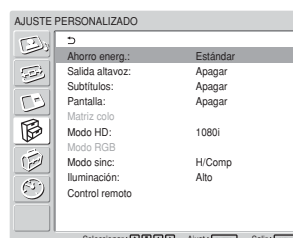
Puede mostrar dos imágenes procedentes de dos fuentes de señales distintas, como un ordenador y un vídeo, una al lado de la otra.



Para obtener información detallada, consulte “Visualización de dos imágenes a la vez” en la página 32 (ES).

** Menú AJUSTE PERSONALIZADO**

Puede reducir el consumo de energía o ajustar varios tipos de modos.



Ahorro energ.

Se utiliza para visualizar la pantalla y ahorrar energía. Ahorro energ.

Estándar: Sin ahorro de energía

Reducir.: Ahorro de energía

Si selecciona “Reducir.”, el brillo de la imagen se reducirá para poder ver imágenes a la vez que se ahorra energía eléctrica.

Notas

- “Ahorro energ.: Reducir.” se reactivará cuando vuelva a encender la unidad.
- Aunque Ahorro energ. esté ajustado en “Reducir.”, podrá seguir ajustando la calidad de la imagen. Sin embargo, tenga en cuenta que los resultados de ahorro de energía podrían perderse si aumenta los valores de Contraste o Brillo.

Salida altavoz

Ajuste esta opción en Encender para que el sonido se emita a través de los altavoces SS-SP40FW/32FW (no suministrados).

Cuando se ajusta en Apagar, no se puede ajustar el volumen del sonido. Si intenta ajustarlo, se mostrará .

Subtítulos

Se visualizan los subtítulos.

Al mostrar dos imágenes mediante la combinación componente + componente, sólo podrá ver subtítulos mientras recibe señales de los adaptadores BKM-FW11 o BKM-FW12.

Apagar: el subtítulo no aparece en pantalla.

CC1-4: Muestra el subtítulo superpuesto en la imagen.

Pantalla

Seleccione Encender para mostrar la información de la señal de entrada y el modo de imagen durante unos cinco segundos en la pantalla cuando encienda la unidad o cambie la señal de entrada.

Matriz color

Ajusta la Matriz color para que muestre imágenes en tonos de colores naturales cuando se recibe una señal de componente.

Para obtener más detalles, consulte “Ajuste de la matriz de colores” en la página 37 (ES).

Modo HD

Selecciona un modo en función de la entrada de señales de componente analógico HD del monitor.

1080i: Cuando se introduzca una señal 1080i

1035i: Cuando se introduzca una señal 1035i

Modo RGB

Ajusta el modo cuando un dispositivo que emite señales RGB se conecta al monitor.

DTV: Si está conectado a un sintonizador digital de señales RGB, etc.

PC: Si está conectado a un PC, etc.

Modo sinc

Ajusta el modo según la señal recibida en el pin número 13 del conector INPUT2 RGB/COMPONENT. Las señales pueden ajustarse sólo en 575/50I o 480/60I.

H/Comp: Cuando se recibe una señal horizontal.

Vídeo: Cuando se introduzca una señal de vídeo.

Ajustes de la señal de entrada y del modo de sincronización

PIN	Entrada de señal por encima del D-sub	Ajuste del modo de sincronización
13	Vídeo compuesto de 480/60I, 575/50I	Señal de vídeo
13/14	Sinc H/Sinc V	Señal de sincronización
2	Sincronización en verde	

Consulte “Asignación de pines” en la página 45 (ES) para obtener más información acerca de la asignación de pines para el conector RGB/COMPONENT.

Notas

- En el caso de algunas entradas sólo pueden seleccionarse señales de sincronización. En tal caso, no se visualizará la imagen incluso si se recibe una señal de vídeo a través del conector de 13 pines. Introduzca señales de sincronización vertical u horizontal a través de los conectores de 13 ó 14 pines, o bien señales Sync On Green (Sincronización en verde) a través del conector RGB.
- Con Sync On Green (Sincronización en verde), la imagen no se visualizará si no se ajusta la unidad para aceptar señales de sincronización.
- Las señales del modo síncrono pueden admitirse únicamente con INPUT2.
- La configuración del modo sinc. no puede llevarse a cabo para la entrada a través de las tarjetas de opciones.
- Esta unidad no es compatible con la sincronización compuesta de tres valores ni con 576/60P.

Iluminación

Cambia el brillo del logotipo de “SONY” situado en la parte frontal del monitor.

Control remoto

Este menú se usa para los ajustes de control remoto.

Número índice

Ajusta el número de índice de la pantalla.

Nota

Para ajustar el número, utilice los botones de la unidad de visualización.

El número de índice no se puede ajustar mediante el Control remoto.

Para obtener información detallada sobre el número de índice, consulte “Empleo de una pantalla específica con el Control remoto” en la página 42 (ES).

Modo Control

Selecciona la función del mando a distancia.

Monitor + Remoto: activa un mando a distancia suministrado con el monitor.

Sólo monitor: desactiva la función de mando a distancia. Sólo es posible realizar ajustes en el monitor mediante los botones de control del mismo.

Sólo Remoto: desactiva los controles del monitor cuando desea controlarlo únicamente mediante el mando a distancia. Sólo es posible realizar ajustes en el monitor mediante el mando a distancia.

Nota

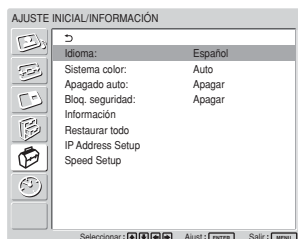
Si utiliza este elemento, los modos que pueda seleccionar variarán en función de la tecla que utilice.

Si utiliza ENTER en el mando a distancia para realizar ajustes, podrá seleccionar “Monitor + Remoto” o “Sólo Remoto”.

Si utiliza ENTER en el monitor para realizar ajustes, podrá seleccionar “Monitor + Remoto” o “Sólo monitor”.

Menú AJUSTE INICIAL/ INFORMACIÓN

Puede seleccionar el idioma de la pantalla o la señal de entrada, o bien ajustar la opción Bloq. seguridad.



Nota

Las opciones “IP Address Setup” y “Speed Setup” sólo aparecen en el menú si existe un adaptador opcional con función de comunicación como el modelo BKM-FW32 o el BKM-FW50 instalado en la ranura OPTION1.

Idioma

Selecciona el idioma de pantalla (japonés, inglés, alemán, francés, español o italiano).

Para obtener más detalles, consulte “Selección del idioma en pantalla” en la página 36 (ES).

Sistema color

Selecciona el sistema de color de las señales de vídeo.

Auto: para ajustar el Sistema color automáticamente.

NTSC: para mostrar señales NTSC

NTSC4.43: para mostrar señales NTSC4.43

PAL: para mostrar señales PAL

SECAM: para mostrar señales SECAM

PAL-M: para mostrar señales PAL-M

PAL-N: para mostrar señales PAL-N

PAL60: para mostrar señales PAL60

Apagado auto

Al ajustar este elemento en “Encender”, la pantalla entra automáticamente en modo de espera si no se recibe ninguna señal en los conectores de entrada COMPONENT o DVI durante más de unos cinco minutos. En modo de espera, pulse el interruptor  POWER de la pantalla o el botón POWER ON del mando a distancia para encender la pantalla. La pantalla entra automáticamente en modo de ahorro de energía si no se recibe ninguna señal en los conectores de entrada DVI o RGB durante más de unos treinta segundos. Si el monitor está en el modo de ahorro de energía, se encenderá automáticamente al recibir una señal.

Bloq. seguridad

Ajusta el bloqueo de seguridad del monitor.

Apagar: desactiva el bloqueo de seguridad.

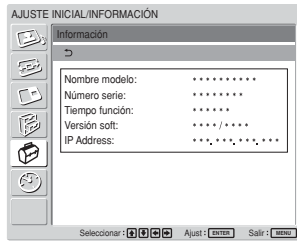
Encender: si este elemento está ajustado en

Encender, se necesita una contraseña para poder ajustar el bloqueo de seguridad.

Para obtener información detallada al respecto, consulte “Configuración del bloqueo de seguridad” en la página 39 (ES).

Información

Este menú se utiliza para mostrar información sobre el estado interno de la pantalla.



Nota

La opción “IP Address” sólo aparece en el menú si se instala un adaptador opcional con función de comunicación como, por ejemplo, el modelo BKM-FW32 o el BKM-FW50 en la ranura OPTION1.

Nombre modelo

Indica el nombre del modelo.

Número serie

Indica el número de serie.

Tiempo función

Indica el número total de horas de uso.

Nota

El modo de espera no se contabiliza como parte del tiempo de funcionamiento.

Versión soft

Indica la versión de software del sistema.

Restaurar todo

Permite restaurar todos los ajustes y valores de configuración a los valores de fábrica.

Nota

El valor de Número índice no se restaurará.

IP Address Setup

Permite ajustar una dirección IP para establecer una comunicación entre el monitor y un adaptador opcional con función de comunicación como, por ejemplo, el modelo BKM-FW32 o el BKM-FW50.

DHCP: configuración automática para ajustar una dirección IP.

Manual: configuración manual para ajustar una dirección IP.

Si desea obtener información detallada, consulte el apartado “Ajuste de una dirección IP y de la velocidad de comunicación” en la página 40 (ES).

Speed Setup

Permite establecer la velocidad de comunicación entre el monitor y un adaptador opcional con función de comunicación como el BKM-FW32 o el BKM-FW50. *Si desea obtener información detallada, consulte el apartado “Ajuste de una dirección IP y de la velocidad de comunicación” en la página 40 (ES).*

⌚ Menú TEMPORIZADOR/RELOJ

Es posible ajustar el temporizador, ajustar la hora, visualizar el reloj incorporado o hacer que la unidad se encienda o se apague a una hora predeterminada.



Nota

La hora y el día no vienen preprogramados en la configuración de fábrica.

Config. reloj

Ajusta la hora.

Para obtener más detalles, consulte “Ajuste de la hora y el día” en la página 37 (ES).

Pantalla reloj

Muestra la hora ajustada en la pantalla cuando está ajustado en la posición Encender.

Para obtener más detalles, consulte “Visualización de la hora” en la página 38 (ES).

Tempor act/des

Ajusta la hora en que la alimentación se conecta y se desconecta automáticamente.

Para obtener más detalles, consulte “Función temporizador act/des” en la página 38 (ES).

Visualización de la imagen

Antes de comenzar

- Encienda la pantalla.
- Encienda el equipo conectado y reproduzca una fuente de vídeo.
- Para visualizar en pantalla la información sobre la señal de entrada al activar la alimentación o al cambiar dicha señal, ajuste el elemento “Pantalla” del menú AJUSTE PERSONALIZADO en Encender.
- Para seleccionar el idioma utilizado en el menú, consulte “Selección del idioma en pantalla” en la página 36 (ES).

Conmutación de la señal de entrada

Input1 DVI: selecciona la señal (RGB digital) recibida a través de los conectores INPUT1.

Input2 RGB: selecciona la señal (RGB analógica) recibida a través de los conectores INPUT2.

Input2 Component: selecciona la señal (de componente) recibida a través de los conectores INPUT2.

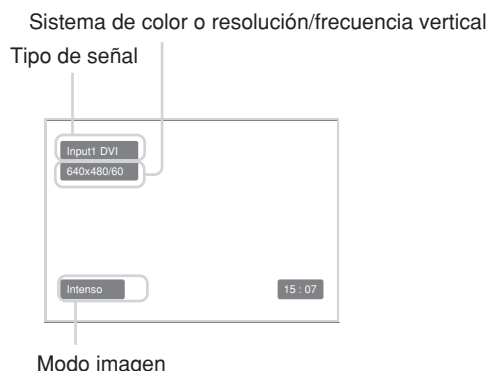
Option1/2 Video: selecciona la señal (señal de vídeo) recibida del equipo conectado a los conectores de la ranura Option 1 u Option 2.

Option1/2 S Video: selecciona la señal (señal de S vídeo) recibida del equipo conectado a los conectores de la ranura Option 1 u Option 2.

Option1/2 RGB: selecciona la señal (señal RGB analógica) recibida del equipo conectado a los conectores de la ranura Option 1 u Option 2.

Option1/2 Component: selecciona la señal (señal de componente) recibida del equipo conectado a los conectores de la ranura Option 1 u Option 2.

Pulse el botón INPUT1, INPUT2, OPTION1 u OPTION2 del mando a distancia para cambiar la señal de entrada. Cuando es posible recibir varios formatos de señales en el conector de entrada seleccionado, la indicación cambia cada vez que se pulsa el botón correspondiente. Por ejemplo, cada vez que pulse el botón INPUT2, la indicación cambia a “Input2 RGB” o “Input2 Component”, alternativamente. La señal de entrada seleccionada aparece en el panel de visualización.



Pulse el botón OPTION del monitor para cambiar la señal de entrada.

Nota

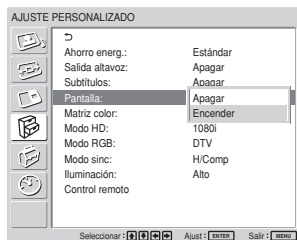
Recomendamos que el equipo de vídeo que sirve de fuente de entrada esté equipado con TBC (corrector de base de tiempo). Si el monitor recibe una señal sin TBC, la imagen puede desaparecer debido a las perturbaciones de la señal de sincronización.

Información sobre la señal de entrada, el modo de imagen y el estado de la visualización

La información sobre la señal de entrada y “Modo Imagen” aparece en la pantalla durante aproximadamente veinte segundos al conectar la alimentación y durante cinco segundos al cambiar la señal de entrada.

Para desactivar esta función, siga los pasos siguientes.

- 1 En el menú AJUSTE PERSONALIZADO, pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) hasta “Pantalla” y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Pulse **↑/↓** para ajustar “Pantalla” en “Apagar” y, a continuación, pulse ENTER.

Para visualizar la información

Ajuste “Pantalla” en “Encender” en el anterior paso 2 y, a continuación, pulse ENTER. El ajuste por omisión de fábrica es “Encender”.

Nota

Puede visualizar la información sobre la señal de entrada y el modo de imagen en cualquier momento pulsando el botón DISPLAY del Control remoto, independientemente del ajuste anterior.

Señales de entrada predefinidas			
	Nombre de señal	Sistema de color o frecuencia horizontal/vertical	
Señales de ordenador			
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31,5 kHz	70 Hz
2	640×480@60 Hz (VESA ^{b)} STD)	31,5 kHz	60 Hz
3	Mac ^{c)} 13"	35,0 kHz	67 Hz
4	VGA (VGA TEXT)	31,5 kHz	70 Hz
5	800×600@60 Hz (VESA STD)	37,9 kHz	60 Hz
6	Mac 16"	49,7 kHz	75 Hz
7	1024×768@60 Hz (VESA STD)	48,4 kHz	60 Hz
8	1024×768@75 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	75 Hz
9	1024×768@85 Hz (VESA STD)	68,7 kHz	85 Hz
10	1152×864@75 Hz (VESA STD)	67,5 kHz	75 Hz
11	Mac 21"	68,7 kHz	75 Hz
12	1280×960@60 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	60 Hz
13	1280×1024@60 Hz (VESA STD)	64,0 kHz	60 Hz
14	1600×1200@60 Hz (VESA STD)	75,0 kHz	60 Hz
15	848×480@60 Hz (VESA STD)	29,8 kHz	60 Hz
16	848×480@60 Hz (VESA STD)	29,5 kHz	60 Hz
17	848×480@75 Hz	37,7 kHz	75 Hz
18	1280×768@60 Hz	47,8 kHz	60 Hz
19	1280×768@60 Hz	47,4 kHz	60 Hz
SDTV/HDTV			
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	
16	720/50p	720/50P	

- a) VGA es una marca comercial registrada de International Business Machines Corporation, EE.UU.
b) VESA es una marca comercial registrada de Video Electronics Standards Association.
c) Mac (Macintosh) es una marca comercial registrada de Apple Computer, Inc.

Notas

- Para recibir una señal HDTV, reciba la señal de sincronización de tres niveles a través del segundo pin de RGB/COMPONENT (D-sub de 15 pines) del conector INPUT2 o el BKM-FW12.
- Si los colores se muestran demasiado claros después de recibir una señal de DVD en la pantalla, ajuste "Crominancia" en el menú Ajuste imagen.
- Una vez reajustada la fase, se reducirá la resolución.

Indicaciones en pantalla sobre el estado de la unidad

Indicaciones en pantalla	Significado
640×480 / 60 (ej.)	La señal de entrada seleccionada es RGB de ordenador.
480 / 60I (ej.)	La señal de entrada seleccionada es de vídeo componente.
NTSC (ej.)	La señal de entrada seleccionada es NTSC.
Señal no compatible	La señal de entrada seleccionada no es compatible.
Sin sinc	No hay ninguna señal de entrada.
INPUT1 DVI	El modo de señal de INPUT1 está ajustado en RGB digital.
INPUT2 RGB	El modo de señal de INPUT2 está ajustado en RGB analógico.
INPUT2 Component	El modo de señal de INPUT2 está ajustado en vídeo componente.
Option1/2 Video	El modo de señal de la ranura de opción 1 ó 2 está ajustado en vídeo compuesto.
Option1/2 S Video	El modo de señal de la ranura de opción 1 ó 2 está ajustado en S VIDEO.
Option1/2 RGB	El modo de señal de la ranura de opción 1 ó 2 está ajustado en RGB analógico.
Option1/2 Component	El modo de señal de la ranura de opción 1 ó 2 está ajustado en vídeo componente.

Selección de la calidad de imagen

Es posible ajustar la calidad de imagen apropiada para el tipo de imagen o la iluminación del lugar en el que se encuentra instalada la unidad.

- 1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



- 2 Pulse $\uparrow/\downarrow$ para desplazar el cursor (amarillo) a "CONTROL IMAGEN/SONIDO" y pulse ENTER.
El menú de CONTROL IMAGEN/SONIDO aparece en el panel de visualización.



- 3 Pulse $\uparrow/\downarrow$ para desplazar el cursor (amarillo) a "Modo imagen" y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 4 Seleccione el modo de imagen con $\uparrow/\downarrow$.
Intenso: Las imágenes cuentan con una nitidez intensa gracias al contorno de imagen y contraste maximizados.

Estándar: Las imágenes cobran un aspecto más real con un contraste moderado y contorno de imagen.

Usuario 1-3: Puede ajustar la calidad de la imagen según sus preferencias mediante el menú Ajuste imagen.

- 5 Pulse ENTER para regresar al menú CONTROL IMAGEN/SONIDO.

Ajuste de la imagen

Mientras visualiza la imagen, puede ajustar el contraste, brillo, crominancia, fase, etc., según sus preferencias. Los ajustes pueden realizarse por separado para cada señal de entrada. También es posible almacenar en memoria los niveles ajustados. Ajuste el Modo imagen en uno de los valores "Usuario1" a "Usuario3".

Ajuste del contraste, brillo, crominancia, fase, etc.

Pulse MENU para mostrar el menú principal y ajustar "Contraluz", "Contraste", "Brillo", "Crominancia", "Fase", "Nitidez", "Reduc ruido", "Unidad de cine", "Imagen dinámica", "Temp. color", "Correc. color" o "Correc. gama" en el menú Ajustar imagen.

Contraluz

Seleccione "Contraluz" con $\uparrow/\downarrow$ y pulse ENTER. Ajuste el brillo de fondo con $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ dentro del rango de MIN (0) a MAX (100) y, a continuación, pulse ENTER.

$\uparrow/\rightarrow$: para aumentar el brillo de fondo

$\downarrow/\leftarrow$: para reducir el brillo de fondo

Al mostrarse dos imágenes, se ajustarán ambas.

Contraste

Seleccione "Contraste" con $\uparrow/\downarrow$ y pulse ENTER. Ajuste el contraste con $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ dentro del margen MÍN (0) a MÁX (100) y, a continuación, pulse ENTER.

$\uparrow/\rightarrow$: para aumentar el contraste de la imagen

$\downarrow/\leftarrow$: para disminuir el contraste de la imagen

Al mostrarse dos imágenes, sólo se ajustará la imagen activa. El rango de ajuste es limitado.

Brillo

Seleccione “Brillo” con **↑/↓** y pulse ENTER.
Ajuste el brillo con los botones **↑/↓/←/→** dentro del margen MÍN (0) a MÁX (100) y, a continuación, pulse ENTER.

↑/→: para que la imagen sea más brillante

↓/←: para que la imagen sea más oscura

Al mostrarse dos imágenes, sólo se ajustará la imagen activa. El rango de ajuste es limitado.

Crominancia

Seleccione “Crominancia” con **↑/↓** y pulse ENTER.
Ajuste la crominancia con **↑/↓/←/→** dentro del margen MÍN (0) a MÁX (100) y, a continuación, pulse ENTER.

↑/→: para aumentar la intensidad del color

↓/←: para disminuir la intensidad del color

Al mostrarse dos imágenes, sólo se ajustará la imagen activa.

Fase

Seleccione “Fase” con **↑/↓** y pulse ENTER.
Ajuste la fase con **↑/↓/←/→** entre IZQUIERDA (50) y DERECHA (50) y, a continuación, pulse ENTER.

↑/→: para que el conjunto de la imagen adquiriera un tono verdoso

↓/←: para que el conjunto de la imagen adquiriera un tono púrpura

Al mostrarse dos imágenes, sólo se ajustará la imagen activa.

Nitidez

Seleccione “Nitidez” con **↑/↓** y pulse ENTER.
Ajuste la nitidez con **↑/↓/←/→** entre MÍN (0) y MÁX (10) y, a continuación, pulse ENTER.

↑/→: para aumentar la nitidez de la imagen

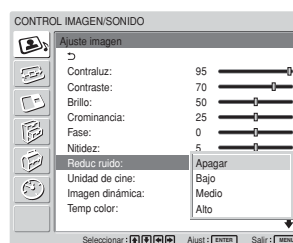
↓/←: para disminuir la nitidez de la imagen

Al mostrarse dos imágenes, se ajustarán ambas.

Reduc ruido

Reduce la granulación de la imagen y el ruido del color.

- 1 Seleccione “Reduc ruido” con **↑/↓** y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Seleccione el modo de Reduc ruido con **↑/↓**.

Apagar: La señal de la imagen se muestra directamente.

Bajo: para ajustar el procesamiento de reducción del ruido en bajo

Medio: para ajustar el procesamiento de reducción del ruido en medio

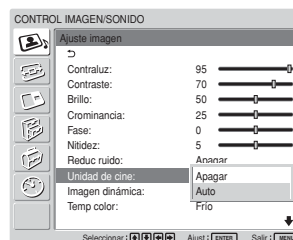
Alto: para ajustar el procesamiento de reducción del ruido en alto

- 3 Pulse ENTER para regresar al menú Ajuste imagen.
Al mostrarse dos imágenes, se ajustarán ambas.

Unidad de cine

Detecta automáticamente una imagen filmada en película de 24 fotogramas y la reproduce maximizando las características de una película.

- 1 Seleccione “Unidad de cine” con **↑/↓** y pulse ENTER. Aparece el menú siguiente en pantalla.



- 2 Seleccione el modo Unidad de cine con **↑/↓**.

Apagar: Reproduce la película según su señal.

Auto: Reproduce la secuencia en una película, maximizando las características de película del original.

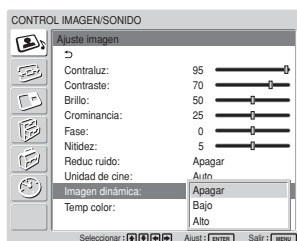
Al mostrarse dos imágenes, sólo se ajustará la imagen activa.

Imagen dinámica

Aumenta el contraste haciendo que el color blanco sea más luminoso y el negro más oscuro.

- 1 Seleccione “Imagen dinámica” con **↑/↓** y pulse ENTER.

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Seleccione el modo de Imagen dinámica con **↑/↓**.
Apagar: Desactiva la función Imagen dinámica.
Bajo: Ajusta la función Imagen dinámica a baja.
Alto: Ajusta la función Imagen dinámica a alta.
- 3 Pulse ENTER para regresar al menú Ajuste imagen. Al mostrarse dos imágenes, se ajustarán ambas.

Temp color (temperatura del color)

También es posible ajustar la temperatura del color. Puede seleccionar “Cálido”, “Neutro” o “Frío”, o bien ajustar cada ganancia de forma más precisa.

- 1 Seleccione “Temp color” con **↑/↓** y pulse ENTER.
- 2 Seleccione la temperatura del color con **↑/↓** y pulse ENTER.
Frío: para ajustar la temperatura del color en alto
Neutro: para ajustar la temperatura de color en neutro
Cálido: para ajustar la temperatura del color en bajo
Color1 – 3: para ajustar los valores de cada ganancia por separado

Cuando selecciona “Cálido”, “Neutro” o “Frío”, vuelve a aparecer el menú Ajuste imagen.

Si selecciona “Color1” a “Color3”

- (1) Pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) hasta el elemento de ganancia que desea ajustar y pulse ENTER.

- (2) Ajuste la ganancia (0 a 100) con **↑/↓/←/→** y pulse ENTER.

El menú vuelve al menú Temp color.
Al mostrarse dos imágenes, se ajustarán ambas.

Correc. Color

Reproduce fielmente una piel sana.

- 1 Seleccione “Correc. color” con **↑/↓** y pulse ENTER. Aparece el menú siguiente en pantalla.



- 2 Seleccione el modo Correc. Color con **↑/↓**.
Apagar: Desactiva la función Correc. Color.
Encender: Activa la función Correc. Color.
 Al mostrarse dos imágenes, sólo se ajustará la imagen activa.

Correc. gama

Ajusta automáticamente el balance entre las porciones de imágenes claras y las oscuras.

- 1 Seleccione “Correc. gama” con **↑/↓** y pulse ENTER.
 Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Seleccione el modo corrección de gama con **↑/↓**.
Alto: para ajustar la corrección de gama en Alto
Medio: para ajustar la corrección de gama en Medio
Bajo: para ajustar la corrección de gama en Bajo
- 3 Pulse ENTER para regresar al menú Ajuste imagen. Al mostrarse dos imágenes, se ajustarán ambas.

Restauración de los valores originales de los elementos del menú Ajuste imagen

- 1 En el menú Ajuste imagen, pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) hasta “Restaurar” y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) hasta “Aceptar” y pulse ENTER. Los elementos del menú Ajuste imagen regresan a sus valores predeterminados de fábrica.

Nota

No se borrarán los valores ajustados para Color1 - 3 de Temp color.

Cuando se muestran dos imágenes, los valores de “Contraluz”, “Contraste” y “Brillo” tampoco se borrarán.

Para cancelar la función de restauración

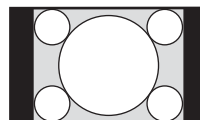
Pulse MENU antes de pulsar ENTER.

Otra opción consiste en seleccionar “Cancelar” mediante **↑/↓** y, a continuación, pulsar ENTER.

Ampliación de imágenes

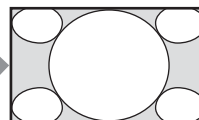
Puede ampliar las imágenes según sus preferencias. El Modo panorámico ofrece las siguientes opciones.

Imágenes originales (tipo de imagen)

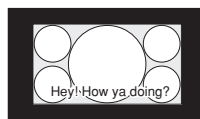


Imágenes normales con una relación de aspecto de 4:3 (relación de aspecto de la pantalla: 4:3).

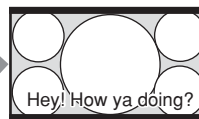
Aumento de imágenes



Amplía las imágenes a un tamaño de pantalla completa.

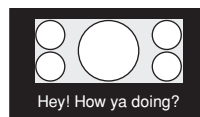


Zoom

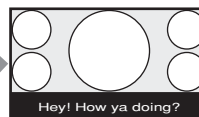


- Imágenes del software de una cámara de vídeo o de DVD que contiene información sobre la relación de aspecto (tipo ID-1)

Las imágenes se aumentan al tamaño de pantalla completa cuando se alinean con los lados derecho e izquierdo de la pantalla. (Pueden permanecer barras negras en la parte superior o inferior de la pantalla, en función del tipo de imagen.)

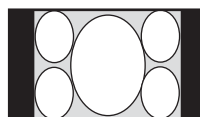


Sub título

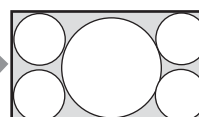


Películas filmadas, por ejemplo, en CinemaVision u otros que aparecen en sentido vertical en la dirección horizontal de la pantalla y que incluyen subtítulos fuera de la imagen (relación de aspecto: 2.35:1)

La imagen aparece en la pantalla mostrando el área donde aparecen los subtítulos, a tamaño de pantalla completa y alineada con los bordes izquierdo y derecho de la pantalla.

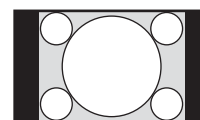


Hori zontal

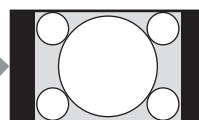


Imágenes del software de una cámara de vídeo o de DVD que contiene información sobre la relación de aspecto (tipo ID-1)

Los bordes izquierdo y derecho de la imagen se aumentan al tamaño de pantalla completa sin cambiar la parte superior ni la inferior.



4:3



Imágenes normales con una relación de aspecto de 4:3 (relación de aspecto de la pantalla: 4:3).

Muestra la imagen sin ampliarla.

Ajuste Panorámico auto

La función “Panorámico auto” reproduce imágenes con fidelidad a partir de la señal de control de identificación para identificar el formato de señal de vídeo o aumenta varios tipos de imágenes para optimizarlas.

También puede aumentar una imagen con una relación de aspecto de 4:3 a 16:9.

Señal de control de identificación

Se trata de una señal de control para reproducir fielmente el formato de la imagen original en la pantalla del televisor. Las imágenes que contienen este tipo de señal son las siguientes:

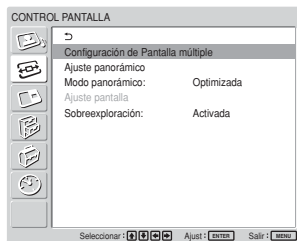
- Imágenes grabadas con cámara de televisión que contiene información sobre el formato (formatos ID-1)
- Emisiones de televisión que contienen una señal para ajustar el formato en 4:3.

1 Pulse MENU.

El menú principal aparece en el panel de visualización.



2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “CONTROL PANTALLA” y pulse ENTER. El menú CONTROL PANTALLA aparece en el panel de visualización.



3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “Ajuste panorámico” y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



4 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “Panorámico auto” y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



5 Seleccione un ajuste de “Panorámico auto” mediante el botón ↑/↓. **Apagar:** Las imágenes se reproducirán tal cual aparecen. **Encender:** La imagen se amplía y muestra en la relación de aspecto más apropiada.

6 Pulse ENTER. La pantalla vuelve a la pantalla mostrada en el paso 3.

7 Seleccione “Modo 4:3” con ↑/↓ y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 8** Seleccione el modo de Modo 4:3 con **↑/↓**.
4:3 : Las imágenes con una relación de aspecto 4:3 se muestran tal cual aparecen.
Optimizada: Las imágenes con una relación de aspecto 4:3 se reproducen después de ser ampliadas a una relación de aspecto 16:9.
- 9** Pulse ENTER.
 El menú vuelve al menú CONTROL PANTALLA.

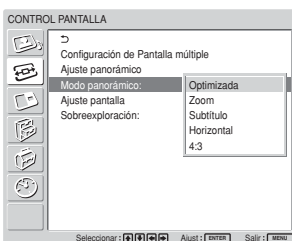
Nota

- Cuando se reciben señales DVI o RGB, no se puede establecer Panorámico auto porque esta función no está disponible.
- Al mostrarse dos imágenes mediante la combinación componente + componente, la función Panorámico auto sólo funcionará con señales procedentes de los adaptadores BKM-FW11 o BKM-FW12.

Ajuste del Modo panorámico

Las imágenes se pueden también ampliar al “Modo panorámico” deseado independientemente del tipo de imagen.

- 1** En el menú CONTROL PANTALLA, pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) a “Modo panorámico” y pulse ENTER.
 Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2** Seleccione el modo de “Modo panorámico” con **↑/↓**.
Optimizada: Amplía imágenes 4:3 de pantalla completa a imágenes de 16:9.
Zoom: Amplía la imagen ocupando toda la pantalla de izquierda a derecha. (Las barras negras pueden permanecer en la parte superior o inferior de la pantalla, en función del tipo de imagen.)
Subtítulo: Amplia la imagen ocupando toda la pantalla de derecha e izquierda y comprime la zona donde se visualizan los subtítulos.

Horizontal: Extiende los lados derecho e izquierdo de la imagen ocupando toda la pantalla pero sin cambiar la parte superior e inferior.

4:3: Muestra la imagen sin ampliarla.

- 3** Pulse ENTER.
 El menú vuelve al menú CONTROL PANTALLA.

Notas

- No puede ajustar el aspecto mientras se está utilizando la función PICTURE AND PICTURE o la opción Pantalla múltiple.
- Si selecciona el modo de “Modo panorámico”, se inhabilitará la función de “Panorámico auto”. Si desea utilizar la función de “Panorámico auto”, vuelva a seleccionar “Encender”.
- Dependiendo del tipo y del tamaño de imagen, las partes superior o inferior de la imagen pueden quedar cortadas o los subtítulos no se podrán ver completamente.
- Tenga en cuenta que la visualización de imágenes aumentadas o comprimidas para fines comerciales o exhibición pública en hoteles o cafés pueden infringir las leyes de copyright.

Cambio del tamaño y posición de la imagen

Es posible desplazar la posición de la imagen de forma que encaje en la pantalla, o ajustar el tamaño vertical y horizontal de la imagen por separado.

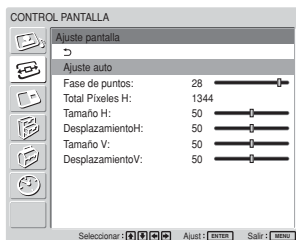
Ajuste del tamaño, posición o los píxeles de la imagen

Pulse MENU para mostrar el menú principal y ajustar “Fase de puntos”, “Total Píxeles H”, “Tamaño H”, “DesplazamientoH”, “Tamaño V” o “DesplazamientoV” en el menú Ajustar pantalla.

Ajuste pantalla

Si aparece un exceso de ruido en los bordes de los caracteres o líneas verticales, o si el tamaño o la posición de la imagen no son los adecuados, ajuste la pantalla.

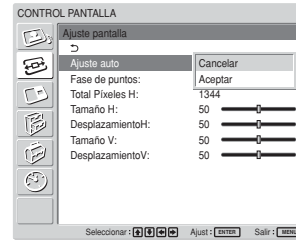
- 1 Seleccione “Ajuste pantalla” con $\uparrow/\downarrow$ y pulse ENTER. Aparece el menú siguiente en pantalla.



- 2 Puede ajustar la pantalla de forma automática o manual.

Ajuste automático

- (1) Seleccione “Ajuste auto” con $\uparrow/\downarrow$ y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- (2) Seleccione “Aceptar” con $\uparrow/\downarrow$ y pulse ENTER.
Todos los elementos del menú “Ajuste pantalla” se ajustan de forma automática.

Nota

Debido a los patrones de la imagen, es posible que, en ocasiones, el ruido continúe a pesar de haber utilizado la opción Ajuste auto. En tal caso, ajuste la fase de puntos manualmente.

Ajuste manual

- (1) Seleccione el elemento que desee ajustar y pulse ENTER.
Aparecerá la pantalla siguiente. (Cuando seleccione “Fase de puntos”)



- (2) Ajuste la fase de punto o el número total de píxeles horizontales con $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ hasta obtener la mejor visualización de los caracteres y las líneas verticales y, a continuación, pulse ENTER.

Fase de puntos

Seleccione “Fase de puntos” con **↑/↓** y pulse ENTER. Ajuste la fase de puntos con **↑/↓/←/→** hasta que los caracteres y líneas verticales se visualicen de forma óptima y, a continuación, pulse ENTER.

Nota

Este elemento sólo es válido para una señal de ordenador analógica.

Total Píxeles H

Seleccione “Total Píxeles H” con **↑/↓** y pulse ENTER. Ajuste el número total de píxeles horizontales con **↑/↓/←/→** hasta que los caracteres y líneas verticales se visualicen de forma óptima y, a continuación, pulse ENTER. (Todos los elementos del menú “Ajuste pantalla” se reajustarán automáticamente de acuerdo con el valor de Total Píxeles H que se haya ajustado manualmente.)

Nota

Este elemento sólo es válido para una señal de ordenador analógica.

Tamaño H

Seleccione “Tamaño H” con **↑/↓** y pulse ENTER. Ajuste el tamaño horizontal de la imagen con **↑/↓/←/→** dentro del rango de MIN (0) a MAX (100) y, a continuación, pulse ENTER.

↑/→: Aumenta la imagen horizontalmente.

↓/←: Comprime la imagen horizontalmente.

Cuando desee restablecer Tamaño H al valor central, seleccione “Ajuste auto”.

DesplazamientoH

Seleccione “DesplazamientoH” con **↑/↓** y pulse ENTER. Ajuste la posición de la imagen horizontalmente con **↑/↓/←/→** dentro del rango de MIN (0) a MAX (100) y, a continuación, pulse ENTER.

↑/→: Mueve la imagen hacia la derecha.

↓/←: Mueve la imagen hacia la izquierda.

Cuando desee restablecer DesplazamientoH al valor central, seleccione “Ajuste auto”.

Tamaño V

Seleccione “Tamaño V” con **↑/↓** y pulse ENTER. Ajuste el tamaño vertical de la imagen con **↑/↓/←/→** dentro del rango de MIN (0) a MAX (100) y, a continuación, pulse ENTER.

↑/→: Aumenta la imagen verticalmente.

↓/←: Comprime la imagen verticalmente.

Cuando desee restablecer “Tamaño V” al valor central, seleccione “Ajuste auto”.

DesplazamientoV

Seleccione “DesplazamientoV” con **↑/↓** y pulse ENTER. Ajuste la posición de la imagen verticalmente con **↑/↓/←/→** dentro del rango de MIN (0) a MAX (100) y, a continuación, pulse ENTER.

↑/→: Mueve la imagen hacia arriba.

↓/←: Mueve la imagen hacia abajo.

Cuando desee restablecer DesplazamientoV al valor central, seleccione “Ajuste auto”.

Nota

Si la opción “Modo panorámico” está ajustada en “Optimizada”, no podrá ajustar el tamaño ni la posición de la imagen.

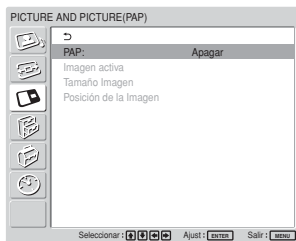
Visualización de dos imágenes a la vez

Puede mostrar dos imágenes desde distintas fuentes de señal como, por ejemplo, un ordenador y un vídeo, uno junto al otro.

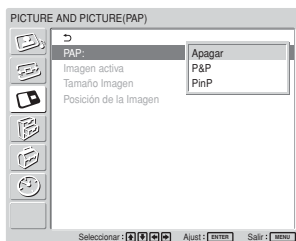
- 1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



- 2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “PICTURE AND PICTURE (PAP)” (Imagen e imagen) y pulse ENTER.
El menú PICTURE AND PICTURE (PAP) aparecerá en la pantalla.



- 3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “PAP” y pulse ENTER.
El menú siguiente aparece en pantalla.

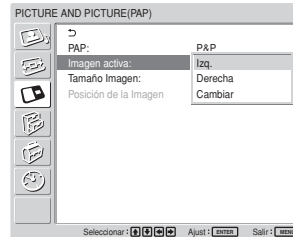


- 4 Seleccione el modo PAP con ↑/↓.
Apagar: Desactiva la función PAP.
P&P: Muestra dos imágenes una junto a la otra a la vez.
PinP: Muestra una imagen en un recuadro de la imagen principal.
- 5 Pulse ENTER para regresar a la pantalla anterior.

Activación de una imagen o intercambio de posición de dos imágenes

Cuando se selecciona P&P

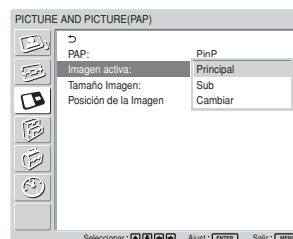
- 1 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “Imagen activa” y pulse ENTER.
El menú siguiente aparece en pantalla.



- 2 Seleccione el modo Imagen activa con ↑/↓ y pulse ENTER.
Cuando aparezca el menú, el marco se mostrará alrededor de la imagen cuyos parámetros puede ajustar.
Se emite el audio que corresponde a la imagen activa.
Izq.: Activa la imagen de la izquierda.
Derecha: Activa la imagen de la derecha.
Cambiar: Intercambia la posición de las dos imágenes.
Si no se muestra la pantalla de menú, la imagen situada a la izquierda se activará al pulsar ← en el mando a distancia y la imagen de la derecha se activará al pulsar → en el mando a distancia.

Cuando está seleccionado PinP

- 1 Seleccione “Imagen activa” con ↑/↓ y pulse ENTER. Aparece lo siguiente en pantalla.



- 2 Seleccione el modo Imagen activa con ↑/↓ y pulse ENTER.
Si visualiza el menú con la imagen secundaria activada, se mostrará un marco alrededor de ésta. Con la imagen principal activada, el marco no aparece. Se emite el audio que corresponde a la imagen activa.
Principal: Activa la imagen principal.

Sub: Activa la imagen del recuadro.
Cambiar: Intercambia las imágenes principal y del recuadro.
Si no se muestra la pantalla de menú, la imagen principal se activará al pulsar **←** en el mando a distancia y la imagen del recuadro se activará al pulsar **→** en el mando a distancia.

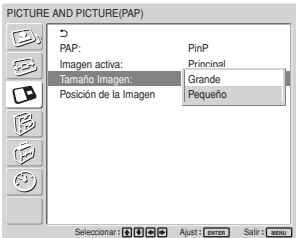
Ampliación de una imagen

Cuando se selecciona P&P

- 1 Seleccione “Tamaño imagen” con **↑/↓** y pulse ENTER.
- 2 Para cambiar el tamaño de las imágenes, pulse **←/→** y, a continuación, pulse ENTER.

Cuando está seleccionado PinP

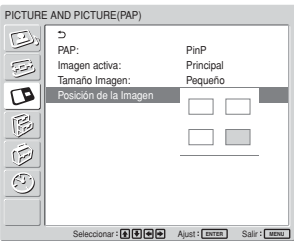
- 1 Seleccione “Tamaño imagen” con **↑/↓** y pulse ENTER. Aparece lo siguiente en pantalla.



- 2 Pulse **↑/↓** para seleccionar el tamaño y, a continuación, pulse ENTER.
Grande: Aumenta el tamaño de la imagen del recuadro.
Pequeña: Reduce el tamaño de la imagen del recuadro.

Ajuste de la posición de la imagen del recuadro (sólo para PinP)

- 1 Seleccione “Posición de la imagen” con **↑/↓** y pulse ENTER.



- 2 Ajuste la posición de la imagen del recuadro con **↑/↓/←/→** y, a continuación, pulse ENTER.

Notas

- Sólo podrá mostrar dos imágenes cuando “Pantalla múltiple” esté ajustado en “Apagar”.
- Al mostrar dos imágenes, los valores de “Brillo” y “Contraste” se ajustan para que haya un equilibrio entre ambas imágenes.
- Puede seleccionar cualquiera de las combinaciones de señales de entrada siguientes para la función PICTURE AND PICTURE.
- El sistema de entrada de la imagen de la derecha o la imagen del recuadro se muestra en la parte superior derecha de la pantalla. Debajo, se muestra el sistema de color o resolución/frecuencia vertical de la imagen activa.

PC (Digital)	+	PC (Analógico)	PC	+	Vídeo / S Vídeo
Input1	+	Input2	Input1	+	BKM-FW10
Input1	+	BKM-FW12	Input2	+	BKM-FW10
Input1	+	BKM-FW11			
Input1	+	BKM-FW50			

PC	+	Componente	PC (Analógico)	+	Vídeo digital
Input1	+	BKM-FW11	Input2	+	Input1
Input1	+	Input2	BKM-FW12	+	Input1
Input2	+	BKM-FW11	BKM-FW11	+	Input1
Input1	+	BKM-FW12			
Input2	+	BKM-FW12			

Vídeo / S Vídeo	+	Componente	Componente	+	Componente (hasta 480i)
BKM-FW10	+	Input2*	Input2	+	BKM-FW11*
			Input2	+	BKM-FW12*

Vídeo digital	+	Componente	Vídeo digital	+	Vídeo / S Vídeo
Input1	+	BKM-FW11	Input1	+	BKM-FW10
Input1	+	Input2			
Input1	+	BKM-FW12			

Combinaciones recomendadas

- Si se utiliza la combinación marcada con *, las funciones Subtítulos y Panorámico auto sólo funcionarán si se reciben señales procedentes de los adaptadores BKM-FW10, BKM-FW11 o BKM-FW12.
- Es posible que 2 imágenes de sistemas de televisión diferentes no se muestren correctamente debido a la diferencia del formato de señal.

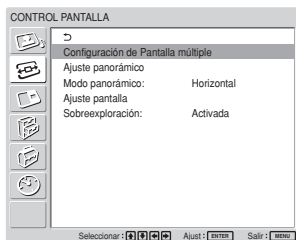
Configuración de Pantalla Múltiple

Puede establecer ajustes para conectar varios monitores y formar una solución integrada de paneles de imágenes (video wall).

- 1 Pulse MENU.
El menú principal aparecerá en la pantalla.



- 2 Seleccione "CONTROL PANTALLA" con $\uparrow/\downarrow$ y pulse ENTER.
Aparecerá en pantalla el menú CONTROL PANTALLA.



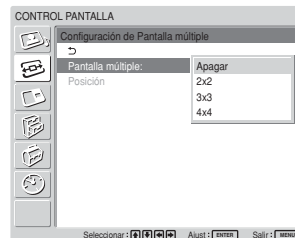
Nota

La opción Pantalla múltiple permite mostrar una imagen ampliada con la opción "Modo panorámico" ajustada en "Horizontal".

- 3 Seleccione "Configuración de Pantalla múltiple" con $\uparrow/\downarrow$ y pulse ENTER.
Aparecerá en pantalla el menú Configuración de Pantalla múltiple.

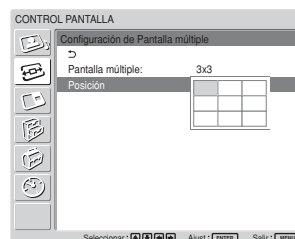


- 4 Seleccione "Pantalla múltiple" con $\uparrow/\downarrow$ y pulse ENTER.
Aparecerá en pantalla el menú siguiente.

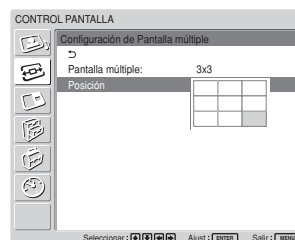


- 5 Seleccione el modo correspondiente a la disposición de la solución integrada de paneles de imágenes (video wall) que desea configurar con $\uparrow/\downarrow$.
Apagar: utiliza una única pantalla.
2x2 - 4x4: selecciona la disposición que se utilizará para construir la solución integrada.

- 6 Pulse ENTER para volver al menú Configuración de Pantalla múltiple y seleccione "Posición" con $\uparrow/\downarrow$.



- 7 Seleccione la posición de este monitor en concreto en la disposición de la solución integrada (video wall) con $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.



Por ejemplo, para seleccionar la posición en la parte inferior derecha de una disposición 3 x 3

- 8 Pulse ENTER para ajustar la posición.
El menú regresa al menú Configuración de Pantalla múltiple.

Nota

Sólo podrá establecer la opción Pantalla múltiple cuando la función "PICTURE AND PICTURE" esté desactivada.

Ajuste de la calidad del sonido

Cuando instale altavoces SS-SP40FW/32FW (no suministrado), podrá ajustar el nivel de graves, el nivel de agudos, y el equilibrio del volumen entre los altavoces (izquierdo y derecho). Igualmente se puede ajustar el modo envolvente.

Ajuste de agudos, graves y equilibrio, etc.

Pulse MENU para que aparezca el menú principal en el panel de visualización y seleccione “Agudos”, “Graves”, “Equilibrio” o “Envolvente” en el menú Ajuste sonido.
Ajuste “Modo Imagen” en un valor entre “Usuario1” y “Usuario3”.

Agudos

Seleccione “Agudos” con **↑/↓** y pulse ENTER.
Ajuste los agudos con **↑/↓/←/→** entre MÍN (-50) y MÁX (50) y, a continuación, pulse ENTER.

↑/→: para aumentar los agudos

↓/←: para disminuir los agudos

Graves

Seleccione “Graves” con **↑/↓** y pulse ENTER.
Ajuste los graves con **↑/↓/←/→** entre MÍN (-50) y MÁX (50) y, a continuación, pulse ENTER.

↑/→: para aumentar los graves

↓/←: para disminuir los graves

Equilibrio

Seleccione “Equilibrio” con **↑/↓** y pulse ENTER.
Ajuste el balance con **↑/↓/←/→** entre IZQUIERDA (50) y DERECHA (50) y, a continuación, pulse ENTER.

↑/→: para aumentar el volumen de la derecha

↓/←: para aumentar el volumen de la izquierda

Envolvente

Seleccione el modo de salida envolvente según el tipo de imagen.

1 Seleccione “Envolvente” con **↑/↓** y pulse ENTER.

2 Seleccione el modo envolvente con **↑/↓** y pulse ENTER.

Apagar: Sin salida envolvente

Hall: Cuando desee proporcionar una calidad más realista al sonido en estéreo de películas o programas musicales.

Simulac: Cuando desee dar a los programas monoaurales normales o a las noticias televisadas una calidad más realista mediante gracias a la simulación de sonido estéreo.

Restauración de los elementos del menú de Ajuste sonido a su ajuste original

1 En el menú Ajuste sonido, pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) a “Restaurar” y pulse ENTER.

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



2 Pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) a “Aceptar” y pulse ENTER.

Los elementos del menú Ajuste sonido regresan a sus valores predeterminados de fábrica.

Para cancelar la función de restauración

Pulse MENU antes de pulsar ENTER.

Otra opción consiste en seleccionar “Cancelar” mediante **↑/↓** y, a continuación, pulse ENTER.

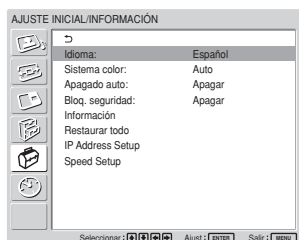
Selección del idioma en pantalla

Es posible seleccionar el idioma que desee para la pantalla entre japonés, inglés, alemán, francés, español o italiano.

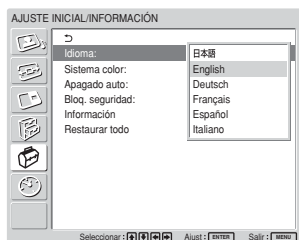
- 1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



- 2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta “AJUSTE INICIAL/INFORMACIÓN” y pulse ENTER.
Aparece el menú AJUSTE INICIAL/INFORMACIÓN en el panel de visualización.



- 3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “Idioma” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 4 Pulse ↑/↓ para mover el cursor (amarillo) al idioma seleccionado y pulse ENTER.
El idioma en pantalla cambia por el que haya seleccionado.

日本語: japonés

English: inglés

Deutsch: alemán

Français: francés

Español: español

Italiano: italiano

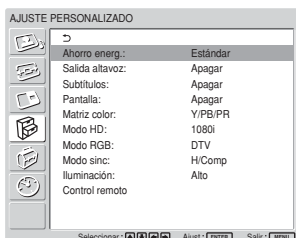
Ajuste de la matriz de colores

Puede ajustar la matriz de colores para que las imágenes se reproduzcan con colores naturales cuando el adaptador de entrada de componente recibe una señal con formato de señal (480I(525I), 480P(525P), 1080I(1125I) o 720P(750P)).

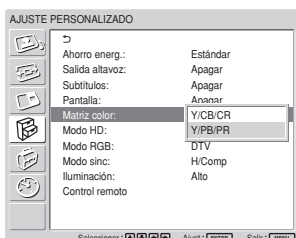
- 1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



- 2 Pulse $\uparrow/\downarrow$ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "AJUSTE PERSONALIZADO" y pulse ENTER.
Aparece el menú AJUSTE PERSONALIZADO en el panel de visualización.



- 3 Pulse $\uparrow/\downarrow$ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "Matriz Color" y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 4 Seleccione la matriz de colores con $\uparrow/\downarrow$.
Y/CB/CR: Cuando el formato de señal es 480I o 480P.
Y/PB/PR: Cuando el formato de la señal es 1080I o 720P.

Consulte el manual de instrucciones que se suministra con cada dispositivo para configurarlos correctamente.

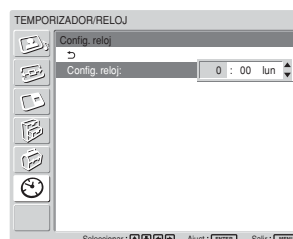
- 5 Pulse ENTER para regresar a la pantalla anterior.

Control automático de la alimentación (función de temporizador)

Se puede establecer la hora de visualización de la hora actual y la hora de conexión y desconexión automática (función On/off Timer).

Ajuste de la hora y el día

- 1 En el menú TEMPORIZADOR/RELOJ, pulse $\uparrow/\downarrow$ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "Config. reloj" y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú y el color de fondo de la hora aparece en amarillo.



- 2 Ajuste la hora con $\uparrow/\downarrow$ y pulse ENTER.
El indicador muestra el ajuste de la hora y el fondo de los minutos aparece de color amarillo.
- 3 Ajuste los minutos con $\uparrow/\downarrow$ y pulse ENTER.
Se especifica la configuración de los minutos y el fondo de la pantalla del día se vuelve de color amarillo.
- 4 Establezca el día con $\uparrow/\downarrow$ y pulse ENTER.
El día se establece y la pantalla vuelve a la pantalla anterior.

5 Pulse MENU.

La pantalla vuelve a la pantalla normal. Si es necesario realizar más ajustes, o si debe realizarse el ajuste de nuevo, repita el proceso desde el paso 1.

Nota

Si el reloj se atrasa significativamente, es posible que la pila interna se esté agotando. Póngase en contacto con un proveedor autorizado de Sony para cambiar la pila.

Visualización de la hora

- 1** En el menú TEMPORIZADOR/RELOJ, pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) a “Pantalla reloj” y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2** Seleccione “Encender” con **↑/↓** y, a continuación, pulse ENTER. Cuando oculte el menú, el reloj aparecerá en la esquina inferior izquierda de la pantalla.

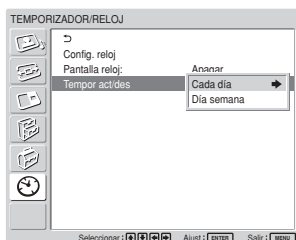
Pulse el botón DISPLAY del mando a distancia para que aparezca la señal que se recibe actualmente y el Modo de imagen.

La información desaparece de forma automática tras permanecer en pantalla 5 segundos junto con el reloj sin que se realice ningún cambio en ella.

“Pantalla reloj: Encender” se guardará incluso después de apagar el monitor.

Función temporizador act/des

- 1** En el menú TEMPORIZADOR/RELOJ, pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) hasta “Tempor act/des” y pulse ENTER. El siguiente menú aparece en la pantalla del monitor.



- 2** Seleccione “Cada día” o “Día semana” con **↑/↓** y pulse ENTER.

Cuando se seleccione “Día semana”, puede ajustar una hora específica para cada día de una semana.

Cuando se selecciona “Cada día”, la pantalla siguiente aparece en pantalla.



- 3** Para ajustar la opción “Tiempo Enc”, cambie **●** por **○** mediante **↑/↓** y pulse ENTER.



- 4** Pulse **↑/↓** para ajustar la Hora de activación y pulse ENTER. La hora queda establecida y el fondo de la pantalla de minutos se vuelve de color amarillo.

- 5** Pulse **↑/↓** para ajustar los minutos y pulse ENTER.

- 6** Ajuste la opción “Tiempo Apag” a la vez que ajusta “Tiempo Enc”.

- 7** Pulse ENTER. Se ha ajustado “Tempor act/des”.

Notas

- La hora no está preprogramada en la configuración de fábrica, por lo tanto se muestra “-- : --” en el reloj.
- La hora ajustada para “Cada día” también se aplica a “Día semana”. Si ajusta la hora para “Día semana”, se cancelará el ajuste de “Cada día”.

Configuración del bloqueo de seguridad

El monitor incluye una función de bloqueo de seguridad. Una vez ajustado el bloqueo de seguridad, se le solicita al usuario que introduzca una contraseña cuando se enciende la pantalla y no se muestra imagen alguna a menos que se introduzca la contraseña correcta, por lo que no podrá utilizarse la pantalla.

Nota

Téngalo en cuenta al utilizar esta función. Se recomienda anotar la contraseña del monitor y guardarla en un lugar seguro para consultarla en caso necesario. Si olvida la contraseña, póngase contacto con personal cualificado de Sony.

Para activar el bloqueo de seguridad

- 1 Pulse MENU y ajuste “Bloq. seguridad” en “Encender” en el menú AJUSTE INICIAL/ INFORMACIÓN.
- 2 Indique una contraseña.
Escriba una contraseña de cuatro dígitos con MENU, ↑/↓, ENTER.
 (“ENTER, ENTER, ENTER, ENTER” se ajusta como la contraseña predefinida en fábrica. Pulse “ENTER” cuatro veces cuando utilice esta función por primera vez).



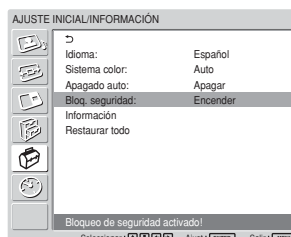
Aparecerá un cuadro de diálogo en el que se le pide que escriba una nueva contraseña.
(Escriba una contraseña en este campo aunque desee seguir utilizando la contraseña actual)
Escriba la contraseña en el cuadro de diálogo.



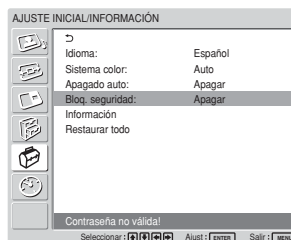
- 3 Escriba de nuevo la contraseña para confirmarla.



La configuración ha terminado cuando aparece el mensaje siguiente.



Si la pantalla del menú muestra el mensaje “Contraseña no válida!”, inicie de nuevo el procedimiento desde el paso 1.



- 4 Tras finalizar el proceso descrito anteriormente, apague el monitor y desenchufe el cable de alimentación para que la configuración sea válida. El bloqueo de seguridad se activará y, la próxima vez que encienda el monitor, aparecerá el cuadro de diálogo que le pedirá que escriba la contraseña.

Autenticación de seguridad

Cuando aparezca un cuadro de diálogo solicitándole la contraseña, escriba la contraseña establecida para el monitor.

Si escribe una contraseña incorrecta tres veces, ya no podrá utilizar el monitor. En este caso, pulse el interruptor ⏻ POWER para apagarlo.

Para desactivar el bloqueo de seguridad

Pulse MENU y ajuste “Bloq. seguridad” en “Apagar” en el menú AJUSTE INICIAL/ INFORMACIÓN.

Ajuste de una dirección IP y de la velocidad de comunicación

Si instala un adaptador opcional con función de comunicación como el BKM-FW32 o el BKM-FW50 en la ranura OPTION1 del monitor, establezca una dirección IP y la velocidad de comunicación para controlar dicho monitor a través de la red.

Nota

El ajuste de la dirección IP y de la velocidad de comunicación se completa al seleccionar “Execute” y pulsar ENTER.

Si el ajuste se completa correctamente, aparecerá “Done” (finalizado).

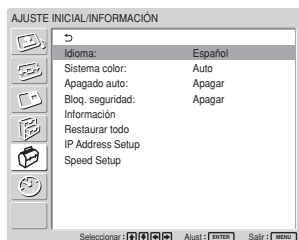
Si no completa correctamente el ajuste, se mostrará un código de error. En ese caso, confirme los valores de configuración y vuelva a realizar los ajustes.

Obtención de una dirección IP automáticamente(DHCP)

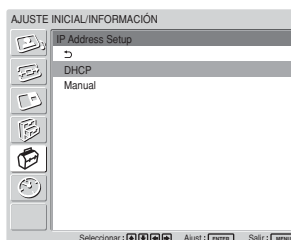
- 1 Pulse MENU.
Aparece el menú principal en pantalla.



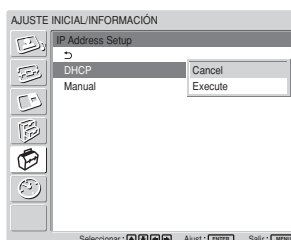
- 2 Seleccione “AJUSTE INICIAL/ INFORMACIÓN” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Aparece el menú AJUSTE INICIAL/ INFORMACIÓN en la pantalla.



- 3 Seleccione “IP Address Setup” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Aparece el menú siguiente en pantalla.



- 4 Seleccione “DHCP” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Aparece el menú siguiente en pantalla.



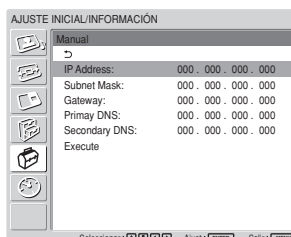
- 5 Seleccione “Execute” con ↑/↓ y pulse ENTER.
Se obtiene automáticamente una dirección IP.

Nota

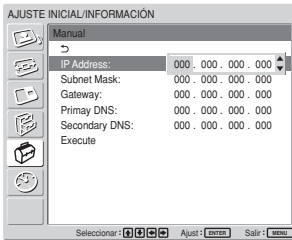
Cuando se obtiene una dirección IP automáticamente mediante DHCP, es posible que ésta varíe cada vez que se enciende y apaga el monitor.

Ajuste manual de una dirección IP (manual)

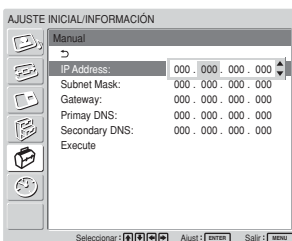
- 1 Seleccione “Manual” en el paso 4 de “Obtención automática de una dirección IP (DHCP)” y pulse ENTER.
El menú siguiente aparecerá en la pantalla.



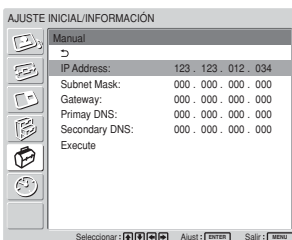
- 2** Seleccione mediante **↑/↓** un elemento que desee ajustar manualmente y pulse ENTER.



- 3** Ajuste el valor de tres dígitos (entre 0 y 255) para el primer cuadro mediante **↑/↓** en la unidad de visualización o bien mediante las teclas numéricas del mando a distancia, y pulse ENTER o **→**. El cursor se mueve hasta el siguiente cuadro.



- 4** Ajuste el valor de tres dígitos (entre 0 y 255) para cada uno de los cuatro cuadros y pulse ENTER. El menú siguiente aparecerá en la pantalla.



- 5** Seleccione mediante **↑/↓** el elemento siguiente que desee ajustar manualmente, repita el mismo procedimiento anterior y, a continuación, pulse ENTER.
- 6** Cuando haya ajustado los valores para todos los elementos que desee, seleccione “Execute” mediante **↑/↓** y, a continuación, pulse ENTER. Seleccione “Aceptar” y pulse ENTER. Se ajusta manualmente una dirección IP.

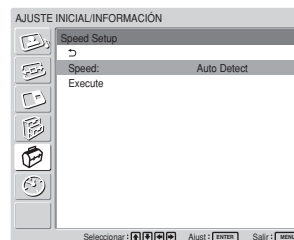
Nota

Si una dirección IP no se ajusta correctamente, aparecerán los siguientes códigos de error en función de la causa del error.

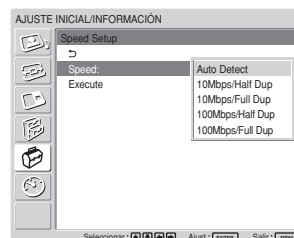
- Error 1** Error de comunicación entre la unidad de visualización y un adaptador opcional como el BKM-FW32 o el BKM-FW50
- Error 2** Ya se utiliza la dirección IP especificada para otro dispositivo.
- Error 3** Error en la dirección IP
- Error 4** Error en la dirección de gateway
- Error 5** Error en la dirección DNS primaria
- Error 6** Error en la dirección DNS secundaria
- Error 7** Error en la máscara de subred

Ajuste de una velocidad de comunicación

- 1** En el menú AJUSTE INICIAL/INFORMACIÓN, seleccione “Speed Setup” con **↑/↓** y pulse ENTER.



- 2** Pulse ENTER, seleccione una velocidad de comunicación con **↑/↓** y, a continuación, pulse ENTER. Seleccione “Auto Detect” si desea ajustar automáticamente la velocidad de comunicación adecuada para su configuración de red.



- 3** Seleccione “Execute” y pulse ENTER. Seleccione “Aceptar” y pulse ENTER. Se ha ajustado una velocidad de comunicación.

Función de autodiagnóstico

La unidad cuenta con una función de autodiagnóstico. Esta función muestra el estado de la pantalla de acuerdo con el patrón que muestra el parpadeo del indicador POWER/STANDBY y que informa sobre el estado actual de la pantalla.

Si parpadea el indicador POWER/STANDBY, compruebe el número de parpadeos y consulte a un proveedor Sony autorizado.

- 1** Compruebe el parpadeo del indicador POWER/STANDBY.
El indicador parpadea con una imagen visible en la pantalla, o bien a intervalos de tres segundos sin ninguna imagen en la pantalla.
Cuenta el número de parpadeos si el indicador parpadea a intervalos de tres segundos. Por ejemplo, el indicador parpadea dos veces, seguido de una pausa de tres segundos, dos parpadeos más y una repetición de lo anterior. En este caso, se cuentan dos parpadeos.

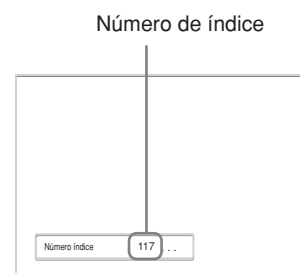
- 2** Desenchufe la unidad.
Comunique el número de parpadeos a un proveedor Sony autorizado.

Empleo de una pantalla específica con el Control remoto

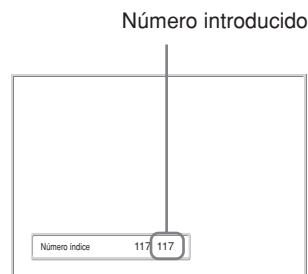
Con el mando a distancia suministrado, puede emplear una pantalla específica sin afectar a las demás pantallas instaladas a la vez.

- 1** Pulse ID MODE ON en el Control remoto.
Los números de índice de control aparecen con caracteres en negro en el menú inferior izquierdo de la pantalla. (a cada pantalla se le asigna un número de índice individual predefinido de 1 a 255.)

Para obtener más información, consulte “Para cambiar el número de índice” en la página 43 (ES).



- 2** Introduzca el número de índice de la pantalla que desee emplear utilizando los botones 0 - 9 del Control remoto.
El número introducido aparece junto al número de índice de cada pantalla.



- 3** Pulse ID MODE SET.
Los caracteres de la pantalla seleccionada se tornan de color verde mientras los demás se vuelven roja.



Sólo puede utilizar la pantalla especificada que venga indicada con caracteres en verde. La activación de la alimentación y del modo de espera también se aplica a las otras pantallas.

- 4** Cuando se hayan completado todos los ajustes, pulse el botón ID MODE OFF.
La pantalla vuelve al modo normal.



Para cambiar el número de índice

Puede cambiar el número de índice en caso necesario. Para cambiar el número, utilice los botones de la sección de botones de control de la unidad de visualización.

No puede cambiar el número de índice utilizando el mando a distancia.

- 1** Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



- 2** Seleccione "AJUSTE PERSONALIZADO" y pulse ENTER. Aparece lo siguiente en pantalla.



- 3** Seleccione "Control remoto" con ↑/↓ y pulse ENTER. Aparece el menú del mando a distancia en pantalla.



- 4** Seleccione el Número índice con ↑/↓ y pulse ENTER.

- 5** Ajuste el número del número de índice mediante ↑/↓ y pulse ENTER.
Vuelve a aparecer el menú Control remoto.

Especificaciones

Proceso de vídeo

Señal preajustada *Consulte la página 23 (ES)*

Índice de muestreo

13,5 MHz a 140 MHz

Sistema de paneles

Panel LCD a-Si TFT de matriz activa

Resolución de pantalla

1.366 puntos (horizontal) × 768 líneas (vertical)

FWD-40LX1:

Densidad de píxel 0,648 (horizontal) × 0,648 (vertical) mm
($\frac{1}{32} \times \frac{1}{32}$ pulgadas)

Tamaño de imagen

885 (horizontal) × 498 (vertical) mm (34 $\frac{7}{8}$ × 19 $\frac{5}{8}$ pulgadas)

Tamaño de panel 40 pulgadas (diagonal: 1.016 mm)

FWD-32LX1R:

Densidad de píxel 0,510 (horizontal) × 0,510 (vertical) mm
($\frac{1}{32} \times \frac{1}{32}$ pulgadas)

Tamaño de imagen

698 (horizontal) × 392 (vertical) mm (27 $\frac{1}{2}$ × 15 $\frac{1}{2}$ pulgadas)

Tamaño de panel 32 pulgadas (diagonal: 801 mm)

Entradas y salidas

INPUT1

DVI DVI (Compatible con la especificación DVI Rev. 1.0)

AUDIO Minitoma estéreo (×1)
500 mVrms, alta impedancia

INPUT2

RGB/COMPONENT

D-sub de 15 pines (hembra) (×1)
(consulte “Asignación de pines” en la página 45 (ES))

AUDIO Minitoma estéreo (×1)
500 mVrms, alta impedancia

CONTROL S IN/OUT

Minitoma (×2)

AUDIO OUT

Toma para pines (×2)
500 mVrms, alta impedancia

REMOTE (RS-232C)

Conector D-sub de 9 pines (×1)

ALTAVOZ

7 W + 7 W (6 ohm), impedancia directa no equilibrada: 6-16 ohm

Adaptador de entrada/salida de VIDEO/S VIDEO BKM-FW10

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N)

VIDEO IN Tipo BNC (×1)
Vídeo compuesta, 1 Vp-p ±2 dB sincronización negativa, 75 ohm (terminación automática)

VIDEO OUT Tipo BNC (×1) Derivada
S VIDEO IN Tipo mini DIN de 4 pines (×1)

Y (luminancia): 1 Vp-p ±2 dB sincronización negativa, terminación de 75 ohm

C (crominancia): Señal subportadora de crominancia 0,286 Vp-p ±2 dB (NTSC), terminación de 75 ohm
Señal subportadora de crominancia 0,3 Vp-p ±2 dB (PAL), terminación de 75 ohm

S VIDEO OUT Tipo mini DIN de 4 pines (×1) derivada

AUDIO IN Toma para pines (×2)
500 mVrms, alta impedancia

General

Requisitos de alimentación

100 a 240 V ca, 50/60 Hz

FWD-40LX1:

2,5 A a 1,2 A

FWD-32LX1R:

1,7 A a 0,8 A

Consumo de energía

FWD-40LX1: 220 W

FWD-32LX1R: 150 W

Condiciones de funcionamiento

Temperatura: 0 °C a +35 °C
(32 °F a 95 °F)

Humedad: 20% a 90%
(sin condensación)

Condiciones de almacenamiento/transporte

Temperatura: -10 °C a +40 °C
(14 °F a 104 °F)
Humedad: 20% a 90%
(sin condensación)

Dimensiones

Modelo con marco acrílico

FWD-40LX1:
994 × 597 × 125 mm
(39 1/4 × 23 5/8 × 5 pulgadas)
FWD-32LX1R:
802 × 492 × 107 mm
(31 5/8 × 19 3/8 × 4 1/4 pulgadas)

Modelo con marco no acrílico

FWD-40LX1:
988 × 591 × 125 mm
(39 × 23 3/8 × 5 pulgadas)
FWD-32LX1R:
796 × 486 × 107 mm
(31 3/8 × 19 1/4 × 4 1/4 pulgadas)
(an/al/prf, partes salientes excluidas)

Peso

Modelo con marco acrílico

FWD-40LX1: 27,5 kg (60 lb 10 oz)
FWD-32LX1R: 17,5 kg (38 lb 9 oz)

Modelo con marco no acrílico

FWD-40LX1: 26,7 kg (58 lb 14 oz)
FWD-32LX1R: 16,7 kg (36 lb 13 oz)

Accesorios suministrados

Cable de alimentación de ca (1)
Portaenchufe de ca (2)
Portacables FWD-40LX1: (4)
FWD-32LX1R: (6)
Cable de señal (enlace único)
RGB Digital (DVI-D) (1)
Cable de vídeo componente
(D-sub de 15 pines - RCA×3) (1)
Adaptador BNC-RCA (1)
Mando a distancia RM-980 (1)
Pilas de tamaño AAA (R03) (2)
Manual de instrucciones (1)

Accesorios opcionales

Soporte de pantalla SU-42FW/32FW
Altavoz SS-SP40FW/32FW
Adaptadores de opción para
ampliación del sistema, serie BKM-
FW

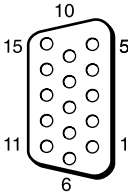
Normas de seguridad

UL1950, CSA n° 950 (c-UL), FCC
Clase B, IC Clase B, EN60 950
(NEMKO), CE, C-Tick

Diseño y especificaciones sujetos a cambios sin previo
aviso.

Asignación de pines

Conector RGB/COMPONENT (D-sub de 15 pines)



Pin nº	Señal
1	Vídeo roja o C _R /P _R
2	Y o vídeo verde o Sincronización en verde
3	Vídeo azul o C _B /P _B
4	Masa
5	Masa
6	Masa roja
7	Masa verde
8	Masa azul
9	Sin uso
10	Masa
11	Masa
12	SDA
13	Sincronización H o Vídeo compuesto
14	Sincronización V
15	SCL

AVVERTENZA

Per ridurre il rischio di incendio o di scossa elettrica, non esporre l'apparecchio alla pioggia o all'umidità.

Voltaggi molto alti sono presenti all'interno dell'apparecchio. Non aprire il contenitore. Rivolgersi solo a personale qualificato.

Trasporto

Durante il trasporto del display, tenere l'apparecchio stesso, non i diffusori. Diversamente, è possibile che i diffusori fuoriescano dall'apparecchio e che quest'ultimo cada provocando ferite.

La presa di corrente deve essere situata vicino all'apparecchio e deve essere facilmente accessibile.

ATTENZIONE

PERICOLO DI ESPLOSIONE SE SI SOSTITUISCE LA PILA CON UNA DI TIPO DIVERSO.

SMALTIRE LE PILE USATE SECONDO LE NORMATIVE LOCALI.

Precauzioni	5 (IT)
Posizione e funzione dei comandi e delle parti	7 (IT)
Parte anteriore / Parte posteriore / Parte laterale	7 (IT)
Sezione Indicatore	8 (IT)
Sezione tasti di controllo (Parte superiore)	8 (IT)
Pannello dei connettori	9 (IT)
Telecomando RM-980	11 (IT)
Avvertenza	13 (IT)
Collegamenti	14 (IT)
Collegamento dei diffusori	14 (IT)
Collegamento del cavo di alimentazione CA	14 (IT)
Sistemazione dei cavi	15 (IT)
Utilizzo dei menu a schermo	16 (IT)
Funzionamento tramite i menu	16 (IT)
Guida dei menu	16 (IT)
Riproduzione dell'immagine	21 (IT)
Cambiamento del segnale di ingresso	21 (IT)
Informazioni relative al segnale di ingresso, al Modalità immagine e alle condizioni del display	22 (IT)
Selezione della qualità dell'immagine	24 (IT)
Regolazione dell'immagine	25 (IT)
Regolazione di contrasto, luminosità, colore, fase e così via	25 (IT)
Ripristino delle voci del menu Regola immagine alle impostazioni originali	28 (IT)
Ingrandimento dell'immagine	28 (IT)
Impostazione di Wide autom.	29 (IT)
Impostazione del Aspetto	30 (IT)
Modifica delle dimensioni e della posizione dell'immagine	31 (IT)
Regolazione delle dimensioni, della posizione o dei pixel dell'immagine	31 (IT)
Visualizzazione di due immagini contemporaneamente	32 (IT)
Attivazione di un'immagine o scambio di posizione tra due immagini	33 (IT)
Ingrandimento di un'immagine	33 (IT)

Regolazione della posizione dell'immagine secondaria (solo per PinP)	34 (IT)
Impostazione del display multiplo	34 (IT)
Regolazione della qualità dell'audio	35 (IT)
Regolazione degli acuti, dei bassi, del bilanciamento e così via	35 (IT)
Ripristino delle voci del menu Regola audio sulle impostazioni iniziali	36 (IT)
Selezione della lingua per le indicazioni a schermo	36 (IT)
Regolazione della matrice di colore	37 (IT)
Controllo automatico dell'alimentazione attivata/ disattivata (funzione di controllo dell'alimentazione)	37 (IT)
Regolazione dell'ora e del giorno	37 (IT)
Visualizzazione dell'ora	38 (IT)
Funzione Timer att /dis	38 (IT)
Impostazione del blocco di sicurezza	39 (IT)
Per attivare il blocco di sicurezza	39 (IT)
Autenticazione del blocco di sicurezza	39 (IT)
Per disattivare il blocco di sicurezza	39 (IT)
Impostazione di un indirizzo IP e della velocità di comunicazione	40 (IT)
Come ottenere automaticamente un indirizzo IP (DHCP)	40 (IT)
Impostazione manuale di un indirizzo IP (Manual) ..	40 (IT)
Impostazione della velocità di comunicazione	41 (IT)
Funzione di autodiagnostica	42 (IT)
Utilizzo di un display specifico tramite il telecomando	42 (IT)
Caratteristiche tecniche	44 (IT)

Precauzioni

Sicurezza

- La targhetta indicante la tensione operativa, il consumo energetico, ecc. è situata nella parte posteriore dell'apparecchio.
- Se liquidi o oggetti solidi penetrano nel rivestimento, scollegare l'apparecchio e farlo controllare da personale qualificato prima di utilizzarlo ulteriormente.
- Se si prevede di non utilizzare l'apparecchio per un lungo periodo, scollegarlo dalla presa di rete.
- Per scollegare il cavo di alimentazione CA, tirarlo dalla spina e mai dal cavo stesso.
- Se l'apparecchio viene installato sul pavimento, assicurarsi di utilizzare il supporto opzionale.

Installazione

- Per evitare il surriscaldamento interno dell'apparecchio, consentire un'adeguata circolazione d'aria. Non collocare l'apparecchio su superfici quali coperte o tappeti né in prossimità di materiali quali tendaggi che potrebbero bloccare le prese di ventilazione.
- Non collocare l'apparecchio in prossimità di fonti di calore quali radiatori o condotti dell'aria né in luoghi soggetti alla luce solare diretta, a polvere eccessiva, a vibrazioni di tipo meccanico o a urti.
- Se vengono installati diversi componenti collegandoli al presente apparecchio, è possibile che in base alle relative posizioni si verifichino problemi di funzionamento del telecomando, disturbi delle immagini e del suono e problemi simili.

Informazioni sul pannello LCD

- È possibile che sullo schermo appaiano punti luminosi rossi, blu o verdi oppure punti neri. Non si tratta di un problema di funzionamento. Sebbene il pannello LCD sia stato costruito adottando una tecnologia ad altissima precisione, è possibile che siano visibili alcuni pixel chiari o scuri.
- L'esposizione prolungata del pannello LCD alla luce solare potrebbe danneggiarlo. Pertanto, prestare attenzione se l'apparecchio viene installato in esterni o in prossimità di una finestra.
- Non esercitare pressione, graffiare o posizionare oggetti pesanti sul pannello. Diversamente, è possibile che si verifichino irregolarità dello schermo o problemi di funzionamento del pannello LCD.

- Se l'apparecchio viene utilizzato in un ambiente freddo, è possibile che lo schermo risulti più scuro o che su di esso appaia un'immagine residua. Non si tratta di un problema di funzionamento. Con l'aumentare della temperatura, lo schermo torna alle condizioni normali.
- Se un fermo immagine rimane visualizzato per un periodo di tempo prolungato, è possibile che si verifichi il fenomeno dello sdoppiamento. Tale fenomeno sparisce nell'arco del tempo.
- Durante l'uso, è possibile che la superficie del pannello o il rivestimento si riscaldino. Non si tratta di un problema di funzionamento.

Pulizia del display

Superficie del pannello

- Prima di procedere alla pulizia del display, assicurarsi di scollegare il cavo di alimentazione.
- La superficie del pannello LCD è dotata di una finitura speciale. Evitare di toccare lo schermo LCD. Per rimuovere eventuali macchie dal pannello, utilizzare un panno morbido e asciutto.
- Per la pulizia, non utilizzare in alcun caso alcol, benzina o solventi, in quanto potrebbero danneggiare la finitura del pannello.
- Se viene utilizzato un panno di pulizia trattato chimicamente, seguire le relative istruzioni.
- Il contatto dell'apparecchio con solventi volatili (quali insetticidi) o il contatto prolungato con materiali plastici o in gomma potrebbe causare la rimozione del rivestimento o danneggiare l'apparecchio stesso.

Rivestimento

- Per la pulizia, utilizzare un panno asciutto e morbido. Per la rimozione delle macchie persistenti, utilizzare un panno leggermente inumidito con una soluzione detergente neutra, quindi asciugare la parte con un panno morbido e asciutto.
- Per la pulizia, non utilizzare in alcun caso alcol, benzina o solventi, in quanto potrebbero danneggiare la finitura del rivestimento o rimuovere le indicazioni presenti su di esso.

Note sull'uso e sulla pulizia dello schermo

Lo speciale strato dello schermo deve essere trattato con cura quando si pulisce o si maneggia il TV. Per evitare di toccare lo schermo, pulire utilizzando un panno morbido.

Reimballaggio

Non gettare il materiale di imballaggio poiché potrebbe risultare utile per il trasporto dell'apparecchio. In tal caso, reimballare l'apparecchio come illustrato sulla confezione.

Per qualsiasi domanda o problema relativo all'apparecchio, contattare un rivenditore Sony autorizzato.

Smaltimento del dispositivo elettrico ed elettronico per uso aziendale a fine vita (applicabile in tutti i paesi dell'Unione Europea e in quelli con sistema di raccolta differenziata)



Questo simbolo sul prodotto o sulla confezione indica che il prodotto non deve essere considerato come un normale rifiuto domestico, ma deve essere consegnato presso il centro di raccolta appropriato per il riciclaggio di apparecchiature elettriche ed elettroniche. Assicurandovi che questo prodotto sia smaltito

correttamente, voi contribuirete a prevenire potenziali conseguenze negative per l'ambiente e per la salute che potrebbero altrimenti essere causate dal suo smaltimento inadeguato. Il riciclaggio dei materiali aiuta a conservare le risorse naturali. Per ulteriori informazioni sul riciclaggio di questo prodotto, contattare l'ufficio Sony locale oppure visitare il sito Web europeo di Sony per i clienti aziendali all'indirizzo:

<http://www.sonybiz.net/environment>

Avvertenza sul collegamento dell'alimentazione

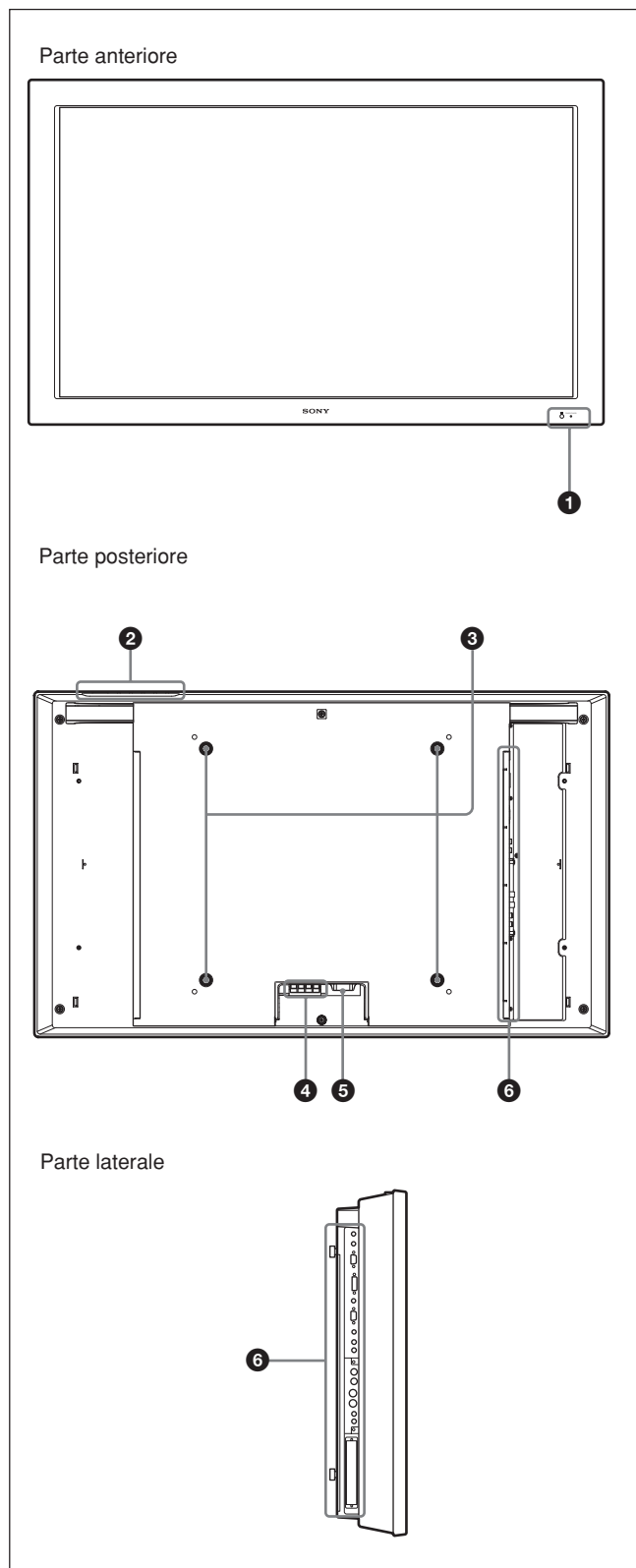
Utilizzare un cavo di alimentazione adeguato alla tensione operativa locale.

	Stati Uniti, Canada	Europa continentale	Regno Unito, Irlanda, Australia, Nuova Zelanda	Giappone
Tipo di spina	VM0233	COX-07 636	— ^{a)}	VM1296
Estremità femmina	VM0089	COX-02 VM0310B	VM0303B	VM1313
Tipo di cavo	SVT	H05VV-F	CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Tensione e corrente nominali minime dei cavi	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/125V
Approvazione delle norme di sicurezza	UL/CSA	VDE	VDE	DENAN-HO

a) Nota: utilizzare una spina con potenza nominale che si adatti alle norme vigenti nel proprio paese.

Posizione e funzione dei comandi e delle parti

Parte anteriore / Parte posteriore / Parte laterale



❶ Sezione Indicatore

Per ulteriori informazioni sulla sezione Indicatore, vedere “Sezione Indicatore” a pagina 8 (IT).

❷ Sezione tasti di controllo

Per ulteriori informazioni sulla sezione tasti di controllo, vedere “Sezione tasti di controllo (Parte superiore)” a pagina 8 (IT).

❸ Ganci per l'installazione del supporto

Per l'installazione del supporto utilizzare i ganci (non in dotazione).

❹ Presa SPEAKER

Se a questa presa vengono collegati diffusori opzionali venduti separatamente, viene trasmesso il componente audio del segnale visualizzato sullo schermo.

❺ Presa ~AC IN

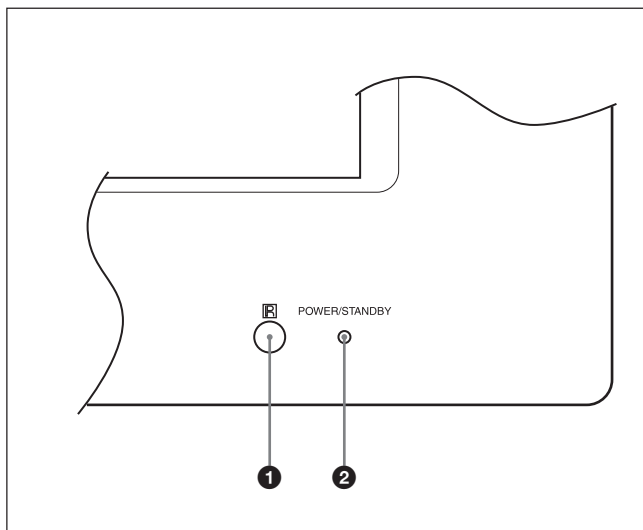
Collegare il cavo di alimentazione CA in dotazione a questa presa, quindi alla presa di rete. Una volta collegato il cavo di alimentazione CA, l'indicatore POWER/STANDBY si illumina in rosso e il monitor entra nel modo di attesa.

Per ulteriori informazioni sul cavo di alimentazione, vedere “Collegamento del cavo di alimentazione CA” a pagina 14 (IT).

❻ Pannello dei connettori

Per ulteriori informazioni sul pannello dei connettori, vedere “Pannello dei connettori” a pagina 9 (IT).

Sezione Indicatore



1 Sensore del comando a distanza

Riceve il segnale dal telecomando.

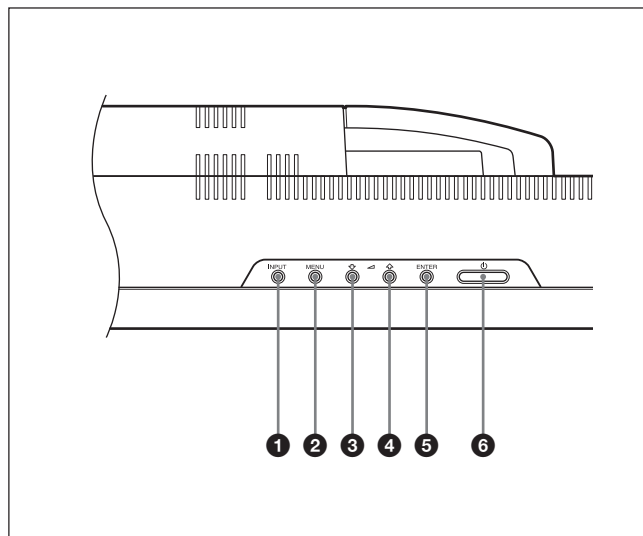
2 Indicatore POWER/STANDBY

Si illumina in verde quando il display viene attivato.
Si illumina in rosso se il monitor è nel modo di attesa.
Si illumina in arancione quando il display entra nel modo di risparmio energetico mentre un segnale viene trasmesso da un computer.

Quando viene commutato il segnale di ingresso, l'indicatore lampeggia in verde.

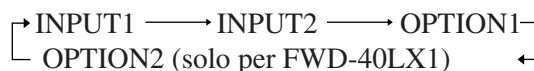
Se l'indicatore POWER/STANDBY lampeggia in rosso, vedere "Funzione di autodiagnostica" a pagina 42 (IT).

Sezione tasti di controllo (Parte superiore)



1 Tasto INPUT

Premere questo tasto per selezionare un segnale da trasmettere tramite il connettore INPUT o OPTION. Ad ogni pressione del tasto INPUT, il segnale da immettere cambia come segue.



Se nella sezione dei connettori OPTION non è stato installato l'adattatore opzionale, OPTION1 o OPTION2 verranno saltati.

2 Tasto MENU

Premere per visualizzare i menu. Premere di nuovo per disattivare la visualizzazione dei menu.

3 4 Tasto ↓/↑ (cursore/volume)

Premere questo tasto per spostare il cursore (giallo), impostare un valore o regolare il volume dei diffusori.

5 Tasto ENTER

Premere per effettuare l'impostazione.

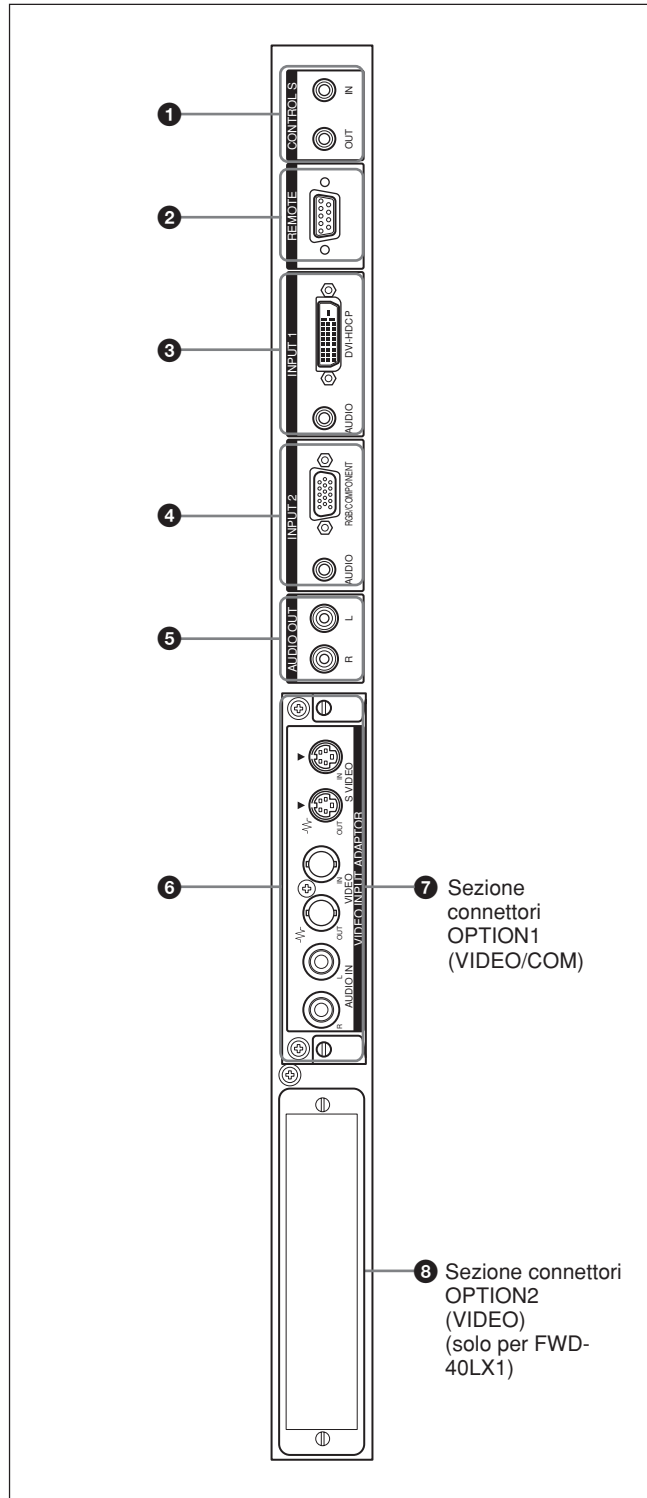
6 Interruttore POWER

Premere per attivare il display. Premere di nuovo per tornare al modo di attesa.

Nota

Per proteggere il pannello, è necessario attendere alcuni secondi per far sì che venga attivato il modo di accensione/attesa. Pertanto, dopo avere effettuato tale operazione attendere circa 5 secondi prima di premere nuovamente l'interruttore.

Pannello dei connettori



1 Connettore (minipresa) CONTROL S IN/OUT (Controllo ingresso/uscita segnale S)

Mediante il collegamento al connettore CONTROL S di un dispositivo video o di un altro display, è possibile controllare più dispositivi con un solo telecomando. Collegare il connettore CONTROL S OUT del presente display al connettore CONTROL S IN dell'altro dispositivo, quindi collegare il connettore CONTROL S IN del presente display al connettore CONTROL S OUT dell'altro dispositivo.

2 Connettore REMOTE (RS-232C) (D-sub a 9 piedini)

Questo connettore consente il controllo a distanza del display mediante il protocollo RS-232C. Per ulteriori informazioni, contattare un rivenditore Sony autorizzato.

Nota

Se è installato un adattatore opzionale con funzione di comunicazione, quale BKM-FW32 o BKM-FW50, non è possibile utilizzare il presente connettore.

3 Connettori INPUT1 (DIGITAL RGB IN)

DVI: questo connettore consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale RGB digitale di apparecchi video. Supporta la protezione da copia HDCP.

AUDIO (minipresa stereo): immette un segnale audio. Consente di effettuare il collegamento all'uscita audio di apparecchi video.

4 Connettori INPUT2 (ANALOG RGB/COMPONENT IN)

RGB/COMPONENT (D-sub a 15 piedini): questo connettore consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale RGB analogico o del segnale componente (YUV) di un apparecchio video.

Per ulteriori informazioni sulla trasmissione di un segnale componente al connettore, vedere "Assegnazione dei piedini" a pagina 45 (IT).

AUDIO (minipresa stereo): immette un segnale audio. Consente di effettuare il collegamento all'uscita audio di un apparecchio video.

5 AUDIO OUT L/R (presa a piedini)

Emette l'audio del segnale correntemente indicato sullo schermo.

Emette un segnale audio corrispondente a Immagine Attiva nel modo P&P o PinP.

6 Connettori VIDEO (BKM-FW10 preinstallato).

S VIDEO IN (mini DIN a 4 piedini): collega all'uscita del segnale Y/C di un apparecchio video.

S VIDEO OUT (Mini DIN a 4 piedini): consente di effettuare il collegamento all'ingresso del segnale Y/C di un apparecchio video.

VIDEO IN (tipo BNC): consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale video di un apparecchio video.

VIDEO OUT (tipo BNC): consente di effettuare il collegamento all'ingresso del segnale video di un apparecchio video.

AUDIO IN L/R (presa a piedini): immette un segnale audio e collega all'uscita audio di un apparecchio video.

7 Sezione connettori OPTION1 (porta VIDEO/COM)

Supporta i segnali video e la funzione di comunicazione. Se in questa sezione connettori viene installato un adattatore opzionale con funzione di comunicazione BKM-FW32 o BKM-FW50, è possibile controllare il display tramite la rete.

8 Sezione connettori OPTION2 (porta VIDEO) (solo per FWD-40LX1)

Questa sezione supporta i segnali video. A questa sezione è collegato un pannello vuoto per impostazione predefinita. In questa sezione, è possibile installare un adattatore opzionale con funzione di ingresso/uscita del segnale video. Installare l'adattatore opzionale dotato della funzione di comunicazione in 7, sezione connettori OPTION1.

Adattatori opzionali (non in dotazione)

I connettori contrassegnati da 7 e 8 sul relativo pannello sono di tipo ad inserimento e sono compatibili con tutti gli adattatori opzionali del display.

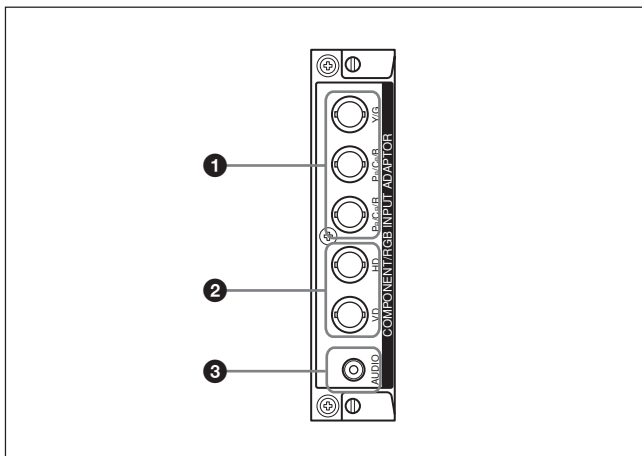
La sezione dei connettori OPTION2 è presente solo nel modello FWD-40LX1.

Per ulteriori informazioni sull'installazione, rivolgersi ad un rivenditore Sony.

Adattatore di ingresso/uscita VIDEO/S VIDEO BKM-FW10 (non in dotazione)

Si tratta dello stesso rispetto ai connettori preinstallati 6.

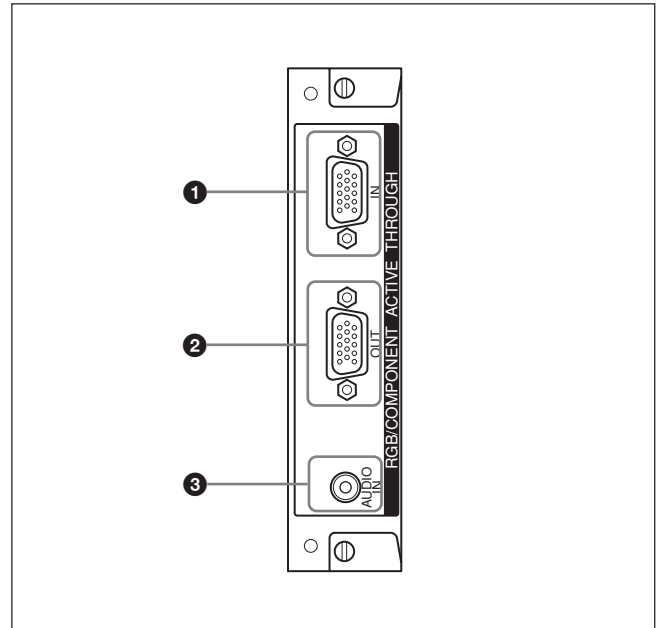
Adattatore di ingresso COMPONENT/RGB BKM-FW11 (non in dotazione)



- 1 **Y/G Pb/Cb/B Pr/Cr/R IN (tipo BNC):** consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale RGB analogico o del segnale componente (YUV) di un computer o di un apparecchio video.

- 2 **HD VD IN:** consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale sincronico di un computer.
- 3 **AUDIO (minipresa stereo):** questo connettore immette un segnale audio e consente di effettuare il collegamento all'uscita audio di un computer o di un apparecchio video.

Adattatore active-through RGB/COMPONENT BKM-FW12 (non in dotazione)



1 RGB/COMPONENT IN (D-sub a 15 piedini):

consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale componente o all'uscita del segnale RGB di un apparecchio video o di un computer.

Per ulteriori informazioni sulla trasmissione di un segnale componente al connettore, vedere "Assegnazione dei piedini" a pagina 45 (IT).

2 RGB/COMPONENT OUT (D-sub a 15 piedini):

consente di effettuare il collegamento all'ingresso del segnale componente o all'ingresso del segnale RGB analogico di un apparecchio video o di un computer.

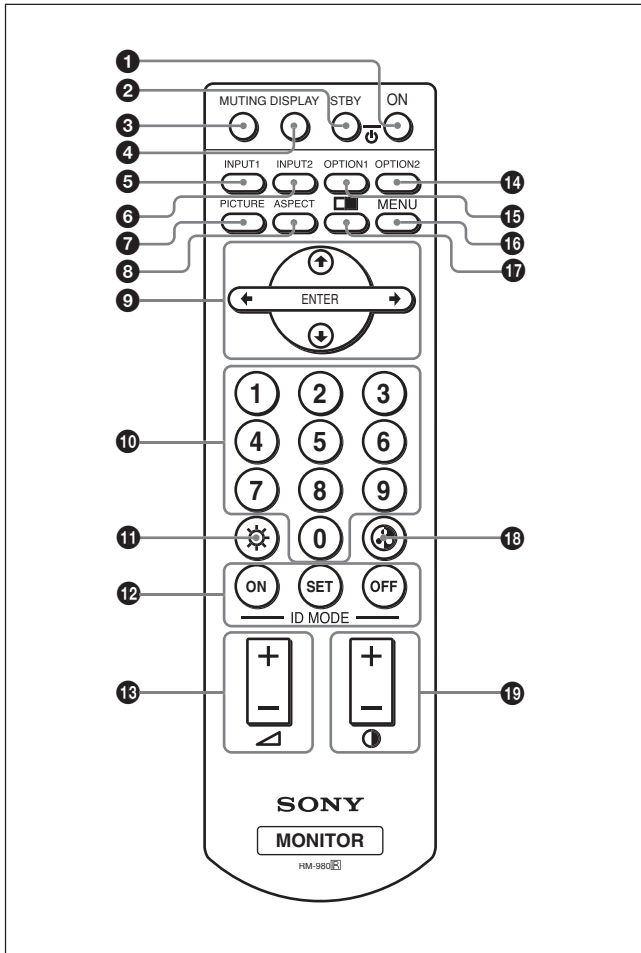
3 AUDIO (minipresa stereo):

questo connettore immette un segnale audio e consente di effettuare il collegamento all'uscita del segnale audio di un apparecchio video o di un computer.

Nota

- Se l'apparecchio non è collegato a un alimentatore CA o si trova in modo di attesa, tramite RGB/COMPONENT OUT non viene emesso alcun segnale.
- Per ulteriori informazioni sugli adattatori opzionali per l'espansione del sistema, serie BKM-FW, consultare ciascun manuale delle istruzioni.

Telecomando RM-980



1 Interruttore POWER ON

Premere per attivare il display.

2 Tasto STANDBY

Premere per impostare il display sul modo di attesa.

3 Tasto MUTING

Consente di disattivare l'audio. Premere di nuovo per ripristinare il suono.

4 Tasto DISPLAY

Premere questo tasto per visualizzare le informazioni relative ai segnali di ingresso e il modo immagine sullo schermo. Premere di nuovo per disattivare la visualizzazione.

Se dopo che questa informazione viene visualizzata non viene effettuata alcuna operazione entro alcuni secondi, l'informazione stessa scomparirà automaticamente.

5 Tasto INPUT1

Premere per selezionare il segnale immesso dai connettori INPUT1.

6 Tasto INPUT2

Premere per selezionare il segnale immesso dai connettori INPUT2. Ogni pressione consente di passare da RGB a COMPONENT e viceversa.

7 Tasto PICTURE

Consente di selezionare il Modalità immagine. Ad ogni pressione del tasto, l'immagine passa a Vivido, Standard e Utente 1-3.

8 Tasto ASPECT

Seleziona il rapporto di formato dell'immagine (Aspetto).

9 Tasti ↑/↓/←/→/ENTER

I tasti ↑/↓/←/→ consentono di spostare il cursore del menu (giallo) e di impostare i valori. Premendo il tasto ENTER, si accede al menu selezionato o alle voci di impostazione.

Durante la visualizzazione di due immagini, è possibile selezionare l'immagine attiva mediante ←/→.

10 Tasti numerici

Premere per immettere il numero indice.

11 Tasto BRIGHTNESS

Regola la luminosità con il modo immagine impostato su "Utente1" a "Utente3".

Premere questo tasto, quindi regolare la luminosità utilizzando il tasto 9 ↑/↓ o ←/→.

12 Tasti ID MODE (ON/SET/OFF)

Premere il tasto ON per visualizzare sullo schermo un numero indice. Quindi immettere tramite i tasti numerici 10 il numero indice del display che si desidera utilizzare e premere il tasto SET. Una volta terminata l'operazione, premere il tasto OFF per passare dal modo ID al modo normale.

Per informazioni sul numero indice, vedere "Utilizzo di un display specifico tramite il telecomando" a pagina 42 (IT).

13 Tasto VOLUME +/-

Consente di regolare il volume.

14 Tasto OPTION2

Seleziona il segnale immesso tramite l'adattatore opzionale (ad eccezione di BKM-FW10), se installato sull'apparecchio. Ad ogni pressione del tasto, il segnale trasmesso a OPTION2 cambia.

Nota

Non è possibile utilizzare questo tasto con FWD-32LX1R poiché non dispone della sezione connettori OPTION2.

15 Tasto OPTION1

Se è installata una scheda opzionale, seleziona un segnale da trasmettere dall'apparecchio alla scheda opzionale. Ad ogni pressione del tasto, il segnale trasmesso a OPTION1 cambia.

16 Tasto MENU

Premere per visualizzare il menu. Durante la visualizzazione del menu sul pannello del display, premere per tornare al menu precedente. Alla successiva pressione del tasto il menu scompare.

17 Tasto

Consente di selezionare il modo PICTURE AND PICTURE (PAP). Ad ogni pressione, il modo si alterna tra P&P, PinP e PAP disattivato.

18 Tasto CHROMA

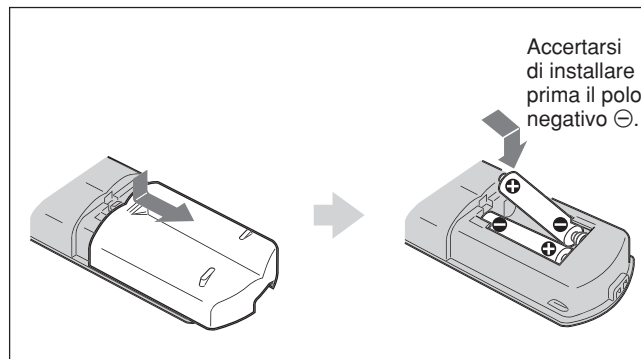
Regola la saturazione del colore se il modo immagine è impostato su "Utente1" a "Utente3". Premere questo tasto, quindi regolare la centratura orizzontale con il tasto **9**  o .

19 Tasto CONTRAST +/-

Regola il contrasto se il modo immagine è impostato su "Utente1" a "Utente3".

Installazione delle pile

Inserire due pile R03 (formato AAA) rispettando la corretta polarità.



- Con un funzionamento normale, le pile durano circa sei mesi. Se il telecomando non funziona correttamente è possibile che le pile si siano scaricate in anticipo. In tal caso, sostituirle con altre nuove.
- Se si prevede di non utilizzare il telecomando per un lungo periodo, rimuovere le pile onde evitare danni dovuti a possibili perdite di elettrolita.

Se il telecomando non funziona

Controllare che l'indicatore POWER/STANDBY si illumini e che il Modo comando nel menu Telecomando non sia impostato su "Solo display". Il telecomando è in grado di operare il display solo se vengono rispettate le due condizioni che seguono.

- Il display è acceso o si trova nel modo di attesa.
- Il Modo comando nel menu Telecomando è impostato su "Display + Telecom." o "Solo telecom."

Per informazioni su Modo comando, vedere "Modo comando" a pagina 19 (IT).

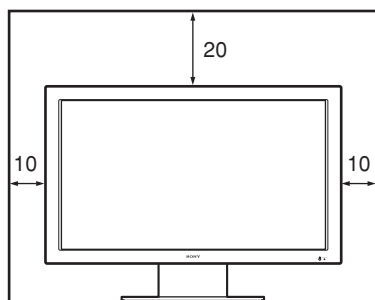
Avvertenza

Installare il display in un luogo spazioso

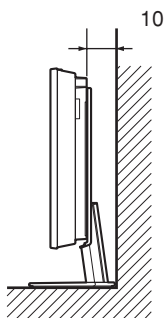
- Durante l'installazione del display, accertarsi che lo spazio che lo circonda sia maggiore rispetto a quanto indicato nell'immagine sotto riportata.
- La temperatura ambiente deve essere compresa tra 0 °C e +35 °C.
- Per installare il display in posizione orizzontale, utilizzare l'apposito supporto SU-42FW/32FW (non in dotazione).
- Per l'eventuale installazione di altri materiali, quali staffe, viti o bulloni, non è specificare i nomi dei prodotti. Se si desidera installare tali materiali, rivolgersi ai rivenditori locali autorizzati. Per l'installazione, contattare personale qualificato Sony.
- Quando l'apparecchio è acceso, alcune parti potrebbero surriscaldarsi, causando eventuali ustioni. Quando il display è acceso, oppure appena è entrato nel modo di attesa, non toccare la parte superiore o quella posteriore dell'apparecchio.

Installazione con il supporto (non in dotazione)

Parte anteriore



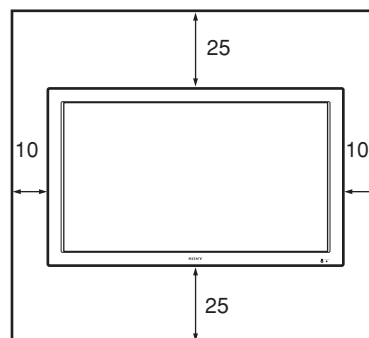
Parte laterale



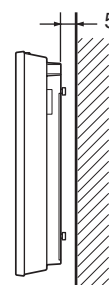
Unità: cm

Installazione orizzontale del display

Parte anteriore



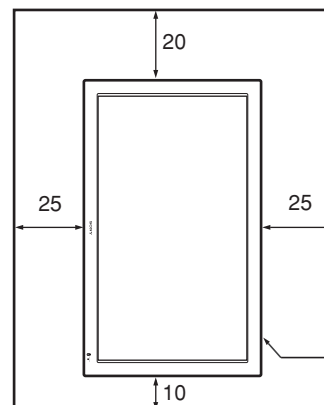
Parte laterale



Unità: cm

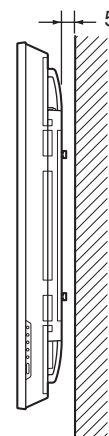
Installazione verticale del display

Parte anteriore



Assicurarsi che l'interruttore  POWER si trovi nella parte inferiore destra.

Parte laterale



Unità: cm

Nota

Nell'installazione verticale del display, non è possibile utilizzare i diffusori SS-SP40FW/32FW (non in dotazione).

Collegamenti

Operazioni preliminari

- Assicurarsi che l'alimentazione di ogni apparecchio sia disattivata.
- Utilizzare cavi di collegamento adatti agli apparecchi da collegare.
- I connettori dei cavi devono essere inseriti saldamente nelle prese, diversamente si potrebbero verificare disturbi.
- Per scollegare il cavo, tirarlo dalla spina e mai dal cavo stesso.
- Fare riferimento al manuale delle istruzioni dell'apparecchio da collegare.
- Inserire saldamente la spina nella presa AC IN.
- Per mantenere saldamente in posizione la spina CA, utilizzare uno dei due appositi fermi (in dotazione).

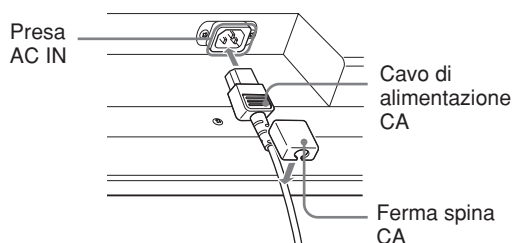
Collegamento dei diffusori

È possibile ottenere una visione delle immagini più realistica collegando i diffusori SS-SP40FW/32FW (non in dotazione). È necessario accertarsi di effettuare correttamente il collegamento dei diffusori. Per ulteriori dettagli sul collegamento dei diffusori consultare le istruzioni per l'uso in dotazione con i diffusori.

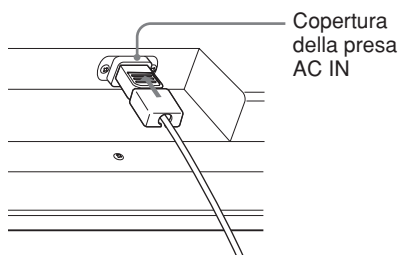
Per ulteriori informazioni sulle modalità di fissaggio dei cavi dei diffusori, consultare "Uso dei fermacavi" a pagina 15.

Collegamento del cavo di alimentazione CA

- 1 Inserire il cavo di alimentazione CA nella presa AC IN. Quindi fissare il ferma spina CA (in dotazione) al cavo di alimentazione CA.



- 2 Fare scorrere il ferma spina CA sul cavo finché non raggiunge la copertura della presa AC IN.

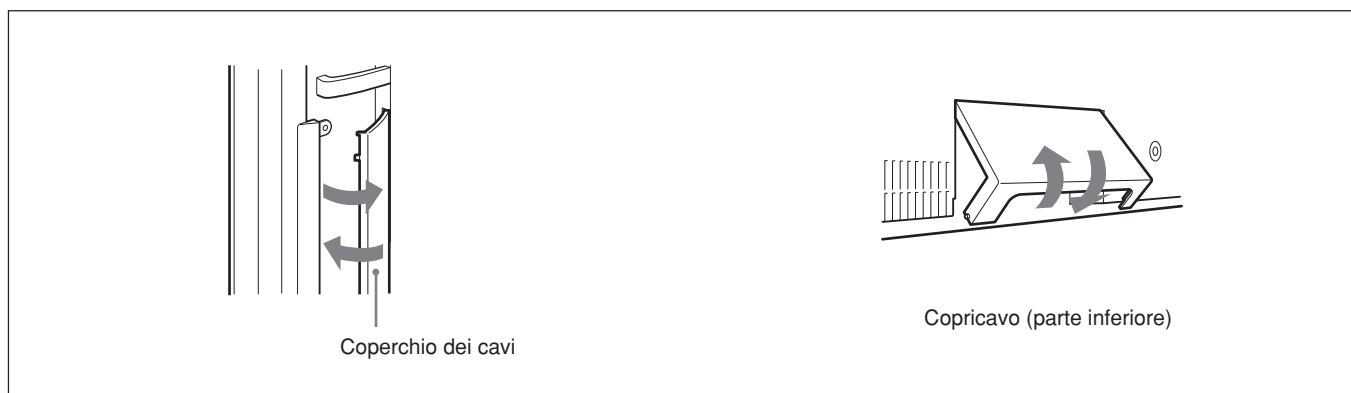


Per rimuovere il cavo di alimentazione CA

Dopo avere premuto ai lati e sbloccato il fermaspina CA, afferrare la spina ed estrarre il cavo di alimentazione CA.

Sistemazione dei cavi

Il display dispone di copricavi posti nella parte posteriore. Prima di collegare i cavi al display, aprire i copricavi. Una volta collegati i cavi al display, chiudere di nuovo i copricavi.

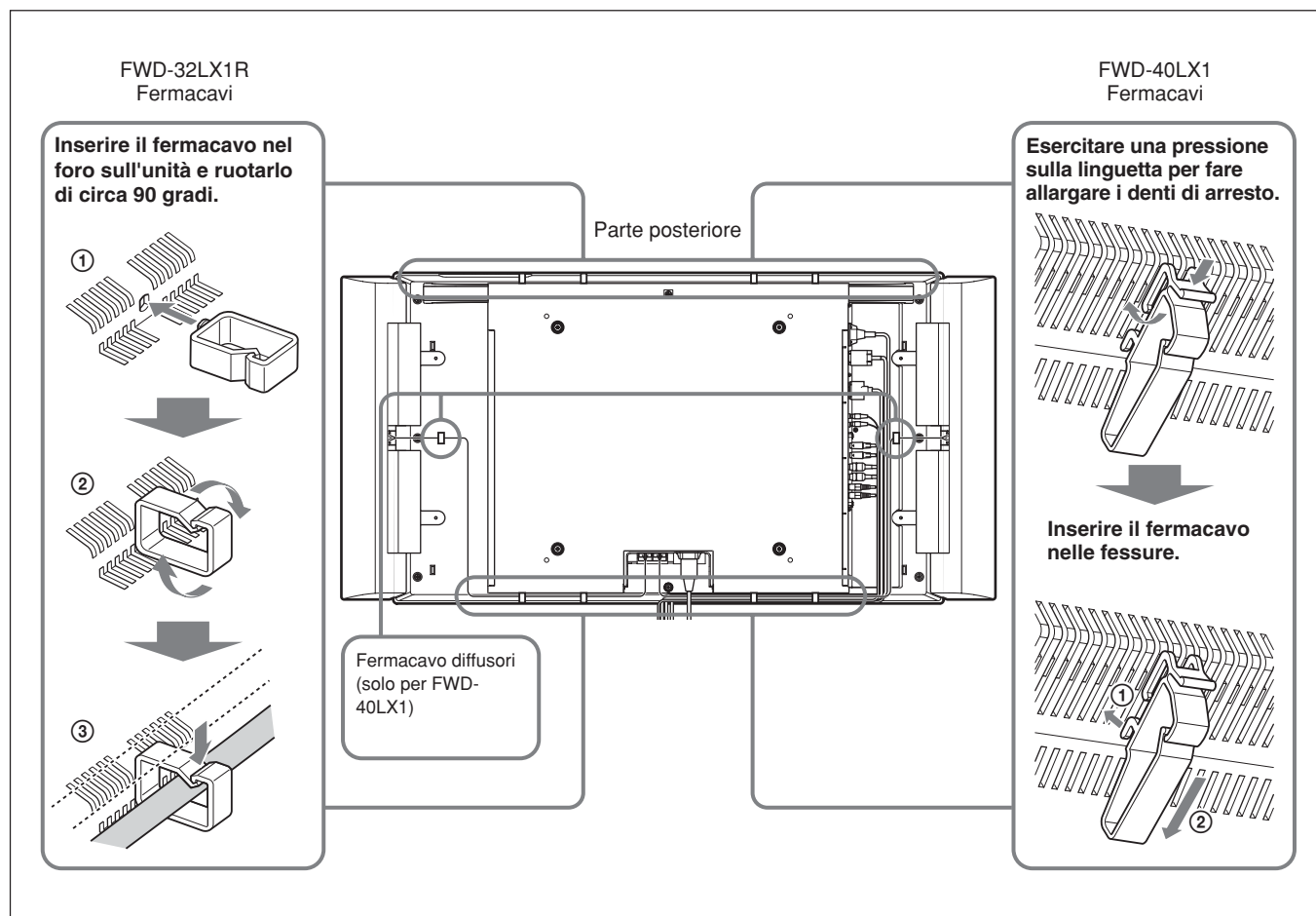


Uso dei fermacavi

È possibile sistemare i cavi con i fermacavi in dotazione (×6 per FWD-40LX1 e ×4 per FWD-32LX1R). Scegliere tre fessure libere in successione delle prese di ventilazione per il fermacavo sul modello FWD-40LX1. Scegliere sei di otto fori sul

modello FWD-32LX1R. Applicare i fermacavi come illustrato di seguito.

Per collegare i diffusori SS-SP40FW (non in dotazione), fare passare i cavi dei diffusori attraverso gli appositi fermacavi nella parte posteriore del display (solo per FWD-40LX1).

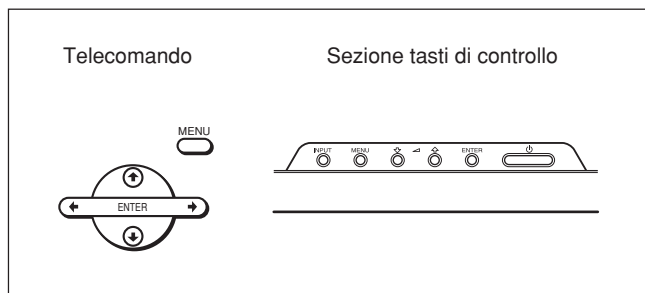


Utilizzo dei menu a schermo

Funzionamento tramite i menu

Tasti di funzionamento dei menu

Per il funzionamento dei menu, utilizzare i tasti sul display e sul telecomando.



Nel presente manuale sono riportate le istruzioni per l'uso relative all'utilizzo dell'apparecchio mediante il telecomando. I tasti **↑/↓** e ENTER del telecomando, hanno la stessa funzione dei tasti **↑/↓** e ENTER del display.

Nota

In alcuni casi il funzionamento potrebbe variare poiché il display non è dotato del tasto **←/→**.

Configurazione del menu

Per selezionare la lingua utilizzata nel menu, vedere "Selezione della lingua per le indicazioni a schermo" a pagina 36 (IT).

- 1 Premere MENU.
Sul pannello del display appare il menu principale.



- 2 Premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) sul menu principale da selezionare, quindi premere ENTER. Il cursore passa al menu successivo.

- 3 Premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) sulla voce da selezionare, quindi premere ENTER. Viene visualizzato il menu relativo alla voce selezionata.
Per selezionare altre voci, ripetere la stessa procedura.

- 4 Premere **↑/↓** per effettuare la regolazione o selezionare l'impostazione, quindi premere ENTER.
L'impostazione viene registrata e viene visualizzato il menu precedente.

Per completare la configurazione e tornare alla schermata normale, premere MENU.

Per tornare al livello di menu precedente, premere **↑/↓** per spostare il cursore su **↶**, quindi premere ENTER o **←**.

Guida dei menu

Nota

Non è possibile impostare o regolare le voci (a seconda dell'impostazione del tipo di segnale immesso) visualizzate in grigio.

Menu CONTROLLO IMMAGINE/AUDIO

Regola la qualità dell'immagine e del suono delle immagini visualizzate sul display.



Modalità immagine

Imposta la qualità dell'immagine adatta al tipo di immagine o all'illuminazione del luogo in cui è installato l'apparecchio.

Per ulteriori informazioni, vedere "Selezione della qualità dell'immagine" a pagina 24 (IT).

Regola immagine

È possibile effettuare la regolazione fine dell'immagine.

Innanzitutto, impostare “Modalità immagine” su “Utente1” a “Utente3”.

Nota

Non è possibile regolare la qualità audio se “Modalità immagine” è impostato su “Vivido” o “Standard”.

Per ulteriori informazioni, vedere “Regolazione dell'immagine” a pagina 25 (IT).

Regola audio

È possibile effettuare la regolazione fine dell'audio.

Innanzitutto, impostare “Modalità immagine” su “Utente1” a “Utente3”.

Nota

Non è possibile regolare la qualità audio se “Modalità immagine” è impostato su “Vivido” o “Standard”.

Per ulteriori informazioni, vedere “Regolazione della qualità dell'audio” a pagina 35 (IT).

Menu CONTROLLO SCHERMO

Questo menu viene utilizzato per impostare le dimensioni e la posizione dell'immagine.



Impostazione display multiplo

È possibile effettuare le impostazioni per il collegamento di più display che formino una disposizione da 2×2 , 3×3 o 4×4 .

Per ulteriori informazioni, vedere “Impostazione del display multiplo” a pagina 34 (IT).

Impostazione Wide

Imposta la funzione modo a 16:9. La funzione Wide autom. (Aspetto automatico) consente di scegliere fra trasmissioni televisive ordinarie o immagini a schermo ampio, ciascuna delle quali possiede differenti proporzioni per la visualizzazione orizzontale e verticale; tale funzione consente inoltre di ingrandire automaticamente l'immagine a schermo ampio con rapporto di formato 16:9, rendendo possibile la visualizzazione appropriata per i vari tipi di immagine.

Per ulteriori informazioni, vedere “Impostazione di Wide autom.” a pagina 29 (IT).

Aspetto

Seleziona la visualizzazione a schermo ampio in modo che corrisponda al tipo e alla dimensione dell'immagine.

Per ulteriori informazioni, vedere “Impostazione del Aspetto” a pagina 30 (IT).

Regola schermo

Utilizzare questo menu per ridimensionare o riposizionare l'immagine. Tramite questo menu, è inoltre possibile regolare il numero di pixel delle immagini.

Per ulteriori informazioni, vedere “Modifica delle dimensioni e della posizione dell'immagine” a pagina 31 (IT).

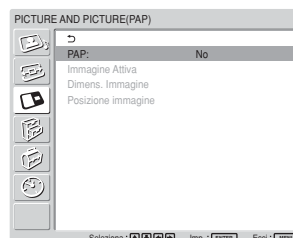
Sovrascansione

È possibile attivare/disattivare la “Sovrascansione” se il modo RGB è impostato su DTV.

Se impostata su “Attiv.”, il display mostra le immagini eseguendo la sovrascansione.

Menu PICTURE AND PICTURE (PAP)

È possibile visualizzare l'una accanto all'altra due immagini provenienti da sorgenti diverse, ad esempio da un computer e da un apparecchio video.



Per ulteriori informazioni, vedere “Visualizzazione di due immagini contemporaneamente” a pagina 32 (IT).

Menu IMPOSTAZIONE PERSONALIZZ.

Consente di ridurre il consumo energetico o di impostare modi diversi.



Risparmio energia

Utilizzato per visualizzare lo schermo nel modo di risparmio energetico.

Standard: funzione di risparmio energetico disattivata

Riduci: funzione di risparmio energetico attivata
Selezionando “Riduci”, la luminosità dell’immagine viene ridotta in modo da consentire la visualizzazione delle immagini durante l’attivazione della funzione di risparmio energetico.

Note

- “Risparmio energia: Riduci” viene ripristinato alla successiva accensione dell’apparecchio.
- È possibile regolare la qualità dell’immagine, anche se Risparmio ener è impostato su “Riduci”. Tuttavia, se si aumenta il contrasto o la luminosità, è possibile che la funzione di risparmio energetico venga disattivata.

Uscita Diffusori

Impostare questa voce su Sì affinché l’audio venga emesso dai diffusori SS-SP40FW/32FW (non in dotazione).

Se viene impostata su No, non è possibile regolare un livello audio. Se si tenta di regolarlo, viene visualizzato .

Sottotitolo

Consente di visualizzare i sottotitoli.

Durante la visualizzazione di due immagini nella combinazione Componente + Componente, è possibile visualizzare i sottotitoli per i soli segnali immessi da BKM-FW11 o BKM-FW12.

No: il sottotitolo non viene visualizzato.

CC1-4: consente di visualizzare i sottotitoli sovrapposti all’immagine.

Display

Selezionare Sì per visualizzare le informazioni relative al segnale di ingresso e il modo immagine per circa cinque secondi sullo schermo quando l’apparecchio viene acceso o il segnale di ingresso viene commutato.

Matrice colore

Imposta la Matrice colore in modo da visualizzare le immagini in tonalità di colore naturali durante l’immissione di un segnale componente.

Per ulteriori informazioni, vedere “Regolazione della matrice di colore” a pagina 37 (IT).

Modo HD

Consente di selezionare il modo in base al segnale componente analogico HD trasmesso al display.

1080i: se viene immesso un segnale 1080i

1035i: se viene immesso un segnale 1035i

Modo RGB

Consente di impostare il modo se al display è collegato un dispositivo che trasmette segnali RGB.

DTV: se collegato a un sintonizzatore digitale del segnale RGB e così via

PC: se collegato a un PC, e così via

Modo sincron.

Imposta il modo in base al segnale trasmesso al 13° piedino del connettore INPUT2 RGB/COMPONENT. È possibile impostare i segnali unicamente su 575/50I o 480/60I.

O/Comp: Se viene immesso un segnale orizzontale

Video: se viene immesso un segnale video

Segnale di ingresso e impostazioni del modo di sincronizzazione

PIN	Segnale immesso con D-sub	Impostazione del modo di sincronizzazione
13	Video composito 480/60I, 575/50I	Segnale video
13/14	Sincronico O/Sincronico V	Segnale di sincronizzazione
2	Sincronia su verde	

Per ulteriori informazioni sull’assegnazione dei piedini ai connettori RGB/COMPONENT, vedere “Assegnazione dei piedini” a pagina 45 (IT).

Note

- Esistono alcuni segnali di immagine per cui è possibile selezionare soltanto i segnali di sincronizzazione. In tal caso, anche se mediante il connettore a 13 piedini viene immesso un segnale video, l’immagine non viene visualizzata. Immettere i segnali di sincronizzazione orizzontale/verticale attraverso i connettori a 13 o 14 piedini oppure immettere i segnali di sincronismo su verde mediante il connettore RGB.

- Con il segnale di sincronismo su verde, se l'apparecchio non è stato impostato per accettare i segnali di sincronizzazione, l'immagine non viene visualizzata.
- I segnali del modo di sincronizzazione possono essere supportati solo con INPUT2.
- Non è possibile attivare le impostazioni del Modo sincron. per l'ingresso tramite schede opzionali.
- Questo apparecchio non supporta i tre valori dei segnali sincronici compositi e 576/60P.

Illuminazione

Consente di attivare l'illuminazione del logo "SONY" posto nella parte anteriore del display.

Telecomando

Questo menu viene utilizzato per le impostazioni del telecomando.

Numero indice

Per impostare il numero indice del display.

Nota

Per impostare i numeri, utilizzare i tasti sul display. Non è possibile impostare il numero di indice mediante il telecomando.

Per ulteriori informazioni sui numeri indice, vedere "Utilizzo di un display specifico tramite il telecomando" a pagina 42 (IT).

Modo comando

Consente di selezionare la funzione del telecomando.

Display+Telecom.: per attivare il telecomando in dotazione con il display.

Solo display: per disattivare il funzionamento tramite telecomando. In tal modo, è possibile effettuare le impostazioni del display solo tramite i tasti di controllo posti sul display stesso.

Solo telecom.: per disattivare i comandi posti sul display se si desidera controllarlo solo tramite il telecomando. In tal modo, è possibile effettuare le impostazioni del display tramite il telecomando.

Nota

All'interno di questa voce, i modi selezionabili variano in base al tasto utilizzato per l'attivazione. Se si utilizza ENTER del telecomando, è possibile selezionare soltanto "Display + Telecom." o "Solo telecom."

Se si utilizza ENTER sul display, è possibile selezionare soltanto "Display + Telecom." o "Solo display".

Menu IMPOSTAZIONE INIZIALE/INFORMAZIONI

È possibile selezionare la lingua a schermo o il segnale di ingresso oppure impostare la funzione Blocco sicurezza.



Nota

"IP Address Setup" e "Speed Setup" compaiono nel menu solo se nella sezione connettori OPTION1 viene installato un adattatore opzionale con funzione di comunicazione BKM-FW32 o BKM-FW50.

Lingua

Seleziona la lingua delle indicazioni a schermo (giapponese, inglese, tedesco, francese, spagnolo o italiano).

Per ulteriori informazioni, vedere "Selezione della lingua per le indicazioni a schermo" a pagina 36 (IT).

Sistema colore

Consente di selezionare il sistema di colore dei segnali video.

Auto: per impostare automaticamente il sistema di colore.

NTSC: per visualizzare i segnali NTSC

NTSC4.43: per visualizzare i segnali NTSC4.43

PAL: per visualizzare i segnali PAL

SECAM: per visualizzare i segnali SECAM

PAL-M: per visualizzare i segnali PAL-M

PAL-N: per visualizzare i segnali PAL-N

PAL60: per visualizzare i segnali PAL60

Spegnimento autom.

Se questa voce viene impostata su "Sì", nel caso non venga immesso alcun segnale ai connettori di ingresso COMPONENT o DVI per oltre cinque minuti circa, il display entra automaticamente nel modo di attesa. Per attivare il display, premere l'interruttore  POWER posto sul display oppure il tasto POWER ON del telecomando. Nel caso non venga immesso alcun segnale ai connettori di ingresso DVI o RGB per oltre trenta secondi circa, il display entra automaticamente nel modo di risparmio energetico. Nel modo di risparmio energetico, il display viene automaticamente attivato all'immissione di un segnale.

Blocco sicurezza

Consente di impostare il blocco di sicurezza del display.

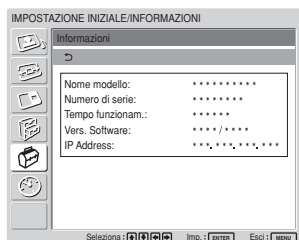
No: per disattivare il blocco di sicurezza.

Si: se impostato, occorre immettere una password per impostare il blocco di sicurezza.

Per ulteriori informazioni, vedere “Impostazione del blocco di sicurezza” a pagina 39 (IT).

Informazioni

Questo menu viene utilizzato per visualizzare le informazioni relative alle condizioni interne del display.



Nota

“IP Address Setup” compare nel menu solo se nella sezione connettori OPTION1 viene installato un adattatore opzionale con funzione di comunicazione BKM-FW32 o BKM-FW50.

Nome Modello

Indica il nome del modello.

Numero di Serie

Indica il numero di serie.

Tempo funzionam.

Indica il numero totale delle ore di funzionamento.

Nota

Il modo di attesa non viene preso in considerazione nel Tempo funzionam.

Vers. software

Indica la versione del software del sistema.

Ripristina tutto

Questa voce consente di ripristinare tutte le regolazioni e le impostazioni sui valori predefiniti.

Nota

Il numero indice non viene ripristinato.

IP Address Setup

Questa voce consente di impostare un indirizzo IP per la comunicazione tra il display e un adattatore opzionale con funzione di comunicazione, ad esempio BKM-FW32 o BKM-FW50.

DHCP: configurazione automatica che consente di impostare un indirizzo IP.

Manual: configurazione manuale che consente di impostare un indirizzo IP.

Per ulteriori informazioni, vedere “Impostazione di un indirizzo IP e della velocità di comunicazione” a pagina 40 (IT).

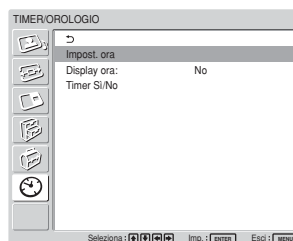
Speed Setup

Questa voce consente di impostare la velocità di comunicazione tra il display e un adattatore opzionale con funzione di comunicazione, ad esempio BKM-FW32 o BKM-FW50.

Per ulteriori informazioni, vedere “Impostazione di un indirizzo IP e della velocità di comunicazione” a pagina 40 (IT).

Menu TIMER/OROLOGIO

Consente di impostare il timer, regolare l'ora, visualizzare l'orologio incorporato o impostare l'accensione/spengimento automatici dell'apparecchio ad un'ora preimpostata.



Nota

L'ora e la data non sono preimpostate in fabbrica.

Impost. ora

Consente di impostare l'ora.

Per ulteriori informazioni, vedere “Regolazione dell'ora e del giorno” a pagina 37 (IT).

Display ora

Se impostata, questa voce consente di visualizzare l'ora sullo schermo.

Per ulteriori informazioni, vedere “Visualizzazione dell'ora” a pagina 38 (IT).

Timer Si/No

Consente di impostare l'ora di attivazione e disattivazione dell'alimentazione.

Per ulteriori informazioni, vedere “Funzione Timer Si/No” a pagina 38 (IT).

Riproduzione dell'immagine

Operazioni preliminari

- Accendere il display.
- Accendere l'apparecchio collegato e riprodurre una sorgente video.
- Quando si attiva l'alimentazione o si cambia segnale di ingresso, se si desidera visualizzare le informazioni relative al segnale di ingresso impostare "Display" nel menu Impostazione personalizz. su Sì.
- Per selezionare la lingua utilizzata nel menu, vedere "Selezione della lingua per le indicazioni a schermo" a pagina 36 (IT).

Cambiamento del segnale di ingresso

Input1 DVI: seleziona il segnale (RGB digitale) trasmesso ai connettori INPUT1.

Input2 RGB: seleziona il segnale (RGB analogico) trasmesso ai connettori INPUT2.

Input2 Component: seleziona il segnale (componente) trasmesso ai connettori INPUT2.

Option1/2 Video: seleziona il segnale (video) immesso dall'apparecchio collegato ai connettori della sezione opzionale 1 o 2.

Option1/2 S Video: seleziona il segnale (S video) immesso dall'apparecchio collegato ai connettori della sezione opzionale 1 o 2.

Option1/2 RGB: seleziona il segnale (RGB analogico) immesso dall'apparecchio collegato ai connettori della sezione opzionale 1 o 2.

Option1/2 Component: seleziona il segnale (componente) immesso dall'apparecchio collegato ai connettori della sezione opzionale 1 o 2.

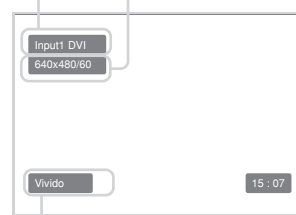
Per cambiare segnale di ingresso, premere i tasti INPUT1, INPUT2, OPTION1 o OPTION2 del telecomando. Se al connettore di ingresso selezionato è possibile trasmettere più formati di segnale, ad ogni pressione del tasto corrispondente l'indicazione cambia.

Ad esempio, ad ogni pressione del tasto INPUT2, l'indicazione si alterna tra "Input2 RGB" e "Input2 Component".

Sul pannello del display viene visualizzato il segnale di ingresso selezionato.

Sistema di colore o risoluzione/frequenza verticale

Tipo di segnale



Modalità immagine

È possibile alternare il segnale immesso utilizzando il tasto OPTION sul display.

Nota

Come sorgente di ingresso, si consiglia di utilizzare un apparecchio video dotato di TBC (time base corrector). Se il monitor riceve un segnale privo di TBC, l'immagine potrebbe sparire a causa di disturbi generati dal segnale sincronico.

Informazioni relative al segnale di ingresso, al Modalità immagine e alle condizioni del display

Il segnale immesso e le informazioni su “Modalità immagine” vengono visualizzati sullo schermo per circa venti secondi quando l'alimentazione viene attivata e per circa cinque secondi quando il segnale di ingresso viene commutato.

Per disattivare questa funzione, seguire la procedura descritta di seguito.

- 1 Nel menu IMPOSTAZIONE PERSONALIZZ., premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su “Display”, quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 2 Premere **↑/↓** per impostare “Display” su “No”, quindi premere ENTER.

Per visualizzare le informazioni

Impostare “Display” su “Sì” al punto 2 di cui sopra, quindi premere ENTER. L'impostazione di fabbrica è “Sì”.

Nota

È possibile visualizzare le informazioni relative al segnale di ingresso e al Modalità immagine ogni volta che lo si desidera premendo il tasto DISPLAY sul telecomando, senza tenere conto delle impostazioni eseguite.

Segnali di ingresso preselezionati			
	Segnale	Sistema di colore o frequenza orizzontale/verticale	
Segnali computer			
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31,5 kHz	70 Hz
2	640×480@60 Hz (VESA ^{b)} STD)	31,5 kHz	60 Hz
3	Mac ^{c)} 13"	35,0 kHz	67 Hz
4	VGA (VGA TEXT)	31,5 kHz	70 Hz
5	800×600@60 Hz (VESA STD)	37,9 kHz	60 Hz
6	Mac 16"	49,7 kHz	75 Hz
7	1024×768@60 Hz (VESA STD)	48,4 kHz	60 Hz
8	1024×768@75 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	75 Hz
9	1024×768@85 Hz (VESA STD)	68,7 kHz	85 Hz
10	1152×864@75 Hz (VESA STD)	67,5 kHz	75 Hz
11	Mac 21"	68,7 kHz	75 Hz
12	1280×960@60 Hz (VESA STD)	60,0 kHz	60 Hz
13	1280×1024@60 Hz (VESA STD)	64,0 kHz	60 Hz
14	1600×1200@60 Hz (VESA STD)	75,0 kHz	60 Hz
15	848×480@60 Hz (VESA STD)	29,8 kHz	60 Hz
16	848×480@60 Hz (VESA STD)	29,5 kHz	60 Hz
17	848×480@75 Hz	37,7 kHz	75 Hz
18	1280×768@60 Hz	47,8 kHz	60 Hz
19	1280×768@60 Hz	47,4 kHz	60 Hz
SDTV/HDTV			
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	
16	720/50p	720/50P	

- a) VGA è un marchio di fabbrica registrato di International Business Machines Corporation, USA.
 b) VESA è un marchio di fabbrica registrato di Video Electronics Standards Association.
 c) Mac (Macintosh) è un marchio di fabbrica registrato di Apple Computer, Inc.

Note

- Se viene trasmesso un segnale HDTV, trasmettere il segnale sincronico a tre livelli al 2° piedino di RGB/COMPONENT (D-sub a 15 piedini) del connettore INPUT2 o BKM-FW12.
- Se in seguito alla trasmissione di un segnale DVD al display i colori risultano eccessivamente chiari, regolare la voce "Colore" nel menu Regola immagine.
- Una volta effettuata la regolazione della fase, la risoluzione viene ridotta.

Indicazioni a schermo relative alle condizioni effettive del display

Indicazione a schermo	Significato
640×480 / 60 (eg.)	Il segnale di ingresso selezionato è computer RGB.
480 / 60I (eg.)	Il segnale di ingresso selezionato è video componente.
NTSC (eg.)	Il segnale di ingresso selezionato è NTSC.
Segnale non supportato	Il segnale di ingresso selezionato non è supportato.
Non Sincronizzato	Non vi sono segnali di ingresso.
INPUT1 DVI	Il modo del segnale di INPUT1 è impostato su RGB digitale.
INPUT2 RGB	Il modo del segnale di INPUT2 è impostato su RGB analogico.
INPUT2 Component	Il modo del segnale di INPUT2 è impostato su video componente.
Option1/2 Video	Il modo del segnale della sezione dei connettori Option1 o 2 è impostato su video composito.
Option1/2 S Video	Il modo del segnale della sezione dei connettori Option1 o 2 è impostato su S VIDEO.
Option1/2 RGB	Il modo del segnale della sezione dei connettori Option1 o 2 è impostato su RGB analogico.
Option1/2 Component	Il modo del segnale della sezione dei connettori Option1 o 2 è impostato su video componente.

Selezione della qualità dell'immagine

È possibile impostare la qualità dell'immagine corretta per il tipo di immagine o di illuminazione del luogo in cui è installato l'apparecchio.

- 1 Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



- 2 Premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su "CONTROLLO IMMAGINE/AUDIO", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu CONTROLLO IMMAGINE/AUDIO.



- 3 Premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su "Modalità immagine", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu riportato di seguito.



- 4 Selezionare il modo di immagine utilizzando **↑/↓**.
Vivido: se il contorno dell'immagine e il contrasto vengono impostati sui valori massimi, le immagini risultano più nitide.
Standard: consente di ottenere immagini realistiche con contrasto e contorno dell'immagine moderati.
Utente1-3: È possibile impostare la qualità dell'immagine come desiderato utilizzando il menu per la regolazione dell'immagine.
- 5 Premere ENTER per tornare al menu CONTROLLO IMMAGINE/AUDIO.

Regolazione dell'immagine

Durante la visualizzazione dell'immagine è possibile regolare il contrasto, la luminosità, il colore, la fase e così via come desiderato. Le regolazioni possono essere effettuate separatamente per ogni segnale di ingresso ed è inoltre possibile memorizzarle. Impostare il Modalità immagine su una delle impostazioni "Utente1" a "Utente3".

Regolazione di contrasto, luminosità, colore, fase e così via

Premere MENU per visualizzare il menu principale e regolare le voci "Retroilluminazione", "Contrasto", "Luminosità", "Colore", "Fase", "Nitidezza", "Riduz. Disturbi", "Cinema Drive", "Immag. Dinamica", "Temp. colore", "Correz. Colore" o "Correz. Gamma" del menu Regola immagine.

Retroilluminazione

Selezionare "Retroilluminazione" tramite **↑/↓**, quindi premere ENTER. Regolare la luminosità dello sfondo tramite **↑/↓/←/→** su un livello compreso tra MIN (0) e MAX (100), quindi premere ENTER.

↑/→: per aumentare la luminosità dello sfondo

↓/←: per diminuire la luminosità dello sfondo

Durante la visualizzazione di due immagini, entrambe queste ultime vengono regolate.

Contrasto

Selezionare "Contrasto" tramite **↑/↓**, quindi premere ENTER.

Regolare il contrasto tramite **↑/↓/←/→** su un livello compreso tra MIN (0) e MAX (100), quindi premere ENTER.

↑/→: per aumentare il contrasto dell'immagine

↓/←: per diminuire il contrasto dell'immagine

Durante la visualizzazione di due immagini, solo l'immagine attiva viene regolata. E la gamma di regolazione è limitata.

Luminosità

Selezionare "Luminosità" tramite **↑/↓**, quindi premere ENTER.

Regolare la luminosità tramite **↑/↓/←/→** su un livello compreso tra MIN (0) e MAX (100), quindi premere ENTER.

↑/→: per rendere più luminosa l'immagine

↓/←: per rendere più scura l'immagine

Durante la visualizzazione di due immagini, solo l'immagine attiva viene regolata. E la gamma di regolazione è limitata.

Colore

Selezionare "Colore" tramite **↑/↓**, quindi premere ENTER.

Regolare il colore tramite **↑/↓/←/→** su un livello compreso tra MIN (0) e MAX (100), quindi premere ENTER.

↑/→: per aumentare l'intensità del colore

↓/←: per diminuire l'intensità del colore

Durante la visualizzazione di due immagini, solo l'immagine attiva viene regolata.

Fase

Selezionare "Fase" tramite **↑/↓**, quindi premere ENTER.

Regolare la fase tramite **↑/↓/←/→** su un livello compreso tra LEFT (50) e RIGHT (50), quindi premere ENTER.

↑/→: per rendere verdastra l'intera immagine

↓/←: per rendere rossastra l'intera immagine

Durante la visualizzazione di due immagini, solo l'immagine attiva viene regolata.

Nitidezza

Selezionare "Nitidezza" utilizzando **↑/↓**, quindi premere ENTER.

Regolare la nitidezza utilizzando **↑/↓/←/→** secondo la gamma compresa tra MIN (0) e MAX (10), quindi premere ENTER.

↑/→: per aumentare la nitidezza dell'immagine

↓/←: per diminuire la nitidezza dell'immagine

Durante la visualizzazione di due immagini, entrambe queste ultime vengono regolate.

Riduz. Disturbi (Noise Reduction, riduzione del disturbo)

Consente di ridurre i disturbi della granulosità e del colore dell'immagine.

- 1 Selezionare "Riduz. Disturbi" utilizzando **↑/↓**, quindi premere ENTER. Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.

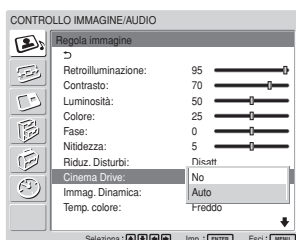


- 2 Selezionare il modo Riduz. Disturbi tramite **↑/↓**.
No: il segnale dell'immagine viene visualizzato direttamente.
Basso: per impostare l'elaborazione Riduz. Disturbi su un livello basso
Medio: per impostare l'elaborazione Riduz. Disturbi su un livello medio
Alto: per impostare l'elaborazione Riduz. Disturbi su un livello alto
- 3 Premere ENTER per tornare al menu Regola immagine. Durante la visualizzazione di due immagini, entrambe queste ultime vengono regolate.

Cinema Drive

Consente di rilevare automaticamente un'immagine contenuta in un supporto di immagini in movimento da 24 fotogrammi e di riprodurla ottimizzando le caratteristiche proprie delle immagini in movimento.

- 1 Selezionare "Cinema Drive" tramite **↑/↓**, quindi premere ENTER. Viene visualizzato il seguente menu.

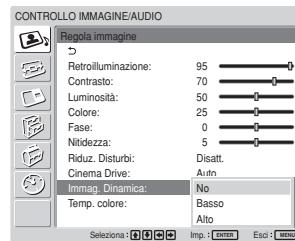


- 2 Selezionare il modo Cinema Drive tramite **↑/↓**.
No: per riprodurre l'immagine in base al relativo segnale.
Auto: per riprodurre l'immagine di un film ottimizzando le caratteristiche proprie delle immagini in movimento originali.
 Durante la visualizzazione di due immagini, solo l'immagine attiva viene regolata.

Immag. Dinamica

Aumenta il contrasto rendendo più luminoso il bianco e più scuro il nero.

- 1 Selezionare "Immag. Dinamica" utilizzando **↑/↓**, quindi premere ENTER. Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 2 Selezionare il Immag. Dinamica tramite **↑/↓**.
No: consente di disattivare la funzione Immag. Dinamica.
Basso: consente di impostare la funzione Immag. Dinamica sul valore basso.
Alto: consente di impostare la funzione Immag. Dinamica sul valore alto.
- 3 Premere ENTER per tornare al menu Regola immagine. Durante la visualizzazione di due immagini, entrambe queste ultime vengono regolate.

Temp. colore (temperatura di colore)

Per impostare la temperatura di colore è possibile selezionare "Freddo", "Neutro" o "Caldo" oppure regolare con maggiore accuratezza ogni guadagno.

- 1 Selezionare "Temp colore" tramite **↑/↓**, quindi premere ENTER.

- 2** Selezionare la temperatura di colore tramite $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER.

Freddo: per impostare una temperatura di colore elevata

Neutro: per impostare la temperatura di colore su un valore neutro

Caldo: per impostare una temperatura di colore bassa

Colore1 – 3: per impostare i valori relativi a ciascun guadagno separatamente

Se si seleziona “Caldo”, “Neutro” o “Freddo”, il monitor torna al menu Regola immagine.

Se viene selezionato da “Colore1” a “Colore3”

- (1) Premere $\uparrow/\downarrow$ per spostare il cursore (giallo) sulla voce di guadagno che si desidera impostare, quindi premere ENTER.
 - (2) Regolare il guadagno (da 0 a 100) mediante $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$, quindi premere ENTER.
Il menu torna al menu Temp. colore.
- Durante la visualizzazione di due immagini, entrambe queste ultime vengono regolate.

Correz. Colore

Consente di riprodurre fedelmente i colori.

- 1** Selezionare “Correz. Colore” tramite $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il seguente menu.



- 2** Selezionare il modo Correz. Colore tramite $\uparrow/\downarrow$.
No: per disattivare la funzione Correz. Colore.
Sì: per attivare la funzione Correz. Colore.
 Durante la visualizzazione di due immagini, solo l'immagine attiva viene regolata.

Correz. Gamma

Consente di regolare in modo automatico il bilanciamento tra le parti luminose e scure delle immagini.

- 1** Selezionare “Correz. Gamma” utilizzando $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 2** Selezionare il modo relativo alla correzione della gamma tramite $\uparrow/\downarrow$.
Alto: per impostare la correzione della gamma su un valore alto
Medio: per impostare la correzione della gamma su un valore medio
Basso: per impostare la correzione della gamma su un valore basso
- 3** Premere ENTER per tornare al menu Regola immagine.
Durante la visualizzazione di due immagini, entrambe queste ultime vengono regolate.

Ripristino delle voci del menu Regola immagine alle impostazioni originali

- 1 Nel menu Regola immagine, premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su "Ripristina", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 2 Premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su "Esegui", quindi premere ENTER.
Le voci del menu Regola immagine vengono ripristinate sui valori predefiniti.

Nota

Non verranno cancellati i valori impostati per Colore1 – 3 di Temp. colore.

Durante la visualizzazione di due immagini, anche i valori impostati per "Retroilluminazione", "Contrasto" e "Luminosità" non verranno cancellati.

Per annullare la funzione di ripristino

Premere MENU prima di ENTER.

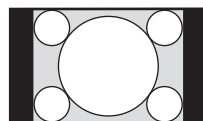
In alternativa, selezionare "Annulla" utilizzando **↑/↓**, quindi premere ENTER.

Ingrandimento dell'immagine

Consente di ingrandire l'immagine in base alle proprie esigenze.

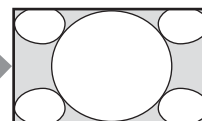
Per il Aspetto sono disponibili le seguenti possibilità di selezione.

Immagini originali (tipo immagine)

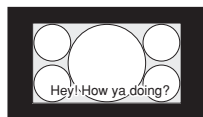


Immagini con rapporto di formato 4:3 (rapporto di formato: 4:3).

Immagini ingrandite



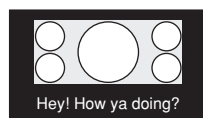
Ingrandisce le immagini a schermo pieno con rapporto di formato 4:3 in immagini con rapporto di formato 16:9.



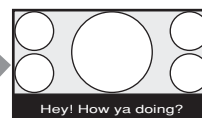
- Immagini di video camere o DVD contenenti informazioni relative al rapporto di formato (tipo ID-1)



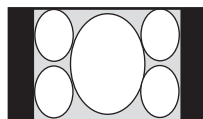
Durante l'allineamento con i lati destro e sinistro dello schermo, le immagini vengono ingrandite a schermo pieno. (A seconda dell'immagine, è possibile che sulle parti inferiore e superiore dello schermo rimangano visualizzate delle bande nere.)



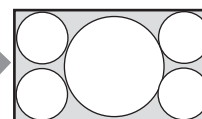
Film girati in CinemaVision e così via che appaiono allungati nel senso orizzontale dello schermo e contengono sottotitoli all'esterno dell'immagine (rapporto di formato: 2,35:1)



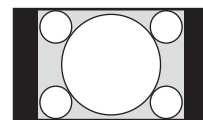
L'immagine viene visualizzata sullo schermo comprimendo unicamente l'area di visualizzazione dei sottotitoli ingrandendo contemporaneamente le dimensioni a schermo pieno ed effettuando l'allineamento con i bordi destro e sinistro dello schermo.



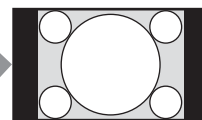
Immagini di video camere o DVD contenenti informazioni relative al rapporto di formato (tipo ID-1)



I bordi destro e sinistro dell'immagine vengono ingranditi a schermo pieno senza che vengano modificati i bordi superiore e inferiore.



Immagini con rapporto di formato 4:3 (rapporto di formato: 4:3).



Consente di visualizzare l'immagine senza effettuare ingrandimenti.

Impostazione di Wide autom.

La funzione 16:9 automatico consente di riprodurre fedelmente le immagini in base al segnale di controllo di identificazione che rileva il formato del segnale video o di ingrandire in modo ottimale vari tipi di immagine.

È inoltre possibile ingrandire le immagini con rapporto di formato 4:3 in 16:9.

Segnale di controllo di identificazione

Questo segnale di controllo consente di riprodurre fedelmente sullo schermo del televisore il rapporto di formato dell'immagine originale. Di seguito vengono riportate le immagini contenenti questo tipo di segnale:

- Immagini registrate mediante una videocamera contenente informazioni sul rapporto di formato (formato ID-1)
- Trasmissioni televisive contenenti un segnale che consente di impostare il rapporto di formato su 4:3.

1 Premere MENU.

Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “CONTROLLO SCHERMO”, quindi premere ENTER.

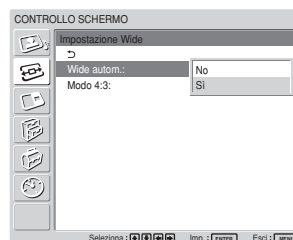
Sul pannello del display viene visualizzato il menu CONTROLLO SCHERMO.



3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Impostazione Wide”, quindi premere ENTER. Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



4 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Wide autom.”, quindi premere ENTER. Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



5 Selezionare un'impostazione di Wide autom. (modo ampio automatico) utilizzando il tasto ↑/↓.

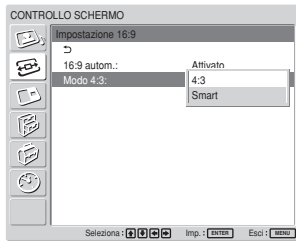
No: Le immagini vengono riprodotte fedelmente.

Si: L'immagine viene ingrandita e visualizzata nel rapporto di formato più appropriato.

6 Premere ENTER.

Viene visualizzata di nuovo la schermata indicata al punto 3.

- 7** Selezionare “Modo 4:3” utilizzando **↑/↓**, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 8** Selezionare il Modo 4:3 utilizzando **↑/↓**.
4:3: Le immagini con rapporto di formato 4:3 vengono visualizzate fedelmente.
Smart: Le immagini con rapporto di formato 4:3 vengono visualizzate dopo essere state ingrandite in immagini con rapporto di formato 16:9.

- 9** Premere ENTER.
Viene visualizzato di nuovo il Impostazione Wide.

Nota

- Se vengono immessi segnali DVI o RGB, non è possibile impostare Wide autom. poiché tale funzione non è disponibile.
- Durante la visualizzazione di due immagini nella combinazione Componente + Componente, la funzione 16:9 autom. è disponibile per i soli segnali immessi da BKM-FW11 o BKM-FW12.

Impostazione del Aspetto

È inoltre possibile ingrandire le immagini in base al modo zoom desiderato, indipendentemente dal tipo di immagine.

- 1** Nel menu CONTROLLO SCHERMO, premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su “Aspetto”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 2** Selezionare il Aspetto utilizzando **↑/↓**.
Smart: ingrandisce le immagini a schermo pieno con rapporto di formato 4:3 in immagini con rapporto di formato 16:9.
Zoom: consente di ingrandire completamente l'immagine sui bordi sinistro e destro dello schermo. (A seconda dell'immagine, è possibile che sulle parti inferiore e superiore dello schermo rimangano visualizzate delle bande nere.)
Sottotitoli: consente di ingrandire completamente l'immagine sui bordi sinistro e destro dello schermo e di ridurre l'area in cui sono visualizzate i sottotitoli.
Pieno: consente di ingrandire i lati sinistro e destro dell'immagine su tutto lo schermo senza modificare le parti superiore e inferiore.
4:3: consente di visualizzare l'immagine senza effettuare ingrandimenti.

- 3** Premere ENTER.
Viene visualizzato di nuovo il menu CONTROLLO SCHERMO.

Nota

- Non è possibile impostare il formato durante l'uso della funzione PICTURE AND PICTURE o del Display multiplo.
- Se si imposta il Aspetto, la funzione Wide autom. (modo ampio automatico) viene disattivata. Se si desidera utilizzare la funzione Wide autom., reimpostarla su “Sì”.
- A seconda del tipo e delle dimensioni dell'immagine, è possibile che la parte superiore o inferiore dell'immagine venga tagliata.
- L'uso di immagini ingrandite/ridotte a fini commerciali o per la visione pubblica in hotel o caffetterie potrebbe violare le normative sul copyright definite nel Copyright Act.

Modifica delle dimensioni e della posizione dell'immagine

È possibile spostare la posizione dell'immagine in modo che si adatti allo schermo oppure regolarne separatamente le dimensioni verticali e orizzontali.

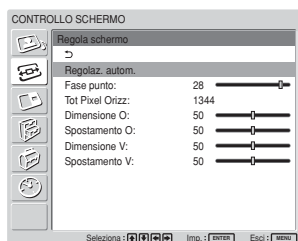
Regolazione delle dimensioni, della posizione o dei pixel dell'immagine

Premere MENU per visualizzare il menu principale e regolare le voci "Fase punto", "Tot Pixel Orizz", "Dimensione O", "Spostamento O", "Dimensione V" o "Spostamento V" del menu Regola schermo.

Regola schermo

Se i bordi dei caratteri o le linee verticali risultano disturbati oppure le dimensioni o la posizione dell'immagine non sono corrette, regolare lo schermo.

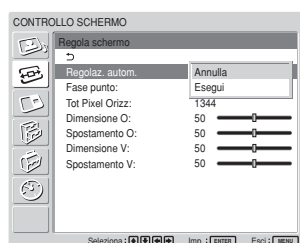
- 1 Selezionare "Regola schermo" tramite $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER. Viene visualizzato il seguente menu.



- 2 È possibile regolare lo schermo manualmente o automaticamente.

Regolazione automatica

- (1) Selezionare "Regolaz. autom." tramite $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare il seguente menu.



- (2) Selezionare "Esegui" tramite $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER. Tutte le voci del menu "Regola schermo" vengono regolate automaticamente.

Nota

A causa dei motivi dell'immagine, è possibile che i disturbi proseguano anche se viene utilizzata la funzione Regolaz. autom. In tal caso, tentare di regolare la fase dei punti manualmente.

Regolazione manuale

- (1) Selezionare la voce desiderata, quindi premere ENTER. Sullo schermo viene visualizzato quanto segue (se viene selezionato "Fase punto").



- (2) Regolare la fase punto o il numero totale di pixel orizzontali tramite $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ finché i caratteri e le linee verticali non vengono visualizzati meglio, quindi premere ENTER.

Fase punto

Selezionare "Fase punto" utilizzando $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER. Utilizzando $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ regolare la fase punto fino a visualizzare in modo ottimale caratteri e linee verticali, quindi premere ENTER.

Nota

Questa voce è valida solo per i segnali analogici trasmessi da un computer.

Tot Pixel Orizz

Selezionare "Tot Pixel Orizz." utilizzando $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER. Utilizzando $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ regolare il numero totale dei pixel orizzontali fino a visualizzare in modo ottimale caratteri e linee verticali, quindi premere ENTER. (Tutte le voci del menu "Regola schermo" vengono regolate automaticamente in base al valore Tot Pixel Orizz, impostato manualmente.)

Nota

Questa voce è valida solo per i segnali analogici trasmessi da un computer.

Dimensione O

Selezionare “Dimensione O” tramite $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER. Regolare le dimensioni orizzontali dell'immagine tramite $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ su un livello compreso tra MIN (0) e MAX (100), quindi premere ENTER.

$\uparrow/\rightarrow$: per espandere l'immagine orizzontalmente.

$\downarrow/\leftarrow$: per comprimere l'immagine orizzontalmente.

Per riportare Dimensione O sul valore intermedio, selezionare “Regolaz. autom.”

Spostamento O

Selezionare “Spostamento O” tramite $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER. Regolare la posizione orizzontale dell'immagine tramite $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ su un livello compreso tra MIN (0) e MAX (100), quindi premere ENTER.

$\uparrow/\rightarrow$: per spostare l'immagine verso destra.

$\downarrow/\leftarrow$: per spostare l'immagine verso sinistra.

Per riportare Spostamento O sul valore intermedio, selezionare “Regolaz. autom.”

Dimensione V

Selezionare “Dimensione V” tramite $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER. Regolare le dimensioni verticali dell'immagine tramite $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ su un livello compreso tra MIN (0) e MAX (100), quindi premere ENTER.

$\uparrow/\rightarrow$: per espandere l'immagine verticalmente.

$\downarrow/\leftarrow$: per comprimere l'immagine verticalmente.

Per riportare Dimensione V sul valore intermedio, selezionare “Regolaz. autom.”

Spostamento V

Selezionare “Spostamento V” tramite $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER. Regolare la posizione verticale dell'immagine tramite $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ su un livello compreso tra MIN (0) e MAX (100), quindi premere ENTER.

$\uparrow/\rightarrow$: per spostare l'immagine verso l'alto.

$\downarrow/\leftarrow$: per spostare l'immagine verso il basso.

Per riportare Spostamento V sul valore intermedio, selezionare “Regolaz. autom.”

Nota

Se “Aspetto” è impostato su “Smart”, non è possibile regolare le dimensioni o la posizione dell'immagine.

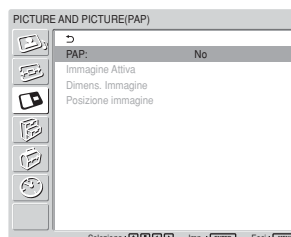
Visualizzazione di due immagini contemporaneamente

È possibile visualizzare l'una accanto all'altra due immagini provenienti da sorgenti diverse, ad esempio da un computer e da un apparecchio video.

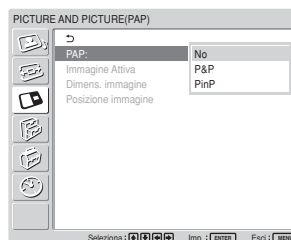
- 1 Premere MENU.
Sul pannello del display appare il menu principale.



- 2 Premere $\uparrow/\downarrow$ per spostare il cursore (giallo) su “PICTURE AND PICTURE (PAP)” (Immagine e immagine), quindi premere ENTER.
Il menu PICTURE AND PICTURE (PAP) viene visualizzato sullo schermo.



- 3 Premere $\uparrow/\downarrow$ per spostare il cursore (giallo) su “PAP”, quindi premere ENTER.
Sullo schermo appare il seguente menu.



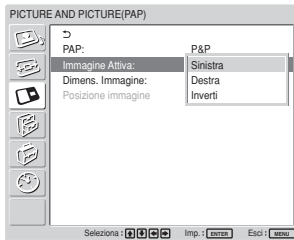
- 4 Selezionare il modo PAP tramite $\uparrow/\downarrow$.
No: per disattivare il modo PAP.
P&P: per visualizzare contemporaneamente due immagini l'una accanto all'altra.
PinP: per visualizzare un'immagine secondaria nell'immagine principale.

- 5** Premere ENTER per tornare alla schermata precedente.

Attivazione di un'immagine o scambio di posizione tra due immagini

Se è selezionato P&P

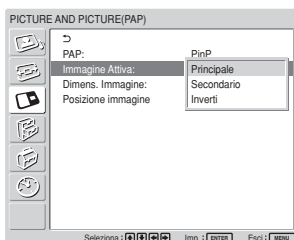
- 1** Premere $\uparrow/\downarrow$ per spostare il cursore (giallo) su "Immagine attiva", quindi premere ENTER. Sullo schermo appare il seguente menu.



- 2** Selezionare la modalità Immagine attiva utilizzando $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER. Quando viene visualizzato il menu, la cornice appare intorno all'immagine per cui si sta regolando l'impostazione. Viene emesso l'audio corrispondente all'immagine correntemente attiva.
Sinistra: per attivare l'immagine a sinistra.
Destra: per attivare l'immagine a destra.
Inverti: per scambiare la posizione delle due immagini.
 Quando la schermata del menu non è visualizzata, l'immagine a sinistra viene attivata alla pressione di $\leftarrow$ sul telecomando, mentre l'immagine a destra viene attivata alla pressione di $\rightarrow$ sul telecomando.

Se è selezionato PinP

- 1** Selezionare "Immagine attiva" tramite $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER. Sullo schermo viene visualizzato quanto segue.



- 2** Selezionare la modalità Immagine attiva utilizzando $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER. Quando viene visualizzato il menu, mentre Secondario è attivato, la cornice appare intorno all'immagine secondaria. Quando Principale è attivato, la cornice non appare. Viene emesso l'audio corrispondente all'immagine correntemente attiva.

Principale: per attivare l'immagine principale.

Secondario: per attivare l'immagine secondaria.

Inverti: per sostituire le immagini principale e secondaria.

Quando la schermata del menu non è visualizzata, l'immagine principale viene attivata alla pressione di $\leftarrow$ sul telecomando, mentre l'immagine secondaria viene attivata alla pressione di $\rightarrow$ sul telecomando.

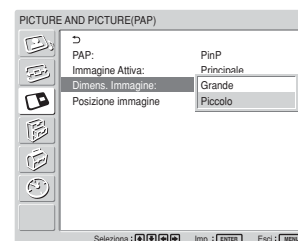
Ingrandimento di un'immagine

Se è selezionato P&P

- 1** Selezionare "Dimens. Immagine" tramite $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER.
- 2** Tenere premuto $\leftarrow/\rightarrow$ per modificare le dimensioni delle immagini, quindi premere ENTER.

Se è selezionato PinP

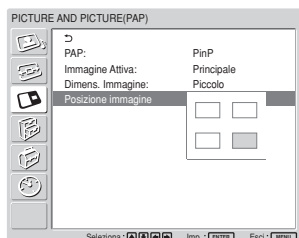
- 1** Selezionare "Dimens. Immagine" tramite $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER. Sullo schermo viene visualizzato quanto segue.



- 2** Premere $\uparrow/\downarrow$ per selezionare le dimensioni, quindi premere ENTER.
Grande: per aumentare le dimensioni dell'immagine secondaria.
Piccolo: per diminuire le dimensioni dell'immagine secondaria.

Regolazione della posizione dell'immagine secondaria (solo per PinP)

- 1 Selezionare “Posizione immagine” tramite $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER.



- 2 Regolare la posizione dell'immagine secondaria tramite $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$, quindi premere ENTER.

Note

- È possibile visualizzare due immagini solo se “Display multiplo” è impostato su “No”
- Durante la visualizzazione di due immagini, l'impostazione di “Luminosità” e “Contrasto” consente di regolare il bilanciamento tra le due immagini.
- La funzione PICTURE AND PICTURE funziona per tutte le combinazioni di segnali di ingresso seguenti.
- Il sistema di ingresso dell'immagine appare a destra o l'immagine inserita viene visualizzata nella parte superiore destra dello schermo. Sotto tale voce, viene visualizzato il sistema di colore o la risoluzione/frequenza verticale di Immagine attiva.

PC (digitale)	+	PC (analogico)	PC	+	Video/S Video
Input1	+	Input2	Input1	+	BKM-FW10
Input1	+	BKM-FW12	Input2	+	BKM-FW10
Input1	+	BKM-FW11			
Input1	+	BKM-FW50			

PC	+	Componente	PC (analogico)	+	Video digitale
Input1	+	BKM-FW11	Input2	+	Input1
Input1	+	Input2	BKM-FW12	+	Input1
Input2	+	BKM-FW11	BKM-FW11	+	Input1
Input1	+	BKM-FW12			
Input2	+	BKM-FW12			

Video/S video	+	Componente	Componente	+	Componente (fino a 480i)
BKM-FW10	+	Input2*	Input2	+	BKM-FW11*
			Input2	+	BKM-FW12*

Video digitale	+	Componente	Video digitale	+	Video/S video
Input1	+	BKM-FW11	Input1	+	BKM-FW10
Input1	+	Input2			
Input1	+	BKM-FW12			

Combinazioni consigliate

- Nella combinazione contrassegnata da *, le funzioni Sottotitolo e 16:9 autom. sono disponibili per i soli segnali immessi da BKM-FW10, BKM-FW11 o BKM-FW12.
- È possibile che 2 immagini in movimento di sistemi TV diversi non vengano visualizzate correttamente a causa del formato del segnale.

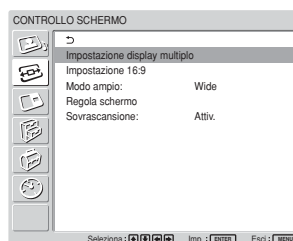
Impostazione del display multiplo

È possibile effettuare le impostazioni per il collegamento di più display da utilizzare contemporaneamente.

- 1 Premere MENU.
Viene visualizzato il menu principale.



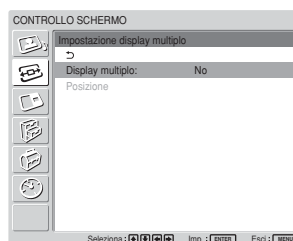
- 2 Selezionare “CONTROLLO SCHERMO” tramite $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il menu CONTROLLO SCHERMO.



Nota

Tramite il display multiplo, è possibile visualizzare un'immagine ingrandita con “Aspetto” impostato su “Pieno”.

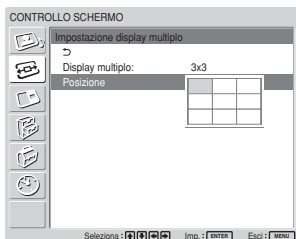
- 3 Selezionare “Impostazione display multiplo” tramite $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il menu Impostazione display multiplo.



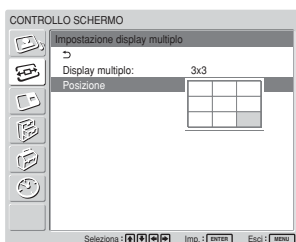
- 4** Selezionare “Display multiplo” tramite $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il seguente menu.



- 5** Selezionare il modo corrispondente alla disposizione di display desiderata tramite $\uparrow/\downarrow$.
No: per utilizzare un'unica schermata.
2 × 2 – 4 × 4: per selezionare la disposizione di display da utilizzare.
- 6** Premere ENTER per tornare al menu Impostazione display multiplo, quindi selezionare “Posizione” tramite $\uparrow/\downarrow$.



- 7** Selezionare la posizione del presente display nella disposizione di più display tramite $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$.



Ad esempio, per selezionare la posizione inferiore destra in una disposizione da 3 × 3

- 8** Per impostare la posizione, premere ENTER.
Viene visualizzato di nuovo il menu Impostazione display multiplo.

Nota

È possibile impostare il Display multiplo solo se la funzione “PICTURE AND PICTURE” è disattivata.

Regolazione della qualità dell'audio

Se è installato un diffusore SS-SP40FW/32FW (non in dotazione), è possibile regolare il livello degli acuti e dei bassi, nonché il bilanciamento del volume del diffusore (parti sinistra e destra). Inoltre, è possibile impostare il modo surround.

Regolazione degli acuti, dei bassi, del bilanciamento e così via

Premere MENU per visualizzare il menu principale sul pannello del display, selezionare “Acuti”, “Bassi”, “Bilanciamento” o “Surround” nel menu Regola audio.

Impostare “Modalità immagine” su un valore compreso tra “Utente1” e “Utente3”.

Acuti

Selezionare “Acuti” utilizzando $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER.

Utilizzando $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$, regolare gli acuti entro la gamma compresa tra MIN (–50) e MAX (50), quindi premere ENTER.

$\uparrow/\rightarrow$: per aumentare gli acuti

$\downarrow/\leftarrow$: per diminuire gli acuti

Bassi

Selezionare “Bassi” utilizzando $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER.

Utilizzando $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$, regolare i bassi entro la gamma compresa tra MIN (–50) e MAX (50), quindi premere ENTER.

$\uparrow/\rightarrow$: per aumentare i bassi

$\downarrow/\leftarrow$: per diminuire i bassi

Bilanciamento

Selezionare “Bilanciamento” utilizzando $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER.

Utilizzando $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$, regolare il bilanciamento entro la gamma compresa tra LEFT (50) e RIGHT (50), quindi premere ENTER.

$\uparrow/\rightarrow$: per aumentare il volume nella parte destra

$\downarrow/\leftarrow$: per aumentare il volume nella parte sinistra

Surround

Selezionare il modo surround in base al tipo di immagine.

- 1 Selezionare “Surround” utilizzando **↑/↓**, quindi premere ENTER.
- 2 Selezionare il modo surround utilizzando **↑/↓**, quindi premere ENTER.
No: nessun modo surround
Hall: per ottenere un effetto audio stereo per programmi musicali o film.
Simulato: per dare ai programmi monofonici ordinari o ai notiziari un senso di realismo grazie ad un audio stereo simulato.

Ripristino delle voci del menu Regola audio sulle impostazioni iniziali

- 1 Nel menu Regola audio, premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su “Ripristina”, quindi premere ENTER.
 Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 2 Premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su “Esegui”, quindi premere ENTER.
 Le voci del menu Regola audio vengono ripristinate sui valori predefiniti.

Per annullare la funzione di ripristino

Premere MENU prima di ENTER.

In alternativa, selezionare “Annulla” utilizzando **↑/↓**, quindi premere ENTER.

Selezione della lingua per le indicazioni a schermo

Le lingue disponibili per le indicazioni a schermo sono il giapponese, l'inglese, il tedesco, il francese, lo spagnolo e l'italiano.

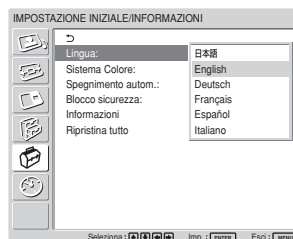
- 1 Premere MENU.
 Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



- 2 Premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su “IMPOSTAZIONE INIZIALE/INFORMAZIONI”, quindi premere ENTER.
 Sul pannello del display appare il menu IMPOSTAZIONE INIZIALE/INFORMAZIONI.



- 3 Premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su “Lingua”, quindi premere ENTER.
 Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 4 Premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) sulla lingua desiderata, quindi premere ENTER.
 Le indicazioni a schermo vengono visualizzate nella lingua selezionata.

日本語: giapponese

English: inglese

Deutsch: tedesco

Français: francese

Español: spagnolo

Italiano: italiano

Regolazione della matrice di colore

È possibile impostare la matrice di colore in modo che le immagini vengano visualizzate con colori naturali se all'adattatore di ingresso componente viene trasmesso un segnale in formato 480I(525I), 480P(525P), 1080I(1125I) o 720P(750P).

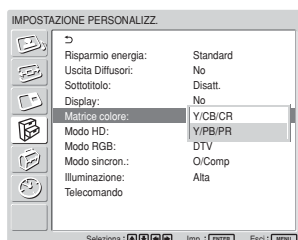
- 1 Premere MENU.
Il menu principale compare sul display.



- 2 Premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su "IMPOSTAZIONE PERSONALIZZ.", quindi premere ENTER.
Il menu IMPOSTAZIONE PERSONALIZZ. compare sul display.



- 3 Premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su "Matrice colore", quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il seguente menu sul display.



- 4 Selezionare la matrice di colore mediante **↑/↓**.
Y/CB/CR: se il formato del segnale è 480I o 480P.
Y/PB/PR: se il formato del segnale è 1080I o 720P.

Consultare le istruzioni per l'uso in dotazione con ciascun dispositivo per ulteriori dettagli relativi all'impostazione corretta.

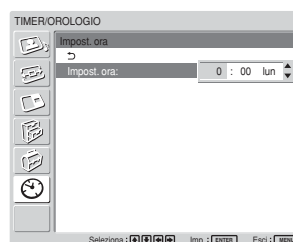
- 5 Premere ENTER per tornare alla schermata precedente.

Controllo automatico dell'alimentazione attivata/disattivata (funzione di controllo dell'alimentazione)

È possibile impostare l'ora per visualizzare l'ora corrente e per impostare l'orario di attivazione/disattivazione automatica dell'alimentazione (funzione Timer Sì/No).

Regolazione dell'ora e del giorno

- 1 Nel menu TIMER/OROLOGIO, premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su "Impost. ora", quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il seguente menu e il colore dello sfondo dell'orologio diventa giallo.



- 2 Regolare l'ora mediante **↑/↓**, quindi premere ENTER.
L'impostazione per l'ora viene effettuata e lo sfondo dei minuti viene visualizzato in giallo.
- 3 Regolare i minuti tramite **↑/↓**, quindi premere ENTER.
I minuti vengono regolati e lo sfondo del giorno diventa giallo.
- 4 Impostare il giorno tramite **↑/↓**, quindi premere ENTER.
Il giorno viene impostato e appare di nuovo la schermata precedente.

5 Premere MENU.

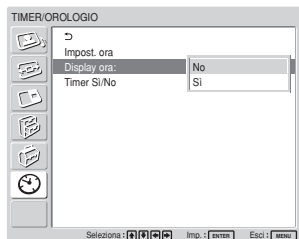
Il display torna alla schermata normale. Se è necessario effettuare ulteriori regolazioni, oppure se è necessario effettuare di nuovo l'impostazione, ripetere la procedura descritta a partire dal punto 1.

Nota

Se la visualizzazione dell'ora appare troppo lenta, è possibile che la batteria interna si stia scaricando. Per sostituire la batteria, rivolgersi al proprio rivenditore Sony autorizzato.

Visualizzazione dell'ora

- 1 Nel menu TIMER/OROLOGIO, premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su "Display ora", quindi premere ENTER. Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 2 Selezionare "Sì" tramite **↑/↓**, quindi premere ENTER. Quando il menu non viene visualizzato, l'orologio appare nell'angolo inferiore destro del pannello.

Premendo il tasto DISPLAY del telecomando, vengono visualizzati il segnale attualmente immesso e Modalità immagine.

Se le informazioni rimangono visualizzate senza che venga eseguita alcuna operazione per circa 5 secondi mentre appare l'orologio, tali informazioni scompaiono automaticamente.

"Display ora: Sì" rimane salvato anche dopo che l'apparecchio è stato spento.

Funzione Timer att/dis

- 1 Nel menu TIMER/OROLOGIO, premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su "Timer Sì/No", quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 2 Selezionare "Ogni giorno" o "Giorno settimana" tramite **↑/↓**, quindi premere ENTER. Se è selezionato "Giorno settimana", è possibile impostare un'ora specifica per ogni giorno della settimana. Selezionando "Ogni giorno", viene visualizzata la seguente schermata.



- 3 Per impostare Ora attivaz., fare passare **●** a **○** mediante **↑/↓**, quindi premere ENTER.



- 4 Premere **↑/↓** per impostare Ora attivaz., quindi premere ENTER. L'ora viene regolata e lo sfondo dei minuti diventa giallo.
- 5 Premere **↑/↓** per impostare i minuti, quindi premere ENTER.
- 6 Impostare Ora disattiv. nello stesso modo di Ora attivaz.

- 7** Premere ENTER.
Viene impostato “Timer Sì/No”.

Note

- L'ora non è preimpostata in fabbrica, pertanto l'indicazione “-- : --” viene visualizzata al posto dell'ora.
- L'ora impostata per “Ogni giorno” viene inoltre applicata per “Giorno settimana”.
Se viene impostata l'ora per “Giorno settimana”, l'impostazione di “Ogni giorno” viene annullata.

Impostazione del blocco di sicurezza

Il display è dotato della funzione Blocco sicurezza. Una volta impostato il Blocco sicurezza, all'utente viene richiesto di immettere una password all'accensione del display. Nessuna immagine viene visualizzata né è possibile utilizzare il display a meno che non venga immessa la password corretta.

Nota

Prestare particolare attenzione durante l'uso di questa funzione. Si consiglia di annotarsi la password impostata per il display e di conservarla in un luogo sicuro. Se non è possibile ricordare la password, rivolgersi a personale Sony qualificato.

Per attivare il blocco di sicurezza

- 1** Premere MENU, quindi impostare “Blocco sicurezza” su “Sì” nel menu IMPOSTAZIONE INIZIALE/INFORMAZIONI.
- 2** Immettere una password.
Immettere una password composta da quattro cifre tramite MENU, $\uparrow/\downarrow$, ENTER.
La password preimpostata in fabbrica è “ENTER, ENTER, ENTER, ENTER”. Al primo uso della funzione, premere quattro volte “ENTER”.



Viene visualizzata una finestra di dialogo che richiede di immettere una nuova password. Immettere una password anche se si intende continuare ad utilizzare quella corrente.

Immettere la password nella finestra di dialogo.



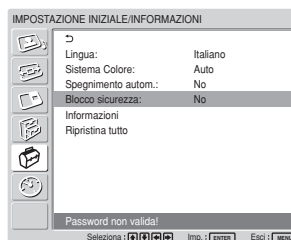
- 3** Immettere di nuovo la password per confermarla.



Quando viene visualizzato il seguente messaggio, significa che l'impostazione è terminata.



Se nella schermata del menu viene visualizzato “Password non valida!”, iniziare di nuovo a partire dal punto 1.



- 4** Una volta terminata la procedura di cui sopra, disattivare il display e scollegare il cavo di alimentazione per applicare l'impostazione. La funzione Blocco sicurezza diventa attiva e alla successiva attivazione del display viene visualizzata la finestra di dialogo che richiede di immettere la password.

Autenticazione del blocco di sicurezza

Quando viene visualizzata la finestra di dialogo di richiesta della password, immettere la password impostata per il display.

Se viene immessa per tre volte una password errata, non sarà possibile utilizzare ulteriormente il display. In tal caso, premere l'interruttore $\odot$ POWER per disattivare il display.

Per disattivare il blocco di sicurezza

Premere MENU, quindi impostare “Blocco sicurezza” su “No” nel menu IMPOSTAZIONE INIZIALE/INFORMAZIONI.

Impostazione di un indirizzo IP e della velocità di comunicazione

Se nell'alloggiamento OPTION1 del display è installato un adattatore opzionale con funzione di comunicazione, quale BKM-FW32 o BKM-FW50, impostare un indirizzo IP e la velocità di comunicazione per utilizzare il display tramite la rete.

Nota

L'impostazione di un indirizzi IP e della velocità di comunicazione viene completata selezionando "Execute", quindi premendo ENTER.

Se l'impostazione viene completata correttamente, viene visualizzato "Done" (Fine).

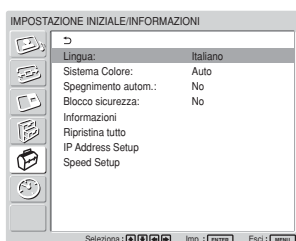
Se l'impostazione non viene completata correttamente, viene visualizzato un codice di errore. In tal caso, verificare i valori delle impostazioni, quindi tentare di nuovo di eseguire l'impostazione.

Come ottenere automaticamente un indirizzo IP (DHCP)

- 1 Premere MENU.
Viene visualizzato il menu principale.



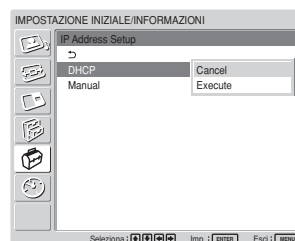
- 2 Selezionare "IMPOSTAZIONE INIZIALE/INFORMAZIONI" tramite $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il menu IMPOSTAZIONE PERSONALIZZ./INFORMAZIONI.



- 3 Selezionare "IP Address Setup" tramite $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il seguente menu.



- 4 Selezionare "DHCP" utilizzando $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il seguente menu.



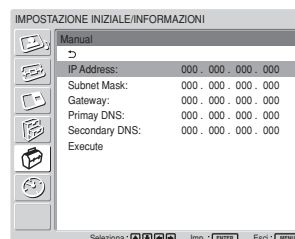
- 5 Selezionare "Execute" utilizzando $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER.
In questo modo, è possibile ottenere automaticamente un indirizzo IP.

Nota

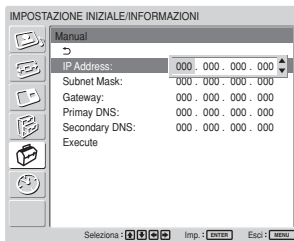
Se un indirizzo IP è stato ottenuto automaticamente utilizzando DHCP, ogni volta che si spegne e si riaccende il display è possibile che l'indirizzo IP non corrisponda.

Impostazione manuale di un indirizzo IP (Manual)

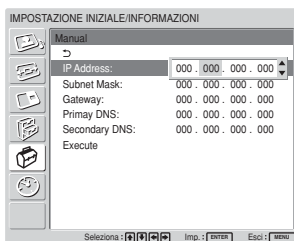
- 1 Selezionare "Manual" al punto 4 della sezione "Come ottenere automaticamente un indirizzo IP (DHCP)", quindi premere ENTER.
Il seguente menu viene visualizzato sullo schermo.



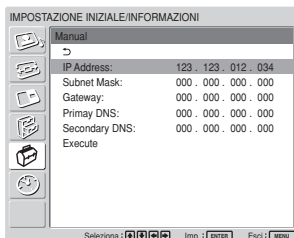
- 2 Selezionare una voce che si desidera impostare manualmente utilizzando $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER.



- 3 Impostare un valore a tre cifre (da 0 a 255) per la prima casella utilizzando $\uparrow/\downarrow$ sul display o i tasti numerici sul telecomando, quindi premere ENTER o $\rightarrow$.
Il cursore si sposta sulla casella successiva.



- 4 Impostare un valore a tre cifre (da 0 a 255) per ciascuna delle quattro caselle, quindi premere ENTER.
Il seguente menu viene visualizzato sullo schermo.



- 5 Selezionare la successiva voce che si desidera impostare manualmente utilizzando $\uparrow/\downarrow$ e ripetere la stessa procedura, quindi premere ENTER.
- 6 Una volta impostati i valori di tutte le voci desiderate, selezionare "Execute" utilizzando $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER.
Selezionare "Esegui", quindi premere ENTER.
L'indirizzo IP è stato impostato manualmente.

Nota

Se un indirizzo IP non viene impostato correttamente, vengono visualizzati i seguenti codici di errore, in base alla causa dell'errore.

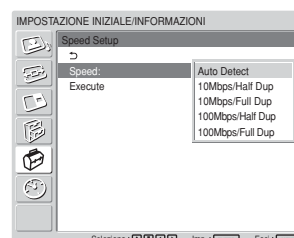
- Errore 1** Errore di comunicazione tra il display e un adattatore opzionale quale BKM-FW32 o BKM-FW50
- Errore 2** Un indirizzo IP specificato è già in uso per un altro dispositivo.
- Errore 3** Errore relativo all'indirizzo IP
- Errore 4** Errore relativo all'indirizzo del gateway
- Errore 5** Errore relativo all'indirizzo DNS primario
- Errore 6** Errore relativo all'indirizzo DNS secondario
- Errore 7** Errore relativo alla maschera di sottorete

Impostazione della velocità di comunicazione

- 1 Nel menu IMPOSTAZIONE INIZIALE/INFORMAZIONI, selezionare "Speed Setup" utilizzando $\uparrow/\downarrow$, quindi premere ENTER.



- 2 Premere ENTER, quindi selezionare un valore per la velocità di comunicazione utilizzando, infine premere ENTER.
Selezionare "Auto Detect" se si desidera impostare automaticamente una velocità di comunicazione appropriata per la propria configurazione di rete.



- 3 Selezionare "Execute", quindi premere ENTER.
Selezionare "Esegui", quindi premere ENTER.
La velocità di comunicazione è stata impostata.

Funzione di autodiagnostica

Il presente apparecchio dispone di una funzione di autodiagnostica.

Questa funzione permette di individuare le condizioni del display tramite il modo in cui lampeggia l'indicatore POWER/STANDBY. In base al tipo di lampeggiamento è possibile capire le condizioni attuali del display.

Se l'indicatore POWER/STANDBY lampeggia, controllare quante volte lampeggia e contattare un rivenditore Sony autorizzato.

1 Controllare il lampeggiamento dell'indicatore POWER/STANDBY.

L'indicatore lampeggia (con un'immagine sul display) o lampeggia ad intervalli di tre secondi (senza immagini sul display).

Se l'indicatore lampeggia ad intervalli di tre secondi, contare quante volte lampeggia. Ad esempio, l'indicatore lampeggia due volte, quindi rimane spento per tre secondi, quindi di nuovo due volte e così via. In tal caso, il numero di lampeggiamenti sarà due.

2 Scollegare l'apparecchio.

Riferire ad un rivenditore Sony autorizzato il numero di lampeggiamenti.

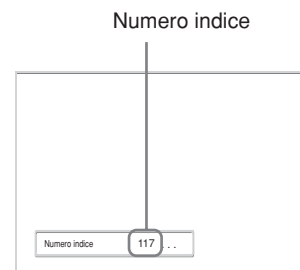
Utilizzo di un display specifico tramite il telecomando

Tramite il telecomando in dotazione è possibile utilizzare un display specifico senza influenzare altri display installati contemporaneamente.

1 Premere ID MODE ON sul telecomando.

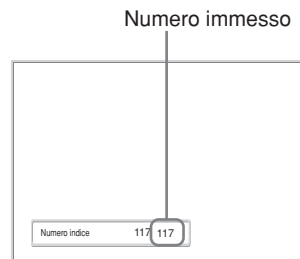
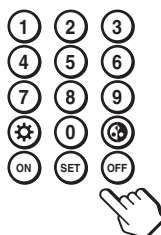
I numeri di indice del display vengono visualizzati in caratteri neri nel menu nella parte inferiore sinistra della schermata. (ad ogni display viene assegnato un numero indice preimpostato da 1 a 255).

Per ulteriori informazioni, vedere "Modifica del numero indice" a pagina 43 (IT).



2 Inserire il numero indice del display che si desidera utilizzare utilizzando i tasti da 0 a 9 sul telecomando.

Il numero inserito viene visualizzato accanto al numero indice di ciascun display.



- 3** Premere ID MODE SET.
I caratteri sul display selezionato diventano verdi mentre gli altri caratteri diventano rossi.



È possibile utilizzare il display specificato solo mediante caratteri verdi.
(Il modo di accensione/attesa si riferisce anche agli altri display.)

- 4** Una volta completate tutte le modifiche delle impostazioni, premere il tasto ID MODE OFF.
Il display torna al modo normale.



Modifica del numero indice

Se necessario è possibile cambiare il numero indice.
Per cambiare il numero, utilizzare i tasti presenti sulla sezione tasti di controllo del display.
Non è possibile cambiare il numero di indice utilizzando il telecomando.

- 1** Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



- 2** Selezionare “IMPOSTAZIONE PERSONALIZZ.”, quindi premere ENTER.
Sullo schermo viene visualizzato quanto segue.



- 3** Selezionare “Telecomando” tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il menu Telecomando.



- 4** Selezionare il numero indice tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
- 5** Impostare il numero di indice desiderato mediante ↑/↓, quindi premere ENTER.
Il monitor torna al menu Telecomando.

Caratteristiche tecniche

Elaborazione video

Segnali preimpostati

vedere a pagina 23 (IT).

Frequenza di campionamento

da 13,5 MHz a 140 MHz

Pannello

Pannello con display a cristalli
liquidi a matrice attiva TFT a-Si

Risoluzione del display

1.366 punti (orizzontale) ×
768 linee (verticale)

FWD-40LX1:

Passo dei pixel 0,648 (orizzontale) ×
0,648 (verticale) mm

Dimensioni dell'immagine

885 (orizzontale) ×
498 (verticale) mm

Dimensioni del pannello

40 pollici (diagonale 1.016 mm)

FWD-32LX1R:

Passo dei pixel 0,510 (orizzontale) ×
0,510 (verticale) mm

Dimensioni dell'immagine

698 (orizzontale) ×
392 (verticale) mm

Dimensioni del pannello

32 pollici (diagonale 801 mm)

Ingressi e uscite

INPUT1

DVI DVI (conforme alle specifiche del
software DVI Rev. 1.0)

AUDIO Minipresa stereo (×1)
500 mVrms, alta impedenza

INPUT2

RGB/COMPONENT D-sub a 15 piedini (femmina) (×1)
*(vedere "Assegnazione dei
piedini" a pagina 45 (IT).)*

AUDIO Minipresa stereo (×1)
500 mVrms, alta impedenza

CONTROL S IN/OUT

Minipresa (×2)

AUDIO OUT

Presa a piedini (×2)
500 mVrms, alta impedenza

REMOTE (RS-232C)

D-sub a 9 piedini (×1)

DIFFUSORE

7 W + 7 W (6 ohm), impedenza
non bilanciata diretta : 6-16 ohm

Adattatore di ingresso/uscita VIDEO/S VIDEO BKM-FW10

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N)

VIDEO IN	Tipo BNC (×1) Video composito, 1 Vp-p ±2 dB sincronismo negativo, a 75 ohm (terminazione automatica)
VIDEO OUT	Tipo BNC (×1) a ciclo aperto
S VIDEO IN	Mini DIN a 4 piedini (×1) Y (luminanza): 1 Vp-p ±2 dB sincronismo negativo, con terminazione a 75 ohm C (crominanza): segnale di sincronizzazione 0,286 Vp-p ±2 dB (NTSC), con terminazione a 75 ohm Segnale di sincronizzazione 0,3 Vp-p ±2 dB (PAL), con terminazione a 75 ohm
S VIDEO OUT	Mini DIN a 4 piedini (×1) a ciclo aperto
AUDIO IN	Presa a piedini (×2) 500 mVrms, alta impedenza

Generali

Requisiti di alimentazione

da 100 a 240 V CA, 50/60 Hz

FWD-40LX1:

2,5 A a 1,2 A

FWD-32LX1R:

1,7 A a 0,8 A

Consumo energetico

FWD-40LX1: 220 W

FWD-32LX1R: 150 W

Condizioni di utilizzo

Temperatura: da 0 °C a +35 °C

Umidità: da 20% a 90% (senza
formazione di condensa)

Condizioni di conservazione/trasporto

Temperatura: da -10 °C a +40 °C

Umidità: da 20% a 90% (senza
formazione di condensa)

Dimensioni	Modello con cornice acrilica
	FWD-40LX1:
	994 × 597 × 125 mm
	FWD-32LX1R:
	802 × 492 × 107 mm
Peso	Modello con cornice non acrilica
	FWD-40LX1:
	988 × 591 × 125 mm
	FWD-32LX1R:
	796 × 486 × 107 mm
	(l/a/p, escluse le parti sporgenti)
	Modello con cornice acrilica
FWD-40LX1: 27,5 kg	
FWD-32LX1R: 17,5 kg	
	Modello con cornice non acrilica
	FWD-40LX1: 26,7 kg
	FWD-32LX1R: 16,7 kg

Accessori in dotazione

Cavo di alimentazione CA (1)
 Ferma spina CA (2)
 Fermacavo FWD-40LX1: (4)
 FWD-32LX1R: (6)
 Cavo segnale RGB digitale
 (DVI-D) (collegamento singolo)
 (1)
 Cavo video componente
 (D-sub a 15 piedini –
 RCA×3) (1)
 Adattatore BNC-RCA (1)
 Telecomando RM-980 (1)
 Pile R03 (formato AAA) (2)
 Istruzioni per l'uso (1)

Accessori opzionali

Supporto SU-42FW/32FW per display
Diffusore SS-SP40FW/32FW
Adattatori opzionali per l'espansione del sistema, serie BKM-FW

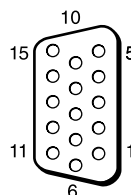
Normative sulla sicurezza

UL1950, CSA N. 950 (c-UL), FCC
Class B, IC Class B, EN60 950
(NEMKO), CE, C-Tick

Il design e le caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Assegnazione dei piedini

Connettore RGB/COMPONENT (D-sub a 15 piedini)



N. piedino	Segnale
1	Video rosso oppure C _R /P _R
2	Video verde o Y o Sinc su verde
3	Video blu oppure C _B /P _B
4	Terra
5	Terra
6	Terra rosso
7	Terra verde
8	Terra blu
9	Non in uso
10	Terra
11	Terra
12	SDA
13	Sincronismo H o Video composito
14	Sincronismo V
15	SCL

警告

为避免引发意外的火灾或遭受雷击的危险，请勿将本机置于雨点所及或者潮湿的地方。

输出插座应安装于装置附近使用方便的地方。

关于搬运

搬运本机时请抓住显示器本身，切勿抓住扬声器。否则，扬声器可能会脱落，而本机也可能随之落下。这会导致受伤。

警告

如果更换的电池型号不正确有爆炸危险。
请按照当地法规废弃用过的电池。

目录

使用前须知 5 (CS)

部件和控制器的位置和功能 7 (CS)

前视图／后视图／侧视图7 (CS)

指示灯部分8 (CS)

控制键部分（顶视图）8 (CS)

连接器面板9 (CS)

遥控器 RM-980 11 (CS)

小心 13 (CS)

连接 14 (CS)

连接扬声器14 (CS)

连接交流电源线14 (CS)

布置电缆15 (CS)

使用屏幕菜单 16 (CS)

通过菜单操作16 (CS)

菜单指南16 (CS)

观看图像 21 (CS)

切换输入信号21 (CS)

输入信号、图像模式和显示器状态信息 22 (CS)

选择图像质量 24 (CS)

调整图像 24 (CS)

调整 Contrast、Brightness、
Chroma 和 Phase 等 24 (CS)

将 Adjust Picture 菜单项目恢复到初始设定 . 27 (CS)

图像放大 28 (CS)

设定 Auto Wide 28 (CS)

设定 Aspect 29 (CS)

调整图像的尺寸和位置 30 (CS)

调整图像的尺寸、位置或像素 30 (CS)

同时观看两幅图像 32 (CS)

激活一幅图像或者切换两幅图像的位置	32 (CS)
局部放大图像	33 (CS)
调整内插图像的位置（仅适用于 PinP）	33 (CS)
设置 Multi Display	34 (CS)
调整音质	35 (CS)
调整高音、低音和均衡等	35 (CS)
将 Adjust Sound（调整音质）菜单	
项目恢复到其初始设定	35 (CS)
选择屏幕语言	36 (CS)
调整 Color Matrix	36 (CS)
自动控制电源开／关（定时器功能）	37 (CS)
调整时间和日期	37 (CS)
显示时间	37 (CS)
开／关定时器功能	38 (CS)
设置安全锁定	38 (CS)
启动安全锁定	38 (CS)
安全鉴定	39 (CS)
撤消安全锁定	39 (CS)
设置 IP 地址和通讯速度	39 (CS)
自动获取 IP 地址 (DHCP)	39 (CS)
手动设定 IP 地址 (Manual)	40 (CS)
设定通讯速度	40 (CS)
自检功能	41 (CS)
用遥控器操作指定的显示器	42 (CS)
规格	43 (CS)

使用前须知

安全方面

- 指示工作电压、功耗等的铭牌位于本机背面。
- 万一有异物或液体进入机内，请拔下本机的电源插头，并经维修人员检查之后方可继续使用。
- 如果数日以上不使用本机，请从墙上电源输出插座拔下本机的电源插头。
- 拔取电源线时，请拿住插头拔出，切勿拉扯电源线。
- 将本机落地安装时，务必使用选购的支架。

安装方面

- 保证良好的空气流通以防内部积热。请勿将本机放在地毯、毛毯等上面或窗帘、帏幔旁边，否则通风孔会受阻。
- 请勿将本机安装在靠近散热器或排气管等热源之处，以及受阳光直射、多尘、有机械振动或冲击之处。
- 在本机周围安装多台装置时，根据本机和其他装置的位置，可能会发生遥控器误操作、图像杂波、噪声等问题。

在液晶显示屏上

- 您能看到屏幕上出现红色、兰色、绿色的亮点或者暗点。这并不表示故障。虽然液晶显示屏是用极高精度的工艺技术制造而成，它仍会产生少量暗的或亮的像素点。
- 如果让液晶显示屏长时间面朝太阳，将会损坏屏面。当您在户外或窗口旁安装设备时要考虑到这一点。
- 请勿推压、擦伤屏面或在上面放置重物。否则会造成屏幕显示不正常或液晶显示屏故障。
- 当在较冷的环境中使用该装置，屏幕可能变暗或者出现残留影像。这并非表示故障。温度上升以后屏幕显示会恢复正常。
- 如果长时间在屏幕上显示静止的图像，可能出现重影。经过一段时间后它会消失。
- 在使用时，屏面表面或机壳会升温变热，这并不表示故障。

显示器的清洁方法

屏面表面

- 在清洁显示器之前务必拔掉电源线。
- 液晶显示屏的表面经过特殊的表面涂层处理，要避免接触液晶屏面。清洁时，请使用干燥的软布擦除污斑。
- 决不能使用外用酒精、苯或稀释剂进行清洁。这些溶剂会损伤屏面上的表面涂层。
- 当使用经过化学处理的布进行清洁时，要遵循使用说明。
- 若在设备上喷雾挥发性的溶剂（例如某种杀虫剂），或者使设备长时间接触橡胶或塑料制品，会导致涂层的脱落或设备损坏。

机壳

- 用一块干燥的软布轻轻地擦掉污点。要擦除肮脏的污迹，需要将布在中性洗涤液中稍微浸湿后擦拭，然后再用一块干燥软布将该处擦净。
- 决不要用外用酒精、苯或稀释剂进行清洁。这些溶剂会损伤机壳的表面涂层或者消褪机壳上的标记。

关于显示屏的使用和清洁

当使用或清洁电视机时应特别当心显示屏特殊的表面涂层。清洁时，请用干净的软布擦拭，避免直接接触显示屏。

重新包装方面

请保存原装的纸箱和包装填料，它们是您搬运本机的理想包装箱。将本机搬运到其他地方时，请按照纸箱上的图示重新包装。

如果有关于本机的任何问题，请与授权的 Sony 经销商联系。

电源连接警告

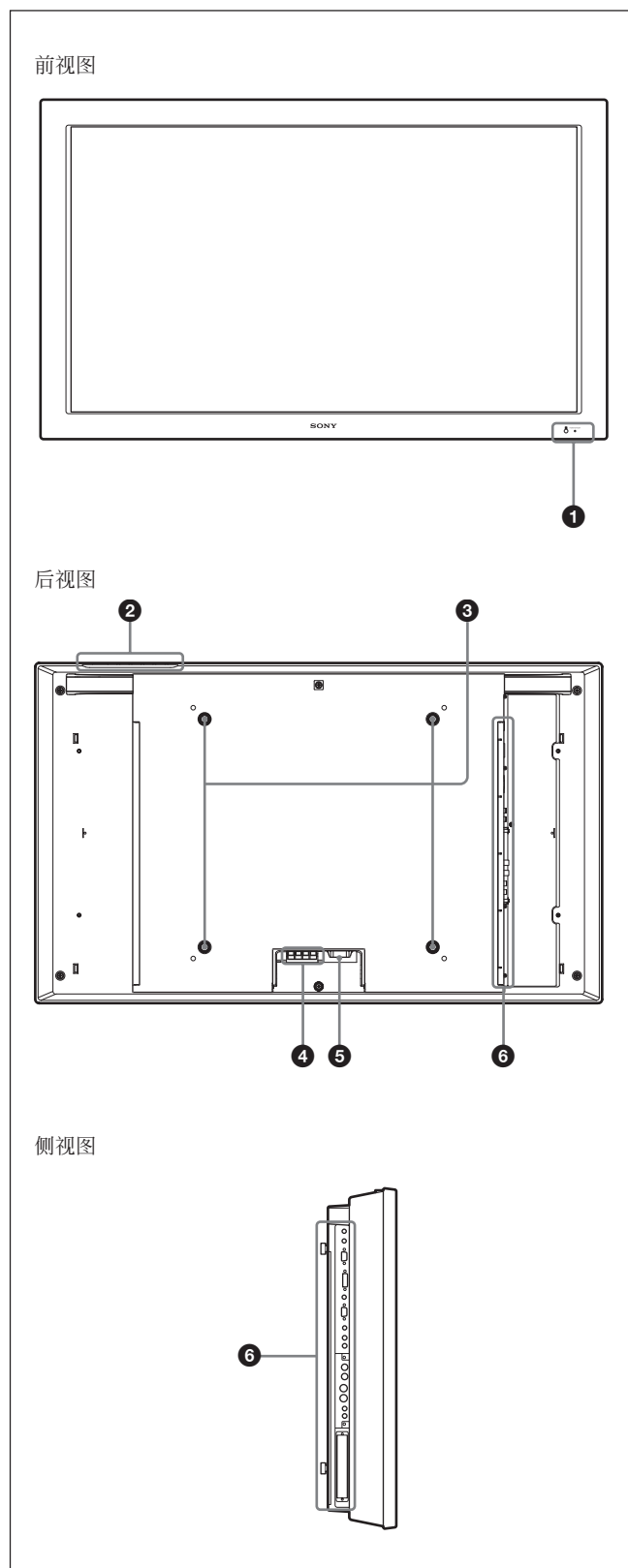
请使用适合当地电源的电源线。

	美国、 加拿大	欧共体		英国、爱尔兰、 澳大利亚、新西兰	日本
插头类型	VM0233	COX-07	636	— ^{a)}	VM1296
阴性端子	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
电线类型	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
额定电流和电压	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
安全合格标准	UL/CSA	VDE		VDE	DENAN-HO

a) 注：请使用适合所在国用的电源插头。

部件和控制器的位置和功能

前视图／后视图／侧视图



① 指示灯部分

有关指示灯部分的详细说明，请参见第 8 页 (CS) 上的“指示灯部分”。

② 控制键部分

有关控制键部分的详细说明，请参见第 8 页 (CS) 上的“控制键部分 (顶视图)”。

③ 支架安装挂钩

用这些挂钩安装支架 (未附带)。

④ SPEAKER (扬声器输出) 插座

当将扬声器 (未附带) 连接至此插座时，则输出显示于屏幕上的音频信号。

⑤ ~ AC IN (交流输入) 插座

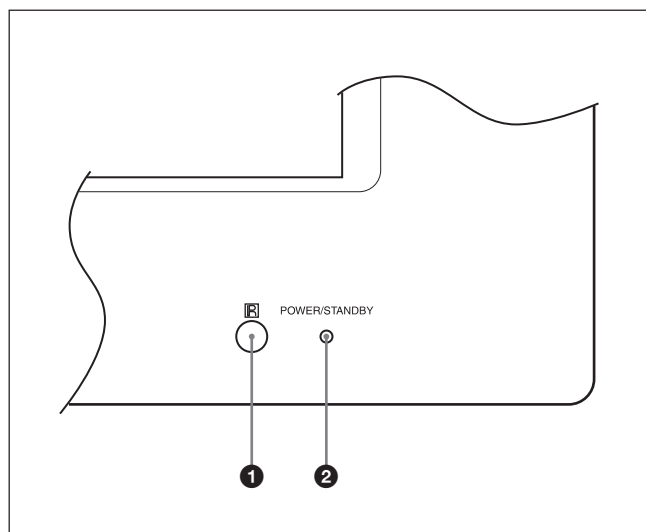
将附带的交流电源线连接至此插座和墙上插座。一旦连接了交流电源线，POWER/STANDBY 指示灯点亮为红色，本显示器处于待机模式。

有关电源线的详细说明，请参见第 14 页 (CS) 上的“连接交流电源线”。

⑥ 连接器面板

有关连接器面板的详细说明，请参见第 9 页 (CS) 上的“连接器面板”。

指示灯部分



① 遥控检测器

接收来自遥控器的信号。

② POWER/STANDBY (待机) 指示灯

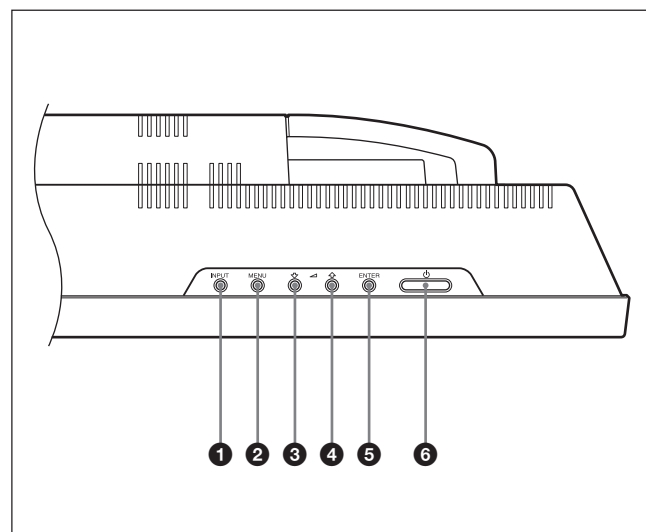
当显示器打开时点亮为绿色。

在待机模式下点亮为红色。显示器进入节电状态模式时，当从电脑送来1个输入信号，灯点亮呈橘黄色。

当切换输入信号时，指示灯闪烁绿色。

当 POWER/STANDBY 指示灯闪烁红色时，请参见第 41 页(CS)上的“自检功能”。

控制键部分 (顶视图)



① INPUT (输入) 键

按此键选择来自 INPUT 或 OPTION 连接器的信号。

每次按下 INPUT 键，输入信号按如下顺序循环切换。



如果 OPTION 插槽没有安装可选择适配器，则 OPTION1 或 OPTION2 将被跳过。

② MENU (菜单) 键

按此键使菜单出现，再按一次此键使菜单隐藏。

③ ④ ↓/↑ (光标/音量) 键

按下能移动光标 (黄色)，设置某个值，或控制扬声器的音量。

⑤ ENTER (执行) 键

按此键选择项目。

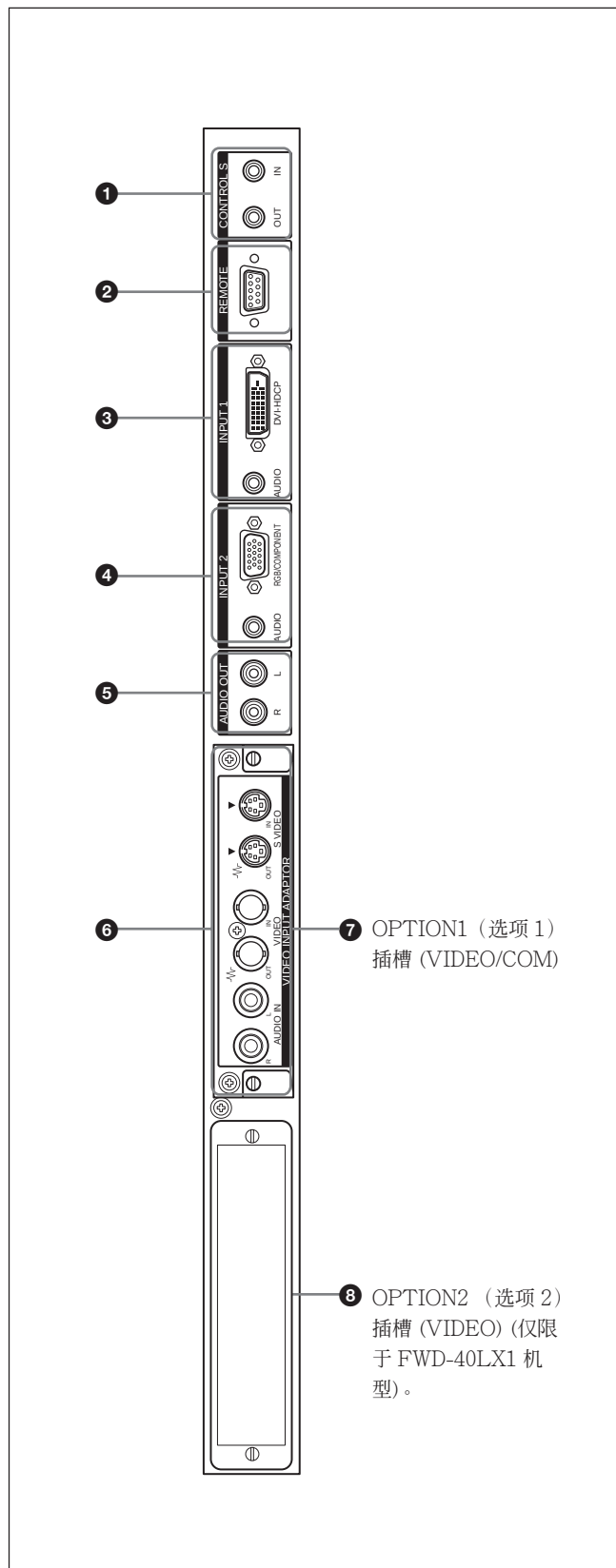
⑥ ⏻ POWER (电源) 开关

按此键打开显示器。再按一下回到待机模式。

注

为保护显示面板，将本机转换为 ON/STANDBY (开/待机) 模式需经过一段时间。一项操作结束约 5 秒钟后，再按此键。

连接器面板



1 CONTROL S IN/OUT (控制 S 信号输入/输出) 连接器 (微型插孔)

当连接至视频装置或其他显示器的 CONTROL S 连接器时，可用单个遥控器控制多台装置。连接本显示器的 CONTROL S OUT 端子和其他装置的 CONTROL S IN 端子、本显示器的 CONTROL S IN 端子和其他装置的 CONTROL S OUT 端子。

2 REMOTE (遥控) (RS-232C) 连接器 (D-sub 9 芯)

此连接器允许用 RS-232C 规程遥控本显示器。有关详细说明，请与授权的 Sony 经销商联系。

注

如果安装了 BKM-FW32 或 BKM-FW50 等带通讯功能的选项转接器，则不能使用本连接器。

3 INPUT1 (输入 1) 连接器 (DIGITAL RGB IN) DVI: 连接到视频设备的数字 RGB 信号输出。支持 HDCP 拷贝保护。

AUDIO (音频) (立体声微型插孔): 输入音频信号。连接到视频设备的音频输出。

4 INPUT2 (输入 2) 连接器 (模拟 RGB/COMPONENT IN) RGB/COMPONENT (D-sub 15 芯): 连接一台视频装置的模拟 RGB 信号或分量 (YUV) 信号输出。

关于将分量信号输入到连接器的细节，请参阅第 44 页 (CS) 的“管脚配置”

AUDIO (音频) (立体声微型插孔): 输入音频信号。连接一台视频装置的音频输出。

5 AUDIO OUT L/R (音频输出) (管脚插孔)

输出屏幕上当前所显示信号的声音。在 P&P 或 PinP 模式，输出与动态图像一致的音频信号。

6 VIDEO (视频) 连接器 (预装了 BKM-FW10。) S VIDEO IN (S VIDEO 输入) 连接器 (微型 DIN 4 芯): 连接至视频装置上的 Y/C 信号输出连接器。

S VIDEO OUT (S VIDEO 输出) 连接器 (微型 DIN 4 芯): 连接到视频装置上的 Y/C 信号输入连接器。

AUDIO IN L/R (音频输入左/右) 连接器 (管脚插孔)：输入音频信号。连接至视频装置上的音频输出连接器。

VIDEO IN (复合输入) 连接器 (BNC 型)：连接到视频装置上的视频信号输出。

VIDEO OUT (复合输出) 连接器 (BNC 型)：连接到视频装置上的视频信号输入。

⑦ OPTION1 插槽 (VIDEO/COM 端口)

此插槽支持视频信号和通信功能。当您具有通信功能的可选择的适配器 (如 BKM-FW32 或 BKM-FW50) 安装到此插槽上时，就可以通过网络控制显示器。

⑧ OPTION2 插槽 (VIDEO 端口) (仅限于 FWD-40LX1)

此插槽支持视频信号。出厂设置是将黑板连接到此插槽。您可以将具有视频信号输入/输出功能的可选择的适配器安装到此插槽上。具有通信功能的可选择的适配器应该安装在 ⑦ OPTION1 插槽上。

可选择的适配器 (未附带)

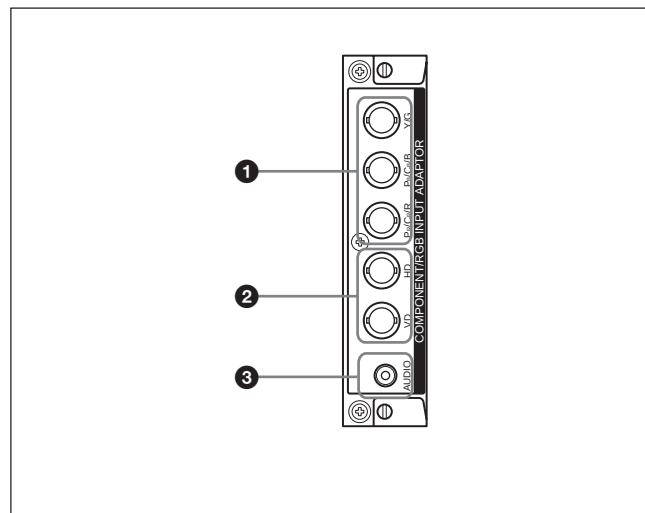
连接面板上标记 ⑦ 和 ⑧ 的连接器是插槽型连接器，可以与显示中的任何一种可选择的适配器配合。

只有 FWD-40LX1 机型装配 OPTION2 插槽。
关于安装的细节，请咨询 Sony 公司的经销商。

VIDEO/S VIDEO 输入/输出适配器 BKM-FW10 (未附带)

这与预装的连接器 ⑥ 相同。

COMPONENT/RGB 输入适配器 BKM-FW11 (未附带)

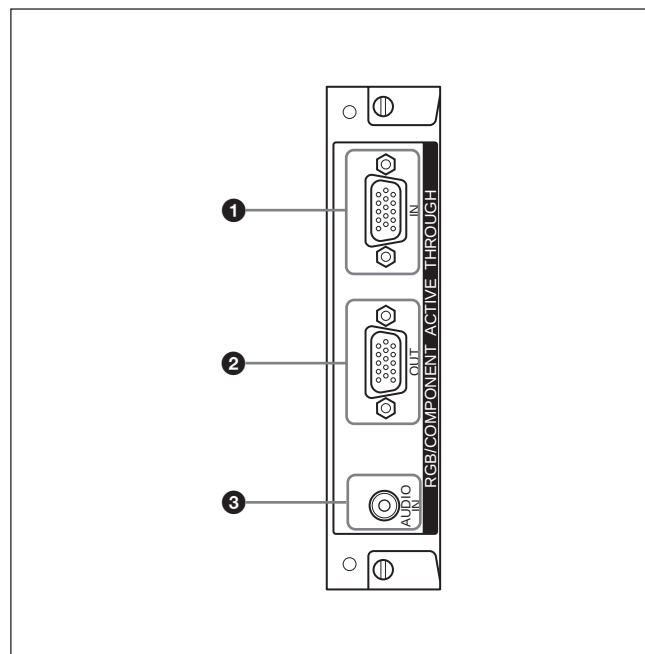


① **Y/G P_B/C_B/B P_R/C_R/R IN (BNC)**：连接到视频设备或电脑的模拟 RGB 信号或者电脑分量 (YUV) 信号输出端口。

② **HD VD IN**：连接到电脑的同步信号输出端口。

③ **AUDIO (立体声小型插孔)**：输入音频信号。连接到视频设备或电脑的音频输出。

RGB/分量主动直通适配器 BKM-FW12 (未附带)



① RGB/COMPONENT IN (D-sub 15 芯) :

连接到视频设备或电脑的分量信号输出或模拟 RGB 信号输出。

关于将分量信号输入到连接器的细节, 请参阅第 44 页 (CS) 的“管脚配置”

② RGB/COMPONENT OUT (D-sub 15 芯) :

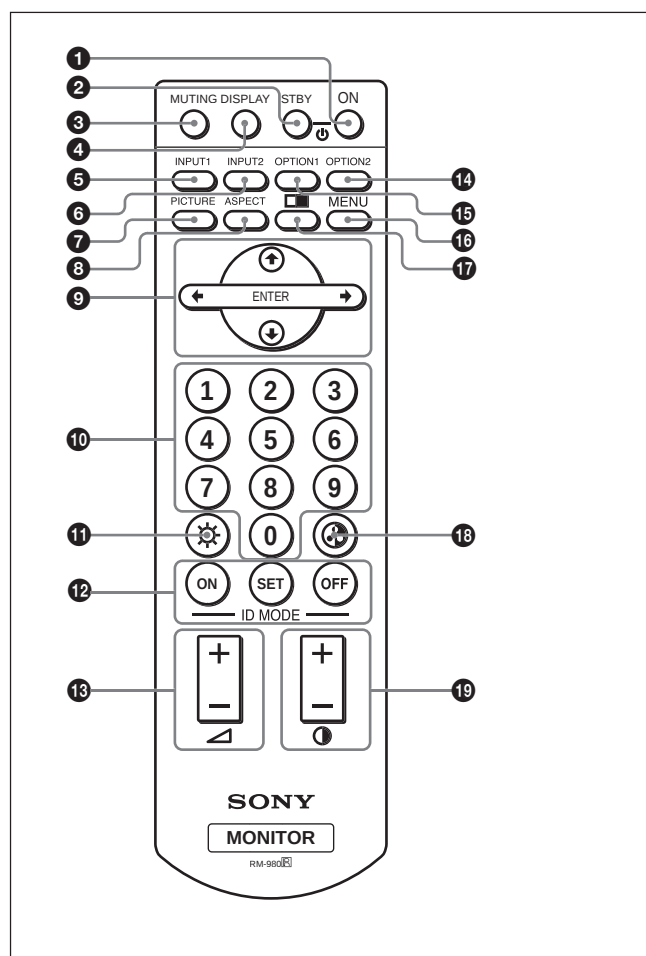
连接到视频设备或电脑的分量信号输入或模拟 RGB 信号输入。

③ AUDIO IN (立体声小型插孔) :

输入音频信号。连接到视频设备或电脑的音频信号输出。

注

- 当本机未接通 AC 电源或处于待机模式时, RGB/COMPONENT OUT 无信号输出。
- 有关用于系统扩展的可选择的适配器 BKM-FW 系列的详情, 请参阅各自的使用说明书。

遥控器 RM-980**① POWER ON (电源接通) 开关**

按此键接通显示器的电源。

② STANDBY (待机) 键

按此键使显示器进入待机模式。

③ MUTING (消音) 键

再按一下此键恢复声音。

④ DISPLAY (显示) 键

在显示器屏幕显示输入信号信息和图像模式。

再按一下清除。

如果此信息持续显示片刻而未进行任何操作, 信息将自动消失。

⑤ INPUT1 (输入 1) 键

按此键选择输入到 INPUT1 连接器的信号。

⑥ INPUT2 (输入 2) 键

按此键选择输入到 INPUT2 连接器的信号。

每按一次在 RGB 和 COMPONENT 之间转换。

⑦ PICTURE 键

选择图像模式。每次按键操作时在“Vivid”、“Standard”和“User 1-3”之间切换。

⑧ ASPECT (纵横比) 键

按此键改变画面的纵横比 (Aspect)。

⑨ ↑/↓/←/→/ENTER (↑/↓/←/→/执行) 键

↑/↓/←/→ 键用于移动菜单光标 (黄色) 和设置设定值等。按 ENTER 键执行所选菜单或设定内容。显示两幅图像时, 可以用 ←/→ 切换动态图像。

⑩ 数字键

按键输入索引号码。

⑪ BRIGHTNESS (亮度) 键

图像模式为“User 1-3”时, 调整亮度。

按此键, 然后用 ↑/↓ 或 ←/→ 键 ⑨ 调节亮度。

⑫ ID MODE (ID 模式) (ON/SET/OFF) (开/设定/关) 键

按 ON 键使索引号码出现在屏幕上。然后使用数字键 ⑩ 输入所要操作的本显示器的索引号码并按 SET 键。结束操作后, 按 OFF 键恢复到普通模式。

有关索引号码的详细说明, 请参见第 42 页 (CS) 上的“用遥控器操作指定的显示器”。

13 VOLUME (音量) +/- 键

按此键调节音量。

14 OPTION2 (选择 2) 键

在本机上安装选购的转接器 (BKM-FW10 除外) 时, 请选择输入到此转接器的信号。每次按此键, 切换输入到 OPTION2 的信号。

注

对于未配备 OPTION2 插槽的 FWD-32LX1R, 不能操作此键。

15 OPTION1 (选择 1) 键

当装有选项板时, 选择从连接选项板的装置输入的 信号。每次按此键, 切换输入到 OPTION1 的信号。

16 MENU (菜单) 键

按此键使菜单出现, 再按一下此键使菜单隐藏。

17 键

PICTURE AND PICTURE 模式。每一次按键操作在 P&P、PinP、和 PAP off 之间切换。

18 CHROMA (色度) 键

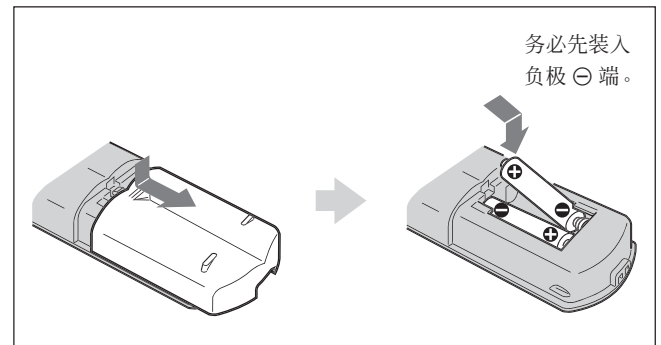
当图像模式设定为 “User 1-3” 时, 用此键调节色度。按此键并用  或  键  调节色度。

19 CONTRAST (对比度) +/- 键

Picture Mode 为 “User 1-3” 时, 用于调整对比度。

安装电池

按正确的极性装入两节 AAA 尺寸 (R03) 电池。



- 在通常操作下, 电池最长可使用半年。如果遥控器操作异常, 电池可能即将耗尽。请更换新电池。
- 为避免因电池漏液而造成损坏, 如果长时间不使用遥控器, 请取出电池。

遥控器不起作用时

检查 POWER/STANDBY (电源/待机) 指示灯点亮以及 Remote 菜单中的 Control Mode 没有设置在 “Display Unit Only” 位置。只有在具备以下两个条件下遥控器才能操作显示器。

- 显示器电源接通, 或其处于待机状态。
- 遥控菜单中的控制模式设置为 “Display + Remote” 或 “Remote Only”。

有关 Control Mode 的详细说明, 请参见第 19 页 (CS) 上的 “Control Mode (控制模式)”。

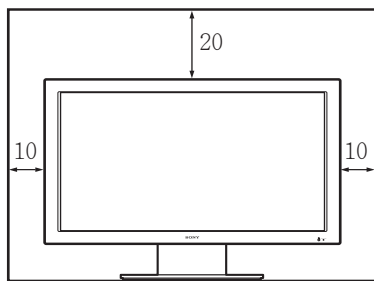
小心

在显示器周围留出足够的空间

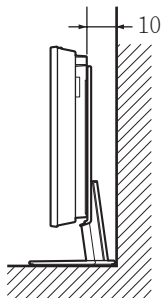
- 使用显示器时，请确保在本机周围有比下列图示尺寸大的空间。这将保证正常通风。
- 环境温度必须在 0°C 至 +35°C 范围中。
- 当水平安装显示器时，请使用 SU-42FW/32FW 显示器支架（未附带）。
- 有关支架、螺丝和螺栓等硬件的安装，我们无法指定应使用的规格，因为其安装是由当地经授权的经销商进行的。有关安装的事宜，请与有资格的 Sony 经销商联系。
- 本机电源打开时，有些零件可能会发热，会导致烫伤。显示器电源打开时，或刚进入待机状态后，请勿触摸本机的顶部或背面。

使用支架（未附带）时

前视图



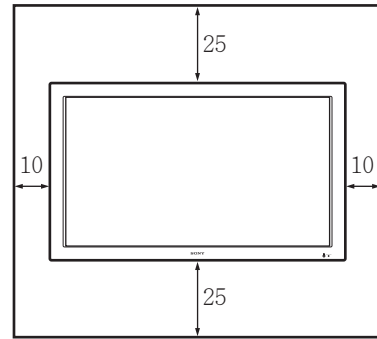
侧视图



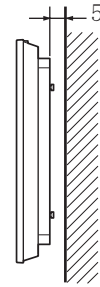
单位：cm

水平安装显示器时

前视图



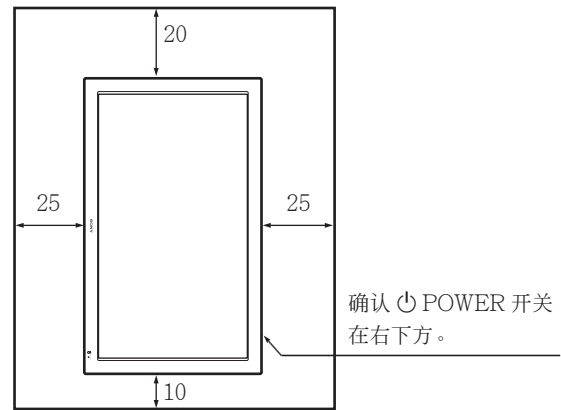
侧视图



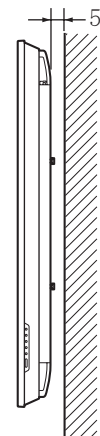
单位：cm

垂直安装显示器时

前视图



侧视图



单位：cm

注

当垂直安装显示器时，您不能使用扬声器 SS-SP40FW/32FW（未附带）。

连接

开始之前

- 首先请确认各装置的电源已关闭。
- 请使用适合所连接装置的连接电缆。
- 电缆连接器应完全插入插孔。松动的连接可能引起啸叫和其他噪音。
- 要拔下电缆时，请拿住插头拔，切勿拉扯电缆。
- 请参阅所连接装置的使用说明书。
- 请将插头牢固地插入 AC IN 插座。
- 请使用其中一个交流插头固定器（附带）以便稳固地固定交流插头。

要拔下交流电源线时

捏住交流插头固定器并将其释放，然后抓住插头并拔下交流电源线。

连接扬声器

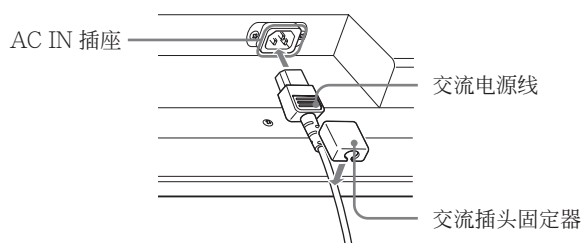
连接扬声器 SS-SP40FW/32FW（未附带），可欣赏到更有临场感的图像。

务请正确连接扬声器。有关连接扬声器的详细说明，请参见扬声器附带的使用说明书。

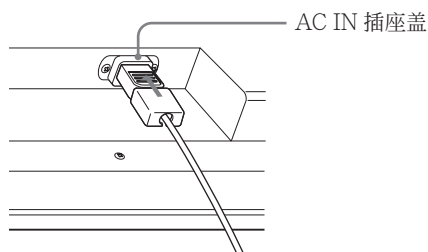
有关连接扬声器电缆的详细说明，请参见第 15 页 (CS) 上的“使用电缆夹”。

连接交流电源线

- 1 将交流电源线插入 AC IN 插座。然后，将交流插头固定器（附带）装在交流电源线上。

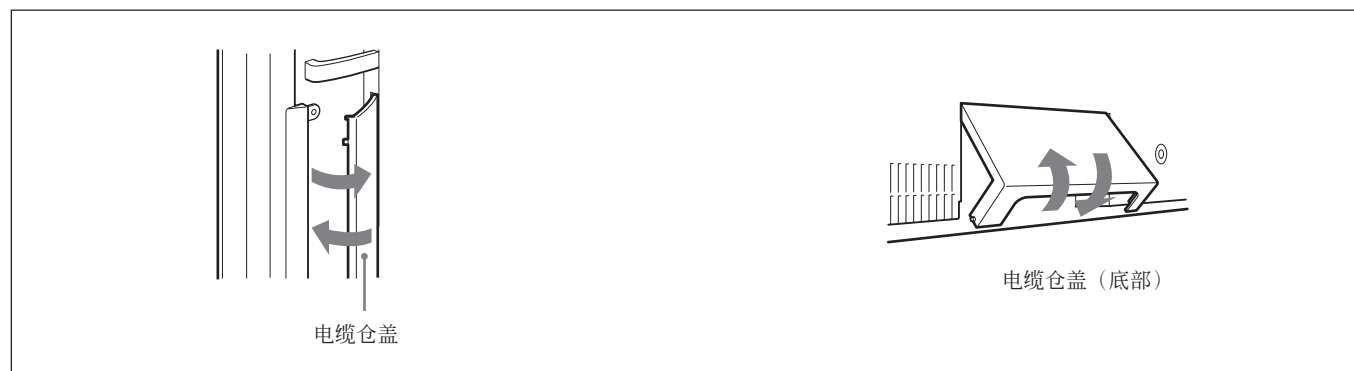


- 2 将交流插头固定器沿着电源线滑动直至连接到 AC IN 插座盖上。



布置电缆

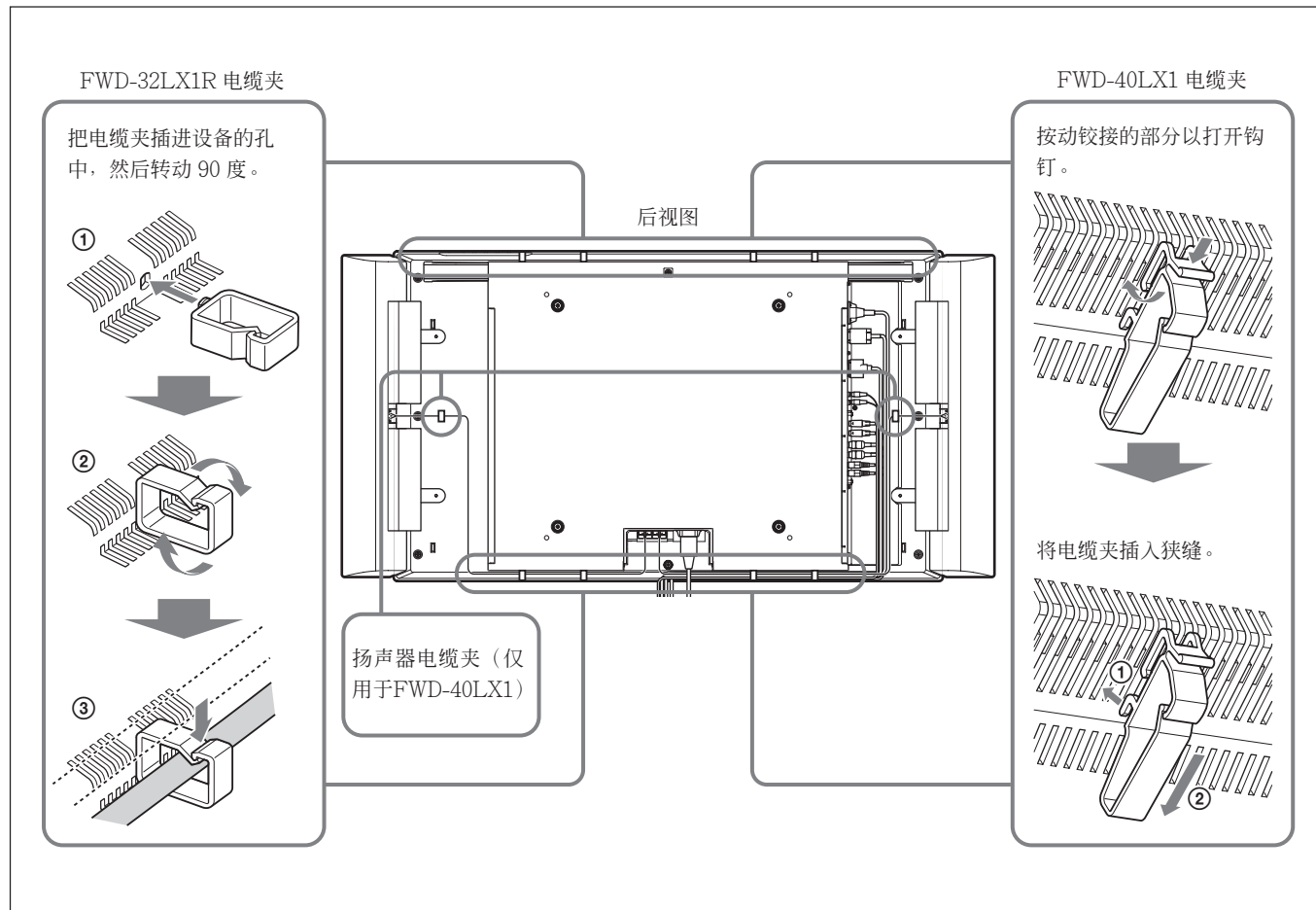
显示器的电缆仓盖在其背面。在将电缆连接到显示器之前，先将电缆仓盖拉开。将电缆连接到显示器上，然后关闭电缆仓盖。



使用电缆夹

可以用附带的电缆夹（FWD-40LX1 型号 6 个，FWD-32LX1R 型号 4 个）捆扎电缆。在 FWD-40LX1 的通风口上选择 3 个连续的空位安装电缆

夹。在 FWD-32LX1R 的 8 个孔中选择 6 个孔安装电缆夹。请按照下图所示方法安装电缆夹。连接扬声器 SS-SP40FW（未附带）时，将扬声器电缆穿过显示装置背面的电缆夹。（仅限于 FWD-40LX1）

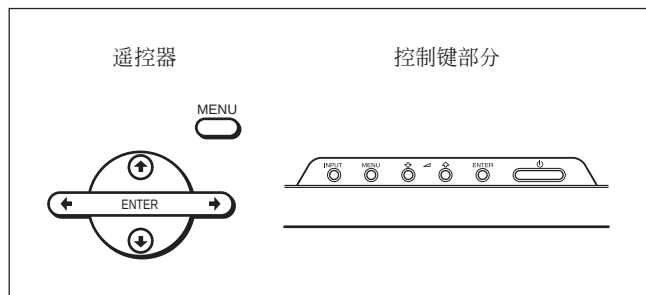


使用屏幕菜单

通过菜单操作

菜单操作键

使用显示器或遥控器上的键用于菜单操作。



本使用说明书用遥控器进行操作说明。遥控器上的 **↑/↓** 键及 ENTER 键与主机上的 **↑/↓** 键及 ENTER 键具有相同的功能。

注

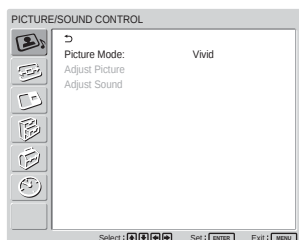
主机上没有 **←/→** 键，因此，部分操作有不同之处。

菜单结构

要选择用于菜单的语言时，请参见第 36 页 (CS) 上的“选择屏幕语言”。

1 按 MENU 键。

主菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 **↑/↓** 键将光标（黄色）移至要选择的主菜单并按 ENTER 键。

光标移至下一个菜单。

3 按 **↑/↓** 键移动光标（黄色）至要选择的项目并按 ENTER 键。

所选项目的菜单出现。

重复此步骤选择其他项目。

4 按 **↑/↓** 键调整或选择设定并按 ENTER 键设定。

设定被登记而且菜单返回到前面的菜单。

要完成登记并返回到普通屏幕时，请按 MENU 键。

要回到前面的菜单级时，请按 **↑/↓** 键将光标移至 **↶** 并按 ENTER 键或 **←** 键。

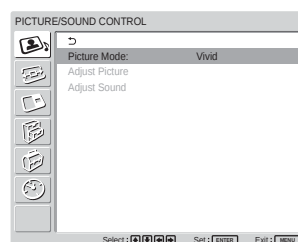
菜单指南

注

无法设定或调整的项目（取决于输入信号的设定或类型）呈灰色显示。

PICTURE/SOUND CONTROL (图像/声音控制) 菜单

调节声音和图像的质量。



Picture Mode (图像模式)

设定符合图像式样或环境亮度的图像质量。

有关详细说明，请参见第 24 页 (CS) 上的“选择图像质量”。

Adjust Picture (图像调整)

可对图像进行微调。

首先将 Picture Mode (图像模式) 设定为 User 1-3。

注

Picture Mode (图像模式) 为 “Vivid” (逼真) 或 “Standard” (标准) 时无法调整以下项目。

关于详细信息，请参阅第 24 页 (CS) 上的“调整图像”。

Adjust Sound (调整声音)

可对音质进行微调。

首先将 Picture Mode (图像模式) 设定为 User 1-3。

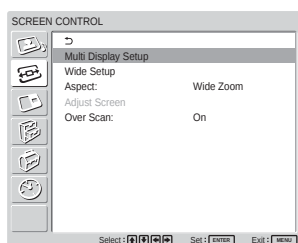
注

Picture Mode (图像模式) 为 “Vivid” (逼真) 或 “Standard” (标准) 时无法调整以下项目。

关于详细信息, 请参阅第 35 页 (CS) 上的 “调整音质”。

SCREEN CONTROL (画面控制) 菜单

此菜单用于重新确定图像的尺寸和位置。



多显示器设置

您可以设置连接多个显示装置, 按照 2×2 、 3×3 或 4×4 的排列形成一个电视墙。

关于详细信息, 请参见在第 34 页 (CS) 上的 “设置 Multi Display”。

Wide Setup (宽屏幕设定)

设定 Auto Wide 功能。利用 Auto Wide 功能可令您从普通电视广播或宽屏幕图像 (均有不同比例的水平和垂直显示) 中进行选择, 并以 16:9 纵横比自动地将图像放大到宽屏幕图像, 以最恰当地显示不同类型的图像。

有关详细说明, 请参见第 28 页 (CS) 上的 “设定 Auto Wide”。

Aspect (宽屏幕模式)

切换宽屏幕显示以符合图像的尺寸和类型。

有关详细说明, 请参见第 29 页 (CS) 上的 “设定 Aspect”。

Adjust Screen (调整屏幕)

此菜单用于重新调整图像的尺寸或位置。也可以利用此菜单调整图像的像素。

关于详细信息, 请参见在第 30 页 (CS) 上的 “调整图像的尺寸和位置”。

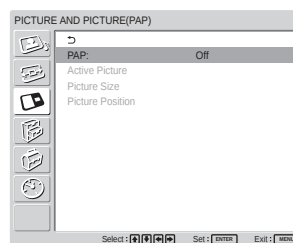
Over Scan

当 RGB mode 设为 DTV 时, 可以启用或禁用 “Over Scan”。

当设为 “On” 时, 显示装置显示正在执行 Over Scan 的图像。

PICTURE AND PICTURE (PAP) 菜单

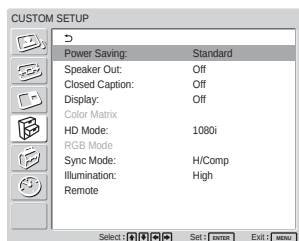
您可以并排地显示二个不同信号源 (如电脑和视频) 的图像。



关于详细信息, 请参见在第 32 页 (CS) 上的 “同时观看两幅图像”。

CUSTOM SETUP (用户设定) 菜单

可以减少电源消耗或设置各种模式。



Power Saving (节电)

Standard：不节能

Reduce：节能

选择“Reduce”（降低）时，图像亮度会降低，在节能时可以观看图像。

注

- 再次打开本机电源时，“Power Saving：Reduce”将恢复。
- 即使 Power Saving 设定为“Reduce”，仍可调整图像质量。但若提高 Contrast（对比度）或 Brightness（亮度），则可能会使节电功能失效。

Speaker Out (扬声器输出)

将此项目设为 On 时，扬声器 SS-SP40FW/32FW（未附带）便发出声音。

当此项目设为 Off 时，不能调节音量。若您尝试对其进行调节，会出现 .

Closed Caption (封闭字幕)

显示封闭字幕。用 Component 与 Component 组合显示两张图像时，只有 BKM-FW11 或 BKM-FW12 的输入信号才能显示封闭字幕。

Off：不显示字幕。

CC1-4：在图像上显示字幕。

Display (显示器)

打开电源或切换输入信号时，选择 On 在屏幕上显示输入信号信息和 Picture Mode 约 5 秒钟。

Color Matrix (色彩矩阵)

设定 Color Matrix，以使输入分量信号时以自然的色调显示图像。

有关详细说明，请参见第 36 页 (CS) 上的“调整 Color Matrix”。

HD Mode

根据输入到显示装置的 HD 模拟分量信号选择一个模式。

1080i：输入 1080i 信号时

1035i：输入 1035i 信号时

RGB Mode

设置当输出 RGB 信号的设备被连接到显示装置时的模式。

DTV：连接至 RGB 信号数字调谐器等时

PC：连接至电脑时

Sync Mode (同步)

根据在 INPUT2 RGB/COMPONENT 端子的芯 13 所输入的信号设定模式。信号只能设定为 575/50I 或 480/60I。

H/Comp：当输入水平信号时

Video：当输入视频信号时

输入信号和同步模式设定

芯	D-Sub 的信号输入	同步模式设定
13	480/60I, 575/50I 复合视频	视频信号
13/14	H 同步/V 同步	同步信号
2	Sync On Green	

有关 RGB/COMPONENT 接口的管脚配置详情，请参见第 44 页 (CS) 上的“管脚配置”。

注

- 有些输入只能选择同步信号。这时，即使通过 13 芯连接器输入视频信号，图像也无法显示。通过 13 或 14 芯连接器输入水平/垂直同步信号，或通过 RGB 连接器输入 Sync On Green 信号。
- 采用 Sync On Green 时，如果本机未设定为接收同步信号，图像将不显示。
- 仅 INPUT2 支持同步模式的信号。
- 通过选购板的输入不能进行同步模式设定。
- 本机未提供三值同步复合同步和 576/60P。

照明

调节在显示装置正面的“SONY”徽标的亮度。

Remote (遥控)

此菜单用于遥控设定。

Index Number (索引号码)

设定显示器的索引号码。

注

设定号码时，使用显示器上的键。无法使用遥控器设定 Index Number (索引号码)。

有关索引号码的详细说明，请参见第 42 页 (CS) 上的“用遥控器操作指定的显示器”。

Control Mode (控制模式)

选择遥控器功能。

Display + Remote：激活随显示器附带的遥控器的功能。

Display Unit Only：禁用遥控功能。您只能使用显示装置上的控制键进行显示设置。

Remote Only：当您只用遥控器控制时，禁用显示装置上的控制键。只能使用遥控器进行显示设置。

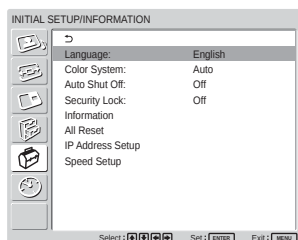
注

操作此项时，可选模式因所用的键而有所不同。在使用遥控器上的 ENTER 键进行设置时，只能选择“Display+Remote”或“Remote Only”。

在使用显示装置上的 ENTER 键进行设置时，只能选择“Display+Remote”或“Display Unit Only”。

INITIAL SETUP/INFORMATION (初始设定/信息) 菜单

可以选择屏幕语言或输入信号，或者设置 Security Lock 选项。



注

仅当具有通信功能的可选择的适配器 (如 BKM-FW32 或 BKM-FW50) 安装到 OPTION1 插槽上时，菜单上才会出现“IP Address Setup”和“Speed Setup”选项。

Language (语言)

选择屏幕语言 (日语，英语，德语，法语，西班牙语或意大利语)。

有关详细说明，请参见第 36 页 (CS) 上的“选择屏幕语言”。

Color System (彩色制式)

选择视频信号的彩色制式。

Auto (自动)：自动设置彩色制式

NTSC：显示 NTSC 信号

NTSC4.43：显示 NTSC4.43 信号

PAL：显示 PAL 信号

SECAM：显示 SECAM 信号

PAL-M：显示 PAL-M 信号

PAL-N：显示 PAL-N 信号

PAL60：显示 PAL60 信号

Auto Shut Off (自动关闭)

本项设为“On”时，如果超过约 5 分钟没有信号输入 COMPONENT 或 DVI 输入连接器，显示装置自动进入待机模式。在待机模式中，按显示装置上的  POWER 开关或遥控器上的 POWER ON 键打开显示装置。如果超过约 30 秒没有信号输入 DVI 或 RGB 输入连接器，显示装置自动进入节电模式。在省电模式中，当有信号输入时，显示装置将会自动开启。

Security Lock (安全锁定)

在显示装置上设定安全锁定。

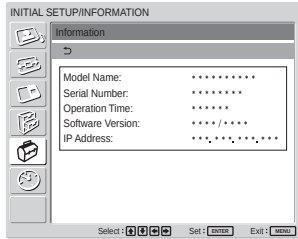
Off：禁用安全锁定。

On：将该项设定为 On，需要一个密码设置安全锁定。

关于详细信息。请参见第 38 页 (CS) 上的“设置安全锁定”。

Information (资料信息)

此菜单用于显示显示器的内部状态。



注

仅当具有通信功能的可选择的适配器（如 BKM-FW32 或 BKM-FW50）安装到 OPTION1 插槽上时，菜单上才会出现“IP Address”选项。

Model Name (机型名称)

指出机型名称。

Serial Number (序号)

指出序号。

Operation Time (工作时间)

指出工作的总小时数。

注

待机模式不计为 Operation Time 的一部分。

Software Version (软件版本)

指出系统软件版本。

All Reset

将全部的调节值和设置值复位到出厂预设值。

注

索引号码不会复位。

IP Address Setup

设置显示器和具有通信功能的可选择的适配器（如 BKM-FW32 或 BKM-FW50）之间通讯所需的 IP 地址。

DHCP: 自动配置 IP 地址。

Manual: 手动设定 IP 地址。

详情请参阅第 39 页 (CS) 上的“设置 IP 地址和通讯速度”。

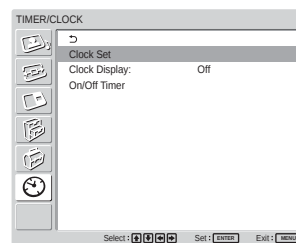
Speed Setup

设置显示器和具有通信功能的可选择的适配器（如 BKM-FW32 或 BKM-FW50）之间的通讯速度。

详情请参阅第 39 页 (CS) 上的“设置 IP 地址和通讯速度”。

TIMER/CLOCK (定时器 / 时钟) 菜单

可设定定时器、调节时间、显示内置时钟或使本机在预定时间自动打开或关闭电源。



注

出厂设定中未对时间和日期进行预设。

Clock Set (时钟设定)

设定时间。

有关详细说明，请参见第 37 页 (CS) 上的“调整时间和日期”。

Clock Display (时钟显示)

设为“On”时，屏幕上显示当前设定时间。

有关详细说明，请参见第 37 页 (CS) 上的“显示时间”。

On/Off Timer (开 / 关定时器)

设定电源自动打开或关闭的时间。

有关详细说明，请参见第 38 页 (CS) 上的“开 / 关定时器功能”。

观看图像

开始之前

- 接通显示器的电源。
- 接通所连接装置的电源并播放视频源。
- 若要在接通电源或切换输入信号时在屏幕上显示输入信号信息和图象模式，将 Custom Setup (用户设定) 菜单中的 “Display” 项目设定为 On。
- 要选择用于菜单的语言时，请参见第 36 页 (CS) 上的 “选择屏幕语言”。

切换输入信号

Input1 DVI (输入 1 DVI)：选择输入到 INPUT1 连接器的数字信号 (RGB)。

Input2 RGB (输入 2 RGB)：选择输入到 INPUT2 连接器的模拟信号 (RGB)。

Input2 Component (输入 2 分量)：选择输入到 INPUT2 连接器的分量信号。

Option1/2 Video：从连接到连接器选用插槽 1 或 2 的设备选择输入信号 (视频信号)。

Option1/2 S Video：从连接到连接器选用插槽 1 或 2 的设备选择输入信号 (S 视频信号)。

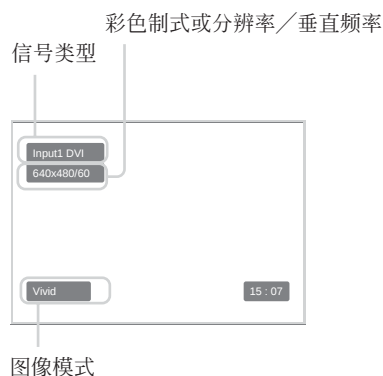
Option1/2 RGB：从连接到连接器选用插槽 1 或 2 的设备选择输入信号 (模拟 RGB 信号)。

Option1/2 Component：从连接到连接器选用插槽 1 或 2 的设备选择输入信号 (分量信号)。

按遥控器上的 INPUT1、INPUT2、OPTION1 或 OPTION2 键，转换输入信号。若多种信号形式能够输入到被选择的输入连接器，则当每一次按下键时，指示呈相应的变化。

例如，每当您按下 INPUT2 键时，指示交替地切换为 “Input2 RGB” 或 “Input2 Component”

所选的输入信号出现在显示器屏幕上。



您可以用显示器上的 OPTION 键切换输入信号。

注

我们建议输入源视频装置装备 TBC (时基校正器)。如果显示器接收不带 TBC 的信号，则图像可能会因同步信号的干扰而消失。

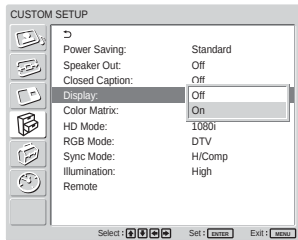
输入信号、图像模式和显示器状态信息

接通电源时，输入信号和“Picture Mode”的信息在显示屏上显示约 20 秒钟；切换输入信号时，显示约 5 秒钟。

要取消此功能时，按以下步骤操作。

- 1 在 CUSTOM SETUP（用户设定）菜单上，按 **↑/↓** 键将光标（黄色）移到“Display”处并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 2 按 **↑/↓** 键将“Display”设定为“Off”，然后按 ENTER 键。

要显示信息时

在上述步骤 2 中将“Display”设定为“On”，然后按 ENTER 键。出厂设定为“On”。

注

无论上述设定如何，只要按遥控器上的 DISPLAY 键，随时可以显示输入信号信息和时间。

预设输入信号			
	信号名称	彩色制式或水平／垂直频率	
电脑信号			
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31.5 kHz	70 Hz
2	640×480@60 Hz (VESA ^{b)} STD)	31.5 kHz	60 Hz
3	Mac ^{c)} 13"	35.0 kHz	67 Hz
4	VGA (VGA TEXT)	31.5 kHz	70 Hz
5	800×600@60 Hz (VESA STD)	37.9 kHz	60 Hz
6	Mac 16"	49.7 kHz	75 Hz
7	1024×768@60 Hz (VESA STD)	48.4 kHz	60 Hz
8	1024×768@75 Hz (VESA STD)	60.0 kHz	75 Hz
9	1024×768@85 Hz (VESA STD)	68.7 kHz	85 Hz
10	1152×864@75 Hz (VESA STD)	67.5 kHz	75 Hz
11	Mac 21"	68.7 kHz	75 Hz
12	1280×960@60 Hz (VESA STD)	60.0 kHz	60 Hz
13	1280×1024@60 Hz (VESA STD)	64.0 kHz	60 Hz
14	1600×1200@60 Hz (VESA STD)	75.0 kHz	60 Hz
15	848×480@60 Hz (VESA STD)	29.8 kHz	60 Hz
16	848×480@60 Hz (VESA STD)	29.5 kHz	60 Hz
17	848×480@75 Hz	37.7 kHz	75 Hz
18	1280×768@60 Hz	47.8 kHz	60 Hz
19	1280×768@60 Hz	47.4 kHz	60 Hz
SDTV/HDTV			
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	
16	720/50p	720/50P	

a) VGA 是美国国际商用机器公司的注册商标。

b) VESA 是视频电子标准协会的注册商标。

c) Mac (Macintosh) 是苹果电脑公司的注册商标。

注

- 输入 HDTV 信号时，将三级同步信号输入到 INPUT2 连接器上 RGB/COMPONENT (D-sub 15 芯) 的第二个管脚或者输入到 BKM-FW12。
- 如果 DVD 信号输入到显示装置后色彩太淡，调整 Adjust Picture 菜单中的“Chroma”设置。
- 当调整相位时，分辨率将下降。

显示器状态的实际屏幕显示

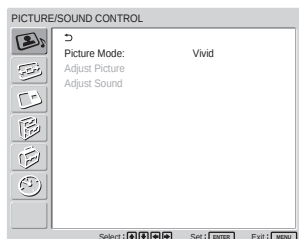
屏幕显示	含义
640×480 / 60 (例)	所选的输入信号为电脑 RGB。
480 / 60I (例)	所选的输入信号为分量视频。
NTSC (例)	所选的输入信号为 NTSC。
Not Supported Signal	所选的输入信号为不支持的信号。
No Sync	无输入信号。
INPUT1 DVI	INPUT1 的信号模式设定为数字 RGB。
INPUT2 RGB	INPUT2 的信号模式设定为模拟 RGB。
INPUT2 Component	INPUT2 的信号模式设定为分量视频。
Option1/2 Video	选用插槽 1 或 2 的信号模式设定为复合视频。
Option1/2 S Video	选用插槽 1 或 2 的信号模式设定为 S 视频。
Option1/2 RGB	选用插槽 1 或 2 的信号模式设定为模拟 RGB。
Option1/2 Component	选用插槽 1 或 2 的信号模式设定为分量视频。

选择图像质量

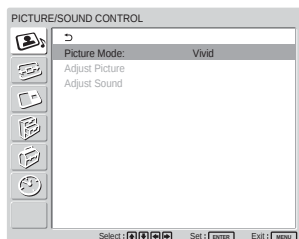
可设定适合图像类型或本机环境亮度的图像质量。

1 按 MENU 键。

主菜单出现在显示器屏幕上。

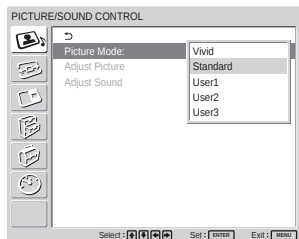


2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“PICTURE/SOUND CONTROL”处并按 ENTER 键。 PICTURE/SOUND CONTROL（图像／声音控制）菜单出现在显示器屏幕上。



3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Picture Mode”处并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



4 用 ↑/↓ 键选择 Picture Mode（图像模式）。

Vivid：将图像轮廓和对比度设为其最大值，图像具有很强的锐度。

Standard：具有适当的对比度和轮廓，图像显得自然。

User1-3：可用 Adjust Picture（调整图像）菜单根据需要设定图像质量。

5 按 ENTER 键恢复至 PICTURE/SOUND CONTROL（图像／声音控制）菜单。

调整图像

可以在观看图像的同时调整对比度、亮度、色度、相位等以适合您的喜好。可以分别对各个输入信号进行调整。也可以将调整值存储在存储器中。请将 Picture Mode（图像模式）设为“User 1-3”中的一种。

调整 Contrast、Brightness、Chroma 和 Phase 等

按 MENU 键，显示出主菜单，然后在调整图像菜单上调节 Backlight（背光）、Contrast（对比度）、Chroma（色度）、Phase（相位）、Brightness（亮度）、Sharpness（锐度）、Noise Reduct.（减噪）、Cinema Drive（色度驱动）、Dynamic picture（动态图像）、Color Temp.（色温）、Color Correct.（色度校正）或者 Gamma Correct.（伽马校正）。

Backlight（背光）

用 ↑/↓ 键选择“Backlight”，然后按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 MIN（0）至 MAX（100）范围内调节背光的亮度，然后按 ENTER 键。

↑/→：增加背光的亮度

↓/←：减少背光的亮度

显示两幅图像时，两幅图像都调节。

Contrast（对比度）

用 ↑/↓ 键选择“Contrast”并按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 MIN（0）至 MAX（100）的范围内调整对比度，然后按 ENTER 键。

↑/→：增大图像对比度

↓/←：减小图像对比度

显示两幅图像时，仅调节活动图像。并且，调节范围有限。

Brightness (亮度)

用 **↑/↓** 键选择 “Brightness” 并按 ENTER 键。
用 **↑/↓/←/→** 键在 MIN (0) 至 MAX (100) 的范围中调整亮度，然后按 ENTER 键。

↑/→：使图像变亮

↓/←：使图像变暗

显示两幅图像时，仅调节活动图像。并且，调节范围有限。

Chroma (色度)

用 **↑/↓** 键选择 “Chroma” 并按 ENTER 键。
用 **↑/↓/←/→** 键在 MIN (0) 至 MAX (100) 的范围中调整色度，然后按 ENTER 键。

↑/→：增大图像色度

↓/←：减小图像色度

显示两幅图像时，仅调节活动图像。

Phase (相位)

用 **↑/↓** 键选择 “Phase” 并按 ENTER 键。
用 **↑/↓/←/→** 键在 Left (50) 至 Right (50) 的范围中调整相位，然后按 ENTER 键。

↑/→：使整个图像发绿

↓/←：使整个图像发红

显示两幅图像时，仅调节活动图像。

Sharpness (锐度)

用 **↑/↓** 键选择 “Sharpness” 并按 ENTER 键。
用 **↑/↓/←/→** 键在 MIN (0) 至 MAX (10) 的范围中调整锐度，然后按 ENTER 键。

↑/→：增强图像锐度

↓/←：减弱图像锐度

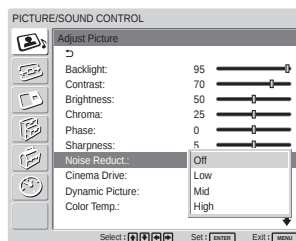
显示两幅图像时，两幅图像都调节。

Noise Reduct. (减噪)

减少图像颗粒和色彩噪音。

1 用 **↑/↓** 键选择 “Noise Reduct.” 并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



2 用 **↑/↓** 键选择 Noise Reduct.。

Off：直接显示图像信号。

Low：将 Noise Reduct. 处理设为弱。

Mid：将 Noise Reduct. 处理设为中。

High：将 Noise Reduct. 处理设为强。

3 按 ENTER 键恢复至 Adjust Picture (调整图像) 菜单。

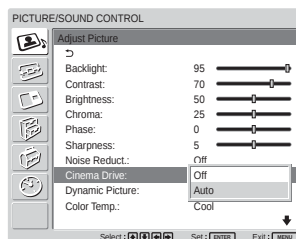
显示两幅图像时，两幅图像都调节。

Cinema Drive (色度驱动)

自动检测在 24 帧画面的电影胶片上拍摄的图像，并且以电影的最佳效果播放图像。

1 用 **↑/↓** 键选择 “Cinema Drive” 然后按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



2 用 **↑/↓** 键选择 Cinema Drive 选择模式。

Off：根据其信号播放画面。

Auto：播放拍摄在电影胶片上的画面，达到象原来的电影一样的最佳效果。

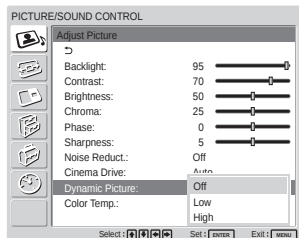
显示两幅图像时，仅调节活动图像。

Dynamic Picture (动态图像)

使白色更白，黑色更黑以提高对比度。

- 1 用 **↑/↓** 键选择 “Dynamic Picture” 并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 2 用 **↑/↓** 键选择 Dynamic Picture (动态图像) 模式。
Off：不使用 Dynamic Picture (动态图像) 功能。
Low：将 Dynamic Picture (动态图像) 功能设为低。
High：将 Dynamic Picture (动态图像) 功能设为高。

- 3 按 ENTER 键恢复至 Adjust Picture (调整图像) 菜单。
 显示两幅图像时，两幅图像都调节。

Color Temp. (色温)

您也可以设定色温。可以选择 “Cool”、“Neutral” 或 “Warm”、或者单独设定各增益值。

- 1 用 **↑/↓** 键选择 “Color Temp.” 并按 ENTER 键。
- 2 用 **↑/↓** 键选择色温并按 ENTER 键。
Cool (冷)：将色温设定为高
Neutral (中性)：将色温设为中性
Warm (暖)：将色温设定为低
Color1-3：单独设定各增益值

选择 “Warm”、“Neutral” 或 “Cool” 时，菜单恢复至 Adjust Picture (调整图像) 菜单。

选择 “Color1” 至 “Color3” 时

- (1) 按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移到所要调整的增益项目并按 ENTER 键。
- (2) 用 **↑/↓/←/→** 键调整增益 (0 至 100) 并按 ENTER 键。

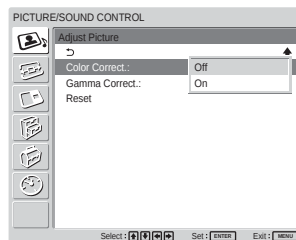
菜单恢复到 Color Temp. (色温) 菜单。
 显示两幅图像时，两幅图像都调节。

Color Correct. (色度校正)

如实地再现健康的肤色。

- 1 用 **↑/↓** 键选择 “Color Correct.” 然后按 ENTER 键。

下列菜单出现在显示器屏幕上。

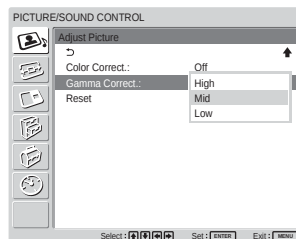


- 2 用 **↑/↓** 键选择 Color Correct. 模式。
Off：禁止色度校正功能。
On：激活色度校正功能。
 显示两幅图像时，仅调节活动图像。

Gamma Correct. (伽马校正)

自动调整图像明亮部分和阴暗部分之间的均衡。

- 1 用 **↑/↓** 键选择 “Gamma Correct.” 并按 ENTER 键。
 以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 2 用 **↑/↓** 键选择 Gamma Correct. 模式。
High (高)：将伽马校正设为高
Mid (中)：将伽马校正设为中
Low (低)：将伽马校正设为低

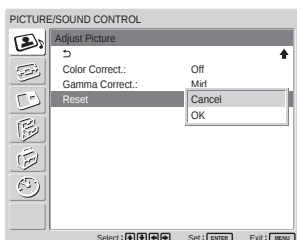
- 按 ENTER 键恢复至 Adjust Picture（调整图像）菜单。

显示两幅图像时，两幅图像都调节。

将 Adjust Picture 菜单项目恢复到初始设定

- 在 Adjust Picture（调整图像）菜单上，按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Reset”处并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“OK”处并按 ENTER 键。

Adjust Picture（调整图像）菜单项目恢复其出厂设定。

注

“Color Temp.”的“Color1-3”设定值不会被清除。

显示两幅图像时，也将无法清除“Backlight”、“Contrast”和“Brightness”的设定值。

要取消复位功能时

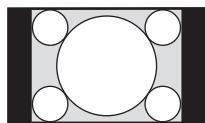
在按 ENTER 键之前按 MENU 键。或者，用 ↑/↓ 键选择“Cancel”，然后按 ENTER 键。

图像放大

可按照自己的喜好放大图像。

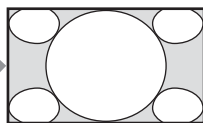
对于 Aspect，可进行以下选择。

原图像
(图像种类)

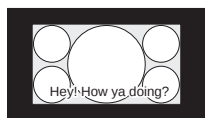


纵横比为 4:3 的普通画面
(屏幕纵横比: 4:3)。

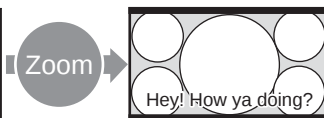
放大的图像



图像被自然地放大到整个屏幕大小



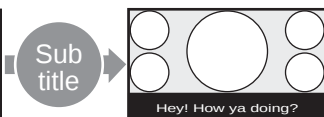
- 来自摄像机或含有纵横比信息 (ID-1 格式) 的 DVD 软件的图像



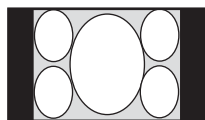
对准屏幕的左右两侧，图像被放大到整个屏幕大小。
(根据图像种类，可能会在屏幕的上部和下部留下黑条)



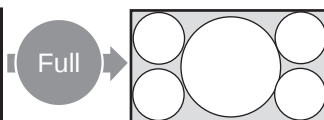
以电影图像等拍摄的电影长时间出现在屏幕水平方向并在图像 (纵横比: 2.35:1) 中含有字幕



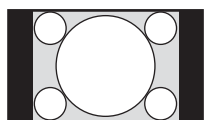
在将图像放大到整个屏幕大小并对准屏幕左右两侧的同时，图像和显示字幕的区域将显示在屏幕上。



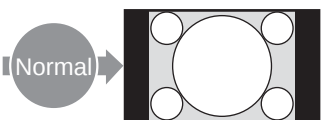
来自摄像机或含有纵横比信息 (ID-1 格式) 的 DVD 软件的图像



图像的左右边缘被放大到整个屏幕大小，而不改变上部和下部。



纵横比为 4:3 的普通画面
(屏幕纵横比: 4:3)。



图像以原来的 4:3 纵横比显示图像而不放大图像

设定 Auto Wide

Auto Wide 功能根据能够识别视频信号格式的识别控制信号真实地再现各种画面或将各种画面扩大到最佳尺寸。

可以将纵横比为 4:3 的画面扩大到 16:9。

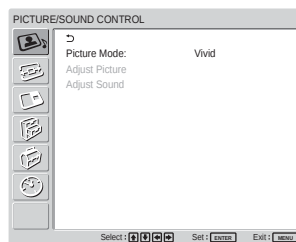
识别控制信号

此控制信号可在电视屏幕上如实地再现原图像的纵横比。含有此信号的图像由以下组成：

- 用包含纵横比信息 (ID-1 格式) 的摄像机拍摄的图像。
- 包含将纵横比设为 4:3 的信号的视频广播。

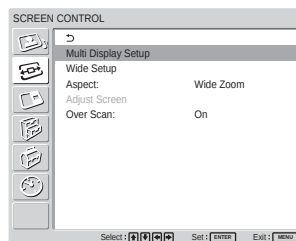
1 按 MENU 键。

主菜单出现在显示器屏幕上。



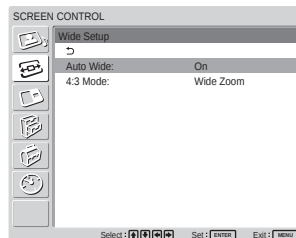
2 按 ↑/↓ 键将光标 (黄色) 移到 “SCREEN CONTROL” 处并按 ENTER 键。

SCREEN CONTROL (画面控制) 菜单出现在显示器屏幕上。



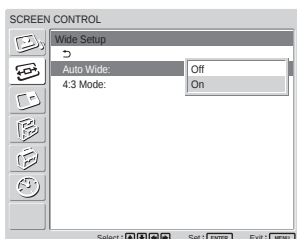
3 按 ↑/↓ 键将光标 (黄色) 移到 “Wide Setup” 处并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 4 按 **↑/↓** 键将光标（黄色）移到 “Auto Wide” 处并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 5 用 **↑/↓** 键选择 Auto Wide（自动宽屏幕）设定。

Off：图像按其原样再现。

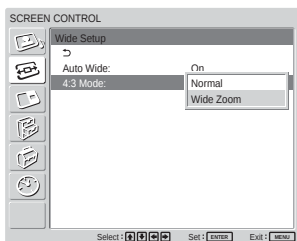
On：图像以最适当的纵横比被放大和显示。

- 6 按 ENTER 键。

显示器屏幕返回到步骤 3 中的屏幕显示。

- 7 用 **↑/↓** 键选择 “4:3 Mode” 并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 8 用 **↑/↓** 键选择 4:3 Mode。

Normal：4:3 纵横比的图像按原样显示。

Wide Zoom：放大到 16:9 纵横比后，显示 4:3 纵横比的图像。

- 9 按 ENTER 键。

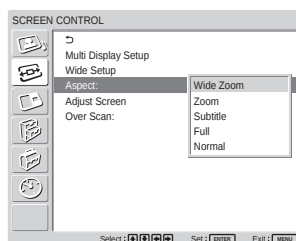
注

- 菜单恢复到 Wide Setup 菜单。
输入 DVI 或 RGB 信号时，由于 Auto Wide 功能不起作用，因而无法设置 Auto Wide。
- 用 Component 与 Component 组合显示两幅图像时，只有 BKM-FW11 或 BKM-FW12 的输入信号 Auto Wide 功能才起作用。

设定 Aspect

也可无视图像类型而以所需的宽屏幕模式放大图像。

- 1 在 SCREEN CONTROL（画面控制）菜单上，按 **↑/↓** 键将光标（黄色）移到 “Aspect” 处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 2 用 **↑/↓** 键选择 Aspect。

Wide Zoom：将全屏幕 4:3 图像放大到 16:9 图像。

Zoom：将图像放大至屏幕的所有左右边缘。

（根据图像的种类，可能会在屏幕的上部和下部留下黑条）

Subtitle：将图像放大至屏幕的所有左右边缘，并仅压缩显示字幕的区域。

Full：将图像的左右侧扩大至整个屏幕而不改变顶部和底部。

Normal：显示未放大的图像。

- 3 按 ENTER 键。

菜单恢复到 SCREEN CONTROL（画面控制）菜单。

注

- 使用 “PICTURE AND PICTURE” 功能或 “Multi Display” 时，不能设定 Aspect。
- 若设定 Aspect，则无法使用 Auto Wide 功能。若要使用 Auto Wide 功能，请将其重新设定为 “On”。
- 根据图像的类型和尺寸，图像的顶部或底部可能被切除或者字幕可能不完全显示在屏幕上。
- 请注意，若将放大或压缩的画面用于商业目的，或在咖啡店或旅馆用于公开放演，则可能会侵害受版权法保护的版权。

调整图像的尺寸和位置

可以移动图像的位置以适合屏幕，或分别调整图像的垂直和水平尺寸。

调整图像的尺寸、位置或像素

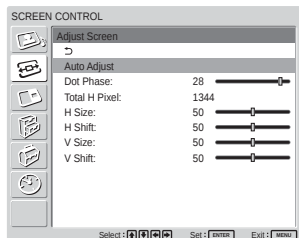
按 MENU 键显示主菜单，然后在 Adjust Screen 菜单上调整“Dot Phase（点相位）”、“Total H Pixel（总水平像素）”、“H Size（水平尺寸）”、“H Shift（水平偏移）”、“V Size（垂直尺寸）”、或“V Shift（垂直偏移）”。

Adjust Screen（调整屏幕）

如果字符边缘有许多杂波或垂直线条，或者图像的大小或位置不合适，则可以通过调整屏幕解决。

- 1 用 **↑/↓** 键选择“Adjust Screen”，然后按 ENTER 键。

下列菜单出现在显示器屏幕上。

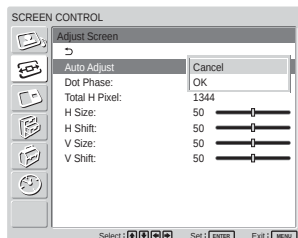


- 2 调整屏幕可采用自动或手动两种方式。

自动调整

- (1) 用 **↑/↓** 键选择“Auto Adjust”并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



- (2) 用 **↑/↓** 键选择“OK”并按 ENTER 键。
“Adjust screen”菜单的所有项目自动进行调整。

注

由于图像上的图案，有时即使使用 Auto Adjust（自动调整）后仍有噪音发生。这时，请手动调整点相位。

手动调整

- (1) 选择您要调整的项目，然后按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。（选择“Dot Phase”时）



- (2) 用 **↑/↓/←/→** 键调整点相位或水平像素的总数，直至出现最佳效果和垂直线，然后按 ENTER 键。

Dot Phase（点相位）

使用 **↑/↓** 选择“Dot Phase”，然后按 ENTER 键。

使用 **↑/↓/←/→** 调整点相位直到字符和垂直线条显示正常，然后按 ENTER 键。

注

此项目只对模拟计算机信号有效。

Total H Pixel（水平像素总数）

使用 **↑/↓** 选择“Total H Pixel”，然后按 ENTER 键。

使用 **↑/↓/←/→** 调整水平像素总数直到字符和垂直线条显示正常，然后按 ENTER 键。（在手动调整的水平像素总数的基础上，“Adjust Screen”菜单上的所有项目将会自动重新调整。）

注

此项目只对模拟计算机信号有效。

H Size (水平尺寸)

用 **↑/↓** 键选择 “H Size”，然后按 ENTER 键。
用 **↑/↓/←/→** 键在 MIN (0) 至 MAX (100) 范围内调整图像的水平尺寸，然后按 ENTER 键。

↑/→：水平方向放大图像。

↓/←：水平方向缩小图像。

如果想把 H Size 重置为中间值，请选择 “Auto Adjust”。

H Shift (水平偏移)

用 **↑/↓** 键选择 “H Shift”，然后按 ENTER 键。
用 **↑/↓/←/→** 键在 MIN (0) 至 MAX (100) 范围内调整图像在水平方向的位置，然后按 ENTER 键。

↑/→：向右移动图像。

↓/←：向左移动图像。

如果想把 H Shift 重置为中间值，请选择 “Auto Adjust”。

V Size (垂直尺寸)

用 **↑/↓** 键选择 “V Size”，然后按 ENTER 键。
用 **↑/↓/←/→** 键在 MIN (0) 至 MAX (100) 范围内调整图像的垂直尺寸，然后按 ENTER 键。

↑/→：垂直方向放大图像。

↓/←：垂直方向缩小图像。

如果想把 V Size 重置为中间值，请选择 “Auto Adjust”。

V Shift (垂直偏移)

用 **↑/↓** 选择 “V Shift”，然后按 ENTER 键。用 **↑/↓/←/→** 在 MIN (0) 至 MAX (100) 范围内调整图像在垂直方向的位置，然后按 ENTER 键。

↑/→：向上移动图像。

↓/←：向下移动图像。

如果想把 V Shift 重置为中间值，请选择 “Auto Adjust”。

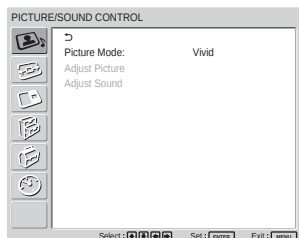
注

当 “Aspect” 设为 “Wide Zoom” 时，您不能调节图像的大小和位置。

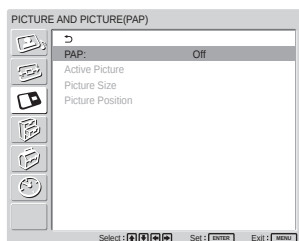
同时观看两幅图像

您可以并排显示 2 个不同信号源的图像，例如一个电脑图像和一个电视图像。

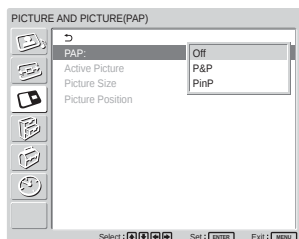
- 1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



- 2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“PICTURE AND PICTURE (PAP)”（图像和图像）处并按 ENTER 键。
PICTURE AND PICTURE (PAP) 菜单出现在显示器屏幕上。



- 3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“PAP”处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



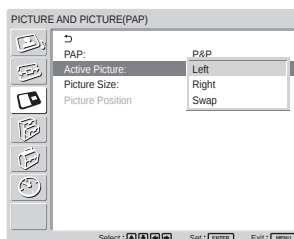
- 4 用 ↑/↓ 键选择 PAP（图像和图像）模式。
Off: 禁用 PAP 功能。
P&P: 同时并排显示两幅图像。
PinP: 在主图像上显示 1 幅内插的图像。

- 5 按 ENTER 键回到前面的画面。

激活一幅图像或者切换两幅图像的位置

当 P&P 被选择时

- 1 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Active Picture”处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 2 用 ↑/↓ 键选择“Active Picture”，然后按 ENTER 键。
调出菜单时，当前可以调整设置的图像周围出现边框。
输出当前活动图像相应的音频。

Left: 激活左边的图像

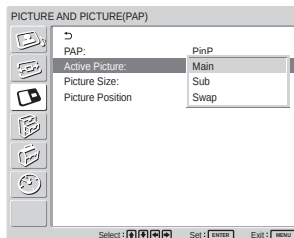
Right: 激活右边的图像

Swap: 切换两幅图像的位置

不显示菜单画面时，按遥控器上的 ← 时，左边的图像是活动图像，按遥控器上的 → 时，右边的图像是活动图像。

当 PinP 被选择时

- 1 按 ↑/↓ 键选择“Active Picture”，然后按 ENTER 键。
下列菜单出现在显示器屏幕上。



- 2 用 ↑/↓ 键选择“Active Picture”，然后按 ENTER 键。
调出菜单时，若 Sub 图像被激活，则内插图像的周围出现边框。若 Main 图像被激活，则不会出现边框。输出当前活动图像相应的音频。
Main: 激活主图像。

Sub: 激活内插的图像。

Swap: 在主图像和内插图像之间切换。

不显示菜单画面时，按遥控器上的 **←** 时，主图像是活动图像，按遥控器上的 **→** 时，插入图像是活动图像。

局部放大图像

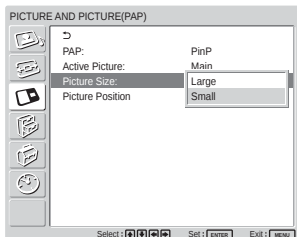
当 P&P 被选择时

- 1 按 **↑/↓** 键选择“Picture Size”，然后按 ENTER 键。
- 2 按住 **←/→** 键改变图像尺寸，然后按 ENTER 键。

当 PinP 被选择时

- 1 用 **↑/↓** 键选择“Picture Size”，然后按 ENTER 键。

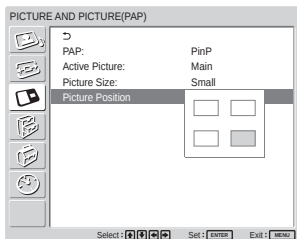
下列菜单出现在显示器屏幕上。



- 2 按 **↑/↓** 键选择尺寸，然后按 ENTER 键。
Large: 增加内插图像的尺寸。
Small: 减小内插图像的尺寸。

调整内插图像的位置（仅适用于 PinP）

- 1 用 **↑/↓** 键选择“Picture Position”，然后按 ENTER 键。



- 2 用 **↑/↓/←/→** 键调整内插图像的位置，然后按 ENTER 键。

注

- 只有当“Multi Display”设为“Off”时，才能显示两幅图像。
- 显示两幅图像时，“Brightness”和“Contrast”设置调节两幅图像之间的平衡。
- 对于 PICTURE AND PICTURE 功能，可以选择下列任意输入信号组合。
- 在屏幕右上方显示右侧图像的输入制式或内插图像。在其下方则显示启动图像的彩色制式或分辨率/垂直频率。

PC (数字)	+	PC (模拟)	PC	+	Video/ S Video
Input1	+	Input2	Input1	+	BKM-FW10
Input1	+	BKM-FW12	Input2	+	BKM-FW10
Input1	+	BKM-FW11			
Input1	+	BKM-FW50			

PC	+	Component	PC (模拟)	+	Digital Video
Input1	+	BKM-FW11	Input2	+	Input1
Input1	+	Input2	BKM-FW12	+	Input1
Input2	+	BKM-FW11	BKM-FW11	+	Input1
Input1	+	BKM-FW12			
Input2	+	BKM-FW12			

Video/ S video	+	Component	Component	+	Component (最高 480i)
BKM-FW10	+	Input2*	Input2	+	BKM-FW11*
			Input2	+	BKM-FW12*

Digital Video	+	Component	Digital Video	+	Video/ S video
Input1	+	BKM-FW11	Input1	+	BKM-FW10
Input1	+	Input2			
Input1	+	BKM-FW12			

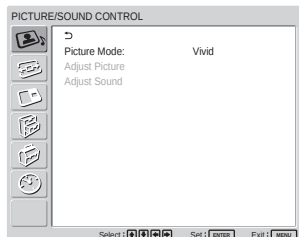
推荐组合。

- 使用带 * 标记的组合时，只有从 BKM-FW10、BKM-FW11 或 BKM-FW12 输入信号，封闭字幕功能和自动广角功能才起作用。
- 由于信号格式不同，不同电视系统的两幅动态图像可能无法正常显示。

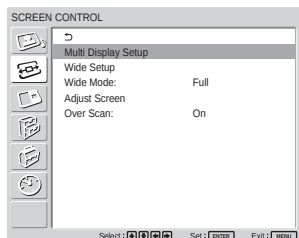
设置 Multi Display

可以设置连接多个显示装置，形成一个电视墙。

- 1 按 MENU 键。
在屏幕上出现主菜单。



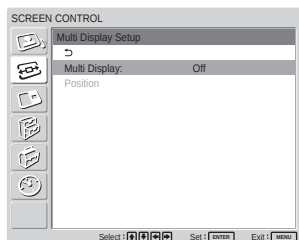
- 2 用 ↑/↓ 键选择 “SCREEN CONTROL (屏幕控制)”，然后按 ENTER 键。
在屏幕上出现 SCREEN CONTROL 菜单。



注

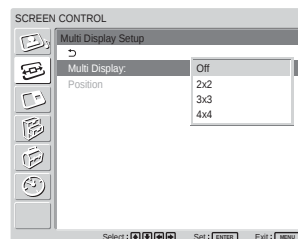
Multi Display 可以显示 “Aspect” 已经设为 “Full” 的放大图像。

- 3 用 ↑/↓ 键选择 “Multi Display Setup”，然后按 ENTER 键。
在屏幕上出现 Multi Display 菜单。



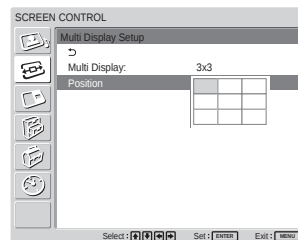
- 4 用 ↑/↓ 键选择 “Multi Display”，然后按 ENTER 键。

屏幕上将出现以下菜单。

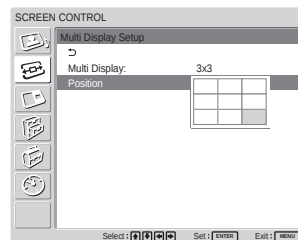


- 5 用 ↑/↓ 键选择您安排的电视墙的相应模式。
Off: 使用单一屏幕。
2 × 2 - 4 × 4: 选择采用的排列方式，构成电视墙。

- 6 按 ENTER 键，返回到 Multi Display Setup 菜单，然后用 ↑/↓ 键选择 “Position”。



- 7 用 ↑/↓/←/→ 键，在排列的电视墙中选择某一个显示装置的位置。



例如，在 3 × 3 排列中选择右下方位置。

- 8 按 ENTER 键，设定位置。
菜单将返回到 “Multi Display Setup” 菜单。

注

只有在 “PICTURE AND PICTURE” 功能禁用时，才能设置 Multi Display。

调整音质

安装 SS-SP40FW/32FW 扬声器（未附带）后，可调整高音等级、低音等级或扬声器音量的平衡（左侧和右侧）。还可设定环绕声模式。

调整高音、低音和均衡等

按 MENU 键使主菜单出现在显示器屏幕上，然后从 Adjust Sound（调整音质）菜单选择“Treble”、“Bass”、“Balance”或“Surround”。

将“Picture Mode”设为“User1”至“User3”的任一选项。

Treble（高音）

用 **↑/↓** 键选择“Treble”并按 ENTER 键。

用 **↑/↓/←/→** 键在 MIN（-50）至 MAX（50）的范围内调整高音，然后按 ENTER 键。

↑/→：增加高音
↓/←：减少高音

Bass（低音）

用 **↑/↓** 键选择“Bass”并按 ENTER 键。

用 **↑/↓/←/→** 键在 MIN（-50）至 MAX（50）的范围内调整低音，然后按 ENTER 键。

↑/→：增加低音
↓/←：减少低音

Balance（均衡）

用 **↑/↓** 键选择“Balance”并按 ENTER 键。

用 **↑/↓/←/→** 键在 LEFT（50）至 RIGHT（50）的范围内调整均衡，然后按 ENTER 键。

↑/→：增加右侧音量
↓/←：增加左侧音量

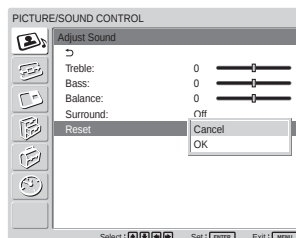
Surround（环绕声）

根据图像类型选择环绕声模式。

- 1 用 **↑/↓** 键选择“Surround”并按 ENTER 键。
- 2 用 **↑/↓** 键选择环绕声模式并按 ENTER 键。
 Off：无环绕声信号输出
 Hall：使电影和音乐等的立体声更具临场感
 Simul.：将普通电视广播和新闻节目的单声变为模拟立体声，增强其临场感

将 Adjust Sound（调整音质）菜单项目恢复到其初始设定

- 1 在 Adjust Sound（调整音质）菜单上，按 **↑/↓** 键将光标（黄色）移到“Reset”处并按 ENTER 键。
 以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 2 按 **↑/↓** 键将光标（黄色）移到“OK”处并按 ENTER 键。
 Adjust Sound 菜单项目恢复其出厂设定。

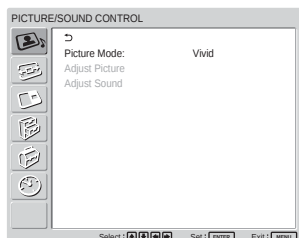
要取消复位功能时

在按 ENTER 键之前按 MENU 键。或者，用 **↑/↓** 键选择“Cancel”并按 ENTER 键。

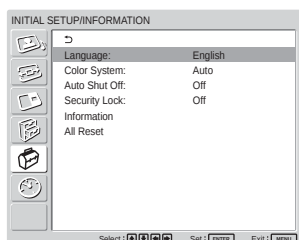
选择屏幕语言

可以从日语、英语、德语、法语、西班牙语或意大利语中选择屏幕语言。

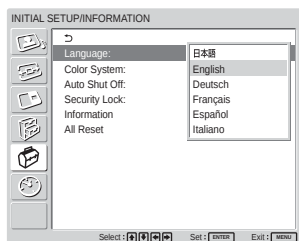
- 1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



- 2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“INITIAL SETUP/INFORMATION”处并按 ENTER 键。
INITIAL SETUP/INFORMATION 菜单出现在显示器屏幕上。



- 3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Language”菜单处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 4 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到所选的语言处，然后按 ENTER 键。
屏幕语言切换为所选的语言。

日本語: 日语

English: 英语

Deutsch: 德语

Français: 法语

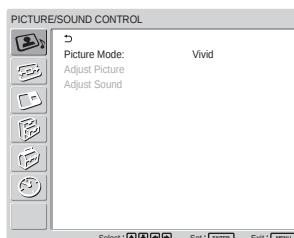
Español: 西班牙语

Italiano: 意大利语

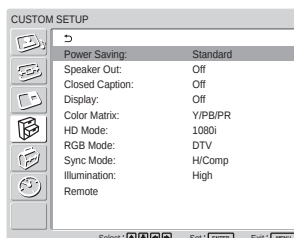
调整 Color Matrix

当带信号方式（480I (525I)，480P，(525P)，1080I (1125I) 或 720P (750P)）的信号输入到分量输入转接器时，可设定 Color Matrix 以使显示的图像色彩自然。

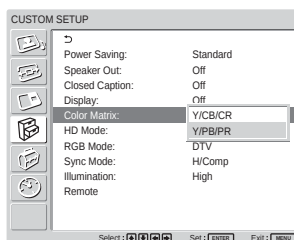
- 1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



- 2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移动“CUSTOM SETUP”处并按 ENTER 键。
CUSTOM SETUP（用户设定）菜单出现在显示器屏幕上。



- 3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移动“Color Matrix”处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 4 用 ↑/↓ 键选择色彩矩阵。
Y/CB/CR：当信号形式是 480I 或 480P 时。

Y/PB/PR：信号方式为 1080I 或 720P 时。

有关正确设定的详细说明，请参见各装置附带的使用说明书。

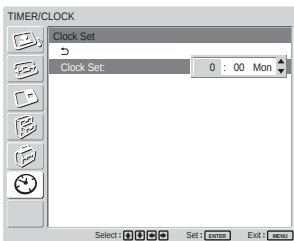
- 5 按 ENTER 键恢复至前面的画面。

自动控制电源开／关（定时器功能）

你可以将时间设置为显示当前时间，也可以设置电源自动打开或关闭的时间（On/Off Timer 功能）。

调整时间和日期

- 1 在 TIMER/CLOCK（定时器/时钟）菜单上，按 **↑/↓** 键将光标（黄色）移动到“Clock Set”处并按 ENTER 键。
显示以下菜单，时间的背景色变为黄色。



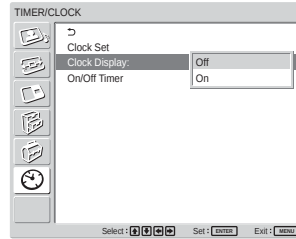
- 2 用 **↑/↓** 键调整小时并按 ENTER 键。小时的设定被输入，分钟的背景显示呈黄色。
- 3 用 **↑/↓** 键调整分钟，然后按 ENTER 键。
输入分钟的设置，日期的背景显示变为黄色。
- 4 用 **↑/↓** 键调整日期，然后按 ENTER 键。
日期的设定被输入，屏幕返回到原来的屏幕显示。
- 5 按 MENU 键。
显示回到普通画面。如果必须进一步调整，或再进行设定，使显示将恢复至正常画面，请从步骤 1 进行操作。

注

如果内置时钟明显变慢，可能是内部电池已耗尽。请与 Sony 授权的经销商联系以更换电池。

显示时间

- 1 在 TIMER/CLOCK（定时器/时钟）菜单上，按 **↑/↓** 键将光标（黄色）移到“Clock Display”处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 2 用 **↑/↓** 键选择“On”，然后按 ENTER 键。
菜单消失时，在显示器右下角显示出时钟。

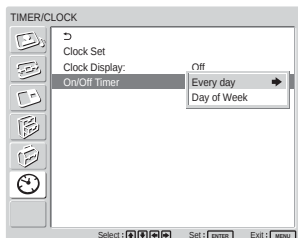
当按遥控器上的 DISPLAY 键时，显示当前输入信号和 Picture Mode。

如果信息持续显示约 5 秒钟，并且出现时钟，信息将自动消失。

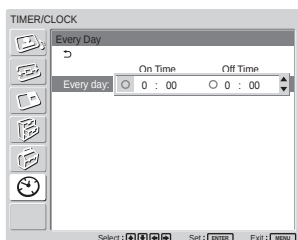
即使机器电源关闭后，“Clock Display : ON”仍将保存。

开/关定时器功能

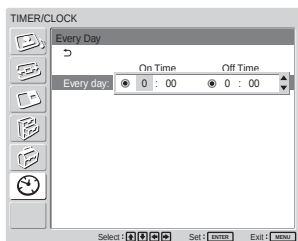
- 1 在 TIMER/CLOCK（定时器/时钟）菜单上，按 **↑/↓** 键将光标（黄色）移到“On/Off Timer”处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 2 用 **↑/↓** 键选择“Every day（每天）”或“Day of Week（工作日）”，然后按 ENTER 键。
当选择“Day of Week”时，您可以为一周中的每一天设定具体时间。
当选择“Every day”时，屏幕显示如下。



- 3 要设定 On Time，使用 **↑/↓** 键将 ☐ 更改为 ☒，然后按 ENTER 键。



- 4 按 **↑/↓** 键用 On Time 功能设定自动打开电源的时间，然后按 ENTER 键。
小时的设定被输入后，分钟显示的背景变为黄色。

- 5 按 **↑/↓** 键设定分钟并按 ENTER 键。

- 6 象设置 Off Time（在设定的时间关闭电源）一样，设置 On Time（在设定的时间打开电源）。

- 7 按 ENTER 键。
设定“On/Off Timer”。

注

- 出厂设定中未预设时间，因此时钟显示为“--:--”。
 - “Every day”的时间设定也会应用于“Day of Week”。
- 当您设定“Day of Week”的时间时，“Every day”的设定即被取消。

设置安全锁定

显示装置具有 Security Lock 功能，一旦设定了 Security Lock，当开启显示装置时，用户将被提示输入密码，如果不输入正确的密码，图像将不能显示，而且也不能使用显示器。

注

所以使用安全锁定功能时请务必记住这一点。建议您将为显示器设置的密码记录下来，并保存在安全的地方以备查用。如果忘记了密码，请咨询和合格的 Sony 技术人员。

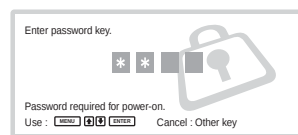
启动安全锁定

- 1 在“INITIAL SETUP/INFORMATION（初始设置/信息）”菜单中按 MENU 键，并将“Security Lock”设定为“On”。

2 输入密码

使用 MENU、**↑/↓**、ENTER 键输入一个四位的数字密码。

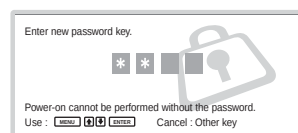
（“ENTER、ENTER、ENTER、ENTER”是工厂预设密码，当您第一次使用该功能时，请连续按 4 次“ENTER”键。）



在屏幕上将出现提示您输入一个新密码的对话框。

（在这里输入一个密码，即使您打算继续使用现有的密码。）

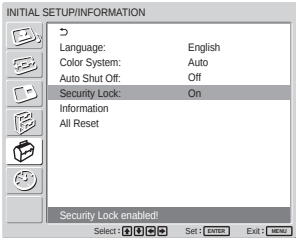
在对话框中键入密码。



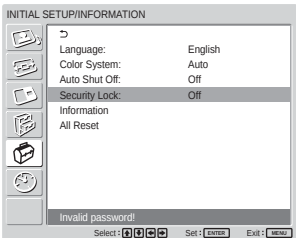
3 再一次键入密码，进行确认。



当出现以下信息时，表示设置已经完成。



如果菜单屏幕上出现 “Invalid password!”（密码无效），需从步骤 1 开始重复上述操作。



- 4 在完成上述操作以后，关闭显示装置并且拔掉电源线，使设定生效。
当您下次开启显示装置时，Security Lock 功能将生效并且显示对话框提示您输入密码。

安全鉴定

当出现对话框提示您输入密码时，键入对显示装置设定好的密码。
如果您三次输入了错误的密码，您将再也不能操作该显示装置。遇到这种情况，按 “POWER” 开关，关闭显示装置。

撤消安全锁定

在 “INITIAL SETUP/INFORMATION（初始设置/信息）” 菜单中按 MENU 键，将 “Security Lock” 设置为 “Off”。

设置 IP 地址和通讯速度

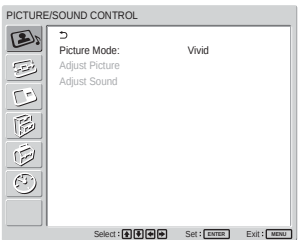
如果显示器的 OPTION1 插槽中安装了具有通信功能的可选择的适配器（如 BKM-FW32 或 BKM-FW50），您可以设定 IP 地址和通讯速度来通过网络控制显示器。

注

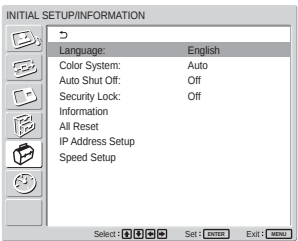
选择 “Execute”，然后按 ENTER，结束 IP 地址和通讯速度的设定。
正确完成设置后，会显示 “Done”。
如果设定不当，将显示错误提示码。这种情况下，请确认设定值是否正确，然后重新设定。

自动获取 IP 地址 (DHCP)

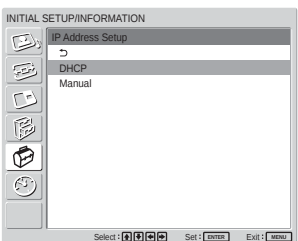
- 1 按 MENU（菜单）。
屏幕上显示主菜单。



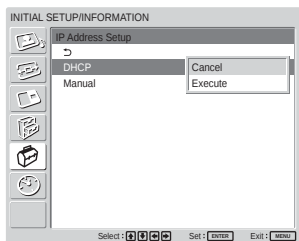
- 2 用 ↑/↓ 选择 “INITIAL SETUP/INFORMATION（初始设定/信息）”，然后按 ENTER。
屏幕上显示 “INITIAL SETUP/INFORMATION（初始设定/信息）”。



- 3 用 ↑/↓ 选择 “IP Address Setup（IP 地址设定）”，然后按 ENTER。
屏幕上显示以下菜单。



- 4 使用 **↑/↓** 选择 “DHCP”，然后按 ENTER。



- 5 使用 **↑/↓** 选择 “Execute”，然后按 ENTER。

IP 地址即被自动获取。

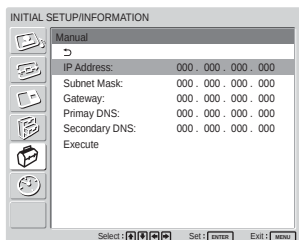
注

使用 DHCP 自动获得 IP 地址时，每次关闭显示器电源再打开，出现的 IP 地址可能不同。

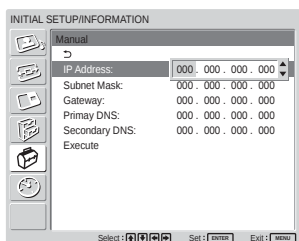
手动设定 IP 地址 (Manual)

- 1 在 “自动获取 IP 地址 (DHCP)” 第 4 步中选择 “Manual”，然后按 ENTER。

以下菜单显示在画面中。

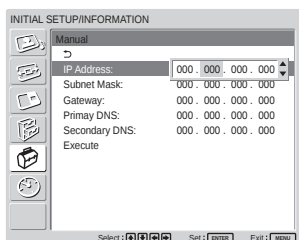


- 2 使用 **↑/↓** 手动选择要设定的项目，然后按 ENTER。



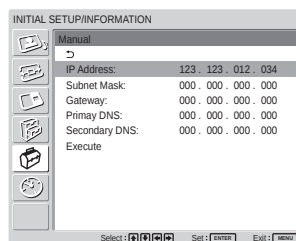
- 3 使用显示器上的 **↑/↓** 或遥控器上的数字键为第一框设定三位数的值（0 至 255），然后按 ENTER。

光标移至下一框。



- 4 为四个框中的每一框设定三位数的值（0 至 255），然后按 ENTER。

以下菜单显示在画面中。



- 5 使用 **↑/↓** 选择要手动设定的下一个项目，重复相同步骤，然后按 ENTER。

- 6 所有需设定的项目值设定完毕，使用 **↑/↓** 选择 “Execute”，然后按 ENTER。

选择 “OK”，然后按 ENTER。

IP 地址即被手动设定。

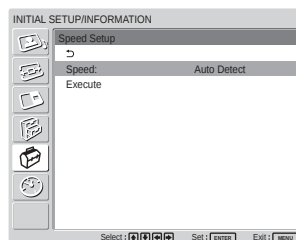
注

如果 IP 地址设定不当，根据错误原因，下列错误码将被显示。

- Error 1 显示器和 BKM-FW32 或 BKM-FW50 等选项转接器之间的通讯错误
- Error 2 指定的 IP 地址已被其他设备占用。
- Error 3 IP 地址错误
- Error 4 网关 (Gateway) 地址错误
- Error 5 首选 (Primary) DNS 地址错误
- Error 6 备用 (Secondary) DNS 地址错误
- Error 7 子网掩码 (Subnet mask) 错误

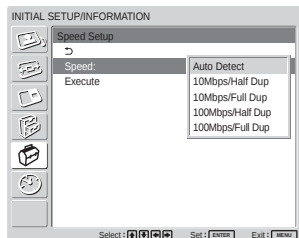
设定通讯速度

- 1 在 INITIAL SETUP/INFORMATION 菜单中，使用 **↑/↓** 选择 “Speed Setup”，然后按 ENTER。



- 2** 按 ENTER，使用 **↑/↓** 选择通讯速度，再按 ENTER。

如果您想自动为网络配置设定适当的通讯速度，请选择“Auto Detect”。



- 3** 选择“Execute”，然后按 ENTER。
选择“OK”，然后按 ENTER。
通讯速度即被设定。

自检功能

本机具有自检功能。

此功能根据 POWER/STANDBY 指示灯所示闪烁方式，显示显示器的状态。闪烁的方式提示您显示器当前的状态。

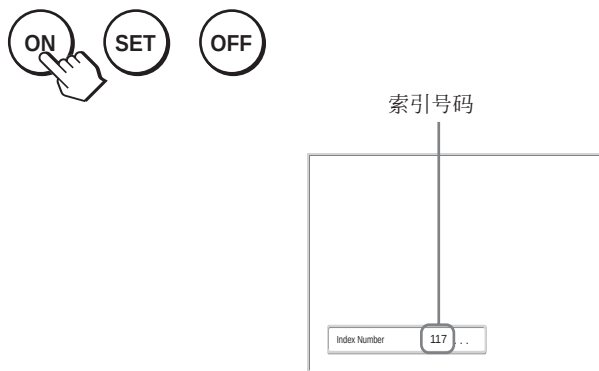
如果 POWER/STANDBY 指示灯闪烁，请检查闪烁的次数并与授权的 Sony 经销商联系。

- 1** 检查 POWER/STANDBY 指示灯的闪烁方式。
指示灯闪烁（显示器上显示有图像时）或以 3 秒钟的间隔闪烁（显示器上无图像显示时）。
如果指示灯以 3 秒钟的间隔闪烁，请对闪烁次数计数。例如，指示灯闪烁 2 次，接着暂停 3 秒钟，闪烁 2 次并重复，则闪烁次数计为 2 次。
- 2** 拔下本机的电源。
将闪烁次数通知授权的 Sony 经销商。

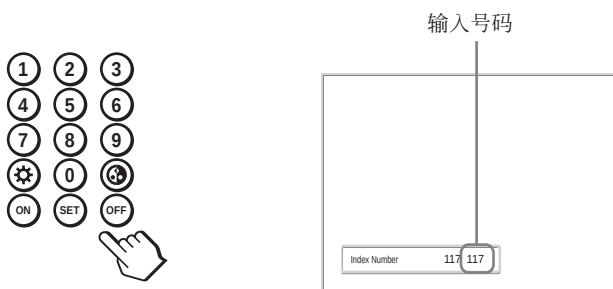
用遥控器操作指定的显示器

可以用附带的遥控器操作指定的显示器，而不影响同时安装的其他显示器。

- 1 按遥控器上的 ID MODE ON 键。监视器索引号码以黑色字符出现在屏幕左下角的菜单中。
(各显示器分配到一个 1 至 255 之间的独特预设索引号码。)
有关详细说明，请参见第 42 页 (CS) 上的“改变索引号码”。



- 2 用遥控器上的 0 至 9 键输入您要操作的显示器的索引号码。
输入号码出现在各显示器索引号码的右侧。



- 3 按 ID MODE SET 键。
所选的显示器上的字符变成绿色，其他的变成红色。



您只能操作以绿色字符显示的指定的显示器。
(电源 ON/STANDBY 也适于其他显示。)

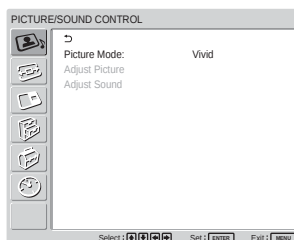
- 4 当所有设定改变已经完成时，按 ID MODE OFF 键。
显示器恢复到普通模式。



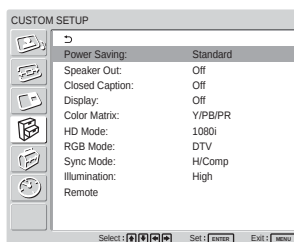
改变索引号码

若有必要，可以改变索引号码。
改变号码时，请使用显示器控制键部分上的键。
不能使用遥控器改变索引号码。

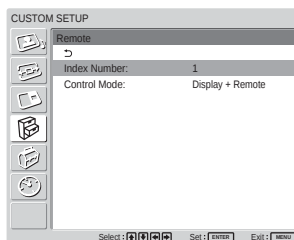
- 1 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



- 2 选择“CUSTOM SETUP (用户设置)”并按 ENTER 键。
下列菜单出现在显示器屏幕上。



- 3 用 ↑/↓ 键选择“Remote”并按 ENTER 键。
Remote (遥控) 菜单出现在显示器屏幕上。



- 4 用 ↑/↓ 键选择索引号码并按 ENTER 键。

- 5 用 ↑/↓ 键设定索引号码，然后按 ENTER 键。
菜单恢复到 Remote (遥控) 菜单。

规格

视频操作

预设信号	参见第 23 页 (CS)。
采样率	13.5 至 140 MHz
面板系统	a-Si TFT Active Matrix 液晶显示屏
显示分辨率	1366 点 (水平) × 768 行 (垂直)
FWD-40LX1:	
像素间距	0.648 (水平) × 0.648 (垂直) mm
图像尺寸	885 (水平) × 498 (垂直) mm
面板尺寸	40 英寸 (对角线 1016 mm)
FWD-32LX1R:	
像素间距	0.510 (水平) × 0.510 (垂直) mm
图像尺寸	698 (水平) × 392 (垂直) mm
面板尺寸	32 英寸 (对角线 801 mm)

输入和输出

INPUT1

DVI	DVI (DVI 规格 Rev. 1.0 兼容)
AUDIO	立体声微型插孔 (×1) 500 mVrms, 高阻抗

INPUT2

RGB/COMPONENT	D-sub 15 芯 (内插式) (×1) (参见第 44 页 (CS) 上的 “管脚配置”。)
AUDIO	立体声微型插孔 (×1) 500 mVrms, 高阻抗

CONTROL S IN/OUT 微型插孔 (×2)

AUDIO OUT 管脚插孔 (×2)
500 mVrms, 高阻抗

REMOTE (RS-232C)

D-sub 9 芯型 (×1)

SPEAKER 7 W+7 W (6 Ω), 直接不平衡
阻抗: 6-16 Ω

VIDEO/S VIDEO 输入/输出适配器 BKM-FW10

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N)

VIDEO IN BNC 型 (×1)
复合视频, 1 V_{p-p} ±2 dB 同步
负, 75 Ω (自动终端)

VIDEO OUT BNC 型 (×1) 环通

S VIDEO IN 微型 DIN 4 芯型 (×1)
Y (亮度): 1 V_{p-p} ±2 dB 同步
负, 75 Ω 终端
C (色度): 脉冲
0.286 V_{p-p} ±2 dB (NTSC),
75 Ω 终端
脉冲 0.3 V_{p-p} ±2 dB
(PAL), 75 Ω 终端

S VIDEO OUT

微型 DIN 4-芯 (×1)
Loop-through

AUDIO IN 管脚插孔 (×2)
500 mVrms, 高阻抗

总体

电源 100 至 240 V 交流, 50/60 Hz,
FWD-40LX1:

2.5 A 至 1.2 A

FWD-32LX1R:

1.7 A 至 0.8 A

电源消耗 FWD-40LX1: 220 W
FWD-32LX1R: 150 W

工作条件 温度: 0 °C 至 +35 °C
湿度: 20% 至 90%

(无湿气凝结)

贮存/搬运条件 温度: -10 °C 至 +40 °C
湿度: 20% 至 90%

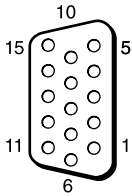
(无湿气凝结)

尺寸	丙烯酸外框机型
	FWD-40LX1：994 × 597 × 125 mm
	FWD-32LX1R：802 × 492 × 107 mm
	非丙烯酸外框机型
重量	丙烯酸外框机型
	FWD-40LX1：27.5 kg
	FWD-32LX1R：17.5 kg
	非丙烯酸外框机型
	FWD-40LX1：26.7 kg
	FWD-32LX1R：16.7 kg
附件	交流电源线（1）
	交流插头固定器（2）
	电缆夹：FWD-40LX1：（4）
	FWD-32LX1R：（6）
选购件	数字 RGB (DVI-D) 信号电缆（单链路）（1）
	分量视频电缆
	（D-sub 15 芯-RCA×3）（1）
	BNC-RCA 适配器（1）
安全规则	遥控器 RM-980（1）
	AAA 尺寸（R03）电池（2）
	使用说明书（1）
	显示器支架 SU-40FW/32FW
	扬声器 SS-SP42FW/32FW
	用于系统扩展的可选择适配器，
	BKM-FW 系列
	UL 1950, CSA No. 950 (c-UL),
	FCC Class B, IC Class B,
	EN60 950 (NEMKO), CE,
	C-Tick

设计和规格若有变更，恕不另行通知。

管脚配置

RGB/COMPONENT 连接器（D-sub 15 芯）



管脚号	信号
1	红色视频或 C _R /P _R
2	绿色视频或 Y 或 Sync On Green
3	蓝色视频或 C _B /P _B
4	接地
5	接地
6	红色接地
7	绿色接地
8	蓝色接地
9	未使用
10	接地
11	接地
12	SDA
13	H 同步或复合视频
14	V 同步
15	SCL

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

<http://www.sony.net/>



この説明書は100%古紙再生紙を使用しています。

Printed on 100% recycled paper.

